PNC ZJ4281 90-003

配布限定

分置

本資料は　年　月　日付けで登録区分、
変更する。
01.10. 4
[技術情報室]

地層処分研究管理システムの改良

1990年 11月

日揮株式会社

本資料は、核燃料サイクル開発機構の開発業務を進めるために作成されたものです。したがって、その利用は限られた範囲としており、その取扱には十分な注意を払ってください。　この資料の全部または一部を複写・複製・転載あるいは引用する場合、特別の許可を必要としますので、下記にお問い合わせください。

〒319-1184　茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部　技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

地層処分研究管理システムの改良

要　旨

高レベル廃棄物地層処分に関わる調査・研究開発は、関係する学問分野が多岐に渡ること、研究をとりまく状況が絶えず変化していること、並びに研究の進歩に伴う方針変更等が生じ得る事から、各研究項目の作業工程、進捗度、及び研究項目間の相互関係を認識するため、管理手法としてＷＢＳ（ワークブレイクダウンストラクチャー）法を基礎とし、以下のような研究管理システムを開発している。

・ＷＢＳ構築支援システム

・コスト管理システム

・工程管理システム

・成果物管理（文献検索）システム

本件では、地層処分研究開発成果の第１次取りまとめ作業が開始され作業が進展するに従い、ワークパッケージの見直しなどの必要性が明かとなり、現行システムの改良と機能の拡大を行なうと同時に、見直し手順の検討を行なうものとなった。
特に、全体スケジュールを損なわない形で、研究管理システムに見直した内容を効率よく組み込む必要性が今後一層高まることを勘案し、ワークパッケージの変更を効率的にシステムに反映させる要領について作業を行なっている。

実施した項目は以下の通りである。

（１）地層処分研究開発成果の取りまとめ過程におけるワークパッケージ及びネットワークフローの変更に伴う全体システムへのフィードバック方法の提示

（２）地層処分研究開発成果の取りまとめに関わるネットワークフローの作成

（３）文献検索システムの改良、及び、キーワードの見直し

本報告書は、日揮（株）が動力炉・核燃料開発事業団の委託により実施した研究の成果である。

Abstract

Investigation and R & D concerning high-level radioactive waste underground formation disposal require knowledge of and experience in a variety of associated scientific technologies. Environments surrounding our R & D work in this respect are always changing. Our policy on R & D also changes with the progress in our research. Therefore, to fully grasp mutual relations between the exsisting work schedule per research item, research progressive status, and research items, we have developed the following research management systems, on the basis of a work management system known as "Work Breakdown Structure (WBS)" method.

- WBS Construction Support System
- Cost Management System
- Schedule Management System
- R & D Results Management System

Using these systems, therefore, we began to arrange the results of our R & D on underground disposal. As our work progresses, however, we have found that our work package must be reviewed. In other words, we have found that it is neccessary for us to improve the existing R & D management system, enlarge the system functions, and to study the work package reviewing procedure.

It appears that the necessity to effectively incorporate the results of review of the work package into the research management system (without impairing the entire work schedule) will grow in the future. In review of such necessity, therefore,

will grow in the future. In review of such necessity, therefore, we are currently carrying out the following items of work to establish procedure to effectively incorporate changes in the work package into the research management system.

(1) Presentation of a method to feed back the results of changes in the work package and network flow - in the process of arranging the results of R & D on underground disposal - to the R & D management system

(2) Preparation of a network flow involved with the arrangement of the results of R & D on the underground disposal

(3) Improvement of the dcument retrieval system and review of key words

Work performed by JGC Corporation under the auspices of the Power Reactor and Fuel Development Corp.

平成１５年度報告書作成に係わる
ネットワークフロー作成と
分析評価報告書

日揮株式会社

目　次

0．はじめに 1

1．ネットワークフローの作成

1．1．　ネットワークの適用範囲 2

1．2．　ＷＢＳ（ワークパッケージ）の適用
（１）ＦＷＢＳ 3
（２）ＰＣＷＢＳ 4
（３）ワークフレーミング 4

1．3．　スケジュール作成に当たっての前提条件 7
（１）地質環境調査での前提 8
（２）処分技術開発での前提 9
（３）性能評価研究での前提 10

2．ネットワークの分析と評価

2．1．　クリティカルな作業
（１）地質環境調査 13
（２）処分技術開発 14
（３）性能評価研究 15

2．2．　ネットワークの改善案 16

3．　今後のスケジュール管理に対する提言

3．1．　スケジュール更新の頻度 17

3．2．　再スケジュールのタイミング、留意事項 17

3．3．　その他の留意事項 18

4．　添付資料 18

0．はじめに

本書の目的

本報告書は、動力炉核燃料事業団殿向け「地層処分研究管理」上、必要とされるネットワークについて作成方法と、作成後の成果に対して分析を行ない、今後の作業について提言をとりまとめたものである。

他の成果物との関連

ネットワークの作成上のシステムの取扱については、昭和６３年度「工程計画管理システム取扱説明書」を参照して頂きたい。
また、ネットワークを構成する最小要素として、ワークパッケージを採用しており、この考え方については「ＷＢＳ構築支援システム取扱説明書」を参照して頂きたい。

1．ネットワークフローの作成

1．1．ネットワークの適用範囲

今回ネットワーク作成の対象としたのは、時間的に区分すると次の3つの段階の作業である。

①：平成3年度の報告書作成に係わる作業
　数カ月単位の作業が多数であり、最長でも1年程度の作業を対象とする。　また、既に着手（仕掛かり中）・完了の作業も20％程度存在する。

②：平成8年度の報告書作成に係わる作業
　半年、または、1年単位に定義した作業が多数であり、最長の場合、3年～5年のものも存在する。　平成3年度の成果を受けて、開始または、継続する性格を持つ。

③：平成15年度の報告書作成に係わる作業
　1年～5年単位に定義したものが多く、①・②との関わりを見るのでなく、「地層処分」の10数年間の必要作業の流れについて概観した性格を持つ。

さらに、これらの作業はWBSの切口からみると、FWBS（研究項目）の性格によって、やはり3つに分類される。　即ち、以下の通りである。

①：地質環境調査
　地層の隔離性、地質環境の特性データを収集し、これらを調査・分類する。　また、水理などの特性試験を行なう機器の開発についても含まれる。

②：処分技術開発
　人工バリアと処分場の両者について、設計から試験（製作・施工）までを技術的な側面から検討して研究開発を行ない、建設・操業・閉鎖技術の確立につとめるもの。

③：性能評価研究
　①・②を含み、全ての関連研究について、それらの成果（性能）を評価する評価技術・手法を研究開発する。　さらに、それらの技術を用いて性能評価を実施する。

以上の項目に対し、後者の3つをそれぞれ別個に独立したスケジュールと考え、その1つ1つが段階的に平成3年、8年、15年を対象とするフェーズを持つ形でスケジュールを立案している。

１．２．ＷＢＳ（ワークパッケージ）の適用

動燃殿の行なう研究管理にあたり、ＷＢＳ（WORK BREAKDOWN STRUCTURE）の概念を導入し、「研究」という事象を「研究する項目」と「研究の対象物」との組合せと考え、前者をＦＷＢＳ（FUNCTIONAL WBS）・後者をＰＣＷＢＳ（PROJECT CONTROL WBS）と定義した。

この２つの組合せをすべて網羅するため、マトリクス（組合せ表）を作成の上、該当する「研究」作業を認識し、それらを管理可能な大きさにまとめあげ、区分化したものをワークパッケージとして定義した。　本ネットワーク・スケジュールにおいては、ワークパッケージはそのまま管理の対象になると考え、スケジュール・アクティビティとイコールであるとの前提でネットワークの作成が行なわれている。

（１）ＦＷＢＳ

今回、研究管理用に展開したＦＷＢＳ（研究項目・内容）分は添付資料１「ＦＷＢＳ一覧表」に記載してある。　高レベル廃棄物処理に係わる研究項目を６つに分割し、検討を行なった結果、'＊' のつけてある項目が特に管理が必要であるとわかり、その他のものは管理対象から除外することにした。

①：廃棄物への対処の必要性を示す。
②：地層処分研究開発の重要性を示す。
③：わが国の地層処分システムの、重要性・特性を示す。
＊④：わが国の地層処分への地質環境調査の現状を示し、個別のデータ特性を示す。
＊⑤：地層処分として行なうべき技術開発について、仕様を示す。
＊⑥：処分技術の性能について評価する技術、また、その評価方法を示す。

これらの内で特に⑥においては、内容が複雑多岐にわたるため、いくつかの項目はブレイクダウンせず、題目だけを挙げたものとなっている。これらは、平成８年・１５年の研究報告のデータ管理時に詳細にブレイクされるか、または、平成３年報告の結果を受けて詳細化を行なうかどうかを判断される。　いずれにせよ、現状では⑥のデータのレベル（研究内容の深さ）は最大９まで、データの項目数にして２５０程度になっている。　ＦＷＢＳ全体の研究対象項目総数にして約５００個、④～⑥だけだと約４５０個になっている。

（２）ＰＣＷＢＳ

今回、研究管理用に展開したＰＣＷＢＳ（研究対象物）は添付資料２「ＰＣＷＢＳ一覧表」に記載してある。　ここでは、高レベル廃棄物の処分に関し、処分技術とその工学システム、自然社会条件、核種による間接的影響・隔離性、の３つの側面について以下のような分割を行い、検討を行なった。

Ａ：処分技術と工学システム -------- 処分場関連
　　|
　　---人工バリア関連

Ｂ：自然社会条件

Ｃ：核種による直接・間接的影響 --- 地下水に溶出した場合
　　|
　　--- 地下水以外の場合
　　|
　　--- 廃棄物の隔離性

これらのうち、ＡはＦＷＢＳの⑤にのみ対応し、Ｂは④に、Ｃは⑥にのみ対応する形で設定されている。　なかでも、Ｃは評価技術に対応する項目であるため、安全性・経済性など様々な観点から分析・評価を行なうため、内容は詳細に検討されなければならない。　このため、研究項目の深さは最大９レベル、その項目数にして４００を越えるものとなっており、「ニアフィールド」から「ファーフィールド」まで広範囲にわたって評価対象項目を挙げている。　この研究管理というプロジェクトでは、ＰＣＷＢＳはＦＷＢＳ（研究内容・項目）に対し、半従属的に決定されるため、ＦＷＢＳのところで述べたように、時間の経過とともにＷＢＳの見直し（詳細にブレイクするか、縮小・消去する）が不可欠となる。

（３）ワークフレーミング

まず作業の認識を行なうに当たり、最小の作業管理単位（ワークアイテム）を定めるため、上記のＦＷＢＳとＰＣＷＢＳを組み合わせるべく、両ＷＢＳのレベルを決定した。　これには、①研究の重要性から考えてグルーピングしてはいけない（粗すぎたり、見通しが立たない）組合せを抽出すること、②グルーピングの結果が最終的に管理しやすい大きさ・数になること、の２点にに留意し両ＷＢＳともに基本的に６レベルとした。ただし、ＦＷＢＳが６で始まるもの（ＰＣＷＢＳがＣで始まるもの）は留意点①に該当するものがあるため、ＦＷＢＳは９レベル、ＰＣＷＢＳは１０レベルを持つものが例外として混じることを許して作業の認識を行なった。

次に、これら最小の作業管理単位（以下、ワークアイテムと呼ぶ）を認識した後グルーピングを行い、実質的な管理単位（以下、ワークパッケージと呼ぶ）を設定した。　ここで、以下の前提を取り入れている。

一般的な事項

・ワークアイテムとワークパッケージを同じものとした。
これは、現在の見通しではどうしてもワークアイテムのレベルでも1年～数年かかるものがあり、これらをワークパッケージ化するととんでもなく大きな作業単位が発生するためである。

・数年間にわたる作業がすべて連続して行なわれ、全体として平成15年報告にいたる場合、できる限り作業を分割する。　これには、以下のような作業がある。
　－ダイレクトシュミレーション
　－トレーサ試験
　－地質環境データベースシステム、及び、そのデータ取得
　－環境評価技術・手法開発

・同じ作業が異なる期間、即ち、平成3年以内、平成3～8年、平成8年～15年の3期間に数回表れるものは、WBSが別であり、ワークパッケージも別作業として扱う。

・上記と異なり、同一期間内（例えば平成3年～8年）で同じ作業が2度以上表れる場合、2回目以降を無視する。　例えば、当該作業の見直し・取りまとめ・評価、第2次作業等は、本来別のWBSを用いて評価されるか、または、次回見直し時に枝番を取って表わされる作業であるため、今回は無視した。　これには、以下のものがある。
　－微視的不均質性の解析
　－ファーフィールド原位置試験
　－データベース作成
　－ニアフィールドの体系的データ取得
　－核種移行の詳細モデル確証

以上のルールのもと、ワークパッケージを纏めて、ワークパッケージ番号と名称を一覧させたものを添付資料「ワークパッケージ一覧表」に示す。ここで、ワークパッケージの番号体系はFWBSとPCWBSを極力使用したものとし、FWBSを先頭にして9桁、”－”（ハイフン）を補った後、PCWBSを続けて10桁、合計20桁としている。　これを工程管理システムに適用する際には、16桁以内に納めなければならないという、システム上の制約からFWBSを7桁、PCWBSを8桁と設定し、許される限り”－”の位置は8桁目としている。　両WBSが桁をあふれるほど大きいときはデータを優先し、”－”の位置を例外的にずらしている。

XXXXXXX-YYYYYYYY

XXXXXXX　：　FWBSコード（後ろは0を埋める）
YYYYYYYY　：　PCWBSコード（後ろは0を埋める）

また、ワークフレーミング上はあらわれないが、スケジュール上必要となるワークパッケージ（スケジュール・アクティビティ）として以下のものがあり、これらをダミー作業として加える。

- 4000000-00000001　地質環境調査の開始
- 4000000-33333333　平成３年度報告
- 4000000-55555555　平成８年度報告
- 4000000-99999999　平成１５年度報告（終了）

- 5000000-00000001　処分技術開発の開始
- 5000000-33333333　平成３年度報告
- 5000000-55555555　平成８年度報告
- 5000000-99999999　平成１５年度報告（終了）

- 5000000-00000001　評価技術研究の開始
- 6000000-33333333　平成３年度報告
- 6000000-55555555　平成８年度報告
- 6000000-99999999　平成１５年度報告（終了）

１．３．スケジュール作成に当たっての前提条件

上記のワークパッケージを使って研究管理を行なうためのスケジュールを作成するに当たり、動燃殿より提示された前提条件は以下の通りである。

・プロジェクト開始は平成２年４月とし、プロジェクト終了（地層処分性能評価の成果報告）は平成１６年３月末とする。

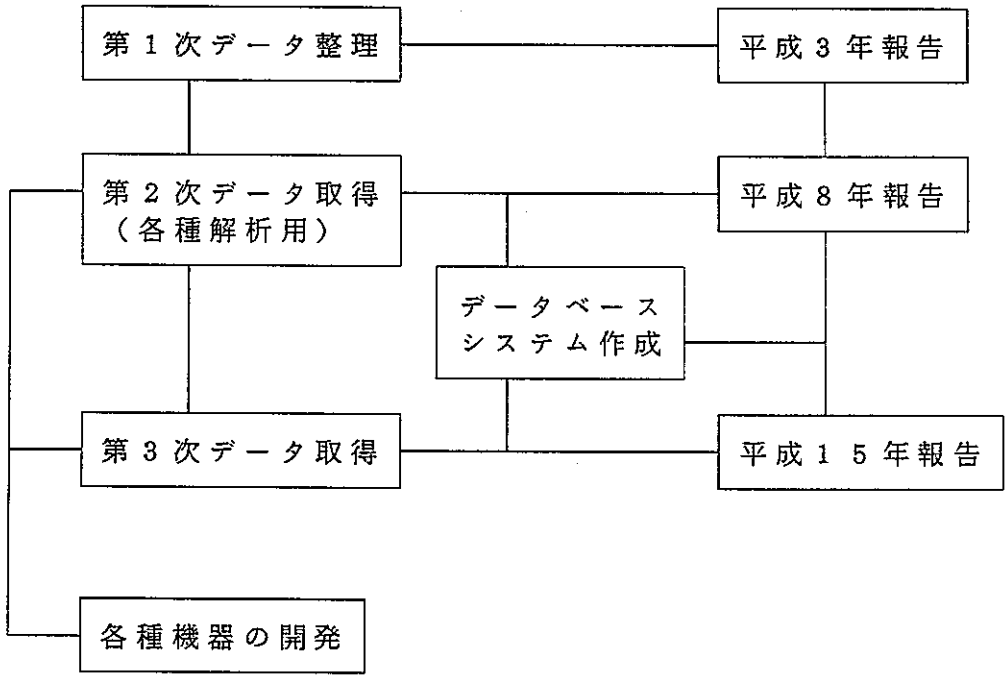
そのほか、今回のスケジュールの特徴は以下の通りである。

①：まったく独立な３つのスケジュールが平成３、８、１５年を区切りにして収束している。
②：同様な研究項目が 平成３、８、１５年の期間に繰り返し表れることが多い。（ローリング・ウェーブ的である）
③：各々が独立し、並列的な作業が多い。
④：個々の研究作業の所要期間は長いか、または、次に行なわれる作業に対し、断続的にデータを渡すような関係があり、期間設定が行ないにくい。

これらの特徴に対し、③と④がスケジュール・システムに反映させるとき障害になり易いことから、動燃殿に対してできる限り、「独立した」パスを排除し、「長すぎる期間」を短縮の上、互いの作業の関係付けを見直して頂いた。　そのほかの特徴、及び、前提については、以下の通りである。

（１）地質環境調査での前提

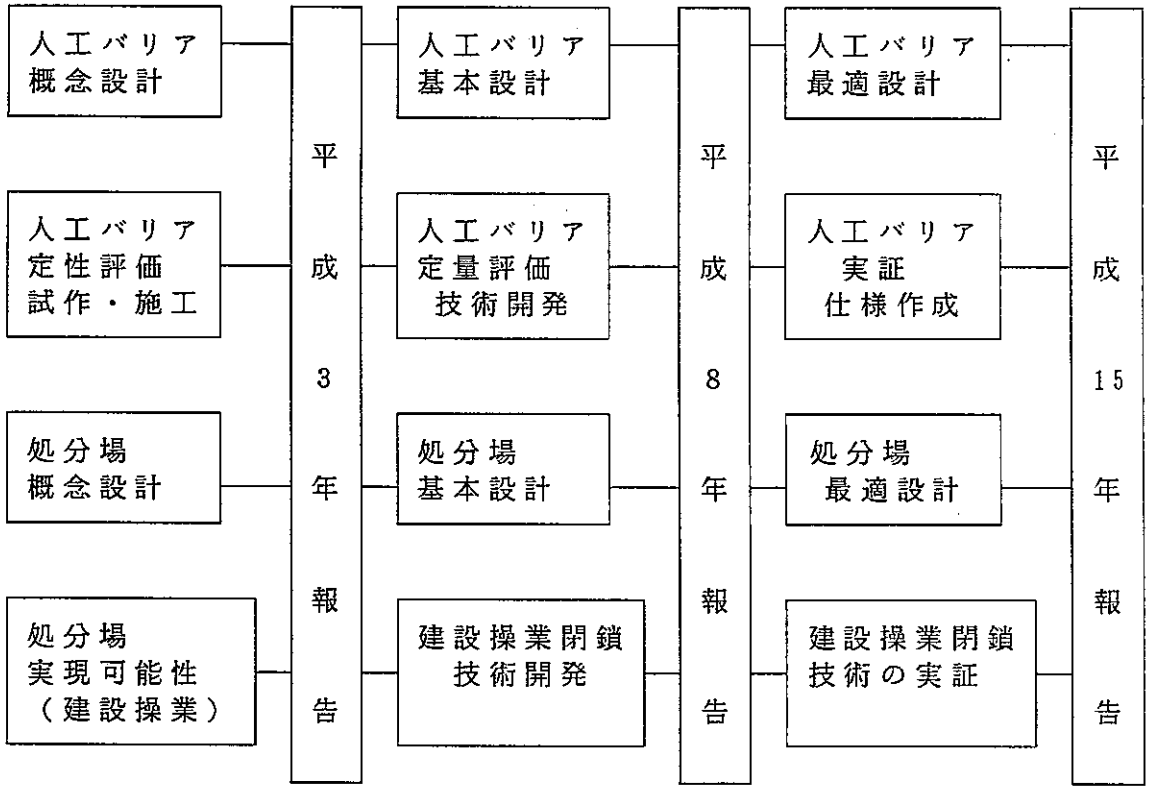
各種のデータ取得と整理が主な作業であり、最終成果は「解析評価」とデータベースの作成となる。　調査のための各種の機器や手法の開発は、時期をずらしながら単体別に行なわれ、機器間での関係は非常に浅い。　従って、大きく纏めると以下のような作業順序となる。



本分野では、すべてのアクティビティはデータ取得という目的で作業が行なわれ、その都度、調査用の機器開発と取得したデータの解析（データベースシステムへの反映）を行なうものであり、その間に平成３、８、１５年報告書作成作業が収束点として存在している。

（２）処分技術開発での前提

処分技術開発は、人工バリア・処分場の設計から試作（試験）、評価（仕様の作成）を行なうもので、（１）の「調査技術開発」に比べて一連の明白な作業手順がある。　これを取りまとめると以下のようになる。



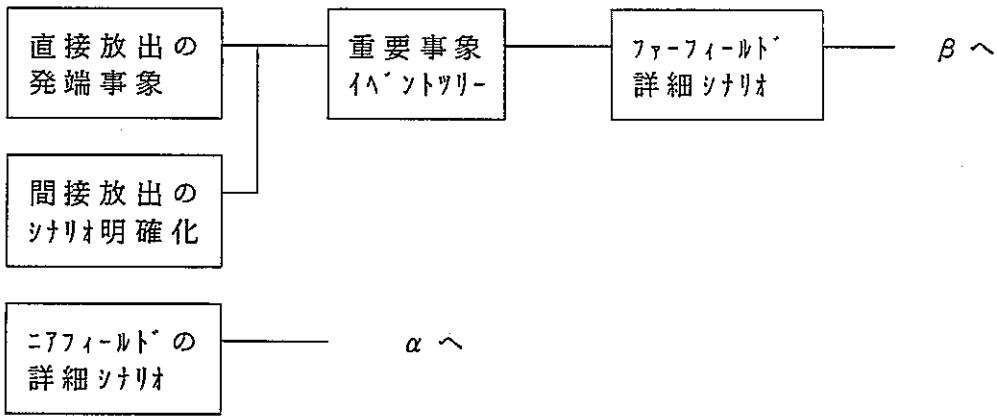
本分野では、一見すると横の流れ（概念設計--> 基本設計--> 最適設計）の順に平成３年、８年、１５年報告作業が発生している形をとっているだけであり、縦の流れはあまりないようになっている。　しかし、実際には報告書作成という収束点を前にして、各研究項目は成果を交換・交流し合う事になると思われる。　今回のスケジュールにおいては、この点を無視して横の流れに注目して作成している。

（３）性能評価研究での前提

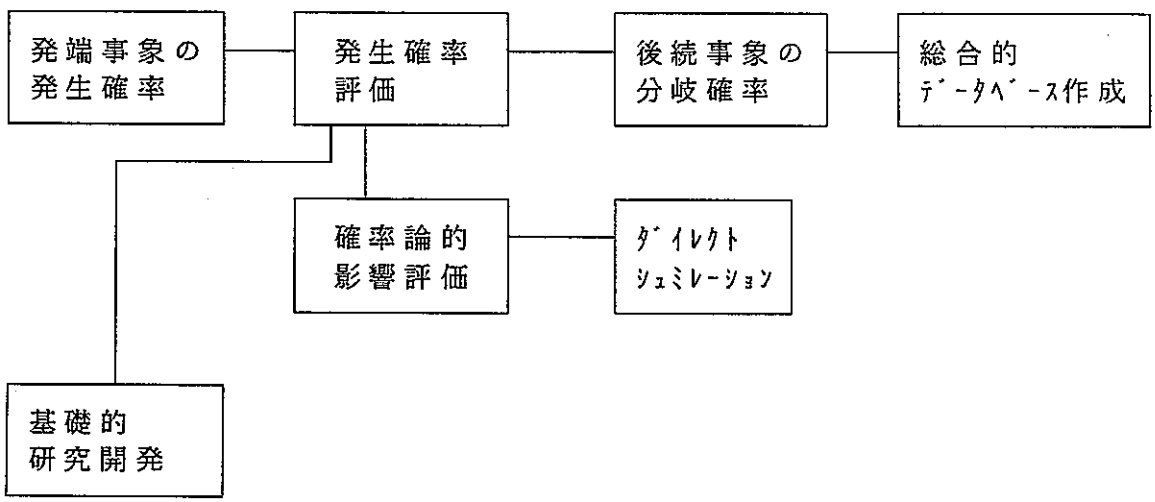
本分野は３つのワークカテゴリィの中で最も複雑、且つ多岐にわたるものであり、そのワークパッケージ総数も最大である。　本分野での特徴は、ほとんどすべてのアクティビティは1.3 多重ﾊﾞﾘｱの④～⑥につながりを持っていることであり、①～③は基本的に平成３年報告まで、または平成８年報告迄に終了することを目標としていることである。　これを取りまとめると以下のようになる。

但し、図ではイベント間の関係付けは極めて単純化してあり、実際にはイベントの中の１つのアクティビティが他のイベント中のアクティビティと関連づいている事が数多くある。

1.1 ｼﾅﾘｵ作成
① ｼﾅﾘｵ作成

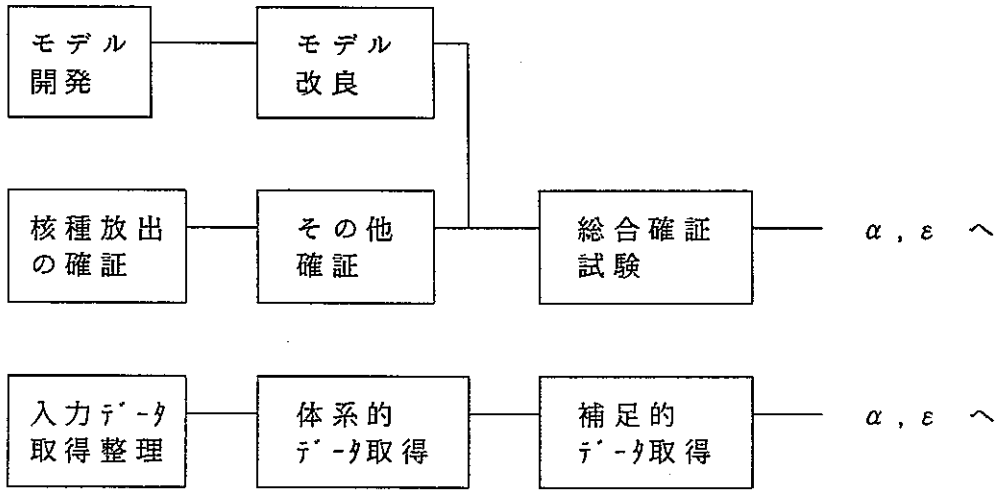


1.2 廃棄物隔離性
② 発生確率　、③リスク

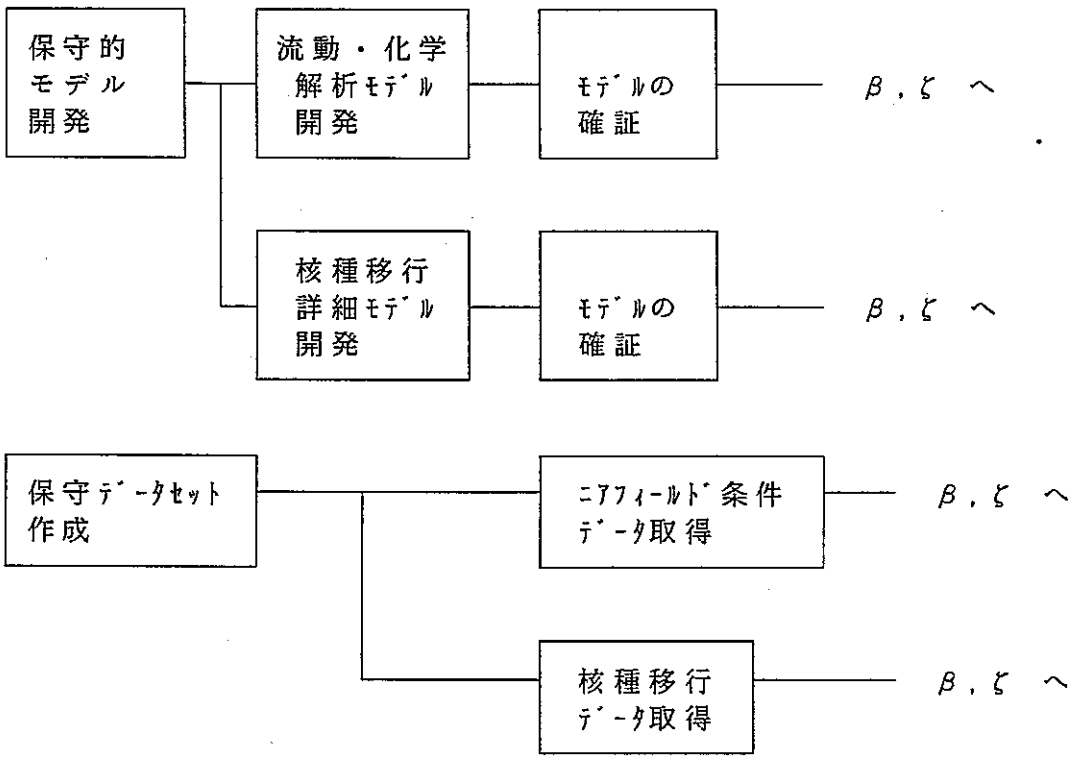


1.3 多重ﾊﾞﾘｱ

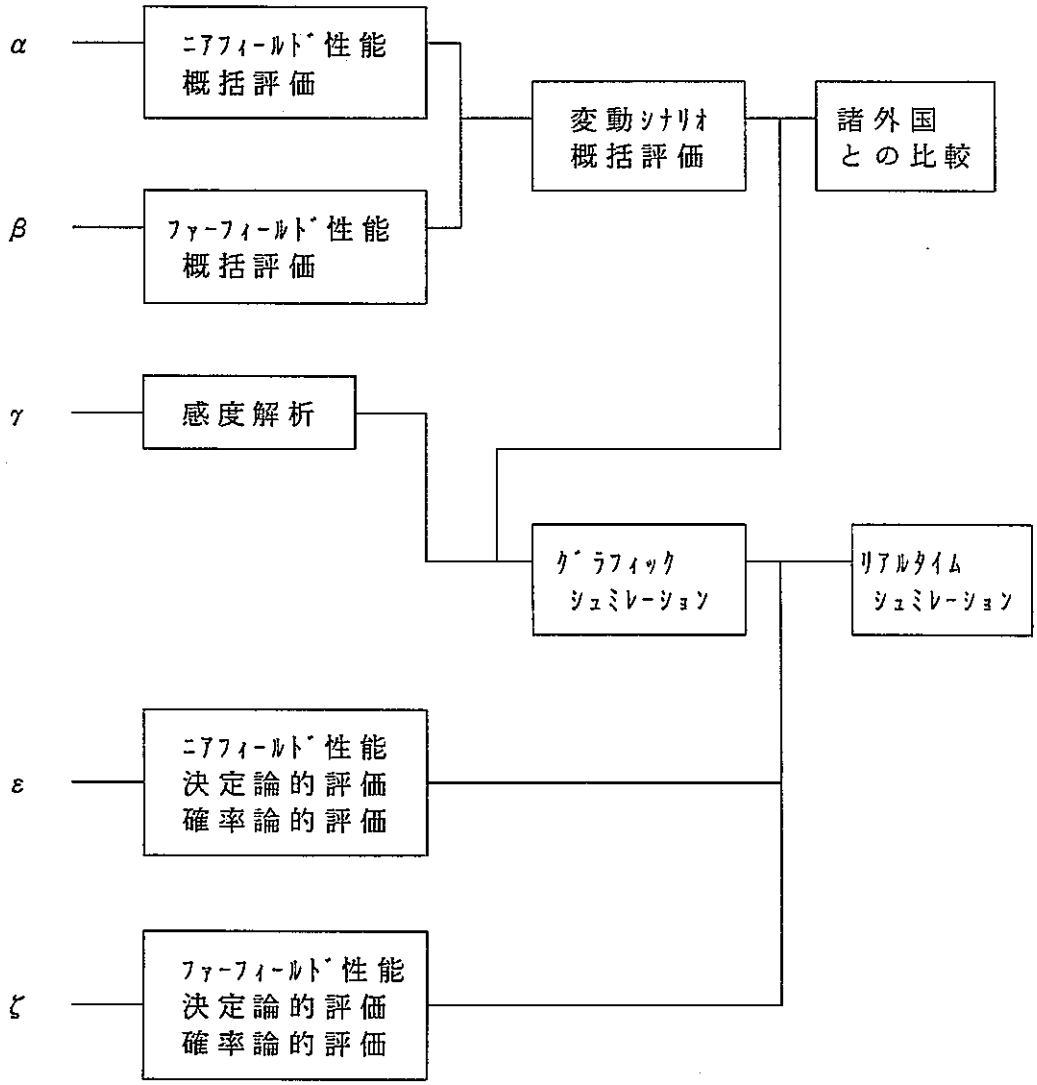
④ ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ現象



⑤ ﾌｧｰﾌｨｰﾙﾄﾞ現象



⑥ ｼｽﾃﾑ性能


α
ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能
概括評価
β
ﾌｧｰﾌｨｰﾙﾄﾞ性能
概括評価
変動ｼﾅﾘｵ
概括評価
諸外国
との比較
γ
感度解析
ｸﾞﾗﾌｨｯｸ
ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝ
ﾘｱﾙﾀｲﾑ
ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝ
ε
ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能
決定論的評価
確率論的評価
ζ
ﾌｧｰﾌｨｰﾙﾄﾞ性能
決定論的評価
確率論的評価

2．　ネットワークの分析と評価

2．1．クリティカルな作業

スケジュール上で余裕日数が7日以内の作業をクリティカルとすると、クリティカルとなっている作業は以下の通りである。

①：地質環境調査

- 応力解析に用いる地質工学：堆積岩系のデータ取得
- 応力解析に用いる地質工学：結晶岩系のデータ取得
- 応力解析に用いる地質工学：取得データの解析
- 水理解析に用いる地質工学：堆積岩系のデータ取得
- 水理解析に用いる地質工学：結晶岩系のデータ取得
- 水理解析に用いる地質工学：取得データの解析
- 核種移行解析に用いる地質工学：堆積岩系のデータ取得
- 核種移行解析に用いる地質工学：結晶岩系のデータ取得
- 核種移行解析に用いる地質工学：取得データの解析
- 水理解析に用いる水理地質工学：堆積岩系のデータ取得
- 水理解析に用いる水理地質工学：結晶岩系のデータ取得
- 水理解析に用いる水理地質工学：文献調査
- 水理解析に用いる水理地質工学：取得データの解析
- 表層水理解析に用いる水理地質工学：地下研究でのデータ取得
- 表層水理解析に用いる水理地質工学：堆積岩系のデータ取得
- 表層水理解析に用いる水理地質工学：文献調査
- 表層水理解析に用いる水理地質工学：取得データの解析
- 地下水の化学的性質：地下研究でのデータの取得
- 地下水の化学的性質：堆積岩系のデータの取得
- 地下水の化学的性質：結晶岩系のデータの取得
- 地下水の化学的性質：文献調査
- 地下水の化学的性質：取得データの解析
- その他の地質環境：地下研究でのデータ取得
- その他の地質環境：堆積岩系のデータ取得
- その他の地質環境：結晶岩系ののデータ取得
- その他の地質環境：文献調査
- その他の地質環境：取得データの解析
- 地質環境データベースのデータ入力
- 地質環境データベースのシステム運用

以上の作業については平成8年、15年報告について段階的に詳細になる性質を持つ。　即ち、2度同じ作業が異なる番号でスケジュール上発生し、そのどちらもクリティカルになっている。　そのほか、以下のものもクリティカルである。

- 深部調査技術開発：水圧破砕法の開発と試験
- 深部調査技術開発：地殻応力測定技術の開発
- 長期予測手法の開発：年代決定技術の開発
- 長期予測手法の開発：地球化学調査技術の開発
- 長期予測手法の開発：地質環境変動解析技術の開発

②：処分技術開発

・処分場：要求機能の抽出と整備
＊・処分場：評価手法の開発
＊・処分場：設計手法の開発（モデルコード開発）
・処分場：設計手法の検証
＊・処分場：設計解析
・処分場：仕様の設定
・処分場：操業システム性能の仕様の設定
・処分場：閉鎖仕様の設定
・処分場：建設、操業、閉鎖スケジュール検討
・処分場：建設、操業、閉鎖安全性評価
・処分場：建設、操業、閉鎖経済性評価
・処分場：ＣＡＥシステム開発
・処分場：結晶質岩、堆積岩系の地質環境特性データ収集
・処分場：熱、応力、化学、連成解析手法の開発と確証
・処分場：ソフト解析、安全性評価の実施
・処分場：結晶質岩系、堆積岩系岩盤でのコスト解析
・処分場：ＣＡＥシステムの導入と運用
・処分場：実規模試験による処分場設計の確証

・人工バリア：要求機能の抽出
・人工バリア：材料の力学、熱、水理特性のデータ採取
・人工バリア：候補材の選出
・人工バリア：既存コードの改良
・人工バリア：３連成コードの開発
・人工バリア：設計解析（熱、応力、水理、放射線量解析）
・人工バリア：設計仕様の設定
・人工バリア：設計環境条件の把握
・人工バリア：設計機器の調査
＊・人工バリア：試験項目抽出（腐食試験、等）
＊・人工バリア：計測方法の検討
＊・人工バリア：試験計画の作成
＊・人工バリア：データ取得、及び、解析
・人工バリア：最適設計手法の開発
・人工バリア：動的解析手法の開発
・人工バリア：実験データの分析、解析、確証
・人工バリア：実規模試験の実施
・人工バリア：設計スペックの作成

＊・人工バリア製作技術：オーバーパックの試作
＊・人工バリア製作技術：緩衝材の試作
・人工バリア製作技術：仕様の作成

・処分場建設：建設に関する施工検討
・処分場建設：操業に関する施工検討
・処分場建設：閉鎖技術の開発
・処分場建設：掘削に関する検討
・処分場建設：支保に関する検討

・処分場建設：掘削と支保の施工機械の検討
・処分場建設：施工管理システムの開発
・処分場建設：埋め戻し、プラグ、グラウト検討
・処分場建設：地下研究での小規模試験
・処分場建設：地下研究での大規模試験

以上が、処分技術分野でのクリティカルな作業である。　①と同様に、平成８年、１５年において繰り返し表れる（詳細になる）作業は＊をつけて表わしてある。

③：性能評価研究

・AREST-PNCバージョン作成
・緩衝材中の核種移行に係わる補足データ整理
・概括的入力データセット作成
・感度解析
・第１次評価結果の取りまとめ
・第１次比較分析
・コード間のインタフェース開発
・感度解析手法、及び、範囲の決定
・感度解析の実施、ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞのﾊﾟﾗﾒﾀ重要度の分類
・ソフトウェアの開発
・基本ケース、主要な変動ケースのｸﾞﾗﾌｨｯｸｼｭﾐﾚｰｼｮﾝ

以上が、性能評価研究でのクリティカルな作業である。　前の２つに比べて、極端に数が少ないのは次の理由によるものである。

Ａ）平成８年、１５年報告においては、もともと１～５年程度の作業が多かったため、スケジュール解析を行なう前に９０日程度の期間短縮を行なった。

Ｂ）最もアクティビティ数が多い分野であるため、全体を把握し易く、且つ、スケジュールが収束し易くする（ＰＪ終了日が平成１６年３月末に納まる）べく、リレーションを単純化した。

Ｃ）繰り返し作業が発生せず、従って、先の２つとはまったく異なったネットワーク構造をもつため。

これらの点のうち、Ａ）とＢ）はスケジュール解析の最も初期段階にのみ許される便宜的な手段であり、本来のスケジュール解析からはずれている。　スケジュールの更新、見直し時には本来の流れ・実状にあった形に設定し直すのが望ましい。

２．２．ネットワークの改善案

研究管理において、報告書の作成は「研究の終了」ではないが、「成果の報告」であると同時に以後の研究の存続の是非を問われるものである。従って、報告書の作成の時期を固定させ、成果の有無と是非を判断することを前提として、スケジュールを作成しているため、クリティカルになっているアクティビティが多い。　　また、研究という作業の特殊性から、ある研究成果が他の研究作業に対して、互いに並行的、且つ、独立的であったり、または、急に関係が生じたりする事がある。　　後者の例は今後平成３年、８年の見直し時にいくつか発生すると予想されるものの、今回の分析では前者の例が多く、多数のパスが長期間にわたって独立的に存在しるものが多いため、先の章で述べたような多くのアクティビティがクリティカルになっている。　　最後に、動燃殿の「特殊法人」的な性格からして、年度単位に研究を見積っている傾向があり、長期的な研究項目はおしなべて半年、１年、といった単位に期間を見積っている傾向がある。

これに対し、以下のような対策が考えられる。

－クリティカルなアクティビティを優先し、遅らせても構わないものは極力後ろへずらせる。

－他のアクティビティに対して、独立であり、且つ、クリティカルとなるアクティビティは作業そのものを見直し、全体のネットワークの中での意味付けを確認の上、期間を短縮化する。

－分析評価のアクティビティの数を増やし、それら１つ１つの作業期間を短くしてスケジュール上のメリハリを出す。

－同様に、５年以上の作業期間を取っているアクティビティを分割し、分割された個々の作業に対し作業期間の短縮化を図ると共に、全体的なアクティビティに余裕ができるようにする。。

－近未来のアクティビティ（特に平成３年度報告）についてはできる限り、実現可能な範囲でアクティビティの期間設定、リレーションの関係付け（並行作業化）を行なう。

－中長期的なアクティビティのうち、予算年度対応に見積っているものに対し、できる限り、「成果物」対応にアクティビティを見直してもらい、再構成を図る。

3．今後のスケジュール管理に対する提言

3．1．スケジュール更新の頻度

スケジュールの更新とは「スケジュールのアクティビティの数やリレーションを変更する事なく現在の実績情報を収集しフォローする事」であり、動燃殿の場合、1年に3回程度が望ましいと思われる。

3．2．再スケジュールのタイミング、留意事項

再スケジュールとは「プロジェクトを最終的に成功させるために、今までの実績（世界情勢や住民の対応、等を含む）をもとに問題点や遅れを把握し、その対処を今後のスケジュール上に反映させることであり、実績のフォローだけでなく、アクティビティの追加、アクティビティのブレイクダウン、アクティビティ期間の見直し、リレーションの見直しなどを行なうこと」である。　動燃殿の場合、平成3、8年にこれらが行なわれるのは当然として、1～2年に1度行なうのが望ましい。

また、再スケジュールの留意事項としては先の「ネットワークの改善」で述べた対策、及び、以下のものが挙げられる。

・年度予算の関係でスケジュールが遅れても、それが対外的に了承されたものは見直しが（年1回）必要となる。

・現在作業中であるにもかかわらず、作業のブレイクダウンが大きすぎるものは早い段階（できれば平成3年報告以前に）詳細化を行なう。これには、以下のようなものが対象となる。

－地質環境分野のすべてのデータ取得作業
－地質環境分野のすべての機器設計・製作作業
－地質環境分野のすべての長期予測解析・評価作業

－処分技術開発のすべての基本設計のうち、手法開発の作業
－処分技術開発のすべての最適設計

－性能評価研究のすべてのダイレクトシュミレーション作業
－性能評価研究のすべての現実的概念モデル作成作業
－性能評価研究のすべての核種移行詳細解析モデル開発作業
－性能評価研究のすべてのトレーサ関係作業

また、作業中でなくともブレイクダウンが大きすぎるもの（特に平成3年報告直後に始まる作業）は同様に、詳細化を行なう。

・現在、スケジュールのもととなった動燃殿作成の「総合工程表」中で、既に、1ワークパッケージが2つ以上のものに詳細分割されているものは早い段階でこれに対応したＷＢＳを設定し、ブレイクダウンを図る。　このとき、期間に注意し、個々の作業の期間の合計が元のワークパッケージの期間をオーバーするようなら、作業順序を調整する。

３．３．その他の留意事項

前述以外にスケジュール管理業務として留意すべき事項は以下の通りである。

・スケジュール全体は、作業を管理してプロジェクト終了日までに所定の成果を挙げるという面よりもあるべき作業をとりあえず並べた、という面と、各研究グループの予測する通りの作業期間を時間軸上に割り振った、という面、及び、予算取得をかなり意識した面が強い。
従って、第１義的な「管理」の側面が必ずしも反映されておらず、少なくとも近未来の作業についてはより現実的なスケジュールに修正して行くべきである。　また、中長期的な作業についても現実的な要素が強くなった時点で、スケジュールにその旨を反映させて行くべきであろう。

４．添付資料

（１）ＦＷＢＳ一覧表

（２）ＰＣＷＢＳ一覧表

（３）ワークパッケージ一覧表

（４）バーネット図

注意：添付の資料は平成２年７月時に実際の作業を行なったものであるが、最終出力は９月に行なっている。　このとき、仕掛かり（作業）中の作業は７月１日時点での進捗しか入力されていないため、約３カ月のずれ込みを表示している部分がある。　これらはすべて出力時の時間のずれが原因であることを強調しておく。

<< ＰＣＷＢＳ一覧表 （ＰＣＷＢＳコード順） >>

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
A	1			
A1	2	工学システム		
A11	3	処分場		
A111	4	土木構造物		
A112	4	建設・操業・閉鎖システム		
A1121	5	建設システム		
A1122	5	操業システム		
A1123	5	閉鎖システム		
A11231	6	埋戻し材		
A11232	6	プラグ		
A11233	6	グラウト		
A113	4	サイト条件		
A12	3	人工バリアシステム		
A121	4	人工バリア		
A122	4	周辺地質環境条件		
A2	2	処分技術		
A21	3	人工バリア関連技術		
A211	4	オーバーパック関連技術		
A2111	5	溶接技術		
A21111	6	炭素鋼の溶接技術		
A21112	6	その他の材料の溶接技術		
A2112	5	オーバーパック製作技術		
A2113	5	セラミックオーバーパック製作技術		
A2114	5	その他材質のオーバーパック製作技術		
A212	4	緩衝材関連技術		
A2121	5	ベントナイト混合材料ブロック製作技術		
A2122	5	ベントナイトブロック形状制御技術		
A2123	5	ベントナイト系緩衝材製作技術		
A2124	5	その他の材質の緩衝材製作技術		
A213	4	施工技術		
A2131	5	オーバーパック定置技術		
A2132	5	緩衝材定置技術		
A22	3	処分場関連技術		
A221	4	建設技術		
A2211	5	掘削技術		
A2212	5	支保技術		
A2213	5	建設用機器		
A2214	5	施工管理		
A222	4	操業技術		
A223	4	閉鎖技術		
A2231	5	閉鎖施工技術		
A22311	6	埋戻し技術		
A22312	6	プラグ技術		
A22313	6	グラウト技術		
A2232	5	モニタリング		
B	1			
B1	2	地層処分に関するわが国の自然社会条件		
B11	3	自然条件		
B111	4	廃棄物隔離性能評価の影響解析に必要なデータ		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
B1111	5	イヤグラムに対応するデータ		
B11111	6	源の存在確率		
B11112	6	動の発生確率分布		
B11113	6	来の確率		
B11114	6	と発生の確率		
B11115	6	度のルの確率		
B1112	5	力データ(1)		
B1113	5	力データ(2)		
B112	4	性能評価研究に必要な地質環境特性		
B1121	5	テータ		
B11211	6	ータ		
B112111	7	率		
B112112	7			
B112113	7	量		
B112114	7	布		
B112115	7	率		
B112116	7			
B11212	6	タ		
B112121	7			
B112122	7			
B112123	7			
B112124	7			
B112125	7			
B1122	5			
B11221	6			
B112211	7			
B112212	7			
B112213	7			
B112214	7			
B11222	6			
B112221	7			
B112222	7			
B112223	7			
B112224	7			
B1123	5			
B11231	6			
B112311	7			
B112312	7			
B112313	7			
B112314	7			
B112315	7			
B11232	6			
B112321	7			
B112322	7			
B112323	7			
B112324	7			
B112325	7			
B112326	7			
B1123261	8			
B1123262	8			

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
B1123263	8	地形形状		
B1123264	8	地表流出量		
B1124	5	地球化学のデータ		
B11241	6	鉱物組成（亀裂内充填鉱物含む）		
B11242	6	地下水のＥｈ		
B11243	6	地下水のｐＨ		
B11244	6	Ｃｌ濃度		
B11245	6	ＳＯ4濃度		
B11246	6	Ｆ濃度		
B11247	6	ＣＯ3濃度		
B11248	6	ＨＣＯ3濃度		
B11249	6	溶存酸素濃度		
B1124A	6	ＰＯ4濃度		
B1124B	6	ＳｉＯ2濃度		
B1124C	6	Ｆｅ2+，Ｆｅ3+濃度		
B1124D	6	その他相対的に高濃度のイオン濃度		
B1124E	6	疑似コロイドの粒径分布		
B1124F	6	微生物、有機物についての情報		
B1125	5	その他のデータ		
B114	4	収納岩体（母岩）		
B1141	5	岩種		
B1142	5	鉱物組成・組織		
B1143	5	異種岩体（岩脈など）の存在		
B1144	5	地球化学的条件（成分）		
B1145	5	変質鉱物／変質分帯		
B11451	6	熱水変質によるもの		
B11452	6	風化によるもの		
B1146	5	力学的特性		
B11461	6	圧縮強度		
B11462	6	引張強度		
B11463	6	せん断強度		
B11464	6	変形特質（クリープ特性）		
B11465	6	地圧		
B11466	6	動的特性		
B1147	5	基本物性		
B11471	6	密度		
B11472	6	空隙率		
B1148	5	熱特性		
B11481	6	熱伝導率		
B11482	6	比熱		
B11483	6	熱膨張率		
B11484	6	地温勾配		
B11485	6	熱流量		
B1149	5	地質構造		
B11491	6	断層破砕帯		
B11492	6	節理		
B11493	6	層序		
B11494	6	褶曲構造		
B11495	6	その他		
B115	4	水理地質		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
B1151	5	透水係数		
B1152	5	空隙率		
B1153	5	支配的な地下水移行経路（チャンネリング／パイプ）		
B1154	5	水資源の利用		
B116	4	地下水流動		
B1161	5	動水勾配／ポテンシャル分布		
B1162	5	流線		
B1163	5	流向・流速・流量		
B117	4	地下水の地球化学		
B1171	5	成分		
B1172	5	ｐＨ		
B1173	5	ＥＨ		
B1174	5	温度		
B118	4	地殻変動		
B1181	5	隆起／沈降		
B1182	5	水平変位		
B1183	5	応力		
B1184	5	地震		
B1185	5	活断層		
B1186	5	活褶曲		
B1187	5	海水準変動		
B119	4	資源		
B12	3	社会条件		
B121	4	人口分布		
B122	4	土地利用		
B123	4	水利用		
B124	4	農業活動		
B125	4	漁業活動		
B126	4	交通		
C	1			
C1	2	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響		
C11	3	ニアフィールド現象		
C111	4	ニアフィールド条件		
C1111	5	熱的条件		
C11111	6	ガラス固化体の発熱		
C11112	6	ニアフィールド内の熱伝達		
C11113	6	地温の影響		
C1112	5	応力条件		
C11121	6	緩衝材の膨潤		
C11122	6	ニアフィールド内の応力分布の再配分		
C11123	6	地圧、水圧の影響		
C1113	5	放射線学的条件		
C11131	6	ガラス固化体からの放射線の発生		
C11132	6	ニアフィールド内での放射線の遮蔽、減衰		
C1114	5	地球化学的条件		
C11141	6	周辺母岩／地下水反応		
C11142	6	放射線分解に伴う変化		
C1115	5	水理条件		
C1116	5	熱－応力－水理連成プロセス		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C112	4	ニアフィールドからの核種放出に直接係わる現象		
C1121	5	人工バリアシステムへの地下水の流入		
C11211	6	緩衝材の含水		
C11212	6	地下水とのアバリアの反応に伴う人工バリア材の変質		
C11213	6	人工バリア材との反応に伴う地下水の化学的性状変化		
C1122	5	オーバーパックの劣化・破損		
C11221	6	オーバーパックの腐食（溶接部含む		
C112211	7	炭素鋼の腐食		
C1122111	8	全面腐食		
C11221111	9	酸素消費型全面腐食		
C11221112	9	水素発生型全面腐食		
C1122112	8	局部腐食		
C11221121	9	バクテリア腐食		
C11221122	9	応力腐食割れ		
C11221123	9	マクロセルの形成		
C11221124	9	孔食		
C112211241	0	酸素消費型孔食		
C112211242	0	水素発生型孔食		
C112212	7	チタンの腐食		
C112213	7	銅の腐食		
C11222	6	オーバーパック、キャニスタの腐食に伴う地下水性状		
C11223	6	腐食に対する微生物の影響		
C11224	6	腐食に対する有機物の影響		
C11225	6	腐食に伴うガス発生		
C112251	7	水素ガス発生		
C112252	7	ガス発生の影響		
C1122521	8	水素ガスの蓄積・放出		
C1122522	8	水素ガスの腐食へのの影響		
C1122523	8	水素ガス放出後のニアフィールド水理への影響		
C1123	4	ガラス固化体からの核種放出		
C11231	5	ガラスの溶解		
C112311	6	選択的浸出		
C112312	6	ガラスマトリックスの溶解		
C112313	6	溶解したガラス成分の沈澱		
C112314	6	溶解したガラス成分の物質移動		
C112315	6	ガラス溶解による地下水性状の変化		
C11232	5	核種の溶解		
C112321	6	代表的アクチニドの溶解		
C1123211	7	Ｐｕの溶解		
C11232111	8	固相中のＰｕの化学形態の影響		
C11232112	8	液相中のligandの影響		
C11232113	8	Ｅｈの影響		
C11232114	8	ｐＨの影響		
C11232115	8	イオン強度の影響		
C1123212	7	Ｎｐの溶解		
C11232121	8	固相中のＮｐの化学形態の影響		
C11232122	8	液相中のligandの影響		
C11232123	8	Ｅｈの影響		
C11232124	8	ｐＨの影響		
C11232125	8	イオン強度の影響		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C1123213	7	Ａｍの溶解		
C11232131	8	固相中のＡｍの化学形態の影響		
C11232132	8	液相中のligandの影響		
C11232133	8	Ｅｈの影響		
C11232134	8	ｐＨの影響		
C11232135	8	イオン強度の影響		
C1123214	7	Ｔｈの溶解		
C11232141	8	固相中のＴｈの化学形態の影響		
C11232142	8	液相中のligandの影響		
C11232143	8	Ｅｈの影響		
C11232144	8	ｐＨの影響		
C11232145	8	イオン強度の影響		
C1123215	7	Ｕの溶解		
C11232151	8	固相中のＵの化学形態の影響		
C11232152	8	液相中のligandの影響		
C11232153	8	Ｅｈの影響		
C11232154	8	ｐＨの影響		
C11232155	8	イオン強度の影響		
C112322	7	その他のアクチニドの溶解		
C1123221	8	Ｃｍの溶解		
C1123222	8	Ｐａの溶解		
C1123223	8	Ａｃの溶解		
C1123224	8	Ｒａの溶解		
C1123225	8	Ｐｏの溶解		
C1123226	8	Ｐｂの溶解		
C1123227	8	Ｂｉの溶解		
C112323	7	核分裂生成物の溶解		
C1123231	8	Ｃｓの溶解		
C11232311	9	固相中のＣｓの化学形態の影響		
C11232312	9	液相中のligandの影響		
C11232313	9	Ｅｈの影響		
C11232314	9	ｐＨの影響		
C11232315	9	イオン強度の影響		
C1123232	8	Ｓｎの溶解		
C11232321	9	固相中のＳｎの化学形態の影響		
C11232322	9	液相中のligandの影響		
C11232323	9	Ｅｈの影響		
C11232324	9	ｐＨの影響		
C11232325	9	イオン強度の影響		
C1123233	8	Ｔｃの溶解		
C11232331	9	固相中のＴｃの化学形態の影響		
C11232332	9	液相中のligandの影響		
C11232333	9	Ｅｈの影響		
C11232334	9	ｐＨの影響		
C11232335	9	イオン強度の影響		
C1123234	8	Ｓｅの溶解		
C11232341	9	固相中のＳｅの化学形態の影響		
C11232342	9	液相中のligandの影響		
C11232343	9	Ｅｈの影響		
C11232344	9	ｐＨの影響		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C11232345	9	イオン強度の影響		
C1123235	8	Ｚｒの溶解		
C11232351	9	固相中のＺｒの化学形態の影響		
C11232352	9	液相中のligandの影響		
C11232353	9	Ｅｈの影響		
C11232354	9	ｐＨの影響		
C11232355	9	イオン強度の影響		
C1123236	8	Ｐｄの溶解		
C11232361	9	固相中のＰｄの化学形態影響ソ		
C11232362	9	液相中のligandの影響		
C11232363	9	Ｅｈの影響		
C11232364	9	ｐＨの影響		
C11232365	9	イオン強度の影響		
C1123237	8	その他のＦ．Ｐ．の溶解		
C11232371	9	Ｓｎの溶解		
C11232372	9	Ｓｂの溶解		
C11233	5	コロイドとしての核種溶出		
C11234	6	微生物・有機物が核種溶解に及ぼす影響		
C1124	4	人工バリア中の核種移行		
C11241	5	オーバーパックの沈降による核種移行距離短縮		
C11242	5	緩衝材中の核種の移流、分散		
C11243	5	緩衝材中の核種の拡散(Diffusion)		
C112431	6	アクチニドの拡散		
C1124311	7	Ｐｕの拡散		
C1124312	7	Ｎｐの拡散		
C1124313	7	Ａｍの拡散		
C1124314	7	Ｔｈの拡散		
C1124315	7	Ｕの拡散		
C1124316	7	その他のアクチニドの拡散		
C11243161	8	Ｃｍの拡散		
C11243162	8	Ｐａの拡散		
C11243163	8	Ａｃの拡散		
C11243164	8	Ｒａの拡散		
C11243165	8	Ｐｏの拡散		
C11243166	8	Ｐｂの拡散		
C11243167	8	Ｂｉの拡散		
C112432	6	核分裂生成物の拡散		
C1124321	7	Ｃｓの拡散		
C1124322	7	Ｓｎの拡散		
C1124323	7	Ｔｃの拡散		
C1124324	7	Ｓｅの拡散		
C1124325	7	Ｚｒの拡散		
C1124326	7	Ｐｄの拡散		
C1124327	7	その他の核分裂生成物の拡散		
C11243271	8	Ｓｎの拡散		
C11243272	8	Ｓｂの拡散		
C11244	5	核種と緩衝材表面、空隙水との相互作用		
C11245	5	緩衝材への核種吸着		
C112451	6	アクチニドの吸着		
C1124511	7	Ｐｕの吸着		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C11245111	8	イオン交換による吸着		
C112451111	9	化学形態の影響		
C112451112	9	緩衝材の成分の影響		
C112451113	9	地下水組成の影響		
C112451114	9	温度影響		
C11245112	8	表面錯体生成による吸着		
C112451121	9	化学形態の影響		
C112451122	9	緩衝材の成分の影響		
C112451123	9	地下水組成の影響		
C112451124	9	温度影響		
C11245113	8	その他の機構による吸着		
C1124512	7	Ｎｐの吸着		
C11245121	8	イオン交換による吸着		
C112451211	9	化学形態の影響		
C112451212	9	緩衝材の成分の影響		
C112451213	9	地下水組成の影響		
C112451214	9	温度影響		
C11245122	8	表面錯体生成による吸着		
C112451221	9	化学形態の影響		
C112451222	9	緩衝材の成分の影響		
C112451223	9	地下水組成の影響		
C112451224	9	温度影響		
C11245123	8	その他の機構による吸着		
C1124513	7	Ａｍの吸着		
C11245131	8	イオン交換による吸着		
C112451311	9	化学形態の影響		
C112451312	9	緩衝材の成分の影響		
C112451313	9	地下水組成の影響		
C112451314	9	温度影響		
C11245132	8	表面錯体生成による吸着		
C112451321	9	化学形態の影響		
C112451322	9	緩衝材の成分の影響		
C112451323	9	地下水組成の影響		
C112451324	9	温度影響		
C11245133	8	その他の機構による吸着		
C1124514	7	Ｔｈの吸着		
C11245141	8	イオン交換による吸着		
C112451411	9	化学形態の影響		
C112451412	9	緩衝材の成分の影響		
C112451413	9	地下水組成の影響		
C112451414	9	温度影響		
C11245142	8	表面錯体生成による吸着		
C112451421	9	化学形態の影響		
C112451422	9	緩衝材の成分の影響		
C112451423	9	地下水組成の影響		
C112451424	9	温度影響		
C11245143	8	その他の機構による吸着		
C1124515	7	Ｕの吸着		
C11245151	8	イオン交換による吸着		
C112451511	9	化学形態の影響		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C112451512	9	緩衝材の組成の影響		
C112451513	9	地下水の組成の影響		
C112451514	9	温度の影響		
C11245152	8	表面の錯体生成による吸着		
C112451521	9	化学形態の影響		
C112451522	9	緩衝材の組成の影響		
C112451523	9	地下水の組成の影響		
C112451524	9	温度の影響		
C11245153	8	その他の機構による吸着		
C1124516	7	その他のアクチニドの吸着		
C11245161	8	Ｃｍの吸着		
C11245162	8	Ｐａの吸着		
C11245163	8	Ａｃの吸着		
C11245164	8	Ｒａの吸着		
C11245165	8	Ｐｏの吸着		
C11245166	8	Ｐｂｉの吸着		
C11245167	8	Ｂｉ分裂生成物の吸着		
C112452	6	核分裂生成物の吸着		
C1124521	7	Ｃｓの吸着		
C11245211	8	イオン交換による吸着		
C112452111	9	化学形態の影響		
C112452112	9	緩衝材の組成の影響		
C112452113	9	地下水の組成の影響		
C112452114	9	温度の影響		
C11245212	8	表面の錯体生成による吸着		
C112452121	9	化学形態の影響		
C112452122	9	緩衝材の組成の影響		
C112452123	9	地下水の組成の影響		
C112452124	9	温度の影響		
C11245213	8	その他の機構による吸着		
C1124522	7	Ｓｎの吸着		
C11245221	8	イオン交換による吸着		
C112452211	9	化学形態の影響		
C112452212	9	緩衝材の組成の影響		
C112452213	9	地下水の組成の影響		
C112452214	9	温度の影響		
C11245222	8	表面の錯体生成による吸着		
C112452221	9	化学形態の影響		
C112452222	9	緩衝材の組成の影響		
C112452223	9	地下水の組成の影響		
C112452224	9	温度の影響		
C11245223	8	その他の機構による吸着		
C1124523	7	Ｔｃの吸着		
C11245231	8	イオン交換による吸着		
C112452311	9	化学形態の影響		
C112452312	9	緩衝材の組成の影響		
C112452313	9	地下水の組成の影響		
C112452314	9	温度の影響		
C11245232	8	表面の錯体生成による吸着		
C112452321	9	化学形態の影響		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C112452322	9	緩衝材組成の影響		
C112452323	9	地下水組成の影響		
C112452324	9	温度影響		
C11245233	8	その他の吸着機構による吸着		
C1124524	7	Ｓｅイオン形態の影響		
C11245241	8	交換による吸着		
C112452411	9	化学形態の影響		
C112452412	9	緩衝材組成の影響		
C112452413	9	地下水組成の影響		
C112452414	9	温度影響		
C11245242	8	表面錯体生成による吸着		
C112452421	9	化学形態の影響		
C112452422	9	緩衝材組成の影響		
C112452423	9	地下水組成の影響		
C112452424	9	温度影響		
C11245243	8	その他の吸着機構による吸着		
C1124525	7	Ｚｒイオン形態の影響		
C11245251	8	交換による吸着		
C112452511	9	化学形態の影響		
C112452512	9	緩衝材組成の影響		
C112452513	9	地下水組成の影響		
C112452514	9	温度影響		
C11245252	8	表面錯体生成による吸着		
C112452521	9	化学形態の影響		
C112452522	9	緩衝材組成の影響		
C112452523	9	地下水組成の影響		
C112452524	9	温度影響		
C11245253	8	その他の吸着機構による吸着		
C1124526	7	Ｐｄイオン形態の影響		
C11245261	8	交換による吸着		
C112452611	9	化学形態の影響		
C112452612	9	緩衝材組成の影響		
C112452613	9	地下水組成の影響		
C112452614	9	温度影響		
C11245262	8	表面錯体生成による吸着		
C112452621	9	化学形態の影響		
C112452622	9	緩衝材組成の影響		
C112452623	9	地下水組成の影響		
C112452624	9	温度影響		
C11245263	8	その他の吸着機構による吸着		
C1124527	7	その他の核分裂生成物の吸着		
C11245271	8	Ｓｎの吸着		
C11245272	8	Ｓｂの吸着		
C1125	4	母岩中の核種移行		
C11251	5	移流		
C11252	5	分散		
C11253	5	マトリクス拡散		
C11254	5	吸着／沈澱		
C1126	5	微生物・有機物の影響		
C12	3	ファーフィールド現象		

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C121	4	ファーフィールド条件		
C1211	5	広域地下水流動（ファーフィールド水理）		
C12111	6	水の流入		
C121111	7	降雨		
C121112	7	隣接する水系からの水の流入		
C12112	6	地下水の浸透		
C121121	7	結晶質岩系での浸透		
C121122	7	堆積岩系での浸透		
C12113	6	水の流出		
C121131	7	隣接する地表水系への流出		
C121132	7	隣接する地下水系への流出		
C121133	7	地表からの蒸発		
C1212	5	地球化学的条件		
C12121	6	岩石と地下水との化学反応		
C12122	6	地下水流動の影響		
C122	4	ファーフィールド中の核種移行		
C1221	5	二重連続媒体中での核種移行		
C12211	6	微小亀裂中での核種移行を考慮した特性の一体的考察		
C122111	7	単一亀裂中のチャンネリングを伴う移流・分散		
C122112	7	亀裂ネットワークによるチャンネリングを伴う移流・分散		
C122113	7	亀裂中での核種の吸着		
C1221131	8	亀裂表面への核種吸着		
C12211311	9	Ｎｐの吸着		
C12211312	9	ＵＡｍの吸着		
C12211313	9	Ａｍの吸着		
C12211314	9	ＡＰｕの吸着		
C12211315	9	Ｐｕｈの吸着		
C12211316	9	ｈのアクチニドの吸着		
C12211317	9	ＳｅＳｅの吸着		
C12211318	9	ＳＰｄの吸着		
C12211319	9	ＴＣｄの吸着		
C1221131A	9	ＣｓＣｓの吸着		
C1221131B	9	ＳｎＳｎの吸着		
C1221131C	9	その他のＦ．Ｐ．の吸着		
C1221132	8	亀裂内充填物への核種吸着		
C12211321	9	Ｎｐの吸着		
C12211322	9	ＵＡｍの吸着		
C12211323	9	Ａｍの吸着		
C12211324	9	ＡＰｕの吸着		
C12211325	9	Ｐｕｈの吸着		
C12211326	9	ｈのアクチニドの吸着		
C12211327	9	ＳｅＳｅの吸着		
C12211328	9	ＳＰｄの吸着		
C12211329	9	ＴＣｄの吸着		
C1221132A	9	ＣｓＣｓの吸着		
C1221132B	9	ＳｎＳｎの吸着		
C1221132C	9	その他のＦ．Ｐ．の吸着		
C1221133	8	鉱物化		
C1221134	8	不可逆的吸着		
C122114	7	コロイドとしての移行		

<< ＰＣＷＢＳ一覧表（ＰＣＷＢＳコード順）>>

OD-A021

PCWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
C12212	6	微視的特性を考慮したマトリクス拡散		
C122121	7	マトリクス中の移流、分散		
C122122	7	マトリクス中の拡散		
C122123	7	岩体マトリクスへの収着		
C1221231	8	Ｎｐの収着		
C1221232	8	ＵＶＩの収着		
C1221233	8	Ａｍの収着		
C1221234	8	ＰｕＶＩの収着		
C1221235	8	Ｔｈの収着		
C1221236	8	その他のアクチニドの収着		
C1221237	8	Ｓｅの収着		
C1221238	8	ＰｄＶＩの収着		
C1221239	8	Ｔｃの収着		
C122123A	8	ＣｓＶＩの収着		
C122123B	8	Ｓｎの収着		
C122123C	8	その他のＦ．Ｐ．の収着		
C122123D	8	鉱物化		
C122123E	8	不可逆的吸着		
C122124	7	コロイドとしての移動		
C12213	6	巨視的特性を考慮した核種移行・吸着		
C122131	7	経流（選択的流路の形成）		
C122132	7	分散		
C122133	7	吸着		
C122134	7	マトリクス拡散		
C12214	6	核種の化学形変化		
C12215	6	移行途中で核種の生成、消滅		
C1222	5	連続媒体中での核種移行		
C1223	5	地表水系の核種移行		
C13	3	システムの性能		
C2	3	地下水以外の移行媒体による間接的影響		
C3	2	廃棄物の隔離性		
C31	3	廃棄物の直接放出に係わる事象の発生確率		
C311	4	発端事象の発生確率		
C312	4	重要な後続事象の発生確率		
C313	4	その他の事象の継起確率		
C32	3	廃棄物の直接放出に係わる事象のリスク		

584 records selected.

<< ＦＷＢＳ一覧表 （ＦＷＢＳコード順） >>

OD-A011

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
1	1	高レベル廃棄物についての対処の必要性明示		
11	2	高レベル廃棄物の危険性明示		
111	3	放射線的性質		
1111	4	放射線量		
1112	4	放射線強度		
1113	4	毒性		
1114	4	発熱量		
112	3	化学的毒性		
12	2	高レベル廃棄物の対処の至急性の検討		
121	3	発生プロセス調査		
122	3	発生量調査		
1221	4	発生箇所		
13	2	資源的価値		
2	1	地層処分研究開発の重要性明示		
21	2	対処方法の概要		
22	2	技術的実現性		
221	3	現状技術レベル		
222	3	技術的課題		
223	3	必要な研究開発期間		
224	3	研究開発費用		
23	2	安全性		
231	3	放射線的安全性		
232	3	非放射線的安全性		
24	2	経済性		
25	2	放射性廃棄物対策全般との適合性		
26	2	重要資源消費		
27	2	環境への影響		
28	2	社会・経済的影響		
29	2	生態系への影響		
3	1	我が国の地層処分システムの概念明示		
31	2	長期の放射線防護目標		
32	2	安全確保の考え方		
321	3	放射線の経時変化への対応		
322	3	多重バリアの構成と役割		
4	1	地質環境調査		
41	2	データセット		
411	3	廃棄物隔離性能に係る調査		
4111	4	発生確率の調査		
4112	4	重要なシナリオの発生確率、影響の調査		
4113	4	シナリオ毎の生起確率、影響の総合的調査		
412	3	多重バリア性能に係る地質環境特性調査		
4121	4	重要な項目を考慮した地質環境特性の調査		
4122	4	結晶質岩系・堆積岩系それぞれに固有な特性を考慮した		
41221	5	地下研究施設等でのデータ取得		
41222	5	東濃鉱山でのデータ取得		
41223	5	釜石鉱山でのデータ取得		
41224	5	文献調査等によるデータ取得		

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
41225	5	リモートセンシング調査		
41226	5	得データの総合的解析、評価		
41227	5	地質環境データベースシステムの整備		
412271	6	シミュレーションシステム開発		
412272	6	シミュレーションシステム入力		
412273	6	シミュレーションシステム運用		
41228	5	人形峠環境研究施設でのデータ取得		
4123	4	地質環境特性の単元固有な特性を考慮した地質環境特性の調		
41231	5	地下深部地質環境研究施設でのデータ取得		
41232	5	東濃鉱山でのデータ取得		
41233	5	釜石鉱山でのデータ取得		
41234	5	人形峠地域でのデータ取得		
41235	5	深部地質環境調査		
412351	6	物理探査		
412352	6	試錐調査		
412353	6	水理試験・採水		
41236	5	水文調査等によるデータ取得		
41237	5	取得データの総合的解析・評価		
41238	5	地質環境データベースシステムの整備		
412381	6	シミュレーションシステム開発		
412382	6	シミュレーションシステム入力		
412383	6	シミュレーションシステム運用		
42	2	調査技術開発		
421	3	機器開発		
4211	4	水理試験用機器開発		
42111	5	シングルホール水理試験機の開発		
421111	6	国内での開発		
421112	6	海外での技術導入		
42112	5	孔間水理試験機の開発		
42113	5	トレーサ試験装置の開発		
4212	4	地下水一般化学調査用機器開発		
42121	5	採水装置の開発		
42122	5	原位置地球化学特性計測装置の開発		
42123	5	採水システムの開発		
42124	5	移動式分析車の開発		
422	3	解析・評価方法の開発		
4221	4	地表調査法の開発		
42211	5	精密電磁法の開発		
42212	5	精密重力調査法の開発		
4222	4	試錐孔を利用した地球物理調査法の開発		
42221	5	ボアホール機器開発		
422211	6	測定システム開発		
4222111	7	レーザージャイロ法の開発		
4222112	7	レーザーダイオード法の開発		
422212	6	処理技術開発		
42222	5	水理モデル構築		
422221	6	調査結果に基づくモデル構築		
422222	6	水理試験結果に基づくモデル構築		
422223	6	地球統計学的手法によるモデル構築		
42223	5	深部地質環境調査のための技術・手法の開発・改良		

<< ＦＷＢＳ一覧表 （ＦＷＢＳコード順） >>

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
422231	6	水圧破砕法の技術開発と適用試験		
422232	6	地殻応力測定技術開発と適用試験		
42224	5	天然現象の長期予測解析評価手法の開発		
422241	6	年代決定学的技術開発		
422242	6	地球化学的変動調査手法の開発よるデータ取得		
422243	6	地質環境解析評価技術開発		
43	2	モデルデータセットの開発		
5	1	処分技術開発		
51	2	シス定設計		
511	3	暫定仕様の概念設計		
5111	4	設計条件のの整備		
51111	5	要求機能のの抽出		
51112	5	設計データの取得		
51113	5	候補材料の選定		
51114	5	関連する他のシステムの要素の仕様設定		
5112	4	設計解析手法の開発		
51121	5	評価・解析手法の開発		
511211	6	既存コードの改良		
511212	6	新規コード開発		
51122	5	設計手法の検証		
51123	5	手法の検討		
5113	4	設計解析		
51131	5	設計仕様設定		
51132	5	建設・操業・閉鎖スケジュール設定		
51133	5	閉鎖前安全評価		
5114	4	経済性評価		
5115	4	ＣＡＥシステム開発		
5116	4	設計解析サブシステムの開発		
51161	5	地質情報サブシステム・データベースサブシステムの開発		
51162	5	一般仕様の基本設計		
512	3	設計条件の整備		
5121	4	候補材料の選定		
51211	5	設計データの取得		
51212	5	関連する他のシステム要素の仕様設定		
51213	5	設計解析手法の開発		
5122	4	解析手法開発		
51221	5	コードの確証		
512211	6	設計手法の開発		
512212	6	設計評価手法の開発		
51222	5	設計検討		
51223	5	基礎試験データに基づく検討		
5123	4	設計解析		
51231	5	一般仕様の設定		
51232	5	閉鎖前安全評価		
51233	5	経済性評価		
5124	4	ＣＡＥシステムの導入・運用		
5125	4	地下研究施設等における基礎試験		
5126	4			
5127	4			

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
51271	5	事前調査		
512711	6	設計条件の把握		
512712	6	設計環境調査		
51272	5	試験機器の抽出		
512721	6	小規模試験項目の抽出		
512722	6	中規模試験項目の抽出		
512723	6	実規模試験項目の抽出		
51273	5	計測方法の検討		
512731	6	小規模試験		
512732	6	中規模試験		
512733	6	実規模試験		
51274	5	試験計画の作成		
512741	6	小規模試験計画の作成		
512742	6	中規模試験計画の作成		
512743	6	実規模試験計画の作成		
51275	5	データの試験取得及び解析		
512751	6	小規模試験		
512752	6	中規模試験		
512753	6	実規模試験		
513	3	合理的仕様の整備		
5131	4	設計条件の整備		
51311	5	設計データ整備		
51312	5	基礎試験データ整備		
5132	4	設計解析手法の開発		
51321	5	最適設計手法の開発		
51322	5	動的解析手法の開発		
5133	4	設計検討		
51331	5	実験結果の検討		
51332	5	設計解析		
51333	5	合理的仕様の設定		
5134	4	確認試験		
5135	4	閉鎖前安全評価		
5136	4	経済性評価		
5137	4	ＣＡＳＥシステムの運用・確立		
5138	4	システム設計指針の作成		
52	2	実現可能性の評価		
521	3	暫定仕様のシステムに対する実現可能性の評価		
5211	4	試作による評価		
5212	4	現状技術の実績に基づく評価		
52121	5	作業手順の評価		
52122	5	使用機器の評価		
522	3	一般仕様のシステムに対する実現可能性の評価		
5221	4	試作による評価		
52211	5	小規模試験		
52212	5	中規模試験		
522121	6	原位置中規模試験		
522122	6	室内中規模試験		
52213	5	実規模モデルの試作（地下研究施設等）		
52214	5	事前検討		
523	3	合理的仕様に対する実現可能性の実証		

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
5231	4	実規模試験による実証		
52311	5	実施計画作成		
52312	5	試験実施		
52313	5	解析手法の確証		
52314	5	試験結果にもとづく技術の最適化		
52315	5	技術指針作成		
54	2	人工バリアシステムの製作施工技術の開発		
541	3	文献調査		
542	3	室内試験		
543	3	フィールド試験		
55	2	システム要件への適合性確認		
551	3	基本要件への適合性確認		
5511	4	処分対象廃棄物の総量		
5512	4	処分施設建設・操業・閉鎖スケジュール		
5513	4	処分対象廃棄物の溶解特性		
5514	4	処分場周辺環境の特性		
552	3	法規制要求への適合性確認		
553	3	安全要件への適合性確認		
5531	4	建設期間中の安全要件		
55311	5	作業者の安全性		
55312	5	長期的安全性		
5532	4	操業期間中の安全要件		
55321	5	作業者の安全性		
55322	5	長期的安全性		
5533	4	閉鎖期間中の安全要件		
55331	5	作業者の安全性		
55332	5	長期的安全性		
56	2	経済性評価		
561	3	研究開発費用		
562	3	資本投資（建設＋閉鎖）		
5621	4	処分場建設・操業シナリオの設定		
5622	4	経済性評価モデルの開発		
5623	4	データベース作成		
5624	4	評価の実施		
563	3	運転（操業）費用		
5631	4	運転操業シナリオの設定		
5632	4	経済性評価モデルの開発		
5633	4	データベース作成		
5634	4	評価の実施		
6	1	性能評価研究		
61	2	システム解析		
611	3	考慮すべき事象・プロセスの明確化		
6111	4	第１次事象・プロセスリストの確立		
61111	5	わが国の特徴にかかる情報収集		
61112	5	第１次事象・プロセスリストの作成		
61113	5	第１次事象・プロセスリストでの専門家間の合意形成		
611131	6	専門家によるレビュー		
611132	6	専門家コメント集約第１次事象・プロセスリスト改訂		
6112	4	事象・プロセスリストの見直し(1)		

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
61121	5	専門家グループによる第１次評価結果のレビュー		
61122	5	第１２象次象事象・プロセスリストについてのコメント集約		
61123	5	第次事プロセスの見直し(2)		
6113	4	事シナリオ明確化		
612	3	事象の関連の整理		
6121	4	事象間の関連についての文献調査（１）		
61211	5	事象間の関連についての文献調査（２）		
61212	5	専門家の約（１）		
61213	5	専門家の約（２）		
61214	5	第一二三一二象次次次イイイイプログラム作成		
61215	5	第一二三一二象次次次イイイイプログラム作成		
61216	5	第一二三一二象次次次イイイイプログラム作成		
61217	5	第一二象次次イイイプログラム作成		
61218	5	第一二象次次イイイプログラム作成		
61219	5	第一二象次次イイイプログラム作成		
6122	4	事象・プロセスと隔離性あるいは多重バリアシステム性		
61221	5	文献調査		
61222	5	専門家判断の集約		
61223	5	事象・プロセスと隔離性あるいは多重バリアシステム性		
6123	4	シナリオ設定		
61231	5	接続シナリオの設定		
612311	6	地下水移行シナリオの設定		
6123111	7	概括的なシナリオの設定		
61231111	8	概括的なシナリオにおける解析ケースの設定		
61231112	8	その他シナリオについての検討		
6123112	7	詳細シナリオの設定		
61231121	8	ニアフィールド詳細シナリオの設定		
612311211	9	実験室試験、及び装置設計		
612311212	9	試験装置製作		
612311213	9	試験実施		
612311214	9	ニアフィールド詳細シナリオ設定		
61231122	8	ファーフィールド詳細シナリオの設定		
612311221	9	ファーフィールド現象についてのシナリオの詳細化のた		
612311222	9	実験室試験、及び装置製作		
612311223	9	試験実施		
612311224	9	ファーフィールド詳細シナリオ設定		
612312	6	地下水移行媒体についてのシナリオ設定		
61232	5	接続シナリオの設定		
612321	6	直接放出シナリオの発端事象の明確化		
612322	6	重要な放出シナリオの設定		
612323	6	直接放出シナリオの網羅		
62	2	多重バリアシステム性能評価		
621	3	モデル開発		
6211	4	モデル開発用データ取得		
62111	5	室内試験によるデータ取得		
621111	6	試験装置設計		
621112	6	試験装置設計		
621113	6	試験の実施		
6211131	7	大気系での試験		
6211132	7	雰囲気制御下での試験		

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
6211133	7	試験結果の確認方法		
621114	6	試験結果のまとめ方法		
62112	5	フィルドテストによるデータ取得		
621121	6	東海地区の取得		
621122	6	釜石地区の取得		
621123	6	地下施設でのデータ取得		
621124	6	ＭＯＸ燃料の取得		
621125	6	ＡＥＣＬ研究のデータ取得		
621126	6	ＮＵＭＡＲＣ研究のデータ取得		
62113	5	ナチュラルアナログ研究によるデータ取得		
62114	5	文献調査データ取得		
6212	4	影響解析用データセット作成		
6213	4	概念モデル作成		
62131	5	概念モデル作成		
621311	6	保存概念モデルの明確化		
621312	6	概念モデル構築		
62132	5	詳細概念モデル作成		
621321	6	巨視的概念モデル作成		
621322	6	微視的概念モデル作成		
62133	5	変動シナリオ概念モデル作成		
6214	4	解析モデル作成		
62141	5	プロセスモデル作成		
621411	6	概括的プロセスモデル作成		
621412	6	詳細プロセスモデル作成		
6214121	7	手法調査		
6214122	7	手法決定		
6214123	7	コード開発		
6214124	7	既存コード導入		
6214125	7	既存コードの改良		
6214126	7	既存コードの改良		
62142	5	コンポーネントモデル作成		
621421	6	概括的コンポーネントモデル作成		
621422	6	詳細コンポーネントモデル作成		
6214221	7	手法調査		
6214222	7	手法決定		
6214223	7	コード開発		
6214224	7	既存コード導入		
6214225	7	既存コードの改良		
6214226	7	既存コードの改良		
62143	5	サブシステムモデル作成		
621431	6	ニアフィールド現象サブシステムモデル作成		
6214311	7	ＡＲＥＴＡ－ＮＣＰＰデザインバージョンの作成		
6214312	7	ＡＲＥＴＡ－ＮＣＰＰバージョンの作成		
6214313	7	ＡＲＥＴＡ－ＮＣＰＰシステムバージョンの作成		
6214314	7	その他の改良		
621432	6	ファーフィールド現象サブシステムモデル作成		
62144	5	統合モデル作成		
622	3	確証研究		
6221	4	個々のプロセスについての確証研究		
62211	5	個々のプロセスについての確証試験		

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
622111	6	確証試験計画		
622112	6	事前解析計画		
622113	6	設試備験設製作		
622114	6	試設備験製の実施		
622115	6	結果の取りまとめと評価手法		
622116	6	理論の適合性についての科学的判断		
622117	6	第一二三次次次の検検検討		
62212	5	長期的に依存性試験		
6222	4	時間に対する確証研究		
62221	5	第一二三次次次の検検検討		
622211	6	長期的に成立する評価手法の明示		
622212	6	第一二三次次次の検検検討		
622213	6	第一二三次次次の検検検討		
62222	5	長期的に対する確証試験		
622221	6	ナチュラルアナログ研究による確証		
622222	6	加速試験による確証		
6223	4	複合効果についての確証研究		
62231	5	相互作用を無視できるプロセスの組み合せ明示		
622311	6	第一二三次次次の検検検討		
622312	6	第一二三次次次の検検検討		
622313	6	第一二三次次次の検検検討		
62232	5	コンポーネントについての確証試験		
622321	6	原位置試験による確証		
622322	6	複合試験による確証		
6223221	7	確証試験計画		
6223222	7	事前解析計画		
6223223	7	設試備験設計		
6223224	7	試設備験製作		
6223225	7	設試備験実施		
6223226	7	結果のまとめと評価手法		
6223227	7	サンプルについての確証試験		
62233	5	確証試験計画		
622331	6	事前解析計画		
622332	6	設試備験設計		
622333	6	設試備験製作		
622334	6	試設備験実施		
622335	6	結果のまとめと評価手法の改良		
622336	6	データ取得		
622337	6	室内試験によるデータ取得		
623	3	概括的データ取得		
6231	4	体系的データ取得		
62311	5	試験計画		
62312	5	試験実施		
623121	6	補足データ取得		
623122	6	ナチュラルアナログによるデータ取得		
62313	5			
6232	4			

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
6233	4	フィールド試験によるデータ取得		
6234	4	文献データ整理		
62341	5	文献調査		
623411	6	各パラメータ値の整理		
623412	6	パラメータ間の相関の整理		
623413	6	回帰分析		
623414	6	感度解析		
62342	5	専門家の知見の集約		
6235	4	多重パラメータシステム性能評価用データセット作成		
62351	5	概念フィールド現象データセット作成		
623511	6	概念フィールドデータセット作成		
623512	6	体系フィールドデータセット作成		
623513	6	補足フィールドデータセット作成		
62352	5	フィールド現象データセット作成		
623521	6	保守フィールドデータセット作成		
623522	6	現実フィールドデータセット作成		
624	3	影響解析のための実システム性能解析の実施		
6241	4	多重パラメータ解析の実施		
62411	5	概念フィールド解析		
624111	6	基本フィールド解析		
6241111	7	上限値解析のための解析		
62411111	8	パラメータ値の解析		
62411112	8	基本シナリオの解析		
62411113	8	変動シナリオについての確認のための解析		
6241112	7	変動フィールドの解析（ニアフィールド）		
62411121	8	変動解析（１）		
62411122	8	変動解析（２）		
62411123	8	変動解析（３）		
624112	6	ファーフィールド解析		
6241121	7	基本シナリオの解析		
62411211	8	上限値解析（１）		
62411212	8	上限値解析（２）		
6241122	7	変動シナリオの解析（ファーフィールド）		
624113	6	諸外国の評価結果との比較及び差異の分析		
6241131	7	諸外国の評価方法、結果のとりまとめ		
6241132	7	第一次評価結果のとりまとめ		
6241133	7	比較分析		
624114	6	感度解析		
6241141	7	コード間のインターフェイス開発		
6241142	7	感度解析の手法、及び範囲の決定		
6241143	7	感度解析実施		
624115	6	グラフィックスシミュレーション		
6241151	7	グラフィックスシミュレーションシステムの整備		
6241152	7	ソフトウェアの開発		
6241153	7	基本シナリオ、及び主要な変動シナリオについてのグラフィックシミュレーションの実施		
624116	6	データベース作成		
6241161	7	データベース作成のための計算		
6241162	7	結果のとりまとめ		
62412	5	ニアフィールド性能の定量化のための解析		
624121	6	ニアフィールド解析		

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
6241211	7	基本シナリオの解析		
6241212	7	変動シナリオの解析		
624122	6	ファーフィールド解析		
624123	6	感度解析		
6241231	7	解析モデル群の統合		
6241232	7	感度解析の実施		
624124	6	リアルタイムシミュレーション		
6241241	7	高速アレイプロセッサの整備		
6241242	7	対応するソフトウェアの改良		
6241243	7	ニアフィールド性能についてのリアルタイムシミュレーション		
624125	6	データベースシステム作成		
62413	5	ファーフィールド性能の裕度の定量的確認のための解析		
624131	6	ニアフィールド評価		
6241311	7	基本シナリオにおけるニアフィールド性能の決定論的評価		
6241312	7	変動シナリオにおけるニアフィールド性能の確率論的評価		
624132	6	ファーフィールド評価		
6241321	7	基本シナリオにおけるファーフィールド性能の決定論的評価		
6241322	7	変動シナリオにおけるファーフィールド性能の確率論的評価		
624133	6	不確実性解析		
6241331	7	不確実性解析手法の調査・検討		
6241332	7	不確実性解析手法の選定		
6241333	7	不確実性解析用プリプロセッサ・ポストプロセッサの開発		
6241334	7	対象とするパラメータの分布決定		
6241335	7	不確実性解析の実施		
6241336	7	ファーフィールド性能の裕度の定量的確認		
624134	6	総合的フリウェアルタイムシミュレーション		
6241341	7	ソフトウェアの開発		
6241342	7	総合的なタイムシミュレーションの実施		
624135	6	データベースシステム作成		
6242	4	隔離性解析の実施		
6243	4	不確実性解析の実施		
63	2	廃棄物隔離の性能評価		
631	3	発生確率の明確化		
6311	4	文献調査		
6312	4	専門家の主観確率の定量化		
6313	4	データベース作成		
632	3	リスク評価		
6321	4	発生確率事象の発生確率に基づく評価		
6322	4	確率論的影響評価		
63221	5	影響解析モデルの開発		
632211	6	既往モデル例の調査		
632212	6	モデル開発		
63222	5	確率論的評価		
6323	4	ダイレクトシュミレーション		
63231	5	影響解析モデル開発(2)		
632311	6	ダイレクトシュミレーション手法の調査		
632312	6	モデル改良		
632313	6	モデル開発		
632314	6	ダイレクトシュミレーション手法の決定		
632315	6	ダイレクトシュミレーションシステムの開発		

<< ＦＷＢＳ一覧表 （ＦＷＢＳコード順） >>

FWBS コード	レベル	日本語名称	英語名称(DESCRIPTION)	備考
63232	5	ダイレクトシュミレーションの実施		
633	3	基礎的研究開発		
6331	4	第一期		
6332	4	第二期		
6333	4	第三期		

500 records selected.

<< 研究項目の構成 （管理コード順） >>

管理コード	名称	ワークパッケージ
1	性能評価研究	X10000000-0000000000
11	シナリオ	X11000000-0000000000
111	シナリオ	X11100000-0000000000
1111	直接放出の発端事象の明確化	X11110000-0000000000
11111	第１次事象・プロセスリスト作成	X11111000-0000000000
111111	我が国の特徴に起因する事象・プロセスについての情報収集	611110000-C300000000
111112	第１次事象・プロセスリストの作成	611120000-C300000000
11112	第１次事象・プロセスリストについての専門家間の合意形成	X11112000-0000000000
111121	専門家による第１次リストのレビュー	611131000-C300000000
111122	Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家のコメント集約と第１次事象・プロセスリストの改訂	611132000-C300000000
11113	直接放出シナリオの発端事象の明確化	X11113000-0000000000
111131	事象・プロセス間の関連についての文献調査（１）	612110000-C300000000
111132	直接放出についてのインフルエンスダイアグラムの改訂	612150000-C300000000
111133	Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家の判断の集約	612130000-C300000000
111134	第１次イベントツリー作成	612180000-C300000000
111135	発端事象の明確化	612321000-C300000000
1112	間接放出についてのシナリオ明確化	X11120000-0000000000
11121	地下水移行についてのシナリオの設定	X11121000-0000000000
111211	各事象・プロセスと多重バリアシステム性能との関連についての文献調査	612210000-C100000000
111212	Judgemental Methodによる専門家の判断の集約	612220000-C100000000
111213	地下水移行について第１次インフルエンスダイアグラムの作成	612150000-C100000000
111214	第１次シナリオにおける解析ケースの設定	612311110-C100000000
111215	その他のケースについての検討	612311120-C100000000
11122	地下水以外の移行媒体についてのＤｅｌｐｈｉ法によるシナリオ設定	612312000-C200000000
1113	重要事象のスクリーニングとイベントツリー作成	X11130000-0000000000
11131	事象・プロセスリストの見直し（１）	X11131000-0000000000
111311	専門家グループによる第１次評価結果のレビュー	611210000-C300000000
111312	第１次事象・プロセスリスト改訂についてのコメント集約のためのＤｅｌｐｈｉ法の実施	611220000-C300000000
111313	第２次事象・プロセスリストの作成	611230000-C300000000
11132	確率論的評価のためのイベントツリー作成	X11132000-0000000000
111321	新たに抽出ざれる事象・プロセスについての既往の研究例の整理（２）	612120000-C300000000
111322	新たに抽出さされる事象・プロセスについての専門家知見のＤｅｌｐｈｉ法による集約(2)	612140000-C300000000
111323	直接放出についての第２次インフルエンスダイアグラムの作成	612160000-C300000000
111324	第２次イベントツリーの作成	612190000-C300000000
111325	確率論的評価のための重要な直接放出シナリオの明確化	612322000-C300000000
1114	ニアフィールド現象についての詳細シナリオ設定	X11140000-0000000000
11141	第１次インフルエンスダイアグラムに基づくＰＡＳＳ試験の実験計画と装置設計	612311211-C110000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
11142	ＰＡＳＳ試験装置製作	612311212-C110000000
11143	ＰＡＳＳ試験の実施	612311213-C110000000
11144	ＰＡＳＳ試験結果に基づく詳細シナリオの設定	612311214-C110000000
1115	ダイレクトシミュレーション評価対象の明確化	X11150000-0000000000
11151	事象・プロセスの見直し（２）	611300000-C300000000
11152	事象・プロセス間の第３次（網羅的）インフルエンスダイアグラム作成	612170000-C300000000
1116	ファーフィールド現象についての詳細シナリオ設定	X11160000-0000000000
11161	ファーフィールドシナリオの詳細化のための検討	612311221-C120000000
11162	ファーフィールドシナリオについての原位置試験計画、装置設計	612311222-C120000000
11163	原位置試験の実施	612311223-C120000000
11164	原位置試験結果に基づくファーフィールド詳細シナリオの設定	612311224-C120000000
12	廃棄物隔離性	X12000000-0000000000
121	発生確率	X12100000-0000000000
1211	発端事象の発生確率の明確化	X12110000-0000000000
12111	発端事象の発生確率についての既存データの整理	X12111000-0000000000
121111	文献調査	631100000-C311000000
121112	調査結果の体系化とデータベース作成	631300000-C311000000
12112	発端事象の発生確率についての専門家の主観確率の定量化	X12112000-0000000000
121121	Probability Encoding法による主観確率の定量化	631200000-C311000000
1212	重要な後続事象の分岐確率化	X12120000-0000000000
12121	文献調査	631100000-C312000000
12122	Probability Encoding法による主観確率の定量化	631200000-C312000000
12123	結果のとりまとめとデータベース作成	631300000-C312000000
1213	各事象の後起確率についての総合的データベース作成	X12130000-0000000000
12131	文献調査	631100000-C313000000
12132	Probability Encoding法による主観確率の定量化	631200000-C313000000
12133	動態的解析手法に対応する総合的データベースの作成	631300000-C313000000

<< 研究項目の構成 (管理コード順) >>

管理コード	名称	ワークパッケージ
122	リスク	X12200000-0000000000
1221	発端事象の発生確率の評価	632100000-C320000000
1222	確率論的影響評価	X12220000-0000000000
12221	影響解析モデル開発（１）	X12221000-0000000000
122211	既往の研究例の調査	632211000-C320000000
122212	モデル開発	632212000-C320000000
12222	確率論的評価	632220000-C320000000
1223	ダイレクトシュミレーション	X12230000-0000000000
12231	影響解析モデル開発（２）	X12231000-0000000000
122311	ダイレクトシュミレーション手法の調査	632311000-C320000000
122312	モデル改良	632312000-C320000000
122313	その他のモデル開発	632313000-C320000000
122314	ダイレクトシュミレーション手法の決定	632314000-C320000000
122315	ダイレクトシュミレーションの開発	632315000-C320000000
12232	ダイレクトシュミレーションの実績	632320000-C320000000
1224	基礎的研究開発	X12240000-0000000000
12241	第１期	633100000-C300000000
12242	第２期	633200000-C300000000
12243	第３期	633300000-C300000000
13	多重バリアシステム性能	X13000000-0000000000
131	ニアフィールド現象	X13100000-0000000000
1311	モデル開発	X13110000-0000000000
13111	総合性能評価モデル開発	X13111000-0000000000
131111	ニアフィールド条件概念モデル見直し	X13111100-0000000000
1311111	熱的条件に係わる概念モデル見直し	621300000-C111100000
1311112	応力条件に係わる概念モデル見直し	621300000-C111200000
1311113	放射線学的条件に係わる概念モデル見直し	621300000-C111300000
1311114	水理条件に係わる概念モデル見直し	621300000-C111500000
1311115	緩衝材との反応に係わる地下水の化学的性質変化に係わる概念モデル作成	621300000-C112130000
1311116	緩衝材の熱変質に係わる概念モデル	621300000-C112120000
131112	人工バリア再冠水時間につての概念モデル見直し	621310000-C112110000
131113	炭素鋼オーバーパックの腐食概念モデルの作成	621310000-C112211000
131114	ガラス固化体からの核種放出概念モデル見直し	X13111400-0000000000
1311141	ガラスの溶解の概念モデル見直し	621300000-C112310000
1311142	核種の溶解の概念モデル見直し	621310000-C112320000
131115	人工バリア中の核種移行の概念モデル見直し	X13111500-0000000000
1311151	緩衝材中の核種拡散の概念モデル見直し	621310000-C112430000

管理コード	名称	ワークパッケージ
1311152	緩衝材中の核種の吸着の概念モデル見直し	621310000-C112450000
131116	周辺岩中の核種移行の概念モデル作成	621310000-C112500000
131117	変動シナリオ概念モデル作成	621330000-C110000000
131118	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣ開発	X13111800-0000000000
1311181	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣ（デザインバージョン）の試算	621431100-C110000000
1311182	ＰＡＲバージョン作成	621431200-C110000000
13112	総合性能評価モデルの改良	X13112000-0000000000
131121	概念モデル見直し	X13112100-0000000000
1311211	熱ー水ー応力ー化学的条件に係わる概念モデルの見直し	621300000-C111600000
1311212	放射線分解に係わる概念モデル見直し	X13112120-0000000000
13112121	地下水の放射線分解に係わる予備的試験	621110000-C111420000
13112122	Redox-frontに関する概念モデル作成	621300000-C111420000
1311213	緩衝材との反応による地下水の化学的性質変化に係わる概念モデル作成	X13112130-0000000000
13112131	試験装置の設計	621111000-C112130000
13112132	試験装置の製作	621112000-C112130000
13112133	試験の実施	621113000-C112130000
13112134	試験結果と第１次解析モデルとの比較による改良点の明確化	621114000-C112130000
1311214	ニアフィールド中の周辺母岩との反応による地下水化学的性質変化に係る概念モデル作成	X13112140-0000000000
13112141	試験装置の設計	621111000-C111410000
13112142	試験装置の製作	621112000-C111410000
13112143	試験の実施	621113000-C111410000
13112144	試験結果と第１次解析モデルとの比較による改良点の明確化	621114000-C111410000
1311215	炭素鋼オーバーパック腐食局部腐食モデルの改良	X13112150-0000000000
13112151	オーバーパック腐食に関する文献調査と検討	621140000-C112211210
13112152	ＳＣＣ試験	621110000-C112211220
13112153	マクロセル腐食試験	621110000-C112211230
13112154	炭素鋼局部腐食詳細モデル作成	621320000-C112211200
1311216	チタンオーバーパック腐食概念モデルの作成	X13112160-0000000000
13112161	再不動態化法による腐食発生限界条件測定	621113100-C112212000
13112162	浸漬試験	621113300-C112212000
13112163	雰囲気試験	621113200-C112212000
13112164	チタンオーバーパック腐食モデル作成	621300000-C112212000
1311217	銅オーバーパック腐食概念モデルの作成	X13112170-0000000000
13112171	海外研究事例調査	621140000-C112213000
13112172	影響因子リストアップ	621110000-C112213000
1311218	人工バリア連成試験	X13112180-0000000000
13112181	熱ー水ー応力連成試験	621110000-C112110000
13112182	気液二相流解析モデル作成	621312000-C112110000
1311219	金属腐食に対する微生物の影響の概念モデル作成	621310000-C112230000
131121A	金属腐食に対する有機物の影響の概念モデル作成	621310000-C112240000
131121B	炭素鋼の腐食に伴う水素ガスの影響モデル	X131121B0-0000000000
131121B1	ガス発生試験	621320000-C112251000
131121B2	水素吸収試験	621110000-C112252100
131121B3	水素放出試験	621110000-C112252200
131121B4	水素透過試験	621110000-C112252300
131121B5	水素脆化モデル作成	621310000-C112252000
131121C	金属腐食に伴う地下水の化学的性質の変化に係わる概念モデル見直し	621300000-C112220000
131121D	ガラス固化体からの核種移行の概念モデルの見直し、改良	621320000-C112300000
131121E	人工バリア中核種移行の概念モデル作成	X131121E0-0000000000
131121E1	有効拡散係数測定試験	621320000-C112430000
131121E2	収着試験	621320000-C112450000
131121F	コロイド生成・移行モデル作成	X131121F0-0000000000
131121F1	コロイドの基本物性の調査・研究	621110000-C112330000

管理コード	名称	ワークパッケージ
131121F2	コロイド移動機構のモデル化	621300000-C112330000
1311210	周辺母岩中の核種移行概念モデル見直し	621320000-C112500000
131122	ＡＲＥＳ－ＰＮＣの改良	X13112200-0000000000
1311221	ＥＱ３／６－ＰＨ物質移行解析モデルとの連成	621420000-C111400000
1311222	ＡＲＥ－ＰＮＣシステムバージョン作成	621431300-C110000000
1311223	第２次ＴＲＥＡＳ－ＰＮＣのコード化	621431400-C110000000
131123	コロイド生成解析モデル開発	621410000-C112330000
131124	微生物の影響解析モデル開発	621410000-C112230000
131125	有機物の影響解析モデル開発	621410000-C112240000
131126	ガス発生の影響解析モデル開発	621410000-C112250000
131127	ニアフィールド水理解析モデル（サポートコード）改良	X13112700-0000000000
1311271	連成解析モデル改良とコード化	621410000-C111600000
1311272	概念モデルに基づく放射線分解モデルの改良とコード化	621410000-C111420000
1312	確証	X13120000-0000000000
13121	核種放出に係わる確証現象	X13121000-0000000000
131211	溶解度限界放出仮定についての確証試験（１）	X13121100-0000000000
1312111	ＣＯ2が存在しない場合のＡｍ及びリン酸塩添加ホウケイ酸ガラスの溶解度試験	622110000-C112320000
131212	理論の適合性についての科学的判断	622121000-C110000000
131213	時間に依存せずに成立する評価手法の明示（１）	622211000-C110000000
131214	相互作用を無視できるプロセスの組合せの明示（１）	622311000-C110000000
13122	その他の確証試験	X13122000-0000000000
131221	炭素鋼のオーバーパックの腐食モデルの確証	X13122100-0000000000
1312211	腐食性物質供給律速の確認のための雰囲気制御腐食試験	622110000-C112211100
1312212	圧縮ベントナイト共存下での腐食メカニズム理解のためのベントナイト共存下腐食試験	622320000-C112211100
131222	銅の腐食限界放出仮定についての確証	622320000-C112213000
131223	溶解度限界放出仮定についての確証試験（２）	622320000-C112320000
131224	ガラス溶解反応速度のRcaction Pathモデルの確証試験	X13122400-0000000000
1312241	天然ガラスナチュラルアナログ研究	622200000-C112310000
1312242	確証試験計画	622322100-C112310000
1312243	確証試験設備設計	622322300-C112310000
1312244	確証試験設備製作	622322500-C112310000
1312245	素反応系の確証試験	622110000-C112310000
1312246	複合系での確証試験	622322600-C112310000
131225	緩衝材中の核種移行についての拡散モデルの確証試験	X13122500-0000000000
1312251	吸着モデルの妥当性確証試験計画	622111000-C112450000
1312252	吸着モデルの妥当性確証試験設備の設計・製作	622115000-C112450000
1312253	吸着モデルの妥当性確証試験実施	622116000-C112450000
1312254	拡散モデルの妥当性確証試験計画作成	622111000-C112440000
1312255	拡散モデルの妥当性確証試験設備の設計・製作	622115000-C112440000
1312256	拡散モデルの妥当性確証試験実施	622116000-C112440000
1312257	吸着についての結果のとりまとめ	622117000-C112450000
1312258	拡散についての結果のとりまとめ	622118000-C112450000
131226	ニアフィールド水理解析モデルの確証試験	X13122600-0000000000
1312261	確証試験計画作成	622111000-C111500000
1312262	事前解析	622112000-C111500000
1312263	装置設計	622113000-C111500000
1312264	試験設計	622114000-C111500000
1312265	試験設備製作	622115000-C111500000
1312266	実施試験	622116000-C111500000
1312267	結果のとりまとめ	622117000-C111500000
131227	外側境界条件モデルの確証試験	X13122700-0000000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
1312271	確証試験計画作成	622111000-C112500000
1312272	事前解析の実施	622112000-C112500000
1312273	装置設計	622113000-C112500000
1312274	試験設計	622114000-C112500000
1312275	試験設備作成	622115000-C112500000
1312276	検証試験	622116000-C112500000
1312277	結果のとりまとめ	622117000-C112500000
13123	総合確証試験	X13123000-0000000000
131231	コロイド生成・移動解析モデル確証試験	X13123100-0000000000
1312311	確証試験計画の作成	622322100-C112330000
1312312	事前解析	622322200-C112330000
1312313	試験設計	622322400-C112330000
1312314	設備設計	622322300-C112330000
1312315	設備製作	622322500-C112330000
1312316	試験実施	622322600-C112330000
1312317	結果のとりまとめ	622322700-C112330000
131232	微生物・有機物影響の解析モデル確証試験	X13123200-0000000000
1312321	確証試験計画の作成	622322100-C112600000
1312322	事前解析	622322200-C112600000
1312323	試験設計	622322400-C112600000
1312324	試験設備設計	622322300-C112600000
1312325	設備製作	622322500-C112600000
1312326	試験実施	622322600-C112600000
1312327	結果のとりまとめ	622322700-C112600000
131233	ガス発生影響解析モデルの確証試験	X13123320-0000000000
1312331	確証試験計画の作成	622322100-C112250000
1312332	事前解析	622322200-C112250000
1312333	試験設備設計	622322300-C112250000
1312334	試験設計	622322400-C112250000
1312335	試験設備製作	622322500-C112250000
1312336	確証試験実施	622322600-C112250000
1312337	結果のとりまとめ	622322700-C112250000
131234	ニアフィールド総合性能評価コード確証試験	X13123420-0000000000
1312341	確証試験計画の作成	622331000-C110000000
1312342	事前解析	622332000-C110000000
1312343	試験設備設計	622333000-C110000000
1312344	試験設計	622334000-C110000000
1312345	試験設備製作	622335000-C110000000
1312346	確証試験実施	622336000-C110000000
1312347	結果のとりまとめ	622322700-C110000000
1313	入力データ取得	X13130000-0000000000
13131	核種放出についてのデータ取得とその他の既存データの整理	X13131000-0000000000
131311	ニアフィールド条件の予測に係わる入力データ取得、整理	X13131100-0000000000
1313111	熱的条件に係わる入力データ整理	623400000-C111100000
1313112	応力条件に係わる入力データ整理	623400000-C111200000
1313113	放射線学的条件に係わる入力データ整理	623400000-C111300000
1313114	水理条件に係わる入力データ整理	623400000-C111500000
1313115	緩衝材との反応に係よる地下水の化学的性質変化予測に係わる入力データ整理	623400000-C112130000
1313116	緩衝材の熱変質に係わる入力データ整理	623400000-C112120000
1313117	ＴＥＭＰＥＳＴ，ＯＲＩＧ及びＥＱ３／６用計算	624116100-C111000000
1313118	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣによる評価のためのニアフィールド条件データベース計算	624116200-C111000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
131312	人工バリアの再冠水に係わる入力データ整理	623400000-C112110000
131313	人工バリアの再冠水に係わる入力データ取得	X13131300-0000000000
1313131	既存データの整理	623400000-C112210000
1313132	概括的パラメータ取得	623110000-C112210000
1313133	オーバーパックの腐食に伴う地下水性状変化についての入力データ整理	623400000-C112220000
131314	ガラス固化体の溶解速度に係わる入力データ整理	623400000-C112310000
131315	核種移行解析のための入力データ取得、整理	623110000-C112320000
131316	人工バリア材料の入力データ整理	X13131600-0000000000
1313161	緩衝材の力学特性に係わる入力データ整理	623400000-C112430000
1313162	緩衝材の熱特性に係わる入力データ整理	623400000-C112450000
1313163	緩衝材の核種移行に係わる入力データ取得	623110000-C112400000
131317	周辺岩盤の力学的特性に係わる入力データ整理	623400000-C112500000
131318	概括的ニアフィールド水理に係わる入力データ整理	623511000-C110000000
13132	熱-水-応力連成解析に係わる入力データ取得	X13132000-0000000000
131321	熱-水-応力連成解析に係わる入力データ整理	623400000-C111600000
131322	放射線場に係わる入力データ取得	X13132200-0000000000
1313221	地下水の放射線分解効果に係わる既存データ整理	623400000-C111420000
1313222	緩衝材の放射線分解効果に係わる既存データ整理	623100000-C111420000
131323	地下水の化学的性質変化予測に係わる入力データ取得	623120000-C112130000
131324	緩衝材の化学的性質変化予測に係わる入力データ取得	X13132400-0000000000
1313241	緩衝材の変質評価	623120000-C112120000
1313242	天然バリアの変質評価	623200000-C112120000
131325	人工バリアの反応による地下水化学的変質予測に係る入力データ取得	623120000-C111410000
131326	人工バリアの反応に係わる入力データ取得	623120000-C112110000
131327	炭素鋼オーバーパックの腐食に係わる入力データ	X13132700-0000000000
1313271	炭素鋼オーバーパックの全面腐食速度評価	623110000-C112211110
1313272	炭素鋼オーバーパックの全面腐食速度取得	623110000-C112211120
1313273	炭素鋼オーバーパックの孔食発生評価	623110000-C112211241
1313274	炭素鋼オーバーパックの孔食成長速度評価	623110000-C112211242
1313275	ＳＣＣ発生条件に係わるデータ取得	623110000-C112211210
1313276	炭素鋼オーバーパックの孔食発生条件に係わるデータ取得	623110000-C112211220
131328	銅オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	623100000-C112213000
131329	チタン製オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	623100000-C112212000
13132A	金属製オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	623110000-C112220000
13132B	金属製オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	623100000-C112230000
13132C	金属製オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	623100000-C112240000
13132D	炭素鋼オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	X13132D00-0000000000
13132D1	水素発生速度評価	623100000-C112251000
13132D2	水素吸収に係わる入力データ取得	623100000-C112252000
13132E	ガラス固化体の溶解速度に係わる入力データ取得	623100000-C112313000
13132F	核種の溶出と放出に係わる入力データ取得	623100000-C112311000
13132G	核種移行パラメータ取得	X13132G00-0000000000
13132G1	収着データ取得	623120000-C112321000
13132G2	拡散データ取得	623120000-C112322000
13132G3	難溶解度核種に関する熱力学データ取得	623120000-C112323000
13132G4	コロイド生成に係わるデータ取得	623100000-C112330000
13132G5	微生物の核種移行に係わる入力データ取得	623100000-C112340000
13132H	人工バリア中の核種移行に係わるデータ見直し及び追加データ取得	623120000-C112400000
13132I	周辺岩盤の核種移行に係わる入力データ見直し及び追加データ取得	623120000-C112500000
13133	補足データ取得	X13133000-0000000000
131331	人工バリア設計変更・ニアフィールド条件詳細化に伴うデータ見直し・補足データ取得	623130000-C110000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
132	ファーフィールド現象	X13200000-0000000000
1321	モデル開発	X13210000-0000000000
13211	保守的な核種移行経路を想定したモデルの改良	X13211000-0000000000
132111	深部地下水の科学的性質に基づいた保守的概念モデル作成	X13211100-0000000000
1321111	ＥＨの決定因子、及び代表的地下水組成についての文献調査	621140000-C121200000
1321112	ＥＨの的的モデルにの基礎試験の実施	621110000-C121200000
1321113	保守的概念デルの作成	621310000-C121200000
132112	広域流動解析アプローチによる保守的概念モデル作成	X13211200-0000000000
1321121	多重バリアシステムの性能に影響を与える水理地質構造、上部・下部・側方境界条件の明確化	621311000-C121100000
1321122	日本全国対象とした地形、地質構造、上部・下部・側方境界条件の文献調査整理	621140000-C121100000
1321123	保守的概念モデルの構築	621312000-C121100000
132113	核種移行解析アプローチによる保守的概念モデルの作成	X13211300-0000000000
1321131	多重バリアシステムの性能に影響を与える保守的となる条件の明確化	621311000-C122000000
1321132	異方性、不均質性を考慮した文献調査による抽出・整理	621140000-C122000000
1321133	保守的概念モデルの構築	621312000-C122000000
132114	岩石と平衡状態にある深部地下水の酸化還元電位推定のための解析モデル開発	621410000-C121210000
132115	多孔質媒体に広域流動解析モデルの改良	621421000-C121100000
132116	保守的な核種移行経路における移流・分散・吸着・マトリックス拡散解析モデルの開発	621421000-C122000000
13212	広域流動解析、地球化学解析モデルの開発	X13212000-0000000000
132121	地下水の科学的性質変化の推定のための現実的概念モデル作成	X13212100-0000000000
1321211	文献調査	621140000-C121220000
1321212	東濃・人形・釜石等の深部地下水の情報収集、と地下水と岩石の組成変化の相関解析	621120000-C121200000
1321213	現実的概念モデルの構築	621320000-C121200000
132122	結晶質岩系、堆積岩系それぞれの特性も考慮した広域流動解析用の現実的概念モデル作成	X13212200-0000000000
1321221	文献調査	621140000-C121120000
1321222	東濃地域でのの広域地下水流動調査	621121000-C121120000
1321223	釜石地域での広域地下水流動調査	621122000-C121120000
1321224	地下研究施設での広域地下水流動調査	621123000-C121120000
1321225	地形、水理地質構造、上部・下部・側方境界条件の相関の検討及び現実的概念モデル作成	621320000-C121120000
132123	巨視的不均質性を考慮した核種移行概念モデルの作成	X13212300-0000000000
1321231	MOL共同研究での原位置試験による巨視不均質性の把握と核種移行経路、関連現象の同定	621124000-C122200000
1321232	AECL共同研究での原位置試験による巨視不均質性の把握と核種移行経路、関連現象の同定	621125000-C122200000
1321233	室内試験による巨視的不均質タイプの抽出と、核種移行経路、関連する現象の同定	621110000-C122130000
1321234	MOL共同研究での室内試験による巨視的不均質の抽出、核種移行経路、関連現象の同定	621110000-C122200000
1321235	現実的概念モデルの構築	621320000-C122000000
132124	岩石との化学反応・流動による平衡不完全性を考慮した地下水性質変化用解析モデル開発	X13212400-0000000000
1321241	ＧＨＣ解析手法の調査	621422100-C121200000
1321242	ＧＨＣ解析手法の調査	621422200-C121200000
1321243	ＧＨＣ解析手法の調査	621422300-C121200000
132125	不連続性・不均質性・異方性の媒体に対する等価連続体の透水係数推定用解析モデル開発	X13212500-0000000000
1321251	FRACTURE FLOW TASK FORCEにより開発される解析モデルの導入	621412400-C121120000
1321252	Ｇ解析モデルの適用性の検討、モデル改良点の明確化	621412500-C121120000
1321253	Ｇ解析モデルの改良	621412600-C121120000
132126	二重空隙構造を有する媒体中の核種移行についての汎用解析モデル開発	X13212600-0000000000
1321261	MULTI-GRID TECHNIQUE,TELESCOPE MESH REFINEMENT等の数値解析法の調査	621422100-C122100000
1321262	数値解析法の決定	621422200-C122100000
1321263	解析コード開発	621422300-C122100000
13213	核種移行についての詳細解析モデル開発	X13213000-0000000000
132131	核種・地下水・岩石の相互作用についての概念モデル作成	X13213100-0000000000

<< 研究項目の構成 （管理コード順） >>

管理コード	名称	ワークパッケージ
1321311	MOLとの共同研究による亀裂中での吸着に寄与する鉱物の解明の手法の確立	621111000-C122113000
1321312	MOLとの共同研究による岩体マトリックスへの吸着に寄与する鉱物の解明の手法の確立	621111000-C122123000
1321313	わが国岩石サンプルの室内試験による亀裂中の吸着遅延に寄与する鉱物、メカニズム同定	621113000-C122113000
1321314	わが国岩石サンプルの室内試験による岩体マトリクスの吸着遅延に寄与する鉱物の同定	621113000-C122123000
1321315	チャラルグループ研究による亀裂中での鉱物化プロセスの把握	621130000-C122113300
1321316	チャラルグループ研究による岩体マトリックスへの鉱物化プロセスの把握	621130000-C122123D00
1321317	室内試験による亀裂中の吸着プロセスの不可逆性の把握	621110000-C122113400
1321318	室内試験による岩体マトリクスへの吸着プロセスの不可逆性の把握	621110000-C122123E00
1321319	亀裂中での吸着の概念モデル作成	621322000-C122113000
132131A	岩体マトリクスへの吸着の概念モデル作成	621322000-C122123000
132132	微視的不均質性を考慮した核種移行概念モデル作成	X13213200-0000000000
1321321	MOLでの多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験	621124000-C122110000
1321322	東濃での多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験	621121000-C122110000
1321323	NAGRAの多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験	621126000-C122110000
1321324	釜石での多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験	621122000-C122110000
1321325	地下での多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験	621123000-C122110000
1321326	微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の種種の岩体の原位置試験	621110000-C122110000
1321327	現実的概念モデルの構築	621320000-C122110000
132133	移行途中での核種の化学変化・吸着についての詳細解析モデル開発	X13213300-0000000000
1321331	ＧＨＣ解析法とイオン交換、表面錯体生成モデルとの結合方法の調査	621422100-C12210000X
1321332	モデル結合方法の決定	621422200-C12210000X
1321333	コード開発	621422300-C12210000X
132134	微視的不均質性の核種移行への影響についての統計的解析モデル開発	X13213400-0000000000
1321341	統計的解析手法の調査	621422100-C122110000
1321342	地質環境調査による対応の可否の検討と解析手法改良点の明確化	621422200-C122110000
1321343	解析コード開発	621422300-C122110000
1322	確証	X13220000-0000000000
13221	広域流動解析、地球化学解析モデルの確証	X13221000-0000000000
132211	地下水の化学的性質変化の推定のための解析モデルの室内試験による確証	X13221100-0000000000
1322111	確証試験計画	622111000-C121200000
1322112	事前解析	622112000-C121200000
1322113	試験設計	622113000-C121200000
1322114	設備設計	622114000-C121200000
1322115	設備製作	622115000-C121200000
1322116	確証試験の実施	622116000-C121200000
1322117	結果の取りまとめとモデル改良	622117000-C121200000
132212	等価水係数テンソル推定のための解析	X13221200-0000000000
1322121	確証試験計画	622111000-C121120000
1322122	事前解析	622112000-C121120000
1322123	ＧＥＯＴＥＸ試験設計	622113000-C121121000
1322124	ＧＥＯＴＥＸ設備設計	622114000-C121121000
1322125	ＧＥＯＴＥＸ設備製作	622115000-C121121000
1322126	ＭＩＣＲＯ２Ｄ試験設計	622113000-C121122000
1322127	ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備設計	622114000-C121122000
1322128	ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備製作	622115000-C121122000
1322129	ＧＥＯＴＥＸ確証試験の実施	622116000-C121121000
132212A	ＭＩＣＲＯ２Ｄ確証試験の実施	622116000-C121122000
132212B	結果のとりまとめとモデル改良	622117000-C121120000
132213	ＲＥＶに係わるCHARACTERIZATION手法の確立	X13221300-0000000000
1322131	確証試験計画	622322100-C121120000
1322132	事前解析	622322200-C121120000
1322133	ＭＡＣＲＯ試験設計	622322300-C121120000

管理コード	名称	ワークパッケージ
1322134	ＭＡＣＲＯ設備設計	622322400-C121120000
1322135	設備製作	622322500-C121120000
1322136	確証試験の実施	622322600-C121120000
1322137	結果の取りまとめとモデル改良	622322700-C121120000
13222	核種移行についての詳細モデルの確証	X13222000-0000000000
132221	地下水の化学的性質の変化の推定のための解析モデルの原位置での確証	622322000-C121200000
132222	広域流動解析手法の原位置での確証	622322000-C121100000
132223	移行途中での核種のつい着形態変化についての詳細解析モデルの室内試験での確証	622110000-C122140000
132224	亀裂中マトリクスへの吸着についての詳細解析モデルの室内試験での確証	622110000-C122113000
132225	岩体中の核種移行への影響についての詳細解析モデルの室内試験での確証	622110000-C122123000
132226	微視的不均質性についての統計的解析モデルの検証	X13222600-0000000000
1322261	ＧＥＯＴＥＸＸ試験計画立案	622111000-C122111000
1322262	ＧＥＯＴＥＸＸ解析	622112000-C122111000
1322263	ＧＥＯＴＥＸＸ設備設計	622113000-C122111000
1322264	ＧＥＯＴＥＸＸ設計	622114000-C122111000
1322265	ＧＥＯＴＥＸＸ設備改良	622115000-C122111000
1322266	ＧＥＯＴＥＸＸの実施	622116000-C122111000
1322267	ＧＥＯＴＥＸＸ結果の取りまとめとモデル改良	622117000-C122111000
1322268	ＭＩＣＲＯ２Ｄに確証試験計画立案	622111000-C122112000
1322269	ＭＩＣＲＯ２Ｄに解析	622112000-C122112000
132226A	ＭＩＣＲＯ２Ｄに設備設計	622113000-C122112000
132226B	ＭＩＣＲＯ２Ｄに設計	622114000-C122112000
132226C	ＭＩＣＲＯ２Ｄに設備改良	622115000-C122112000
132226D	ＭＩＣＲＯ２Ｄに試験の実施	622116000-C122112000
132226E	ＭＩＣＲＯ２Ｄに結果の取りまとめとモデル改良	622117000-C122112000
132227	微視的不均質性についてのCHARACTERIZATION手法の検証	X13222700-0000000000
1322271	確証試験計画立案	622322100-C122110000
1322272	事前解析	622322200-C122110000
1322273	試験設備設計	622322300-C122110000
1322274	ＭＡＣＲＯの試験設計	622322400-C122110000
1322275	設備改良	622322500-C122110000
1322276	試験の実施	622322600-C122110000
1322277	結果の取りまとめとモデル改良	622322700-C122110000
132228	微視的不均質性の核種移行の影響についての統計的解析手法の確証	622321000-C122110000
1323	入力データ取得	X13230000-0000000000
13231	保守的データセット作成	X13231000-0000000000
132311	深部地下水の酸化還元電位推定のための入力データの整理	X13231100-0000000000
1323111	文献調査による既存データの収集	623411000-C121200000
1323112	文献調査によるデータの欠けている項目について専門家の知見の集約	623420000-C121200000
1323113	保存的なデータセット作成	623521000-C121200000
132312	広域流動解析に用いる原位置試験結果に基づくデータ間の相関の整理と保守的数値推定	X13231200-0000000000
1323121	既存データの分布の検討に基づく各パラメータ値の組合せの明確化	623411000-C121100000
1323122	パラメータ値の地質学的条件等との相関の検討に基づくパラメータ値の組合せの明確化	623412000-C121100000
1323123	保存的なデータセット作成	623521000-C121100000
132313	分散係数データの代表長さ等に従う分類と保守的数値の設定	X13231300-0000000000
1323131	既存データの長さ等に従う分類	623411000-C122132000
1323132	回帰分析	623413000-C122132000
1323133	保守的数値の設定	623521000-C122132000
132314	分配係数データの鉱物組成、地下水の状態に従う分類と保守的数値の設定	X13231400-0000000000
1323141	既存データ測定例における鉱物組成、地下水の状態の整理	623411000-C122133000
1323142	回帰分析	623413000-C122133000

<< 研究項目の構成 （管理コード順） >>

管理コード	名称	ワークパッケージ
1323143	保守的数値の設定	623521000-C122133000
132315	マトリクス拡散の有効長さのデータの岩種・亀裂周辺の状態の分類と保守的数値設定	X13231500-0000000000
1323151	既存データの岩種・亀裂周辺の状態の分類と保守的数値の設定	623411000-C122134000
1323152	保守的数値の設定	623521000-C122134000
132316	不均質媒体中の空隙分布についての感度解析と保守的数値の設定	X13231600-0000000000
1323161	感度解析	623414000-C122131000
1323162	保守的条件の設定	623521000-C122131000
13232	ニアフィールド条件に係わるデータ取得	X13232000-0000000000
132321	地下水の化学的性質変化の解析のための入力データセットの整理	X13232100-0000000000
1323211	データ取得項目の明確化	623121000-C121210000
1323212	データ取得	623122000-C121210000
1323213	データベースの改訂	623522000-C121210000
132322	不連続性／不均質性／異方性を有する媒体等価透水係数推定のためのデータセット整理	623522000-C121100000
132323	二重空隙構造中核種移行解析のための入力データセットの整理	623522000-C122130000
13233	核種移行データの取得	X13233000-0000000000
132331	移行途中での核種の化学携帯変化の解析のための熱力学的データの取得	X13233100-0000000000
1323311	地下水条件との比較によるデータ取得項目の明確化	623121000-C122140000
1323312	データ取得のための実験	623122000-C122140000
1323313	データセット作成	623522000-C122140000
132332	核種の吸着についての入力データ取得	X13233200-0000000000
1323321	亀裂中での吸着についての試験計画	623121000-C122113000
1323322	岩体マトリクスへの試験計画	623121000-C122123000
1323323	亀裂中でのリの吸着についての吸着試験の実施	623122000-C122113000
1323324	岩体マトリクスへの吸着試験の実施	623122000-C122123000
1323325	亀裂中での吸着についてのデータセット作成	623522000-C122113000
1323326	岩体マトリクスへのデータセット作成	623522000-C122123000
132333	微視的不均質性が核種移行に及ぼす影響解析のための入力データ取得	X13233300-0000000000
1323331	トレーサ試験、及び微視的分散係数算出のための解析手法の確立	623121000-C122110000
1323332	トレーサ試験の実施	623122000-C122110000
1323333	データセットの作成	623522000-C122110000
1323334	補足的データ取得	623130000-C120000000
133	システム性能	X13300000-0000000000
1331	多重バリアシステムの基本性能の既括的評価	X13310000-0000000000
13311	基本的シナリオにおけるニアフィールド性能野既括的評価	X13311000-0000000000
133111	RELEASE によるニアフィールド性能の評価計算	624111110-C130000000
133112	AREST-PNC (PARバージョン) によるニアフィールド性能のパラメトリックな評価計算	624111120-C130000000
133113	改良したFEMWASTE-PNCもしくはCFEST による評価計算	624111130-C130000000
13312	基本シナリオにおけるファーフィールド性能の既括的評価	X13312000-0000000000
133121	FEMWATER/FEMWASTE-PNC による評価計算	624112110-C130000000
133122	ROCKによる評価計算	624112120-C130000000
13313	変動シナリオについての既括的評価	X13313000-0000000000
133131	変動シナリオに応じたRELEASE の計算	624111210-C130000000
133132	変動シナリオに応じたAREST-PNの計算	624111220-C130000000
133133	変動シナリオに応じたFEMWATER/FEMWASTE-PNC の計算	624111230-C130000000
13314	諸外国の評価結果との比較及び差異の分析	X13314000-0000000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
133141	諸外国の評価方法、評価結果のとりまとめ	624113100-C130000000
133142	第一次評価結果のとりまとめ	624113200-C130000000
133143	比較・分析	624113300-C130000000
13315	感度解析	X13315000-0000000000
133151	ヨード間のインターファイス開発	624114100-C130000000
133152	感度解析手法、及び範囲の決定	624114200-C130000000
133153	感度解析の実施によるニアフィールドに関するパラメータの重要度分類	624123200-C13000000X
13316	グラフィックシュミレーション	X13316000-0000000000
133161	グラフィックシュミレーションシステムに整備	624115100-C130000000
133162	ソフトウェアーの開発	624115200-C130000000
133163	基本ケース、主要な変動ケースについてのグラフィックシュミレーションの実施	624115300-C130000000
1332	ファーフィールド性能の定量化	X13320000-0000000000
13321	基本シナリオにおけるニアフィールド性能の決定論的評価	624121100-C130000000
13322	変動シナリオにおけるニアフィールド性能の確率論的評価	X13322000-0000000000
133221	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣによる評価	624121200-C130000000
13323	ファーフィールド性能の概括的評価	624122000-C130000000
13324	感度解析（２）	X13324000-0000000000
133241	解析モデル群の統合	624123100-C130000000
133242	全体システムの感度解析によるファーフィールド性能の明確化とパラメータ重要度分類	624123200-C130000000
13325	リアルタイムシュミレーション	X13325000-0000000000
133251	高速アレイプロセッサの整備	624124100-C130000000
133252	対応するソフトウェアの改良	624124200-C130000000
133253	ニアフィールド性能についてのリアルタイムシュミレーション	624124300-C130000000
1333	ファーフィールド性能の余裕度の定量的確認	X13330000-0000000000
13331	基本シナリオにおけるニアフィールド性能の決定論的評価	624131100-C130000000
13332	変動シナリオにおけるニアフィールド性能の確率論的評価	624131200-C130000000
13333	基本シナリオにおけるファーフィールド性能の決定論的評価	624132100-C130000000
13334	変動シナリオにおけるファーフィールド性能の確率論的評価	624132200-C130000000
13335	地下水移行シナリオについての不確実性解析	X13335000-0000000000
133351	不確実性解析手法の調査検討	624133100-C130000000
133352	不確実性解析手法の選定	624133200-C130000000
133353	不確実性解析用プリ・ポストプロセッサの開発	624133300-C130000000
133354	対象とするパラメータの分布決定	624133400-C130000000
133355	不確実性解析の実施	624133500-C130000000
133356	ファーフィールド性能の余裕度の定量的確認	624133600-C130000000
13336	総合的リアルタイムシュミレーション	X13336000-0000000000
133361	ソフトウェアの開発	624134100-C130000000
133362	総合的リアルタイムシュミレーションの実施	624134200-C130000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
2	処分技術研究	Y20000000-0000000000
21	人工バリアデータセット	Y21000000-0000000000
211	人工バリアデータセット	Y21100000-0000000000
2111	人工バリアの設計	Y21110000-0000000000
21111	人工バリアシステムの暫定使用の概念設計	Y21111000-0000000000
211111	設計条件の整備	Y21111100-0000000000
2111111	要求機能の抽出	511110000-A120000000
2111112	バリア材の力学、熱、水理特性のデータ採取	511120000-A120000000
2111113	候補材の選出	511130000-A120000000
211112	設計解析手法の解析・既存コードの改良	Y21111200-0000000000
2111121	人工バリアシステム挙動解析手法の開発（既存コード改良・適用、パラメータ連成解析）	Y21111210-0000000000
21111211	既存コードの改良	511211000-A120000000
21111212	３連成コードの開発	511212000-A120000000
211113	設計検討	Y21111300-0000000000
2111131	設計解析（熱、応力、水理、放射線量解析）	511310000-A120000000
2111132	仕様設定	511320000-A120000000
21112	人工バリアシステムの基本設計	Y21112000-0000000000
211121	設計条件の整備	Y21112100-0000000000
2111211	候補材の選定	512110000-A120000000
2111212	バリア材の熱、応力、水理連成データの取得	512120000-A120000000
2111213	処分場の基本設計に必要なデータ項目の抽出及び選定	512130000-A120000000
211122	設計解析手法の開発	Y21112200-0000000000
2111221	熱、応力、水理連成コードの開発と確証	512210000-A120000000
211123	設計検討	Y21112300-0000000000
2111231	基礎試験データの解析検討	512310000-A120000000
2111232	熱、応力、水理連成解析による設計検討	512320000-A120000000
211124	地下研究施設などでの基礎試験	Y21112400-0000000000
2111241	事前調査	Y21112410-0000000000
21112411	設計環境条件の把握	512711000-A120000000
21112412	設計機器の調査	512712000-A120000000
2111242	小規模試験	Y21112420-0000000000
21112421	試験項目の抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験、岩盤変異試験、加熱試験、沈下特性試験）	512721000-A120000000
21112422	計測方法画の検討	512731000-A120000000
21112423	試験計画の作成	512741000-A120000000
21112424	データ取得、及び解析	512751000-A120000000
2111243	中規模試験	Y21112430-0000000000
21112431	試験項目の抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験、岩盤変異試験、加熱試験、沈下特性試験）	512722000-A120000000
21112432	計測方法画の検討	512732000-A120000000
21112433	試験計画の作成	512742000-A120000000
21112434	データ取得、及び解析	512752000-A120000000
2111244	実規模試験	Y21112440-0000000000
21112441	試験項目の抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験、岩盤変異試験、加熱試験、沈下特性試験）	512723000-A120000000
21112442	計測方法画の検討	512733000-A120000000
21112443	試験計画の作成	512743000-A120000000
21112444	データ取得、及び解析	512753000-A120000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
21113	人工バリアシステムの最適設計	Y21113000-0000000000
211131	設計条件	Y21113100-0000000000
2111311	地質環境単元のデータ整備	513110000-A122000000
2111312	実験データの整備	513120000-A120000000
211132	設計開発手法の開発	Y21113200-0000000000
2111321	人工バリアの最適設計手法の開発	513210000-A120000000
2111322	人工バリアの動的解析手法の開発	513220000-A120000000
211133	設計検討	Y21113300-0000000000
2111331	実験データの分析・解析・確証	513310000-A120000000
2111332	設計仕様の設定	513330000-A120000000
211134	実規模試験の実施	513400000-A120000000
211135	地層処分システム設計スペックの作成	513800000-A120000000
2112	処分場の設計研究	Y21120000-0000000000
21121	処分場の暫定仕様の概念設計	Y21121000-0000000000
211211	設計条件の整備	Y21121100-0000000000
2112111	要求機能の抽出・整備	511110000-A110000000
2112112	地質環境条件の設定	511120000-A113000000
2112113	人工バリアの仕様	511140000-A120000000
211212	設計解析手法の開発	Y21121200-0000000000
2112121	評価手法の開発	511210000-A110000000
2112122	設計手法の開発（モデルコード開発）	511220000-A110000000
2112123	検設計証	511230000-A110000000
211213	設計検討	Y21121300-0000000000
2112131	設計解析	511310000-A110000000
2112132	仕様設定	511320000-A111000000
21121321	処分場の仕様	511320000-A112200000
21121322	操業システム仕様	511320000-A112300000
21121323	閉鎖仕様	511330000-A112000000
211214	建設・操業・閉鎖安全性評価	511400000-A112000000
211215	経済性評価	511500000-A100000000
211216	ＣＡＥシステム開発	511600000-A100000000
21122	処分場の基本設計	Y21122000-0000000000
211221	設計条件の整備	Y21122100-0000000000
2112211	結晶質岩系、堆積岩系の地質環境特性データの収集整備	512120000-A113000000
211222	設計解析手法の開発	Y21122200-0000000000
2112221	設計手法の開発	512220000-A110000000
2112222	設計評価手法の開発	512230000-A110000000
2112223	熱、応力、水理、化学連成解析手法の開発及び確証	512210000-A110000000
211223	設計検討	Y21122300-0000000000
2112231	設計解析	512320000-A110000000
2112232	処分場仕様の選定、操業システム仕様の設定、閉鎖仕様の決定	512330000-A100000000
211224	建設・操業・閉鎖の安全性評価	Y21122400-0000000000
2112241	ソフト解析、安全評価の実施	512400000-A112000000
211225	経済性評価	Y21122500-0000000000
2112251	結晶質岩系、堆積岩系岩盤でのコスト解析	512500000-A100000000
211226	ＣＡＥシステムの導入・運用	512600000-A100000000
21123	処分場の最適設計	Y21123000-0000000000
211231	設計条件の整備	Y21123100-0000000000
2112311	地質環境単元のデータの収集整備	513110000-A113000000
211232	設計解析手法の開発	Y21123200-0000000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
2112321	最適設計手法の開発	513210000-A110000000
2112322	処分場の動的解析手法の開発	513220000-A110000000
211233	設計検討	Y21123300-0000000000
2112331	処分場の設定、操業システム仕様の設定、閉鎖仕様の設定	513330000-A110000000
2112332	設計解析（最適設計）	513320000-A110000000
2112333	実規模試験結果の解析検討	513310000-A110000000
211234	建設・操業・閉鎖の安全性評価、及び実証（エレベータ等）	513500000-A110000000
211235	経済性評価	Y21123500-0000000000
2112351	各単元のコスト解析	513600000-A100000000
211236	ＣＡＥシステムの運用・確立	513700000-A100000000
211237	実規模試験による処分場設計の確証	513400000-A110000000
211238	処分場スペックの作成	513800000-A110000000
22	処分技術	Y22000000-0000000000
221	人工バリア製作技術	Y22100000-0000000000
2211	暫定仕様の人工バリアに対する実現可能性の定性的評価	Y22110000-0000000000
22111	人工バリアの試作	Y22111000-0000000000
221111	オーバーパックの試作	Y22111100-0000000000
2211111	炭素鋼溶接技術の開発	521100000-A211110000
2211112	その他の材料の溶接技術の開発	521100000-A211120000
221112	緩衝材の試作	Y22111200-0000000000
2211121	ベントナイトとケイ砂の混合比を変えたベントナイトブロック作成	521100000-A212100000
2211122	ブロック寸法を変えたものの作成	521100000-A212200000
22112	人工バリアの施工	Y22112000-0000000000
221121	施工手順の検討と使用機器の検討（設置手順条件の整備）	521200000-A213000000
2212	人工バリアシステムに対する実現可能性の定量的評価	Y22120000-0000000000
22121	人工バリアの製作技術の開発	Y22121000-0000000000
221211	オーバーパックの試作	Y22121100-0000000000
2212111	チタン製のオーバーパックの試作	522100000-A211200000
2212112	ファインセラミック製のオーバーパックの試作	522100000-A211300000
2212113	その他の候補材での試作	522100000-A211400000
221212	緩衝材の試作	Y22121200-0000000000
2212121	混合材をパラメータにして試作	522100000-A212100000
2212122	セメントを使用した場合の試作	522100000-A212300000
2212123	他の材料での試作	522100000-A212400000
22122	人工バリアの施工技術の開発	Y22122000-0000000000
221221	小規模試験での人工バリアの検討及び解析	Y22122100-0000000000
2212211	オーバーパック	522110000-A213100000
2212212	緩衝材	522110000-A213200000
221222	中規模試験での人工バリアの検討及び実証	Y22122200-0000000000
2212221	オーバーパック	522120000-A213100000
2212222	緩衝材	522120000-A213200000
2213	人工バリアに対する実現可能性の実証	Y22130000-0000000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
22131	人工バリアの製作	Y22131000-0000000000
221311	オーバーパックの試作（機能確認試験）	522100000-A211000000
221312	緩衝材の試作（機能確認試験）	522100000-A212000000
22132	人工バリアの施工	Y22132000-0000000000
221321	オーバーパックの設置方法の実証（実規模試験）	522100000-A213100000
221322	緩衝材の設置方法の実証（実規模試験）	522100000-A213200000
22133	人工バリアスペックの作成	Y22133000-0000000000
221331	人工バリアスペックの作成	523150000-A210000000
222	処分場建設・閉鎖技術	Y22200000-0000000000
2221	暫定仕様の処分場について現状技術に基づく実現可能性評価	Y22210000-0000000000
22211	建設に関する施工検討	521000000-A221000000
22212	操業に関する施工検討	521000000-A222000000
22213	閉鎖技術の開発	521000000-A223000000
2222	建設・操業・閉鎖技術開発	Y22220000-0000000000
22221	処分場の建設に係わる検討	Y22221000-0000000000
222211	掘削に関する検討	522130000-A221100000
222212	支保に関する検討	522130000-A221200000
222213	掘作、支保の施工機械の検討	522130000-A221300000
222214	施工管理システムの開発	522130000-A221400000
22222	操業に関する検討	522130000-A222000000
22223	閉鎖技術の開発	Y22223000-0000000000
222231	埋め戻し、プラグ、グラウトの検討	522140000-A223100000
2222311	ＥＮＴＲＹ中規模試験	522122000-A223100000
2222312	地下研での小規模試験	522110000-A223100000
2222313	地下研での中規模試験	522121000-A223100000
2222314	地下研での大規模試験	522130000-A223100000
222232	機能確認モニタリング計画	522130000-A223200000
2223	建設・操業・閉鎖技術の実現性の実証	Y22230000-0000000000
22231	建設に関する検討	Y22231000-0000000000
222311	実規模試験の実施	Y22231100-0000000000
2223111	実施計画	523110000-A220000000
2223112	試験実施	523120000-A220000000
2223113	計測による解析結果の実証	523130000-A220000000
2223114	掘削工法、支保工法の最適化	523140000-A221300000
2223115	施工管理システムの最適化	523140000-A221400000
222312	建設スペックの作成	523150000-A221000000
22232	操業に関する検討	Y22232000-0000000000
222321	実規模試験の実施	Y22232100-0000000000
2223211	ＥＮＴＲＹで行なった中規模試験結果の解析検討	523130000-A222000000

<< 研究項目の構成 （管理コード順） >>

管理コード	名称	ワークパッケージ
2223212	実施計画	523110000-A222000000
2223213	システムの最適化	523140000-A222000000
222322	操業スペックの最適化	523150000-A222000000
22233	閉鎖に関する検討	Y22233000-0000000000
222331	実規模試験の実施	Y22233100-0000000000
2223311	実施計画	523110000-A223000000
2223312	試験実施	523120000-A223000000
2223313	計測による解析結果の実証	523130000-A223000000
222332	閉鎖スペックの最適化	523150000-A223000000
3	地質環境調査	Z30000000-0000000000
31	天然バリアデータセット	Z31000000-0000000000
311	隔離性データセット	Z31100000-0000000000
3111	隔離性データセット	Z31110000-0000000000
31111	発端現象の発生基準評価のためのデータ	Z31111000-0000000000
311111	有価値資源に関するデータ整理	411100000-B111110000
311112	火山活動に関するデータ整理	411100000-B111120000
311113	隕石に関するデータ整理	411100000-B111130000
311114	隆起・侵食に関するデータ整理	411100000-B111140000
311115	その他の現象に関するデータ整理	411100000-B111150000
3112	隔離性データセット（２）	Z31120000-0000000000
31121	シナリオ解析のイベントツリーとして抽出される事象の発生確率、影響に係るデータ取得	411200000-B111200000
3113	隔離性データセット（３）	Z31130000-0000000000
31131	ダイレクトシミュレーションの入力データ取得	411300000-B111300000
312	地質環境データセット	Z31200000-0000000000
3121	地質環境データセット	Z31210000-0000000000
31211	熱解析に用いる地質工学分野のデータ整理	412100000-B112110000
31212	熱解析に用いる水理地質分野のデータ整理	412100000-B112310000
31213	応力解析に用いる地質工学分野のデータ整理	412100000-B112120000
31214	水理解析に用いる地質学分野のデータ整理	412100000-B112210000
31215	核種移行解析に用いる地質学分野のデータ整理	412100000-B112220000
31216	水理解析に用いる水理地質分野のデータ整理	412100000-B112320000

管理コード	名称	ワークパッケージ
31217	地下水の化学的性質に係わる地球化学分野のデータ整理	412100000-B112400000
3122	地質環境データセット（２）	Z31220000-0000000000
31221	応力解析に用いる地質工学分野のデータ取得	Z31221000-0000000000
312211	地下研究施設等でのデータ取得	412210000-B112120000
312212	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112120000
312213	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112120000
312214	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112120000
312215	取得データの総合的解析・評価	412260000-B112120000
31222	水理解析に用いる地質学分野のデータ取得	Z31222000-0000000000
312221	地下研究施設等でのデータ取得	412210000-B112210000
312222	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112210000
312223	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112210000
312224	リニアメントの抽出調査	412250000-B112210000
312225	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112210000
312226	取得データの総合的解析・評価	412260000-B112210000
31223	核種移行解析に用いる地質学分野のデータ取得	Z31223000-0000000000
312231	地下研究施設等でのデータ取得	412210000-B112220000
312232	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112220000
312233	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112220000
312234	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112220000
312235	取得データの総合解析・評価	412260000-B112220000
31224	水理解析に用いる水理地質学分野のデータ取得	Z31224000-0000000000
312241	地下研究施設等での取得	412210000-B112320000
312242	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112320000
312243	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112320000
312244	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112320000
312245	取得データの総合的解析・評価	412260000-B112320000
31225	表層水理解析に用いる水理地質学分野のデータ取得	Z31225000-0000000000
312251	地下研究施設等でのデータ取得	412210000-B112326000
312252	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112326000
312253	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112326000
312254	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112326000
312255	取得データの総合解析・評価	412260000-B112326000
31226	地下水の化学的性質に係わる地球化学分野のデータ取得	Z31226000-0000000000
312261	地下水研究施設でのデータ取得	412210000-B112400000
312262	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112400000
312263	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112400000
312265	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112400000
312266	取得データの総合解析・評価	412260000-B112400000
31227	その他の地質環境に係わるデータの取得	Z31227000-0000000000
312271	地下水研究施設でのデータ取得	412210000-B112500000
312272	堆積岩系のデータ取得	412220000-B112500000
312273	結晶質岩系のデータ取得	412230000-B112500000
312275	文献調査等によるデータ取得	412240000-B112500000
312276	取得データの総合解析・評価	412260000-B112500000

<< 研究項目の構成 （管理コード順） >>

管理コード	名称	ワークパッケージ
31228	地質環境データベースシステムの整備	Z31228000-0000000000
312281	システム開発	412271000-B100000000
312282	データ入力	412272000-B100000000
312283	システム運用	412273000-B100000000
3123	地質環境データセット（３）	Z31230000-0000000000
31231	水理解析用の地質学分野のデータ取得	Z31231000-0000000000
312311	地下水研究施設でのデータ取得	412310000-B112210000
312312	堆積岩系のデータ取得	412320000-B112210000
312313	結晶質岩系のデータ取得	412330000-B112210000
312314	深部地質環境調査によるデータ取得	Z31231400-0000000000
3123141	物理探査	412351000-B112210000
3123142	試錐調査	412352000-B112210000
312315	文献調査等によるデータ取得	412360000-B112210000
312316	取得データの総合的解析・評価	412370000-B112210000
31232	核種移行解析のための地質学分野のデータ取得	Z31232000-0000000000
312321	下水研究施設でのデータ取得	412310000-B1122200地
312322	堆積岩系のデータ取得	412320000-B112220000
312323	結晶質岩系のデータ取得	412330000-B112220000
312324	深部地質環境調査によるデータ取得	Z31232400-0000000000
3123241	試錐調査	412352000-B112220000
312325	文献調査等によるデータ取得	412360000-B112220000
312326	取得データの総合的解析・評価	412370000-B112220000
31233	地下水の化学的性質に係わる地球化学分野のデータ取得	Z31233000-0000000000
312331	地下水研究施設でのデータ取得	412310000-B112400000
312332	堆積岩系のデータ取得	412320000-B112400000
312333	結晶質岩系のデータ取得	412330000-B112400000
312335	深部地質環境調査によるデータ取得	Z31233500-0000000000
3123351	水理・採水試験	412353000-B112400000
312336	文献調査等によるデータ取得	412360000-B112400000
312337	取得データの総合的解析・評価	412370000-B112400000
31234	その他の地質環境に係わるデータの取得	Z31234000-0000000000
312341	地下水研究施設でのデータ取得	412310000-B112500000
312342	堆積岩系のデータ取得	412320000-B112500000
312343	結晶質岩系のデータ取得	412330000-B112500000
312345	深部地質環境調査によるデータ取得	412350000-B112500000
312346	文献調査等によるデータ取得	412360000-B112500000
312347	取得データの総合的解析・評価	412370000-B112500000
31235	地質環境データベースシステムの整備	Z31235000-0000000000
312351	システム改良	412381000-B100000000
312352	データ入力	412382000-B100000000
312353	システム運用	412383000-B100000000
32	調査技術開発	Z32000000-0000000000
321	調査技術開発	Z32100000-0000000000

管理コード	名称	ワークパッケージ
3211	機器開発	Z32110000-0000000000
32111	水理試験機器開発	Z32111000-0000000000
321111	シングルホール水理試験機の開発（国内）	421111000-B112320000
321112	シングルホール水理試験機の開発アンビリカルホースシステム（海外より導入）	421112000-B112320000
321113	孔開水理試験機の開発	421120000-B112320000
321114	トレーサー試験装置の開発	421130000-B112320000
32112	地下水地球化学調査用機器開発	Z32112000-0000000000
321121	採水装置の開発（国内）	421210000-B112400000
321122	原位置地球化学特性計測装置の開発（国内）	421220000-B112400000
321123	上記の１、２コンバインド装置の開発（アンビリカルホースシステム）	421230000-B112400000
321124	移動式分析車の開発	421240000-B112400000
3212	解析評価技術開発	Z32120000-0000000000
32121	地表調査法の開発	Z32121000-0000000000
321211	精密電磁法の開発	422110000-B112211000
321212	精密地下調査法研究	422120000-B112211000
32122	試錐孔を利用した地球物理調査法の開発	Z32122000-0000000000
321221	クロスホール法の開発	Z32122100-0000000000
3212211	測定機器開発	Z32122110-0000000000
32122111	レーダー法	422221110-B112200000
32122112	サイスミックス法	422221200-B112200000
3212212	処理技術開発	422212000-B112200000
321222	水理モデル構築	Z32122200-0000000000
3212221	クロスホール調査結果からのアプローチ	422210000-B112300000
3212222	水理試験結果からのアプローチ	422222000-B112300000
3212223	地球統計学的アプローチ	422223000-B112300000
32123	深部地質環境開発のための技術・手法の開発・改良	Z32123000-0000000000
321231	水圧破砕法の技術開発と適用試験	422231000-B112200000
321232	地殻応力測定技術開発と適用試験	422232000-B112200000
32124	天然現象の長期予測解析評価手法の開発	Z32124000-0000000000
321241	年代決定技術開発	422241000-B111000000
321242	地球化学的調査手法の開発	422242000-B111000000
321243	地質環境変動解析評価技術開発	422243000-B111000000

869 records selected.

PNC ZJ4281 90-003(1)

本資料は　年　月　日付けで登録区分、
変更する。
01.10. 4
[技術情報室]

配布限定

分置

地層処分研究管理システムの改良

— スケジュール更新要領 —

1990年 11月

日揮株式会社

本資料は、核燃料サイクル開発機構の開発業務を進めるために作成されたものです。
したがって、その利用は限られた範囲としており、その取扱には十分な注意を払ってください。 この資料の全部または一部を複写・複製・転載あるいは引用する場合、特別の許可を必要としますので、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

目次

0．　はじめに 1

1．　スケジュールの更新と変更
　1．1．　定常的なスケジュールの更新 3
　1．2．　アクティビティの削除 4
　1．3．　アクティビティの追加 5
　1．4．　アクティビティの停止・延長 6
　1．5．　リレーションの変更 7

2．　その他の注意 8

3．　各メニューの説明 9

0．　はじめに

本書の目的

・　本説明書は、ＮＥＣ製ＰＣ－９８ＸＬ2 上で運用する「高レベル廃棄物地層処分研究管理」を支援する工程計画支援システムを用いて、スケジュールの更新・変更が行われたときの対処の方法について説明したものです。

他のマニュアルについて

・　本取扱説明書はシステムの機能や機能の流れを説明するのではなく、平成３年度・８年度のスケジュールの見直しに対して、どの様な操作を行えばよいか、概要と作業の要領を示しています。　それらの変更に対して、最小限の力でシステム操作を行う方法と、システム操作への反映の仕方については「簡易型工程管理システム・マニュアル」を参照して下さい。
　尚、システム操作上の参考図書としては以下の物があります。

－　日本語入力（ＶＪＥ－Σ）取扱説明書

－　昭和６３年度版「工程計画管理システム取扱説明書」

－　ＰＣ－ＣＲＥＳＴＡ　ユーザーズガイド
－　ＰＣ－ＣＲＥＳＴＡ　オリジナルマニュアル（日本語）
－　ＰＣ－ＣＲＥＳＴＡ　オリジナルマニュアル（英語）

－　Ｂａｒ－Ｎｅｔｗｏｒｋ　オペレーションマニュアル
－　Ｂａｒ－Ｎｅｔｗｏｒｋ　ゾーン作成方法　マニュアル

－　簡易型工程管理システム操作マニュアル

本書の使い方

本書は、第１章で将来起こるであろうスケジュールの更新・変更のパターンについて述べています。　それらのパターン別にどのようなところに留意して作業をすればよいかを述べていますので、ここで必ず作業の概略を把握して、システム操作を行って下さい。

第２章以降は、第１章のまとめとスケジュールの更新・変更の注意点をまとめてあります。　　担当者の方が実務の最中で迷ったときに考える参考として下さい。

より詳しいシステム操作（実務の流れ）、即ち、クリティカル・パスの見直し方、データの意味と使い方、更新対象となるデータの見つけ方、等についてはさきに示した各種マニュアルを参照して下さい。　　システム運用中に問題が発生したときや運用上のポイントを知りたいときに役にたつでしょう。

１．スケジュールの更新・変更

１．１．　定常的なスケジュールの更新

初期スケジュールが設定され、各々の実務が遂行されるにつれ、スケジュールに実績値を設定し、遅れや仕掛かりを把握する必要が生じます。
この作業には、どのアクティビティ、リレーションが未着手なのか、進行中、または、完了したのか、という実態を把握する仕組み（組織）が欠かせません。
具体的には、以下の作業が必要です。

①：更新対象となるデータの見つけ方
②：実績データの研究者（グループ）からの収集
③：実績データのチェック・入力前の評価
④：実績データのシステムへの入力
⑤：時間解析と評価

これら５つのポイントはルーチンワークであり、②を除く４点について、別紙のマニュアルに述べていますので参考にして下さい。

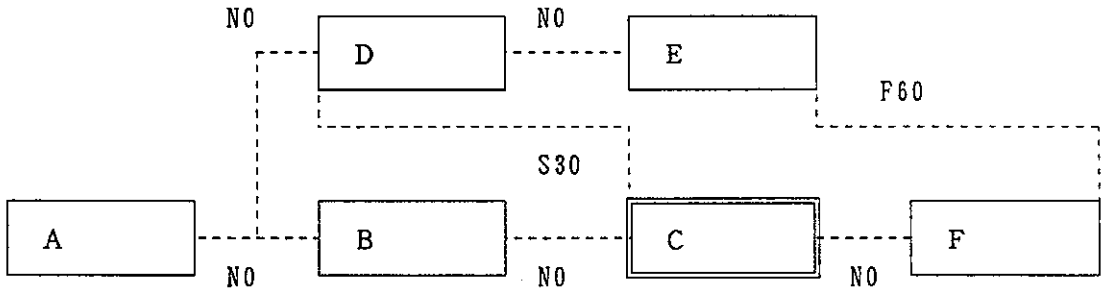
この定期的なスケジュールの更新に従い、スケジュールも変化します。　遠い先の作業は大きい枠でしか考えていなかったものが、時間の経過と共に詳しく分類されます。　また、不用になった作業が発生したり、差魚のつながり（手順）が変更になったりしますと、スケジュールの枠組みを見直されなければなりません。　この見直し作業により実状と合った、しかも各々の進行状況を正確に把握した工程管理が可能となります。
以下のページでは、スケジュールの枠組みの変更について重点的に述べています。

１．２．　ケース１：アクティビティの削除

（１）　パス中の単独アクティビティの削除

下の例１の状態で、アクティビティＣだけが不用になった時、アクティビティ一覧表からアクテビティＣを削除します。　次に、リレーション一覧表からアクティビティＣに関係する全てのリレーション（Ｂ－Ｃ，Ｄ－Ｃ，Ｃ－Ｆ）をすべて削除します。　ここで問題となる点は、アクティビティＣがなくなることによりアクティビティＢとＦがそれぞれ後続・先行作業を持たなくなり、宙ぶらりんの状態になることです。　単純に考えれば、アクティビティＢとＦを結ぶリレーションを新たに１つ追加してやれば済みます。　しかし、アクティビティＤ－Ｃ間にＳ型（先行作業重視型の並行作業）が定義されていたことを考えますと、アクティビティＤ－Ｆ間に何か関係定義が必要か、またはＥ－Ｆ間の関係を削除・見直すことが必要となるかもしれません。

このように、アクティビティが不用になったときは、それを削除した後どうするか、が問題となります。



例１：アクティビティの削除

（２）　パス（連続するアクティビティ）の削除

上記のパターンが連続して発生し、ある一連の関係作業が不用になる時を考えます。　基本的には上記のパターンと同じですのでアクティビティを１つ１つ削除する作業を繰り返します。　そのほかに大きく全体を見て、パスの見直しを行って後、各作業を修正できれば尚結構です。　例えば、例１でアクティビティＤとＥが不用になったとします。　全体からみますとパスＤＥはパスＡＢＣＦを補佐する作業群だとします。　すると、主な作業の流れであるパスＡＢＣＦはそのまま残すだけで、パスの主作業は遂行可能だと予想され、関係するリレーションも後から補正する必要も少なくなるでしょう。

逆に、パスＡ－Ｆを削除しなければならない場合、残されるパスＤ－Ｅをどうするかは一考を要します。　このパスは本当に必要か。　必要であるとしても、リレーションＤ－Ｅはよいのですが、アクティビティＤは何の作業の後に始まるのか、アクティビティＥはどの作業につながるのか、等の関係付けを考えねばなりません。

このように、パスの削除とは「作業手順の変更」、「考え方の変更」であり、残されるパスの関係をどうするかが、ポイントとなります。

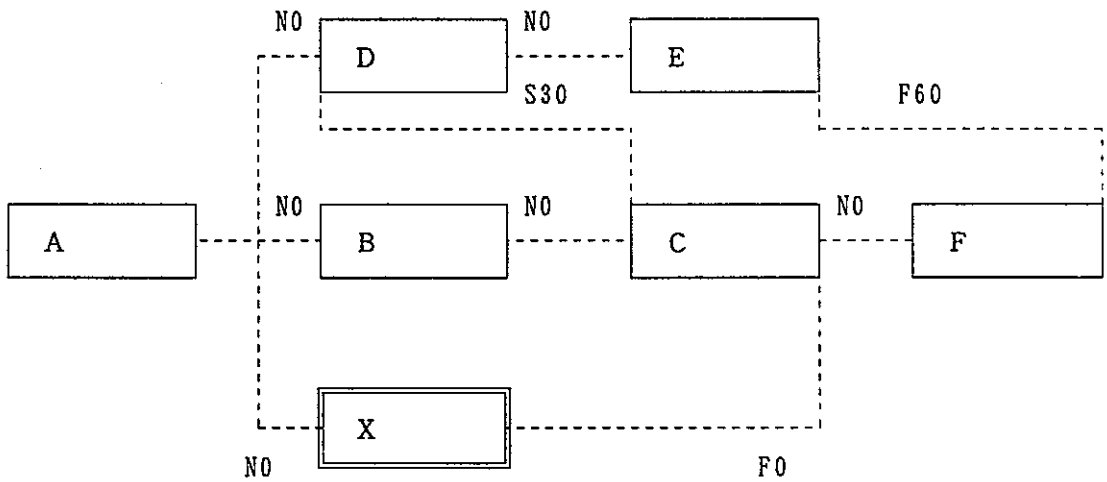
１．３．　ケース２：アクティビティの追加

（１）　パス中の単独アクティビティの追加

下の例２の状態で、アクティビティＸが従来の作業に対して必要だとされた場合を考えます。　この時、アクティビティ一覧表へアクテビティＸを追加します。　次に、リレーション一覧表にもアクティビティＸは従来の作業に対してどういう関係があるのか（どの作業の後・前に始まり、それらとの並行作業・連続作業関係があるか）をかんがえ、それらを追加します。　下の例から少なくとも２つのリレーションデータが追加されなければならないことがわかります。　この例では、リレーションＡ－ＸとＸ－Ｃです。

ここで問題となる点は、アクティビティＸの追加により、従来のパスに枝葉が生じますので、個々の作業の終了時期が遅れる可能性があることです。例２ではアクティビティＸはＣと同時に終了することになっています。　しかし、アクティビティＢとＣの作業期間の合計がＸのそれよりも少なければ、Ｘの追加によりパス全体の終了時期が遅れてしまうでしょう。　これがＰＪ全体に影響がなければよいのですが、影響がでるようならば「クリティカル・パス」になってしまいますので、パスの調整作業を行います。　（「簡易型工程管理システムマニュアル」を参照のこと）

このように、アクテビテイが追加になったときは、それを追加した後の影響（特にＰＪ全体の遅れが起きるか）はどうなるか、が問題となります。



例２：アクティビティの追加

１．４．　ケース３：アクティビティの延長・停止

ある研究作業の成果がでなかったり、外的要因によって作業の進行が妨げられたりするとき、そのアクティビティは期間を延長するか、あるいは、同じ名称・同じ作業内容・異なるアクティビティ番号を持つもう１つ別のアクティビティを後続作業として追加します。　逆に、後続の作業が全く不用になったり、いつ開始できるかわからなくなった時には、それらをすべて削除するか、または、それら作業の期間をほとんど０日とした上、作業名称とそれらの作業手順（リレーション）だけを残しておきます。　前者の場合は、「リスケジュール」の端的な例であり、後者の例は、いずれ作業が復活したときにわかりやすくするための「ダミー化」の例です。

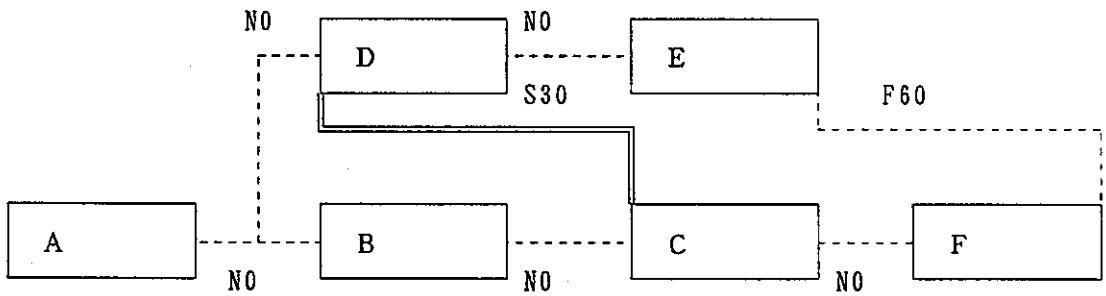
いずれの例にせよ、前述のケース１・２の応用に過ぎませんので、そちらの説明と注意点をよく理解していれば問題はないでしょう。

１．５．　ケース４：リレーションの変更

アクティビティの操作の場合と異なり、リレーションは作業の手順・流れを示したものですので、まずパス全体を考えたりする必要はありません。　作業の手順を正しく設定すること、必要な情報・データが作業間で（いつごろ）渡すことができるかを設定すること、に注意して変更を行います。
例えば、ある研究結果がでるのが遅れ、次の研究作業に影響がでそうな時や別の研究作業との関係が重要になった時、リレーションを削除して「無関係」にしたり、リレーションを全く他のアクティビティにつけ変えて作業手順を変更したりします。

（１）　パス中の単独リレーションの削除

下の例３の状態で、リレーションＤＣだけが不用になった時、リレーション一覧表からリレーションＤＣを削除します。　これにより、アクテイビティＣはアクティビティＤによる拘束をなくし、アクティビティＢだけに拘束されます。　　従って、考慮すべき点は、リレーションの削除によりＰＪ終了日が早くなりすぎないか、パスの途切れた（次に続くアクティビティを持たなくなったり、先行するアクティビティを持たなくなる）状態が発生しないか、という点です。



例３：アクティビティの削除

（２）　リレーション・タイプの変更

これは今までにもよく発生した状態、即ち、ＰＪ終了日が遅れすぎて、そのクリティカル・パスを調整したときに用いた手順です。　　アクティビティの手順を連続作業とせず並行作業にしたり、また、先行期間χ日を重視した「Ｓ」型にするか、終了後の期間φ日を重視した「Ｆ」型にするか、それとも逆に期間が十分余裕があるので並行作業でなく、連続作業にするか、等の各々の状況でリレーション・タイプを変更します。
この点については、「簡易型工程管理システム・マニュアル」の中のクリティカル・パスの調整、の項目を参照して下さい。

2．　他の注意点

1．で述べたケースに応じてデータを修正するにはシステムのメニュー'5','6','7'の3種のレポート、及び、メニュー'10'の最新のネットワーク図をベースにして、各アクティビティ（作業）の担当者から事前に収集した実績データと照合し、次のチェックを行います。　　現在時間、チェックしたデータ、現在注目すべき事項、注釈、等はすべてこのレポート上に朱記訂正しておきます。

まず、前回の基本スケジュール自身のチェックです。

①：今回初めて作業開始となったアクティビティはどれか？

②：進捗中のアクティビティはどのくらい進行したか？　　また、終了したものがあるか？

③：今回作業が開始され、また同時に終了してしまったアクティビティはどれか？

④：今回初めて進行開始となったリレーションはどれか？　また、そのタイプは？

⑤：今回終了したリレーションはどれか？　そのタイプは？

⑥：進行中だったリレーションのうち、まだ進行中のものが残っているか？

次に、今回新たに発生した要因です。

⑦：追加・削除するアクティビティがあるか？

⑧：追加・削除するアクティビティに対応リレーションはどこに入るか？　また、そのタイプは？

⑨：新しくアクティビティに追加・削除するマイルストーンはあるか？

⑩：あるアクティビティについて、開始日（または終了日）をある日付で固定化する必要はないか？　　あるとすれば、それはいつか？

最後に調整です。

①～⑩の作業によってリストは真っ赤になるはずです。　クリティカル・パスに関係する更新部分があれば、直接ＰＪ終了日に響きますが、間接的にも影響を受けます。　さて、最終的に予測されるＰＪ終了日はいつ頃でしょうか？　もし、予測可能ならばそれをＰＪ終了日をオーバーしないか評価して下さい。　もし、不可能ならばシステムの時間解析結果を見てから再度調整して下さい。

3．　各メニューの説明

メニューの各機能の概略をメニュー番号の順番に示します。

1．　データ（アクティビティとリレーション）の修正
アクティビティ、リレーション、ゾーンの各コードを入力・修正・削除します。　　データの更新作業を行うときは必ず使用します。
（もちろん、新規データが発生したときにも用いる画面です。）
本画面ですべての基本データ（アクティビティ・リレーション・ゾーン）の編集を行います。

2．　データ（アクティビティとリレーション）の入れ替え
メニュー'1'によって定まった基本データを「ＰＣ－ＣＲＥＳＴＡ」の内部データとして入れ換える処理を行います。　　メニュー'1'にミスがありますと、本処理を行っても中途半端な形でデータが取り込まれるか、または、全く取り込まれません（結果はデータなしとなります）。

3．　タイムナウ（現在時間）の設定
時間解析によって工程管理を行うときの現在時間を入力するための画面です。　　必ず時間解析の直前に使用しなければなりません。

4．　時間解析
工程管理の分析計算をおこないます。　メニュー'2','3'、及び、本メニューはボタン１つで作動しますので、メニュー'1'さえ完ぺきであれば、データ的に問題なく作動します。　　ネットワークの論理的なミスや矛盾はこの結果を見て修正します。

5．　作業関連チェックリストの出力（レポート番号：SR01J）
メニュー'2','3','4'の解析操作を行った後の各作業のスケジュールを確認する、または、解析作業を行うための直前の”前回の解析ネットワークが現在時間でどうなっているのか、更新対象となるデータを発見する”、という各々の段階で必ず指定した方がよい標準リストです。
後続アクティビティ（作業）を主眼としてどんな作業と関係付けられているかを一覧します。

6．　作業スケジュールリストの出力（レポート番号：SR03J）
メニュー'5'に準じて出力指定した方がよい標準リストです。
全ての作業アクティビティの一覧（インデックス）と現在の達成状況を網羅します。

7．　作業スケジュール・バーチャートの出力（レポート番号：SR04J）
時間解析後に「ネットワーク」のかわりに、出力する標準リストです。
各作業が各月毎（時間軸上）にバー表示されたらどうなるかを示したものです。　（平成１６年まで表示します）　本リストは「ネットワーク」のかわりに手軽に出力できますので、今回の時間解析に対象となるアクティビティ・リレーションを把握するには最も効果的なリストとなります。

8．　作業ダンプリストの出力

データの入れ替え作業（メニュー'2'）の直後、または標準リスト（メニュー'5','6','7'）に表示されていない内部データ全てを見たいとき、に使用するチェックリストです。　本リストはアクティビティの情報すべてをを出力します。　ほとんどの場合、前者のケースに使用されます。

9．　作業関係ダンプリストの出力

メニュー'8'と必ず同じタイミングで使用されるチェックリストです。
本リストはリレーションの内部情報すべてを出力します。

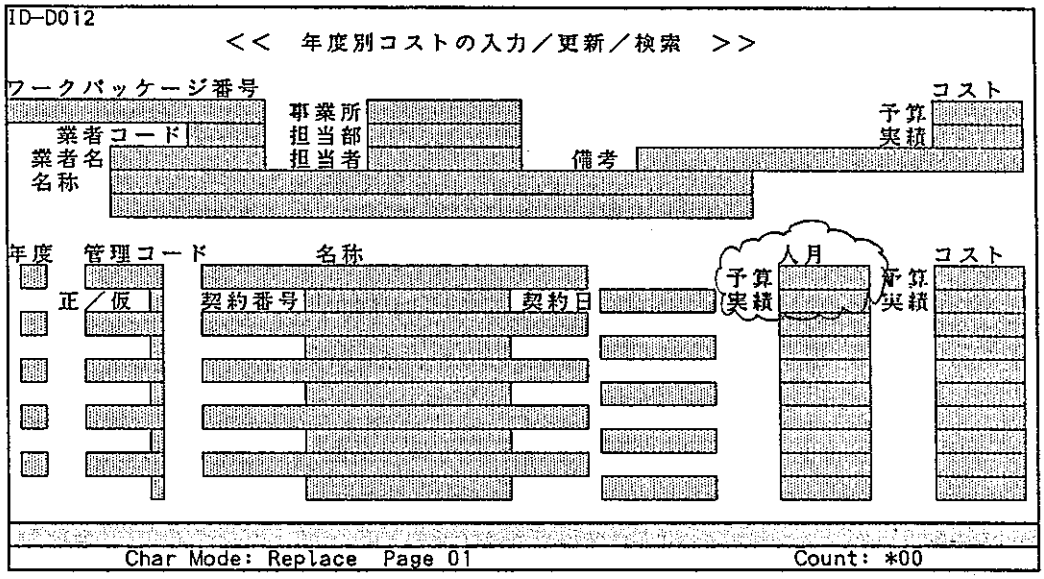
10．　バー・ネット／ネットワークの作成と出力

時間解析が成功し、ネットワークが論理的にチェック・修正された後に指定される機能です。　スケジュールの視覚的把握を行うと共に公式な（見栄えのよい）書類として使用されるチャート類を作成・出力します。

11．　バー・ネットのデータ修正

バー・ネット出力中になんらかのトラブル（プロッタペンのインク切れ、用紙の破損、等）が起き、同じプロットを再出力したいが、メニュー'10'をもう1度行うには時間がもったいなかったり、面倒なときに指定します。
最新のバーネット作図データを修正し、所定のページから再開できるように設定します。

年度別人月データの入力／更新／検索



入力画面

上図の雲型マークに示すように、検収予定日／実績日のかわりに、予定人月／実績人月を設定した。
ここで、人月データは数字である限り入力自由であり、実績人月の欄を実績ではなく、（予算設定時に限り）予定を決めるためのシュミレーション項目として使用しても構わない。　但し、後で必ず実績値を空白化しておき、実際の実績値と混同しないこと。
尚、現時点までに入力済みのデータがもしあれば本画面に表示される。　雲型マークの欄のみ空白となっているのでここのみ入力すること。

出力帳票

入力画面と同様に、検収日の代わりに人月が設定されたレポートの出力が可能である。　レイアウトが許す限り、検収日の項目も表示してあるが、これは検収日はまだ入力・出力共に可能であり、入力画面（上記）を変更するだけで検収日が使用できることを示している。
主な出力は以下の通り。　（添付のサンプルを参照のこと）

1．　ワークパッケージ別
2．　事業所・担当部別
3．　業者別
4．　年度別
5．　ＦＷＢＳ別　（レベル指定可能）
6．　ＰＣＷＢＳ別（レベル指定可能）

<<< ワークパッケージ別コスト管理表 >>>

ワークパッケージ	名称	予算コスト 実績コスト	残コスト	委託業者名称	予定人月	実績人月
612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける文献調査	300	300	UNKNOWN	1,060	
612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける専門家の判断の集約	720	720	UNKNOWN	1,550	
612230000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける事象・プロセスと隔離性	270	270	UNKNOWN	700	
612311110-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける概括的シナリオにおける	4,000	4,000	UNKNOWN	3,600	
612311120-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおけるその他のケースについて	370	370	UNKNOWN	550	
612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	1,000	1,000	UNKNOWN	900	
612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	2,300	2,300	UNKNOWN	2,100	
			8,960		10,460	0

（コスト ：千円）

7 records selected.

サンプル出力 1/10

<<< ワークパッケージ，年度別コスト管理表 >>>

ワークパッケージ	名称	年度	予算コスト 実績コスト	残コスト	予定人月	実績人月	備考
612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における文献調査	01	80	80	300		
		02	100	100	360		
		03	120	120	400		
**********	**********			----------	--------	--------	
				300	1,060	0	
612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における専門家の判断の集約	01	200	200	450		
		02	150	150	300		
		03	150	150	300		
		04	220	220	500		
**********	**********			----------	--------	--------	
				720	1,550	0	
612230000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における事象・プロセスと隔離性あるいは多重バリアシ	02	70	70	200		
		03	200	200	500		
**********	**********			----------	--------	--------	
				270	700	0	
612311110-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における概括的シナリオにおける解析ケースの設定	02	1,000	1,000	900		
		03	1,000	1,000	900		
		04	1,000	1,000	900		
		05	1,000	1,000	900		
**********	**********			----------	--------	--------	
				4,000	3,600	0	
612311120-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における におけるその他のケースについての検討	03	50	50	100		
		04	120	120	200		
		05	200	200	250		
**********	**********			----------	--------	--------	

（コスト ：千円）

サンプル出力 2/10

<<< 年度，ワークパッケージ別コスト管理表 >>>

年度	ワークパッケージ	名称	予算コスト 実績コスト	残コスト	予定人月	実績人月	備考
01	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における文献調査	80	80	300		
	612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における専門家の判断の集約	200	200	450		
	612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	300	300	300		
	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	600	600	500		
****				1,180	1,550	0	
02	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における文献調査	100	100	360		
	612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における専門家の判断の集約	150	150	300		
	612230000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における事象・プロセスと隔離性あるいは多重バリアシ	70	70	200		
	612311110-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における概括的シナリオにおける解析ケースの設定	1,000	1,000	900		
	612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	700	700	600		
	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	700	700	700		
****				2,720	3,060	0	
03	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における文献調査	120	120	400		
	612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における専門家の判断の集約	150	150	300		
	612230000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における事象・プロセスと隔離性あるいは多重バリアシ	200	200	500		
	612311110-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における における概括的シナリオにおける解析ケースの設定	1,000	1,000	900		
	612311120-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における におけるその他のケースについての検討	50	50	100		
	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	1,000	1,000	900		
****							

（コスト ：千円）

サンプル出力 3/10

<<< コスト管理コード別コスト管理表 >>>

年度	コストコード	ワークパッケージ	名称	予算コスト	実績コスト	予定人月	実績人月
01	21.18.13.000001	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	80		300	
	**********			80	0	300	0
	21.18.13.000003	612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	200		450	
	**********			200	0	450	0
	21.18.13.000036	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	600		500	
	**********			600	0	500	0
	21.18.13.000042	612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	300		300	
	**********			300	0	300	0
****				1,180	0	1,550	0
02	21.18.13.000001	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	100		360	
	**********			100	0	360	0
	21.18.13.000003	612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	150		300	
	**********			150	0	300	0
	21.18.13.000021	612230000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	70		200	
	**********			70	0	200	0
	21.18.13.000022	612311110-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	1,000		900	
	**********			1,000	0	900	0
	21.18.13.000036	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	700		700	
	**********			700	0	700	0
	21.18.13.000042	612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	700		600	
	**********			700	0	600	0
****				2,720	0	3,060	0
03	21.18.13.000001	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響における	120		400	
	**********			120	0	400	0

（コスト ：千円）

サンプル出力 4/10

<<< 担当部署，ワークパッケージ別コスト管理表 >>>

事業所 担当部署	ワークパッケージ	名称	予算コスト 実績コスト	残コスト	委託業者名称	予定人月	実績人月
1 1	612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	1,000	1,000	UNKNOWN	900	
	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	2,300	2,300	UNKNOWN	2,100	
**********							
				3,300		3,000	0
				3,300		3,000	0

（コスト ：千円）

サンプル出力 5

<<< 委託業者，ワークパッケージ別コスト管理表 >>>

委託業者名称	ワークパッケージ	名称	予算コスト 実績コスト	残コスト	事業所 担当部署	予定人月	実績人月
UNKNOWN	612210000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける文	300	300		1,060	
	612220000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける専	720	720		1,550	
	612230000-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける事	270	270		700	
	612311110-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおける概	4,000	4,000		3,600	
	612311120-C100000000	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響におけるにおけるそ	370	370		550	
	612311211-C110000000	ニアフィールド現象における実験計画、及び装置設計	1,000	1,000	1 1	900	
	612311212-C110000000	ニアフィールド現象における装置製作	2,300	2,300	1 1	2,100	
**********				8,960		10,460	0
				8,960		10,460	0

（コスト ：千円）

7 records selected.

サンプル出力 6/10

<<< FWBSレベル指定サマリ >>>

指定FWBS	名称	予算コスト	実績コスト	残コスト	予定人月	実績人月
61221	文献調査	300		300	1,060	
61222	専門家の判断の集約	720		720	1,550	
61223	事象・プロセスと隔離性あるいは多重バリアシステム性	270		270	700	
61231111	概括的シナリオにおける解析ケースの設定	4,000		4,000	3,600	
61231112	その他のケースについての検討	370		370	550	
612311211	実験計画、及び装置設計	1,000		1,000	900	
612311212	装置製作	2,300		2,300	2,100	
		8,960	0	8,960	10,460	0

(コスト : 千円)

7 records selected.

サンプル出力 7/10

<<< ＰＣＷＢＳレベル指定サマリ >>>

指定ＰＣＷＢＳ	名称	予算コスト	実績コスト	残コスト	予算人月	実績人月
C1	地下水に溶出した放射性核種による間接的影響	5,660		5,660	7,460	
C11	ニアフィールド現象	3,300		3,300	3,000	
		8,960	0	8,960	10,460	0

サンプル出力 8/10

（コスト ：千円）

<<< コストコード，年度別コスト管理サマリ >>>

コストコード	名称	年度	予算コスト	実績コスト	残コスト	仮／正	仮検収	本検収	予定人月	実績人月
21.18.13.000001		01	80		80				300	
		02	100		100				360	
		03	120		120				400	
**********	**********		300	0	300				1,060	0
21.18.13.000003		01	200		200				450	
		02	150		150				300	
		03	150		150				300	
		04	220		220				500	
**********	**********		720	0	720				1,550	0
21.18.13.000021		02	70		70				200	
		03	200		200				500	
**********	**********		270	0	270				700	0
21.18.13.000022		02	1,000		1,000				900	
		03	1,000		1,000				900	
		04	1,000		1,000				900	
		05	1,000		1,000				900	
**********	**********		4,000	0	4,000				3,600	0
21.18.13.000035		03	50		50				100	
		04	120		120				200	
		05	200		200				250	
**********	**********		370	0	370				550	0
21.18.13.000036		01	600		600				500	
		02	700		700				700	
		03	1,000		1,000				900	
**********	**********		2,300	0	2,300				2,100	0
21.18.13.000042		01	300		300				300	
		02	700		700				600	
**********	**********		1,000	0	1,000				900	0
			8,960	0	8,960				10,460	0

（コスト ：千円）

21 records selected.

サンプル出力 9/10

<<< 年度，契約番号別コストサマリ >>>

年度	契約番号	予算コスト	実績コスト	残コスト	仮検収	本検収	予定人月	実績人月
01		1,180		1,180			1,550	
****			0	1,180			1,550	0
02		2,720		2,720			3,060	
****			0	2,720			3,060	0
03		2,520		2,520			3,100	
****			0	2,520			3,100	0
04		1,340		1,340			1,600	
****			0	1,340			1,600	0
05		1,200		1,200			1,150	
****			0	1,200			1,150	0
			0	8,960			10,460	0

サンプル出力 10/10

（コスト ：千円）

PNC TJ4281 90-003(2)

配布限定

分置

本資料は　年　月　日付けで登録区分、
変更する。
01.10. 4
[技術情報室]

地層処分研究管理システムの改良

― 研究成果リスト管理システム取扱説明書(改定版)―

1990年 11月

日揮株式会社

本資料は、核燃料サイクル開発機構の開発業務を進めるために作成されたものです。
したがって、その利用は限られた範囲としており、その取扱には十分な注意を払ってください。　この資料の全部または一部を複写・複製・転載あるいは引用する場合、特別の許可を必要としますので、下記にお問い合わせください。

〒319-1184　茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部　技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

目　次　　ページ

1．はじめに ---------- 1

2．研究成果リスト管理システムの起動と終了 ---------- 2

3．システムの説明 ---------- 3

(1)メニュー ---------- 3

(2)各機能の説明 ---------- 4

(2. 1)キーコードの分類情報の入力 ---------- 6
(2. 2)キーワード情報の入力／更新／検索 ---------- 8
(2. 3)文献インデックスの入力／更新／検索 ---------- 9
(2. 4)文献情報定義の入力／更新／検索 ---------- 12
(2. 5)文献・キーコード関係の集中入力 ---------- 20
(2. 6)文献・ＷＢＳ関係の集中入力 ---------- 22
(2. 7)キーワードによる文献検索 ---------- 24
(2. 8)ＷＢＳによる文献検索 ---------- 27
(2. 9)文献によるＷＢＳ・キーワードの検索 ---------- 30
(2.10)参考文献と文献の相互関係登録 ---------- 34
(2.11)参考文献の検索 ---------- 35
(2.12)キーワード一覧表 ---------- 39
(2.13)文献一覧リスト ---------- 40
(2.14)文献定義書 ---------- 41
(2.15)キーコード別文献一覧リスト ---------- 43
(2.16)ＷＢＳ別文献一覧リスト ---------- 44

4．その他 ---------- 45
(1)ＵＦＩ ---------- 45
(2)バックアップ ---------- 46
(3)リカバリー ---------- 48

添付資料 ---------- 50

1．　はじめに

・本システムは昭和６３年度に初版（v.1.0）が作成され、平成２年度に様々な運用上の問題点に対処し、より実務に適用させるために修正されもので、現在は改訂版（v1.1）となっています。　　なお、初版との違いは次の点にあります。

１）入力データの桁数の拡張、及びそれに伴う入力画面・出力帳票の変更
２）操作性の向上（入力画面）と、検索機能の拡張（出力帳票）
３）キーコード番号の自動発番機能の廃止と、それに伴う変更（分類名称の設定機能）の追加

・本取扱い説明書は、ＮＥＣ　ＰＣ－９８ＸＬ^{2}上で運用する、「高レベル廃棄物地層処分研究成果評価報告書作成」に係わる文献の管理支援システムについて説明しています。

・本システムは研究業務に係わる文献情報の登録・修正及び、文献との相互関係等、以下の管理を支援しています。

１）キーコード分類の名称登録
２）キーワード情報の登録と修正
３）文献情報の登録と修正
４）参考文献と文献の相互関係の登録と修正
５）文献、ＷＢＳ、キーワードによる関係情報の登録と検索
６）管理レポート及び各種レポートの出力

本取扱い説明書では業務遂行の流れを考慮してシステムの操作を説明しています。これはシステムのメニュー（目次）とほぼ同じですので、メニューに沿って参照して下さい。但し、実務において本来は「データ入力を行った後には、それらをレポート出力によって確認する」ことを繰り返して作業が進むため、これらの作業に対応して、入力⇒出力⇒入力....といった順番でメニューを記述する方法もありますが、ここでは使用者の立場にたって「データ入力は定期的に一度にまとめて行い、出力は必要な度に適宜行う」ように、入力画面・出力帳票は各々かたまってメニュー化する方針で作成しています。

・本システムの使用者は大きく分けて２つに分けられると想定しています。　１つはデータを入力する人であり、入力系画面（メニュー'1'～'5'）と出力系画面（メニュー'10'～'14'）をおもに使用します。　他方は入力されたデータを検索するユーザ（使用者）の立場の人であり、検索系画面（メニュー'2'～'4'と'6'～'9'）をおもに使用します。　使用する立場・ニーズによって、システムの機能を特定化していますので、このガイドにそってお使い下さい。

・システムの開発及び運用は、リレーショナルデータベース（ＯＲＡＣＬＥ）を使用しています。ＯＲＡＣＬＥでは様々な特徴があり、中でも検索機能が豊富です。このため、取扱はキーボードのキー操作をいかにうまく行うかが運用・入力上のポイントとなります。　　本システムの画面操作ではこの点に注意して下さい。

・データ入力画面での操作は、別紙「画面操作取扱い説明書」を参照して下さい。

・日本語データを入力する場合は、別紙「日本語入力（ＶＪＥ－Σ）取扱い説明書」を参照して下さい。

2．文献検索システムの起動と終了

起動に際してはパソコン（ＸＬ^2）、使用周辺装置の順に電源を”ＯＮ”にし、所定の手続きによってハードディスクからシステムをハイレゾリューション（高解像度）モードでＤＯＳをスタートさせ、ＤＯＳプロンプトが表示されることを確認します。
本システムを起動するためには、”ＤＯＣ” とタイプして下さい。

Ａ：￥＞ＤＯＣ

この後、文献検索システムのメニューが表示されますので、メニューに従って操作して下さい。

詳細は次章以降で説明されています。

システムの操作終了は必ずメインメニューに戻って［ＥＸＩＴ］を選んで下さい。　ＯＲＡＣＬＥが終了し，ＤＯＳプロンプトが表示されます。
（この状態でＤＯＳ操作や、バックアップ・リカバリーを行うことができます。
次に、ＳＴＯＰキーを１～２秒押して下さい。
この後、周辺装置、パソコンの順に電源を“ＯＦＦ”にして下さい。

3．システムの説明

（1）メニュー

メニューは、ハイレゾリューションモードの場合２ページで構成されています。
メニューの操作は、処理したい項目まで矢印キー↑・↓で移動してリターンキーを押下するか、もしくは表示されているファンクションキーを押下することによって行います。
尚ページの切り替えは、ROLLUP, ROLLDOWN キーによって行って下さい。

```
文献検索システム                    （コマンド選択） 1/ 2      Menu v2.20
 F1 キーワード情報の入力                          日付:
 F2 キーワード情報の更新／検索                      1990-03-30
 F3 文献番号の入力／更新／検索                    時刻:
 F4 文献情報の定義の入力／更新／検索                16:26
 F5 文献・キーコード関係の集中入力                MS-DOS:
 F6 文献・ＷＢＳ関係の集中入力                      Ver. 3.30
 F7 キーワードによる文献検索
 F8 ＷＢＳによる文献検索
 F9 文献によるＷＢＳ・キーワードの検索
 F10キーワード一覧表の出力
 F11文献インデックス・リストの出力
 F12文献定義書の出力
A>KEY A:¥KEYIAP.TBL & IAP L:B010 PNC2/PNC2 & KEY A:¥KEY.TBL

矢印キーで項目を選択し、リターンキーを押してください
```

```
文献検索システム                    （コマンド選択） 2/ 2      Menu v2.20
 F1 キーワード別文献一覧表の出力                  日付:
 F2 ＷＢＳ別文献一覧表の出力                        1990-03-30
 F3 参考文献と文献の相互関係登録                  時刻:
 F4 参考文献の検索                                  16:29
 F5 キーワードによる文献検索                      MS-DOS:
 F6 ＵＦＩ                                          Ver. 3.30
 F7 ＥＸＩＴ
 F8
 F9
 F10
 F11
 F12
A>1 L:SUBB032

矢印キーで項目を選択し、リターンキーを押してください
```

（２）各機能の説明

メニューの各機能を操作の流れに沿って概略を示すと次の様になります。

１．キーコードの分類情報の入力

キーコードの大分類・中分類に相当するコードとそれらの名称を設定します。
メニュー'2'の前に必ず本画面から分類が登録されていなければなりません。

２．キーワード情報の入力／更新／検索

キーワード（日本語名称、英語名称）の登録・削除・更新を行います。
以降の作業で対象となるキーコードはすべて本画面から登録されていなければなりません。　初版と異なり、ここではどんな操作でもできます。

３．文献インデックスの入力／更新／検索

文献番号とその日本語名称、英語名称、文献タイプ、言語、著者名、発行日等、特に文献に深く係わる情報を登録・更新・削除します。
本画面は「文献要旨」が決っておらず、「キーワード」との相互関係も未定なので、文献情報のみ先に登録したい時、又は上記の情報のいづれかを修正・検索したい時に使用します。
キーワードの時と同様に、文献番号もメニュー'4'以降の作業のため本画面から事前登録されていなければなりません。

４．文献情報の定義の入力／更新／検索

登録済みの文献番号に対し発行者名、発行日、保管部門、その他文献情報の要旨など、文献の本質的な情報設定を行います。
また、その文献がどのＷＢＳ（ワークパッケージ）及び、キーワードと関係があるのか相互関係の登録もこのメニューから行うことができます。

５．文献・キーコード関係の集中入力

今回の改訂で追加された２つのオペレータ専用の入力画面の１つめです。
メニュー'4'の文献定義時に関係キーワード情報を設定せず、集中して関係付けを行うときに使用します。

６．文献・ＷＢＳ関係の集中入力

今回の改訂で追加された２つめのオペレータ専用の入力画面です。
メニュー'4'の文献定義時に関係ＷＢＳ情報を設定せず、集中して関係付けを行うときに使用します。

７．キーワードによる文献検索

メニュー'4'で設定したキーワードと文献の相互関係の情報を検索します。

８．ＷＢＳによる文献検索

メニュー'4'で設定したＷＢＳと文献の相互関係の情報を検索します。

９．文献によるＷＢＳ・キーワードの検索

本画面はメニュー'7','8'の逆のケースであり、文献を中心にして、どんなキーワードやＷＢＳがその文献に関係があるかを調べます。

１０．　参考文献と文献の相互関係登録

登録済みの文献番号に対し、その文献が参照している（参考となる）文献番号の設定を行います。

１１．　参考文献の検索

メニュー'10'で設定した参考文献と文献の相互関係の情報を検索します。

１２．　キーワード一覧表の出力

メニュー'1','2'で設定したデータに基づいて、キーワード一覧表の出力を行います。　もし、出力結果に漏れがあるときはめにゅー'1','2'からデータを見直して下さい。

１３．　文献一覧リストの出力

文献一覧リストの出力を文献番号順に行います。　レイアウトや選択条件などが初版のときと違っていますので注意して下さい。
文献の要旨や定義、等は必要ないが著者、発行日、発行国等が一覧としてすぐ手元にほしいとき、または、メニュー'3'の入力確認の時に使用します。

１４．　文献定義書の出力

文献番号毎のデータを１枚の紙にまとめて「定義書」形式で出力します。
この情報はメニュー'4'とレイアウトは多少違いますが、内容は全く同じに対応しています。　初版の時と比較して出力方法こそ変わっていないものの、レイアウトなどの点ではかなり変更されています。

１５．　キーコード別文献一覧リスト

メニュー'4'で登録したキーワードと文献の相互関係情報が出力されます。
項目の拡張、レイアウトの変更、文献一覧リストとの出力形式の統一、等の点で変更があります。

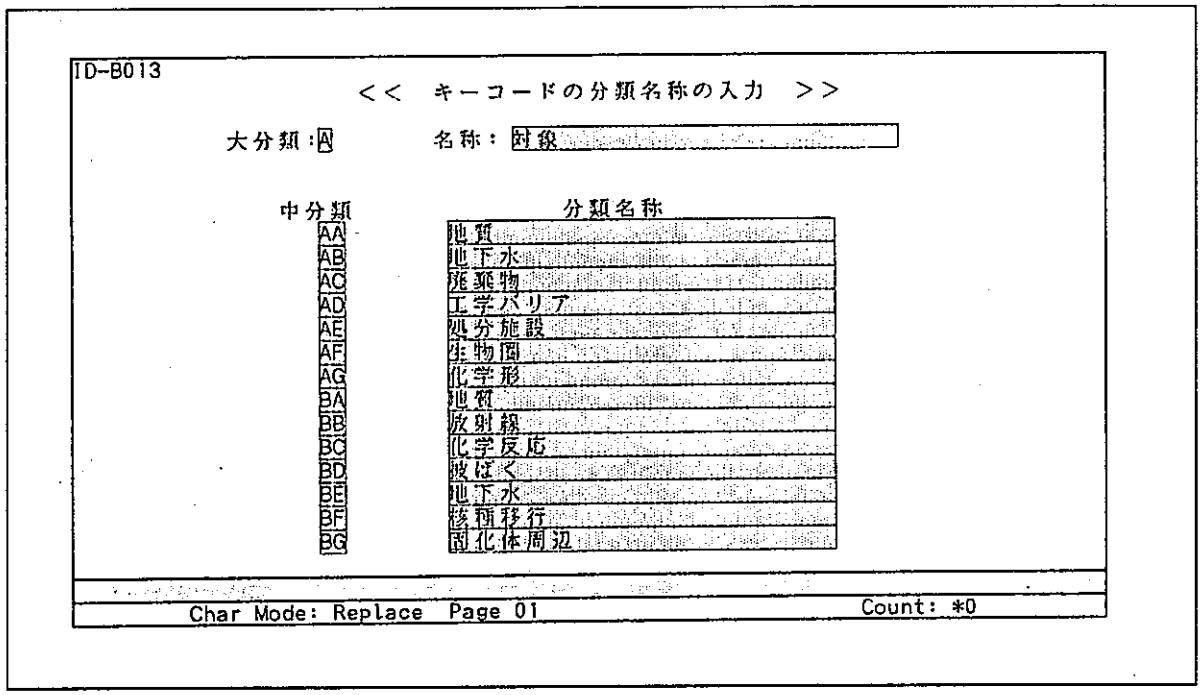
１６．　ＷＢＳ別文献一覧リスト

メニュー'4'で登録したＷＢＳと文献の相互関係情報が出力されます。
「キーコード別文献一覧リスト」と同様に、項目の拡張、レイアウトの変更、文献一覧リストとの出力形式の統一、等の点で変更があります。

１７．　ＵＦ１

ＯＲＡＣＬＥの簡易言語であるＵＦＩを起動し、動作モードに入ります。
本メニューの操作にはＳＱＬ言語の知識が必要です。

（２．１）キーコードの分類情報の入力



この画面ではキーコードの分類に関する情報を入力します。
改訂版ではキーコードの自動生成機能は取り外されており、すべて使用者の方が自分で番号や分類、それらの名称を管理しなければなりません。 キーコードはおもにデータの入力・検索を効率的に行うために使用され、キーワードはデータの検索を色々な角度から行うために使用されます。 このキーコードの体系には意味があり、1,2桁目のアルファベットによって、大分類・中分類を構成しています。 これら、分類の意味（名称）を定義するのがこの画面です。 本画面は２ブロックで構成されており、画面上部が第１ブロックであり、大分類を設定します。 画面下部では中分類を設定します。

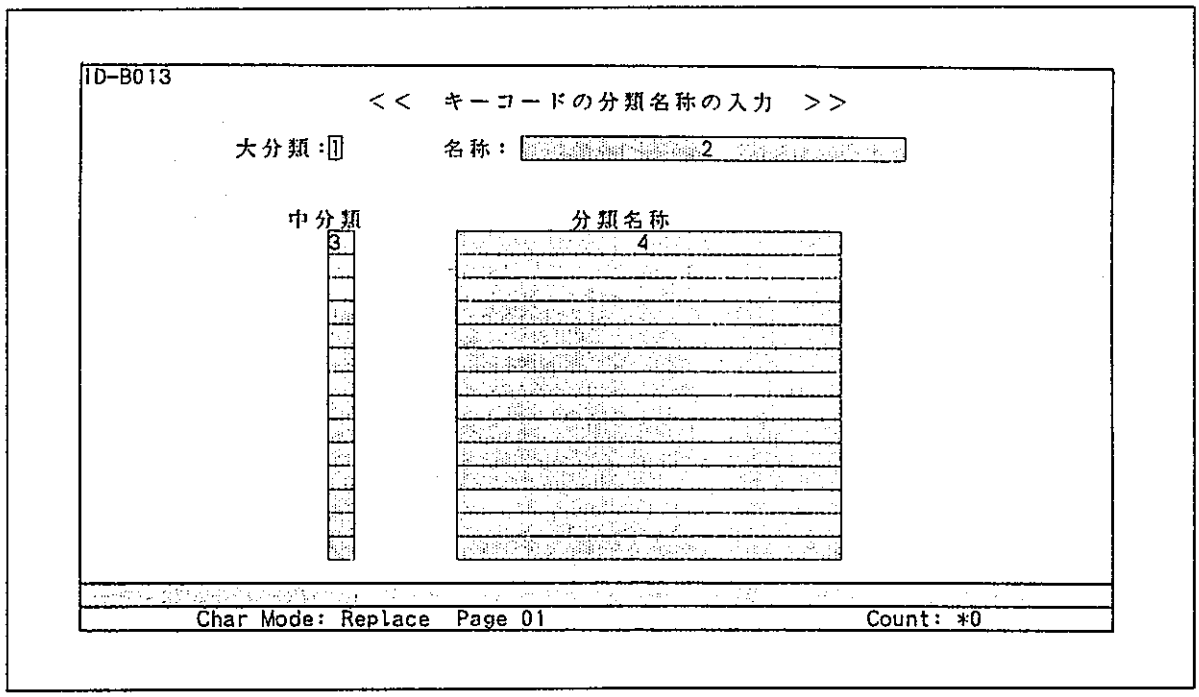
第１ブロック

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	大分類コード	1桁	CATG	必須入力項目

キーコードの大分類（１桁目）のコード表に基づいて、分類コードをアルファベットで'A','B'...と入力します。

２． 大分類名称 30桁（日本語15桁） TITLE

大分類の定義・名称を設定します。



メニュー'2'で入力するキーコード、および、本画面で登録する大分類・中分類コードはそれぞれ統一性をもって登録していなければなりません。　もし、統一性が損なわれているとメニュー'2'の「キーコード情報の登録」で操作できないか、またはメニュー'10'の「キーコード一覧表」に表示されなくなります。　このような現象が起こった場合は、メニュー'1'と'2'のデータを見直して下さい。　必ずどこかに不統一性があります。

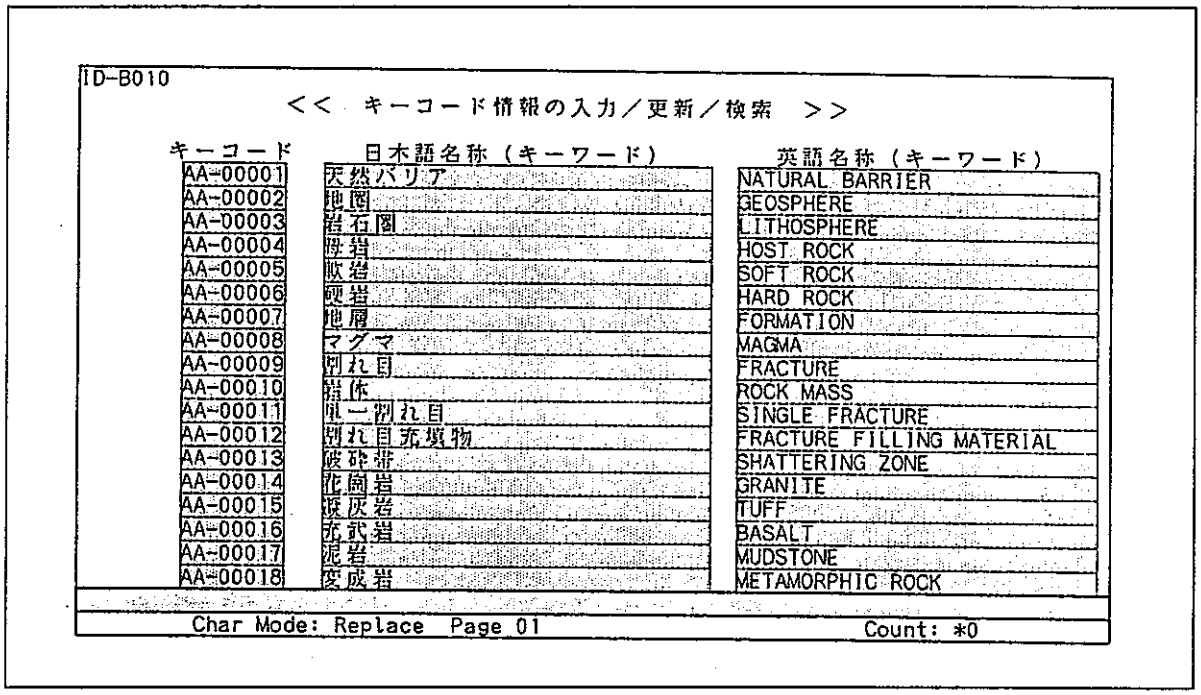
第2ブロック

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
3.	中分類コード	2桁	CAT	

キーコード大分類に対応した中分類コードを設定します。　画面上部で登録した大分類（1桁）が必ず中分類コードの頭1桁と一致していないとエラーとなり、操作できません。　大分類と同じく、英大文字で入力します。

4. 中分類名称　30桁　TITLE
（日本語15桁）
中分類の定義を行うため、日本語名称を入力します。

（２．２）キーワード情報の入力／更新／検索



この画面ではメニュー'1'で登録された分類コードに基づいて、キーコードとそれに対するキーワード（日本語名称・英語名称）の登録・削除・更新を行います。
よって上記画面が表示されたら必ずデータ検索 PF1（ENT Q）又はPF2（EXE Q）を押して、自分の設定したい分類を検索で呼び出してデータ確認してから作業を行って下さい。
尚、番号の変更は番号重複のないように、必ず１つ１つPF4登録しながら作業して下さい。
新規追加・削除は一括して行っても構いません。

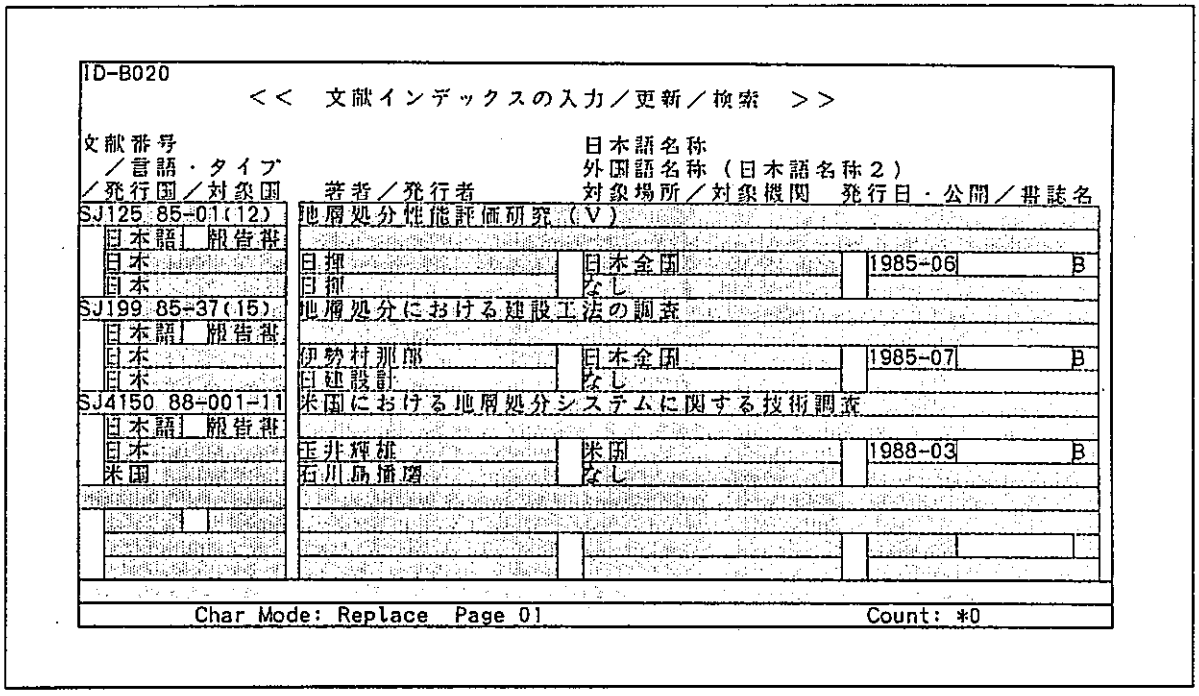
これ以降のシステムの操作ではこのキーワードが（英語・日本語名称）重要な役割を果たしますので、スペルミスや同じ意味の言葉を少し違った表現で登録するようなことは避けて下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	キーコード	8桁	KEY	
２．	キーワード	40桁	TITLE	
３．	キーワード	40桁	ETITLE	

（日本語名称、日本語20桁） （英語名称）
キーワードの検索又は表示を行います。
表示は30桁（日本語15桁）ですが、⇨で移動すると31桁目以降の文字がスクロールされます。 英語名称も表示が28桁になっている他は同じです。

※ 変更できるのは、２・３だけです。

（２．３）文献インデックスの入力／更新／検索



この画面では文献に関する情報のうち、文献番号・名称などインデックス情報を入力・更新・削除します。　新規文献データの登録はこの画面より行いますが、特にメニュー'4'の「文献定義」画面ほど手元に入力データがそろっていない時、文献とキーワード又はＷＢＳとの関係付けがまだわかっていない時、又は既に入力済みの文献を検索する時などに使用します。

尚、レイアウトの変更と項目の追加の他は初版と全く変わっていません。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	文献番号	20桁	DOC	必須入力項目

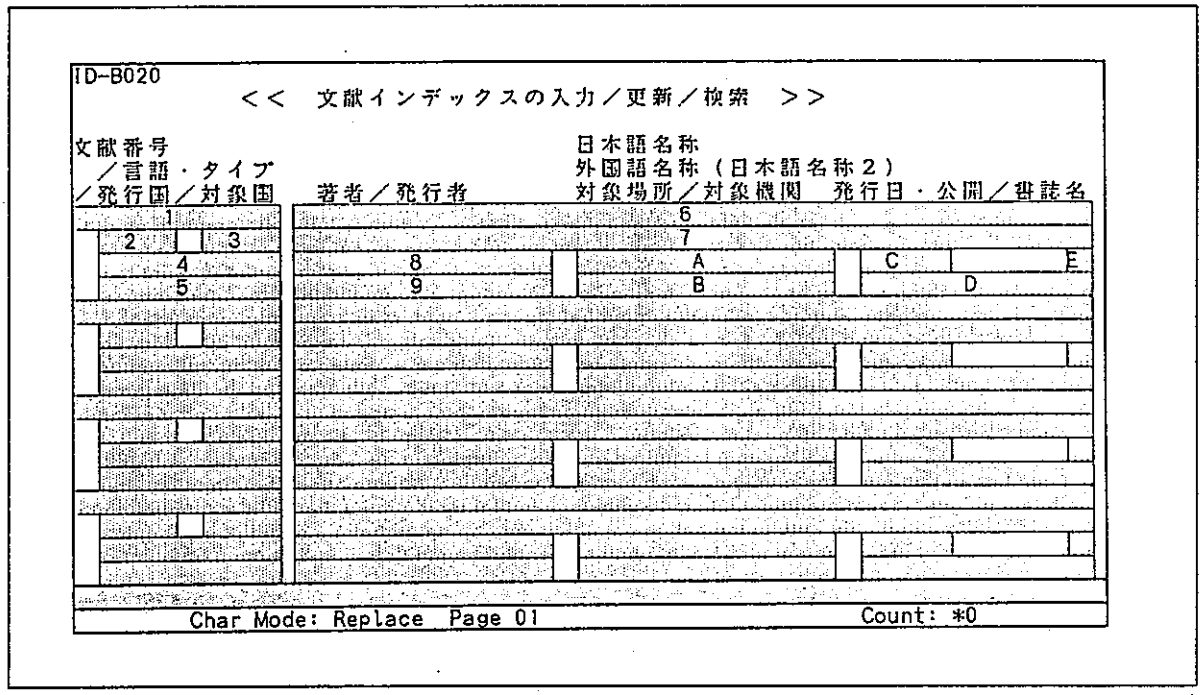
文献番号の表示は16桁ですが、⇨でスクロールされます。
各桁の使用方法・意味は「文献定義」画面を参照して下さい。

２．　言　語　　6桁　　LANG
（日本語 3桁）
文献が外国語で記述されている時の言語を入力します。

３．　文献タイプ　　6桁　　BKTYPE
（日本語 3桁）

報告書、論文、データ、雑誌、等の文献の種別やタイプを記述します。

４．　発行国　　14桁　　ISCNTRY
（日本語 7桁）
文献を発行した国を（１～２ヵ国）入力します。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考

5． 対象国　　14桁　　CNTRY
（日本語 7桁）

文献の内容上の主な（１～２ヵ国）対象国を入力します。

6． 日本語名称　　70桁　　TITLE
（日本語35桁）

文献に対する日本語名称を入力します。初版のシステムと違い、表示は70桁（日本語35桁）でフル表示で、⇨によるスクロールは行われません。

7． 英語名称　　70桁　　ETITLE
（日本語35桁）

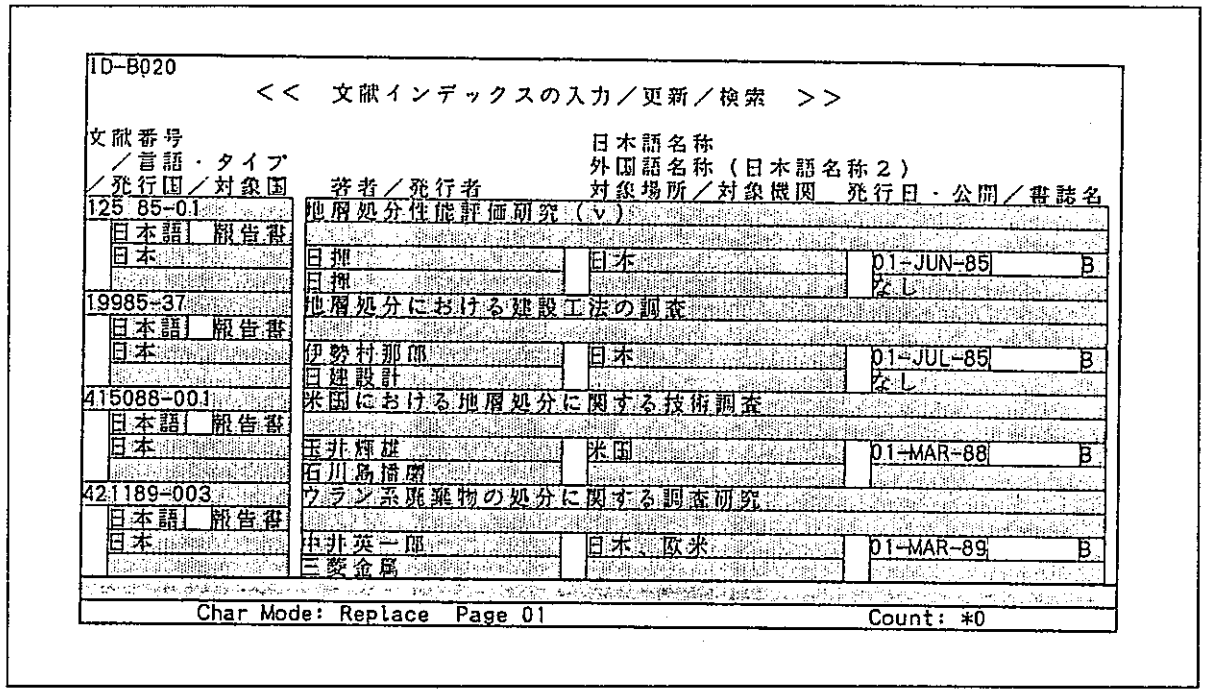
文献の英語名称を入力します。　6.の日本語名称で、文献名称が納まらない場合は本項目が日本語名称２として使用されます。
表示方法は日本語名称と全く同様です。

8． 著者名　　30桁　　AUTHOR
（日本語15桁）

著者名又はニュース・ソースを入力します。共著の場合は、／で区切って入力するか、代表者を入力してください。　本項目は20桁のみ表示していますが、21桁目以降を設定・表示する場合は、⇨を使用して下さい。

9． 発行者　　30桁　　PUBLISH
（日本語 15桁）

文献を発行・出版している機関や人名を入力します。　上と同じく、表示は20桁ですが、⇨で移動すると、21桁目以降が設定・表示できます。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考

A. 対象場所 30桁 PLACE
（日本語 15桁）

文献の内容中で取扱っている事象の対象場所を入力します。

B. 対象機関 30桁 ORGN
（日本語15桁）

文献の取扱う、又は参照している対象機関、委員会名等を入力します。
本項目も8.と同様に20桁のみ表示していますが、21桁目以降を設定・表示するときは⊟を使用して下さい。

C. 発行日 7桁 ISSUE

文献の発行日又は出版日を“YYYY-MM”の形式で入力します。
月が不明なときは、'1990-XX'のように入力して下さい。 初版と異なり、データ・チェックはありませんので、各自で日付を設定・管理します。

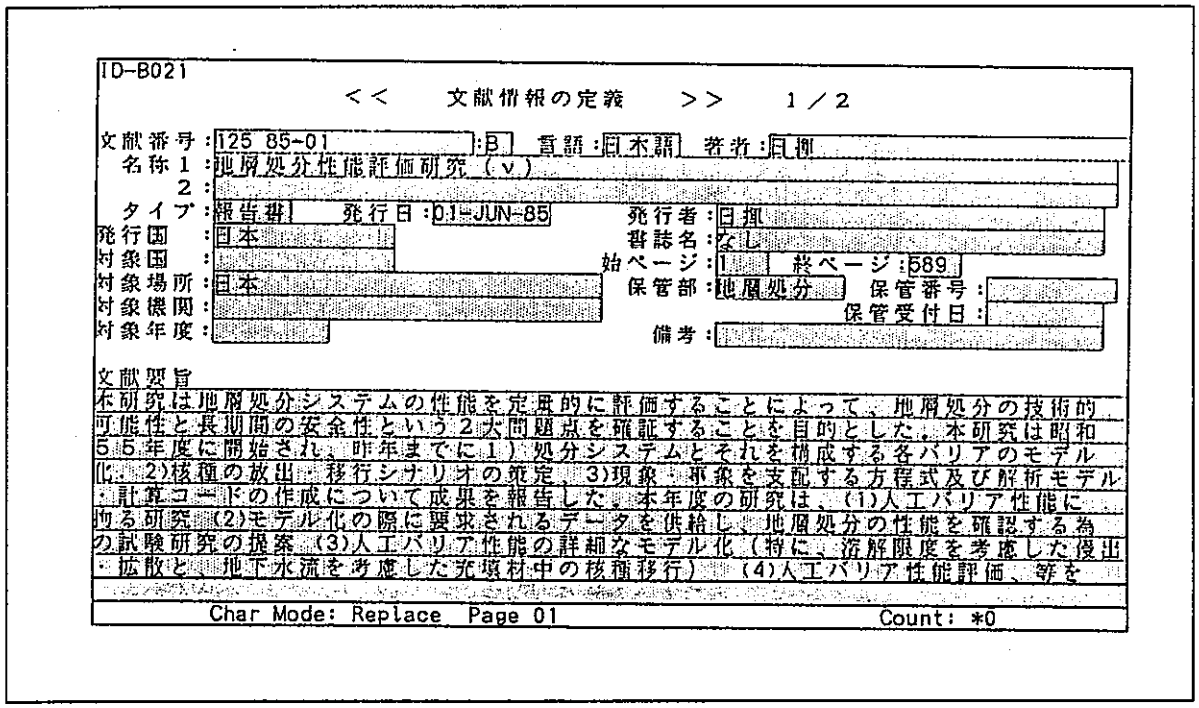
D. 書誌名 30桁 BKNAME
（日本語15桁）

文献が雑誌であるとき、または文献情報を本1冊単位でなく、1章・1節単位で登録しているとき、文献名称だけで明示できないときに用います。

E. 公開コード 2桁 OPEN 'Z','S','N','T'のみ

動燃事業団殿で使用している「公開の優先順位」に基づいて備考のコードで入力します。 （「文献定義」画面のコードの説明を参照）

（２．４）文献情報定義の入力／更新／検索


ID-B021
<< 文献情報の定義 >> 1／2
文献番号 :125 85-01 :B 言語 :日本語 著者 :日揮
名称 1 :地層処分性能評価研究（ｖ）
2 :
タイプ :報告書 発行日 :01-JUN-85 発行者 :日揮
発行国 :日本 書誌名 :なし
対象国 : 始ページ :1 終ページ :589
対象場所 :日本 保管部 :地層処分 保管番号 :
対象機関 : 保管受付日 :
対象年度 : 備考 :
文献要旨
本研究は地層処分システムの性能を定量的に評価することによって、地層処分の技術的可能性と長期間の安全性という２大問題点を確証することを目的とした。本研究は昭和５５年度に開始され、昨年までに１）処分システムとそれを構成する各バリアのモデル化、２)核種の放出・移行シナリオの策定 3)現象・事象を支配する方程式及び解析モデル・計算コードの作成について成果を報告した。本年度の研究は、(1)人工バリア性能に拘る研究 (2)モデル化の際に要求されるデータを供給し、地層処分の性能を確認する為の試験研究の提案 (3)人工バリア性能の詳細なモデル化（特に、溶解限度を考慮した侵出・拡散と、地下水流を考慮した充填材中の核種移行） (4)人工バリア性能評価、等を
Char Mode: Replace Page 01 Count: *0

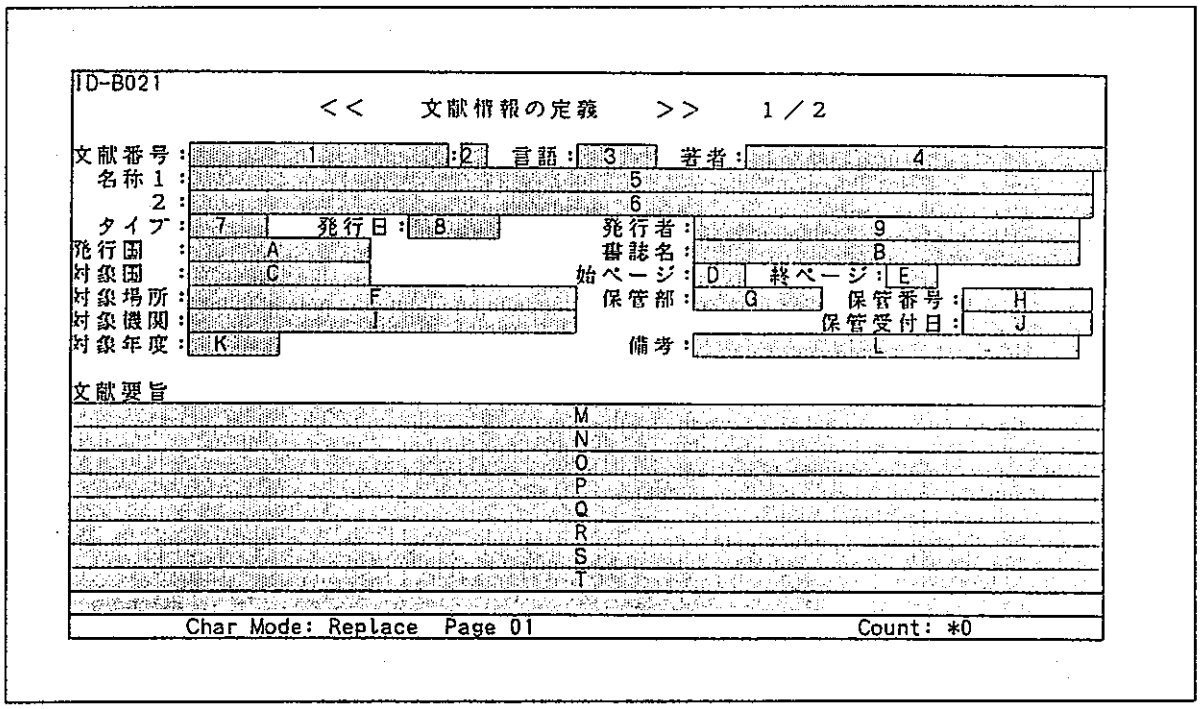
この画面では文献定義情報の設定、及び、文献とＷＢＳ、キーワードとの関係付けを行います。　注意事項は、文献インデックスの入力の時とまったく同じです。本画面は２画面（４ブロック）で構成されており、第１画面が文献固有な情報を、第２画面がキーワード等への関係付けと文献要旨（追加分）の設定を行う様になっています。　本改訂版では項目の拡張・追加を行っています。「要旨９」以降のデータ操作を行うときはROLLDOWNキーで第２ブロック（第１画面のまん中）に移動後、⊡を押して項目移動を行います。　このように文献要旨や関係キーワードの入力時は、ROLLDOWNキーを用いて移動して下さい。　第３・４ブロックは入力しないで放置し、後で設定しても構いません。

第１ブロック

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	文献番号	20桁	DOC	必須入力項目

登録済みの文献番号を20桁で入力・検索します。　大抵の文献番号は次の例に示すようなコード体系ですので16桁で十分ですが、足りない場合は17桁以降は枝番号で補います。
メニュー'3'により項目1.～9.やB,C,D,G,は既に登録されているはずです。

「ABXXXX YY-ZZZ(a)」
AB : 資料の発生元や性格を示す。　EX. N:事業団自作の資料
XXXX : 資料を発生させた部署（に準じる）コード
YY : 西暦の後 2桁　（EX. 90）
ZZZ : 上述の部署（に準じる）でつけた連番
(a) : 分冊などを示す枝番号



番号	項目名	長さ	フィールド	備考
2.	公開コード	2桁	OPEN	'Z','N','S','T'のみ

次のような文献の機密性、公開性を示す公開コードを入力します。

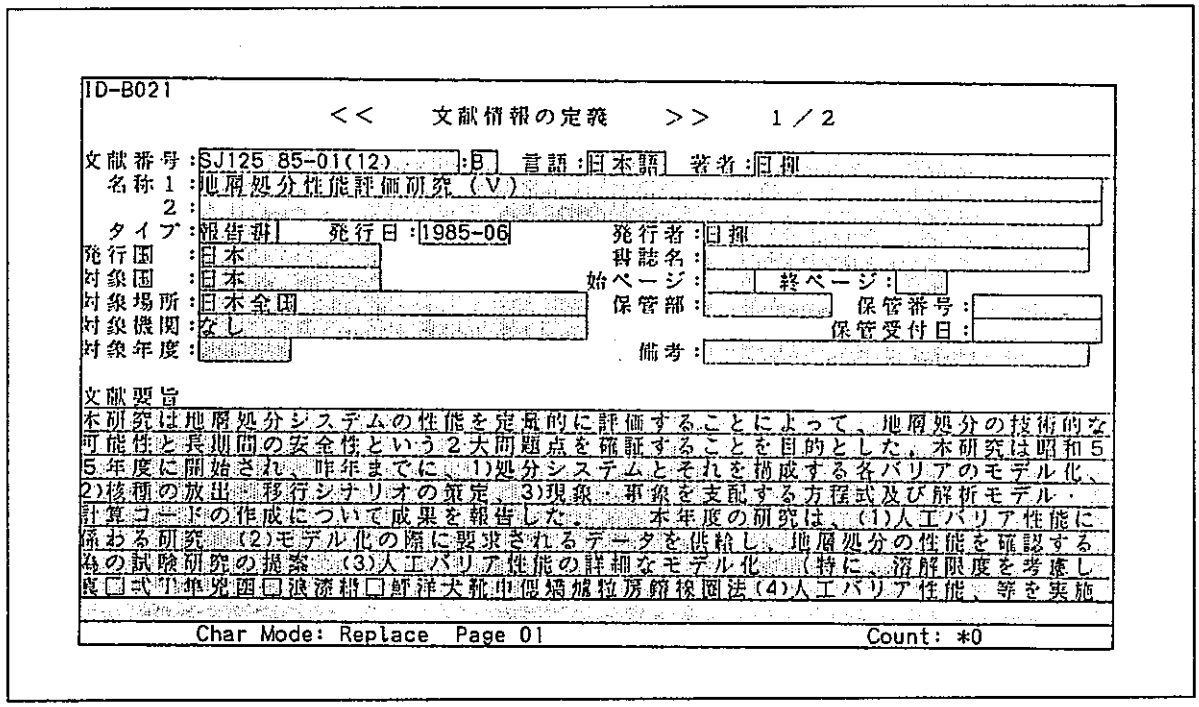
Z : 開示制限　　S : 配布限定
N : 社内一般　　T : 公開

3. 言　語　　6桁　　LANG
（日本語 3桁）
文献が外国語で記述されている時の言語を入力します。

4. 著者名　　30桁　　AUTHOR
（日本語15桁）
著者名を入力します。　発行者（出版者）・書誌名と併用することにより、文献のニュース・ソースを明確に定義します。

5. 日本語名称　　70桁　　TITLE
6. 英語名称　　70桁　　ETITLE
（日本語35桁）
文献の日本語・外国語名称を入力します。表示は70桁のフル表示ですので⇨を使ってスクロール表示する必要はありません。　また、英語名称は日本語名称の補完としても設定可能です。

7. 文献タイプ　　6桁　　BKTYPE
（日本語 3桁）
報告書、雑誌、論文など文献のタイプを入力します。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考

8. 発行日　　7桁　　ISSUE

発行日又は出版日を“YYYY-MM”の形式で入力します。（入力はデータ・チェックをうけません。） 月が不明なときは'1990-XX'等と設定して下さい。

9. 発行者名　　30桁（日本語15桁）　　PUBLISH

文献を発行する者、出版社、委員会、機関名を入力します。

A. 発行国　　14桁（日本語 7桁）　　ISCNTRY

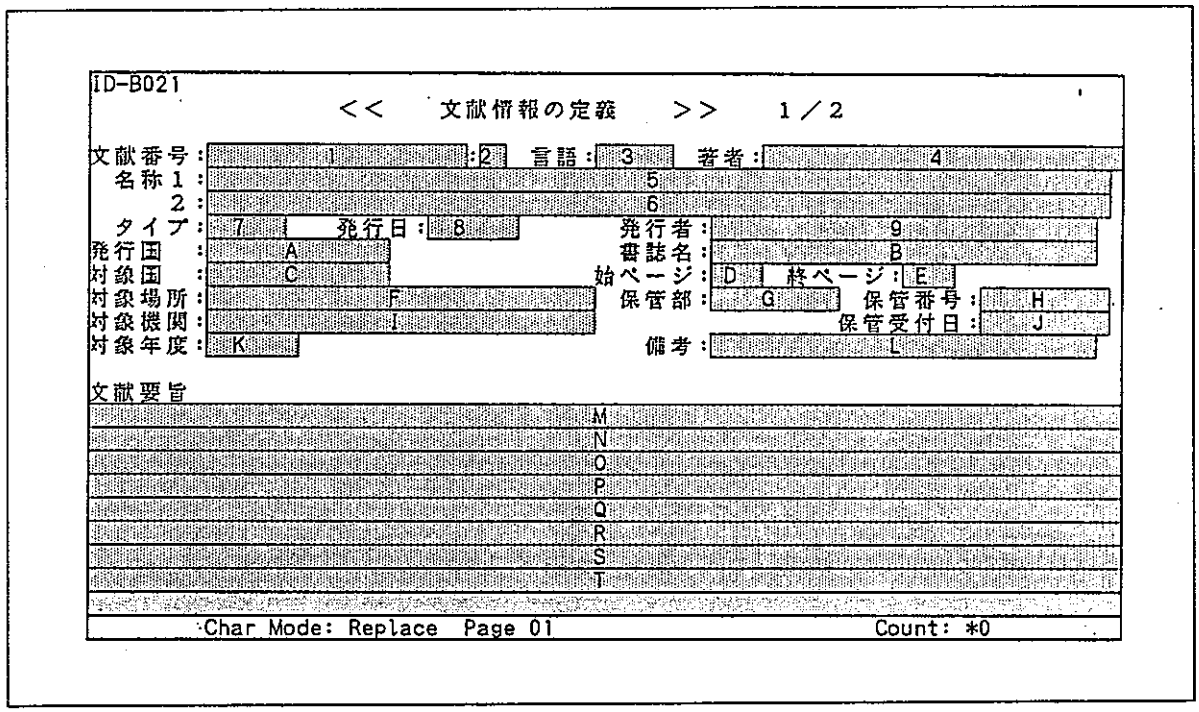
文献の発行国を入力します。

B. 書誌名　　30桁（日本語15桁）　　BKNAME

文献が雑誌であるときや文献情報が文献名称だけで明示できないときに用います。（必要ならば、巻、冊等も入力して下さい。）

C. 対象国　　14桁（日本語 7桁）　　CNTRY

文献内容中でおもに参照・対象とする国を入力します。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考
D.	始ページ	数字 4桁	PAGE	
E.	終ページ	数字 4桁	TOPAGE	

文献の記載されている開始ページと終了ページを入力します。

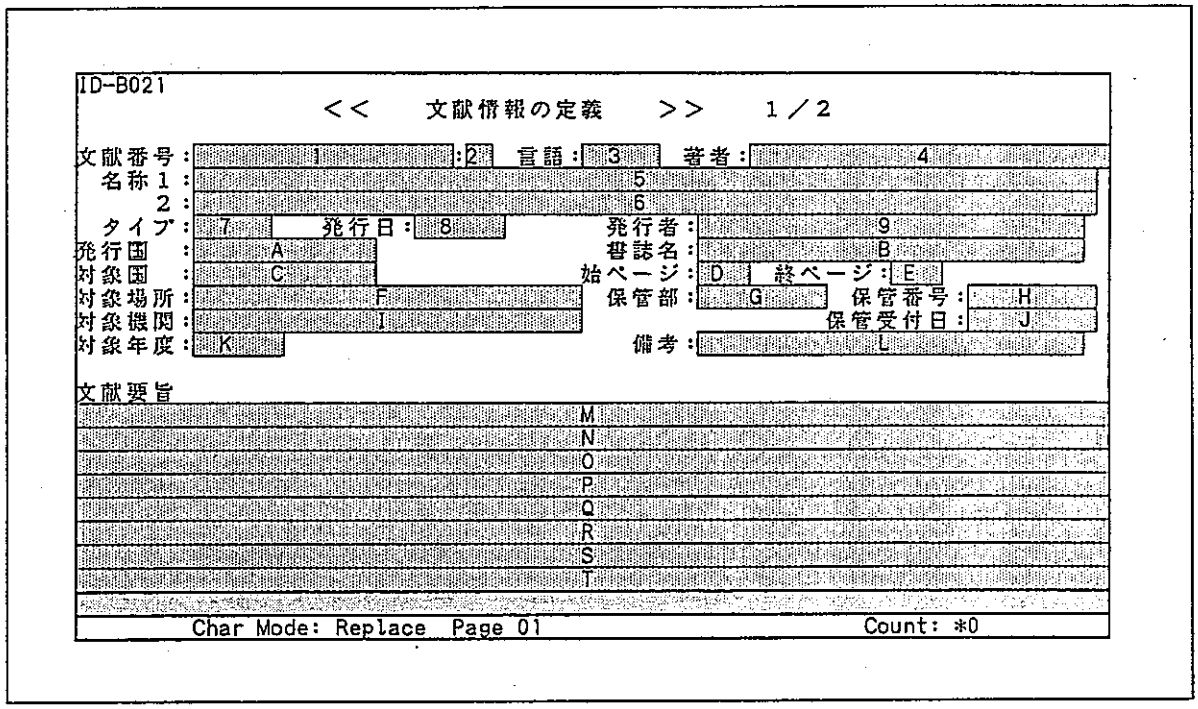
F. 対象場所 30桁 PLACE
（日本語 15桁）
文献の内容中で取扱っている事象の対象場所を入力します。

G. 保管部門 10桁 KPDEPT
（日本語 5桁）
文献のマスターを実際に保管している、または管理している部門を入力します。 コード、または名称を設定して下さい。

H. 保管番号 10桁 KPNO

マスター文献の保管番号又は受付番号を入力します。 これを使用することにより文献検索（委託研究番号、等）と文献管理・保管の２つの面から番号設定できます。

I. 対象機関 30桁 ORGN
（日本語15桁）
文献の取扱う、又は参照している対象機関、委員会名等を入力します。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考
J.	保管受付日	10桁	KPDATE	
K.	対象年度	7桁	PERIOD	

最新の文献マスターの保管受付日と対象とする年度を'YYYY-MM-DD','YYYY-MM'の形式で入力します。　項目'J','K'ともに月日（'MM','DD'）に付いては項目'8'と同様のルールで運用します。

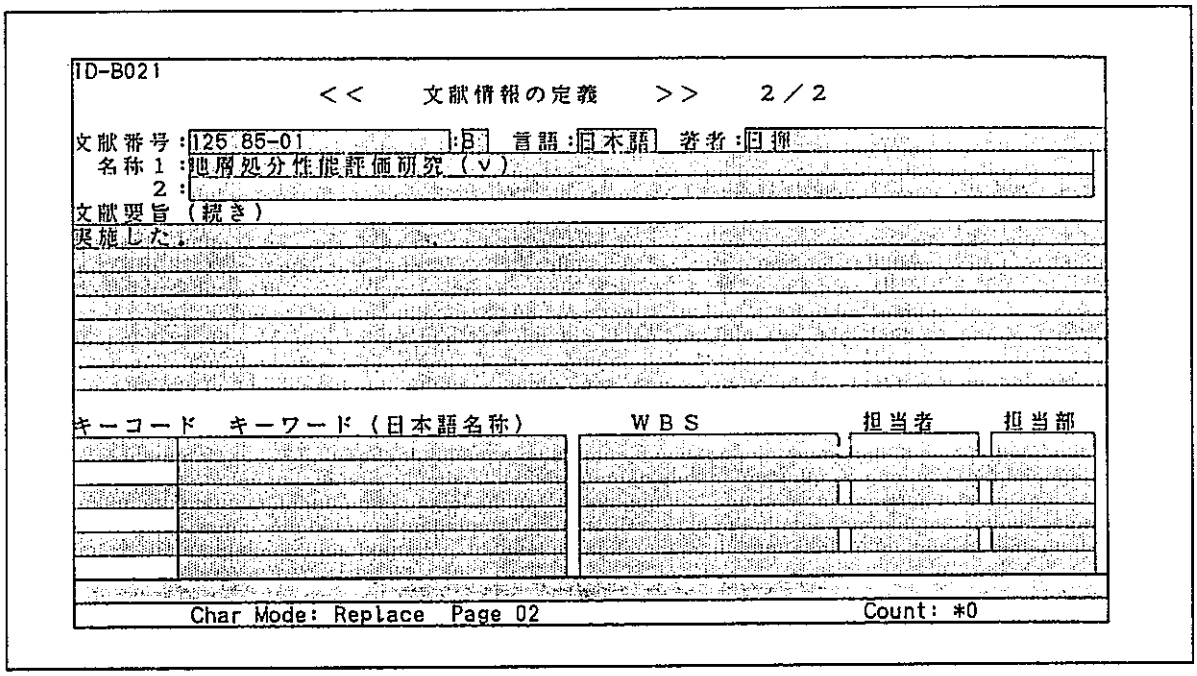
L.	備　考	30桁 （日本語15桁）	REMARKS	

文献に対する備考、または、添付資料に付いての情報を必要に応じて入力します。

第2ブロック

M.	文献要旨1	80桁	ABST1
N.	文献要旨2	80桁	ABST2
O.	文献要旨3	80桁	ABST3
P.	文献要旨4	80桁	ABST4
Q.	文献要旨5	80桁	ABST5
R.	文献要旨6	80桁	ABST6
S.	文献要旨7	80桁	ABST7
T.	文献要旨8	80桁 （日本語40桁）	ABST8

文献に対する要旨を必要に応じて入力します。　第1ブロックで入力した文献番号と一致させるため、作業前には必ずPF2（検索）キーを押して文献要旨データがあるかどうか確かめて下さい。



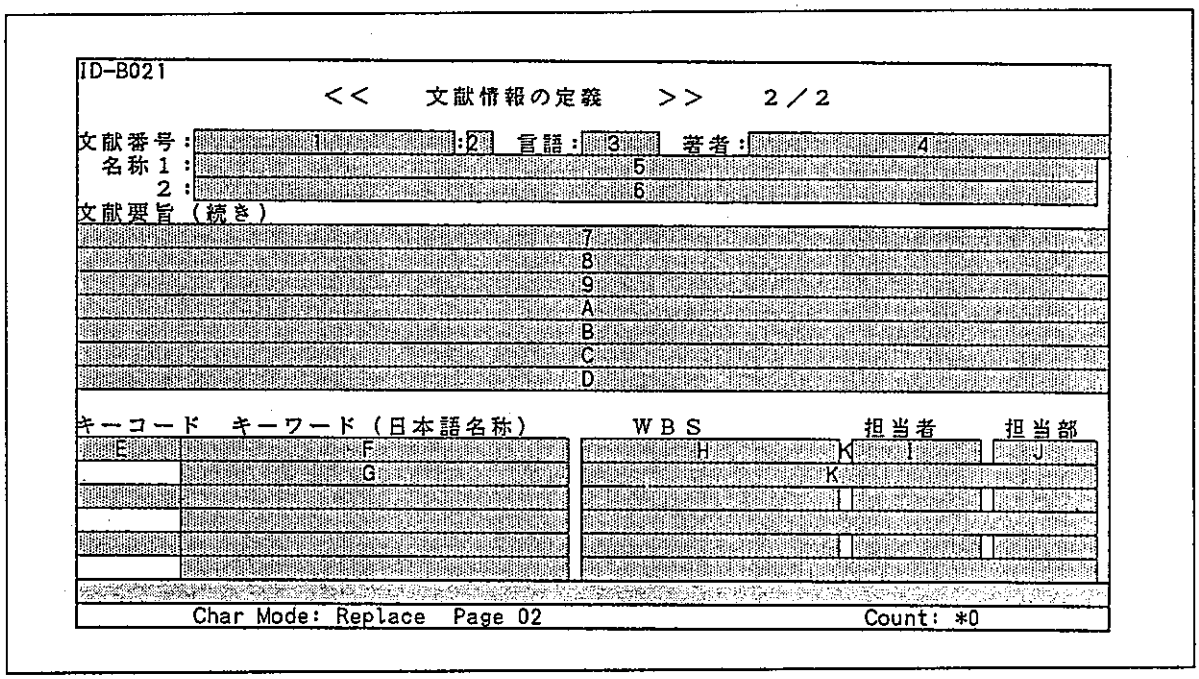
第２画面

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
7.	文献要旨９	80桁	ABST9	
8.	文献要旨１０	80桁	ABST10	
9.	文献要旨１１	80桁	ABST11	
A.	文献要旨１２	80桁	ABST12	
B.	文献要旨１３	80桁	ABST13	
C.	文献要旨１４	80桁	ABST14	
D.	文献要旨１５	80桁	ABST15	
		（日本語40桁）		

文献要旨の続きです。　第２画面上に配置されていますが、使用方法は要旨'1'から'8'と同じです。　注意：第２ブロックの延長ですので、⊡で移動します。　ROLLDOWN,ROLLUPキーでは第３・４ブロックへ移動してしまいます。

第３ブロック

第１ブロックで入力された文献と相互関係にあるキーワード情報を設定します。各文献にこの「糸」を張る作業が最も手間がかかりますが、間違いのないように設定を行って下さい。　現在、「糸」はキーコードによってのみ設定させるようになっています。　必ず、第２画面の第３ブロックでは事前登録してあるキーワード情報を検索（PF2キーを押す）してください。　検索キーはキーワード（日本語、英語）でも、キーコードでも構いません。　また、この「糸」作業は次のメニュー'5'（文献とキーコード関係の集中入力画面）で行っても構いません。



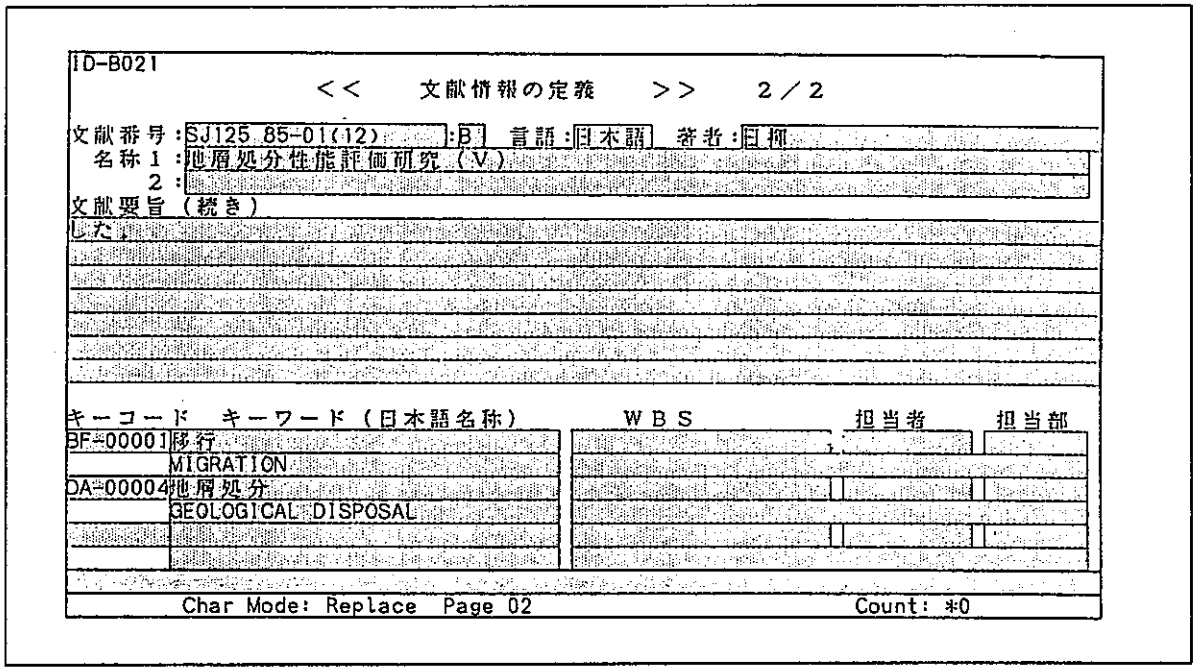
尚、このキーコード・文献データベースの中ではキーコード及び文献の組合せで値を重複して持つことはできません。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
E.	キーコード	8桁	KEY	必須入力項目

第１ブロックで入力された文献と相互関係にあるキーコードを8桁以内で入力・修正・削除します。
但し、このキーコードはメニュー'2'で登録されていなければ登録することができません。

F.	キーワード（日本語名称）	40桁（日本語20桁）	TITLE	参照のみ可
G.	キーワード（英語名称）	40桁	ETITLE	参照のみ可

キーコードデータベース（メニュー'2'）で登録されたキーワード（日本語・英語名称）のうち頭30桁をそれぞれ表示します。



第４ブロック

第１ブロックで入力された文献と相互関係にあるＷＢＳ（ワークパッケージ）を設定します。　これもまた、第３ブロックで行った作業とほとんど同じ要領で行って下さい。　　必ず、事前登録してあるＷＢＳ（ワークパッケージ）番号を検索してから登録して下さい。

尚、このWBS・文献データベースの中ではWBS及び文献の組合せで値を重複して持つことはできません。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
I.	WBS	20桁	WP	必須入力項目

第１ブロックで入力された文献と相互関係にあるWBS（ワークパッケージ）を入力します。
但し、ワークパッケージデータベース（WBSシステム・メニュー'4'）に登録されていないWBSは登録することができません。

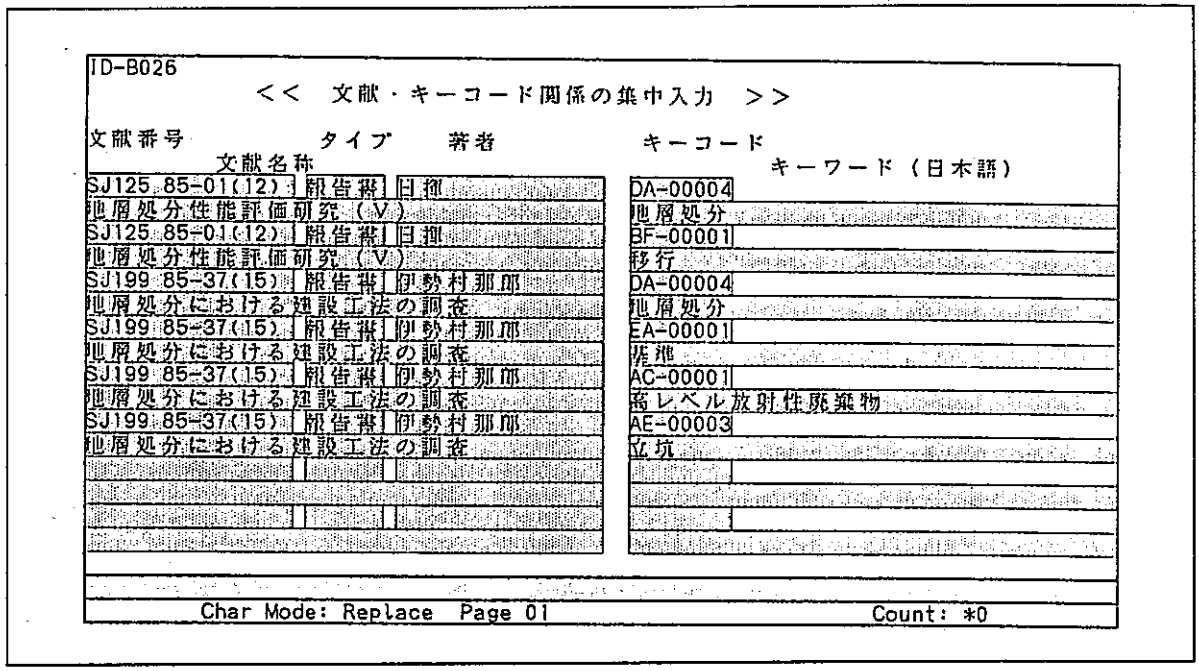
J.	担当者	14桁	PERSON	参照のみ可
K.	担当部	14桁（日本語 7桁）	DEPT	参照のみ可

ワークパッケージデータベース（WBSシステム・メニュー'5','6',及び'7'）で登録された担当部・担当者のうち各々頭10桁を表示します。

L.	WBS名称	50桁（日本語25桁）	TITLE1	参照のみ可

ワークパッケージデータベース（WBSシステム・メニュー'5'及び'7'）で登録された日本語名称の頭40桁を表示します。

（２．５）文献とキーワード関係の集中入力



この画面では文献とキーコードの関係付け（組合せ）だけを入力します。
メニュー'4'の第３ブロックを基にしてオペレータ（専用入力者）むけに作られている画面です。　本画面では、文献番号とキーコードしか入力できません。　そのほかに表示されている項目は選択した番号の組み合せが正しいかどうか、の確認にだけ使われます。　ここで操作を行う前に、これらコードの組み合せ（文献定義書の情報）を作成していなければなりません。

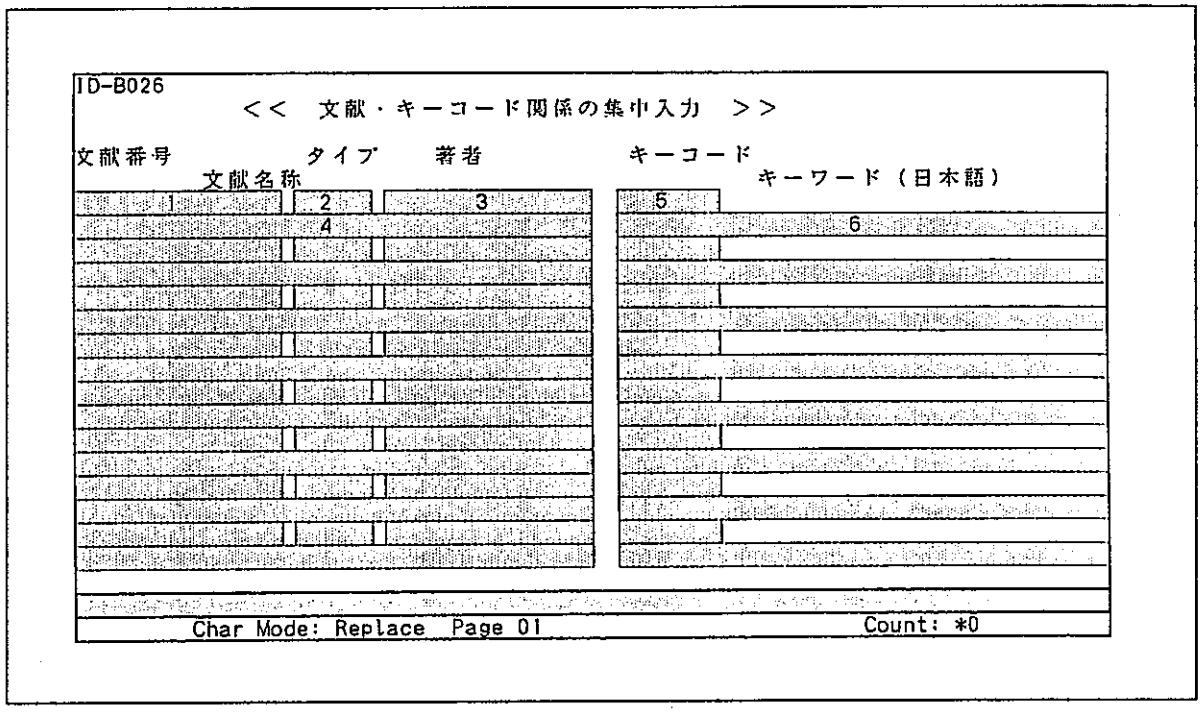
尚、このデータベースの中では文献及びキーコードの組合せで値を重複して持つことはできません。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	文献番号	16桁	DOC	必須入力項目

文献番号を20桁（17桁以降は⇨を使用して下さい。）で入力しますと、名称の頭20桁、等の2.～4.の項目を自動表示します。
但し文献データベース（メニュー '3'及び'4'）に登録されていない文献番号を入力するとエラーになります。

２．	文献タイプ	6桁	BKTYPE	参照のみ
３．	著者名	12桁	AUTHOR	参照のみ
４．	文献名称	40桁（日本語20桁）	TITLE1	参照のみ

文献番号が正しく入力されると、メニュー'3'で事前登録されたこれらの情報が確認のために表示されます。



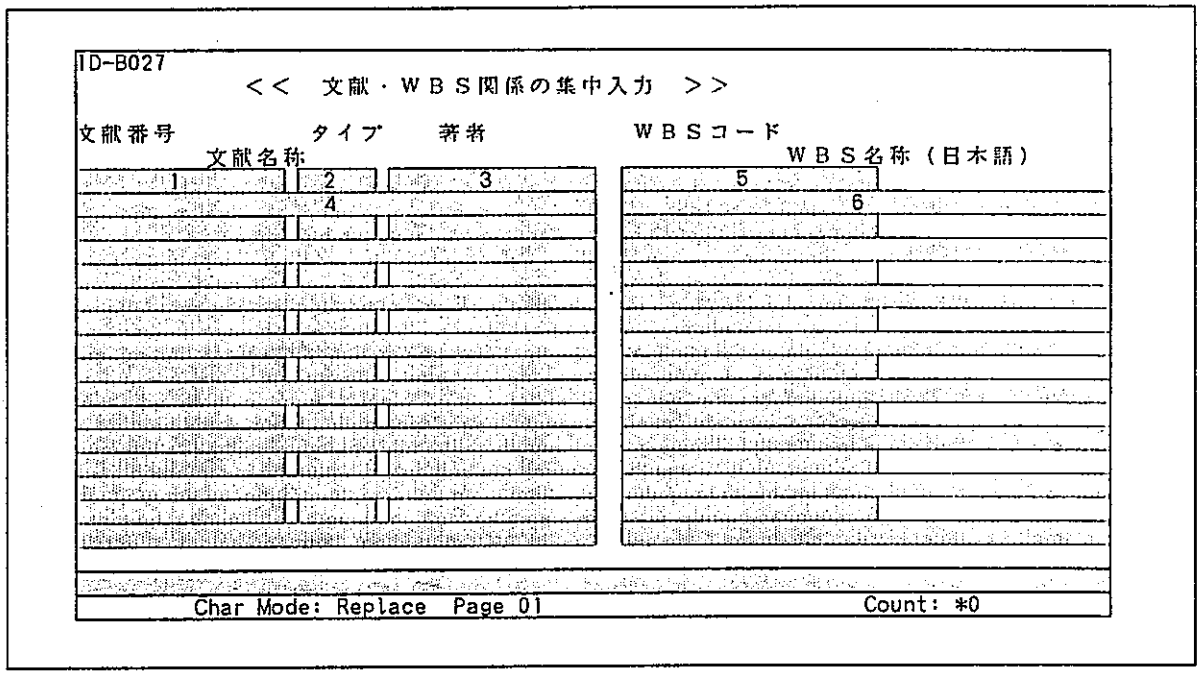
番号	項目名	長さ	フィールド	備考
5.	キーコード	8桁	KEY	必須入力

項目１．と共に組み合せで使用するキーコードです。
注意）　項目１．から移動するときは「文献情報の定義」と違い、⊡を押して移動して下さい。　ROLLDOWNキーでは移動できません。

6.	キーワード	38桁	TITLE	表示のみ

正しく上記のキーコードが入力されると表示される日本語キーコードです。

（２．６）文献とＷＢＳ関係の集中入力



この画面では**文献とＷＢＳ**の関係付け（組合せ）だけを入力します。
メニュー'5'と同様に、メニュー'4'の第４ブロックを基にしてオペレータ（専用入力者）むけに作られてた画面です。　本画面では、文献番号とＷＢＳ（ワークパッケージ）しか入力できません。　そのほかに表示されている項目は選択した番号の組み合せが正しいかどうか、の確認にだけ使われます。　ここで操作を行う前に、これらコードの組み合せ（文献定義書の情報）を作成していなければなりません。

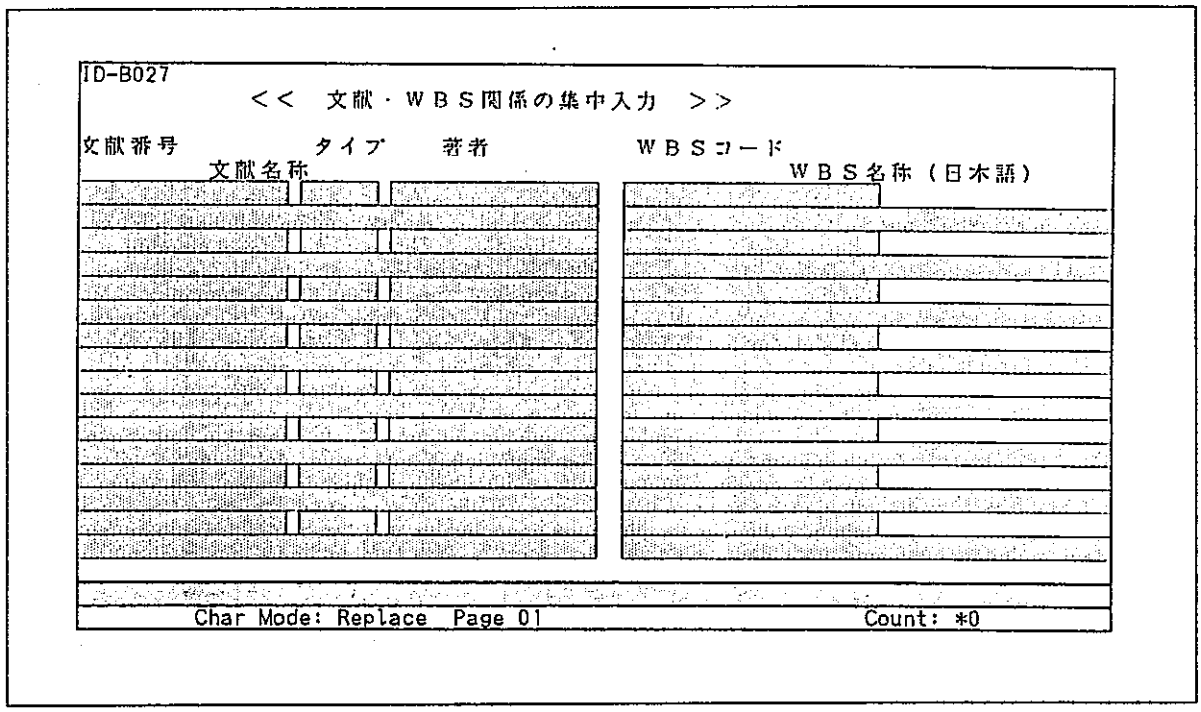
尚、このデータベースの中でも文献及びＷＢＳの組合せで値を重複して持つことはできません。　画面右側は全くメニュー'5'と同じです。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	文献番号	20桁	DOC	必須入力項目

文献番号を20桁（17桁以降は⊟を使用して下さい。）入力しますと、名称の頭20桁、等の項目2.～4.を自動表示します。
但し文献データベース（メニュー '3'及び'4'）に登録されていない文献番号を入力するとエラーになります。

２．	文献タイプ	6桁	BKTYPE	参照のみ
３．	著者名	12桁	AUTHOR	参照のみ
４．	文献名称	40桁（日本語20桁）	TITLE1	参照のみ

文献番号が正しく入力されると、メニュー'3'で事前登録されたこれらの情報が確認のために表示されます。



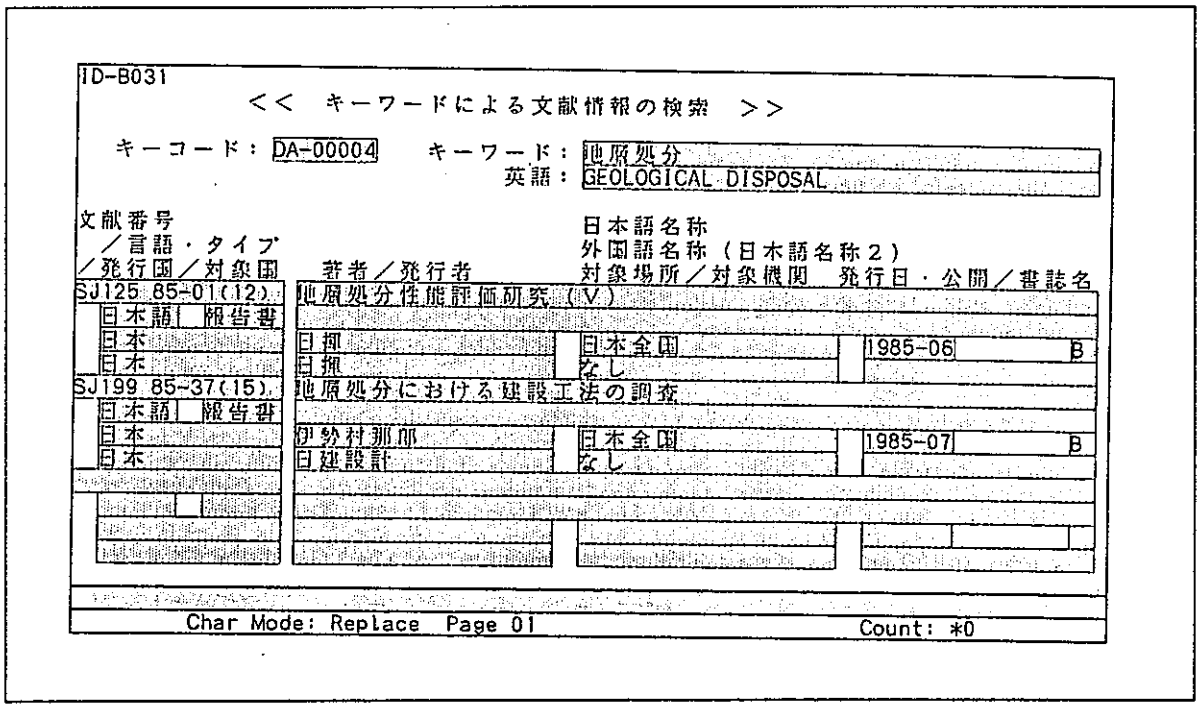
番号	項目名	長さ	フィールド	備考
5．	ＷＢＳコード	8桁	KEY	必須入力

項目１．と共に組み合せで使用するワークパッケージコードです。
注意） 項目１．から移動するときは「文献情報の定義」と違い、⊡を押して移動して下さい。 ROLLDOWNキーでは移動できません。

6．	ＷＢＳ名称	38桁	TITLE	表示のみ

正しく上記のワークパッケージコードが入力されると表示される日本語名称の頭38桁です。

（２．７）キーワードによる文献検索



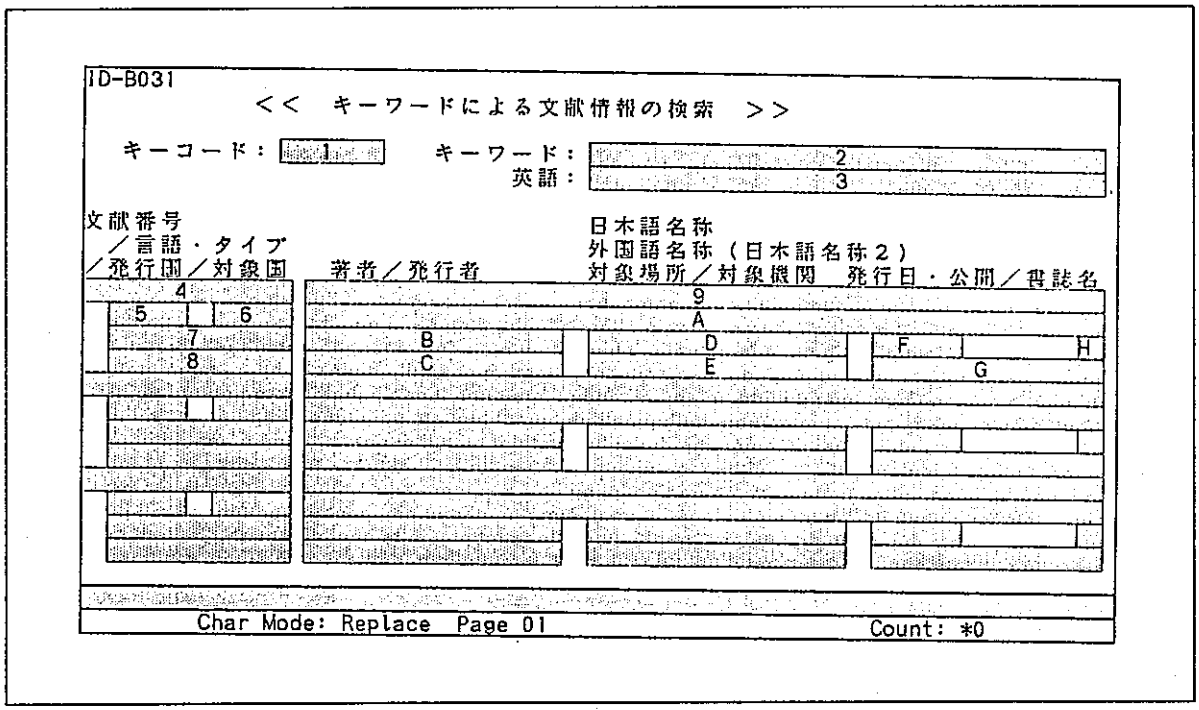
この画面では既にメニュー'4'で登録済みのキーコードと文献の組合せの検索をキーコードまたは、キーワードによる指定で行います。
上記画面が表示されたら、第１ブロックで必ずデータ検索 PF1 （ENT Q）又は PF2 （EXE Q）による条件検索を行ってください。　　また、画面下部の文献情報も第１ブロックのキーワード情報と併せて（[and]条件により）検索することが可能です。
尚、新規追加は必ずメニュー'4'で行って下さい。
項目の拡張、レイアウトの変更、上記の検索機能の追加が行われています。

第１ブロック

基準となるキーコード、キーワードの検索を行います。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	キーコード	8桁	KEY	
	基準となるキーコードの検索・表示を行います。			
２．	キーワード（日本語名称）	40桁（日本語20桁）	TITLE	
	キーワード（日本語名称）の検索・表示を行います。			
３．	キーワード（英語名称）	40桁	ETITLE	
	キーワード（英語名称）の検索・表示を行います。			

※　キーワードでの検索は必要に応じて行います。

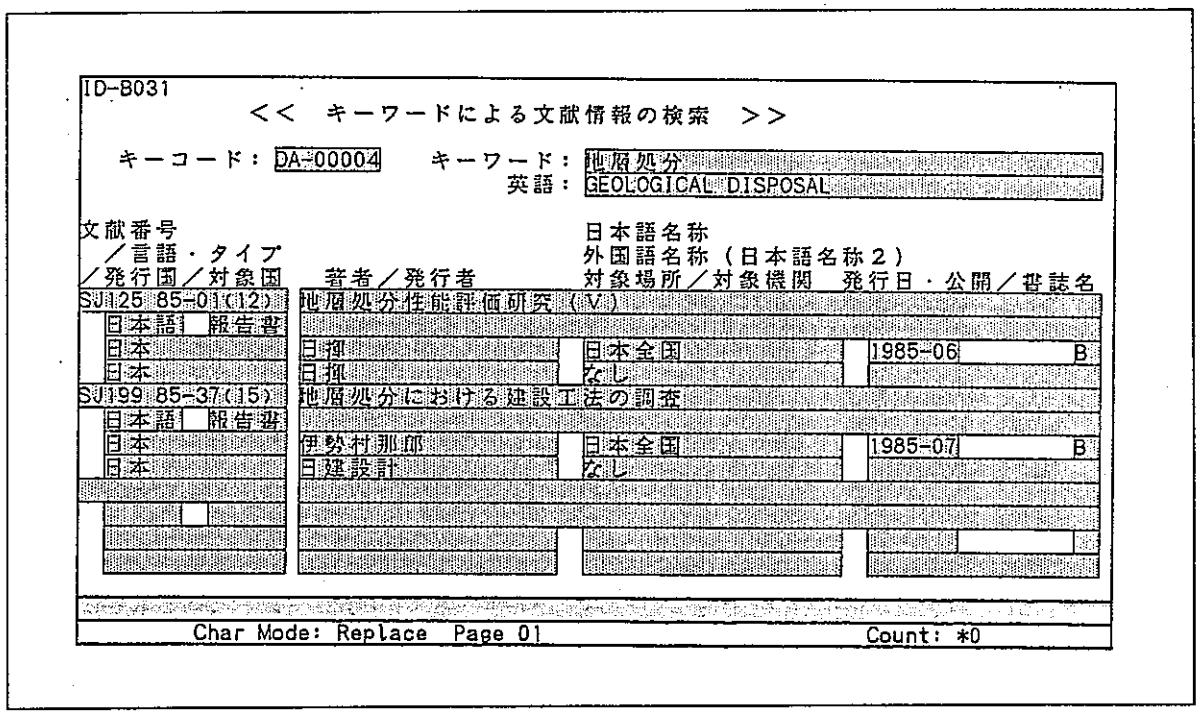


第２ブロック

第１ブロックで検索されたキーワード情報に対応する文献を PF2 （EXE Q）の押下により検索します。 前の頁で述べたように第１または第２ブロックでの検索の追加条件としてPF1 + ”条件” +PF2による検索を行っても構いません。 尚、ブロック移動は ROLLUP, ROLLDOWN キーによって行って下さい。 第２ブロックのレイアウト、項目はメニュー'3' の画面と同じ設計になっていますので項目説明はメニュー'3'を参照して下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
4.	文献番号	16桁	DOC	
5.	言 語	6桁 （日本語 3桁）	LANG	
6.	文献タイプ	6桁 （日本語 3桁）	BKTYPE	
7.	発行国	14桁 （日本語 7桁）	ISCNTRY	
8.	対象国	14桁 （日本語 7桁）	CNTRY	

※ いずれの項目も検索・表示のみ可能です。 各項目の詳しい機能・説明は「文献インデックスの入力」（メニュー'3'）を参照して下さい。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考
9.	日本語名称	70桁 （日本語35桁）	TITLE	
A.	英語名称	70桁 （日本語35桁）	ETITLE	

日本語名称と英語、または日本語名称２です。表示はフル70桁です。

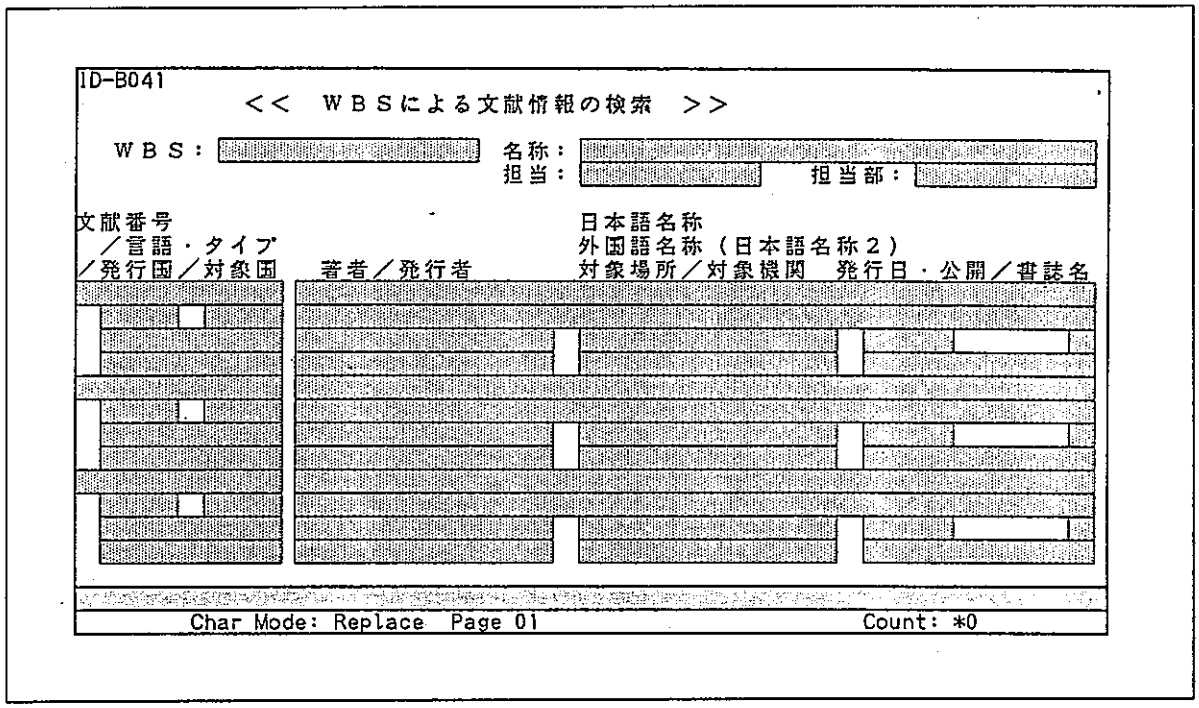
B.	著者名	30桁 （日本語15桁）	AUTHOR	
C.	発行者	30桁 （日本語15桁）	PUBLISH	

表示はともに20桁（日本語10桁）ですので、⇒を使用して下さい。

D.	対象場所	30桁 （日本語15桁）	PLACE	
E.	対象機関	30桁 （日本語15桁）	ORGN	
F.	発行日	7桁	ISSUE	
G.	書誌名	30桁 （日本語15桁）	BKNAME	
H.	公開コード	2桁	OPEN	

※ いずれの項目も検索・表示のみ可能です。 各項目の詳しい機能・説明は「文献インデックスの入力」（メニュー'3'）を参照して下さい。

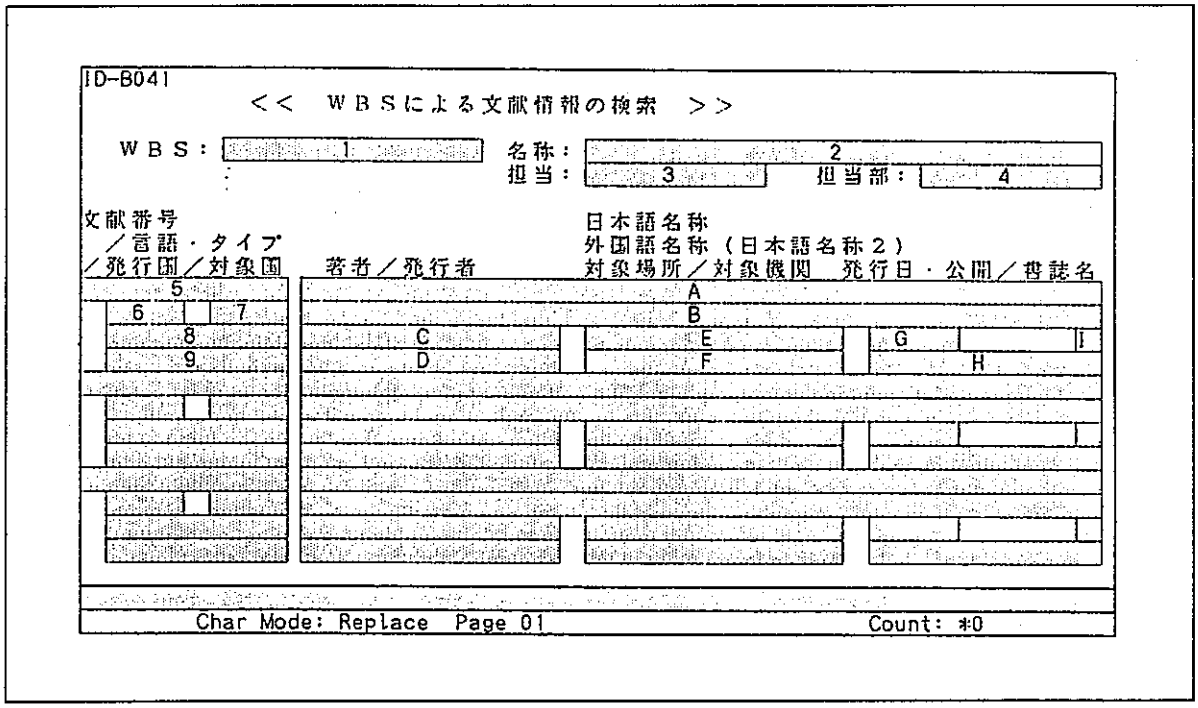
（２．８）ＷＢＳによる文献検索



この画面ではすでにメニュー'4'で登録済みのWBS（ワークパッケージ）と文献の組合せの検索をWBSコード、名称等による指定で行います。
上記画面が表示されたら必ず第１ブロックでデータ検索 PF1 （ENT Q）又は PF2 （EXE Q）を押下して下さい。 「キーワードによる文献情報の検索」画面と同様に、画面下部（第２ブロック）の情報も併用して（[AND]）検索することができます。 尚、新規追加は必ずメニュー'4'で行って下さい。 第２ブロックのレイアウトはメニュー'3'と同じですのでこれらの項目の説明は省略します。
項目の拡張、レイアウトの変更、上記の検索機能の追加が行われています。

第１ブロック
基準となるWBS（ワークパッケージ）の検索を行います。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	WBS	20桁	WP	
	基準となるWBSの検索又は表示を行います。			
２．	名 称	50桁（日本語25桁）	TITLE1	
	WBS名称の検索又は表示を行い表示は50桁（日本語25桁）ですが⇨で移動すると、41桁以降の文字がスクロールされて表示されます。			
３．	担当者	14桁（日本語 7桁）	PERSON	
４．	担当部	14桁（日本語 7桁）	DEPT	

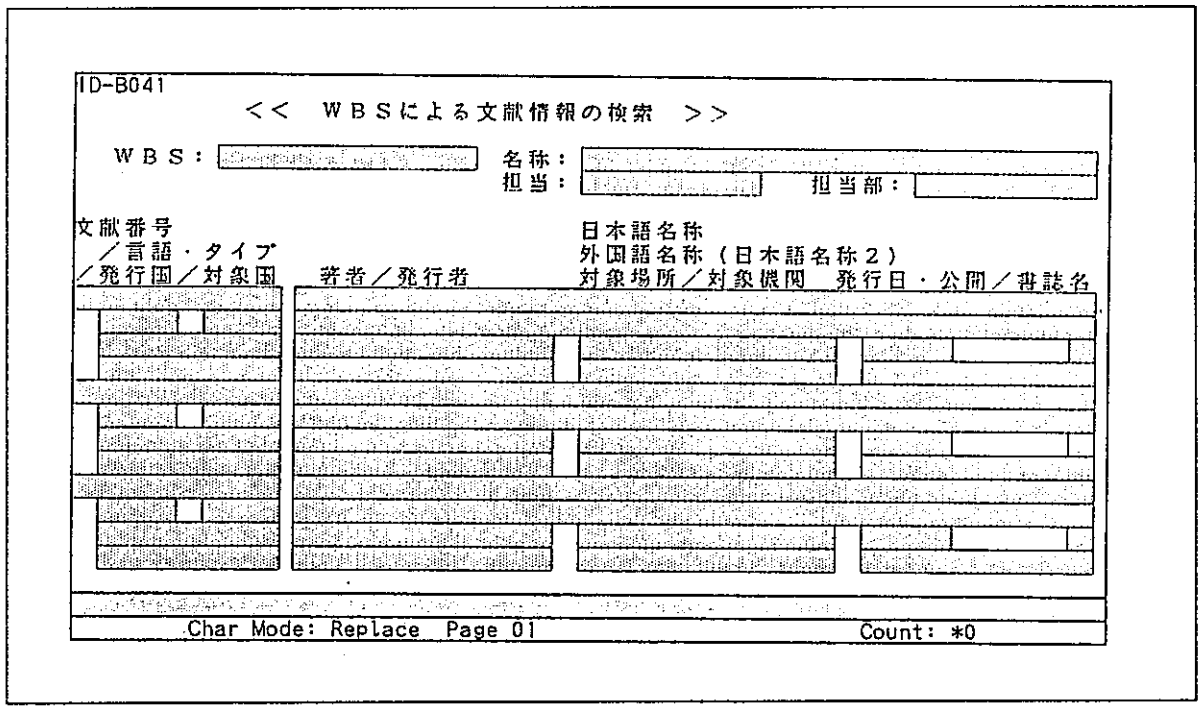


第２ブロック

第１ブロックで検索されたWBS（ワークパッケージ）に対応する文献を PF2（EXE Q）の押下により全体検索します。　　また、条件検索も追加できます。尚、ブロック移動は ROLLUP , ROLLDOWN キーによって行って下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
5.	文献番号	16桁	DOC	
6.	言　語	6桁（日本語 3桁）	LANG	
7.	文献タイプ	6桁（日本語 3桁）	BKTYPE	
8.	発行国	14桁（日本語 7桁）	ISCNTRY	
9.	対象国	14桁（日本語 7桁）	CNTRY	
A.	日本語名称	70桁（日本語35桁） 表示は70桁（日本語35桁）です。	TITLE	

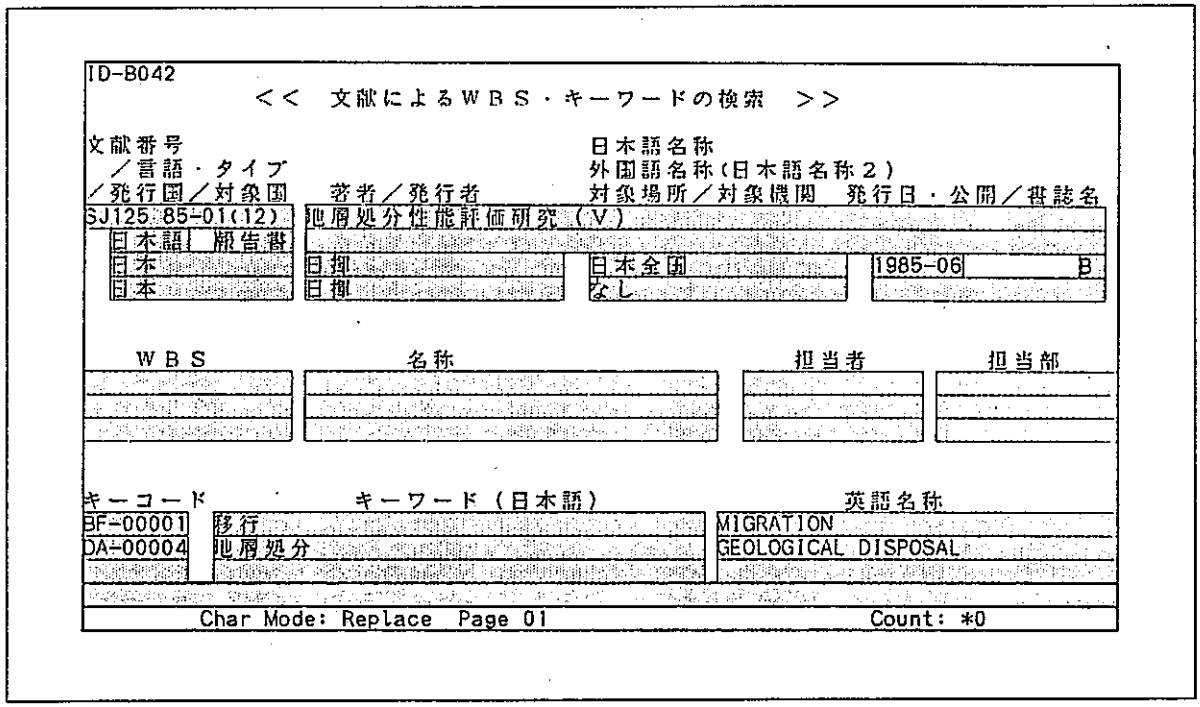
※　いずれの項目も検索・表示のみ可能です。　　各項目の詳しい機能・説明は「文献インデックスの入力」（メニュー'3'）を参照して下さい。



番号	項目名	長さ	フィールド	備考
B.	英語名称	70桁 （日本語35桁）	ETITLE	
C.	著者名	30桁 （日本語15桁）	AUTHOR	
D.	発行者	30桁 （日本語15桁）	PUBLISH	
E.	対象場所	30桁 （日本語15桁）	PLACE	
F.	対象機関	30桁 （日本語15桁）	ORGN	
G.	発行日	7桁	ISSUE	
H.	書誌名	30桁 （日本語15桁）	BKNAME	
G.	公開コード	2桁	OPEN	

※ いずれの項目も検索・表示のみ可能です。 各項目の詳しい機能・説明は「文献インデックスの入力」（メニュー'3'）を参照して下さい。

（２．９）文献によるＷＢＳ・キーワードの検索

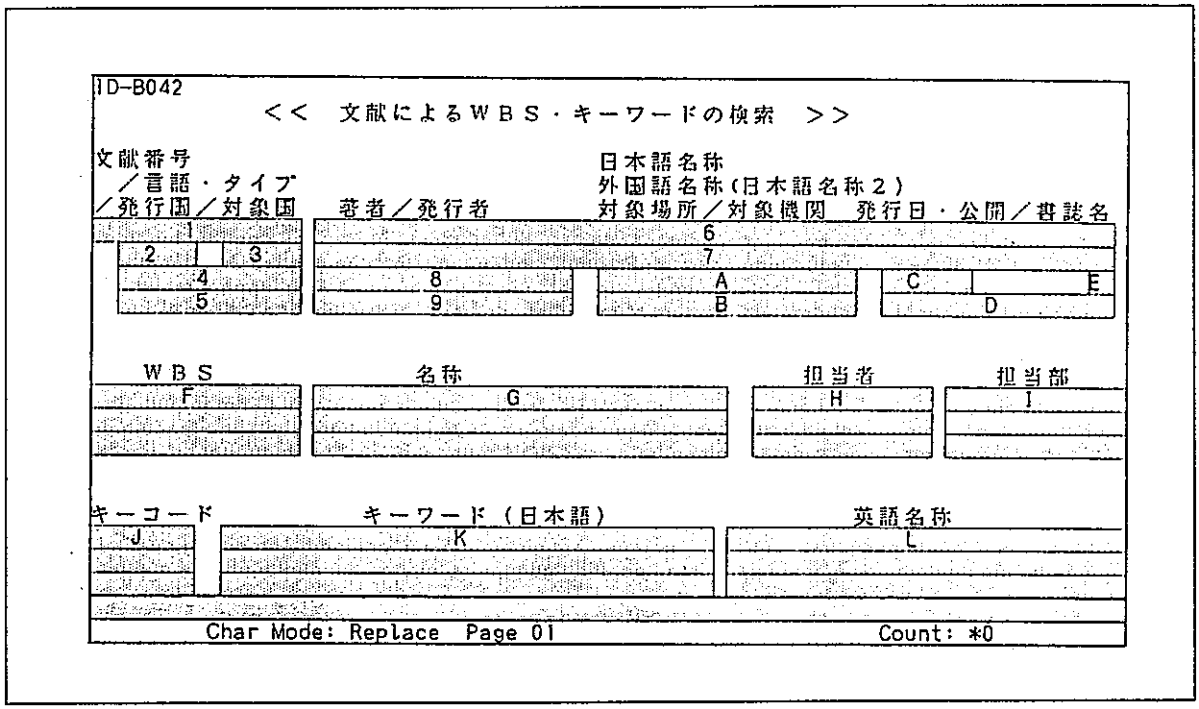


この画面ではすでにメニュー'4'で登録済みの文献に対応するキーワード及びWBS（ワークパッケージ）の検索を行います。　先のメニューに対し、逆の検索を行うものです。　上記画面が表示されたら必ず第１ブロックでデータ検索 PF1 （ENT Q）又は PF2 （EXE Q）を押下して下さい。　尚、新規追加は必ずメニュー'4'で行って下さい。

第１ブロック

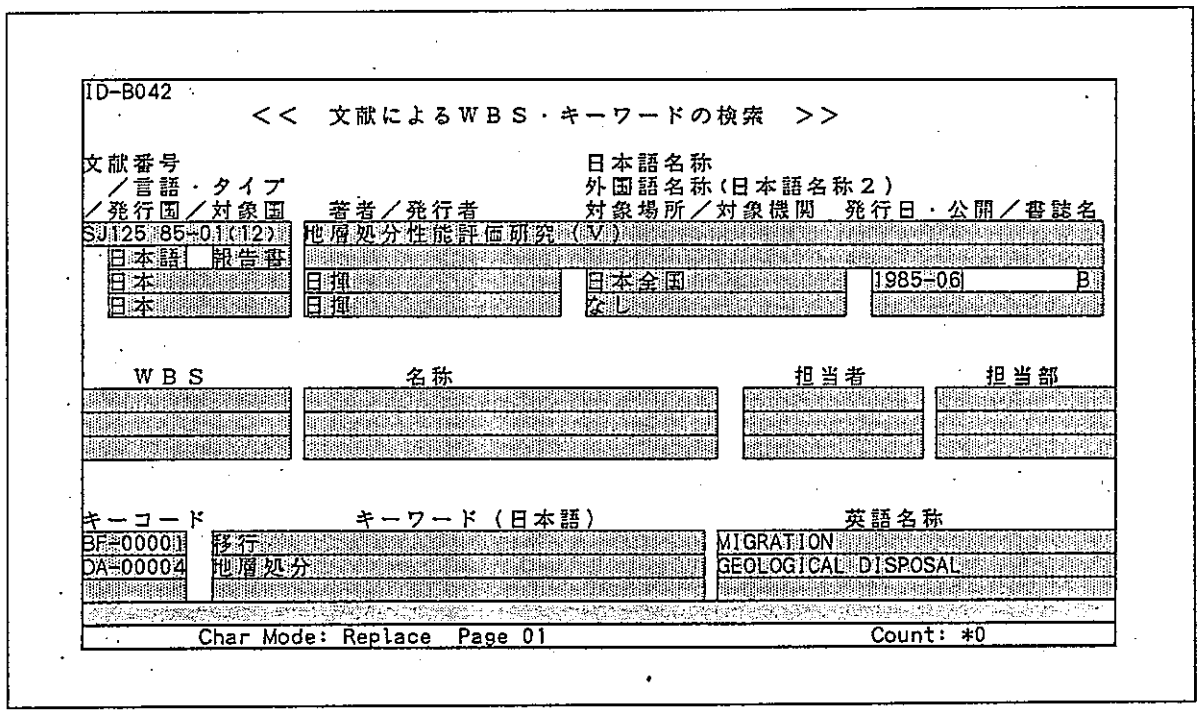
基準となる文献の検索を行います。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	文献番号	16桁	DOC	
２．	言　語	6桁 （日本語 3桁）	LANG	
３．	文献タイプ	6桁 （日本語 3桁）	BKTYPE	
４．	発行国	14桁 （日本語 7桁）	ISCNTRY	
５．	対象国	14桁 （日本語 7桁）	CNTRY	
６．	日本語名称	70桁 （日本語35桁）	TITLE	



番号	項目名	長さ	フィールド	備考
7.	英語名称	70桁 （日本語35桁）	ETITLE	
8.	著者名	30桁 （日本語15桁）	AUTHOR	
9.	発行者	30桁 （日本語15桁）	PUBLISH	
	表示はともに20桁（日本語15桁）ですので、⇨を使用して下さい。			
A.	対象場所	30桁 （日本語 15桁）	PLACE	
B.	対象機関	30桁 （日本語15桁）	ORGN	
	表示はともに20桁（日本語15桁）ですので、⇨を使用して下さい。			
C.	発行日	7桁	ISSUE	
D.	書誌名	30桁 （日本語15桁）	BKNAME	
E.	公開コード	2桁	OPEN	

※　いずれの項目も検索・表示のみ可能です。



第２ブロック

第１ブロックで検索された文献番号に対応するWBSを PF2 (EXE Q)の押下により検索します。 単なるPF2だけでは第１ブロックで指定した条件に合致するすべてのWBSを検索しますが、項目E.～H.を指定することにより、複合的な検索も可能です。尚、ブロック移動は ROLLUP , ROLLDOWN キーによって行って下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
E.	WBS	20桁	WP	

ＷＢＳシステムで定められたワークパッケージ番号であり、表示は20桁です。

F.	WBS名称	50桁 （日本語25桁）	TITLE1	

表示は32桁（日本語16桁）です。

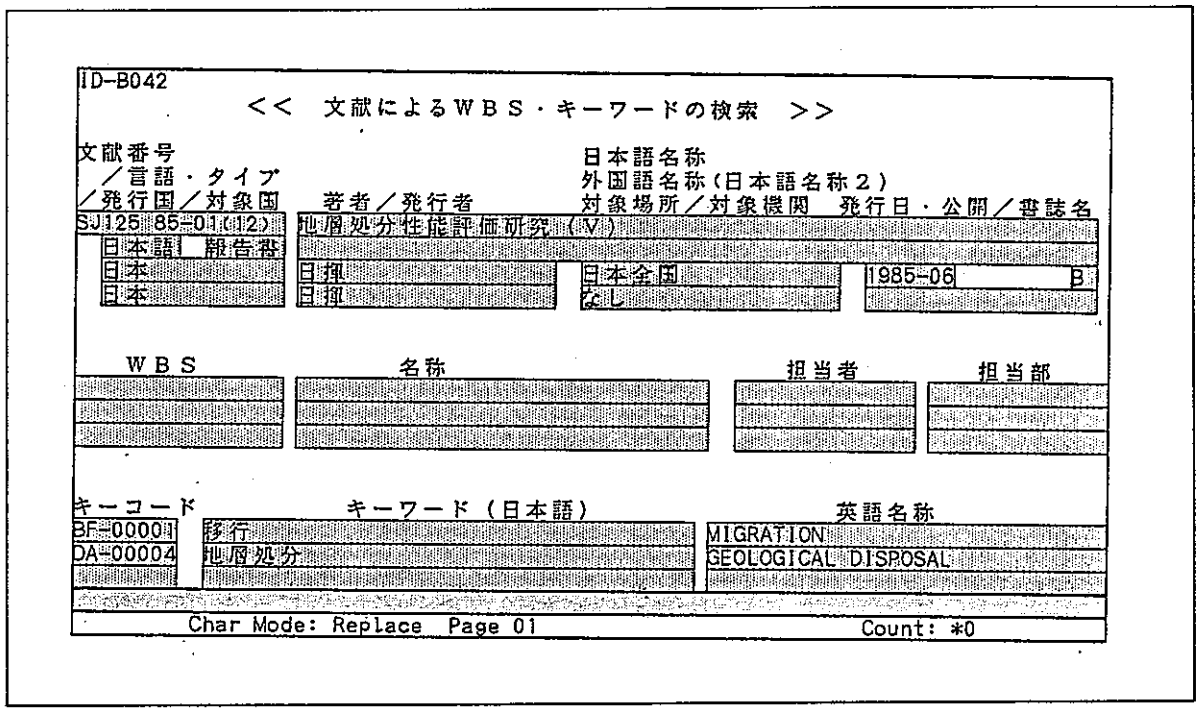
G.	担当者	14桁 （日本語 7桁）	PERSON	

ワークパッケージ作業の責任担当者です。

H.	担当部	14桁 （日本語 7桁）	DEPT	

担当者の所属する部署を示します。

※ いずれの項目も検索・表示のみ可能です。



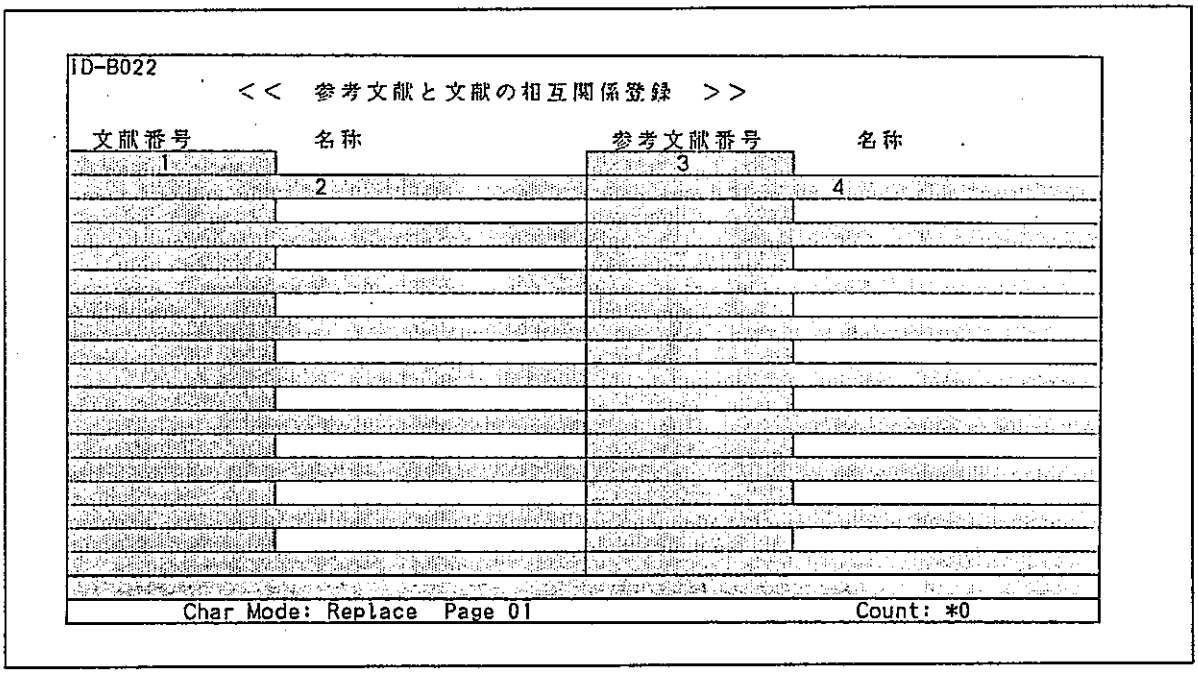
第３ブロック

第１ブロックで検索された文献番号に対応するキーワードを PF2 (EXE Q)の押下により検索します。 第２ブロックと同様に、項目I,J,Kと組み合わせた検索も可能です。 詳しくは「画面操作取扱い説明書」を参照して下さい。
尚、ブロック移動は ROLLUP , ROLLDOWN キーによって行って下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
I.	キーコード	8桁	KEY	
	先のメニュー'1','2'で定められたキーコード番号です。			
J.	キーワード（日本語名称）（日本語20桁）	40桁	TITLE	
	表示は38桁（日本語19桁）です。			
K.	キーワード（英語名称）	40桁	ETITLE	
	表示は31桁です。			

※ いずれの項目も検索・表示のみ可能です。

（２．１０）参考文献と文献の相互関係登録



この画面では文献と参考文献の組合せを入力します。
最新の文献であればあるほど過去の文献情報を参照していますので、これを登録し、以降の文献検索に役立てるものです。

尚、この参考文献データベースの中では文献及び参考文献の組合せで値を重複して持つことはできません。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
１．	文献番号	20桁	DOC	必須入力項目
２．	文献名称	70桁 （日本語35桁）	TITLE1	参照のみ可

文献番号を16桁で入力しますと、名称の頭20桁を自動表示します。
文献番号は16桁を表示していますが、⊟を使うと20桁まで使用できます。
但し文献データベース（メニュー '3'及び'4'）に登録されていない文献番号は登録することができません。

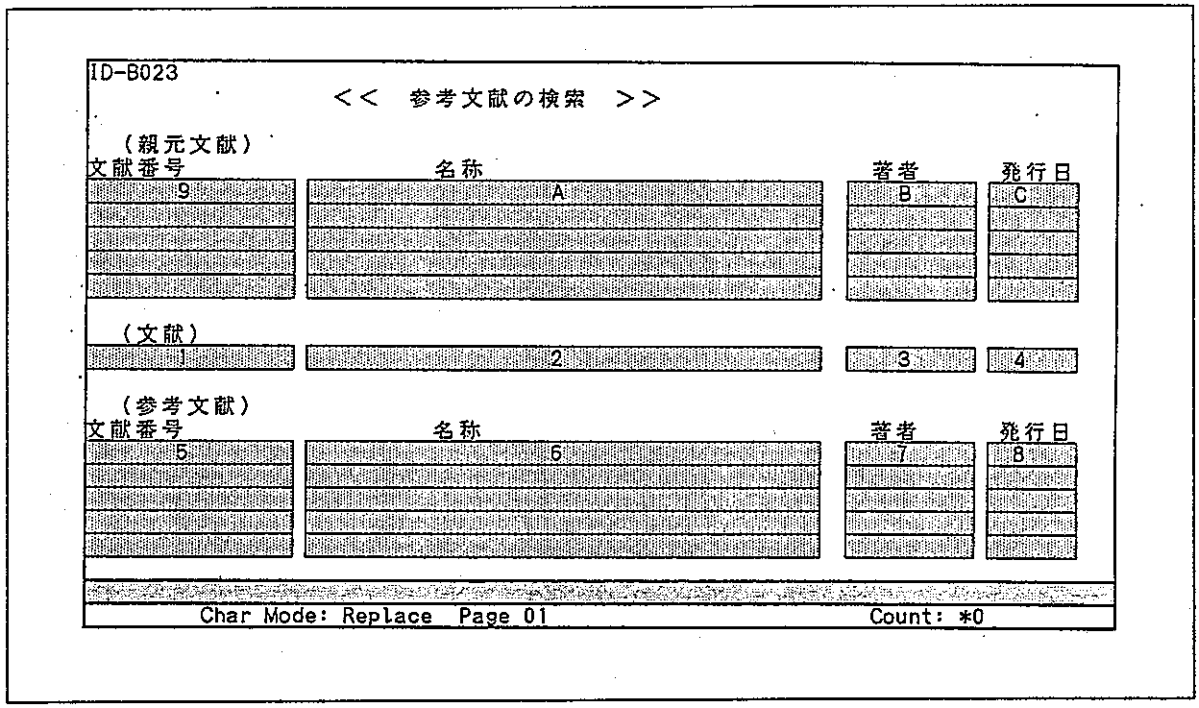
３．	参考文献	20桁	XDOC	必須入力項目

参考文献番号を16桁で入力します。桁数のルールは上と同じです。
但し、文献データベース（メニュー'3'及び'4'）に登録されていない文献番号は登録することができません。

４．	参考文献名称	70桁 （日本語35桁）	TITLE2	参照のみ可

表示は文献名称と同様です。

（２．１１）参考文献の検索

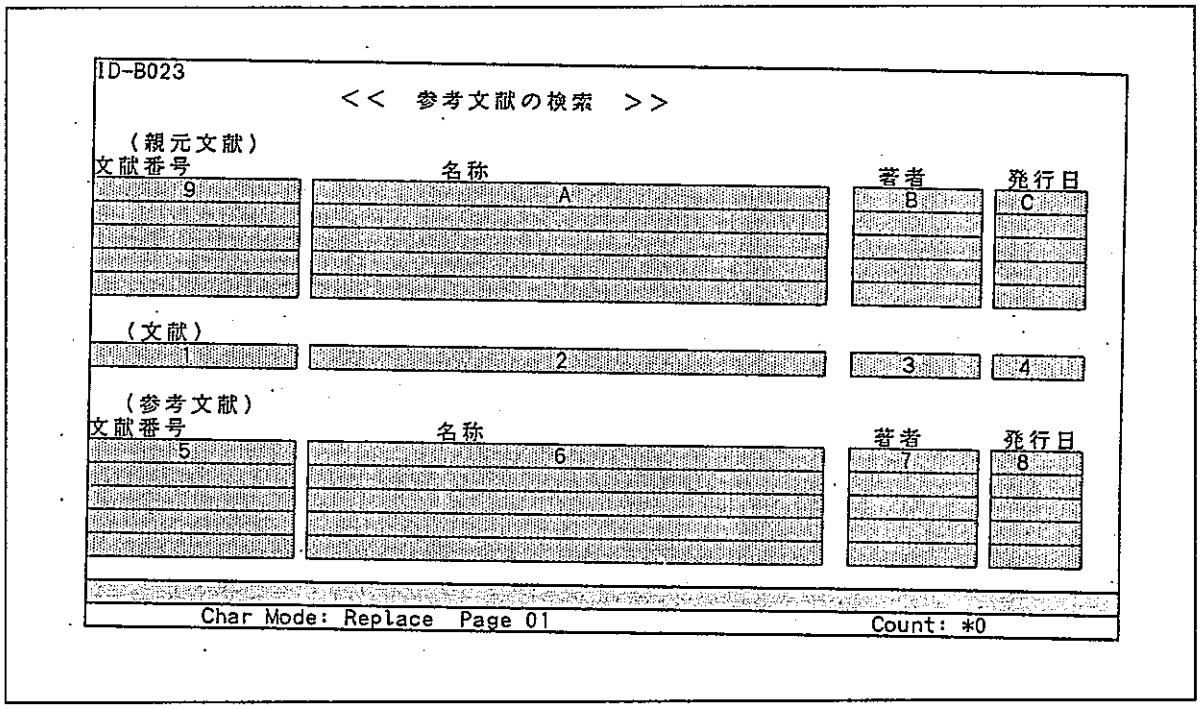


この画面では既にメニュー'10'で登録済みの文献と参考文献の組合せで親元文献と参考文献の検索を行います。
上記画面が表示されたら必ずデータ検索 PF1（ENT Q）又は PF2（EXE Q）を押下して下さい。
尚、新規追加は必ずメニュー'5'で行って下さい。

例）

文献番号	参考文献
10000	20000
	30000
20000	40000
	50000
30000	60000

文献番号20000を基準とした場合、
親元文献は10000、参考文献は40000,50000になります。



第１ブロック

基準となる文献を PF1（ENT Q）又は PF2（EXE Q）の押下により、検索します。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
1.	文献番号	16桁	DOC	

基準となる文献番号の検索又は表示を行います。桁数の取扱のルールは登録時のものと同じです。

2. 文献名称　70桁（日本語35桁）　TITLE

文献名称の検索又は表示を行います。
表示は40桁（日本語20桁）ですが⇨で移動すると、41桁以降の文字がスクロールされて表示されます。

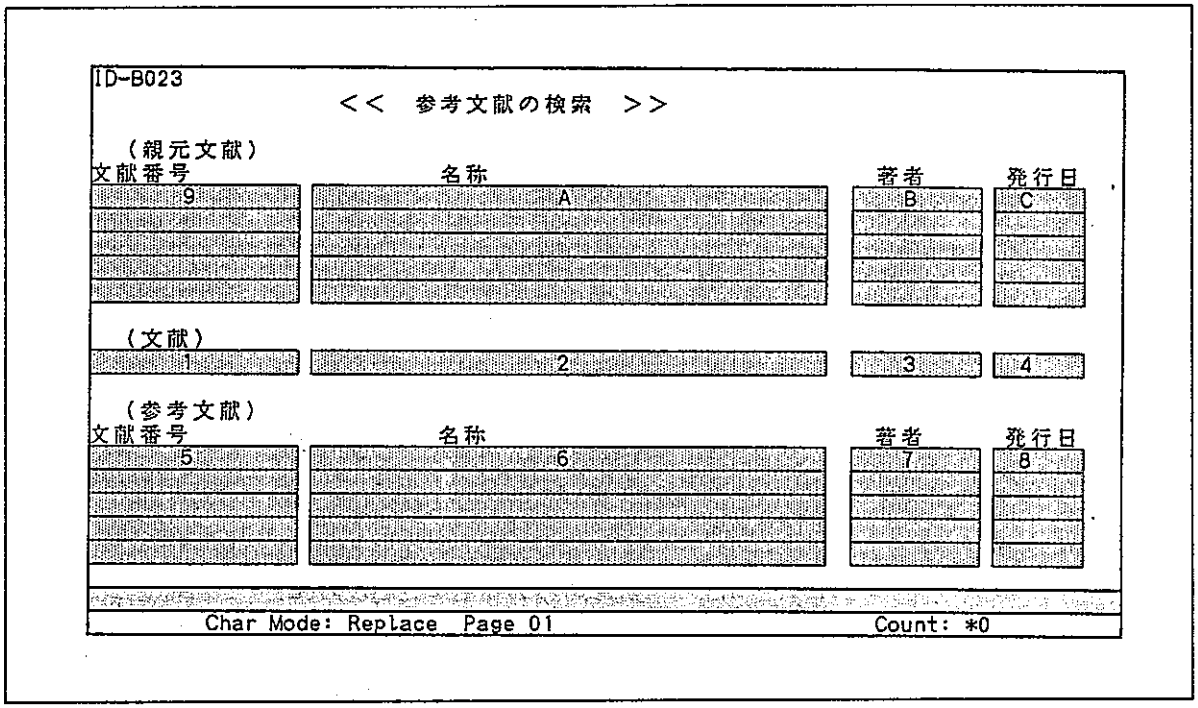
3. 著　者　30桁（日本語15桁）　AUTHOR

著者名の検索又は表示を行います。
表示は10桁（日本語5桁）ですが⇨で移動すると、11桁以降の文字がスクロールされて表示されます。

4. 発行日　7桁　ISSUE

発行日の検索又は表示を行います。形式は"YYYY-MM"です。

※　２～４での検索は必要に応じて行います。

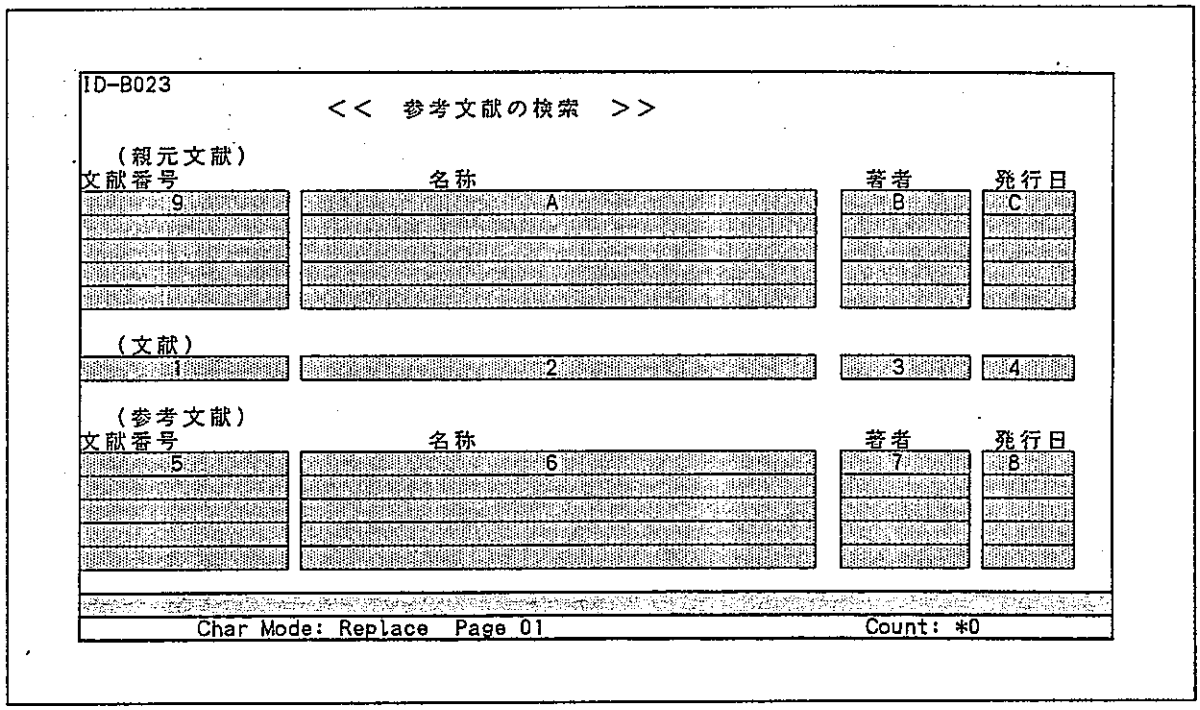


第２ブロック

第１ブロックで検索された文献番号の参考文献を PF2 （EXE Q）の押下により検索します。
尚、ブロック移動は ROLLUP , ROLLDOWN キーによって行って下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
5.	参考文献番号	20桁	DOC	
6.	参考文献名称 （日本語35桁） 表示は40桁（日本語20桁）です。	70桁	TITLE	
7.	著　者 （日本語15桁） 表示は10桁（日本語5桁）です。	30桁	AUTHOR	
8.	発行日	7桁	ISSUE	

※　いずれの項目も表示のみ可能です。



第３ブロック

第１ブロックで検索された文献番号の親元文献を PF2 （EXE Q）の押下により検索します。
尚、ブロック移動は ROLLUP , ROLLDOWN キーによって行って下さい。

番号	項目名	長さ	フィールド	備考
A.	親元文献番号	20桁	DOC	
B.	親元文献名称	70桁（日本語35桁） 表示は40桁（日本語20桁）です。	TITLE	
C.	著　者	30桁（日本語15桁） 表示は10桁（日本語5桁）です。	AUTHOR	
D.	発行日	7桁	ISSUE	

※　いずれの項目も表示のみ可能です。

（２．１２）キーワード一覧表

本メニューを選択するとキーワードに関する情報が"キーワード一覧表"としてキーコード（大分類、中分類）順に出力されます。

出力するデータは、①どのキーコードを指定するか、かつ②キーワード（日本語名称）を指定するか、かつ③キーワード（英語名称）を指定するか、の３つの条件を[AND]により複合的に組み合わせて選択する事ができます。
もし、①、②、③共何も指定しないで↵を押下すると、全てのキーワードが出力されます。

以降の全ての出力帳票で共通ですが、①や②③等の指定項目について↵のみ押すと、その項目については「すべて」を指定したことになります。

レポート表示項目はキーコード、キーワード（日本語名称、英語名称）です。

レポート出力中は、メニュー画面での操作を行わないで下さい。

本レポートを再出力させたい場合は、「起動と終了方法」で述べた手順で研究成果リスト管理システムを終了させ、ＤＯＳプロンプト（Ａ：￥ＰＮＣ＞）が表示されているのを確認し、

Ａ：￥ＰＮＣ＞ＰＲＩＮＴ　￥ＰＮＣ￥Ｂ０１１．ＬＳＴ

とタイプして下さい。本レポートが再出力されます。

Fri Apr 20　　<<<< キ ー コ ー ド 一 覧 表 >>>>　　page 1
OD-B011

大分類	中分類	キーコード	キーワード（日本語名称）	キーワード（英語名称）
A 対象	AA 地質	AA-00001	天然バリア	NATURAL BARRIER
		AA-00002	地圏	GEOSPHERE
		AA-00003	岩石圏	LITHOSPHERE
		AA-00004	母岩	HOST ROCK
		AA-00005	軟岩	SOFT ROCK
		AA-00006	硬岩	HARD ROCK
		AA-00007	地層	FORMATION
		AA-00008	マグマ	MAGMA
		AA-00009	割れ目	FRACTURE
		AA-00010	岩体	ROCK MASS
		AA-00011	単一割れ目	SINGLE FRACTURE
		AA-00012	割れ目充填物	FRACTURE FILLING MATERIAL
		AA-00013	断層	SHEAR ZONE
		AA-00014	花崗岩	GRANITE
		AA-00015	凝灰岩	TUFF
		AA-00016	玄武岩	BASALT
		AA-00017	泥岩	MUDSTONE
		AA-00018	変成岩	METAMORPHIC ROCK
		AA-00019	頁岩	SHALE
		AA-00020	片麻岩	GNEISS
		AA-00021	堆積岩	SEDIMENTARY ROCK
	AB 地下水	AB-00001	水圏	HYDROSPHERE
		AB-00002	地下水	GROUNDWATER
		AB-00003	地下水面	WATER TABLE
		AB-00004	被圧地下水	CONFINED GROUND WATER
		AB-00005	地表水	SURFACE WATER
		AB-00006	帯水層	AQUIFER
		AB-00007	被圧帯水層	CONFINED AQUIFIER
		AB-00008	自由帯水層	FREE AQUIFER
		AB-00009	通気層	AERATED ZONE
		AB-00010	難透水層	AQUICLUDE
		AB-00011	涵養域	RECHRGE AREA
		AB-00012	亀裂ネットワーク	FRACTURE NETWORK
		AB-00013	多孔質体	FRACTURED MEDIA
		AB-00014	チャネリング	CHANNELING
		AB-00015	多孔質体	POROUS MEDIA
	AC 廃棄物	AC-00001	高レベル放射性廃棄物	HIGH-LEVEL RADIOACTIVE WASTE
		AC-00002	中レベル放射性廃棄物	MIDDLE-LEVEL RADIOACTIVE WASTE
		AC-00003	低レベル放射性廃棄物	LOW-LEVEL RADIOACTIVE WASTE
		AC-00004	使用済燃料	SPENT FUEL
		AC-00005	固化体	SOLIDIFIED WASTE
		AC-00006	ガラス固化体	VITRIFIED WASTE
		AC-00007	ホウケイ酸ガラス	BOROSILICATE GLASS
		AC-00008	シンロック	SYNROC
		AC-00009	アクチニド	ACTINIDE
		AC-00010	アルファ核種廃棄物	ALPHA-BEARING WASTE
		AC-00011	放射化生成物	ACTIVATION PRODUCT
		AC-00012	超ウラン元素	TRANSURANIC ELEMENTS
		AC-00013	TRU廃棄物	TRU WASTE
		AC-00014	ハル	CLADDING WASTE (HULL WASTE)
		AC-00015	ウラン廃棄物	URANIUM WASTE
		AC-00016	ミル・テイリング	MILL TAILINGS
		AC-00017	解体廃棄物	DECOMMISSIONING WASTE

（２．１３）文献一覧リスト

本メニューを選択すると文献番号、文献名称、言語、著者、等の文献に関する情報が“文献一覧リスト”として文献番号（大分類・中分類）順に出力されます。

出力するデータは、①発行国、かつ②発行者、かつ③文献タイプ、かつ④文献番号を組み合わせて選択する事により必要なリストを手に入れる事ができます。もし、①、②、③、④共何も指定しないで↵を押下すると、全ての文献が出力されます。　４つのうち、１つだけを指定して残りの３つを↵としても構いません。このときは残りの３つは全件を指定したことになりますが、１つだけデータ指定をしたことになりますので、この指定分だけが「生きる」ことになります。

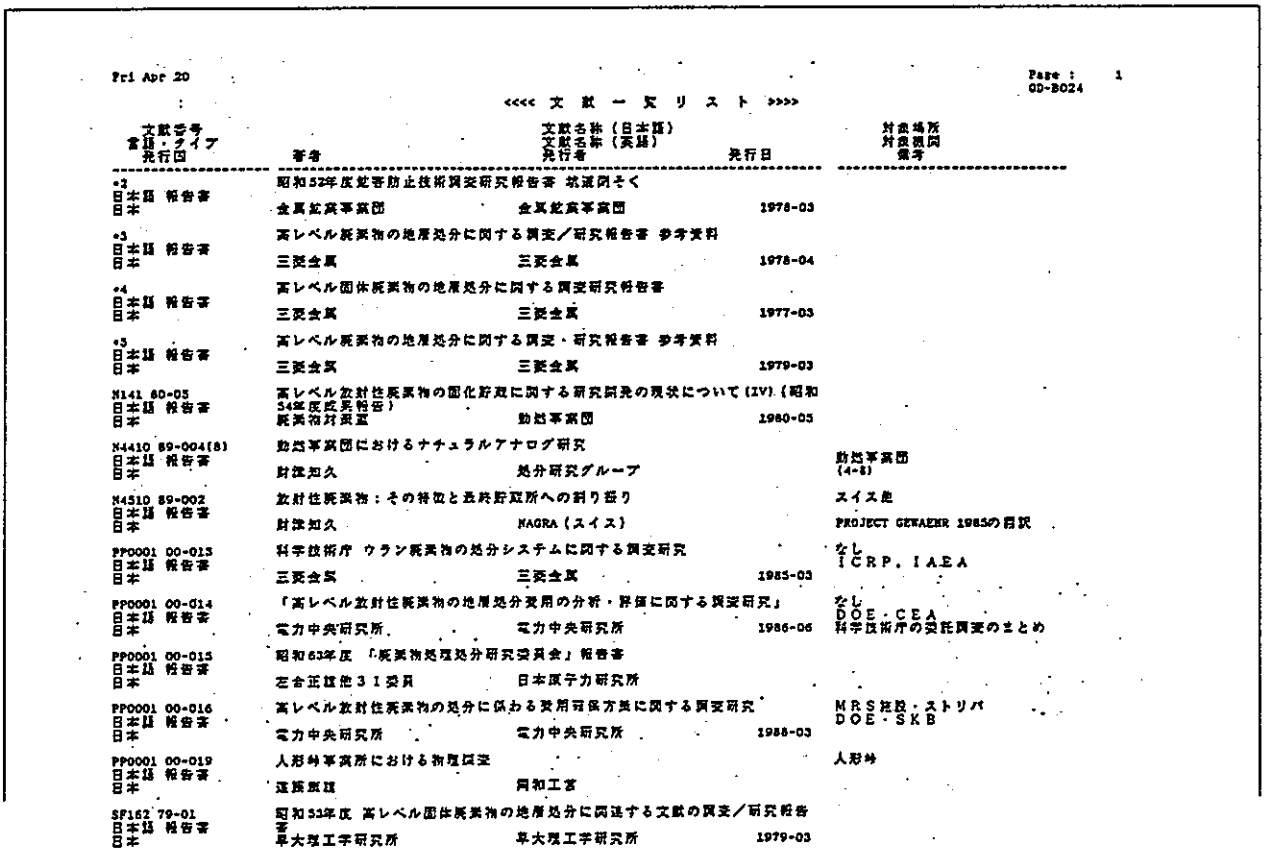
文献番号、名称（日本語・英語）、言語、発行国、文献タイプ、対象場所、対象機関、書誌名、著者名、発行日、発行者、備考が文献番号順にならびかえられてレポート表示されます。

レポート出力中は、メニュー画面での操作を行わないで下さい。

本レポートを再出力させたい場合は、「起動と終了方法」で述べた手順により研究成果リスト管理システムを終了させ、ＤＯＳプロンプト（Ａ：￥ＰＮＣ＞）が表示されているのを確認し、

Ａ：￥ＰＮＣ＞ＰＲＩＮＴ　￥ＰＮＣ￥Ｂ０２４．ＬＳＴ

とタイプして下さい。本レポートが再出力されます。



Fri Apr 20　　Page : 1
GD-B024

<<<< 文 献 一 覧 リ ス ト >>>>

文献番号 言語・タイプ 発行国	著者	文献名称（日本語） 文献名称（英語） 発行者	発行日	対象場所 対象機関 備考
*2 日本語 報告書 日本	昭和52年度鉱害防止技術調査研究報告書 坑道閉そく 金属鉱業事業団	金属鉱業事業団	1978-03	
*3 日本語 報告書 日本	高レベル廃棄物の地層処分に関する調査／研究報告書 参考資料 三菱金属	三菱金属	1978-04	
*4 日本語 報告書 日本	高レベル固体廃棄物の地層処分に関する調査研究報告書 三菱金属	三菱金属	1977-03	
*5 日本語 報告書 日本	高レベル廃棄物の地層処分に関する調査・研究報告書 参考資料 三菱金属	三菱金属	1979-03	
N141 80-05 日本語 報告書 日本	高レベル放射性廃棄物の固化貯蔵に関する研究開発の現状について(IV)（昭和54年度成果報告） 廃棄物対策室	動燃事業団	1980-05	
N4410 89-004(8) 日本語 報告書 日本	動燃事業団におけるナチュラルアナログ研究 舟橋知久	処分研究グループ		動燃事業団 (4-8)
N4510 89-002 日本語 報告書 日本	放射性廃棄物：その特性と長期貯蔵所への割り振り 舟橋知久	NAGRA（スイス）		スイス他 PROJECT GEWAEHR 1985の翻訳
PP0001 00-013 日本語 報告書 日本	科学技術庁 ウラン廃棄物の処分システムに関する調査研究 三菱金属	三菱金属	1985-03	なし ICRP，IAEA
PP0001 00-014 日本語 報告書 日本	「高レベル放射性廃棄物の地層処分費用の分析・評価に関する調査研究」 電力中央研究所	電力中央研究所	1986-06	なし DOE・CEA 科学技術庁の委託調査のまとめ
PP0001 00-015 日本語 報告書 日本	昭和63年度 「廃棄物処理処分研究委員会」報告書 石谷正雄他３１委員	日本原子力研究所		
PP0001 00-016 日本語 報告書 日本	高レベル放射性廃棄物の処分に係わる費用評価方法に関する調査研究 電力中央研究所	電力中央研究所	1988-03	MRS社設・ストリパ DOE・SKB
PP0001 00-019 日本語 報告書 日本	人形峠事業所における物理探査 住鉱鉱業	同和工営		人形峠
SF162 79-01 日本語 報告書 日本	昭和53年度 高レベル固体廃棄物の地層処分に関連する文献の調査／研究報告書 早大理工学研究所	早大理工学研究所	1979-03	

（２．１４）文献定義書

本メニューを選択すると文献で定めた全ての情報が”文献定義書”として文献番号順に出力されます。

メニュー'4'で入力したもの（文献番号、名称、文献タイプ、著者名、…要旨）が殆ど同じ様式で、又、その文献番号に対応するキーワード情報、WBS情報、がレポート上にＡ４縦型で出力されます。　　１つの文献で１枚の紙に対応していますので、レポート作成時間の他に出力時間がかかります。　改訂版ではすべてのレポート中でこれだけは縦型で出力していますので、次の操作が必要です。

注意事項

①：本レポート出力前に必ず、レーザープリンタの電源を"OFF"にし、カセット給紙の下にあるコントロール・カートリッジをはずしてから、再度電源を"ON"にします。　出力が終わりましたら、逆の手順でカートリッジを入れてから電源を"ON"にします。
　この操作を行わないと、このレポートは横型で出力されてしまいますし、逆の「戻し設定」を行わないと残りの全てのレポートは縦型で出力されてしまいます。

②：１データに１枚の紙が対応すること、および、Ａ４縦型の出力に特殊なプログラム操作を行っていますので紙の補給（事前設定）を怠らないで下さい。また、出力に時間がかかることが予想されますので、朝一番に出力指定を行い、２～３時間後には紙を補給するようなやり方をお勧めします。

出力条件の選択は、①文献番号、かつ②文献タイプ、かつ③発行国、④発行者、かつ⑤書誌名の合計５つの指定を複合的に組み合わせて行うことにより必要なリストを手に入れる事ができます。　これらの条件はすべて「または」ではなく、「かつ」であることに注意して下さい。
もし、①～⑤を指定しないで空⏎を押下すれば、全ての文献を選んだことになります。　この指定のルールは「文献一覧リスト」のときと同じですので、⏎の効果的な使い方を覚えて下さい。

レポート出力中は、メニュー画面での操作を行わないで下さい。
本レポートの出力は常にシステムメニューからしかできません。
　次のページに原寸大でレポートのサンプルを示します。

((文献番号 : 125 85-01)) 公開 : B 言語 : 日本語

文献名称 : 地層処分性能評価研究（Ｖ）

著者名	: 日揮	発行日	: 85/06/01
タイプ	: 報告書	発行者	: 日揮
発行国	: 日本	書誌名	: なし
対象国	: 日本	始ページ	: 1
対象場所	: 日本	終ページ	: 589
対象機関	:	保管部	:
対象年度	:	保管番号	:
備考	:	受付日	:

文献要旨

本研究は地層処分システムの性能を定量的に評価することによって、地層処分の技術的可能性と長期間の安全性という二大問題点を確証することを目的とした。本研究は昭和５５年度に開始され、昨年までに 1) 処分システムとそれを構成する各バリアのモデル化、2) 核種の放出／移行シナリオの策定、3) 現象／事象を支配する方程式及び解析モデル／計算コードの作成について成果を報告した。本年度の研究は、(1) 人工バリア性能に係る研究 (2)モデル化の際に要求されるデータを供給し、地層処分の性能を確認する為の試験研究の提案 (3)人工バリア性能の詳細なモデル化（特に、溶解限度を考慮した浸出／拡散と、地下水流を考慮した充填材中の核種移行） (4)人工バリア性能評価、等を実施した。

関連キーワード

関連ＷＢＳコード

（２．１５）キーコード別文献一覧リスト

本メニューを選択するとキーワード毎にメニュー'4'で入力したキーワードと文献の組合せの情報が”（キーコード別）文献一覧リスト”としてキーコード順、文献番号順に出力されます。

出力するデータは、①キーワード（日本語）、かつ②文献名称（日本語）を組み合わせて選択する事により必要なリストを手に入れる事ができます。もし、①、②共何も指定しないで㊢を押下すると、全ての文献が出力されます。
この指定のルールは前のページまでに述べたことと同じですので、そちらも参照して下さい。

レポート出力中は、メニュー画面での操作は行わないで下さい。

本レポートを再出力させたい場合は、所定の手順により研究成果リスト管理システムを終了させ、ＤＯＳプロンプト（Ａ：￥ＰＮＣ＞）が表示されているのを確認し、

Ａ：￥ＰＮＣ＞ＰＲＩＮＴ　￥ＰＮＣ￥Ｂ０３２．ＬＳＴ

とタイプして下さい。本レポートが再出力されます。

Fri Apr 20　　Page : 1
OD-B032

<<<< （キーワード別）文 献 一 覧 リ ス ト >>>>

キーコード キーワード（日本語） キーワード（英語）	文献番号 言語・タイプ 発行国	著者	文献名称（日本語） 文献名称（英語） 発行者	発行日
AA-00005 軟岩 SOFT ROCK	SJ4281 89-005 日本語 報告書 日本	地層処分システムの予備的性能評価 日揮	日揮	
AA-00006 硬岩 HARD ROCK	SJ4281 89-005 日本語 報告書 日本	地層処分システムの予備的性能評価 日揮	日揮	
AB-00003 地下水面 WATER TABLE	SJ4211 89-003 日本語 報告書 日本	ウラン系廃棄物の処分に関する調査研究 中井英一郎	三菱金属	
AB-00006 帯水層 AQUIFER	SJ4211 89-003 日本語 報告書 日本	ウラン系廃棄物の処分に関する調査研究 中井英一郎	三菱金属	
AB-00007 被圧帯水層 CONFINED AQUIFIER	SJ4211 89-003 日本語 報告書 日本	ウラン系廃棄物の処分に関する調査研究 中井英一郎	三菱金属	
	SJ4281 89-005 日本語 報告書 日本	地層処分システムの予備的性能評価 日揮	日揮	
	SJ5211 87-002 日本語 報告書 日本	人工バリアシステムの設計研究（Ⅰ） 打越誠	三菱金属	
AC-00001 高レベル放射性廃棄物 HIGH-LEVEL RADIOACTIVE WASTE	SJ4281 89-005 日本語 報告書 日本	地層処分システムの予備的性能評価 日揮	日揮	
	SJ4600 88-004 日本語 報告書 日本	ガラス固化体から発生する放射核の化学効果に関する研究（ⅠⅤ） 吉田宏	北大工学部	
AC-00003 低レベル放射性廃棄物 LOW-LEVEL RADIOACTIVE WASTE	SJ4600 88-004 日本語 報告書 日本	ガラス固化体から発生する放射核の化学効果に関する研究（ⅠⅤ） 吉田宏	北大工学部	
	SJ5211 87-002 日本語 報告書 日本	人工バリアシステムの設計研究（Ⅰ） 打越誠	三菱金属	
AC-00006 ガラス固化体 VITRIFIED WASTE	SJ4281 88-002 日本語 報告書 日本	セメント系緩衝材の同じ込め機能の経時劣化に関する研究動向調査 日揮	日揮	
	SJ4281 89-005 日本語 報告書 日本	地層処分システムの予備的性能評価 日揮	日揮	

（２．１６）ＷＢＳ別文献一覧リスト

本メニューを選択するとWBS（ワークパッケージ）別にメニュー'4'で入力したWBSと文献の組合せの情報が”（ＷＢＳ別）文献一覧リスト”としてＷＢＳ順、文献番号順に出力されます。

出力するデータは、①ワークパッケージ名称（日本語）、かつ②文献名称（日本語）を個別、または複合的に選択する事により必要なリストを手に入れる事ができます。もし、①、②共何も指定しないで↵を押下すると、全ての文献が出力されます。

レポート出力中は、メニュー画面での操作を行わないで下さい。

本レポートを再出力する場合は、所定の手順により研究成果リスト管理システムを終了させ、ＤＯＳプロンプト（Ａ：￥ＰＮＣ＞）が表示されているのを確認し、

Ａ：￥ＰＮＣ＞ＰＲＩＮＴ　￥ＰＮＣ￥Ｂ０４３．ＬＳＴ

とタイプして下さい。本レポートが再出力されます。

Tue Mar 20　　Page : 1
OD-B043

<<<< （ＷＢＳ別）文　献　一　覧　リ　ス　ト >>>>

ＷＢＳ番号 ＷＢＳ名称	文献番号 言語・タイプ 公開・発行国	著者	文献名称（日本語） 文献名称（英語） 発行者	発行日
611000000-C113000000 ガラス固化体からの核種放出のシナリオ解析	89-0003 英語　論文 Ｅ　米国	核燃料物処分に適するトレースレベルのPR粒化状態の決定 NITSCHE H.L	DOE	87/01/01
	89-0004 英語　論文 Ｅ　スイス	中性に近い溶液におけるアクチニドの溶解度と種別に及ぼす温度効果 NITSCHE H.L		87/01/01
	89-0005 英語　論文 Ｅ　米国	U(VI)水酸化物とNp(IV)含水酸化物の溶解度データ　ＭＣＣ－３試験法の応用 KRUPKA KM		85/01/01
	89-0006 英語　論文 Ｅ　米国	遊ばれたアクチニド元素の溶解度と化学種形成に対する温度の効果 NITSCHE H		85/01/01
	89-0008 英語　短報 Ｅ　西独	Am(III)加水分解定数とAm(III)水酸化物の溶解度と RAI D,STRICK		83/01/01
	89-0009 英語　論文 Ｅ　米国	地質学的物質をさび溶液中のPu溶度測定 STRICKERT		82/01/01
	89-0010 英語　論文 Ｅ　米国	核廃棄物中の化学種の熱力学的特性 EDLSTEIN M	DOE	83/01/01
	89-0011 英語　論文 Ｅ　米国	放射性廃棄物の隔離：地層貯蔵所へのアクチニドの閉じ込め WOOD B J	DOE	81/01/01
	89-0012 英語　論文 Ｅ　米国	アクチニドをドープしたガラスと接触する溶液中のNp溶度 RAID,STRICKE		82/01/01
	89-0013 英語　短報 Ｅ　スイス	溶液中の低濃度イオンＰｕ化学種の分光光度定量 SWANSON JL		81/01/01
	89-0014 英語　論文 Ｅ　英国	溶液のアメリシウム溶度に及ぼすアメリシウム固相の影響 RAI D,STRICK		81/01/01
	89-0015 英語　論文 Ｅ　米国	地中でのアクチニドの最高溶度 RAI D,STRICK		80/01/01
	89-0001 英語　論文 Ｅ　米国	TR,PR,AM,CUに対する既存熱力学的データ、必要データ（FILM） SCHRAMKE J.A	DOE	87/01/01

4．その他

研究成果リスト管理システムでメニュー化している機能の他に日常的に行う運用作業で覚えておいた方がよい事柄を３つ示します。

（１）　ＵＦＩ（または、ＳＱＬ言語）

研究成果リスト管理システムはリレーショナルデータベース（ＯＲＡＣＬＥ）を基に作成されています。ＯＲＡＣＬＥでは本システムを構築するのに用いた画面や帳票を表すいくつかの記述言語を備えています。　ＵＦＩとはこの記述言語の１つであり、ＯＲＡＣＬＥで使用しているＳＱＬ（＝構造化検索）言語を用いた製品名のことです。

ＳＱＬは1987年にＡＮＳＩによりデータベース検索用の標準ツール・言語として制定されているもので、ＯＲＡＣＬＥではこの標準様式に拡張機能を追加してＵＦＩとして製品化しています。

特に、データ確認・帳票出力用としてＵＦＩは殆ど簡単な英文を書く要領で単語をならべるだけでＯＫです。　ＵＦＩの起動は、メニューより選択するだけでデータベース環境の中にはいれますので、あとはＳＱＬ言語がそのまま使用できます。

ここで問題になるのはＳＱＬ言語の文法と、データベースの情報ですが、前者に付いては別途マニュアルや参考書をご覧下さい。　後者に付いては添付資料に、データベースの各テーブル（ファイル）にはどんなデータが各ファイルに入っているか、それらの名称はなにか、を示してあります。　これを参考にして下さい。

これらをＵＦＩの文法様式（ＳＱＬ言語）に埋め込むだけで自分自身のオリジナルのレポートが作成できます。又、レポートやメニュー'1'～'9'画面を使用せずに、データをただ確認するだけにも使用できます。

ある程度システムの操作と考え方をマスターし、異なった切口からの管理や個々のデータチェックを行う際に最も威力を発揮します。

（２）　Ｂａｃｋｕｐ

研究成果リスト管理システムをはじめ、ＯＲＡＣＬＥを用いていて構築されているシステムは全てハードディスクとメモリ上にデータベースを展開しているため、パソコンのデータ（フロッピィディスク）としてBackupを取るには、特殊な手順を踏む必要があります。
本システムではこの一連の手順をメニュー化してはいませんが、次に示した手順通りに行えば全てのデータベースをBackupできます。

まず、フロッピィ・ディスク（ＤＯＳフォーマット済み）を用意し、パソコンの２つあるうちの下側のドライブに差し込んでおきます。
次に、研究成果リスト管理システムを「システムの起動と終了」で示した手順で終了させ、ＤＯＳプロンプト（Ａ：¥ＰＮＣ＞）が表示されるのを確認し、以下のコマンドを入力します。
（大文字がＤＯＳのコマンドを、小文字がＥＸＰの応答を示します。）

```
Ａ：¥ＰＮＣ＞ＥＸＰ　　ＰＮＣ２／ＰＮＣ２　①

Export file :EXPDAT.EXP > C:DOCSYS.DMP　②

Truncate existing file (Y/N): Y > Y　　③

U(sers), or T(ables) : U > U　　④

Export Grants (Y/N) : N > Y　　⑤

Export the rows (Y/N) : Y > Y　　⑥

  Please remove diskette and label the disketes as : 0

Ａ：¥ＰＮＣ＞ＤＩＲ　Ｃ：ＤＯＣＳＹＳ．ＤＭＰ　⑦

     DOCSYS.DMP     203356    89-01-16
```

手順の説明

①　ＥＸＰというＯＲＡＣＬＥデータのバックアップ用ユーティリティを起動します。１字１句同じように入力して下さい。

②　データを取るファイル名称（ＤＯＣＳＹＳ．ＤＭＰ）とその場所を指定します。ファイル名称はこのまま変更せずに使用することをお勧めします。

③　ファイルが既にフロッピィに存在する時だけに表示される確認メッセージです。フロッピィが繰り返して使用される時、必ず「ファイルの入れ替え」を確認しておいてから’Ｙ’として下さい。

④　データを全てバックアップしますので’U’と入力して下さい。

⑤　バックアップ内容に＋αのデータ（システム関係上あったほうがよい特権データ）を含むか、否か、を指定します。　’Y’として下さい。

⑥　データ・バックアップを開始します。

⑦　バックアップしたデータが所定のフロッピィに存在するか、それはどのくらいの大きさ・作成時間を持つのかを確認します。

尚、② ～⑥のどこでも’．’（ピリオド）を入力すれば、ＥＸＰを終了させることができます。

この手順により、用意したフロッピィに現在最新のデータが全てBackupされます。
尚、Backupは１日１回作業終了後に必ず行い、１週間分（６日）を保持しておくことをお勧めします。
これら数枚のフロッピィはそれぞれ保存記録に応じて順番に再使用しても構いません。

注意事項

1．　もしデータ総量がフロッピィに対して十分な余裕がないと、システムは動作不良となり、データは保証されませんので注意して下さい。

2．　Backupファイル名を独自に定めた時は、忘れないようになんらかの管理を行い、Recovery時に間違いのないようにして下さい。

3．　この手順では研究成果リスト管理システムのデータだけを対象としていますので、他のシステムのデータはBackupしません。

4．　手順④で’T’と答えますと、テーブル（ファイル）毎にバックアップすることができます。　（⑤の質問がなくなり、テーブル名称を聞いてくる質問が増えますので個々のテーブルを指定し、↵で応答した後バックアップしたい数だけ繰り返して後、’．’で終了して下さい。）

（３）　Ｒｅｃｏｖｅｒｙ

もし、何らかの原因でデータが破壊された時はBackupしておいたフロッピィ・ディスクを用いてRecoveryします。
（但し、根本的な原因がハードウェア障害である時は修理が前提です。）
大抵の場合はソフトウェア・ダウンと思われますので以下の手順を踏みます。

まず復旧したいデータの入っているBackupフロッピィを捜し、２つあるドライブの下側に差し込んでおきます。
バックアップしたファイルの内容によって手順が変わりますが、ここでは「（２）バックアップ」で示した例の通り行われていると仮定します。
次に、所定の手順に従って研究成果リスト管理システムを終了し、ＤＯＳプロンプトが表示されているのを確認した後、以下のように入力します。
（大文字がＤＯＳコマンドを、小文字がＩＭＰの応答を示します。）

```
A：¥ＰＮＣ＞ＤＯＣＤＲＯＰ　①

A：¥ＰＮＣ＞ＩＭＰ　ＰＮＣ２／ＰＮＣ２　②

Import file : EXPDAT.DMP > C:DOCSYS.DMP　③

Ignore create errors due to object existence (Y/N): Y > Y　④

Import grants (Y/N): Y > Y　⑤

Import the rows (Y/N): Y > Y　⑥
.. inserting into table "KDOC"　: 81 rows
```

手順の説明

① ＯＲＡＣＬＥを用いている全てのシステム・データを消去します。
この為、これから戻そうとしているデータ（ファイル）が本当に正しくないと、「データは消去したが戻すべきデータはない」状態が発生しますので、本作業前に十分注意して下さい。

② ＩＭＰというＯＲＡＣＬＥデータのリカバリー用ユーティリティを起動します。１字１句同じように入力して下さい。

③ データを取るファイル名称（ＤＯＣＳＹＳ．ＤＭＰ）とその場所を指定します。ファイル名称はＥＸＰ（バックアップ）時の名称のまま変更せずに使用しなければなりません。

④ バックアップ（ＩＭＰ）の途中でエラーが発生したとき、処理を中断するか又は、無視して続行するかを指定します。　’Ｙ’として下さい。

⑤　既にバックアップした内容に＋αのデータ（システム関係上あったほうがよい特権データ）がある場合に指定します。　’Y’として下さい。

⑥　データ・バックアップを開始します。

尚、③～⑥のどこでも’.’（ピリオド）を入力すれば、ＥＸＰと同様にＩＭＰを終了させることができます。

この手順により、現在のデータを全てクリアした後、用意したフロッピィの内容でデータベースを再生成します。

データが復旧されましたら、システムを再起動させて（ＤＯＳプロンプトでＤＯＣと入力）、各画面でのデータの確認を行って下さい。

注意事項

1．　ＩＭＰはバックアップしたデータの内容に依存します。　即ち、「どういう状態・条件でＥＸＰを行ってバックアップしたか」次第で決まります。決して②～⑥の手順に依存しません。

2．　もし、データベースの構成に変更があった場合は、変更の前後で取ったバックアップ・データには互換性がなくなりますのでこの手順は使用できません。　（当然、最新のデータベースは変更前のものと比べてレイアウトが異なります。）
構成の変更が明らかに予想される段階で、過去のバックアップ分もレイアウト変更する様、日揮まで相談下さい。

１１　キーコードテーブルのフィールド定義

テーブル名　：　KDOC

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	KEY	KEYｺｰﾄﾞ	文字	8	確定
2	TITLE	KEY 名称(ｷｰﾜｰﾄﾞ 日本語)	文字	40(20)	確定
3	ETITLE	KEY 名称(ｷｰﾜｰﾄﾞ 英語)	文字	40	確定
3	ENTRY	ﾃﾞｰﾀ入力日	日付	9	確定

１２　文献情報テーブルのフィールド定義

テーブル名　：　DOC

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	DOC	文献ｺｰﾄﾞ・文献番号	文字	20*	拡張
2	TITLE	文献名称(日本語)	文字	70(35)*	拡張
3	ETITLE	文献名称(外国語) ・日本語文献名称２	文字	70(35)*	拡張
4	REMARKS	備考(日本語) ・添付資料情報	文字	30(15)	確定
5	AUTHOR	著者名称 (日本語)	文字	30(15)*	拡張
6	BKTYPE	文献種別・分類タイプ	文字	6(3)*	拡張
7	ISSUE2	文献最新発行日	文字	7*	変更
8	PUBLISH	発行者名称 (日本語)	文字	30(15)*	拡張
9	KPDEPT	文献保管部門・責任部署	文字	10(5)	確定
１０	KPNO	文献保管管理番号	文字	10	確定
１１	PAGE	開始ページ数	数字	4	確定
１２	SIZE	文献サイズ	文字	2	不要
１３	ABST1	文献要旨１	文字	80(40)*	削除
１４	ABST2	文献要旨２	文字	80(40)*	削除
１５	ABST3	文献要旨３	文字	80(40)*	削除
１６	ABST4	文献要旨４	文字	80(40)*	削除

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
１７	ABST7	文献要旨５	文字	80(40)*	削除
１８	ABST6	文献要旨６	文字	80(40)*	削除
１９	ABST7	文献要旨７	文字	80(40)*	削除
２０	ABST8	文献要旨８	文字	80(40)*	削除
２１	ABST9	文献要旨９	文字	80(40)*	削除
２２	ABST10	文献要旨１０	文字	80(40)*	削除
２３	ABST11	文献要旨１１	文字	80(40)*	削除
２４	ABST12	文献要旨１２	文字	80(40)*	削除
２５	ABST13	文献要旨１３	文字	80(40)*	削除
２６	ABST14	文献要旨１４	文字	80(40)*	削除
２７	ABST15	文献要旨１５	文字	80(40)*	削除
２８	ENTRY	ﾃﾞｰﾀ入力日	日付	9	確定
２９	LANG	言語ｺｰﾄﾞ・名称	文字	6(3)	確定
３０	KPDATE2	保管受付日・管理対象日	文字	10*	変更
３１	OPEN	公開ｺｰﾄﾞ	文字	2	確定
３２	CNTRY	取り扱い対象国	文字	14(7)*	拡張
３３	PLACE	取り扱い対象場所	文字	30(15)*	拡張
３４	ORGN	取り扱い対象機関・委員会	文字	30(15)*	拡張
３５	PERIOD2	取り扱い対象年度・期間	文字	7*	変更
３６	ISCNTRY	文献発行国	文字	14(7)*	拡張
３７	TOPAGE	終了ページ数	数字	4*	変更
３８	BKNAME	書誌・雑誌名	文字	30(15)*	拡張

１３　ＷＢＳ／文献相互参照テーブルのフィールド定義

テーブル名　：　WBSXDOC

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	WP	ﾜｰｸﾊﾟｯｹｰｼﾞｺｰﾄﾞ	文字	20	確定
2	DOC	文献ｺｰﾄﾞ	文字	20*	拡張
3	ENTRY	ﾃﾞｰﾀ入力日	日付	9	確定

１４　キーコード／文献相互参照テーブルのフィールド定義

テーブル名　：　KDOCXDOC

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	KEY	KEYｺｰﾄﾞ	文字	8	確定
2	DOC	文献ｺｰﾄﾞ・文献番号	文字	20*	拡張
3	ENTRY	ﾃﾞｰﾀ入力日	日付	9	確定

１５　文献／参考文献相互参照テーブルのフィールド定義

テーブル名　：　DOCXDOC

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	DOC	文献ｺｰﾄﾞ・文献番号	文字	20*	拡張
2	XDOC	参考文献ｺｰﾄﾞ・参考文献番号	文字	20*	拡張
3	ENTRY	入力日	日付	9	確定

１６　キーコード中分類用コントロールデーブルのフィールド定義

テーブル名　：　CATEGORY

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	CAT	中分類ｷｰｺｰﾄﾞ	文字	2	変更
2	MAXNO	分類最大番号	数字	5	不要
3	TITLE	中分類名称	文字	30*	追加
4	ENTRY	入力日付	日付	9*	追加

１７　キーコード大分類用コントロールデーブルのフィールド定義

テーブル名　：　ＣＡＴＧ

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	CATG	大分類ｷｰｺｰﾄﾞ	文字	1	追加
2	TITLE	大分類名称	文字	30*	追加
3	ENTRY	入力日付	日付	9*	追加

１８　文献要旨テーブルのフィールド定義

テーブル名　：　ＤＯＣＸ

連番	カラム名	名称	属性	長さ	状況
1	DOC	文献ｺｰﾄﾞ・文献番号	文字	20*	拡張
2	ABST1	文献要旨１	文字	80(40)*	拡張
3	ABST2	文献要旨２	文字	80(40)*	拡張
4	ABST3	文献要旨３	文字	80(40)*	拡張
5	ABST4	文献要旨４	文字	80(40)*	拡張
6	ABST5	文献要旨５	文字	80(40)*	拡張
7	ABST6	文献要旨６	文字	80(40)*	拡張
8	ABST7	文献要旨７	文字	80(40)*	拡張
9	ABST8	文献要旨８	文字	80(40)*	拡張
１０	ABST9	文献要旨９	文字	80(40)*	拡張
１１	ABST10	文献要旨１０	文字	80(40)*	拡張
１２	ABST11	文献要旨１１	文字	80(40)*	拡張
１３	ABST12	文献要旨１２	文字	80(40)*	拡張
１４	ABST13	文献要旨１３	文字	80(40)*	拡張
１５	ABST14	文献要旨１４	文字	80(40)*	拡張
１６	ABST15	文献要旨１５	文字	80(40)*	拡張

PNC ZJ4281 90-003(3)

配布限定

分置

本資料は　年　月　日付けで登録区分、
変更する。
01.10. 4 [技術情報室]

地層処分研究管理システムの改良

―平成3年度報告書作成に関わるネットワークフロー―

1990年 11月

日揮株式会社

本資料は、核燃料サイクル開発機構の開発業務を進めるために作成されたものです。
したがって、その利用は限られた範囲としており、その取扱には十分な注意を払って
ください。　この資料の全部または一部を複写・複製・転載あるいは引用する場合、
特別の許可を必要としますので、下記にお問い合わせください。

〒319-1184　茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49
核燃料サイクル開発機構
技術展開部　技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:
Technical Cooperation Section,
Technology Management Division,
Japan Nuclear Cycle Development Institute
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184
Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

はじめに

本書は「地層処分性能評価ＲＥＰＯＲＴ作成に関わる研究開発の効率的実施方策の検討」についてネットワークフローを示したものである。　特に、ネットワーク分析の基本となったワークパッケージ、及び、それらをネットワークに展開したときの条件や分析結果については別紙に示しているのでそちらを参照されたい。　本書は、その過程で用いたデータを資料として纏めたものである。

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

OD-A038

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
411100000-B111110000	有価値資源に関するデータ整理			
411100000-B111120000	火山活動に関するデータ整理			
411100000-B111130000	隕石に関するデータ整理			
411100000-B111140000	隆起・侵食に関するデータ整理			
411100000-B111150000	その他の現象に関するデータ整理			
411200000-B111200000	シナリオ解析のイベントツリーとして抽出される事象の発生確率、影響に係るデータ取得			
411300000-B111300000	ダイレクトシミュレーションの入力データ取得			
412100000-B112110000	熱解析に用いる地質工学分野のデータ整理			
412100000-B112120000	応力解析に用いる地質工学分野のデータ整理			
412100000-B112210000	水理解析に用いる地質学分野のデータ整理			
412100000-B112220000	核種移行解析に用いる地質学分野のデータ整理			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412100000-B112310000	熱解析に用いる水理地質分野のデータ整理			
412100000-B112320000	水理解析に用いる水理地質分野のデータ整理			
412100000-B112400000	地下水の化学的性質に係わる地球化学分野のデータ整理			
412210000-B112120000	地下研究施設等でのデータ取得			
412210000-B112210000	地下研究施設等でのデータ取得			
412210000-B112220000	地下研究施設等でのデータ取得			
412210000-B112320000	地下研究施設等でのデータ取得			
412210000-B112326000	地下研究施設等でのデータ取得			
412210000-B112400000	地下水研究施設でのデータ取得			
412210000-B112500000	地下水研究施設でのデータ取得			
412220000-B112120000	堆積岩系のデータ取得			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412220000-B112210000	堆積岩のデータ取得			
412220000-B112220000	堆積岩系のデータ取得			
412220000-B112320000	堆積岩系のデータ取得			
412220000-B112326000	堆積岩系のデータ取得			
412220000-B112400000	堆積岩系のデータ取得			
412220000-B112500000	堆積岩系のデータ取得			
412230000-B112120000	結晶質岩系のデータ取得			
412230000-B112210000	結晶質岩系のデータ取得			
412230000-B112220000	結晶質岩系のデータ取得			
412230000-B112320000	結晶質岩のデータ取得			
412230000-B112326000	結晶質岩系のデータ取得			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412230000-B112400000	結晶質岩系のデータ取得			
412230000-B112500000	結晶質岩系のデータ取得			
412240000-B112120000	文献調査等によるデータ取得			
412240000-B112210000	文献調査等によるデータ取得			
412240000-B112220000	文献調査等によるデータ取得			
412240000-B112320000	文献調査等によるデータ取得			
412240000-B112326000	文献調査等によるデータ取得			
412240000-B112400000	文献調査等によるデータ取得			
412240000-B112500000	文献調査等によるデータ取得			
412250000-B112210000	リモートセンシング調査			
412260000-B112120000	取得データの総合的解析・評価			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412260000-B112210000	取得データの総合的解析・評価			
412260000-B112220000	取得データの総合解析・評価			
412260000-B112320000	取得データの総合的解析・評価			
412260000-B112326000	取得データの総合解析・評価			
412260000-B112400000	取得データの総合解析・評価			
412260000-B112500000	取得データの総合解析・評価			
412271000-B100000000	システム開発			
412272000-B100000000	データ入力			
412273000-B100000000	システム運用			
412310000-B112210000	地下水研究施設でのデータ取得			
412310000-B1122200地	下水研究施設でのデータ取得			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412310000-B112400000	地下水研究施設でのデータ取得			
412310000-B112500000	地下水研究施設でのデータ取得			
412320000-B112210000	堆積岩系のデータ取得			
412320000-B112220000	堆積岩系のデータ取得			
412320000-B112400000	堆積岩系のデータ取得			
412320000-B112500000	堆積岩系のデータ取得			
412330000-B112210000	結晶質岩系のデータ取得			
412330000-B112220000	結晶質岩系のデータ取得			
412330000-B112400000	結晶質岩系のデータ取得			
412330000-B112500000	結晶質岩系のデータ取得			
412350000-B112500000	深部地質環境調査によるデータ取得			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412351000-B112210000	物理探査			
412352000-B112210000	試錐調査			
412352000-B112220000	試錐調査			
412353000-B112400000	水理・採水試験			
412360000-B112210000	文献調査等によるデータ取得			
412360000-B112220000	文献調査等によるデータ取得			
412360000-B112400000	文献調査等によるデータ取得			
412360000-B112500000	文献調査等によるデータ取得			
412370000-B112210000	取得データの総合的解析・評価			
412370000-B112220000	取得データの総合的解析・評価			
412370000-B112400000	取得データの総合的解析・評価			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
412370000-B112500000	取得データの総合的解析・評価			
412381000-B100000000	システム改良			
412382000-B100000000	データ入力			
412383000-B100000000	システム運用			
421111000-B112320000	シングルホール水理試験機の開発（国内）			
421112000-B112320000	シングルホール水理試験機の開発アンビリカルホースシステム（海外より導入）			
421120000-B112320000	孔開水理試験機の開発			
421130000-B112320000	トレーサー試験装置の開発			
421210000-B112400000	探水装置の開発（国内）			
421220000-B112400000	原位置地球化学特性計測装置の開発（国内）			
421230000-B112400000	上記の１、２コンバインド装置の開発（アンビリカルホースシステム）			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
421240000-B112400000	移動式分析車の開発			
422110000-B112211000	精密電磁法の開発			
422120000-B112211000	精密地下調査法研究			
422210000-B112300000	クロスホール調査結果からのアプローチ			
422212000-B112200000	処理技術開発			
422221110-B112200000	レーダー法			
422221200-B112200000	サイスミックス法			
422222000-B112300000	水理試験結果からのアプローチ			
422223000-B112300000	地球統計学的アプローチ			
422231000-B112200000	水圧破砕法の技術開発と適用試験			
422232000-B112200000	地殻応力測定技術開発と適用試験			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
422241000-B111000000	年代決定技術開発			
422242000-B111000000	地球化学的調査手法の開発			
422243000-B111000000	地質環境変動解析評価技術開発			
511110000-A110000000	要求機能の抽出・整備			
511110000-A120000000	要求機能の抽出			
511120000-A113000000	地質環境条件の設定			
511120000-A120000000	バリア材の力学、熱、水理特性のデータ採取			
511130000-A120000000	候補材の選出			
511140000-A120000000	人工バリアの仕様			
511210000-A110000000	評価手法の開発			
511211000-A120000000	既存コードの改良			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
511212000-A120000000	３連成コードの開発			
511220000-A110000000	設計手法の開発（モデルコード開発）			
511230000-A110000000	検証			
511310000-A110000000	設計解析			
511310000-A120000000	設計解析（熱、応力、水理、放射線量解析）			
511320000-A111000000	仕様設定			
511320000-A112200000	処分場の仕様			
511320000-A112300000	操業システム仕様			
511320000-A120000000	仕様設定			
511330000-A112000000	閉鎖仕様			
511400000-A112000000	建設・操業・閉鎖安全性評価			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
511500000-A100000000	経済性評価			
511600000-A100000000	ＣＡＥシステム開発			
512110000-A120000000	候補材の選定			
512120000-A113000000	結晶質岩系、堆積岩系の地質環境特性データの収集整備			
512120000-A120000000	バリア材の熱、応力、水理連成データの取得			
512130000-A120000000	処分場の基本設計に必要なデータ項目の抽出及び選定			
512210000-A110000000	熱、応力、水理、化学連成解析手法の開発及び確証			
512210000-A120000000	熱、応力、水理連成コードの開発と確証			
512220000-A110000000	設計手法の開発			
512230000-A110000000	設計評価手法の開発			
512310000-A120000000	基礎試験データの解析検討			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
512320000-A110000000	設計解析			
512320000-A120000000	熱、応力、水理連成解析による設計検討			
512330000-A100000000	処分場仕様の選定、操業システム仕様の設定、閉鎖仕様の決定			
512400000-A112000000	ソフト解析、安全評価の実施			
512500000-A100000000	結晶質岩系、堆積岩系岩盤でのコスト解析			
512600000-A100000000	ＣＡＥシステムの導入・運用			
512711000-A120000000	設計環境条件の把握			
512712000-A120000000	設計機器の調査			
512721000-A120000000	試験項目の抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験、岩盤変異試験、加熱試験、沈下特性試験）			
512722000-A120000000	試験項目の抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験、岩盤変異試験、加熱試験、沈下特性試験）			
512723000-A120000000	試験項目の抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験、岩盤変異試験、加熱試験、沈下特性試験）			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
512731000-A120000000	計測方法の検討			
512732000-A120000000	計測方法の検討			
512733000-A120000000	計測方法の検討			
512741000-A120000000	試験計画の作成			
512742000-A120000000	試験計画の作成			
512743000-A120000000	試験計画の作成			
512751000-A120000000	データ取得、及び解析			
512752000-A120000000	データ取得、及び解析			
512753000-A120000000	データ取得、及び解析			
513110000-A113000000	地質環境単元のデータの収集整備			
513110000-A122000000	地質環境単元のデータ整備			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
513120000-A120000000	実験データの整備			
513210000-A110000000	最適設計手法の開発			
513210000-A120000000	人工バリアの最適設計手法の開発			
513220000-A110000000	処分場の動的解析手法の開発			
513220000-A120000000	人工バリアの動的解析手法の開発			
513310000-A110000000	実規模試験結果の解析検討			
513310000-A120000000	実験データの分析・解析・確証			
513320000-A110000000	設計解析（最適設計）			
513330000-A110000000	処分場の設定、操業システム仕様の設定、閉鎖仕様の設定			
513330000-A120000000	設計仕様の設定			
513400000-A110000000	実規模試験による処分場設計の確証			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
513400000-A120000000	実規模試験の実施			
513500000-A110000000	建設・操業・閉鎖の安全性評価、及び実証（エレベータ等）			
513600000-A100000000	各単元のコスト解析			
513700000-A100000000	ＣＡＥシステムの運用・確立			
513800000-A110000000	処分場スペックの作成			
513800000-A120000000	地層処分システム設計スペックの作成			
521000000-A221000000	建設に関する施工検討			
521000000-A222000000	操業に関する施工検討			
521000000-A223000000	閉鎖技術の開発			
521100000-A211110000	炭素鋼溶接技術の開発			
521100000-A211120000	その他の材料の溶接技術の開発			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
521100000-A212100000	ベントナイトとケイ砂の混合比を変えたベントナイトブロック作成			
521100000-A212200000	ブロック寸法を変えたものの作成			
521200000-A213000000	施工手順の検討と使用機器の検討（設置手順条件の整備）			
522100000-A211000000	オーバーパックの試作（機能確認試験）			
522100000-A211200000	チタン製のオーバーパックの試作			
522100000-A211300000	ファインセラミック製のオーバーパックの試作			
522100000-A211400000	その他の候補材での試作			
522100000-A212000000	緩衝材の試作（機能確認試験）			
522100000-A212100000	混合材をパラメータにして試作			
522100000-A212300000	セメントを使用した場合の試作			
522100000-A212400000	他の材料での試作			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
522100000-A213100000	オーバーパックの設置方法の実証（実規模試験）			
522100000-A213200000	緩衝材の設置方法の実証（実規模試験）			
522110000-A213100000	オーバーパック			
522110000-A213200000	緩衝材			
522110000-A223100000	地下研での小規模試験			
522120000-A213100000	オーバーパック			
522120000-A213200000	緩衝材			
522121000-A223100000	地下研での中規模試験			
522122000-A223100000	ＥＮＴＲＹ中規模試験			
522130000-A221100000	掘削に関する検討			
522130000-A221200000	支保に関する検討			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
522130000-A221300000	掘作、支保の施工機械の検討			
522130000-A221400000	施工管理システムの開発			
522130000-A222000000	操業に関する検討			
522130000-A223100000	地下研での大規模試験			
522130000-A223200000	機能確認モニタリング計画			
522140000-A223100000	埋め戻し、プラグ、グラウトの検討			
523110000-A220000000	実施計画			
523110000-A222000000	実施計画			
523110000-A223000000	実施計画			
523120000-A220000000	試験実施			
523120000-A223000000	試験実施			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
523130000-A220000000	計測による解析結果の実証			
523130000-A222000000	ＥＮＴＲＹで行なった中規模試験結果の解析検討			
523130000-A223000000	計測による解析結果の実証			
523140000-A221300000	掘削工法、支保工法の最適化			
523140000-A221400000	施工管理システムの最適化			
523140000-A222000000	システムの最適化			
523150000-A210000000	人工バリアスペックの作成			
523150000-A221000000	建設スペックの作成			
523150000-A222000000	操業スペックの最適化			
523150000-A223000000	閉鎖スペックの最適化			
611110000-C300000000	我が国の特徴に起因する事象・プロセスについての情報収集			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
611120000-C300000000	第１次事象・プロセスリストの作成			
611131000-C300000000	専門家による第１次リストのレビュー			
611132000-C300000000	Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家のコメント集約と第１次事象・プロセスリストの改訂			
611210000-C300000000	専門家グループによる第１次評価結果のレビュー			
611220000-C300000000	第１次事象・プロセスリスト改訂についてのコメント集約のためのＤｅｌｐｈｉ法の実施			
611230000-C300000000	第２次事象・プロセスリストの作成			
611300000-C300000000	事象・プロセスの見直し（２）			
612110000-C300000000	事象・プロセス間の関連についての文献調査（１）			
612120000-C300000000	新たに抽出される事象・プロセスについての既往の研究例の整理（２）			
612130000-C300000000	Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家の判断の集約			
612140000-C300000000	新たに抽出される事象・プロセスについての専門家知見のＤｅｌｐｈｉ法による集約(2)			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
612150000-C100000000	地下水移行について第１次インフルエンスダイアグラムの作成			
612150000-C300000000	直接放出についてのインフルエンスダイアグラムの改訂			
612160000-C300000000	直接放出についての第２次インフルエンスダイアグラムの作成			
612170000-C300000000	事象・プロセス間の第３次（網羅的）インフルエンスダイアグラム作成			
612180000-C300000000	第１次イベントツリー作成			
612190000-C300000000	第２次イベントツリーの作成			
612210000-C100000000	各事象・プロセスと多重バリアシステム性能との関連についての文献調査			
612220000-C100000000	Judgcmcntal Mcthodによる専門家の判断の集約			
612311110-C100000000	第１次シナリオにおける解析ケースの設定			
612311120-C100000000	その他のケースについての検討			
612311211-C110000000	第１次インフルエンスダイアグラムに基づくＰＡＳＳ試験の実験計画と装置設計			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
612311212-C110000000	ＰＡＳＳ試験装置製作			
612311213-C110000000	ＰＡＳＳ試験の実施			
612311214-C110000000	ＰＡＳＳ試験結果に基づく詳細シナリオの設定			
612311221-C120000000	ファーフィールドシナリオの詳細化のための検討			
612311222-C120000000	ファーフィールドシナリオについての原位置試験計画、装置設計			
612311223-C120000000	原位置試験の実施			
612311224-C120000000	原位置試験結果に基づくファーフィールド詳細シナリオの設定			
612312000-C200000000	地下水以外の移行媒体についてのＤｅｌｐｈｉ法によるシナリオ設定			
612321000-C300000000	発端事象の明確化			
612322000-C300000000	確率論的評価のための重要な直接放出シナリオの明確化			
621110000-C111420000	地下水の放射線分解に係わる予備的試験			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621110000-C112110000	熱－水理連成試験			
621110000-C112211220	ＳＣＣの影響に関する応力負荷腐食試験			
621110000-C112211230	マクロセル形成の影響に関する大型試験			
621110000-C112213000	影響因子パラメータ試験			
621110000-C112252100	水素放出メカニズムの把握			
621110000-C112252200	水素ガス存在下での炭素鋼の挙動把握			
621110000-C112252300	水素ガス放出後の水理への影響の把握			
621110000-C112330000	コロイド生成メカニズムとその基本物性の調査・研究			
621110000-C121200000	ＥＨの決定的因子についての基礎試験の実施			
621110000-C122110000	微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の種種の岩体の原位置試験			
621110000-C122113400	室内試験による亀裂中での吸着プロセスの不可逆性の把握			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621110000-C122123E00	室内試験による岩体マトリクスへの吸着プロセスの不可逆性の把握			
621110000-C122130000	室内試験による巨視的不均質タイプの抽出と、核種移行経路、関連する現象の同定			
621110000-C122200000	MOL共同研究での室内試験による巨視的不均ソの抽出、核種移行経路、関連現象の同定			
621111000-C111410000	試験設計			
621111000-C112130000	試験設計			
621111000-C122113000	MOLとの共同研究による亀裂中での吸着に寄^する鉱物の解明の手法の確立			
621111000-C122123000	MOLとの共同研究による岩体マトリックスへフ吸着に寄与する鉱物の解明の手法の確立			
621112000-C111410000	装置製作			
621112000-C112130000	装置製作			
621113000-C111410000	試験の実施			
621113000-C112130000	試験の実施			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621113000-C122113000	わが国岩石サンプルの室内試験による亀裂中の吸着遅延に寄与する鉱物、メカニズム同定			
621113000-C122123000	わが国岩石サンプルの室内試験による岩体マトリクスの吸着遅延に寄与する鉱物の同定			
621113100-C112212000	再不動態化法によるすきま腐食発生限界条件測定			
621113200-C112212000	雰囲気制御下でのすきま腐食限界			
621113300-C112212000	侵漬試験との一致性試験			
621114000-C111410000	試験結果と第１次解析モデルとの比較による改良点の明確化			
621114000-C112130000	試験結果と第１次解析モデルとの比較による改良点の明確化			
621120000-C121200000	東濃・人形・釜石等の深部地下水の情報収集、と地下水と岩石の組成変化の相関解析			
621121000-C121120000	東濃地域での広域地下水流動調査			
621121000-C122110000	東濃での多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験			
621122000-C121120000	釜石地域での広域地下水流動調査			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621122000-C122110000	釜石での多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験			
621123000-C121120000	地下研究施設での広域地下水流動調査			
621123000-C122110000	地下での多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験			
621124000-C122110000	MOLでの多孔質媒体の微視不均質性が核種移sに及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験			
621124000-C122200000	MOL共同研究での原位置試験による巨視不均ソ性の把握と核種移行経路、関連現象の同定			
621125000-C122200000	AECL共同研究での原位置試験による巨視不均質性の把握と核種移行経路、関連現象の同定			
621126000-C122110000	NAGRA の多孔質媒体の微視不均質性が核種移行に及ぼす影響の機構解明の為の原位置試験			
621130000-C122113300	ナチュラルアナログ研究による亀裂中での鉱物化プロセスの把握			
621130000-C122123D00	ナチュラルアナログ研究による岩体マトリックスへの鉱物化プロセスの把握			
621140000-C112211210	バクテリア腐食の影響に関する文献調査と検討			
621140000-C112213000	海外の研究事例の調査			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621140000-C121100000	日本全国を対象とした地形、水理地質構造、上部・下部・側方境界条件の文献調査整理			
621140000-C121120000	文献調査			
621140000-C121200000	ＥＨの決定的因子、及び代表的地下水組成についての文献調査			
621140000-C121220000	文献調査			
621140000-C122000000	異方性、不連続性、不均質性タイプの文献調査による抽出・整理			
621300000-C111100000	熱的条件に係わる概念モデル見直し			
621300000-C111200000	応力条件に係わる概念モデル見直し			
621300000-C111300000	放射線学的条件に係わる概念モデル見直し			
621300000-C111420000	Redox-frontに関する概念モデル作成			
621300000-C111500000	水理条件に係わる概念モデル見直し			
621300000-C111600000	熱－応力－水理条件に係わる概念モデルの見直し			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621300000-C112120000	緩衝材の熱変質に係わる概念モデル			
621300000-C112130000	緩衝材との反応による地下水の化学的性質変化に係わる概念モデル作成			
621300000-C112212000	チタンの腐食についての概念モデル作成			
621300000-C112220000	金属の腐食に伴う地下水の化学的性質の変化に係わる概念モデル見直し			
621300000-C112310000	ガラス溶解の概念モデル見直し			
621300000-C112330000	コロイド移動機構のモデル化			
621310000-C112110000	人工バリア再冠水時間についての概念モデル見直し			
621310000-C112211000	炭素鋼オーバーパックの腐食概念モデルの作成			
621310000-C112230000	金属の腐食に対する微生物の影響の概念モデル作成			
621310000-C112240000	金属の腐食に対する有機物の影響の概念モデル作成			
621310000-C112252000	水素ガス発生の影響についての概念モデル作成			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621310000-C112320000	核種の溶解の概念モデル見直し			
621310000-C112430000	緩衝材中の核種拡散の概念モデル見直し			
621310000-C112450000	緩衝材中の核種の吸着の概念モデル見直し			
621310000-C112500000	周辺母岩中の核種移行概念モデル作成			
621310000-C121200000	保守的概念モデルの作成			
621311000-C121100000	多重バリアシステム性能への影響について保守的となる条件の明確化			
621311000-C122000000	多重バリアシステム性能への影響について保守的となる条件の明確化			
621312000-C112110000	気液二相流の概念モデル作成			
621312000-C121100000	保守的、かつわが国に存在すると考えられる概念モデルの構築			
621312000-C122000000	保守的、かつわが国に存在すると考えられる概念モデルの構築			
621320000-C112211200	炭素鋼の局部腐食詳細概念モデル作成			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621320000-C112251000	ガス発生の概念モデル作成			
621320000-C112300000	ガラス固化体からの核種放出モデルの改良、見直し			
621320000-C112430000	有効空隙に着目したベントナイト中定常拡散概念モデル作成			
621320000-C112450000	吸着平衡を考慮したベントナイト中非定常拡散概念モデル作成			
621320000-C112500000	周辺母岩中の核種移行概念モデル見直し			
621320000-C121120000	地形、水理地質構造、上部・下部・側方境界条件の相関の検討及び現実的概念モデル作成			
621320000-C121200000	現実的概念モデルの構築			
621320000-C122000000	現実的概念モデルの構築			
621320000-C122110000	現実的概念モデルの構築			
621322000-C122113000	亀裂中での吸着の概念モデル作成			
621322000-C122123000	岩体マトリクスへの吸着の概念モデル作成			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621330000-C110000000	変動シナリオ概念モデル作成			
621410000-C111420000	概念モデルに基づく放射線分解モデルの改良とコード化			
621410000-C111600000	連成解析モデル改良とコード化			
621410000-C112230000	微生物の影響解析モデル開発			
621410000-C112240000	有機物の影響解析モデル開発			
621410000-C112250000	ガス発生の影響解析モデル開発			
621410000-C112330000	コロイド生成解析モデル開発			
621410000-C121210000	岩石と平衡状態にある深部地下水の酸化還元電位推定のための解析モデル開発			
621412400-C121120000	FRACTURE FLOW TASK FORCEにより開発される解析モデルの導入			
621412500-C121120000	G解析モデルの適用性の検討、モデル改良点の明確化			
621412600-C121120000	G解析モデルの改良			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621420000-C111400000	ＥＱ３／６と物質移行解析モデルとの連成			
621421000-C121100000	多孔質媒体近似広域流動解析モデルの改良			
621421000-C122000000	保守的な核種移行経路における移流・分散・吸着・マトリックス拡散解析モデルの開発			
621422100-C121200000	ＧＨＣ解析手法の調査			
621422100-C122100000	MULTI-GRID TECHNIQUE,TELESCOPE MESH REFINEMENT等の数値解析法の調査			
621422100-C12210000X	ＧＨＣ解析手法とイオン交換、表面錯体生成モデルとの結合方法の調査			
621422100-C122110000	統計的解析手法の調査			
621422200-C121200000	ＧＨＣ解析手法の調査			
621422200-C122100000	数値解析法の決定			
621422200-C12210000X	モデル結合方法の決定			
621422200-C122110000	地質環境調査による対応の可否の検討と解析手法改良点の明確化			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
621422300-C121200000	ＧＨＣ解析手法の調査			
621422300-C122100000	解析コード開発			
621422300-C12210000X	コード開発			
621422300-C122110000	解析コード開発			
621431100-C110000000	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣ（デザインバージョン）の試算			
621431200-C110000000	ＰＡＲバージョン作成			
621431300-C110000000	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣシステムバージョン作成			
621431400-C110000000	第２次ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣのコード化			
622110000-C112211100	腐食性物質供給律速の確認のための雰囲気制御腐食試験			
622110000-C112310000	素反応の仮定に対する確証			
622110000-C112320000	ＣＯ2が存在しない場合のＡｍ及びリン酸塩添加ホウケイ酸ガラスの溶解度試験			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622110000-C122113000	亀裂中での吸着についての詳細解析モデルの室内試験での確証			
622110000-C122123000	岩体マトリクスへの吸着についての詳細解析モデルの室内試験での確証			
622110000-C122140000	移行途中での核種の化学形態変化についての詳細解析モデルの室内試験での確証			
622111000-C111500000	確証試験計画作成			
622111000-C112440000	表面拡散モデルの妥当性確証試験計画作成			
622111000-C112450000	線型の吸着モデルの妥当性の確証試験計画			
622111000-C112500000	確証試験計画作成			
622111000-C121120000	確証試験計画			
622111000-C121200000	確証試験計画			
622111000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する確証試験計画立案			
622111000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する確証試験計画立案			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622112000-C111500000	事前解析			
622112000-C112500000	事前解析の実施			
622112000-C121120000	事前解析			
622112000-C121200000	事前解析			
622112000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する事前解析			
622112000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する事前解析			
622113000-C111500000	装置設計			
622113000-C112500000	装置設計			
622113000-C121121000	ＧＥＯＴＥＸ試験設計			
622113000-C121122000	ＭＩＣＲＯ２Ｄ試験設計			
622113000-C121200000	試験設計			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622113000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する試験設備設計			
622113000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設備設計			
622114000-C111500000	試験設計			
622114000-C112500000	試験設計			
622114000-C121121000	ＧＥＯＴＥＸ設備設計			
622114000-C121122000	ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備設計			
622114000-C121200000	設備設計			
622114000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する試験設計			
622114000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設計			
622115000-C111500000	試験設備製作			
622115000-C112440000	表面拡散モデルの妥当性確証試験設備の設計・製作			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622115000-C112450000	線型の吸着モデルの妥当性の確証試験設備の設計・製作			
622115000-C112500000	試験設備作成			
622115000-C121121000	ＧＥＯＴＥＸ設備製作			
622115000-C121122000	ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備製作			
622115000-C121200000	設備製作			
622115000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する試験設備改良			
622115000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設備改良			
622116000-C111500000	実施試験			
622116000-C112440000	表面拡散モデルの妥当性確証試験実施			
622116000-C112450000	線型の吸着モデルの妥当性の確証試験実施			
622116000-C112500000	検証試験			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622116000-C121121000	ＧＥＯＴＥＸ確証試験の実施			
622116000-C121122000	ＭＩＣＲＯ２Ｄ確証試験の実施			
622116000-C121200000	確証試験の実施			
622116000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する試験の実施			
622116000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験の実施			
622117000-C111500000	結果のとりまとめ			
622117000-C112450000	核種吸着についての結果のとりまとめ			
622117000-C112500000	結果のとりまとめ			
622117000-C121120000	結果の取りまとめとモデル改良			
622117000-C121200000	結果の取りまとめとモデル改良			
622117000-C122111000	ＧＥＯＴＥＸに関する結果の取りまとめとモデル改良			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622117000-C122112000	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する結果の取りまとめとモデル改良			
622118000-C112450000	表面拡散についての結果のとりまとめ			
622121000-C110000000	理論の適合性についての科学的判断			
622200000-C112310000	天然ガラスナチュラルアナログ研究			
622211000-C110000000	時間に依存せずに成立する評価手法の明示（１）			
622311000-C110000000	相互作用を無視できるプロセスの組合せの明示（１）			
622320000-C112211100	圧縮ベントナイト共存下での腐食メカニズム理解のためのベントナイト共存下腐食試験			
622320000-C112213000	銅の腐食モデルについての確証			
622320000-C112320000	溶解度限界放出仮定についての確証試験（２）			
622321000-C122110000	微視的不均質性の核種移行の影響についての統計的解析手法の確証			
622322000-C121100000	広域流動解析手法の原位置での確証			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622322000-C121200000	地下水の化学的性質変化の推定のための解析モデルの原位置での確証			
622322100-C112250000	確証試験計画の作成			
622322100-C112310000	確証試験計画			
622322100-C112330000	確証試験計画の作成			
622322100-C112600000	確証試験計画の作成			
622322100-C121120000	確証試験計画			
622322100-C122110000	確証試験計画立案			
622322200-C112250000	事前解析			
622322200-C112330000	事前解析			
622322200-C112600000	事前解析			
622322200-C121120000	事前解析			

<< ワークパッケージー覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622322200-C122110000	事前解析			
622322300-C112250000	試験設備設計			
622322300-C112310000	確証試験設備設計			
622322300-C112330000	設備設計			
622322300-C112600000	試験設備設計			
622322300-C121120000	ＭＡＣＲＯ試験設計			
622322300-C122110000	試験設備設計			
622322400-C112250000	試験設計			
622322400-C112330000	試験設計			
622322400-C112600000	試験設計			
622322400-C121120000	ＭＡＣＲＯ設備設計			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622322400-C122110000	ＭＡＣＲＯの試験設計			
622322500-C112250000	試験設備製作			
622322500-C112310000	確証試験設備製作			
622322500-C112330000	設備製作			
622322500-C112600000	設備製作			
622322500-C121120000	設備製作			
622322500-C122110000	設備改良			
622322600-C112250000	確証試験実施			
622322600-C112310000	複合系での確証試験			
622322600-C112330000	試験実施			
622322600-C112600000	試験実施			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622322600-C121120000	確証試験の実施			
622322600-C122110000	試験の実施			
622322700-C110000000	結果のとりまとめ			
622322700-C112250000	結果のとりまとめ			
622322700-C112330000	結果のとりまとめ			
622322700-C112600000	結果のとりまとめ			
622322700-C121120000	結果の取りまとめとモデル改良			
622322700-C122110000	結果の取りまとめとモデル改良			
622331000-C110000000	確証試験計画の作成			
622332000-C110000000	事前解析			
622333000-C110000000	試験設備設計			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
622334000-C110000000	試験設計			
622335000-C110000000	試験設備製作			
622336000-C110000000	確証試験実施			
623100000-C111420000	補足データ取得			
623100000-C112212000	チタンオーバーパックの腐食に係わる入力データ取得			
623100000-C112213000	銅オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得			
623100000-C112230000	金属の腐食に対する微生物の影響解析入力データ取得			
623100000-C112240000	金属腐食に対する有機物の影響解析入力データ取得			
623100000-C112251000	水素ガスの発生速度評価			
623100000-C112252000	水素ガスの影響評価			
623100000-C112311000	ガラス固化体からの核種の選択的放出に係わる入力データ取得			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623100000-C112313000	ガラス固化体とオーバーパック材との反応に係わる入力データ取得			
623100000-C112330000	コロイド生成についての入力データ取得			
623100000-C112340000	微生物・有機物が核種溶解に及ぼす影響についての入力データ取得			
623110000-C112210000	概括的評価に係わるデータ取得			
623110000-C112211110	酸素消費型全面腐食データ取得			
623110000-C112211120	水素発生型全面腐食データ取得			
623110000-C112211210	ＳＣＣ発生条件に係わるデータ取得			
623110000-C112211220	バクテリア腐食評価に係わるデータ取得			
623110000-C112211241	酸素消費型孔食データ取得			
623110000-C112211242	水素発生型孔食データ取得			
623110000-C112220000	金属腐食に伴う地下水の化学的性質変化予測に係わる入力データ取得			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623110000-C112320000	核種の溶解に係わる入力データの取得、整理			
623110000-C112400000	緩衝材中の核種移行に係わる補足データ取得			
623120000-C111410000	ニアフィールド中の周辺母岩との反応による地下水化学的変質予測に係る入力データ取得			
623120000-C112110000	人工バリア再冠水に係わる入力データ取得			
623120000-C112120000	等温反応試験による変質速度評価			
623120000-C112130000	緩衝材との反応による地下水の化学的性質変化予測に係わる入力データ取得			
623120000-C112321000	代表アクチニド系に関する熱力学的データ取得			
623120000-C112322000	その他のアクチニド系に関する熱的データ取得			
623120000-C112323000	難溶解性の核分裂生成物の溶解に関する熱力学データ取得			
623120000-C112400000	人工バリア中の核種移行に係わる入力データ見直し及び追加データ取得			
623120000-C112500000	周辺母岩中での核種移行に係わる入力データ見直し及び追加データ取得			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623121000-C121210000	データ取得項目の明確化			
623121000-C122110000	トレーサ試験、及び微視的分散係数算出のための解析手法の確立			
623121000-C122113000	亀裂中での吸着についての試験計画			
623121000-C122123000	岩体マトリクスへの試験計画			
623121000-C122140000	地下水条件との比較によるデータ取得項目の明確化			
623122000-C121210000	データ取得			
623122000-C122110000	トレーサ試験の実施			
623122000-C122113000	亀裂中での吸着についての吸着試験の実施			
623122000-C122123000	岩体マトリクスへの吸着試験の実施			
623122000-C122140000	データ取得のための実験			
623130000-C110000000	人工バリア設計変更・ニアフィールド条件詳細化に伴うデータ見直し・補足データ取得			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623130000-C120000000	補足的データ取得			
623200000-C112120000	天然ベントナイト鉱床における変質評価			
623400000-C111100000	熱的条件に係わる入力データ整理			
623400000-C111200000	応力条件に係わる入力データ整理			
623400000-C111300000	放射線学的条件に係わる入力データ整理			
623400000-C111420000	地下水化学に及ぼす放射線分解効果に係わる既存データ整理			
623400000-C111500000	水理条件に係わる入力データ整理			
623400000-C111600000	熱－水理－応力条件に係わる入力データ整理			
623400000-C112110000	人工バリア再冠水に係わる入力データ整理			
623400000-C112120000	緩衝材の熱変質予測に係わる入力データ整理			
623400000-C112130000	緩衝材との反応による地下水の化学的性質変化予測に係わる入力データ整理			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623400000-C112210000	既存データの整理			
623400000-C112220000	オーバーパックの腐食に伴う地下水性状変化についての入力データ整理			
623400000-C112310000	ガラス溶解に係わる入力データの整理			
623400000-C112430000	緩衝材中の核種拡散に係わる入力データ整理			
623400000-C112450000	緩衝材中の核種吸着に係わる入力データ整理			
623400000-C112500000	周辺母岩中の核種移行に係わる入力データ整理			
623411000-C121100000	既存データの測定方法や測定地点の分布の検討に基づく各パラメータ値の組合せの明確化			
623411000-C121200000	文献調査による既存データの収集			
623411000-C122132000	既存データの長さ等に従う分類			
623411000-C122133000	既存データ測定例における鉱物組成、地下水の状態の整理			
623411000-C122134000	既存データの岩種・亀裂周辺の状態の分類と保守的数値の設定			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623412000-C121100000	パラメータと他の地質学的条件等との相関の検討に基づくパラメータ値の組合せの明確化			
623413000-C122132000	回帰分析			
623413000-C122133000	回帰分析			
623414000-C122131000	感度解析			
623420000-C121200000	文献調査による既存データの欠けている項目について専門家の知見の集約			
623511000-C110000000	概括的入力データセット整理			
623521000-C121100000	保存的データセットの作成			
623521000-C121200000	保存的データセットの作成			
623521000-C122131000	保守的条件の設定			
623521000-C122132000	保守的数値の設定			
623521000-C122133000	保守的数値の設定			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
623521000-C122134000	保守的数値の設定			
623522000-C121100000	不連続性／不均質性／異方性を有する媒体等価透水係数推定のためのデータセット整理			
623522000-C121210000	データベースの改訂			
623522000-C122110000	データセット作成			
623522000-C122113000	亀裂中での吸着についてのデータセット作成			
623522000-C122123000	岩体マトリクスへのデータセット作成			
623522000-C122130000	二重空隙構造中核種移行解析のための入力データセットの整理			
623522000-C122140000	データセット作成			
624111110-C130000000	RELEASE によるニアフィールド性能の評価計算			
624111120-C130000000	AREST-PNC（PARバージョン）によるニアフィールド性能のパラメトリックな評価計算			
624111130-C130000000	改良したFEMWASTE-PNCもしくはCFEST による評価計算			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
624111210-C130000000	変動シナリオに応じたRELEASE の計算			
624111220-C130000000	変動シナリオに応じたAREST-PNの計算			
624111230-C130000000	変動シナリオに応じたFEMWATER/FEMWASTE-PNC の計算			
624112110-C130000000	FEMWATER/FEMWASTE-PNC による評価計算			
624112120-C130000000	ROCKによる評価計算			
624113100-C130000000	諸外国の評価方法、評価結果のとりまとめ			
624113200-C130000000	第一次評価結果のとりまとめ			
624113300-C130000000	比較・分析			
624114100-C130000000	コード間のインターファイス開発			
624114200-C130000000	感度解析手法、及び範囲の決定			
624115100-C130000000	グラフィックシュミレーションシステムに整備			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
624115200-C130000000	ソフトウェアーの開発			
624115300-C130000000	基本ケース、主要な変動ケースについてのグラフィックシュミレーションの実施			
624116100-C111000000	ＴＥＭＰＥＳＴ，ＯＲＩＧ及びＥＱ３／６用計算			
624116200-C111000000	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣによる評価のためのニアフィールド条件データベース計算			
624121100-C130000000	基本シナリオにおけるニアフィールド性能の決定論的評価			
624121200-C130000000	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣによる評価			
624122000-C130000000	ファーフィールド性能の概括的評価			
624123100-C130000000	解析モデル群の統合			
624123200-C130000000	全体システムの感度解析によるファーフィールド性能の明確化とパラメータ重要度分類			
624123200-C13000000X	感度解析の実施によるニアフィールドに関するパラメータの重要度分類			
624124100-C130000000	高速アレイプロセッサの整備			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
624124200-C130000000	対応するソフトウェアの改良			
624124300-C130000000	ニアフィールド性能についてのリアルタイムシュミレーション			
624131100-C130000000	基本シナリオにおけるニアフィールド性能の決定論的評価			
624131200-C130000000	変動シナリオにおけるニアフィールド性能の確率論的評価			
624132100-C130000000	基本シナリオにおけるファーフィールド性能の決定論的評価			
624132200-C130000000	変動シナリオにおけるファーフィールド性能の確率論的評価			
624133100-C130000000	不確実性解析手法の調査検討			
624133200-C130000000	不確実性解析手法の選定			
624133300-C130000000	不確実性解析用プリ・ポストプロセッサの開発			
624133400-C130000000	対象とするパラメータの分布決定			
624133500-C130000000	不確実性解析の実施			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
624133600-C130000000	ファーフィールド性能の余裕度の定量的確認			
624134100-C130000000	ソフトウェアの開発			
624134200-C130000000	総合的リアルタイムシュミレーションの実施			
631100000-C311000000	文献調査			
631100000-C312000000	文献調査			
631100000-C313000000	文献調査			
631200000-C311000000	Probability Encoding法による主観確率の定量化			
631200000-C312000000	Probability Encoding法による主観確率の定量化			
631200000-C313000000	Probability Encoding法による主観確率の定量化			
631300000-C311000000	調査結果の体系化とデータベース作成			
631300000-C312000000	結果のとりまとめとデータベース作成			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
631300000-C313000000	動態的解析手法に対応する総合的データベースの作成			
632100000-C320000000	発端事象の発生確率の評価			
632211000-C320000000	既往の研究例の調査			
632212000-C320000000	モデル開発			
632220000-C320000000	確率論的評価			
632311000-C320000000	ダイレクトシュミレーション手法の調査			
632312000-C320000000	モデル改良			
632313000-C320000000	その他のモデル開発			
632314000-C320000000	ダイレクトシュミレーション手法の決定			
632315000-C320000000	ダイレクトシュミレーションの開発			
632320000-C320000000	ダイレクトシュミレーションの実績			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
633100000-C300000000	第１期			
633200000-C300000000	第２期			
633300000-C300000000	第３期			
X10000000-0000000000	性能評価研究			
X11000000-0000000000	シナリオ			
X11100000-0000000000	シナリオ			
X11110000-0000000000	直接放出の発端事象の明確化			
X11111000-0000000000	第１次事象・プロセスリスト作成			
X11112000-0000000000	第１次事象・プロセスリストについての専門家間の合意形成			
X11113000-0000000000	直接放出シナリオの発端事象の明確化			
X11120000-0000000000	間接放出についてのシナリオ明確化			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X11121000-0000000000	地下水移行についてのシナリオの設定			
X11130000-0000000000	重要事象のスクリーニングとイベントツリー作成			
X11131000-0000000000	事象・プロセスリストの見直し（1）			
X11132000-0000000000	確率論的評価のためのイベントツリー作成			
X11140000-0000000000	ニアフィールド現象についての詳細シナリオ設定			
X11150000-0000000000	ダイレクトシミュレーション評価対象の明確化			
X11160000-0000000000	ファーフィールド現象についての詳細シナリオ設定			
X12000000-0000000000	廃棄物隔離性			
X12100000-0000000000	発生確率			
X12110000-0000000000	発端事象の発生確率の明確化			
X12111000-0000000000	発端事象の発生確率についての既存データの整理			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X12112000-0000000000	発端事象の発生確率についての専門家の主観確率の定量化			
X12120000-0000000000	重要な後続事象の分岐確率化			
X12130000-0000000000	各事象の後起確率についての総合的データベース作成			
X12200000-0000000000	リスク			
X12220000-0000000000	確率論的影響評価			
X12221000-0000000000	影響解析モデル開発（１）			
X12230000-0000000000	ダイレクトシュミレーション			
X12231000-0000000000	影響解析モデル開発（２）			
X12240000-0000000000	基礎的研究開発			
X13000000-0000000000	多重バリアシステム性能			
X13100000-0000000000	ニアフィールド現象			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13110000-0000000000	モデル開発			
X13111000-0000000000	総合性能評価モデル開発			
X13111100-0000000000	ニアフィールド条件概念モデル見直し			
X13111400-0000000000	ガラス固化体からの核種放出概念モデル見直し			
X13111500-0000000000	人工バリア中の核種移行の概念モデル見直し			
X13111800-0000000000	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣ開発			
X13112000-0000000000	総合性能評価モデルの改良			
X13112100-0000000000	概念モデルの見直し			
X13112120-0000000000	放射線学的条件に係わる概念モデル見直し			
X13112130-0000000000	緩衝材との反応による地下水の化学的性質変化に係わる概念モデル作成			
X13112140-0000000000	ニアフィールド中の周辺母岩との反応による地下水化学的性質変化に係る概念モデル作成			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13112150-0000000000	炭素鋼オーバーパックの局部腐食概念モデルの改良			
X13112160-0000000000	チタンオーバーパックの腐食概念モデルの作成			
X13112170-0000000000	銅オーバーパック腐食概念モデルの作成			
X13112180-0000000000	人工バリア再冠水モデル作成			
X131121B0-0000000000	炭素鋼の腐食に伴い発生する水素ガスの影響モデル			
X131121E0-0000000000	人工バリア中の核種移行概念モデル見直し			
X131121F0-0000000000	コロイド生成・移動概念モデル作成			
X13112200-0000000000	ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣの改良			
X13112700-0000000000	ニアフィールド条件解析モデル（サポートコード）改良			
X13120000-0000000000	確証			
X13121000-0000000000	核種放出に係わる確証現象			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13121100-0000000000	溶解度限界放出仮定についての確証試験（1）			
X13122000-0000000000	その他の確証試験			
X13122100-0000000000	炭素鋼オーバーパックの腐食モデルの確証			
X13122400-0000000000	ガラス溶解についてのRcaction Pathモデルの確証試験			
X13122500-0000000000	緩衝材中の核種移行についての拡散モデルの確証試験			
X13122600-0000000000	ニアフィールド水理解析モデルの確証試験			
X13122700-0000000000	外側境界条件モデルの確証試験			
X13123000-0000000000	総合確証試験			
X13123100-0000000000	コロイド生成・移動解析モデル確証試験			
X13123200-0000000000	微生物・有機物影響の解析モデル確証試験			
X13123320-0000000000	ガス発生影響解析モデルの確証試験			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13123420-0000000000	ニアフィールド総合性能評価コード確証試験			
X13130000-0000000000	入力データ取得			
X13131000-0000000000	核種放出についてのデータ取得とその他の既存データの整理			
X13131100-0000000000	ニアフィールド条件の予測に係わる入力データ取得、整理			
X13131300-0000000000	オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得			
X13131600-0000000000	人工バリア中の核種移行に係わる入力データ整理			
X13132000-0000000000	体系的データ取得			
X13132200-0000000000	放射線学的条件に係わる入力データ取得			
X13132400-0000000000	緩衝材の熱変質予測に係わる入力データ取得			
X13132700-0000000000	炭素鋼・鉄オーバーパックの腐食に係わる入力データ			
X13132D00-0000000000	炭素鋼の腐食に伴い発生する水素ガスの影響解析入力データ取得			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13132G00-0000000000	核種の溶解に係わる入力データ取得			
X13133000-0000000000	補足データ取得			
X13200000-0000000000	ファーフィールド現象			
X13210000-0000000000	モデル開発			
X13211000-0000000000	保守的な核種移行経路を想定したモデルの改良			
X13211100-0000000000	深部地下水の科学的性質についての保守的概念モデル作成			
X13211200-0000000000	広域流動解析のための保守的概念モデル作成			
X13211300-0000000000	核種移行解析のための保守的概念モデルの作成			
X13212000-0000000000	広域流動解析、地球化学解析モデルの開発			
X13212100-0000000000	地下水の科学的性質変化の推定のための現実的概念モデル作成			
X13212200-0000000000	結晶質岩系、堆積岩系それぞれの特性も考慮した広域流動解析用の現実的概念モデル作成			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13212300-0000000000	巨視的不均質性を考慮した核種移行概念モデルの作成			
X13212400-0000000000	岩石との化学反応・流動による平衡不完全性を考慮した地下水性質変化用解析モデル開発			
X13212500-0000000000	不連続性・不均質性・異方性の媒体に対する等価連続体の透水係数推定用解析モデル開発			
X13212600-0000000000	二重空隙構造を有する媒体中の核種移行についての汎用解析モデル開発			
X13213000-0000000000	核種移行についての詳細解析モデル開発			
X13213100-0000000000	核種・地下水・岩石の相互作用についての概念モデル作成			
X13213200-0000000000	微視的不均質性を考慮した核種移行概念モデル作成			
X13213300-0000000000	移行途中での核種の化学変化・吸着についての詳細解析モデル開発			
X13213400-0000000000	微視的不均質性の核種移行への影響についての統計的解析モデル開発			
X13220000-0000000000	確証			
X13221000-0000000000	広域流動解析、地球化学解析モデルの確証			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13221100-0000000000	地下水の化学的性質変化の推定のための解析モデルの室内試験による確証			
X13221200-0000000000	等価水係数テンソル推定のための解析			
X13221300-0000000000	ＲＥＶに係わるCHARACTERIZATION手法の確立			
X13222000-0000000000	核種移行についての詳細モデルの確証			
X13222600-0000000000	微視的不均質性の核種移行への影響についての統計的解析モデルの検証			
X13222700-0000000000	微視的不均質性についてのCHARACTERIZATION手法の検証			
X13230000-0000000000	入力データ取得			
X13231000-0000000000	保守的データセット作成			
X13231100-0000000000	深部地下水の酸化還元電位推定のための入力データの整理			
X13231200-0000000000	広域流動解析についての原位置試験結果に基づくデータ間の相関の整理と保守的数値推定			
X13231300-0000000000	分散係数データの系の代表長さ等に従う分類と保守的数値の設定			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13231400-0000000000	分配係数データの鉱物組成、地下水の状態に従う分類と保守的数値の設定			
X13231500-0000000000	マトリクス拡散の有効長さのデータの岩種・亀裂周辺の状態の分類と保守的数値設定			
X13231600-0000000000	不均質媒体中の空隙分布についての感度解析と保守的数値の設定			
X13232000-0000000000	ニアフィールド条件に係わるデータ取得			
X13232100-0000000000	地下水の化学的性質変化の解析のための入力データセットの整理			
X13233000-0000000000	核種移行データの取得			
X13233100-0000000000	移行途中での核種の化学携帯変化の解析のための熱力学的データの取得			
X13233200-0000000000	核種の吸着についての入力データ取得			
X13233300-0000000000	微視的不均質性が核種移行に及ぼす影響解析のための入力データ取得			
X13300000-0000000000	システム性能			
X13310000-0000000000	多重バリアシステムの基本性能の既括的評価			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13311000-0000000000	基本的シナリオにおけるニアフィールド性能野既括的評価			
X13312000-0000000000	基本シナリオにおけるファーフィールド性能の既括的評価			
X13313000-0000000000	変動シナリオについての既括的評価			
X13314000-0000000000	諸外国の評価結果との比較及び差異の分析			
X13315000-0000000000	感度解析			
X13316000-0000000000	グラフィックシュミレーション			
X13320000-0000000000	ファーフィールド性能の定量化			
X13322000-0000000000	変動シナリオにおけるニアフィールド性能の確率論的評価			
X13324000-0000000000	感度解析（２）			
X13325000-0000000000	リアルタイムシュミレーション			
X13330000-0000000000	ファーフィールド性能の余裕度の定量的確認			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
X13335000-0000000000	地下水移行シナリオについての不確実性解析			
X13336000-0000000000	総合的リアルタイムシュミレーション			
Y20000000-0000000000	処分技術研究			
Y21000000-0000000000	人工バリアデータセット			
Y21100000-0000000000	人工バリアデータセット			
Y21110000-0000000000	人工バリアの設計			
Y21111000-0000000000	人工バリアシステムの暫定使用の概念設計			
Y21111100-0000000000	設計条件の整備			
Y21111200-0000000000	設計解析手法の解析・既存コードの改良			
Y21111210-0000000000	人工バリアシステム挙動解析手法の開発（既存コード改良・適用、パラメータ連成解析）			
Y21111300-0000000000	設計検討			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Y21112000-0000000000	人工バリアシステムの基本設計			
Y21112100-0000000000	設計条件の整備			
Y21112200-0000000000	設計解析手法の開発			
Y21112300-0000000000	設計検討			
Y21112400-0000000000	地下研究施設などでの基礎試験			
Y21112410-0000000000	事前調査			
Y21112420-0000000000	小規模試験			
Y21112430-0000000000	中規模試験			
Y21112440-0000000000	実規模試験			
Y21113000-0000000000	人工バリアシステムの最適設計			
Y21113100-0000000000	設計条件			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Y21113200-0000000000	設計開発手法の開発			
Y21113300-0000000000	設計検討			
Y21120000-0000000000	処分場の設計研究			
Y21121000-0000000000	処分場の暫定仕様の概念設計			
Y21121100-0000000000	設計条件の整備			
Y21121200-0000000000	設計解析手法の開発			
Y21121300-0000000000	設計検討			
Y21122000-0000000000	処分場の基本設計			
Y21122100-0000000000	設計条件の整備			
Y21122200-0000000000	設計解析手法の開発			
Y21122300-0000000000	設計検討			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Y21122400-0000000000	建設・操業・閉鎖の安全性評価			
Y21122500-0000000000	経済性評価			
Y21123000-0000000000	処分場の最適設計			
Y21123100-0000000000	設計条件の整備			
Y21123200-0000000000	設計解析手法の開発			
Y21123300-0000000000	設計検討			
Y21123500-0000000000	経済性評価			
Y22000000-0000000000	処分技術			
Y22100000-0000000000	人工バリア製作技術			
Y22110000-0000000000	暫定仕様の人工バリアに対する実現可能性の定性的評価			
Y22111000-0000000000	人工バリアの試作			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Y22111100-0000000000	オーバーパックの試作			
Y22111200-0000000000	緩衝材の試作			
Y22112000-0000000000	人工バリアの施工			
Y22120000-0000000000	人工バリアシステムに対する実現可能性の定量的評価			
Y22121000-0000000000	人工バリアの製作技術の開発			
Y22121100-0000000000	オーバーパックの試作			
Y22121200-0000000000	緩衝材の試作			
Y22122000-0000000000	人工バリアの施工技術の開発			
Y22122100-0000000000	小規模試験での人工バリアの検討及び解析			
Y22122200-0000000000	中規模試験での人工バリアの検討及び実証			
Y22130000-0000000000	人工バリアに対する実現可能性の実証			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Y22131000-0000000000	人工バリアの製作			
Y22132000-0000000000	人工バリアの施工			
Y22133000-0000000000	人工バリアスペックの作成			
Y22200000-0000000000	処分場建設・閉鎖技術			
Y22210000-0000000000	暫定仕様の処分場について現状技術に基づく実現可能性評価			
Y22220000-0000000000	建設・操業・閉鎖技術開発			
Y22221000-0000000000	処分場の建設に係わる検討			
Y22223000-0000000000	閉鎖技術の開発			
Y22230000-0000000000	建設・操業・閉鎖技術の実現性の実証			
Y22231000-0000000000	建設に関する検討			
Y22231100-0000000000	実規模試験の実施			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Y22232000-0000000000	操業に関する検討			
Y22232100-0000000000	実規模試験の実施			
Y22233000-0000000000	閉鎖に関する検討			
Y22233100-0000000000	実規模試験の実施			
Z30000000-0000000000	地質環境調査			
Z31000000-0000000000	天然バリアデータセット			
Z31100000-0000000000	隔離性データセット			
Z31110000-0000000000	隔離性データセット			
Z31111000-0000000000	発端現象の発生基準評価のためのデータ			
Z31120000-0000000000	隔離性データセット（２）			
Z31130000-0000000000	隔離性データセット（３）			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Z31200000-0000000000	地質環境データセット			
Z31210000-0000000000	地質環境データセット			
Z31220000-0000000000	地質環境データセット（２）			
Z31221000-0000000000	応力解析に用いる地質工学分野のデータ取得			
Z31222000-0000000000	水理解析に用いる地質学分野のデータ取得			
Z31223000-0000000000	核種移行解析に用いる地質学分野のデータ取得			
Z31224000-0000000000	水理解析に用いる水理地質学分野のデータ取得			
Z31225000-0000000000	表層水理解析に用いる水理地質学分野のデータ取得			
Z31226000-0000000000	地下水の化学的性質に係わる地球化学分野のデータ取得			
Z31227000-0000000000	その他の地質環境に係わるデータの取得			
Z31228000-0000000000	地質環境データベースシステムの整備			

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Z31230000-0000000000	地質環境データセット（３）			
Z31231000-0000000000	水理解析用の地質学分野のデータ取得			
Z31231400-0000000000	深部地質環境調査によるデータ取得			
Z31232000-0000000000	核種移行解析のための地質学分野のデータ取得			
Z31232400-0000000000	深部地質環境調査によるデータ取得			
Z31233000-0000000000	地下水の化学的性質に係わる地球化学分野のデータ取得			
Z31233500-0000000000	深部地質環境調査によるデータ取得			
Z31234000-0000000000	その他の地質環境に係わるデータの取得			
Z31235000-0000000000	地質環境データベースシステムの整備			
Z32000000-0000000000	調査技術開発			
Z32100000-0000000000	調査技術開発			

<< ワークパッケージ一覧表（ワークパッケージコード順）>>

ワークパッケージコード	名称 日本語名称 英語名称(DESCRIPTION)	事業所	担当部 担当者	備考
Z32110000-0000000000	機器開発			
Z32111000-0000000000	水理試験機器開発			
Z32112000-0000000000	地下水地球化学調査用機器開発			
Z32120000-0000000000	解析評価技術開発			
Z32121000-0000000000	地表調査法の開発			
Z32122000-0000000000	試錐孔を利用した地球物理調査法の開発			
Z32122100-0000000000	クロスホール法の開発			
Z32122110-0000000000	測定機器開発			
Z32122200-0000000000	水理モデル構築			
Z32123000-0000000000	深部地質環境開発のための技術・手法の開発・改良			
Z32124000-0000000000	天然現象の長期予測解析評価手法の開発			

869 records selected.

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル	フリー
40000000-B333333 平成３年中間報告（地質環境調査）	30		E	300333	41110000-B111110		N				ES 6apr91	331	
300	30			33	41110000-B111120		N		FL	31mar92	EF 5may91	4740	
					41110000-B111130		N				LS 2mar92		
					41110000-B111140		N				LF 31mar92		
					41110000-B111150		N						
					41210000-B112110		N						
					41210000-B112120		N						
					41210000-B112210		N						
					41210000-B112220		N						
					41210000-B112310		N						
					41210000-B112320		N						
					41210000-B112400		N						
40000000-B555555 平成８年中間報告（地質環境調査）	30		E	300555	41120000-B111200		N				ES 10mar96	357	
300	30			55	41226000-B112120		N		FL	31mar97	EF 8apr96	2940	
					41226000-B112210		N				LS 2mar97		
					41226000-B112220		N				LF 31mar97		
					41226000-B112320		N						
					41226000-B112326		N						
					41226000-B112400		N						
					41226000-B112500		N						
					41227300-B100000		N						
					42111100-B112320		N						
					42111200-B112320		N						
					42112000-B112320		N						
					42113000-B112320		N						
					42121000-B112400		N						
					42122000-B112400		N						
					42123000-B112400		N						
					42124000-B112400		N						
					42221120-B112200		N						
40000000-B999999 地層処分研究の報告書作成（地質環境調査）	90		E	300999	41130000-B111300		N				ES 28jan04		
300	90			99	41238300-B100000		N				EF 26apr04		
					42212000-B112211		N				LS 28jan04		
					42221200-B112200		N				LF 26apr04		
					42222300-B112300		N						
					42223200-B112200		N						
					42224300-B111000		N						
41110000-B111110 有価値資源に関するデータ整理	270			311111	40000000-B000000		N				AS 1apr90	331	
311	360										EF 5apr91		
											LF 1mar92		

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
41110000-B111120	火山活動に関するデータ整理	270			311112	40000000-B000000		N			AS 1apr90		331
311		360									EF 5apr91		
											LF 1mar92		
41110000-B111130	隕石に関するデータ整理	270			311113	40000000-B000000		N			AS 1apr90		331
311		360									EF 5apr91		
											LF 1mar92		
41110000-B111140	隆起・侵食に関するデータ整理	270			311114	40000000-B000000		N			AS 1apr90		331
311		360									EF 5apr91		
											LF 1mar92		
41110000-B111150	その他の現象に関するデータ整理	270			311115	40000000-B000000		N			AS 1apr90		331
311		360									EF 5apr91		
											LF 1mar92		
41120000-B111200	イベントツリー事象の発生確率等データ取得	720			31121	41110000-B111110	360	N			ES 31mar92		1077
311		720				41110000-B111120	360	N			EF 20mar94		720
						41110000-B111130	360	N			LS 13mar95		
						41110000-B111140	360	N			LF 1mar97		
						41110000-B111150	360	N					
41130000-B111300	ダイレクトシュミレーション入力データ取得	2880			31131	41110000-B111110	360	N			ES 31mar92		1440
311		2880				41110000-B111120	360	N			EF 17feb00		1440
						41110000-B111130	360	N			LS 10mar96		
						41110000-B111140	360	N			LF 27jan04		
						41110000-B111150	360	N					
41210000-B112110	熱解析に使う地質工学分野のデータ整理				31211	40000000-B000000		N			AS 1apr90		601
312		60									EF 9jul90		270
											LF 1mar92		
41210000-B112310	熱解析に使う水理地質分野のデータ整理				31212	40000000-B000000		N			AS 1apr90		601
312		60									EF 9jul90		270
											LF 1mar92		
41210000-B112120	応力解析に使う地質工学分野のデータ整理				31213	40000000-B000000		N			AS 1apr90		360
312		60									EF 9jul90		

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付		フロートトータルフリー
												LF	4jul91	
41210000-B112210	水理解析に使う地質学分野のデータ整理				31214	40000000-B000000		N				AS	1apr90	601
312		60										EF	9jul90	270
												LF	1mar92	
41210000-B112220	核種移行解析に使う地質学分野のデータ整理				31215	40000000-B000000		N				AS	1apr90	601
312		60										EF	9jul90	270
												LF	1mar92	
41210000-B112320	水理解析に使う水理地質分野のデータ整理				31216	40000000-B000000		N				AS	1apr90	601
312		60										EF	9jul90	270
												LF	1mar92	
41210000-B112400	地下水の地球化学分野のデータ整理				31217	40000000-B000000		N				AS	1apr90	601
312		60										EF	9jul90	270
												LF	1mar92	
41221000-B112120	応力解析：地質工学データ取得（地下施設）	720			312211	41210000-B112120	270	N				ES	6apr91	360
312		720										EF	25mar93	360
												LS	31mar92	
												LF	20mar94	
41222000-B112120	応力解析：地質工学データ取得（堆積岩系）	1350			312212	40000000-B000000		S				AS	1apr90	
312		1440										EF	20mar94	
												LF	20mar94	
41223000-B112120	応力解析：地質工学データ取得（結晶岩系）	1350			312213	40000000-B000000		S				AS	1apr90	
312		1440										EF	20mar94	
												LF	20mar94	
41224000-B112120	応力解析：地質工学データ取得（文献調査）	630			312214	40000000-B000000		S				AS	1apr90	720
312		720										EF	30mar92	720
												LF	20mar94	
41226000-B112120	応力解析：地質工学データ取得（解析評価）	2070			312215	41221000-B112120		F				AS	1apr90	
312		2160				41222000-B112120		F				EF	9mar96	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダ-C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* 種類	日付	時間解析 日付	フロート トータル フリー
					41223000-B112120		F				
					41224000-B112120		F			LF 9mar96	
41221000-B112210	水理解析：地質学のデータ取得（地下施設）	720		312221	40000000-B000000	270	N			ES 6apr91	360
312		720								EF 25mar93	
										LS 31mar92	
										LF 20mar94	
41222000-B112210	水理解析：地質学のデータ取得（堆積岩系）	1350		312222	40000000-B000000		N			AS 1apr90	
312		1440								EF 20mar94	
										LF 20mar94	
41223000-B112210	水理解析：地質学のデータ取得（結晶岩系）	1350		312223	40000000-B000000		N			AS 1apr90	
312		1440								EF 20mar94	
										LF 20mar94	
41225000-B112210	水理解析：地質学のデータ取得（リモートセ	1350		312224	40000000-B000000		N			AS 1apr90	720
312		1440								EF 20mar94	720
										LF 9mar96	
41224000-B112210	水理解析：地質学のデータ取得（文献調査）	720		312225	40000000-B000000		N			ES 10jul90	630
312		720								EF 28jun92	
										LS 31mar92	
										LF 20mar94	
41226000-B112210	水理解析：地質学のデータ取得（解析評価）	2070		312226	41221000-B112210		F			AS 1apr90	
312		2160			41222000-B112210		F			EF 9mar96	
					41223000-B112210		F				
					41224000-B112210		F			LF 9mar96	
					41225000-B112210		F				
					41226000-B112210		F				
41221000-B112220	核種移行解析：地質学データ取得（地下研究	720		312231	40000000-B000000	270	N			ES 6apr91	360
312		720								EF 25mar93	
										LS 31mar92	
										LF 20mar94	
41222000-B112220	核種移行解析：地質学データ取得（堆積岩系	1350		312232	40000000-B000000		N			AS 1apr90	
312		1440								EF 20mar94	
										LF 20mar94	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダ-C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
41223000-B112220	核種移行解析：地質学データ取得（結晶岩系	1350			312233 40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440									EF 20mar94	
											LF 20mar94	
41224000-B112220	核種移行解析：地質学データ取得（文献調査	720			312234 40000000-B000000		N				ES 10jul90	630
312		720									EF 28jun92	
											LS 31mar92	
											LF 20mar94	
41226000-B112220	核種移行解析：地質学データ取得（解析評価	1350			312235 41221000-B112220		F				AS 1apr90	720
312		1440			41222000-B112220		F				EF 20mar94	720
					41223000-B112220		F					
					41224000-B112220		F				LF 9mar96	
41221000-B112320	水理解析：水理地質のデータ取得（地下施設	720			312241 40000000-B000000	270	N				ES 6apr91	360
312		720									EF 25mar93	360
											LS 31mar92	
											LF 20mar94	
41222000-B112320	水理解析：水理地質のデータ取得（堆積岩系	1350			312242 40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440									EF 20mar94	
											LF 20mar94	
41223000-B112320	水理解析：水理地質のデータ取得（結晶岩系	1350			312243 40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440									EF 20mar94	
											LF 20mar94	
41224000-B112320	水理解析：水理地質のデータ取得（文献調査	1350			312244 40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440									EF 20mar94	
											LF 20mar94	
41226000-B112320	水理解析：水理地質のデータ取得（解析評価	2070			312245 41221000-B112320		F				AS 1apr90	
312		2160			41222000-B112320		F				EF 9mar96	
					41223000-B112320		F					
					41224000-B112320		F				LF 9mar96	
41221000-B112326	表層水理解析：水理地質データ取得（地下）	720			312251 40000000-B000000	630	N				ES 31mar92	
312		720									EF 20mar94	
											LS 31mar92	
											LF 20mar94	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析 日付	フロート トータル	フリー
41222000-B112326	表層水理解析：水理地質データ取得（堆積）	1350	312		312252	40000000-B000000		N				AS 1apr90		
		1440										EF 20mar94		
												LF 20mar94		
41223000-B112326	表層水理解析：水理地質データ取得（結晶）	630	312		312253	40000000-B000000	630	N				AS 1apr90	720	
		720										EF 30mar92	720	
												LF 20mar94		
41224000-B112326	表層水理解析：水理地質データ取得（文献）	1350	312		312254	40000000-B000000		N				AS 1apr90		
		1440										EF 20mar94		
												LF 20mar94		
41226000-B112326	表層水理解析：水理地質データ取得（評価）	2070	312		312255	41221000-B112326		F				AS 1apr90		
		2160				41222000-B112326		F				EF 9mar96		
						41223000-B112326		F						
						41224000-B112326		F				LF 9mar96		
41221000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（地下）	720	312		312261	40000000-B000000	450	N				ES 3oct91	-1170	
		720										EF 21sep93	-1170	
												LS 1jan89		
												LF 9jul90		
41222000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（堆積）	1350	312		312262	40000000-B000000		N				AS 1apr90	-1350	
		1440										EF 20mar94	-1350	
												LF 9jul90		
41223000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（結晶）	1350	312		312263	40000000-B000000		N				AS 1apr90	-1350	
		1440										EF 20mar94	-1350	
												LF 9jul90		
41224000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（文献）	1350	312		312265	40000000-B000000		N				AS 1apr90	-1350	
		1440										EF 20mar94	-1350	
												LF 9jul90		
41226000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（評価）	2070	312		312266	41221000-B112400		N				AS 1apr90		
		2160				41222000-B112400		N				EF 9mar96		
						41223000-B112400		N						
						41224000-B112400		N				LF 9mar96		

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
41221000-B112500	その他地質環境でのデータ取得（地下施設）	720			312271	40000000-B000000	630	N				ES 31mar92	
312		720										EF 20mar94	
												LS 31mar92	
												LF 20mar94	
41222000-B112500	その他地質環境でのデータ取得（堆積岩系）	1350			312272	40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440										EF 20mar94	
												LF 20mar94	
41223000-B112500	その他地質環境でのデータ取得（結晶岩系）	1350			312273	40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440										EF 20mar94	
												LF 20mar94	
41224000-B112500	その他地質環境でのデータ取得（文献調査）	1350			312275	40000000-B000000		N				AS 1apr90	
312		1440										EF 20mar94	
												LF 20mar94	
41226000-B112500	その他地質環境でのデータ取得（解析評価）	2070			312276	41221000-B112500		F				AS 1apr90	
312		2160				41222000-B112500		F				EF 9mar96	
						41223000-B112500		F					
						41224000-B112500		F				LF 9mar96	
41227100-B100000	地質環境データベースの整備（システム開発	1350			312281	40000000-B000000		N				AS 1apr90	720
312		1440										EF 20mar94	
												LF 9mar96	
41227200-B100000	地質環境データベースの整備（データ入力）	1260			312282	40000000-B000000		N				ES 27sep92	
312		1260				41226000-B112120		F				EF 9mar96	
						41226000-B112210		F				LS 27sep92	
						41226000-B112220		F				LF 9mar96	
						41226000-B112320		F					
						41226000-B112326		F					
						41226000-B112400		F					
						41226000-B112500		F					
						41227100-B100000		F					
41227300-B100000	地質環境データベースの整備（システム運用	1980			312283	40000000-B000000		N				ES 8oct90	
312		1980				41227200-B100000		F				EF 9mar96	
												LS 8oct90	
												LF 9mar96	

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
41231000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（地下施設） 312	2160 2160			312311	41221000-B112210		N				ES 26mar93 EF 22feb99 LS 21mar94 LF 17feb00	360 360
41232000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（堆積岩系） 312	2160 2160			312312	41222000-B112210		N				ES 21mar94 EF 17feb00 LS 21mar94 LF 17feb00	
41233000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（結晶岩系） 312	2160 2160			312313	41223000-B112210		N				ES 21mar94 EF 17feb00 LS 21mar94 LF 17feb00	
41235100-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（物理探査） 312	2520 2520			312314 1	42212000-B112211 42222300-B112300 42223200-B112200	 800	F F S				ES 5mar97 EF 27jan04 LS 5mar97 LF 27jan04	
41235200-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（試錐調査） 312	2520 2520			312314 2	41225000-B112210 42221200-B112200 42222300-B112300 42223200-B112200	 800	N F F S				ES 5mar97 EF 27jan04 LS 5mar97 LF 27jan04	
41236000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（文献調査） 312	2160 2160			312315	41224000-B112210		N				ES 29jun92 EF 28may98 LS 21mar94 LF 17feb00	630 630
41237000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（解析評価） 312	2520 2520			312316	41226000-B112210 41231000-B112210 41232000-B112210 41233000-B112210 41236000-B112210	 440 440 440 440	N F F F F				ES 5mar97 EF 27jan04 LS 5mar97 LF 27jan04	
41231000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（地下施設 312	2160 2160			312321	41221000-B112220		N				ES 26mar93 EF 22feb99 LS 21mar94 LF 17feb00	360 360
41232000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（堆積岩系 312	2160 2160			312322	41222000-B112220		N				ES 21mar94 EF 17feb00 LS 21mar94 LF 17feb00	

アクティビティ コード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 / 残り / 初期	カレンダー	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
41233000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（結晶岩系	2160		312323	41223000-B112220		N			ES 21mar94		
312	2160								EF 17feb00		
									LS 21mar94		
									LF 17feb00		
41235200-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（試錐調査	2520		312324	41235200-B112210		F			ES 5mar97		
312	2520		1						EF 27jan04		
									LS 5mar97		
									LF 27jan04		
41236000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（文献調査	2160		312325	41224000-B112220		N			ES 29jun92	630	
312	2160								EF 28may98	630	
									LS 21mar94		
									LF 17feb00		
41237000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（解析評価	2520		312326	41226000-B112220		N			ES 5mar97		
312	2520			41231000-B112220	440	F			EF 27jan04		
				41232000-B112220	440	F			LS 5mar97		
				41233000-B112220	440	F			LF 27jan04		
				41235200-B112220		F					
				41236000-B112220	440	F					
41231000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（地下）	2880		312331	41221000-B112400		S			ES 3oct91	180	
312	2880								EF 21aug99	180	
									LS 31mar92		
									LF 17feb00		
41232000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（堆積）	2160		312332	41222000-B112400		N			ES 21mar94		
312	2160								EF 17feb00		
									LS 21mar94		
									LF 17feb00		
41233000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（結晶）	2160		312333	41223000-B112400		N			ES 21mar94		
312	2160								EF 17feb00		
									LS 21mar94		
									LF 17feb00		
41235300-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（水理採	2520		312335	42111100-B112320		N			ES 16mar95	720	
312	2520		1	42111200-B112320		N			EF 6feb02	720	
				42112000-B112320		N			LS 5mar97		
				42113000-B112320		N			LF 27jan04		
				42121000-B112400		F					
				42122000-B112400		F					
				42123000-B112400		F					

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
						42124000-B112400		F					
41236000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（文献）	2160			312336	41224000-B112400		N				ES 21mar94	
312		2160										EF 17feb00	
												LS 21mar94	
												LF 17feb00	
41237000-B112400	地下水の性質：地球化学データ取得（解析）	2520			312337	41226000-B112400		N				ES 5mar97	
312		2520				41231000-B112400	440	F				EF 27jan04	
						41232000-B112400	440	F				LS 5mar97	
						41233000-B112400	440	F				LF 27jan04	
						41235300-B112400		F					
						41236000-B112400	440	F					
41231000-B112500	その他の地質環境データ取得（地下研究施設	2160			312341	41221000-B112120		N				ES 21mar94	
312		2160				41221000-B112320		N				EF 17feb00	
						41221000-B112326		N				LS 21mar94	
						41221000-B112500		N				LF 17feb00	
41232000-B112500	その他の地質環境データ取得（堆積岩系）	2160			312342	41222000-B112120		N				ES 21mar94	
312		2160				41222000-B112320		N				EF 17feb00	
						41222000-B112326		N				LS 21mar94	
						41222000-B112500		N				LF 17feb00	
41233000-B112500	その他の地質環境データ取得（結晶岩系）	2160			312343	41223000-B112120		N				ES 21mar94	
312		2160				41223000-B112320		N				EF 17feb00	
						41223000-B112326		N				LS 21mar94	
						41223000-B112500		N				LF 17feb00	
41235000-B112500	その他の地質環境データ取得（深部調査）	2520			312345	42223200-B112200		F				ES 31mar92	1800
312		2520				42224100-B111000		F				EF 22feb99	1800
												LS 5mar97	
												LF 27jan04	
41236000-B112500	その他の地質環境データ取得（文献調査）	2160			312346	41224000-B112120		N				ES 21mar94	
312		2160				41224000-B112320		N				EF 17feb00	
						41224000-B112326		N				LS 21mar94	
						41224000-B112500		N				LF 17feb00	
41237000-B112500	その他の地質環境データ取得（解析と評価）	2520			312347	41226000-B112320		N				ES 5mar97	
312		2520				41226000-B112326		N				EF 27jan04	
						41226000-B112500		N				LS 5mar97	
						41231000-B112500	440	F				LF 27jan04	
						41232000-B112500	440	F					
						41233000-B112500	440	F					

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
						41235000-B112500		F					
						41235100-B112210		F					
						41235200-B112210		F					
						41236000-B112500	440	F					
						41237000-B112210		S					
						42222300-B112300		F					
41238100-B100000	地質環境データベースの整理（システム開発	1440			312351	41227100-B100000		N				ES 21mar94	720
312		1440										EF 27feb98	720
												LS 10mar96	
												LF 17feb00	
41238200-B100000	地質環境データベースの整理（データ入力）	1440			312352	41227200-B100000		N				ES 18feb00	
312		1440				41237000-B112210		F				EF 27jan04	
						41237000-B112220		F				LS 18feb00	
						41237000-B112400		F				LF 27jan04	
						41237000-B112500		F					
						41238100-B100000	440	F					
41238300-B100000	地質環境データベースの整理（システム運用	2880			312353	41227300-B100000		N				ES 10mar96	
312		2880				41238200-B100000		F				EF 27jan04	
												LS 10mar96	
												LF 27jan04	
42111100-B112320	水理試験用機器開発：シングルホールの開発	990			321111	40000000-B000000		N				AS 1apr90	1437
320		1080										EF 25mar93	720
												LF 1mar97	
42111200-B112320	水理試験用機器開発：アンビリカルホース	990			321112	40000000-B000000		N				AS 1apr90	1437
320		1080										EF 25mar93	720
												LF 1mar97	
42112000-B112320	水理試験用機器開発：孔間試験機の開発	1710			321113	40000000-B000000		N				AS 1apr90	717
320		1800										EF 15mar95	
												LF 1mar97	
42113000-B112320	水理試験用機器開発：トレーサ試験機の開発	1710			321114	40000000-B000000		N				AS 1apr90	717
320		1800										EF 15mar95	
												LF 1mar97	
42121000-B112400	地球化学用機器開発：採水装置の開発	990			321121	40000000-B000000		N				AS 1apr90	1437

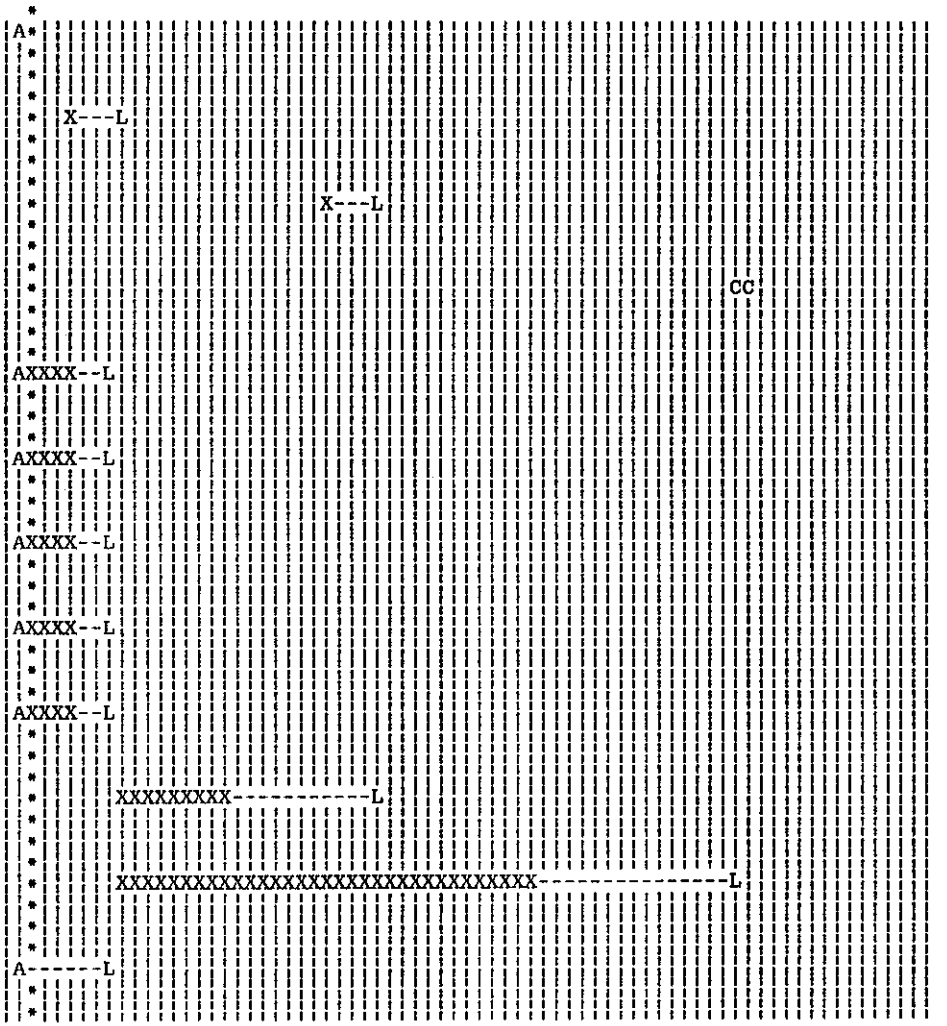
アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード	ラグ	方法	****指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
320		1080										EF 25mar93	1080
												LF 1mar97	
42122000-B112400	地球化学用機器開発：原位置計測装置の開発	1710			321122	40000000-B000000		N				AS 1apr90	717
320		1800										EF 15mar95	360
												LF 1mar97	
42123000-B112400	地球化学用機器開発：アンビリカルホース	1710			321123	40000000-B000000		N				AS 1apr90	717
320		1800										EF 15mar95	360
												LF 1mar97	
42124000-B112400	地球化学用機器開発：移動式分析車の開発	1710			321124	40000000-B000000		N				AS 1apr90	717
320		1800										EF 15mar95	360
												LF 1mar97	
42211000-B112211	解析評価技術開発：精密電磁法の開発	2520			321211	40000000-B000000	270	N				ES 6apr91	360
320		2520										EF 27feb98	
												LS 31mar92	
												LF 22feb99	
42212000-B112211	解析評価技術開発：精密地下調査法の開発	1800			321212	42211000-B112211	800	F				ES 28feb98	360
320		1800										EF 1feb03	360
												LS 23feb99	
												LF 27jan04	
42221110-B112200	地球物理調査法開発：レーダー法の開発	990			321221	40000000-B000000		N				AS 1apr90	357
320		1080			11							EF 25mar93	
												LF 17mar94	
42221120-B112200	地球物理調査法開発：サイスミック法の開発	1440			321221	42221110-B112200	630	S				ES 31mar92	357
320		1440			12							EF 9mar96	
												LS 23mar93	
												LF 1mar97	
42221200-B112200	地球物理調査法開発：処理技術の開発	2160			321221	42221120-B112200	360	F				ES 6apr91	1080
320		2160			2							EF 4mar97	
												LS 21mar94	
												LF 17feb00	
42222100-B112300	水理モデル構築：（クロスホール結果）	1800			321222	42221200-B112200		S				ES 6apr91	1080

アクティビティコード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 残り / 初期	カレンダー	TA C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード	ラグ	方法	****指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル / フリー
320	1800			1							EF 9mar96 LS 21mar94 LF 22feb99	
42222200-B112300 水理モデル構築：（水理試験結果）	2160			321222	42222100-B112300	360	S				ES 31mar92	1080
320	2160			2							EF 27feb98 LS 16mar95 LF 11feb01	
42222300-B112300 水理モデル構築：（地球統計学）	2520			321222	42222200-B112300	720	S				ES 21mar94	1080
320	2520			3							EF 11feb01 LS 5mar97 LF 27jan04	1080
42223100-B112200 深部調査技術開発：水圧破砕法の開発と試験	1710			321231	40000000-B000000		N				AS 1apr90	
320	1800										EF 15mar95 LF 15mar95	
42223200-B112200 深部調査技術開発：地殻応力測定技術開発	2520			321232	42223100-B112200	630	S				ES 31mar92	
320	2520										EF 22feb99 LS 31mar92 LF 22feb99	
42224100-B111000 長期予測手法開発：年代決定技術の開発	2430			321241	40000000-B000000		N				AS 1apr90	
320	2520										EF 4mar97 LF 4mar97	
42224200-B111000 長期予測手法開発：地球化学調査の開発	3510			321242	42224100-B111000	080	F				AS 1apr90	
320	3600										EF 17feb00 LF 17feb00	
42224300-B111000 長期予測手法開発：地質環境変動解析技術	4680			321243	42224200-B111000	440	F				ES 6apr91	
320	4680										EF 27jan04 LS 6apr91 LF 27jan04	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ コード	ラグ	**** 方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付		時間解析日付	フロートトータル フリー
												LF	6feb02	
52314000-A221300	掘削工法、支保工法の最適化	360			222311	52313000-A220000			N			ES	17sep94	3060
222		360			4							EF	11sep95	3060
												LS	2feb03	
												LF	27jan04	
52314000-A221400	施工管理システムの最適化	360			222311	52313000-A220000			N			ES	17sep94	3060
222		360			5							EF	11sep95	3060
												LS	2feb03	
												LF	27jan04	
52315000-A221000	建設スペックの作成	720			222312	52313000-A220000			N			ES	17sep94	2700
222		720										EF	5sep96	2700
												LS	7feb02	
												LF	27jan04	
52313000-A222000	ENTRYで行った中規模試験結果の解析検討	360			222321	50000000-A555555			N			ES	8oct90	2700
222		360			1							EF	2oct91	
												LS	28feb98	
												LF	22feb99	
52311000-A222000	実施計画	720			222321	52313000-A222000			N			ES	3oct91	2700
222		720			2							EF	21sep93	
												LS	23feb99	
												LF	11feb01	
52314000-A222000	システムの最適化	720			222321	52311000-A222000			N			ES	22sep93	2700
222		720			3							EF	11sep95	
												LS	12feb01	
												LF	1feb03	
52315000-A222000	操業スペックの最適化	720			222322	52314000-A222000	360	S				ES	17sep94	2700
222		720										EF	5sep96	2700
												LS	7feb02	
												LF	27jan04	
52311000-A223000	実施計画	360			222331	50000000-A555555			N			ES	5mar97	360
222		360			1	52213000-A223100			N			EF	27feb98	
												LS	28feb98	
												LF	22feb99	
52312000-A223000	試験実施	720			222331	52311000-A223000			N			ES	28feb98	360
222		720			2							EF	17feb00	
												LS	23feb99	

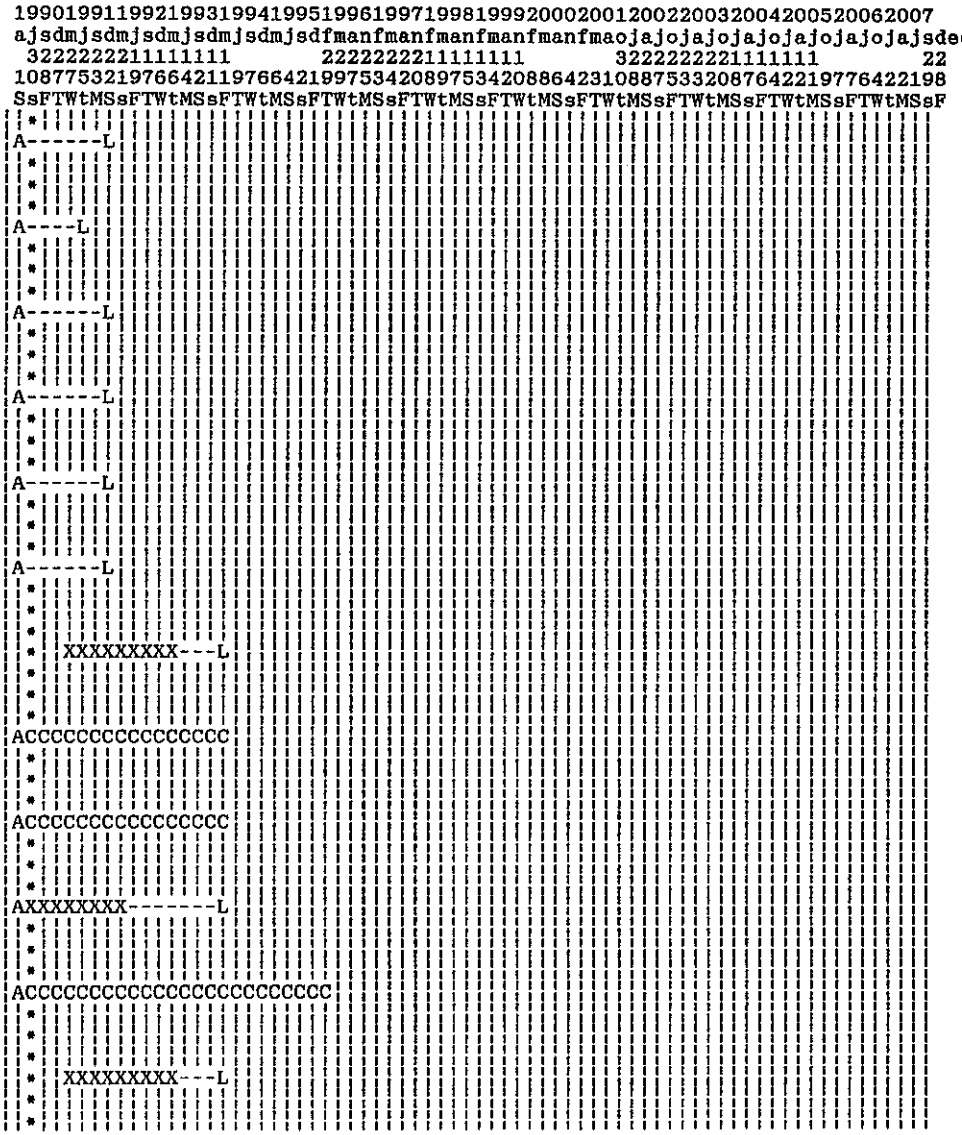
アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
												LF 11feb01	
52313000-A223000	計測による解析結果の実証	720			222331	52312000-A223000		N				ES 18feb00	360
222		720			3							EF 6feb02	
												LS 12feb01	
												LF 1feb03	
52315000-A223000	閉鎖スペックの最適化	720			222332	52313000-A223000	360	S				ES 12feb01	360
222		720										EF 1feb03	360
												LS 7feb02	
												LF 27jan04	

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
40000000-B000000 地層処分研究の開始（地質環境調査）			1apr90C 9jul90C
40000000-B333333 平成３年中間報告（地質環境調査）	30	331	6apr91 5may91
40000000-B555555 平成８年中間報告（地質環境調査）	30	357	10mar96 8apr96
40000000-B999999 地層処分研究の報告書作成（地質環境調査）	90		28jan04 26apr04
41110000-B111110 有価値資源に関するデータ整理	270	331	1apr90A 5apr91
41110000-B111120 火山活動に関するデータ整理	270	331	1apr90A 5apr91
41110000-B111130 隕石に関するデータ整理	270	331	1apr90A 5apr91
41110000-B111140 隆起・侵食に関するデータ整理	270	331	1apr90A 5apr91
41110000-B111150 その他の現象に関するデータ整理	270	331	1apr90A 5apr91
41120000-B111200 イベントツリー事象の発生確率等データ取得	720	1077	31mar92 20mar94
41130000-B111300 ダイレクトシュミレーション入力データ取得	2880	1440	31mar92 17feb00
41210000-B112110 熱解析に使う地質工学分野のデータ整理		601	1apr90A 9jul90



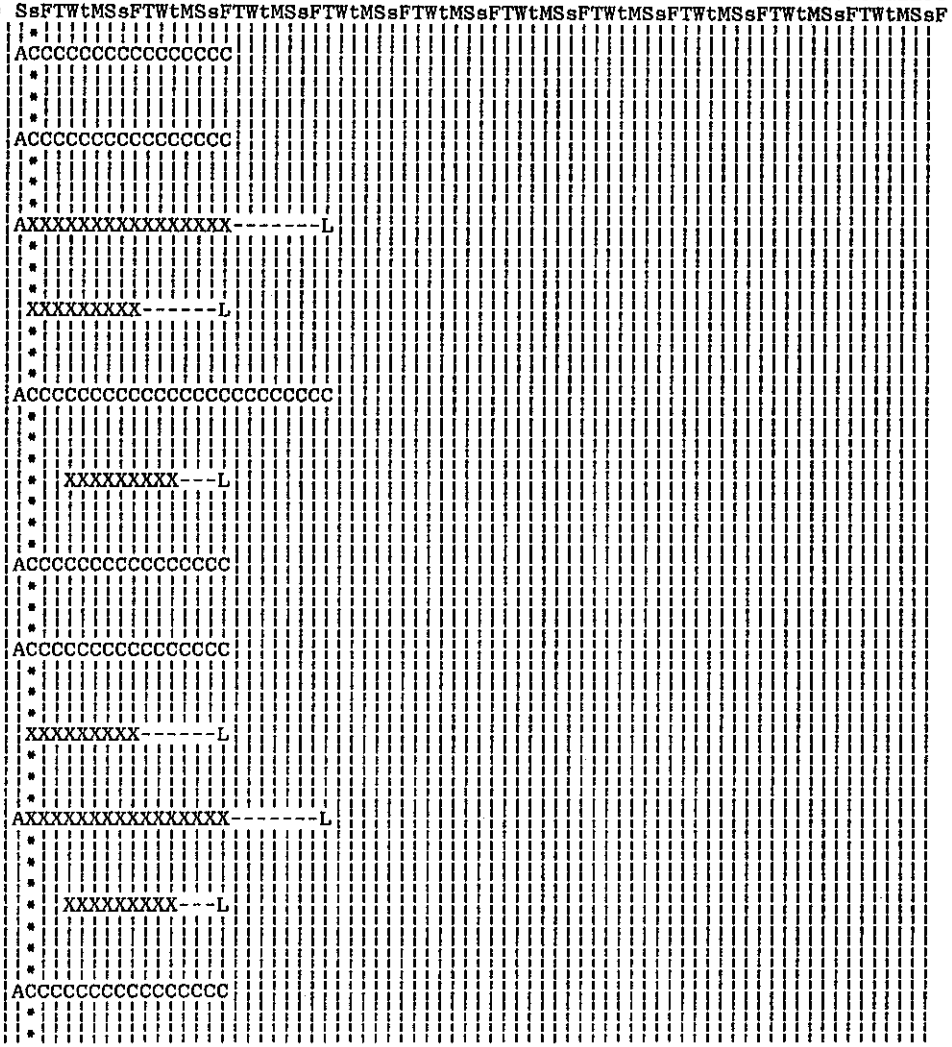
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
41210000-B112310 熱解析に使う水理地質分野のデータ整理	601	1apr90A 9jul90	
41210000-B112120 応力解析に使う地質工学分野のデータ整理	360	1apr90A 9jul90	
41210000-B112210 水理解析に使う地質学分野のデータ整理	601	1apr90A 9jul90	
41210000-B112220 核種移行解析に使う地質学分野のデータ整理	601	1apr90A 9jul90	
41210000-B112320 水理解析に使う水理地質分野のデータ整理	601	1apr90A 9jul90	
41210000-B112400 地下水の地球化学分野のデータ整理	601	1apr90A 9jul90	
41221000-B112120 応力解析：地質工学データ取得（地下施設）	720 360	6apr91 25mar93	
41222000-B112120 応力解析：地質工学データ取得（堆積岩系）	1350	1apr90A 20mar94	
41223000-B112120 応力解析：地質工学データ取得（結晶岩系）	1350	1apr90A 20mar94	
41224000-B112120 応力解析：地質工学データ取得（文献調査）	630 720	1apr90A 30mar92	
41226000-B112120 応力解析：地質工学データ取得（解析評価）	2070	1apr90A 9mar96	
41221000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（地下施設）	720 360	6apr91 25mar93	



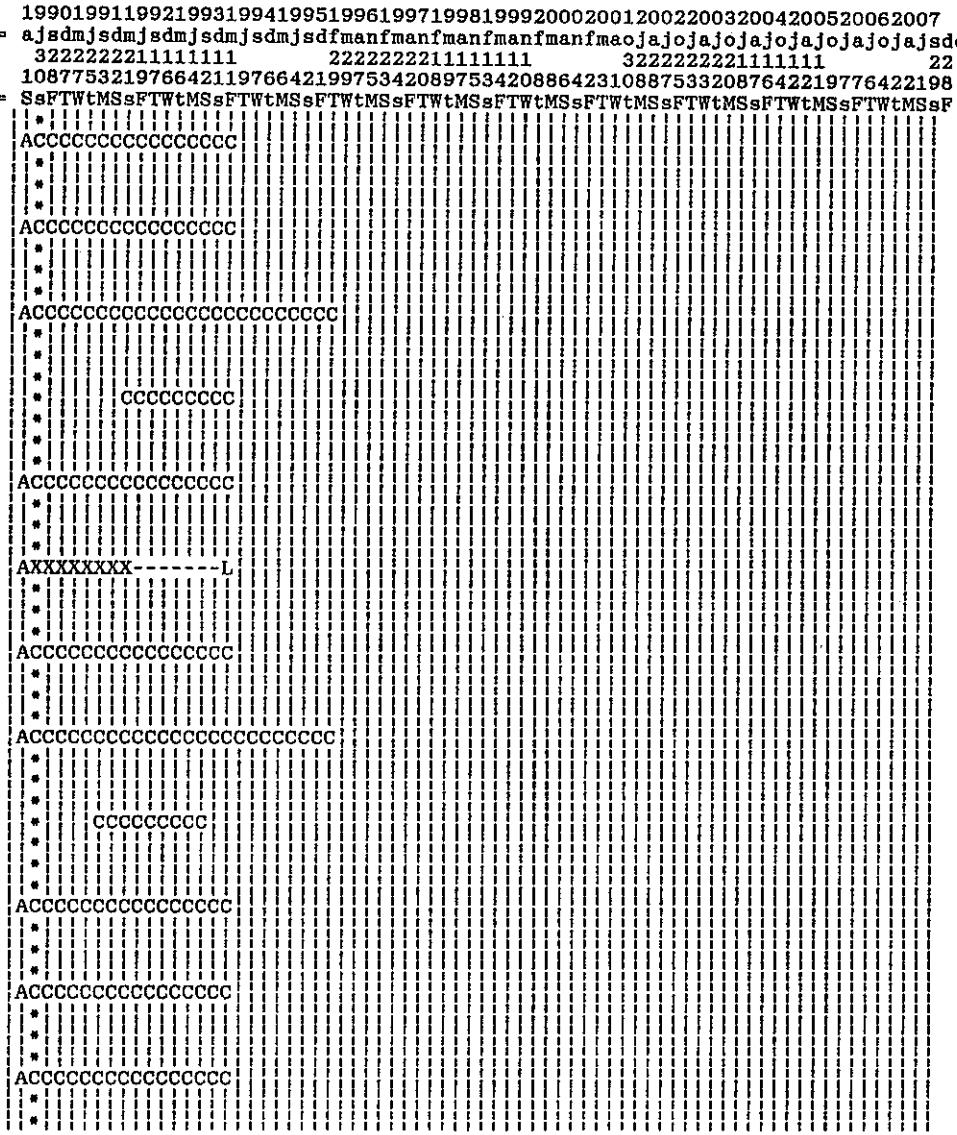
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
41222000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（堆積岩系）	1350	1apr90A 20mar94	
41223000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（結晶岩系）	1350	1apr90A 20mar94	
41225000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（リモートセ	1350	720 1apr90A 20mar94	
41224000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（文献調査）	720	630 10jul90 28jun92	
41226000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（解析評価）	2070	1apr90A 9mar96	
41221000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（地下研究	720	360 6apr91 25mar93	
41222000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（堆積岩系	1350	1apr90A 20mar94	
41223000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（結晶岩系	1350	1apr90A 20mar94	
41224000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（文献調査	720	630 10jul90 28jun92	
41226000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（解析評価	1350	720 1apr90A 20mar94	
41221000-B112320 水理解析：水理地質のデータ取得（地下施設	720	360 6apr91 25mar93	
41222000-B112320 水理解析：水理地質のデータ取得（堆積岩系	1350	1apr90A 20mar94	



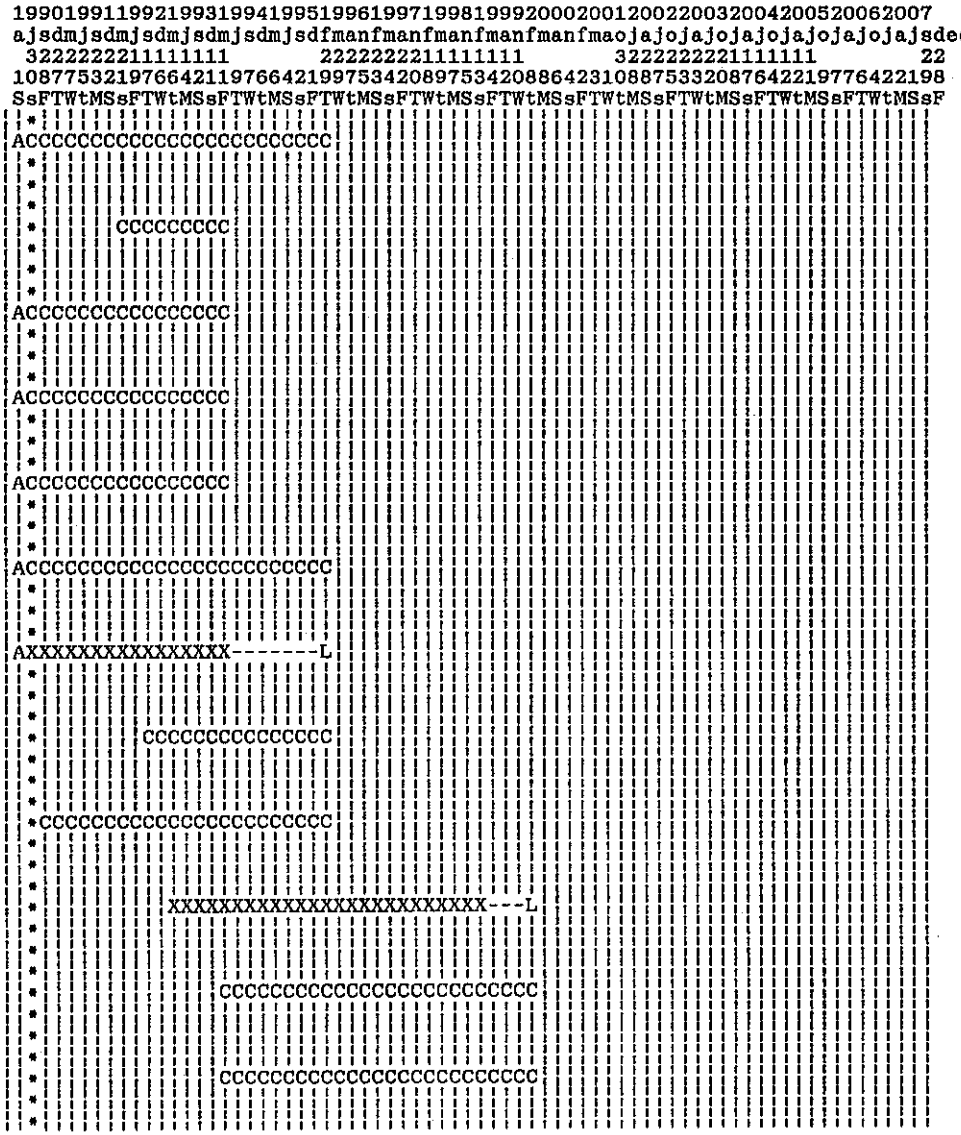
説明　：　X =期間　，C =クリティカル期間，A =実績期間　，* =現時間　，- =余裕，L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
41223000-B112320 水理解析：水理地質のデータ取得（結晶岩系	1350	1apr90A 20mar94	
41224000-B112320 水理解析：水理地質のデータ取得（文献調査	1350	1apr90A 20mar94	
41226000-B112320 水理解析：水理地質のデータ取得（解析評価	2070	1apr90A 9mar96	
41221000-B112326 表層水理解析：水理地質データ取得（地下）	720	31mar92 20mar94	
41222000-B112326 表層水理解析：水理地質データ取得（堆積）	1350	1apr90A 20mar94	
41223000-B112326 表層水理解析：水理地質データ取得（結晶）	630 720	1apr90A 30mar92	
41224000-B112326 表層水理解析：水理地質データ取得（文献）	1350	1apr90A 20mar94	
41226000-B112326 表層水理解析：水理地質データ取得（評価）	2070	1apr90A 9mar96	
41221000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（地下）	720 -1170	3oct91 21sep93	
41222000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（堆積）	1350 -1350	1apr90A 20mar94	
41223000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（結晶）	1350 -1350	1apr90A 20mar94	
41224000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（文献）	1350 -1350	1apr90A 20mar94	



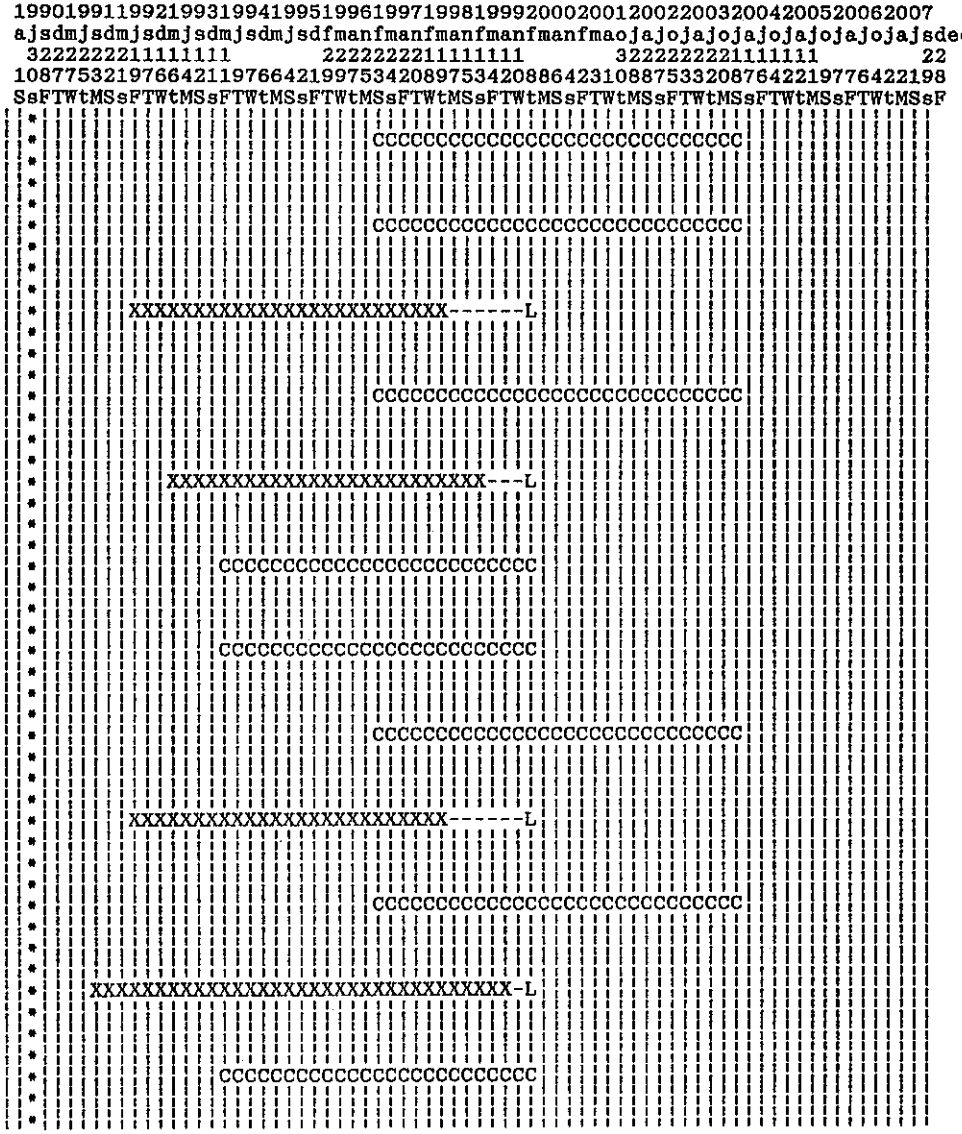
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
41226000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（評価）	2070	1apr90A 9mar96	
41221000-B112500 その他地質環境でのデータ取得（地下施設）	720	31mar92 20mar94	
41222000-B112500 その他地質環境でのデータ取得（堆積岩系）	1350	1apr90A 20mar94	
41223000-B112500 その他地質環境でのデータ取得（結晶岩系）	1350	1apr90A 20mar94	
41224000-B112500 その他地質環境でのデータ取得（文献調査）	1350	1apr90A 20mar94	
41226000-B112500 その他地質環境でのデータ取得（解析評価）	2070	1apr90A 9mar96	
41227100-B100000 地質環境データベースの整備（システム開発	1350	720 1apr90A 20mar94	
41227200-B100000 地質環境データベースの整備（データ入力）	1260	27sep92 9mar96	
41227300-B100000 地質環境データベースの整備（システム運用	1980	8oct90 9mar96	
41231000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（地下施設）	2160	360 26mar93 22feb99	
41232000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（堆積岩系）	2160	21mar94 17feb00	
41233000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（結晶岩系）	2160	21mar94 17feb00	



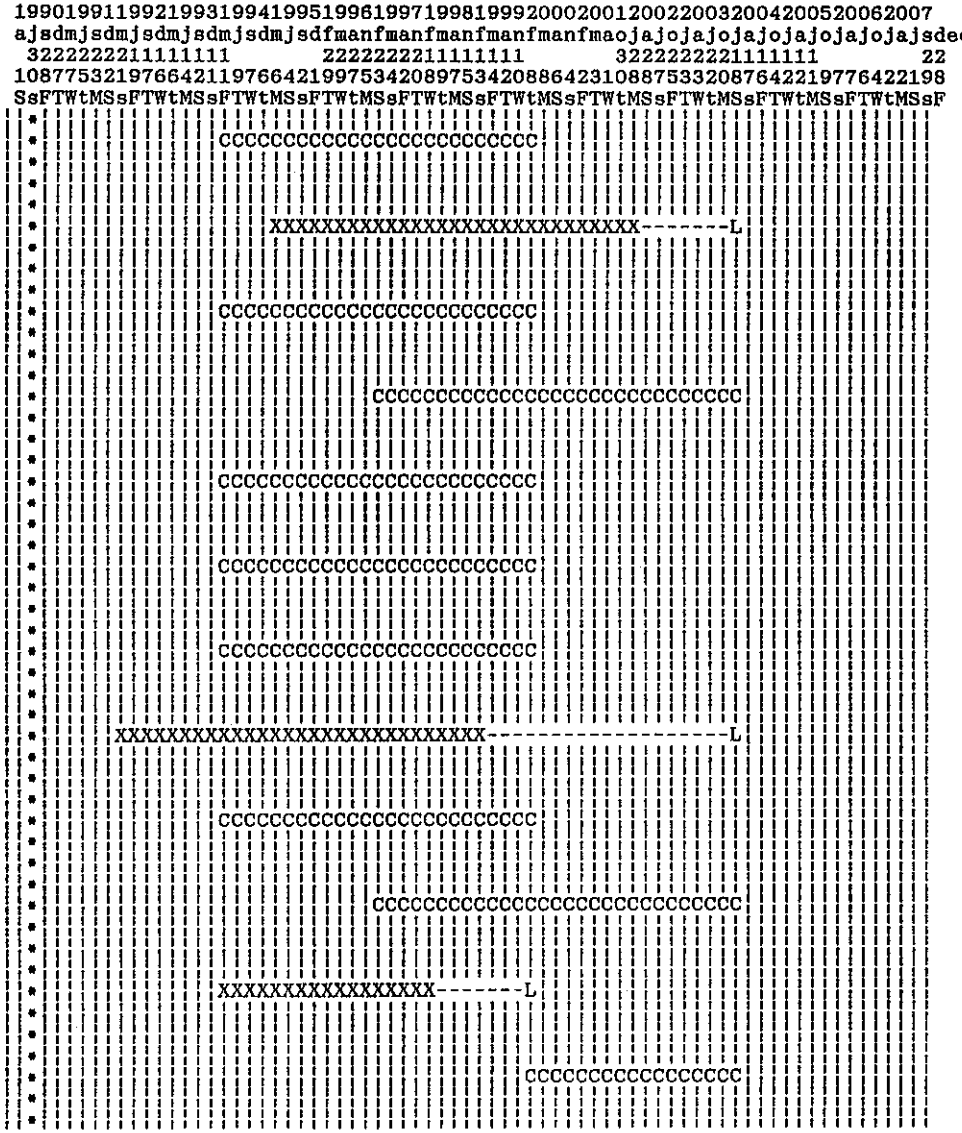
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
41235100-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（物理探査）	2520	5mar97 27jan04	
41235200-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（試錐調査）	2520	5mar97 27jan04	
41236000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（文献調査）	2160	630 29jun92 28may98	
41237000-B112210 水理解析：地質学のデータ取得（解析評価）	2520	5mar97 27jan04	
41231000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（地下施設	2160	360 26mar93 22feb99	
41232000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（堆積岩系	2160	21mar94 17feb00	
41233000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（結晶岩系	2160	21mar94 17feb00	
41235200-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（試錐調査	2520	5mar97 27jan04	
41236000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（文献調査	2160	630 29jun92 28may98	
41237000-B112220 核種移行解析：地質学データ取得（解析評価	2520	5mar97 27jan04	
41231000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（地下）	2880	180 3oct91 21aug99	
41232000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（堆積）	2160	21mar94 17feb00	



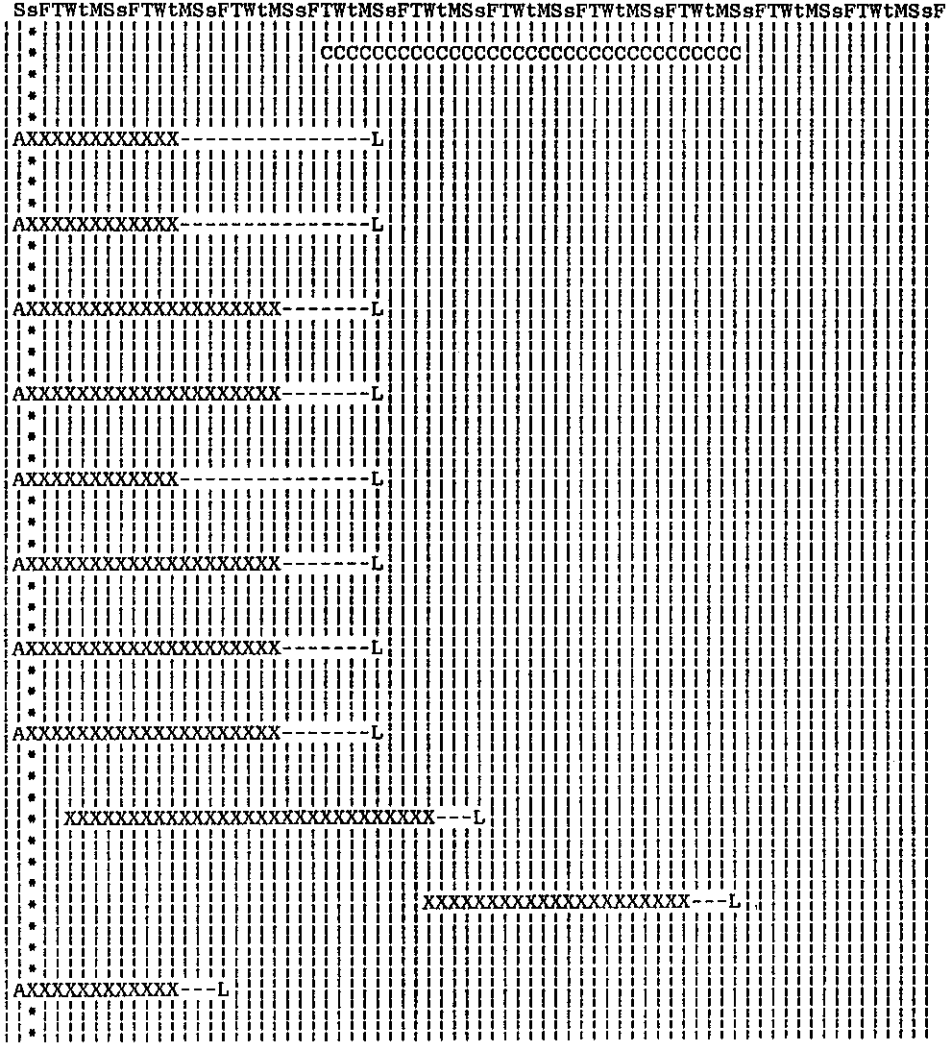
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
41233000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（結晶）	2160	21mar94 17feb00	
41235300-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（水理採	2520	720 16mar95 6feb02	
41236000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（文献）	2160	21mar94 17feb00	
41237000-B112400 地下水の性質：地球化学データ取得（解析）	2520	5mar97 27jan04	
41231000-B112500 その他の地質環境データ取得（地下研究施設	2160	21mar94 17feb00	
41232000-B112500 その他の地質環境データ取得（堆積岩系）	2160	21mar94 17feb00	
41233000-B112500 その他の地質環境データ取得（結晶岩系）	2160	21mar94 17feb00	
41235000-B112500 その他の地質環境データ取得（深部調査）	2520	1800 31mar92 22feb99	
41236000-B112500 その他の地質環境データ取得（文献調査）	2160	21mar94 17feb00	
41237000-B112500 その他の地質環境データ取得（解析と評価）	2520	5mar97 27jan04	
41238100-B100000 地質環境データベースの整理（システム開発	1440	720 21mar94 27feb98	
41238200-B100000 地質環境データベースの整理（データ入力）	1440	18feb00 27jan04	



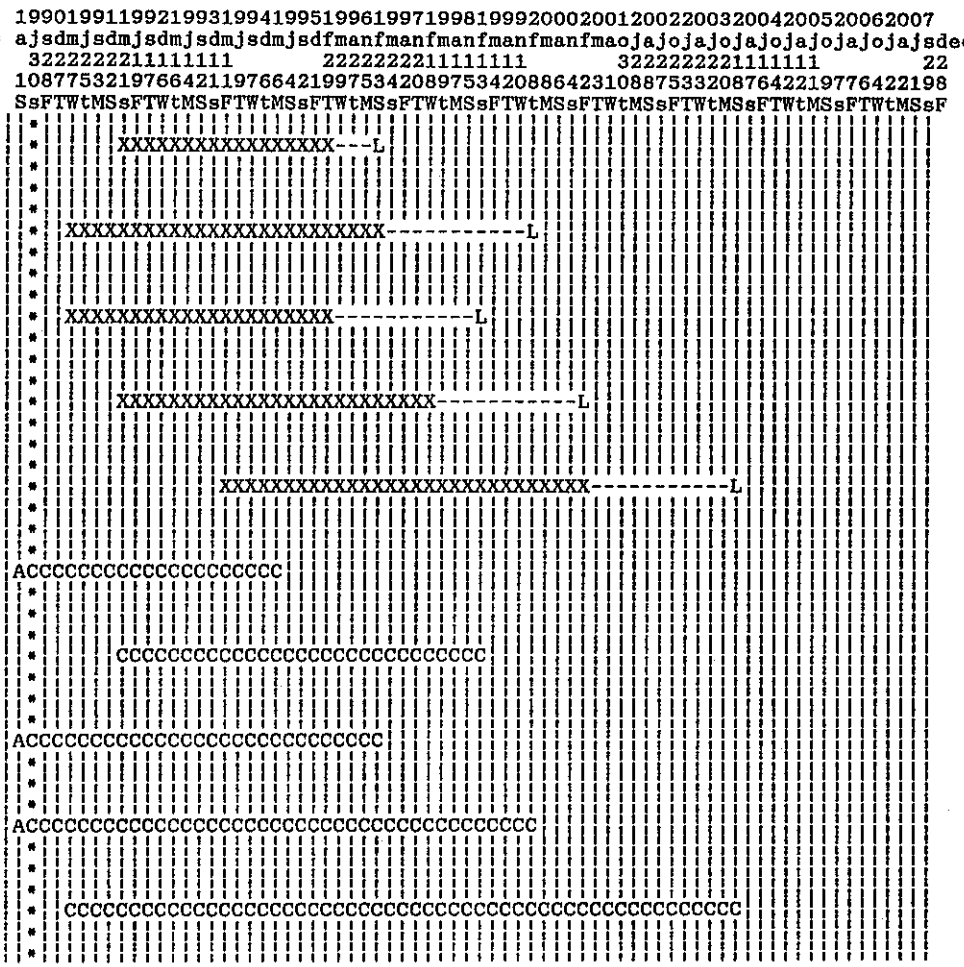
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
41238300-B100000 地質環境データベースの整理（システム運用	2880		10mar96 27jan04
42111100-B112320 水理試験用機器開発：シングルホールの開発	990	1437	1apr90A 25mar93
42111200-B112320 水理試験用機器開発：アンビリカルホース	990	1437	1apr90A 25mar93
42112000-B112320 水理試験用機器開発：孔間試験機の開発	1710	717	1apr90A 15mar95
42113000-B112320 水理試験用機器開発：トレーサ試験機の開発	1710	717	1apr90A 15mar95
42121000-B112400 地球化学用機器開発：採水装置の開発	990	1437	1apr90A 25mar93
42122000-B112400 地球化学用機器開発：原位置計測装置の開発	1710	717	1apr90A 15mar95
42123000-B112400 地球化学用機器開発：アンビリカルホース	1710	717	1apr90A 15mar95
42124000-B112400 地球化学用機器開発：移動式分析車の開発	1710	717	1apr90A 15mar95
42211000-B112211 解析評価技術開発：精密電磁法の開発	2520	360	6apr91 27feb98
42212000-B112211 解析評価技術開発：精密地下調査法の開発	1800	360	28feb98 1feb03
42221110-B112200 地球物理調査法開発：レーダー法の開発	990	357	1apr90A 25mar93



説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
42221120-B112200 地球物理調査法開発：サイスミック法の開発	1440	357	31mar92 9mar96
42221200-B112200 地球物理調査法開発：処理技術の開発	2160	1080	6apr91 4mar97
42222100-B112300 水理モデル構築：（クロスホール結果）	1800	1080	6apr91 9mar96
42222200-B112300 水理モデル構築：（水理試験結果）	2160	1080	31mar92 27feb98
42222300-B112300 水理モデル構築：（地球統計学）	2520	1080	21mar94 11feb01
42223100-B112200 深部調査技術開発：水圧破砕法の開発と試験	1710		1apr90A 15mar95
42223200-B112200 深部調査技術開発：地殻応力測定技術開発	2520		31mar92 22feb99
42224100-B111000 長期予測手法開発：年代決定技術の開発	2430		1apr90A 4mar97
42224200-B111000 長期予測手法開発：地球化学調査の開発	3510		1apr90A 17feb00
42224300-B111000 長期予測手法開発：地質環境変動解析技術	4680		6apr91 27jan04



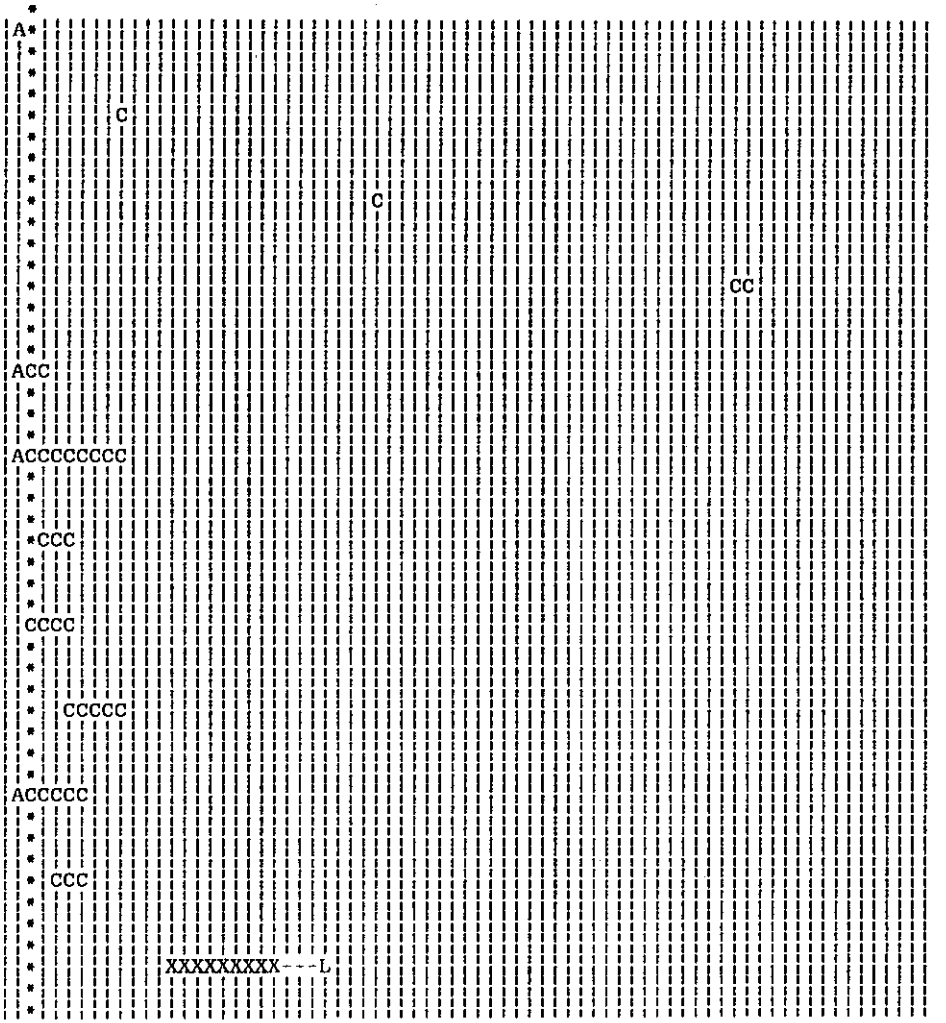
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

作業スケジュール バーチャート

レポート：SR04J

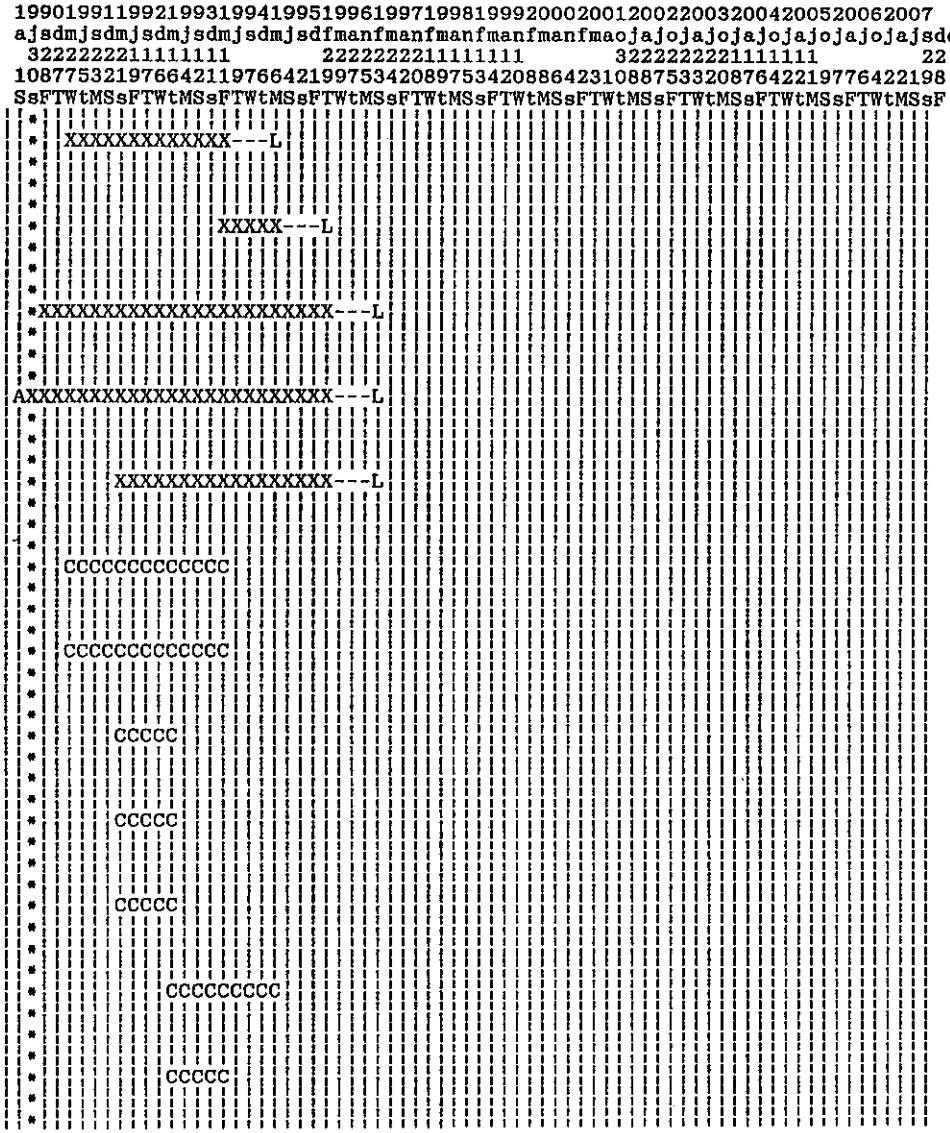
日付 ：25/ 9/90

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
50000000-A000000 地層処分研究の開始（処分技術開発）			1apr90C 14jul90C
50000000-A333333 平成３年報告書作成（処分技術開発）	30	-38	5apr92 4may92
50000000-A555555 平成８年報告書作成（処分技術開発）	30	-38	9apr97 8may97
50000000-A999999 地層処分研究の報告書作成（処分技術開発）	90		2apr04 30jun04
51111000-A120000 要求機能の抽出	90	-38	1apr90A 12oct90
51112000-A120000 バリア材の力学、熱、水理特性のデータ採取	630	-38	1apr90A 4apr92
51113000-A120000 候補材の選出	180	-38	13oct90 10apr91
51121100-A120000 既存コードの改良	270	-38	15jul90 10apr91
51121200-A120000 ３連成コードの開発	360	-38	11apr91 4apr92
51131000-A120000 設計解析（熱、応力、水理、放射線量解析）	360	-38	1apr90A 9jul91
51132000-A120000 仕様設定	180	-38	11jan91 9jul91
51211000-A120000 候補材の選定	720	352	31mar93 20mar95



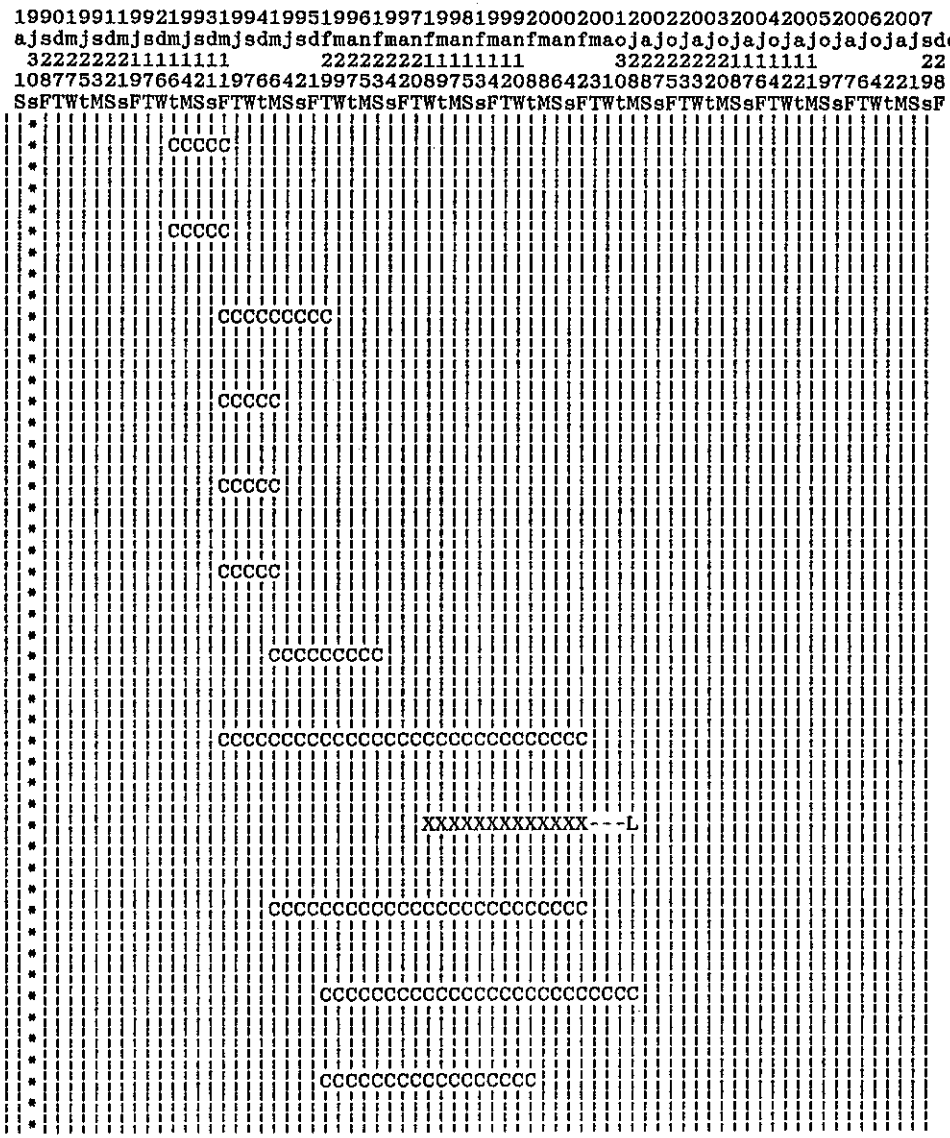
説明 ： X =期間 ， C =クリティカル期間 ， A =実績期間 ， * =現時間 ， - =余裕 ， L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
51212000-A120000 バリア材の熱、応力、水理連成データの取得	1080	322	11may91 24apr94
51213000-A120000 処分場の基本設計に必要なデータ項目の抽出	360	322	25apr94 19apr95
51221000-A120000 熱、応力、水理連成コードの開発と確証	1980	322	12nov90 13apr96
51231000-A120000 基礎試験データの解析検討	2070	322	1apr90A 13apr96
51232000-A120000 熱、応力、水理連成解析による設計検討	1440	322	5may92 13apr96
51271100-A120000 設計環境条件の把握	1080	-38	11may91 24apr94
51271200-A120000 設計機器の調査	1080	-38	11may91 24apr94
51272100-A120000 試験項目抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験）	360	-38	5may92 29apr93
51273100-A120000 計測方法の検討	360	-38	5may92 29apr93
51274100-A120000 試験計画の作成	360	-38	5may92 29apr93
51275100-A120000 データ取得、及び解析	720	-38	30apr93 19apr95
51272200-A120000 試験項目抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験）	360	-38	30apr93 24apr94



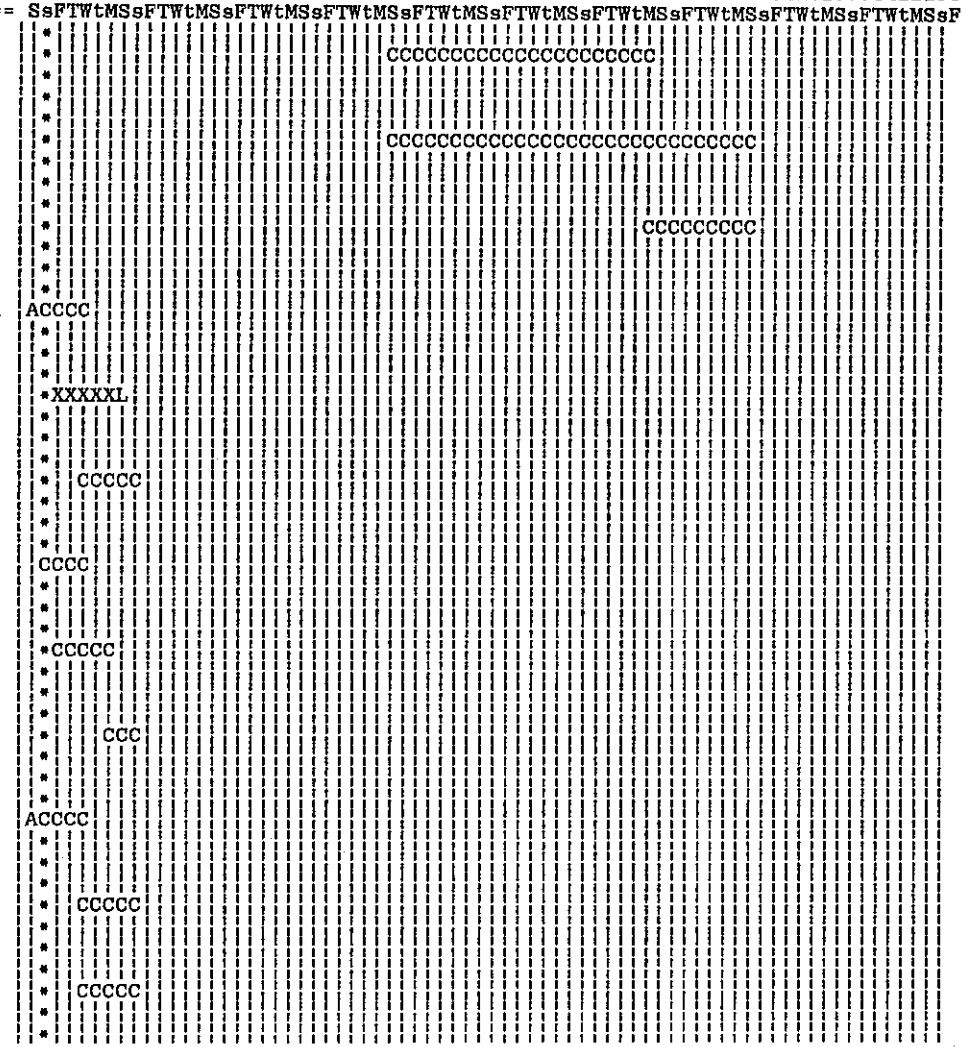
説明　：X =期間　，C =クリティカル期間，A =実績期間　，* =現時間　，- =余裕，L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
51273200-A120000 計測方法の検討	360	-38	30apr93 24apr94
51274200-A120000 試験計画の作成	360	-38	30apr93 24apr94
51275200-A120000 データ取得、及び解析	720	-38	25apr94 13apr96
51272300-A120000 試験項目抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験）	360	-38	25apr94 19apr95
51273300-A120000 計測方法の検討	360	-38	25apr94 19apr95
51274300-A120000 試験計画の作成	360	-38	25apr94 19apr95
51275300-A120000 データ取得、及び解析	720	-38	20apr95 8apr97
51311000-A122000 地質環境単元のデータ整備	2520		25may94 17apr01
51312000-A120000 実験データの整備	1080	360	4may98 17apr01
51321000-A120000 人工バリアの最適設計手法の開発	2160		20may95 17apr01
51322000-A120000 人工バリアの動的解析手法の開発	2160		14may96 12apr02
51331000-A120000 実験データの分析・解析・確証	1440		14may96 22apr00



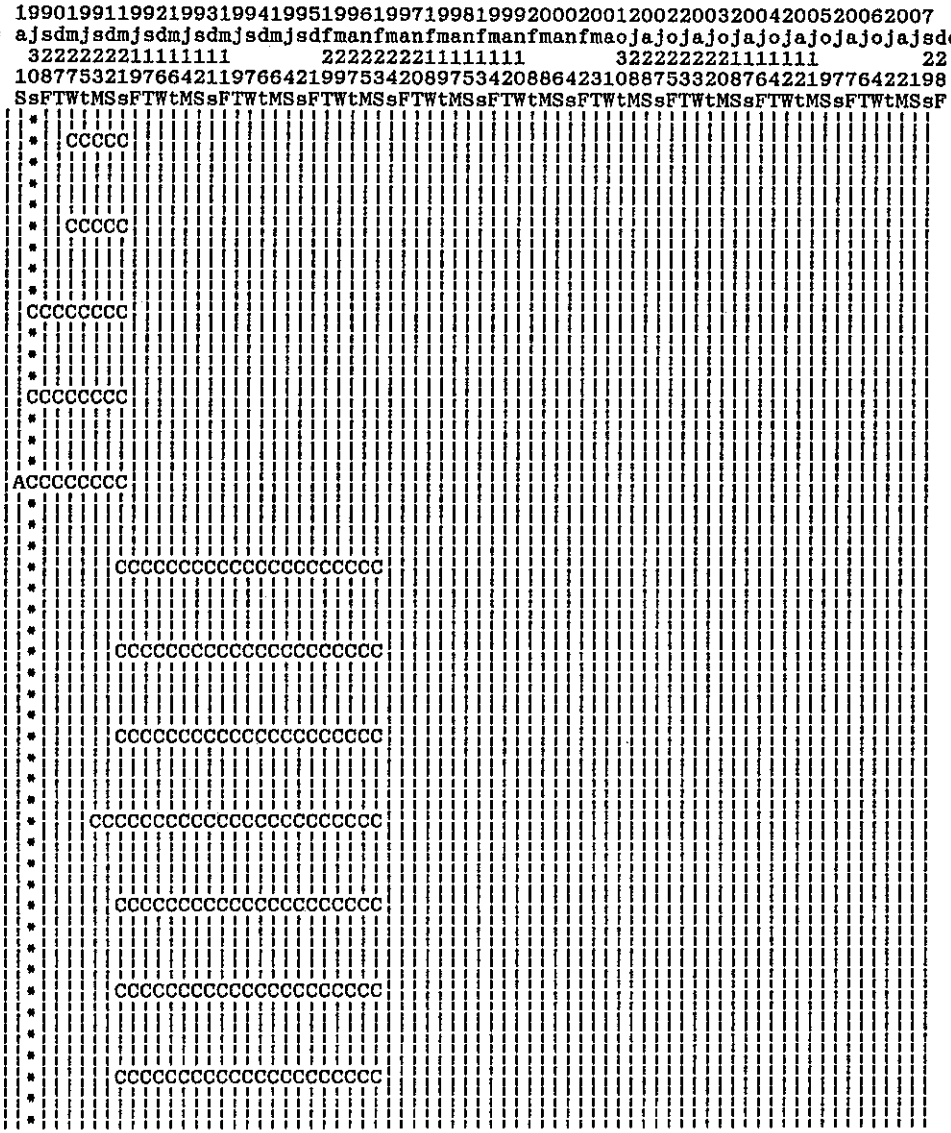
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
51333000-A120000 設計仕様の設定	1800		9may97 12apr02
51340000-A120000 実規模試験の実施	2520		9may97 1apr04
51380000-A120000 地層処分システム設計スペックの作成	720		13apr02 1apr04
51111000-A110000 要求機能の抽出・整備	270	-38	1apr90A 10apr91
51112000-A113000 地質環境条件の設定	360	142	13oct90 7oct91
51114000-A120000 人工バリアの仕様	360	-38	11apr91 4apr92
51121000-A110000 評価手法の開発	270	-38	15jul90 10apr91
51122000-A110000 設計手法の開発（モデルコード開発）	360	-38	13oct90 7oct91
51123000-A110000 検証	180	-38	8oct91 4apr92
51131000-A110000 設計解析	270	-38	1apr90A 10apr91
51132000-A111000 仕様設定（処分場の仕様）	360	-38	11apr91 4apr92
51132000-A112200 操業システム性能の仕様設定	360	-38	11apr91 4apr92



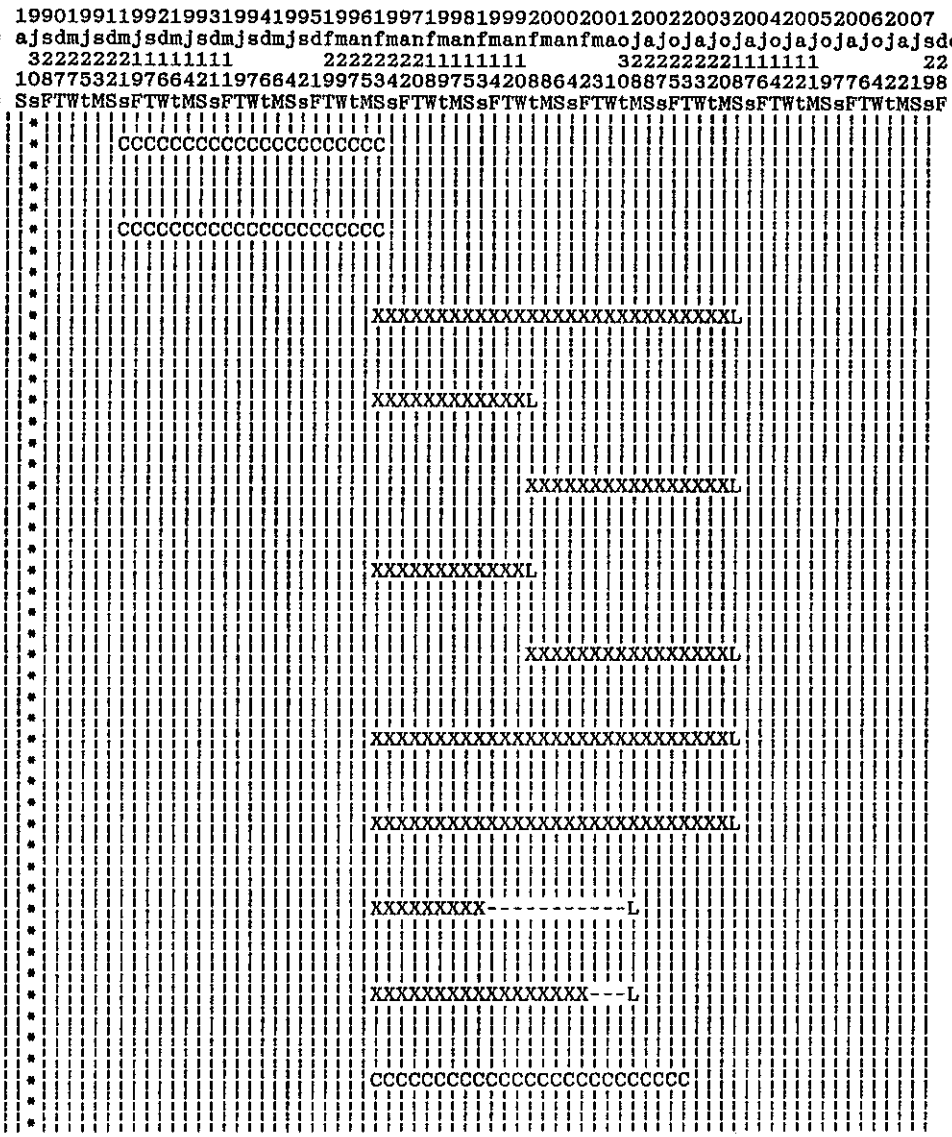
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
51132000-A112300 閉鎖仕様の設定	360	-38	11apr91 4apr92
51133000-A112000 建設、操業、閉鎖スケジュール検討	360	-38	11apr91 4apr92
51140000-A112000 建設・操業・閉鎖安全性評価	630	-38	15jul90 4apr92
51150000-A100000 経済性評価	630	-38	15jul90 4apr92
51160000-A100000 ＣＡＥシステム開発	630	-38	1apr90A 4apr92
51212000-A113000 結晶質岩、堆積岩系地質環境特性データ収集	1800	-38	5may92 8apr97
51222000-A110000 設計手法の開発	1800	-38	5may92 8apr97
51223000-A110000 設計評価手法の開発	1800	-38	5may92 8apr97
51221000-A110000 熱.応力.水理.化学連成解析手法の開発.確証	1980	-38	7nov91 8apr97
51232000-A110000 設計解析	1800	-38	5may92 8apr97
51233000-A100000 処分場仕様.操業システム仕様.閉鎖仕様決定	1800	-38	5may92 8apr97
51240000-A112000 ソフト解析、安全評価の実施	1800	-8	5apr92 9mar97



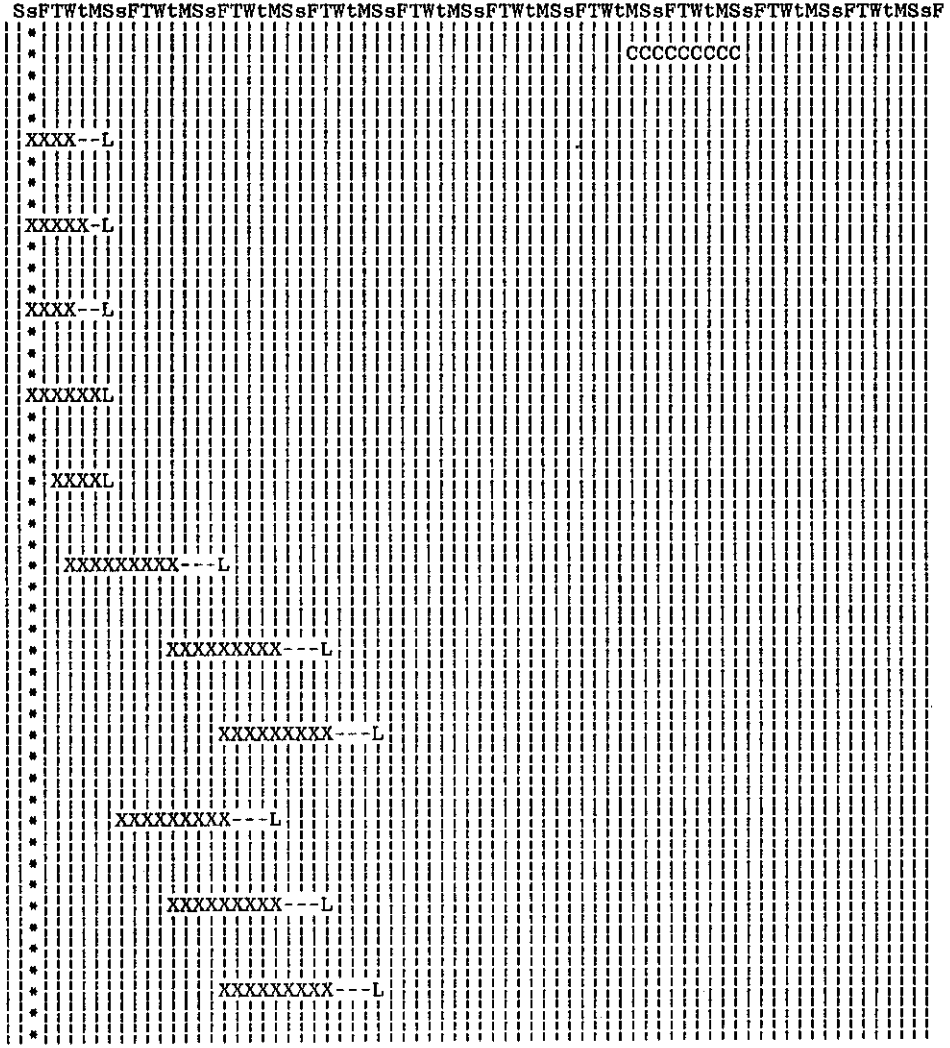
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
51250000-A100000 結晶質岩系、堆積岩系岩盤でのコスト解析	1800	-8 5apr92 9mar97	
51260000-A100000 ＣＡＥシステムの導入・運用	1800	-8 5apr92 9mar97	
51311000-A113000 地質環境単元のデータの収集整備	2520	30 9apr97 2mar04	
51321000-A110000 最適設計手法の開発	1080	30 9apr97 23mar00	
51322000-A110000 処分場の動的解析手法の開発	1440	30 24mar00 2mar04	
51333000-A110000 処分場、操業システム仕様、閉鎖仕様の設定	1080	30 9apr97 23mar00	
51332000-A110000 設計解析（最適設計）	1440	30 24mar00 2mar04	
51331000-A110000 実規模試験結果の解析検討	2520	30 9apr97 2mar04	
51350000-A110000 建設・操業・閉鎖の安全性評価、及び実証	2520	60 10mar97 1feb04	
51360000-A100000 各単元のコスト解析	720	1140 10mar97 27feb99	
51370000-A100000 ＣＡＥシステムの運用・確立	1440	420 10mar97 16feb01	
51340000-A110000 実規模試験による処分場設計の確証	2160	9may97 7apr03	



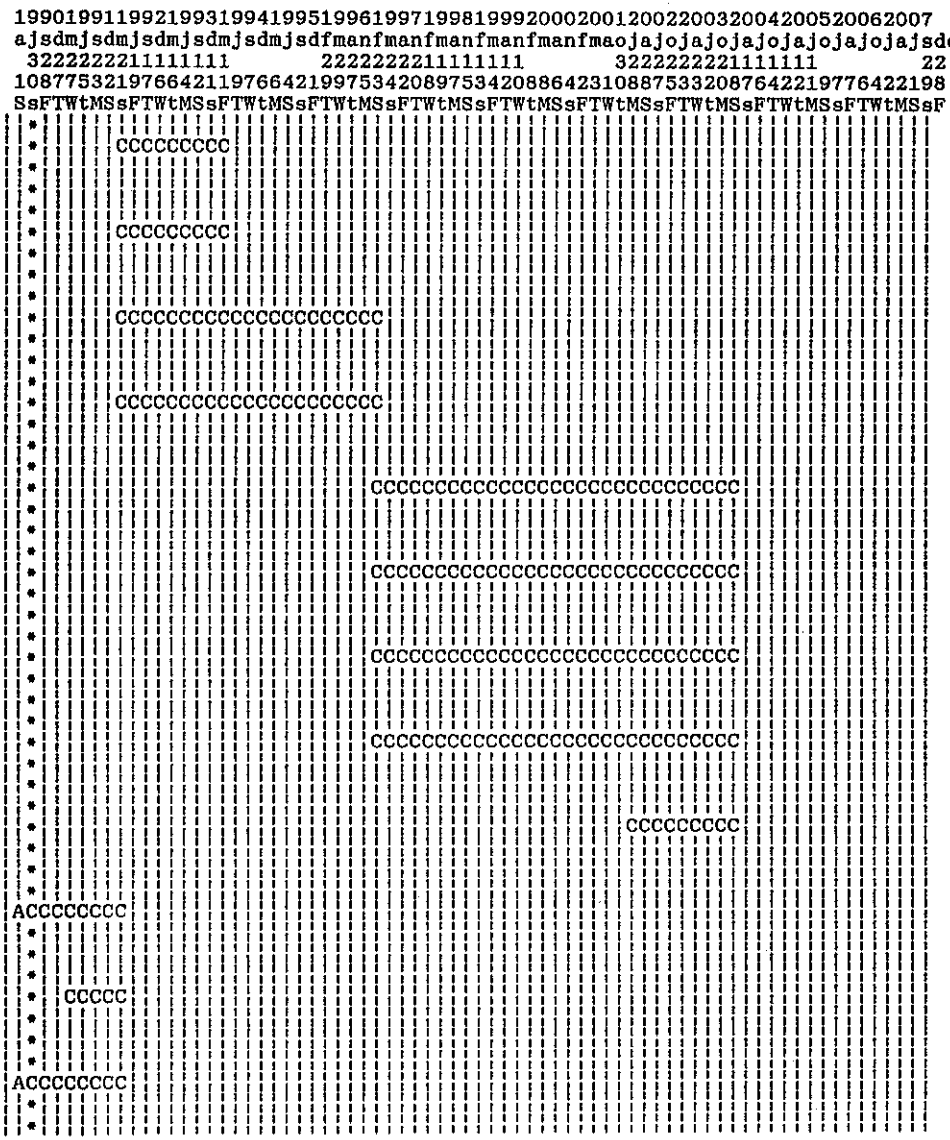
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
51380000-A110000 処分場スペックの作成	720		13apr02 1apr04
52110000-A211110 炭素鋼溶接技術の開発	270	322	15jul90 10apr91
52110000-A211120 その他の材料の溶接技術の開発	360	232	15jul90 9jul91
52110000-A212100 ベントナイトとケイ砂の混合比を変えたブロック作成	270	322	15jul90 10apr91
52110000-A212200 ブロック寸法を変えたものの作成	540	52	15jul90 5jan92
52120000-A213000 施工手順と使用機器の検討（設置手順条件）	360	52	11jan91 5jan92
52210000-A211200 チタン製のオーバーパックの試作	720	322	11may91 29apr93
52210000-A211300 ファインセラミック製のオーバーパック試作	720	322	30apr93 19apr95
52210000-A211400 その他の候補材での試作	720	322	25apr94 13apr96
52210000-A212100 混合材をパラメータにして試作	720	322	5may92 24apr94
52210000-A212300 セメントを使用した場合の試作	720	322	30apr93 19apr95
52210000-A212400 他の材料での試作	720	322	25apr94 13apr96



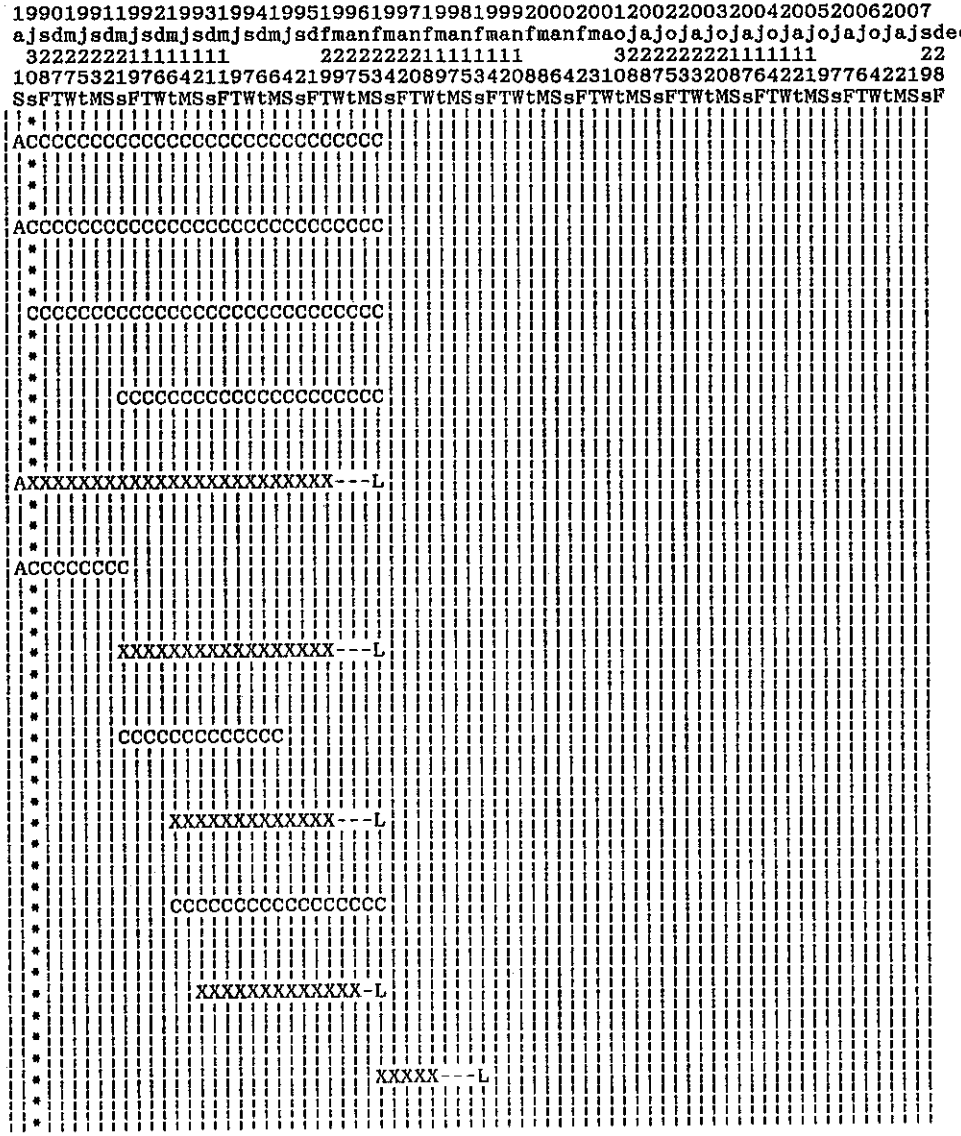
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　・　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
52211000-A213100 オーバーパック（小規模試験）	720	-38	5may92 24apr94
52211000-A213200 緩衝材（小規模試験）	720	-38	5may92 24apr94
52212000-A213100 オーバーパック（中規模試験）	1800	-38	5may92 8apr97
52212000-A213200 緩衝材（中規模試験）	1800	-38	5may92 8apr97
52210000-A211000 オーバーパックの試作（機能確認試験）	2520		9may97 1apr04
52210000-A212000 緩衝材の試作（機能確認試験）	2520		9may97 1apr04
52210000-A213100 オーバーパック設置方法実証（実規模試験）	2520		9may97 1apr04
52210000-A213200 緩衝材の設置方法の実証（実規模試験）	2520		9may97 1apr04
52315000-A210000 人工バリアスペックの作成	720		13apr02 1apr04
52100000-A221000 建設に関する施工検討	630	-38	1apr90A 4apr92
52100000-A222000 操業に関する施工検討	360	-38	11apr91 4apr92
52100000-A223000 閉鎖技術の開発	630	-38	1apr90A 4apr92



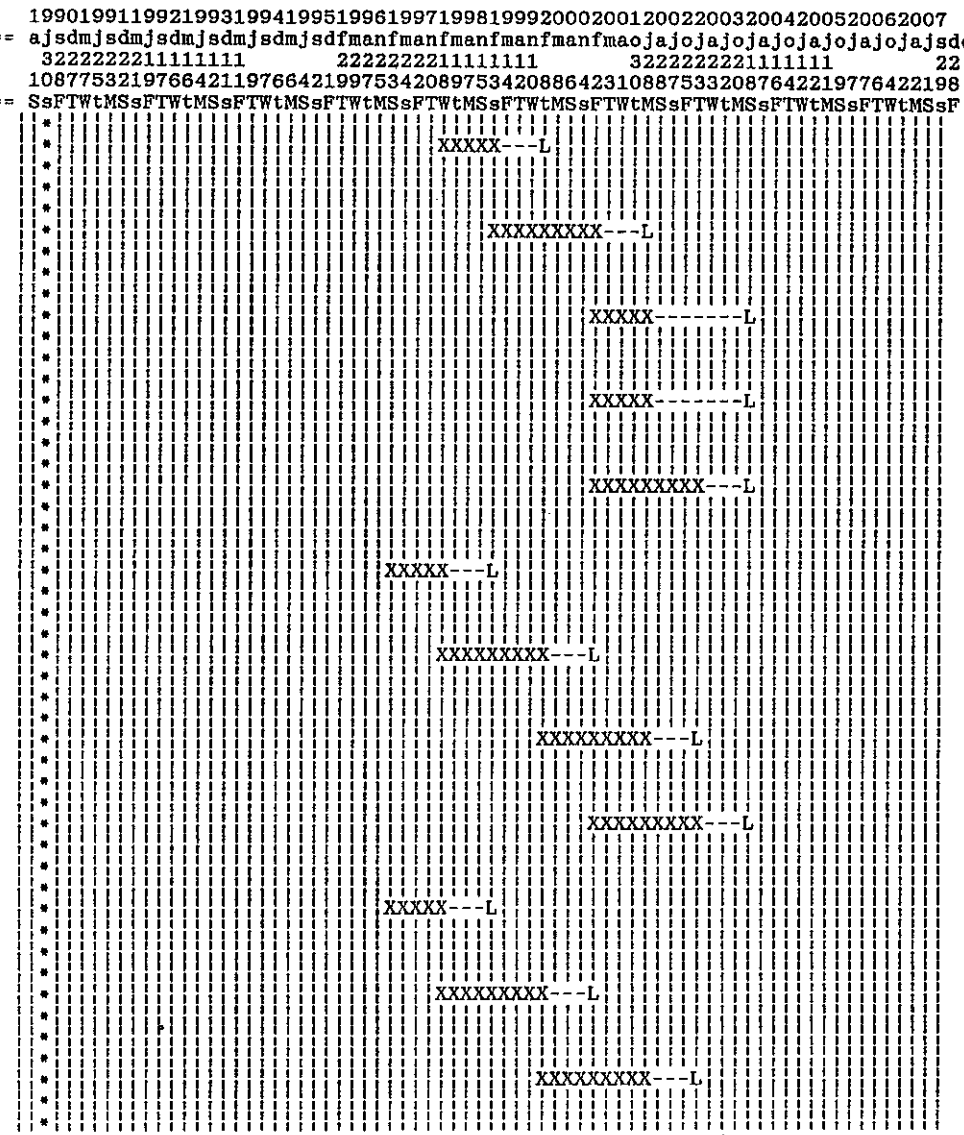
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
52213000-A221100 掘削に関する検討	2430	-8	1apr90A 9mar97
52213000-A221200 支保に関する検討	2430	-8	1apr90A 9mar97
52213000-A221300 掘作、支保の施工機械の検討	2430	-8	15jul90 9mar97
52213000-A221400 施工管理システムの開発	1800	-38	5may92 8apr97
52213000-A222000 操業に関する検討	2070	352	1apr90A 14mar96
52214000-A223100 埋め戻し、プラグ、グラウトの検討	630	-8	1apr90A 4apr92
52212200-A223100 ＥＮＴＲＹ中規模試験	1440	352	5apr92 14mar96
52211000-A223100 地下研での小規模試験	1080	-8	5apr92 20mar95
52212100-A223100 地下研での中規模試験	1080	352	31mar93 14mar96
52213000-A223100 地下研での大規模試験	1440	-8	31mar93 9mar97
52213000-A223200 機能確認モニタリング計画	1080	172	27sep93 10sep96
52311000-A220000 実施計画	360	360	9may97 3may98



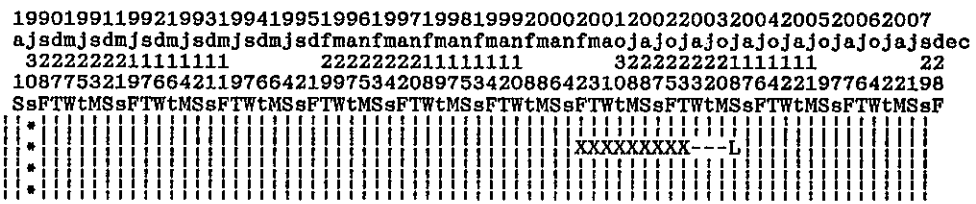
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
52312000-A220000 試験実施	360	360	4may98 28apr99
52313000-A220000 計測による解析結果の実証	720	360	29apr99 17apr01
52314000-A221300 掘削工法、支保工法の最適化	360	720	18apr01 12apr02
52314000-A221400 施工管理システムの最適化	360	720	18apr01 12apr02
52315000-A221000 建設スペックの作成	720	360	18apr01 7apr03
52313000-A222000 ENTRYで行った中規模試験結果の解析検討	360	360	9may97 3may98
52311000-A222000 実施計画	720	360	4may98 22apr00
52314000-A222000 システムの最適化	720	360	23apr00 12apr02
52315000-A222000 操業スペックの最適化	720	360	18apr01 7apr03
52311000-A223000 実施計画	360	360	9may97 3may98
52312000-A223000 試験実施	720	360	4may98 22apr00
52313000-A223000 計測による解析結果の実証	720	360	23apr00 12apr02



説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
52315000-A223000 閉鎖スペックの最適化	720	360	18apr01 7apr03



説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付		フロートトータル フリー
50000000-A333333 平成３年報告書作成（処分技術開発）	30	E		200033	51112000-A113000		N				ES	5apr92	-38
200	30			33	51112000-A120000		N		FL	31mar92	EF	4may92	
					51114000-A120000		N				LS	27feb92	
					51121200-A120000		N				LF	27mar92	
					51123000-A110000		N						
					51132000-A111000		N						
					51132000-A112200		N						
					51132000-A112300		N						
					51132000-A120000	270	N						
					51133000-A112000		N						
					51140000-A112000		N						
					51150000-A100000		N						
					51160000-A100000		N						
					52100000-A221000		N						
					52100000-A222000		N						
					52100000-A223000		N						
					52110000-A211120		N						
					52110000-A212200		N						
					52120000-A213000		N						
50000000-A555555 平成８年報告書作成（処分技術開発）	30	E		200055	51212000-A113000		N				ES	9apr97	-38
200	30			55	51221000-A110000		N		FL	31mar97	EF	8may97	
					51222000-A110000		N				LS	2mar97	
					51223000-A110000		N				LF	31mar97	
					51231000-A120000		N						
					51232000-A120000		N						
					51233000-A100000		N						
					51240000-A112000		N						
					51250000-A100000		N						
					51260000-A100000		N						
					51275300-A120000		N						
					52210000-A211200		N						
					52210000-A211300		N						
					52210000-A211400		N						
					52210000-A212100		N						
					52210000-A212300		N						
					52210000-A212400		N						
					52211000-A223100		N						
					52212000-A213100		N						
					52212000-A213200		N						
					52212100-A223100		N						
					52212200-A223100		N						
					52213000-A221100		N						
					52213000-A221200		N						

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析 日付	フロートトータル フリー
					52213000-A221300		N					
					52213000-A221400		N					
					52213000-A222000		N					
					52213000-A223100		N					
					52213000-A223200		N					
50000000-A999999 地層処分研究の報告書作成（処分技術開発）	90		E	200099	51380000-A110000		N				ES 2apr04	
200	90			99	51380000-A120000		N				EF 30jun04	
					52314000-A221300		N				LS 2apr04	
					52314000-A221400		N				LF 30jun04	
					52315000-A210000		N					
					52315000-A221000		N					
					52315000-A222000		N					
					52315000-A223000		N					
51111000-A120000 要求機能の抽出	90			211111	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-38
210	180			1							EF 12oct90	
											LF 4sep90	
51112000-A120000 バリア材の力学、熱、水理特性のデータ採取	630			211111	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-38
210	720			2							EF 4apr92	
											LF 26feb92	
51113000-A120000 候補材の選出	180			211111	51111000-A120000	180	F				ES 13oct90	-38
210	180			3							EF 10apr91	
											LS 5sep90	
											LF 3mar91	
51121100-A120000 既存コードの改良	270			211112	50000000-A000000		N				ES 15jul90	-38
210	270			11							EF 10apr91	
											LS 7jun90	
											LF 3mar91	
51121200-A120000 ３連成コードの開発	360			211112	51121100-A120000	360	F				ES 11apr91	-38
210	360			12							EF 4apr92	
											LS 4mar91	
											LF 26feb92	
51131000-A120000 設計解析（熱、応力、水理、放射線量解析）	360			211113	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-38
210	450			1							EF 9jul91	
											LF 1jun91	

アクティビティ コード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
51132000-A120000 仕様設定	180			211113	51113000-A120000	90	F				ES 11jan91	-38
210	180			2	51121100-A120000	90	F				EF 9jul91	
					51131000-A120000		F				LS 4dec90	
											LF 1jun91	
51211000-A120000 候補材の選定	720			211121	50000000-A333333	360	S				ES 31mar93	352
210	720			1							EF 20mar95	30
											LS 18mar94	
											LF 6mar96	
51212000-A120000 バリア材の熱、応力、水理連成データの取得	1080			211121	50000000-A333333	720	F				ES 11may91	322
210	1080			2							EF 24apr94	
											LS 28mar92	
											LF 12mar95	
51213000-A120000 処分場の基本設計に必要なデータ項目の抽出	360			211121	51212000-A120000	360	F				ES 25apr94	322
210	360			3							EF 19apr95	
											LS 13mar95	
											LF 6mar96	
51221000-A120000 熱、応力、水理連成コードの開発と確証	1980			211122	50000000-A333333	440	F				ES 12nov90	322
210	1980			1							EF 13apr96	
											LS 30sep91	
											LF 1mar97	
51231000-A120000 基礎試験データの解析検討	2070			211123	51211000-A120000	360	F				AS 1apr90	322
210	2160			1	51213000-A120000	360	F				EF 13apr96	
											LF 1mar97	
51232000-A120000 熱、応力、水理連成解析による設計検討	1440			211123	51212000-A120000	720	F				ES 5may92	322
210	1440			2	51221000-A120000		F				EF 13apr96	360
					51231000-A120000		F				LS 23mar93	
											LF 1mar97	
51271100-A120000 設計環境条件の把握	1080			211124	50000000-A333333	720	F				ES 11may91	-38
210	1080			11							EF 24apr94	
											LS 3apr91	
											LF 17mar94	
51271200-A120000 設計機器の調査	1080			211124	51271100-A120000		F				ES 11may91	-38
210	1080			12							EF 24apr94	
											LS 3apr91	
											LF 17mar94	

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダ-C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
51272100-A120000 試験項目抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験）	360		211124	51271200-A120000	360	S				ES 5may92	-38
210	360		21							EF 29apr93	
										LS 28mar92	
										LF 22mar93	
51273100-A120000 計測方法の検討	360		211124	51271200-A120000	360	S				ES 5may92	-38
210	360		22							EF 29apr93	
										LS 28mar92	
										LF 22mar93	
51274100-A120000 試験計画の作成	360		211124	51271200-A120000	360	S				ES 5may92	-38
210	360		23							EF 29apr93	
										LS 28mar92	
										LF 22mar93	
51275100-A120000 データ取得、及び解析	720		211124	51272100-A120000	720	F				ES 30apr93	-38
210	720		24	51273100-A120000	720	F				EF 19apr95	
				51274100-A120000	720	F				LS 23mar93	
										LF 12mar95	
51272200-A120000 試験項目抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験）	360		211124	51272100-A120000		N				ES 30apr93	-38
210	360		31							EF 24apr94	
										LS 23mar93	
										LF 17mar94	
51273200-A120000 計測方法の検討	360		211124	51273100-A120000		N				ES 30apr93	-38
210	360		32							EF 24apr94	
										LS 23mar93	
										LF 17mar94	
51274200-A120000 試験計画の作成	360		211124	51274100-A120000		N				ES 30apr93	-38
210	360		33							EF 24apr94	
										LS 23mar93	
										LF 17mar94	
51275200-A120000 データ取得、及び解析	720		211124	51272200-A120000	720	F				ES 25apr94	-38
210	720		34	51273200-A120000	720	F				EF 13apr96	
				51274200-A120000	720	F				LS 18mar94	
										LF 6mar96	
51272300-A120000 試験項目抽出（腐食試験、緩衝材膨潤試験）	360		211124	51272200-A120000		N				ES 25apr94	-38
210	360		41							EF 19apr95	
										LS 18mar94	
										LF 12mar95	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
51273300-A120000	計測方法の検討	360			211124	51273200-A120000		N			ES 25apr94	-38
210		360			42						EF 19apr95	
											LS 18mar94	
											LF 12mar95	
51274300-A120000	試験計画の作成	360			211124	51274200-A120000		N			ES 25apr94	-38
210		360			43						EF 19apr95	
											LS 18mar94	
											LF 12mar95	
51275300-A120000	データ取得、及び解析	720			211124	51272300-A120000	720	F			ES 20apr95	-38
210		720			44	51273300-A120000	720	F			EF 8apr97	
						51274300-A120000	720	F			LS 13mar95	
						51275100-A120000	720	F			LF 1mar97	
						51275200-A120000	360	F				
51311000-A122000	地質環境単元のデータ整備	2520			211131	50000000-A555555	440	F			ES 25may94	
210		2520			1						EF 17apr01	
											LS 25may94	
											LF 17apr01	
51312000-A120000	実験データの整備	1080			211131	51311000-A122000		F			ES 4may98	360
210		1080			2						EF 17apr01	360
											LS 29apr99	
											LF 12apr02	
51321000-A120000	人工バリアの最適設計手法の開発	2160			211132	50000000-A555555	440	F			ES 20may95	
210		2160			1	51311000-A122000	360	S			EF 17apr01	
											LS 20may95	
											LF 17apr01	
51322000-A120000	人工バリアの動的解析手法の開発	2160			211132	51321000-A120000	360	S			ES 14may96	
210		2160			2						EF 12apr02	
											LS 14may96	
											LF 12apr02	
51331000-A120000	実験データの分析・解析・確証	1440			211133	50000000-A555555	080	F			ES 14may96	
210		1440			1						EF 22apr00	
											LS 14may96	
											LF 22apr00	
51333000-A120000	設計仕様の設定	1800			211133	51312000-A120000		F			ES 9may97	
210		1800			2	51322000-A120000		F			EF 12apr02	
						51331000-A120000	360	S			LS 9may97	
											LF 12apr02	

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
51340000-A120000 実規模試験の実施	2520		211134	51275300-A120000		N			ES 9may97		
210	2520			51331000-A120000	440	F			EF 1apr04		
				51333000-A120000	720	F			LS 9may97		
									LF 1apr04		
51380000-A120000 地層処分システム設計スペックの作成	720		211135	51333000-A120000		N			ES 13apr02		
210	720			51340000-A120000		F			EF 1apr04		
									LS 13apr02		
									LF 1apr04		
51111000-A110000 要求機能の抽出・整備	270		211211	50000000-A000000		N			AS 1apr90		-38
210	360		1						EF 10apr91		
									LF 3mar91		
51112000-A113000 地質環境条件の設定	360		211211	51111000-A110000	90	S			ES 13oct90		142
210	360		2						EF 7oct91		180
									LS 4mar91		
									LF 26feb92		
51114000-A120000 人工バリアの仕様	360		211211	51111000-A110000		N			ES 11apr91		-38
210	360		3						EF 4apr92		
									LS 4mar91		
									LF 26feb92		
51121000-A110000 評価手法の開発	270		211212	50000000-A000000		N			ES 15jul90		-38
210	360		1						EF 10apr91		
									LS 7jun90		
									LF 3mar91		
51122000-A110000 設計手法の開発（モデルコード開発）	360		211212	51121000-A110000	90	S			ES 13oct90		-38
210	360		2						EF 7oct91		
									LS 5sep90		
									LF 30aug91		
51123000-A110000 検証	180		211212	51122000-A110000	180	F			ES 8oct91		-38
210	180		3						EF 4apr92		
									LS 31aug91		
									LF 26feb92		
51131000-A110000 設計解析	270		211213	50000000-A000000		N			AS 1apr90		-38
210	360		1						EF 10apr91		
									LF 3mar91		

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダ C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	指定条件 カレンダー	種類 日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
51132000-A111000	仕様設定（処分場の仕様）	360		211213	51131000-A110000	360	F			ES 11apr91	-38
210		360		2						EF 4apr92	
										LS 4mar91	
										LF 26feb92	
51132000-A112200	操業システム性能の仕様設定	360		211213	51131000-A110000	360	F			ES 11apr91	-38
210		360		21						EF 4apr92	
										LS 4mar91	
										LF 26feb92	
51132000-A112300	閉鎖仕様の設定	360		211213	51131000-A110000	360	F			ES 11apr91	-38
210		360		22						EF 4apr92	
										LS 4mar91	
										LF 26feb92	
51133000-A112000	建設、操業、閉鎖スケジュール検討	360		211213	51131000-A110000	360	F			ES 11apr91	-38
210		360		23						EF 4apr92	
										LS 4mar91	
										LF 26feb92	
51140000-A112000	建設・操業・閉鎖安全性評価	630		211214	50000000-A000000		N			ES 15jul90	-38
210		720								EF 4apr92	
										LS 7jun90	
										LF 26feb92	
51150000-A100000	経済性評価	630		211215	50000000-A000000		N			ES 15jul90	-38
210		720								EF 4apr92	
										LS 7jun90	
										LF 26feb92	
51160000-A100000	ＣＡＥシステム開発	630		211216	50000000-A000000		N			AS 1apr90	-38
210		720								EF 4apr92	
										LF 26feb92	
51212000-A113000	結晶質岩、堆積岩系地質環境特性データ収集	1800		211221	50000000-A333333	800	F			ES 5may92	-38
210		1800		1						EF 8apr97	
										LS 28mar92	
										LF 1mar97	
51222000-A110000	設計手法の開発	1800		211222	50000000-A333333	800	F			ES 5may92	-38
210		1800		1						EF 8apr97	
										LS 28mar92	
										LF 1mar97	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
51223000-A110000	設計評価手法の開発	1800			211222	50000000-A333333	800	F				ES 5may92	-38
210		1800			2							EF 8apr97	
												LS 28mar92	
												LF 1mar97	
51221000-A110000	熱.応力.水理.化学連成解析手法の開発.確証	1980			211222	50000000-A333333	800	F				ES 7nov91	-38
210		1980			3							EF 8apr97	
												LS 30sep91	
												LF 1mar97	
51232000-A110000	設計解析	1800			211223	50000000-A333333	800	F				ES 5may92	-38
210		1800			1							EF 8apr97	
												LS 28mar92	
												LF 1mar97	
51233000-A100000	処分場仕様.操業システム仕様.閉鎖仕様決定	1800			211223	51232000-A110000		F				ES 5may92	-38
210		1800			2							EF 8apr97	
												LS 28mar92	
												LF 1mar97	
51240000-A112000	ソフト解析、安全評価の実施	1800			211224	51140000-A112000		N				ES 5apr92	-8
210		1800			1							EF 9mar97	
												LS 28mar92	
												LF 1mar97	
51250000-A100000	結晶質岩系、堆積岩系岩盤でのコスト解析	1800			211225	51150000-A100000		N				ES 5apr92	-8
210		1800			1							EF 9mar97	
												LS 28mar92	
												LF 1mar97	
51260000-A100000	ＣＡＥシステムの導入・運用	1800			211226	51160000-A100000		N				ES 5apr92	-8
210		1800										EF 9mar97	
												LS 28mar92	
												LF 1mar97	
51311000-A113000	地質環境単元のデータの収集整備	2520			211231	51212000-A113000		N				ES 9apr97	30
210		2520			1							EF 2mar04	
												LS 9may97	
												LF 1apr04	
51321000-A110000	最適設計手法の開発	1080			211232	51221000-A110000		N				ES 9apr97	30
210		1080			1	51222000-A110000		N				EF 23mar00	
						51223000-A110000		N				LS 9may97	
												LF 22apr00	

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード	ラグ	方法	****指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
51322000-A110000	処分場の動的解析手法の開発	1440			211232	51321000-A110000	440	F				ES 24mar00	30
210		1440			2							EF 2mar04	
												LS 23apr00	
												LF 1apr04	
51333000-A110000	処分場、操業システム仕様、閉鎖仕様の設定	1080			211233	51233000-A100000		N				ES 9apr97	30
210		1080			1							EF 23mar00	
												LS 9may97	
												LF 22apr00	
51332000-A110000	設計解析（最適設計）	1440			211233	51311000-A113000		F				ES 24mar00	30
210		1440			2	51322000-A110000		F				EF 2mar04	
						51333000-A110000	440	F				LS 23apr00	
												LF 1apr04	
51331000-A110000	実規模試験結果の解析検討	2520			211233	51332000-A110000		F				ES 9apr97	30
210		2520			3							EF 2mar04	30
												LS 9may97	
												LF 1apr04	
51350000-A110000	建設・操業・閉鎖の安全性評価、及び実証	2520			211234	51240000-A112000		N				ES 10mar97	60
210		2520										EF 1feb04	60
												LS 9may97	
												LF 1apr04	
51360000-A100000	各単元のコスト解析	720			211235	51250000-A100000		N				ES 10mar97	1140
210		720			1							EF 27feb99	1140
												LS 23apr00	
												LF 12apr02	
51370000-A100000	ＣＡＥシステムの運用・確立	1440			211236	51260000-A100000		N				ES 10mar97	420
210		1440										EF 16feb01	420
												LS 4may98	
												LF 12apr02	
51340000-A110000	実規模試験による処分場設計の確証	2160			211237	50000000-A555555		N				ES 9may97	
210		2160										EF 7apr03	
												LS 9may97	
												LF 7apr03	
51380000-A110000	処分場スペックの作成	720			211238	51331000-A110000		F				ES 13apr02	
210		720				51340000-A110000	360	F				EF 1apr04	
						51350000-A110000		F				LS 13apr02	
						51360000-A100000		N				LF 1apr04	

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
					51370000-A100000		N				
52110000-A211110 炭素鋼溶接技術の開発 221	270 360			221111 1	50000000-A000000		N			ES 15jul90 EF 10apr91 LS 2jun91 LF 26feb92	322 90
52110000-A211120 その他の材料の溶接技術の開発 221	360 360			221111 2	52110000-A211110		F			ES 15jul90 EF 9jul91 LS 4mar91 LF 26feb92	232 180
52110000-A212100 ベントナイトとケイ砂の混合比を変えたブロック作成 221	270 360			221112 1	50000000-A000000		N			ES 15jul90 EF 10apr91 LS 2jun91 LF 26feb92	322 270
52110000-A212200 ブロック寸法を変えたものの作成 221	540 540			221112 2	52110000-A212100		F			ES 15jul90 EF 5jan92 LS 5sep90 LF 26feb92	52
52120000-A213000 施工手順と使用機器の検討（設置手順条件） 221	360 360			221121	52110000-A211120 52110000-A212200		F F			ES 11jan91 EF 5jan92 LS 4mar91 LF 26feb92	52 90
52210000-A211200 チタン製のオーバーパックの試作 221	720 720			221211 1	50000000-A333333	360	F			ES 11may91 EF 29apr93 LS 28mar92 LF 17mar94	322
52210000-A211300 ファインセラミック製のオーバーパック試作 221	720 720			221211 2	52210000-A211200		N			ES 30apr93 EF 19apr95 LS 18mar94 LF 6mar96	322
52210000-A211400 その他の候補材での試作 221	720 720			221211 3	52210000-A211300	360	S			ES 25apr94 EF 13apr96 LS 13mar95 LF 1mar97	322 360
52210000-A212100 混合材をパラメータにして試作 221	720 720			221212 1	50000000-A333333		N			ES 5may92 EF 24apr94 LS 23mar93	322

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
												LF 12mar95	
52210000-A212300 221	セメントを使用した場合の試作	720 720			221212 2	52210000-A212100	360	S				ES 30apr93 EF 19apr95 LS 18mar94 LF 6mar96	322
52210000-A212400 221	他の材料での試作	720 720			221212 3	52210000-A212300	360	S				ES 25apr94 EF 13apr96 LS 13mar95 LF 1mar97	322 360
52211000-A213100 221	オーバーパック（小規模試験）	720 720			221221 1	50000000-A333333		N				ES 5may92 EF 24apr94 LS 28mar92 LF 17mar94	-38
52211000-A213200 221	緩衝材（小規模試験）	720 720			221221 2	50000000-A333333		N				ES 5may92 EF 24apr94 LS 28mar92 LF 17mar94	-38
52212000-A213100 221	オーバーパック（中規模試験）	1800 1800			221222 1	52211000-A213100		S				ES 5may92 EF 8apr97 LS 28mar92 LF 1mar97	-38
52212000-A213200 221	緩衝材（中規模試験）	1800 1800			221222 2	52211000-A213200		S				ES 5may92 EF 8apr97 LS 28mar92 LF 1mar97	-38
52210000-A211000 221	オーバーパックの試作（機能確認試験）	2520 2520			221311	50000000-A555555		N				ES 9may97 EF 1apr04 LS 9may97 LF 1apr04	
52210000-A212000 221	緩衝材の試作（機能確認試験）	2520 2520			221312	50000000-A555555		N				ES 9may97 EF 1apr04 LS 9may97 LF 1apr04	
52210000-A213100 221	オーバーパック設置方法実証（実規模試験）	2520 2520			221321	52210000-A211000		S				ES 9may97 EF 1apr04 LS 9may97	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
												LF 1apr04	
52210000-A213200	緩衝材の設置方法の実証（実規模試験）	2520			221322	52210000-A212000		S				ES 9may97	
221		2520										EF 1apr04	
												LS 9may97	
												LF 1apr04	
52315000-A210000	人工バリアスペックの作成	720			221331	52210000-A211000		F				ES 13apr02	
221		720				52210000-A212000		F				EF 1apr04	
						52210000-A213100		F				LS 13apr02	
						52210000-A213200		F				LF 1apr04	
52100000-A221000	建設に関する施工検討	630			22211	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-38
222		720										EF 4apr92	
												LF 26feb92	
52100000-A222000	操業に関する施工検討	360			22212	52100000-A221000	270	S				ES 11apr91	-38
222		360										EF 4apr92	
												LS 4mar91	
												LF 26feb92	
52100000-A223000	閉鎖技術の開発	630			22213	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-38
222		720										EF 4apr92	
												LF 26feb92	
52213000-A221100	掘削に関する検討	2430			222211	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-8
222		2520										EF 9mar97	30
												LF 1mar97	
52213000-A221200	支保に関する検討	2430			222212	50000000-A000000		N				AS 1apr90	-8
222		2520										EF 9mar97	30
												LF 1mar97	
52213000-A221300	掘作、支保の施工機械の検討	2430			222213	50000000-A000000		N				ES 15jul90	-8
222		2520										EF 9mar97	30
												LS 7jul90	
												LF 1mar97	
52213000-A221400	施工管理システムの開発	1800			222214	50000000-A333333		N				ES 5may92	-38
222		1800										EF 8apr97	
												LS 28mar92	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
											LF 1mar97		
52213000-A222000	操業に関する検討	2070			22222	50000000-A000000			N		AS 1apr90		352
222		2160									EF 14mar96		390
											LF 1mar97		
52214000-A223100	埋め戻し、プラグ、グラウトの検討	630			222231	50000000-A000000			N		AS 1apr90		-8
222		720									EF 4apr92		
											LF 27mar92		
52212200-A223100	ＥＮＴＲＹ中規模試験	1440			222231	52214000-A223100			N		ES 5apr92		352
222		1440			1						EF 14mar96		
											LS 23mar93		
											LF 1mar97		
52211000-A223100	地下研での小規模試験	1080			222231	52214000-A223100			N		ES 5apr92		-8
222		1080			2						EF 20mar95		
											LS 28mar92		
											LF 12mar95		
52212100-A223100	地下研での中規模試験	1080			222231	52212200-A223100	360	S			ES 31mar93		352
222		1080			3						EF 14mar96		390
											LS 18mar94		
											LF 1mar97		
52213000-A223100	地下研での大規模試験	1440			222231	52211000-A223100	360	S			ES 31mar93		-8
222		1440			4						EF 9mar97		30
											LS 23mar93		
											LF 1mar97		
52213000-A223200	機能確認モニタリング計画	1080			222232	52214000-A223100	540	N			ES 27sep93		172
222		1080									EF 10sep96		210
											LS 18mar94		
											LF 1mar97		
52311000-A220000	実施計画	360			222311	50000000-A555555			N		ES 9may97		360
222		360			1						EF 3may98		
											LS 4may98		
											LF 28apr99		
52312000-A220000	試験実施	360			222311	52311000-A220000			N		ES 4may98		360
222		360			2						EF 28apr99		
											LS 29apr99		

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード****	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間 解析 日付	フロート トータル フリー
												LF 22apr00	
52313000-A220000 222	計測による解析結果の実証	720 720			222311 3	52312000-A220000			N			ES 29apr99 EF 17apr01 LS 23apr00 LF 12apr02	360
52314000-A221300 222	掘削工法、支保工法の最適化	360 360			222311 4	52313000-A220000			N			ES 18apr01 EF 12apr02 LS 8apr03 LF 1apr04	720 720
52314000-A221400 222	施工管理システムの最適化	360 360			222311 5	52313000-A220000			N			ES 18apr01 EF 12apr02 LS 8apr03 LF 1apr04	720 720
52315000-A221000 222	建設スペックの作成	720 720			222312	52313000-A220000			N			ES 18apr01 EF 7apr03 LS 13apr02 LF 1apr04	360 360
52313000-A222000 222	ENTRYで行った中規模試験結果の解析検討	360 360			222321 1	50000000-A555555			N			ES 9may97 EF 3may98 LS 4may98 LF 28apr99	360
52311000-A222000 222	実施計画	720 720			222321 2	52313000-A222000			N			ES 4may98 EF 22apr00 LS 29apr99 LF 17apr01	360
52314000-A222000 222	システムの最適化	720 720			222321 3	52311000-A222000			N			ES 23apr00 EF 12apr02 LS 18apr01 LF 7apr03	360
52315000-A222000 222	操業スペックの最適化	720 720			222322	52314000-A222000	360	S				ES 18apr01 EF 7apr03 LS 13apr02 LF 1apr04	360 360
52311000-A223000 222	実施計画	360 360			222331 1	50000000-A555555 52213000-A223100			N N			ES 9may97 EF 3may98 LS 4may98	360

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 カレ T 残り ン A 初期 ダ-C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
										LF 28apr99	
52312000-A223000 222	試験実施	720 720	222331 2	52311000-A223000		N				ES 4may98 EF 22apr00 LS 29apr99 LF 17apr01	360
52313000-A223000 222	計測による解析結果の実証	720 720	222331 3	52312000-A223000		N				ES 23apr00 EF 12apr02 LS 18apr01 LF 7apr03	360
52315000-A223000 222	閉鎖スペックの最適化	720 720	222332	52313000-A223000	360	S				ES 18apr01 EF 7apr03 LS 13apr02 LF 1apr04	360 360

アクティビティ コード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
60000000-C333333 性能評価研究の平成３年度中間報告作成	45			100333	62211000-C112320		N				ES 21feb92	-5
100	45			3	62212100-C110000		N		FL31mar92		EF 5apr92	
					62221100-C110000		N				LS 16feb92	
					62231100-C110000		N				LF 31mar92	
					62411510-C130000		N					
					62411530-C130000		N					
					63310000-C300000		N					
60000000-C555555 性能評価研究の平成８年度中間報告作成	45			100555	62141000-C112250		N				ES 26dec96	51
100	45			5	6221100-C1122111		N		FL31mar97		EF 8feb97	
					62211000-C112310		N				LS 15feb97	
					62211600-C111500		N				LF 31mar97	
					62211600-C112450		N					
					62211700-C111500		N					
					62211700-C112450		N					
					62211700-C112500		N					
					62211700-C121120		N					
					62211700-C121200		N					
					62211800-C112450		N					
					6223200-C1122111		N					
					62232000-C112213		N					
					62232000-C112320		N					
					62232260-C112310		N					
					62232270-C121120		N					
					62412430-C130000		N					
					63222000-C320000		N					
					63320000-C300000		N					
60000000-C999999 性能評価研究の作業終了（報告書作成）	90		E	100999	62211000-C122113		N				ES 3feb04	89
100	90			9	62211000-C122123		N		FL31jul04		EF 2may04	89
					62211000-C122140		N				LS 2may04	
					62211700-C122111		N				LF 30jul04	
					62211700-C122112		N					
					62232100-C122110		N					
					62232200-C121100		N					
					62232200-C121200		N					
					62232270-C112250		N					
					62232270-C112330		N					
					62232270-C112600		N					
					62232270-C122110		N					
					62233700-C110000		N					
					62313000-C110000		N					
					62313000-C120000		N					
					62413420-C130000		N					

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間 解析 日付	フロート トータル フリー
						63232000-C320000	N					
						63330000-C300000	N					
61111000-C300000	我が国の特徴的な事象・プロセス情報収集				111111	60000000-C000000	N				AS 1apr90	
111		30									AF 30apr90	
61112000-C300000	第１次事象・プロセスリストの作成				111112	61111000-C300000	N				AS 1may90	
111		30									AF 1may90	
61113100-C300000	専門家による第１次リストのレビュー	15			111121	61112000-C300000	N				AS 1jun90	10
111		60									EF 30jul90	
											LF 9aug90	
61113200-C300000	Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家のコメント集約	45			111122	61113100-C300000	S				AS 1jul90	10
111		60									EF 29aug90	
											LF 8sep90	
61211000-C300000	事象・プロセス間の関連の文献調査(1)	15			111131	61112000-C300000	N				AS 1jun90	10
111		60									EF 30jul90	
											LF 9aug90	
61215000-C300000	直接放出についてのインフルエンスダイアグラムの改訂	30			111132	61113200-C300000	F				ES 31jul90	10
111		30				61211000-C300000	N				EF 29aug90	
											LS 10aug90	
											LF 8sep90	
61213000-C300000	Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家の判断の集約	15			111133	61215000-C300000	N				ES 30aug90	10
111		15									EF 13sep90	
											LS 9sep90	
											LF 23sep90	
61218000-C300000	第１次イベントツリー作成	30			111134	61213000-C300000	N				ES 14sep90	10
111		30									EF 13oct90	
											LS 24sep90	
											LF 23oct90	
61232100-C300000	発端事象の明確化	15			111135	61218000-C300000	F				ES 29sep90	10
111		15									EF 13oct90	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間 解析 日付	フロート トータル フリー
											LS 9oct90 LF 23oct90	
61221000-C100000 111	事象・プロセスと多重バリアシステム性能の関連調査	30			111211	60000000-C000000	N				AS 1apr90 AF 30apr90	
61222000-C100000 111	Judgemental Methodによる専門家判断の集約	30			111212	61221000-C100000	N				AS 1may90 AF 31may90	
61215000-C100000 111	地下水移行第1次インフルエンスダイアグラムの作成	15			111213	61222000-C100000	N				AS 1jun90 AF 16jun90	
61231111-C100000 111	第1次シナリオにおける解析ケースの設定	15			111214	61215000-C100000	N				AS 1jun90 AF 16jun90	
61231112-C100000 111	その他のケースについての検討	255 270			111215	61231111-C100000	N				AS 1jul90 EF 27mar91 LF 21apr91	25
61231200-C200000 111	地下水以外の移行媒体のDELPHAI法シナリオ設定	45 90			11122	61215000-C100000	N				AS 1jun90 EF 29aug90 LF 23sep90	25
61121000-C300000 111	専門家グループによる第1次評価結果レビュ	180 180			111311	60000000-C333333	N				ES 6apr92 EF 2oct92 LS 4jul92 LF 30dec92	89
61122000-C300000 111	第1次事象・プロセスリスト改訂DELPHI法	30 30			111312	61121000-C300000	N				ES 3oct92 EF 1nov92 LS 31dec92 LF 29jan93	89
61123000-C300000 111	第2次事象・プロセスリストの作成	30 30			111313	61122000-C300000	N				ES 2nov92 EF 1dec92	89

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
												LS 30jan93 LF 28feb93	
61212000-C300000 111	新事象・プロセスての既往研究例の整理(2)	60 60			111321	61123000-C300000		N				ES 2dec92 EF 30jan93 LS 20jul96 LF 17sep96	1326
61214000-C300000 111	新事象・プロセスの専門家知見の集約(2)	60 60			111322	61212000-C300000		N				ES 31jan93 EF 31mar93 LS 18sep96 LF 16nov96	1326
61216000-C300000 111	直接放出の第２次ｲﾝﾌﾙｴﾝｽﾞｲｱｸﾞﾗﾑ作成	30 30			111323	61214000-C300000		N				ES 1apr93 EF 30apr93 LS 17nov96 LF 16dec96	1326
61219000-C300000 111	第２次イベントツリーの作成	30 30			111324	61216000-C300000		N				ES 1may93 EF 30may93 LS 17dec96 LF 15jan97	1326
61232200-C300000 111	確率論的評価のための直接放出ｼﾅﾘｵ明確化	30 30			111325	61219000-C300000		N				ES 31may93 EF 29jun93 LS 16jan97 LF 14feb97	1326 990
612311211-C11000 111	第1次ｲﾝﾌﾙｴﾝｽﾞｲｱｸﾞﾗﾑPASS試験計画装置設計	615 720			11141	60000000-C000000		N				AS 1apr90 EF 21mar92 LF 7dec92	261
612311212-C11000 111	ＰＡＳＳ試験装置製作	540 540			11142	612311211-C11000		N				ES 22mar92 EF 12sep93 LS 8dec92 LF 31may94	261
612311213-C11000 111	ＰＡＳＳ試験の実施	600 600			11143	612311212-C11000	270	S				ES 17dec92 EF 8aug94 LS 4sep93 LF 26apr95	261
612311214-C11000 111	ＰＡＳＳ試験結果に基づく詳細ｼﾅﾘｵ設定	360 360			11144	612311213-C11000		F				ES 14aug93 EF 8aug94	261 210

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
										LS	2may94	
										LF	26apr95	
61130000-C300000	事象・プロセスの見直し(2)	180		11151	60000000-C555555		N			ES	9feb97	119
111		180								EF	7aug97	
										LS	8jun97	
										LF	4dec97	
61217000-C300000	事象・プロセス間の第3次インフルエンスダイアグラム作成	180		11152	61130000-C300000		N			ES	8aug97	119
111		180								EF	3feb98	30
										LS	5dec97	
										LF	2jun98	
612311221-C12000	ファーフィールドシナリオの詳細化検討	720		11161	61123000-C300000		N			ES	2dec92	89
111		720								EF	21nov94	
										LS	1mar93	
										LF	18feb95	
612311222-C12000	ファーフィールドシナリオの原位置試験計画、装置設計	690		11162	612311221-C12000		N			ES	22nov94	89
111		690								EF	11oct96	
										LS	19feb95	
										LF	8jan97	
612311223-C12000	原位置試験の実施	1080		11163	612311222-C12000		N			ES	12oct96	89
111		1080								EF	26sep99	
										LS	9jan97	
										LF	24dec99	
612311224-C12000	原位置試験結果によるファーフィールド詳細シナリオ設定	390		11164	612311223-C12000		N			ES	27sep99	89
111		390								EF	20oct00	
										LS	25dec99	
										LF	17jan01	
63110000-C311000	文献調査			121111	60000000-C000000		N			AS	1apr90	
111		90								AF	30jun90	
63120000-C311000	Probability Encode法による主観確率定量化			121112	60000000-C000000		N			AS	1apr90	
111		60								AF	31may90	
63130000-C311000	調査結果の体系化とデータベース作成	15		121121	63110000-C311000		N			AS	1jul90	85
111		30								EF	30jul90	75

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
											LF 23oct90	
63110000-C312000	文献調査	720		12121	63210000-C320000		N				ES 12apr91	1056
111		720									EF 31mar93	
											LS 3mar94	
											LF 20feb96	
63120000-C312000	Probability Encode法による主観確率定量化	360		12122	63110000-C312000		F				ES 6apr92	1056
111		360									EF 31mar93	
											LS 26feb95	
											LF 20feb96	
63130000-C312000	結果のとりまとめとデータベース作成	360		12123	63120000-C312000		N				ES 1apr93	1056
111		360									EF 26mar94	720
											LS 21feb96	
											LF 14feb97	
63110000-C313000	文献調査	1080		12131	60000000-C333333	630	N				ES 27dec93	179
111		1080			63210000-C320000		N				EF 10dec96	
											LS 24jun94	
											LF 7jun97	
63120000-C313000	Probability Encode法による主観確率定量化	720		12132	63110000-C313000		N				ES 11dec96	179
111		720									EF 30nov98	
											LS 8jun97	
											LF 28may99	
63130000-C313000	動態的解析手法に対応する総合的データベース	360		12133	63120000-C313000		N				ES 1dec98	179
111		360									EF 25nov99	90
											LS 29may99	
											LF 22may00	
63210000-C320000	発端事象の発生確率の評価	180		1221	61232100-C300000		N				ES 14oct90	10
111		180			63120000-C311000		N				EF 11apr91	
					63130000-C311000		N				LS 24oct90	
											LF 21apr91	
63221100-C320000	既往の研究例の調査	360		122211	63210000-C320000		N				ES 12apr91	89
111		360									EF 5apr92	
											LS 10jul91	
											LF 3jul92	
63221200-C320000	モデル開発	720		122212	63221100-C320000		N				ES 6apr92	89
111		720									EF 26mar94	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	種類	日付	指定条件	時間解析日付	フロートトータルフリー
												LS 4jul92	
												LF 23jun94	
63222000-C320000	確率論的評価	720		12222	61232200-C300000		F					ES 27mar94	336
111		720			63130000-C312000		F					EF 15mar96	285
					63221200-C320000		N					LS 26feb95	
												LF 14feb97	
63231100-C320000	ダイレクトシュミレーション手法の調査	180		122311	63221200-C320000		N					ES 27mar94	89
111		180										EF 22sep94	
												LS 24jun94	
												LF 20dec94	
63231200-C320000	モデル改良	720		122312	63231100-C320000		N					ES 23sep94	449
111		720										EF 11sep96	360
												LS 16dec95	
												LF 4dec97	
63231300-C320000	その他のモデル開発	1080		122313	63231100-C320000		N					ES 23sep94	89
111		1080										EF 6sep97	
												LS 21dec94	
												LF 4dec97	
63231400-C320000	ダイレクトシュミレーション手法の決定	180		122314	63231200-C320000		N					ES 7sep97	89
111		180			63231300-C320000		N					EF 5mar98	
												LS 5dec97	
												LF 2jun98	
63231500-C320000	ダイレクトシュミレーションの開発	720		122315	61217000-C300000		N					ES 6mar98	89
111		720			63231400-C320000		N					EF 23feb00	
												LS 3jun98	
												LF 22may00	
63232000-C320000	ダイレクトシュミレーションの実績	1440		12232	63130000-C313000		N					ES 24feb00	89
111		1440			63231500-C320000		N					EF 2feb04	
												LS 23may00	
												LF 1may04	
63310000-C300000	第１期	300		12241	63210000-C320000		N					ES 12apr91	10
111		300										EF 5feb92	
												LS 22apr91	
												LF 15feb92	
63320000-C300000	第２期	1750		12242	63310000-C300000		N					ES 6feb92	86
111		1750										EF 20nov96	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
											LS 2may92 LF 14feb97	
63330000-C300000 111	第３期	2520 2520		12243	63320000-C300000			N			ES 21nov96 EF 15oct03 LS 8jun97 LF 1may04	199 110
62130000-C111100 111	熱的条件に係わる概念モデル見直し	60		131111 1	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62130000-C111200 111	応力条件に係わる概念モデル見直し	60		131111 2	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62130000-C111300 111	放射線学的条件に係わる概念モデル見直し	60		131111 3	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62130000-C111500 111	水理条件に係わる概念モデル見直し	60		131111 4	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62130000-C112120 111	緩衝材の熱変質に係わる概念モデル	60		131111 5	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62130000-C112130 111	緩衝材による地下水の化学変化概念モデル	60		131111 6	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62131000-C112110 111	人工バリア再冠水時間の概念モデル見直し	60		131112	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	
62131000-C112211 111	炭素鋼オーバーパックの腐食概念モデル作成	60		131113	60000000-C000000			N			AS 1apr90 AF 31may90	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62130000-C112310	ガラス溶解の概念モデル見直し			131114	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60		1						AF 31may90	
62131000-C112320	核種の溶解の概念モデル見直し			131114	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60		2						AF 31may90	
62131000-C112430	緩衝材中の核種拡散の概念モデル見直し			131115	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60		1						AF 31may90	
62131000-C112450	緩衝材中の核種の吸着の概念モデル見直し			131115	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60		2						AF 31may90	
62131000-C112500	周辺母岩中の核種移行概念モデル作成			131116	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60								AF 31may90	
62133000-C110000	変動ｼﾅﾘｵ概念モデル作成			131117	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		30								AF 30apr90	
62143110-C110000	AREST-PNC（デザインバージョン）の試算			131118	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60		1						AF 31may90	
62143120-C110000	ＰＡＲバージョン作成	165		131118	62130000-C111100		N			AS 1jun90	-140
111		210		2	62130000-C111200		N			EF 27dec90	-165
					62130000-C111300		N				
					62130000-C111500		N			LF 9aug90	
					62130000-C112120		N				
					62130000-C112130		N				
					62130000-C112310		N				

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード	ラグ	方法	****指定条件**** カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
						62131000-C112110		N					
						62131000-C112211		N					
						62131000-C112320		N					
						62131000-C112430		N					
						62131000-C112450		N					
						62131000-C112500		N					
						62133000-C110000		N					
						62143110-C110000		N					
62130000-C111600	熱－応力－水理条件に係る概念モデル見直し	540			131121	62111000-C111420		N				ES 22mar92	591
111		540			1							EF 12sep93	
												LS 3nov93	
												LF 26apr95	
62130000-C111420	Redox-frontに関する概念モデル作成	720			131121	62111000-C111420	255	S				ES 28mar91	591
111		720			21							EF 16mar93	
												LS 8nov92	
												LF 28oct94	
62111000-C111420	地下水の放射線分解に係わる予備的試験	615			131121	60000000-C000000		N				AS 1apr90	591
111		720			22							EF 21mar92	
												LF 2nov93	
62111100-C112130	試験設計	75			131121	60000000-C000000		N				AS 1apr90	591
111		180			31							EF 28sep90	
												LF 11may92	
62111200-C112130	装置製作	180			131121	62111100-C112130		N				ES 29sep90	591
111		180			32							EF 27mar91	
												LS 12may92	
												LF 7nov92	
62111300-C112130	試験の実施	720			131121	62111200-C112130		N				ES 28mar91	591
111		720			33							EF 16mar93	
												LS 8nov92	
												LF 28oct94	
62111400-C112130	試験結果と第１次解析モデルとの比較改良	180			131121	62111300-C112130		N				ES 17mar93	591
111		180			34							EF 12sep93	
												LS 29oct94	
												LF 26apr95	
62111100-C111410	試験設計	75			131121	60000000-C000000		N				AS 1apr90	231

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		180			41						EF 28sep90		
											LF 17may91		
62111200-C111410	装置製作	180			131121	62111100-C111410		N			ES 29sep90		231
111		180			42						EF 27mar91		
											LS 18may91		
											LF 13nov91		
62111300-C111410	試験の実施	720			131121	62111200-C111410		N			ES 28mar91		231
111		720			43						EF 16mar93		
											LS 14nov91		
											LF 2nov93		
62111400-C111410	試験結果と第１次解析モデルとの比較改良	180			131121	62111300-C111410		N			ES 17mar93		231
111		180			44						EF 12sep93		180
											LS 3nov93		
											LF 1may94		
621140-C11221121	バクテリア腐食の影響に関する文献調査検討	615			131121	60000000-C000000		N			AS 1apr90		51
111		720			51						EF 21mar92		
											LF 11may92		
621110-C11221122	ＳＣＣの影響に関する応力負荷腐食試験	360			131121	621140-C11221121		N			ES 22mar92		51
111		360			52						EF 16mar93		
											LS 12may92		
											LF 6may93		
621110-C11221123	マクロセル形成の影響に関する大型試験	1080			131121	621140-C11221121		N			ES 22mar92		51
111		1080			53						EF 6mar95		
											LS 12may92		
											LF 26apr95		
6213200-C1122112	炭素鋼の局部腐食詳細概念モデル作成	360			131121	621110-C11221122		N			ES 17mar93		51
111		360			54						EF 11mar94		
											LS 7may93		
											LF 1may94		
62111310-C112212	再不動態化法すきま腐食発生限界条件測定	975			131121	60000000-C000000		N			AS 1apr90		51
111		1080			61						EF 16mar93		
											LF 6may93		
62111320-C112212	雰囲気制御下でのすきま腐食限界	1080			131121	60000000-C000000	195	N			ES 27jan91		111

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA-C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		1080			62							EF 10jan94 LS 18may91 LF 1may94	60
62111330-C112212 111	侵漬試験との一致性試験	1080 1080			131121 63	60000000-C000000	195	N				ES 27jan91 EF 10jan94 LS 18may91 LF 1may94	111 60
62130000-C112212 111	チタンの腐食についての概念モデル作成	360 360			131121 64	62111310-C112212		N				ES 17mar93 EF 11mar94 LS 7may93 LF 1may94	51
62114000-C112213 111	海外の研究事例の調査	75 180			131121 71	60000000-C000000		N				AS 1apr90 EF 28sep90 LF 12mar92	531
62111000-C112213 111	影響因子パラメータ試験	720 720			131121 72	62114000-C112213		N				ES 29sep90 EF 17sep92 LS 13mar92 LF 2mar94	531
62111000-C112110 111	熱－水理連成試験	975 1080			131121 81	60000000-C000000		N				AS 1apr90 EF 16mar93 LF 6may93	51
62131200-C112110 111	気液二相流の概念モデル作成	720 720			131121 82	62111000-C112110	615	S				ES 22mar92 EF 11mar94 LS 12may92 LF 1may94	51
62131000-C112230 111	金属腐食への微生物の影響概念モデル作成	720 720			131121 9	62131200-C112110		S				ES 22mar92 EF 11mar94 LS 12may92 LF 1may94	51
62131000-C112240 111	金属腐食への有機物の影響概念モデル作成	720 720			131121 A	62131000-C112230		S			EF 11mar94	ES 22mar92 LS 12may92 LF 1may94	51
62132000-C112251	ガス発生の概念モデル作成	1080			131121	60000000-C000000	195	N				ES 27jan91	1131

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間 解析 日付	フロート トータル フリー
111		1080			B1						EF 10jan94	360	
											LS 3mar94		
											LF 14feb97		
6211100-C1122521	水素放出メカニズムの把握	1800			131121	60000000-C000000	195	N			ES 27jan91		471
111		1800			B2						EF 31dec95		
											LS 12may92		
											LF 15apr97		
6211100-C1122522	水素ガス存在下での炭素鋼の挙動把握	360			131121	6211100-C1122521	720	S			ES 16jan93		771
111		360			B3						EF 10jan94		
											LS 26feb95		
											LF 20feb96		
6211100-C1122523	水素ガス放出後の水理への影響の把握	360			131121	6211100-C1122522		N			ES 11jan94		771
111		360			B4						EF 5jan95		
											LS 21feb96		
											LF 14feb97		
62131000-C112252	水素ガス発生の影響概念モデル作成	360			131121	6211100-C1122522		N			ES 11jan94		771
111		360			B5						EF 5jan95		
											LS 21feb96		
											LF 14feb97		
62130000-C112220	金属腐食に伴う地下水変化概念モデル見直し	720			131121	62131000-C112211	195	N			ES 27jan91		291
111		720			C						EF 15jan93	240	
											LS 14nov91		
											LF 2nov93		
62132000-C112300	ガラス固化体からの核種放出モデルの改良	720			131121	62130000-C112310	195	N			ES 27jan91		291
111		720			D						EF 15jan93	240	
											LS 14nov91		
											LF 2nov93		
62132000-C112430	有効空隙．ベントナイト中定常拡散概念モデル	720			131121	62131000-C112430	195	N			ES 27jan91		291
111		720			E1						EF 15jan93	240	
											LS 14nov91		
											LF 2nov93		
62132000-C112450	吸着平衡．ベントナイト中非定常拡散概念モデル	720			131121	62131000-C112450	195	N			ES 27jan91		291
111		720			E2						EF 15jan93	240	
											LS 14nov91		
											LF 2nov93		
62111000-C112330	コロイド生成メカニズムとその基本物性の調査研究	975			131121	60000000-C000000		N			AS 1apr90		104

アクティビティコード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 残り / 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル / フリー
111	1080			F1						EF 16mar93		
										LF 28jun93		
62130000-C112330 コロイド移動機構のモデル化	1080			131121	62111000-C112330	255	S			ES 28mar91		104
111	1080			F2						EF 11mar94		
										LS 10jul91		
										LF 23jun94		
62132000-C112500 周辺母岩中の核種移行概念モデル見直し	1335			131121	62111000-C112330		S			AS 1apr90		104
111	1440			G						EF 11mar94		
										LF 23jun94		
62142000-C111400 ＥＱ３／６と物質移行解析モデルとの連成	720			131122	62143120-C110000		N			ES 28dec90		321
111	720			1						EF 16dec92		270
										LS 14nov91		
										LF 2nov93		
62143130-C110000 ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣシステムバージョン作成	360			131122	62143120-C110000		N			ES 28dec90		681
111	360			2						EF 22dec91		
										LS 8nov92		
										LF 2nov93		
62143140-C110000 第２次ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣのコード化	540			131122	621110-C11221123		F			ES 13sep93		51
111	540			3	62111320-C112212	360	F			EF 6mar95		
					62111330-C112212	360	F			LS 3nov93		
					62111400-C111410	360	F			LF 26apr95		
					62130000-C112212	360	F					
					62130000-C112220		N					
					62131000-C112240	360	F					
					62131200-C112110	360	F					
					6213200-C1122112	360	F					
					62132000-C112300		N					
					62132000-C112430		N					
					62132000-C112450		N					
					62142000-C111400		N					
					62143130-C110000		N					
62141000-C112330 コロイド生成解析モデル開発	540			131123	62130000-C112330	180	F			ES 17mar93		104
111	540				62132000-C112500	180	F			EF 7sep94		
										LS 29jun93		
										LF 20dec94		
62141000-C112230 微生物の影響解析モデル開発	540			131124	62131000-C112230	360	S			ES 17mar93		104

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		540										EF 7sep94 LS 29jun93 LF 20dec94	
62141000-C112240	有機物の影響解析モデル開発	540			131125	621140-C11221121		N				ES 22mar92	464
111		540										EF 12sep93 LS 29jun93 LF 20dec94	360
62141000-C112250	ガス発生の影響解析モデル開発	720			131126	6211100-C1122521	720	S				ES 16jan93	771
111		720				6211100-C1122523		F				EF 5jan95	720
						62131000-C112252		F				LS 26feb95	
						62132000-C112251		F				LF 14feb97	
62141000-C111600	連成解析モデル改良とコード化	810			131127	62111400-C112130		F				ES 26jun91	591
111		810			1	62130000-C111600		F				EF 12sep93 LS 6feb93 LF 26apr95	540
62141000-C111420	概念モデルに基づく放射線分解モデルの改良	540			131127	62130000-C111420	180	F				ES 22mar92	591
111		540			2							EF 12sep93 LS 3nov93 LF 26apr95	540
62211000-C112320	ＣＯ2が存在しない場合．Ａm溶解度試験	255			131211	60000000-C000000		N				AS 1apr90	325
111		360			1							EF 27mar91 LF 15feb92	
62212100-C110000	理論の適合性についての科学的判断	255			131212	60000000-C000000		N				AS 1apr90	325
111		360										EF 27mar91 LF 15feb92	330
62221100-C110000	時間に依存せずに成立する評価手法の明示(1	255			131213	60000000-C000000		N				AS 1apr90	325
111		360										EF 27mar91 LF 15feb92	330
62231100-C110000	相互作用を無視できるﾌﾟﾛｾｽの組合せ明示(1)	255			131214	60000000-C000000		N				AS 1apr90	325
111		360										EF 27mar91 LF 15feb92	330
6221100-C1122111	腐食性物質供給律速の雰囲気制御腐食試験	720			131221	62131000-C112211	195	N				ES 27jan91	1491

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		720			1						EF 15jan93 LS 26feb95 LF 14feb97	1440
6223200-C1122111	圧縮ベントナイト共存下での腐食メカニズム試験	1695			131221	60000000-C000000		N			AS 1apr90	711
111		1800			2						EF 6mar95 LF 14feb97	660
62232000-C112213	銅の腐食モデルについての確証	1080			131222	62111000-C112213		N			ES 18sep92	531
111		1080									EF 2sep95 LS 3mar94 LF 14feb97	480
62232000-C112320	溶解度限界放出仮定についての確証試験(2)	1080			131223	62211000-C112320		N			ES 28mar91	1071
111		1080									EF 11mar94 LS 3mar94 LF 14feb97	1020
62220000-C112310	天然ガラスナチュラルアナログ研究	180			131224	60000000-C000000	75	N			ES 29sep90	51
111		180			1						EF 27mar91 LS 19nov90 LF 17may91	
62232210-C112310	確証試験計画	180			131224	62220000-C112310		S			ES 29sep90	51
111		180			2						EF 27mar91 LS 19nov90 LF 17may91	
62232230-C112310	確証試験設備設計	300			131224	62232210-C112310		N			ES 28mar91	51
111		300			3						EF 21jan92 LS 18may91 LF 12mar92	
62232250-C112310	確証試験設備製作	300			131224	62232210-C112310		N			ES 28mar91	51
111		300			4						EF 21jan92 LS 18may91 LF 12mar92	
62211000-C112310	素反応の仮定に対する確証	720			131224	62232230-C112310		N			ES 22jan92	51
111		720			5	62232250-C112310		N			EF 10jan94 LS 13mar92 LF 2mar94	
62232260-C112310	複合系での確証試験	1440			131224	62211000-C112310	360	S			ES 16jan93	51

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
111		1440			6							EF 25dec96 LS 8mar93 LF 14feb97	
62211100-C112450	線型の吸着モデルの妥当性の確証試験計画	120			131225	62131000-C112450	195	N				ES 27jan91	1191
111		120			1							EF 26may91 LS 2may94 LF 29aug94	
62211500-C112450	線型吸着モデルの妥当性確証試験設備の設計	180			131225	62211100-C112450		N				ES 27may91	1191
111		180			2							EF 22nov91 LS 30aug94 LF 25feb95	
62211600-C112450	線型の吸着モデルの妥当性の確証試験実施	720			131225	62211500-C112450		N				ES 23nov91	1191
111		720			3							EF 11nov93 LS 26feb95 LF 14feb97	1140
62211100-C112440	表面拡散モデルの妥当性確証試験計画作成	120			131225	62131000-C112430	405	N				ES 25aug91	801
111		120			4							EF 22dec91 LS 3nov93 LF 2mar94	
62211500-C112440	表面拡散モデルの妥当性確証試験設備の設計	360			131225	62211100-C112440		N				ES 23dec91	801
111		360			5							EF 16dec92 LS 3mar94 LF 25feb95	
62211600-C112440	表面拡散モデルの妥当性確証試験実施	720			131225	62211500-C112440		N				ES 17dec92	801
111		720			6							EF 6dec94 LS 26feb95 LF 14feb97	
62211700-C112450	核種吸着についての結果のとりまとめ	180			131225	62211600-C112440		F				ES 10jun94	801
111		180			7							EF 6dec94 LS 19aug96 LF 14feb97	750
62211800-C112450	表面拡散についての結果のとりまとめ	180			131225	62211600-C112440		F				ES 10jun94	801
111		180			8							EF 6dec94 LS 19aug96 LF 14feb97	750
62211100-C111500	確証試験計画作成	90			131226	62130000-C111500		N				ES 16jul90	876

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
111		90			1							EF 13oct90 LS 8dec92 LF 7mar93	
62211200-C111500	事前解析	300			131226	62211100-C111500	30	N				ES 13nov90	906
111		300			2							EF 8sep91 LS 7may93 LF 2mar94	30
62211300-C111500	装置設計	180			131226	62211100-C111500	180	N				ES 12apr91	876
111		180			3							EF 8oct91 LS 4sep93 LF 2mar94	
62211400-C111500	試験設計	180			131226	62211100-C111500	180	N				ES 12apr91	876
111		180			4							EF 8oct91 LS 4sep93 LF 2mar94	
62211500-C111500	試験設備製作	1080			131226	62211200-C111500		N				ES 9oct91	876
111		1080			5	62211300-C111500		N				EF 22sep94	
						62211400-C111500		N				LS 3mar94 LF 14feb97	
62211600-C111500	実施試験	720			131226	62211500-C111500	360	S				ES 3oct92	876
111		720			6							EF 22sep94 LS 26feb95 LF 14feb97	
62211700-C111500	結果のとりまとめ	540			131226	62211600-C111500	180	S				ES 1apr93	876
111		540			7							EF 22sep94 LS 25aug95 LF 14feb97	825
62211100-C112500	確証試験計画作成	90			131227	62131000-C112500		N				ES 16jul90	156
111		90			1							EF 13oct90 LS 19dec90 LF 18mar91	
62211200-C112500	事前解析の実施	300			131227	62211100-C112500	30	N				ES 13nov90	186
111		300			2							EF 8sep91 LS 18may91 LF 12mar92	30
62211300-C112500	装置設計	180			131227	62211100-C112500	180	N				ES 12apr91	156

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		180			3						EF 8oct91 LS 15sep91 LF 12mar92		
62211400-C112500	試験設計	180			131227	62211100-C112500	180	N			ES 12apr91		156
111		180			4						EF 8oct91 LS 15sep91 LF 12mar92		
62211500-C112500	試験設備作成	360			131227	62211200-C112500	720	N			ES 28sep93		156
111		360			5	62211300-C112500	720	N			EF 22sep94		
						62211400-C112500	720	N			LS 3mar94 LF 25feb95		
62211600-C112500	検証試験	720			131227	62211500-C112500		N			ES 23sep94		156
111		720			6						EF 11sep96 LS 26feb95 LF 14feb97		
62211700-C112500	結果のとりまとめ	360			131227	62211600-C112500		F			ES 18sep95		156
111		360			7						EF 11sep96 LS 21feb96 LF 14feb97		105
62232210-C112330	確証試験計画の作成	180			131231	62141000-C112330		N			ES 8sep94		104
111		180			1						EF 6mar95 LS 21dec94 LF 18jun95		
62232220-C112330	事前解析	360			131231	62232210-C112330		N			ES 7mar95		104
111		360			2						EF 29feb96 LS 19jun95 LF 12jun96		
62232230-C112330	設備設計	360			131231	62232220-C112330		N			ES 1mar96		104
111		360			3						EF 23feb97 LS 13jun96 LF 7jun97		
62232240-C112330	試験設計	360			131231	62232220-C112330		N			ES 1mar96		104
111		360			4						EF 23feb97 LS 13jun96 LF 7jun97		
62232250-C112330	設備製作	360			131231	62232230-C112330		N			ES 24feb97		104

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		360		5	62232240-C112330		N			EF 18feb98 LS 8jun97 LF 2jun98		
62232260-C112330	試験実施	2160		131231	62232250-C112330		N			ES 19feb98		104
111		2160		6						EF 18jan04 LS 3jun98 LF 1may04		
62232270-C112330	結果のとりまとめ	360		131231	62232260-C112330		F			ES 24jan03		104
111		360		7						EF 18jan04 LS 8may03 LF 1may04		15
62232210-C112600	確証試験計画の作成	180		131232	62141000-C112230		N			ES 8sep94		104
111		180		1	62141000-C112240		N			EF 6mar95 LS 21dec94 LF 18jun95		
62232220-C112600	事前解析	360		131232	62232210-C112600		N			ES 7mar95		104
111		360		2						EF 29feb96 LS 19jun95 LF 12jun96		
62232230-C112600	試験設備設計	360		131232	62232220-C112600		N			ES 1mar96		104
111		360		3	62232240-C112600		N			EF 23feb97 LS 13jun96 LF 7jun97		
62232240-C112600	試験設計	360		131232	62232210-C112600		N			ES 7mar95		104
111		360		4						EF 29feb96 LS 19jun95 LF 12jun96		
62232250-C112600	設備製作	360		131232	62232230-C112600		N			ES 24feb97		104
111		360		5						EF 18feb98 LS 8jun97 LF 2jun98		
62232260-C112600	試験実施	2160		131232	62232250-C112600		N			ES 19feb98		104
111		2160		6						EF 18jan04 LS 3jun98 LF 1may04		
62232270-C112600	結果のとりまとめ	360		131232	62232260-C112600		F			ES 24jan03		104

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダ-C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
111	360		7							EF 18jan04 LS 8may03 LF 1may04	15
62232210-C112250 確証試験計画の作成	270		131233	60000000-C333333	360	N				ES 1apr93	899
111	270		1							EF 26dec93 LS 17sep95 LF 12jun96	
62232220-C112250 事前解析	360		131233	62232210-C112250		N				ES 27dec93	899
111	360		2							EF 21dec94 LS 13jun96 LF 7jun97	
62232230-C112250 試験設備設計	360		131233	62232220-C112250		N				ES 22dec94	899
111	360		3							EF 16dec95 LS 8jun97 LF 2jun98	
62232240-C112250 試験設計	360		131233	62232220-C112250		N				ES 22dec94	899
111	360		4							EF 16dec95 LS 8jun97 LF 2jun98	
62232250-C112250 試験設備製作	360		131233	62232230-C112250		N				ES 17dec95	899
111	360		5	62232240-C112250		N				EF 10dec96 LS 3jun98 LF 28may99	
62232260-C112250 確証試験実施	1800		131233	62232250-C112250		N				ES 11dec96	899
111	1800		6							EF 14nov01 LS 29may99 LF 1may04	
62232270-C112250 結果のとりまとめ	360		131233	62232260-C112250		F				ES 20nov00	899
111	360		7							EF 14nov01 LS 8may03 LF 1may04	810
62233100-C110000 確証試験計画の作成	300		131234	62143130-C110000	540	N				ES 15jun93	794
111	300		1							EF 10apr94 LS 18aug95 LF 12jun96	
62233200-C110000 事前解析	180		131234	62233100-C110000	180	N				ES 8oct94	794

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析 日付	フロートトータル フリー
111		180			2							EF 5apr95 LS 10dec96 LF 7jun97	
62233300-C110000	試験設備設計	180			131234	62233200-C110000			N			ES 6apr95	794
111		180			3							EF 2oct95 LS 8jun97 LF 4dec97	
62233400-C110000	試験設計	180			131234	62233200-C110000			N			ES 6apr95	794
111		180			4							EF 2oct95 LS 8jun97 LF 4dec97	
62233500-C110000	試験設備製作	540			131234	62233300-C110000			N			ES 3oct95	794
111		540			5	62233400-C110000			N			EF 25mar97 LS 5dec97 LF 28may99	
62233600-C110000	確証試験実施	1800			131234	62233500-C110000			N			ES 26mar97	794
111		1800			6							EF 27feb02 LS 29may99 LF 1may04	
62233700-C110000	結果のとりまとめ	720			131234	62233600-C110000			F			ES 10mar00	794
111		720			7							EF 27feb02 LS 13may02 LF 1may04	705
62340000-C111100	熱的条件に係わる入力データ整理				131311	60000000-C000000			N			AS 1apr90	
111		60			1							AF 31may90	
62340000-C111200	応力条件に係わる入力データ整理				131311	60000000-C000000			N			AS 1apr90	
111		60			2							AF 31may90	
62340000-C111300	放射線学的条件に係わる入力データ整理				131311	60000000-C000000			N			AS 1apr90	
111		60			3							AF 31may90	
62340000-C111500	水理条件に係わる入力データ整理				131311	60000000-C000000			N			AS 1apr90	

アクティビティコード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 / 残り / 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード****	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル	フロートフリー
111	60			4						AF 31may90			
62340000-C112130 緩衝材との反応による地下水化学変化データ				131311	60000000-C000000		N			AS 1apr90			
111	60			5						AF 31may90			
62340000-C112120 緩衝材の熱変質予測に係わる入力データ整理				131311	60000000-C000000		N			AS 1apr90			
111	60			6						AF 31may90			
62411610-C111000 TEMPEST,orig及びEQ3/6用計算				131311	60000000-C000000		N			AS 1apr90			
111	90			7						AF 30jun90			
62411620-C111000 AREST-PNC評価用ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ条件ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ計算	15			131311	62411610-C111000		N			AS 1jul90		10	
111	30			8						EF 30jul90		-15	
										LF 9aug90			
62340000-C112110 人工バリア再冠水に係わる入力データ整理				131312	60000000-C000000		N			AS 1apr90			
111	60									AF 31may90			
62340000-C112210 既存データの整理				131313	60000000-C000000		N			AS 1apr90			
111	60			1						AF 31may90			
62311000-C112210 概括的評価に係わるデータ取得				131313	60000000-C000000		N			AS 1apr90		25	
111	180			2						EF 15jul90			
										LF 9aug90			
62340000-C112220 ｵｰﾊﾞｰﾊﾟｯｸ腐食に伴う地下水変化のデータ整				131313	60000000-C000000		N			AS 1apr90			
111	60			3						AF 31may90			
62340000-C112310 ガラス溶解に係わる入力データの整理				131314	60000000-C000000		N			AS 1apr90			

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ コード	ラグ	カレンダー	****指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
111		60									AF 31may90	
62311000-C112320	核種の溶解に係る入力データの取得、整理	15			131315	60000000-C000000		N			AS 1apr90	10
111		120									EF 30jul90	-15
											LF 9aug90	
62340000-C112430	緩衝材中の核種拡散に係わる入力データ整理				131316	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60			1						AF 31may90	
62340000-C112450	緩衝材中の核種吸着に係わる入力データ整理				131316	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60			2						AF 31may90	
62311000-C112400	緩衝材中の核種移行に係る補足データ取得	195			131316	62340000-C112430		N			AS 1jun90	-170
111		240			3						EF 26jan91	-195
											LF 9aug90	
62340000-C112500	周辺母岩中の核種移行に係る入力データ整理				131317	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60									AF 31may90	
62351100-C110000	概括的入力データセット整理	165			131318	62340000-C112500		N			AS 1jun90	-140
111		210									EF 27dec90	-165
											LF 9aug90	
62340000-C111600	熱－水理－応力条件に係わる入力データ整理	360			131321	62340000-C111100	900	N			ES 1jan93	486
111		360									EF 26dec93	435
											LS 2may94	
											LF 26apr95	
62340000-C111420	地下水に及ぼす放射線分解に係る既存データ	360			131322	62340000-C111300	540	N			ES 7jan92	846
111		360			1						EF 31dec92	795
											LS 2may94	
											LF 26apr95	
62310000-C111420	補足データ取得	720			131322	62340000-C111300	540	N			ES 7jan92	486

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析 日付	フロートトータル フリー
111		720			2							EF 26dec93	435
												LS 7may93	
												LF 26apr95	
62312000-C112130	緩衝材による地下水化学変化のデータ取得	1080			131323	62340000-C112130	540	N				ES 7jan92	126
111		1080										EF 21dec94	75
												LS 12may92	
												LF 26apr95	
62312000-C112120	等温反応試験による変質速度評価	1335			131324	60000000-C000000		N				AS 1apr90	411
111		1440			1							EF 11mar94	360
												LF 26apr95	
62320000-C112120	天然ベントナイト鉱床における変質評価	1335			131324	60000000-C000000		N				AS 1apr90	411
111		1440			2							EF 11mar94	360
												LF 26apr95	
62312000-C111410	ニアフィールド.周辺母岩による地下水変質データ	1080			131325	62340000-C112500	510	N				ES 8dec91	156
111		1080										EF 21nov94	105
												LS 12may92	
												LF 26apr95	
62312000-C112110	人工バリア再冠水に係わる入力データ取得	1080			131326	62340000-C112110	540	N				ES 7jan92	126
111		1080										EF 21dec94	75
												LS 12may92	
												LF 26apr95	
623110-C11221111	酸素消費型全面腐食データ取得	720			131327	62311000-C112210	540	N				ES 7jan92	486
111		720			1							EF 26dec93	435
												LS 7may93	
												LF 26apr95	
623110-C11221112	水素発生型全面腐食データ取得	720			131327	62311000-C112210	540	N				ES 7jan92	486
111		720			2							EF 26dec93	435
												LS 7may93	
												LF 26apr95	
62311-C112211241	酸素消費型孔食データ取得	1080			131327	62311000-C112210	270	N				ES 12apr91	396
111		1080			3							EF 26mar94	345
												LS 12may92	
												LF 26apr95	
62311-C112211242	水素発生型孔食データ取得	1080			131327	62311000-C112210	270	N				ES 12apr91	396

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間 解析 日付	フロート トータル フリー
111		1080			4							EF 26mar94 LS 12may92 LF 26apr95	345
623110-C11221121	ＳＣＣ発生条件に係わるデータ取得	720			131327	62311000-C112210	540	N				ES 7jan92	486
111		720			5							EF 26dec93 LS 7may93 LF 26apr95	435
623110-C11221122	バクテリア腐食評価に係わるデータ取得	720			131327	62311000-C112210	900	N				ES 1jan93	126
111		720			6							EF 21dec94 LS 7may93 LF 26apr95	75
62310000-C112213	銅オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	720			131328	62311000-C112210	900	N				ES 1jan93	126
111		720										EF 21dec94 LS 7may93 LF 26apr95	75
62310000-C112212	チタンオーバパックの腐食に係わる入力データ取得	1080			131329	62311000-C112210		N				ES 16jul90	666
111		1080										EF 29jun93 LS 12may92 LF 26apr95	615
62311000-C112220	金属腐食に伴う地下水化学変化データ取得	1080			13132A	62340000-C112220		N				ES 16jul90	666
111		1080										EF 29jun93 LS 12may92 LF 26apr95	615
62310000-C112230	金属腐食への微生物の影響解析データ取得	720			13132B	62311000-C112210	900	N				ES 1jan93	126
111		720										EF 21dec94 LS 7may93 LF 26apr95	75
62310000-C112240	金属腐食への有機物の影響解析データ取得	720			13132C	62311000-C112210	900	N				ES 1jan93	126
111		720										EF 21dec94 LS 7may93 LF 26apr95	75
62310000-C112251	水素ガスの発生速度評価	360			13132D	6211100-C1122521	720	S				ES 16jan93	471
111		360			1							EF 10jan94 LS 2may94 LF 26apr95	420
62310000-C112252	水素ガスの影響評価	360			13132D	6211100-C1122521	720	S				ES 16jan93	471

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		360			2							EF 10jan94 LS 2may94 LF 26apr95	420
62310000-C112313	ガラス固化体のｵｰﾊﾞﾊﾟｯｸ材反応の入力データ	1080			13132E	62340000-C112310	180	N				ES 12jan91	486
111		1080										EF 26dec93 LS 12may92 LF 26apr95	435
62310000-C112311	ガラス固化体の核種選択的放出データ取得	1080			13132F	62340000-C112310	180	N				ES 12jan91	486
111		1080										EF 26dec93 LS 12may92 LF 26apr95	435
62312000-C112321	代表アクチニド系関係の熱力学的データ取得	360			13132G	62311000-C112320	180	N				ES 27jan91	111
111		360			1							EF 21jan92 LS 18may91 LF 11may92	
62312000-C112322	その他のアクチニド系関係の熱的データ取得	1080			13132G	62312000-C112321		N				ES 22jan92	111
111		1080			2							EF 5jan95 LS 12may92 LF 26apr95	60
62312000-C112323	難溶解性核分裂生成物の溶解の熱力学データ	1080			13132G	62312000-C112321		N				ES 22jan92	111
111		1080			3							EF 5jan95 LS 12may92 LF 26apr95	60
62310000-C112330	コロイド生成についての入力データ取得	720			13132G	62312000-C112321		N				ES 22jan92	471
111		720			4							EF 10jan94 LS 7may93 LF 26apr95	420
62310000-C112340	微生物・有機物の核種溶解影響の入力データ	1080			13132G	62312000-C112321		N				ES 22jan92	111
111		1080			5							EF 5jan95 LS 12may92 LF 26apr95	60
62312000-C112400	人工ﾊﾞﾘｱ.核種移行データ見直し.追加データ	1080			13132H	62351100-C110000		N				ES 28dec90	501
111		1080										EF 11dec93 LS 12may92 LF 26apr95	450
62312000-C112500	周辺母岩.核種移行データ見直し.追加データ	1440			13132I	62351100-C110000		N				ES 28dec90	141

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		1440									EF 6dec94 LS 18may91 LF 26apr95	
62313000-C110000	人工バリア変更.ニアフィールド条件詳細化データ見直し	2880			131331	62312000-C112500		N			ES 7dec94	554
111		2880									EF 25oct02 LS 13jun96 LF 1may04	465
62341100-C121200	文献調査による既存データの収集				132111	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60			1						AF 31may90	
62342000-C121200	文献調査による既存データの専門家知見集約				132111	62341100-C121200		S			AS 1may90	
111		30			2						AF 31may90	
62352100-C121200	保存的データセットの作成				132111	62342000-C121200		N			AS 1jun90	
111		30			3						AF 1jul90	
62341100-C121100	既存データ測定方法.測定地点分布パラメタ値明確				132112	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60			1						AF 31may90	
62341200-C121100	パラメタと地質学条件の相関検討.組合せ明確化				132112	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60			2						AF 31may90	
62352100-C121100	保存的データセットの作成				132112	62341100-C121100		N			AS 1jun90	
111		30			3	62341200-C121100		N			AF 1jul90	810
62341100-C122132	既存データの長さ等に従う分類				132113	60000000-C000000		N			AS 1apr90	
111		60			1						AF 31may90	
62341300-C122132	回帰分析				132113	60000000-C000000		N			AS 1apr90	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
111		60			2					AF 31may90		
62352100-C122132	保守的数値の設定				132113	62341100-C122132		N		AS 1jun90		
111		30			3	62341300-C122132		N		AF 1jul90		810
62341100-C122133	既存データ測定例での鉱物組成、地下水状態				132114	60000000-C000000		N		AS 1apr90		
111		60								AF 31may90		
62341300-C122133	回帰分析				132115	60000000-C000000		N		AS 1apr90		
111		60								AF 31may90		
62352100-C122133	保守的数値の設定				132116	62341100-C122133		N		AS 1jun90		
111		30				62341300-C122133		N		AF 1jul90		
62341100-C122134	既存データの岩種・亀裂周辺の状態分類				132121	60000000-C000000		N		AS 1apr90		
111		60			1					AF 31may90		
62352100-C122134	保守的数値の設定				132121	62341100-C122134		N		AS 1jun90		
111		30			2					AF 1jul90		
62341400-C122131	感度解析	75			132121	60000000-C000000		N		AS 1apr90		-5
111		180			3					EF 28sep90		
										LF 23sep90		
62352100-C122131	保守的条件の設定				132122	62341400-C122131		S		AS 1jun90		
111		30			1					AF 1jul90		
62312100-C121210	データ取得項目の明確化	60			132122	62132000-C121200		N		ES 20jul92		141

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	指定条件 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		60			2							EF 17sep92 LS 8dec92 LF 5feb93	
62312200-C121210	データ取得	720			132122	62312100-C121210		N				ES 18sep92	141
111		720			3							EF 7sep94 LS 6feb93 LF 26jan95	
62352200-C121210	データベースの改訂	180			132122	62312200-C121210	90	F				ES 10jun94	141
111		180			4							EF 6dec94 LS 29oct94 LF 26apr95	90
62352200-C121100	不連続.不均質性媒体等価透水係数推定データ	180			132122	62141260-C121120	180	S				ES 13sep93	51
111		180			5							EF 11mar94 LS 3nov93 LF 1may94	
62352200-C122130	二重空隙構造中核種移行解析用データ整理	180			132123	62352200-C121100		S				ES 13sep93	51
111		180			1							EF 11mar94 LS 3nov93 LF 1may94	
62312100-C122140	地下水条件との比較によるデータ項目明確化	360			132123	62132000-C121200	540	N				ES 11jan94	1124
111		360			2							EF 5jan95 LS 8feb97 LF 2feb98	
62312200-C122140	データ取得のための実験	720			132123	62312100-C122140		N				ES 6jan95	1124
111		720			3							EF 25dec96 LS 3feb98 LF 23jan00	
62352200-C122140	データセット作成	360			132123	62312200-C122140		N				ES 26dec96	1124
111		360			4							EF 20dec97 LS 24jan00 LF 17jan01	1035
62312100-C122113	亀裂中での吸着についての試験計画	900			132123	60000000-C000000	195	N				ES 27jan91	404
111		900			5							EF 14jul93 LS 6mar92 LF 22aug94	
62312100-C122123	岩体マトリクスへの試験計画	900			132124	60000000-C000000	195	N				ES 27jan91	404

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		900			1							EF 14jul93 LS 6mar92 LF 22aug94	
62312200-C122113	亀裂中での吸着についての吸着試験の実施	2160			132124	62312100-C122113		N				ES 15jul93	404
111		2160			2							EF 13jun99 LS 23aug94 LF 21jul00	
62312200-C122123	岩体ﾏﾄﾘｸｽへの吸着試験の実施	2160			132124	62312100-C122123		N				ES 15jul93	404
111		2160			3							EF 13jun99 LS 23aug94 LF 21jul00	
62352200-C122113	亀裂中でのについてのデータセット作成	180			132125	62312200-C122113		N				ES 14jun99	404
111		180			1							EF 10dec99 LS 22jul00 LF 17jan01	315
62352200-C122123	岩体ﾏﾄﾘｸｽへのデータセット作成	180			132125	62312200-C122123		N				ES 14jun99	404
111		180			2							EF 10dec99 LS 22jul00 LF 17jan01	315
62312100-C122110	トレーサ試験、微視的分散係数用解析手法	975			132125	60000000-C000000		N				AS 1apr90	104
111		1080			3							EF 16mar93 LF 28jun93	
62312200-C122110	トレーサ試験の実施	2160			132126	62312100-C122110		N				ES 17mar93	104
111		2160			1							EF 13feb99 LS 29jun93 LF 28may99	
62352200-C122110	データセット作成	360			132126	62312200-C122110		N				ES 14feb99	344
111		360			2							EF 8feb00 LS 24jan00 LF 17jan01	255
62313000-C120000	補足的データ取得	2160			132126	62312200-C122110	800	S				ES 19feb98	104
111		2160			3							EF 18jan04 LS 3jun98 LF 1may04	15
62411111-C130000	RELEASE によるﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の評価計算	45			132131	61231200-C200000		F				AS 1jul90	25

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ コード	ラグ	カレンダー方法	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
111		60			1	62114000-C121100		N		EF	29aug90	
						62311000-C112320		N				
						62340000-C111100		N		LF	23sep90	
						62340000-C111200		N				
						62340000-C111300		N				
						62340000-C111500		N				
						62340000-C112220		N				
						62340000-C112310		N				
						62340000-C112450		N				
						62340000-C112500		N				
						62352100-C121200		N				
62411112-C130000	AREST-PNC(PAR)によるﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の評価	165			132131	61231112-C100000		S		AS	1jul90	25
111		180			2	62111000-C121200		S		EF	27dec90	30
						62143120-C110000		N				
						62311000-C112210		N		LF	21jan91	
						62311000-C112400		N				
						62340000-C112110		N				
						62340000-C112120		N				
						62340000-C112130		N				
						62340000-C112210		N				
						62351100-C110000		N				
						62411620-C111000		N				
62411113-C130000	改良したFEMWASTE-PNC,又はCFEST評価計算	120			132131	61231112-C100000		S		ES	30aug90	25
111		120			3	62411111-C130000		N		EF	27dec90	30
										LS	24sep90	
										LF	21jan91	
62411211-C130000	FEMWATER/FEMWASTE-PNC による評価計算	105			132131	62131200-C121100		N		AS	1jul90	85
111		120			4	62131200-C122000		N		EF	28oct90	90
						62141000-C121210		N				
						62352100-C122131		N		LF	21jan91	
						62352100-C122133		N				
						62352100-C122134		N				
62411212-C130000	ROCKによる評価計算	105			132131	62142100-C121100		N		AS	1jul90	85
111		120			5	62142100-C122000		N		EF	28oct90	90
						62352100-C122131		N				
						62352100-C122133		N		LF	21jan91	
						62352100-C122134		N				
62411121-C130000	変動ｼﾅﾘｵに応じたRELEASE の計算	60			132131	62411111-C130000		N		ES	30aug90	25
111		60			6					EF	28oct90	
										LS	24sep90	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
												LF 22nov90	
62411122-C130000	変動ｼﾅﾘｵに応じたAREST-PNCの計算	60			132131	62411121-C130000		N				ES 29oct90	25
111		60			7							EF 27dec90	30
												LS 23nov90	
												LF 21jan91	
62411123-C130000	変動ｼﾅﾘｵに応じたFEMWATER/FEMWAST-PNC計算	60			132131	62411121-C130000		N				ES 29oct90	25
111		60			8							EF 27dec90	30
												LS 23nov90	
												LF 21jan91	
62411310-C130000	諸外国の評価方法、評価結果のとりまとめ	45			132131	62352100-C122131		N				AS 1jul90	145
111		60			9							EF 29aug90	150
												LF 21jan91	
62411320-C130000	第一次評価結果のとりまとめ	60			132131	62411111-C130000		N				ES 27jan91	-5
111		60			A	62411112-C130000	N				EF	27mar91	
						62411113-C130000		N				LS 22jan91	
						62411121-C130000		N				LF 22mar91	
						62411122-C130000		N					
						62411123-C130000		N					
						62411211-C130000		N					
						62411212-C130000		N					
						62411310-C130000		N					
						62411430-C130000		N					
62411330-C130000	比較・分析	30			132132	62411320-C130000	30	S				ES 26feb91	-5
111		30			1							EF 27mar91	
												LS 21feb91	
												LF 22mar91	
62411410-C130000	コード間のインターフェース開発	45			132132	62352100-C122131		N				AS 1jul90	-5
111		60			2							EF 29aug90	
												LF 24aug90	
62411420-C130000	感度解析手法、及び範囲の決定	60			132132	62411410-C130000		N				ES 30aug90	-5
111		60			3							EF 28oct90	
												LS 25aug90	
												LF 23oct90	
62411430-C130000	感度解析の実施 ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞのﾊﾟﾗﾒﾀ重要度分類	90			132132	62411420-C130000		N				ES 29oct90	-5
111		90			4							EF 26jan91	

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ コード	ラグ	方法	カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
											LS 24oct90	
											LF 21jan91	
62411510-C130000 グラフィック ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ整備	435			132132	60000000-C000000		N				AS 1apr90	145
111	540			5							EF 23sep91	150
											LF 15feb92	
62411520-C130000 ソフトウェアーの開発	255			132132	60000000-C000000		N				AS 1apr90	-5
111	360			6							EF 27mar91	
											LF 22mar91	
62411530-C130000 基本ｹｰｽ,主要な変動ｹｰｽのｸﾞﾗﾌｨｯｸｼｭﾐﾚｰｼｮﾝ	330			132132	62411330-C130000		N				ES 28mar91	-5
111	330			7	62411520-C130000		N				EF 20feb92	
											LS 23mar91	
											LF 15feb92	
62412110-C130000 基本ｼﾅﾘｵでのﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の決定論的評価	360			132133	612311214-C11000		N				ES 7mar95	51
111	360			1	62141000-C111600		N				EF 29feb96	
					62141000-C112330		N				LS 27apr95	
					62143140-C110000		N				LF 20apr96	
					62310000-C111420		N					
					62310000-C112213		N					
					62310000-C112251		N					
					62310000-C112252		N					
					62310000-C112311		N					
					62310000-C112313		N					
					62311-C112211241		N					
					62311-C112211242		N					
					623110-C11221111		N					
					623110-C11221112		N					
					623110-C11221121		N					
					623110-C11221122		N					
					62312000-C112130		N					
					62312000-C112400		N					
					62340000-C111420		N					
					62340000-C111600		N					
					62352200-C121210		N					
62412120-C130000 ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣによる評価	360			132133	612311214-C11000		N				ES 7mar95	51
111	360			2	62141000-C111420		N				EF 29feb96	
					62141000-C112330		N				LS 27apr95	
					62143140-C110000		N				LF 20apr96	
					62310000-C112212		N					

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
						62310000-C112230		N					
						62310000-C112240		N					
						62310000-C112330		N					
						62310000-C112340		N					
						62311000-C112220		N					
						62312000-C111410		N					
						62312000-C112110		N					
						62312000-C112120		N					
						62312000-C112322		N					
						62312000-C112323		N					
						62312000-C112500		N					
						62320000-C112120		N					
62412200-C130000	ファーフィールド性能の概括的評価	360		132133		62412120-C130000		S				ES 7mar95	51
111		360		3								EF 29feb96	
												LS 27apr95	
												LF 20apr96	
62412310-C130000	解析モデル群の統合	720		132134		62141260-C121120	180	S				ES 13sep93	51
111		720		1		62142230-C122100	360	S				EF 2sep95	
						62352200-C122130		S				LS 3nov93	
						62412310-C130000		S				LF 23oct95	
62412320-C130000	全体システム感度解析によるファーフィールド性能明確化	360		132134		62412310-C130000	180	F				ES 7mar95	51
111		360		2								EF 29feb96	
												LS 27apr95	
												LF 20apr96	
62412410-C130000	高速アレイプロセッサの整備	180		132134		62411530-C130000		N				ES 21feb92	171
111		180		3								EF 18aug92	
												LS 10aug92	
												LF 5feb93	
62412420-C130000	対応するソフトウェアの改良	900		132211		62412410-C130000		S				ES 21feb92	171
111		900		1								EF 8aug94	
												LS 10aug92	
												LF 26jan95	
62412430-C130000	ニアフィールド性能についてのリアルタイムシュミレーション	1440		132211		62412110-C130000	300	F				ES 16jan93	51
111		1440		2		62412200-C130000	300	F				EF 25dec96	
						62412320-C130000	300	F				LS 8mar93	
						62412420-C130000	210	S				LF 14feb97	
62413110-C130000	基本シナリオでのニアフィールド性能の決定論的評価	720		132211		60000000-C555555	900	N				ES 29jul99	539
111		720		3		612311214-C11000		N				EF 17jul01	450

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	TA コード C 1/2/3	****先行アクティビティコード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
											LS 18jan01 LF 7jan03	
62413120-C130000	変動シナリオでのニアフィールド性能の確率論的評価	720		132211	60000000-C555555	900	N				ES 29jul99	539
111		720		4	612311214-C11000		N				EF 17jul01	450
											LS 18jan01	
											LF 7jan03	
62413210-C130000	基本シナリオでのファーフィールド性能の決定論的評価	360		132211	612311224-C12000		N				ES 21oct00	89
111		360		5	62132000-C122110		N				EF 15oct01	
					62142230-C122100		N				LS 18jan01	
					62352200-C122110		N				LF 12jan02	
					62352200-C122113		N					
					62352200-C122123		N					
					62352200-C122140		N					
62413220-C130000	変動シナリオでのファーフィールド性能の確率論的評価	720		132211	612311224-C12000		N				ES 21oct00	89
111		720		6	62132000-C122110		N				EF 10oct02	
					62132200-C122113		N				LS 18jan01	
					62132200-C122123		N				LF 7jan03	
					62142230-C122110		N					
					62352200-C122140		N					
62413310-C130000	不確実性解析手法の調査検討	180		132211	60000000-C555555	540	N				ES 3aug98	299
111		180		7							EF 29jan99	
											LS 29may99	
											LF 24nov99	
62413320-C130000	不確実性解析手法の選定	180		132212	62413310-C130000		N				ES 30jan99	299
111		180		1							EF 28jul99	
											LS 25nov99	
											LF 22may00	
62413330-C130000	不確実性解析用プリ・ポストプロセッサ開発	300		132212	62413320-C130000		N				ES 29jul99	299
111		300		2							EF 23may00	
											LS 23may00	
											LF 18mar01	
62413340-C130000	対象とするパラメータの分布決定	120		132212	62413330-C130000		N				ES 24may00	299
111		120		3							EF 20sep00	
											LS 19mar01	
											LF 16jul01	
62413350-C130000	不確実性解析の実施	360		132212	62413340-C130000		N				ES 21sep00	299
111		360		4							EF 15sep01	210

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A コード C 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
											LS 17jul01	
											LF 11jul02	
62413360-C130000	ﾌｧｰﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の余裕度の定量的確認	300		132212	62413110-C130000	540	S				ES 14apr02	89
111		300		5	62413120-C130000	540	S				EF 7feb03	
					62413210-C130000	540	S				LS 12jul02	
					62413220-C130000	540	S				LF 7may03	
					62413350-C130000		N					
62413410-C130000	ソフトウェアの開発	1800		132212	62412420-C130000	180	N				ES 5feb95	404
111		1800		6							EF 9jan00	315
											LS 15mar96	
											LF 16feb01	
62413420-C130000	総合的リアルタイムｼｭﾐﾚｰｼｮﾝの実施	2520		132212	62412430-C130000		F				ES 11mar97	89
111		2520		7	62413360-C130000	360	F				EF 2feb04	
					62413410-C130000	450	S				LS 8jun97	
											LF 1may04	
62114000-C121200	EH決定的因子、代表的地下水組成の文献調査			132212	60000000-C000000		N				AS 1apr90	
111		30		8							AF 30apr90	
62111000-C121200	ＥＨの決定的因子についての基礎試験の実施	135		132212	60000000-C000000		N				AS 1apr90	25
111		240		9							EF 27nov90	
											LF 22dec90	
62131000-C121200	保守的概念モデルの作成			132212	62114000-C121200		N				AS 1may90	
111		30		A						AF	31may90	
62131100-C121100	多重ﾊﾞﾘｱｼｽﾃﾑ性能への保守的条件の明確化			132212	60000000-C000000		N				AS 1apr90	
111		15		B						AF	15apr90	
62114000-C121100	日本全国の地形.上下側方境界条件文献調査			132213	62131100-C121100		N				AS 16apr90	
111		30		1							AF 15may90	
62131200-C121100	保守的、わが国に存在する概念モデル構築			132213	62131000-C121200		N				AS 16may90	

アクティビティ コード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 残り 初期	カレンダ-C	T A コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	*指定条件* 方法	カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロート トータル フリー
111	15		2						AF 31may90		
62131100-C122000 多重バリアシステム性能への保守的条件の明確化 111	15		132213 3	60000000-C000000		N			AS 1apr90 AF 16apr90		
62114000-C122000 異方性 不連続性 不均質性タイプの文献調査 111	30		132213 4	62131100-C122000		N			AS 16apr90 AF 15may90		
62131200-C122000 保守的、わが国に存在する概念モデル構築 111	15		132213 5	62114000-C122000		N			AS 1may90 AF 31may90		
62141000-C121210 岩石と平衡な深部地下水の酸化還元電位推定 111	30		132213 6	60000000-C000000	195	N			AS 1may90 AF 31may90		
62142100-C121100 多孔質媒体近似広域流動解析モデルの改良 111	60		132213 7	60000000-C000000		N			AS 1apr90 AF 31may90		
62142100-C122000 保守的な核種移行経路における解析モデル 111	60		132221	60000000-C000000		N			AS 1apr90 AF 31may90		
62114000-C121220 文献調査 111	360 360		132222	60000000-C000000	195	N			ES 27jan91 EF 21jan92 LS 18may91 LF 11may92		111
62112000-C121200 東濃.釜石等の深部地下水情報収集.相関解析 111	450 450		132223	62114000-C121220		S			ES 27jan91 EF 20apr92 LS 18may91 LF 9aug92		111
62132000-C121200 現実的概念モデルの構築	90		132224	62112000-C121200		N			ES 21apr92		111

アクティビティ コード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 残り / 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータル / フリー
111	90										EF 19jul92 LS 10aug92 LF 7nov92	
62114000-C121120 文献調査 111	255 360			132225	60000000-C000000		N				AS 1apr90 EF 27mar91 LF 17may91	51
62112100-C121120 東濃地域での広域地下水流動調査 111	1335 1440			132226 1	62114000-C121120		S				AS 1apr90 EF 11mar94 LF 7nov94	241
62112200-C121120 釜石地域での広域地下水流動調査 111	615 720			132226 2	62114000-C121120		S				AS 1apr90 EF 21mar92 LF 11may92	51
62112300-C121120 地下研究施設での広域地下水流動調査 111	720 720			132226 3	62112100-C121120	605	S				ES 12mar92 EF 1mar94 LS 8nov92 LF 28oct94	241 190
62132000-C121120 地形.水理地質.上下側方境界条件の相関検討 111	360 360			132226 4	62112200-C121120		N				ES 22mar92 EF 16mar93 LS 12may92 LF 6may93	51
62112400-C122200 MOL.共同研究.原位置試験での巨視不均質性 111	975 1080			132226 5	60000000-C000000		N				AS 1apr90 EF 16mar93 LF 6may93	51
62112500-C122200 AECL共同研究.原位置試験での巨視不均質性 111	975 1080			132226 6	60000000-C000000		N				AS 1apr90 EF 16mar93 LF 6may93	51
62111000-C122130 室内試験.巨視的不均質タイプ抽出 111	1080 1080			132226 7	62114000-C122000		N				ES 16jul90 EF 29jun93 LS 14nov91 LF 28oct94	486 435
62111000-C122200 MOL共同研究での室内試験.巨視的不均質抽出	615			132226	60000000-C000000		N				AS 1apr90	51

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータル フリー
111		720			8						EF 21mar92		
											LF 11may92		
62132000-C122000	現実的概念モデルの構築	360			132226	62111000-C122200		N			ES 22mar92		51
111		360			9	62112400-C122200		F			EF 16mar93		
						62112500-C122200		F			LS 12may92		
											LF 6may93		
62142210-C121200	ＧＨＣ解析手法の調査	180			132226	60000000-C000000	195	N			ES 27jan91		111
111		180			A	62142100-C122000	N				EF 25jul91		
											LS 18may91		
											LF 13nov91		
62142220-C121200	ＧＨＣ解析手法の決定	90			132226	62142210-C121200		N			ES 26jul91		974
111		90			B						EF 23oct91		
											LS 26mar94		
											LF 23jun94		
62142230-C121200	ＧＨＣ解析モデルの開発	720			132226	62142220-C121200		N			ES 24oct91		974
111		720			C						EF 12oct93		
											LS 24jun94		
											LF 12jun96		
62141240-C121120	FRACTURE FLOW TASK FORCE開発のモデル導入	360			132226	62142210-C121200		N			ES 26jul91		111
111		360			D						EF 19jul92		
											LS 14nov91		
											LF 7nov92		
62141250-C121120	Ｇ解析モデルの適用性の検討、モデル改良	180			132226	62141240-C121120		N			ES 20jul92		111
111		180			E						EF 15jan93	60	
											LS 8nov92		
											LF 6may93		
62141260-C121120	Ｇ解析モデルの改良	720			132227	62111000-C122130	540	S			ES 17mar93		51
111		720			1	62112100-C121120	180	S			EF 6mar95		
						62112300-C121120	180	S			LS 7may93		
						62132000-C121120		N			LF 26apr95		
						62141250-C121120		N					
62111100-C122113	MOLとの共同研究.亀裂中の吸着鉱物の解明	975			132227	60000000-C000000		N			AS 1apr90		1154
111		1080			5						EF 16mar93		
											LF 13may96		

アクティビティ コード / 名称1 / 名称2 / 備考	期間 / 残り / 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析 日付	フロートトータル フリー
62111100-C122123 MOLとの共同研究.岩体ﾏﾄﾘｸｽの吸着鉱物解明	975			132227	60000000-C000000		N				AS 1apr90	1154
111	1080			6							EF 16mar93	
											LF 13may96	
62111300-C122113 わが国岩石室内試験.亀裂中の吸着遅延鉱物	1080			132227	62111100-C122113	360	F				ES 28mar91	1154
111	1080			7							EF 11mar94	360
											LS 25may94	
											LF 8may97	
62111300-C122123 わが国岩石室内試験.岩体ﾏﾄﾘｸｽ吸着遅延鉱物	1080			132228	62111100-C122123	360	F				ES 28mar91	1154
111	1080										EF 11mar94	360
											LS 25may94	
											LF 8may97	
6211300-C1221133 ﾅﾁｭﾗﾙｱﾅﾛｸﾞ研究.亀裂中での鉱物化ﾌﾟﾛｾｽ把握	2415			132311	60000000-C000000		N				AS 1apr90	1064
111	2520			1	62111300-C122113		F				EF 23feb97	270
											LF 23jan00	
6211300-C122123D ﾅﾁｭﾗﾙｱﾅﾛｸﾞ研究.岩体ﾏﾄﾘｸｽ鉱物化ﾌﾟﾛｾｽ把握	2415			132311	60000000-C000000		N				AS 1apr90	1064
111	2520			2							EF 23feb97	270
											LF 23jan00	
6211100-C1221134 室内試験.亀裂中の吸着ﾌﾟﾛｾｽの不可逆性把握	2415			132311	60000000-C000000		N				AS 1apr90	794
111	2520			3	62111300-C122113	720	F				EF 23feb97	
					62111300-C122123	720	F					
											LF 28apr99	
6211100-C122123E 室内.岩体ﾏﾄﾘｸｽへの吸着ﾌﾟﾛｾｽの不可逆性	2415			132312	60000000-C000000		N				AS 1apr90	794
111	2520			1	62111300-C122123		F				EF 23feb97	
											LF 28apr99	
62132200-C122113 亀裂中での吸着の概念モデル作成	360			132312	6211100-C1221134	270	N				ES 21nov97	794
111	360			2	6211300-C1221133		N				EF 15nov98	705
											LS 24jan00	
											LF 17jan01	
62132200-C122123 岩体ﾏﾄﾘｸｽへの吸着の概念モデル作成	360			132312	6211100-C122123E	270	N				ES 21nov97	794
111	360			3	6211300-C122123D		N				EF 15nov98	705
											LS 24jan00	
											LF 17jan01	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62112400-C122110	MOL.多孔質の微視不均質性.移行影響の解明	615			132313	60000000-C000000		N				AS 1apr90	1784
111		720			1							EF 21mar92	
												LF 7feb97	
62112100-C122110	東濃.多孔質の微視不均質性.移行影響の解明	1080			132313	62112400-C122110		N				ES 22mar92	1784
111		1080			2							EF 6mar95	1020
												LS 8feb97	
												LF 23jan00	
62112600-C122110	NAGRA.多孔質の微視不均質性が移行影響解明	615			132313	60000000-C000000		N				AS 1apr90	764
111		720			3							EF 21mar92	
												LF 24apr94	
62112200-C122110	釜石.多孔質の微視不均質性.移行影響の解明	720			132314	62112600-C122110	300	F				ES 27jan91	764
111		720			1							EF 15jan93	
												LS 1mar93	
												LF 18feb95	
62112300-C122110	地下.多孔質の微視不均質性.移行影響解明	1080			132314	62112200-C122110		N				ES 16jan93	1484
111		1080			2							EF 31dec95	720
												LS 8feb97	
												LF 23jan00	
62111000-C122110	微視不均質性移行影響解明の岩体原位置試験	1800			132314	62112200-C122110		N				ES 16jan93	764
111		1800			3							EF 20dec97	
												LS 19feb95	
												LF 23jan00	
62132000-C122110	現実的概念モデルの構築	360			132315	62111000-C122110		N				ES 21dec97	764
111		360			1	62112100-C122110		N				EF 15dec98	675
						62112300-C122110		N				LS 24jan00	
												LF 17jan01	
62142210-C122100	ＧＨＣ解析手法とイオン交換モデル結合方法	360			132315	60000000-C000000	195	N				ES 27jan91	111
111		360			2	62142210-C121200		S				EF 21jan92	
												LS 18may91	
												LF 11may92	
62142220-C122100	モデル結合方法の決定	180			132316	62142210-C122100		N				ES 22jan92	111
111		180			1	62142210-C122100		S				EF 19jul92	60
												LS 12may92	
												LF 7nov92	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62142230-C122100	コード開発	360			132316	62132000-C121200		N			ES	18sep92	51
111		360			2	62132000-C122000	180	S			EF	12sep93	
						62142220-C122100		N			LS	8nov92	
						62142220-C122100		S			LF	2nov93	
62142210-C122110	統計的解析手法の調査	615			132321	60000000-C000000		N			AS	1apr90	1964
111		720			1						EF	21mar92	
											LF	6aug97	
62142220-C122110	地質環境調査による対応の可否の検討	180			132321	62142210-C122110		N			ES	22mar92	1964
111		180			2						EF	17sep92	
											LS	7aug97	
											LF	2feb98	
62142230-C122110	解析コード開発	1080			132321	62142220-C122110		N			ES	18sep92	1964
111		1080			3						EF	2sep95	1875
											LS	3feb98	
											LF	17jan01	
62211100-C121200	確証試験計画	180			132322	62131000-C121200		N			ES	16jul90	426
111		180									EF	11jan91	
											LS	15sep91	
											LF	12mar92	
62211200-C121200	事前解析	180			132323	62211100-C121200		S			ES	16jul90	426
111		180									EF	11jan91	
											LS	15sep91	
											LF	12mar92	
62211300-C121200	試験設計	360			132331	62211200-C121200		N			ES	12jan91	426
111		360			1						EF	6jan92	
											LS	13mar92	
											LF	7mar93	
62211400-C121200	設備設計	360			132331	62211200-C121200		N			ES	12jan91	426
111		360			2						EF	6jan92	
											LS	13mar92	
											LF	7mar93	
62211500-C121200	設備製作	360			132331	62211300-C121200		N			ES	7jan92	426
111		360			3	62211400-C121200		N			EF	31dec92	
											LS	8mar93	
											LF	2mar94	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62211600-C121200	確証試験の実施	1080			132332	62211500-C121200		N			ES 1jan93	426
111		1080			1						EF 16dec95	
											LS 3mar94	
											LF 14feb97	
62211700-C121200	結果の取りまとめとモデル改良	360			132332	62211600-C121200		F			ES 22dec94	426
111		360			2						EF 16dec95	375
											LS 21feb96	
											LF 14feb97	
62211100-C121120	確証試験計画	255			132332	60000000-C000000		N			AS 1apr90	351
111		360			3						EF 27mar91	
											LF 12mar92	
62211200-C121120	事前解析	615			132332	62211100-C121120		S			AS 1apr90	351
111		720			4						EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62211300-C121121	ＧＥＯＴＥＸ試験設計	615			132332	62211100-C121120		S			AS 1apr90	351
111		720			5						EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62211400-C121121	ＧＥＯＴＥＸ設備設計	615			132332	62211100-C121120		S			AS 1apr90	351
111		720			6						EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62211500-C121121	ＧＥＯＴＥＸ設備製作	360			132333	62211200-C121120		N			ES 22mar92	351
111		360			1	62211300-C121121		N			EF 16mar93	
						62211400-C121121		N			LS 8mar93	
											LF 2mar94	
62211300-C121122	ＭＩＣＲＯ２Ｄ試験設計	615			132333	62211100-C121120		S			AS 1apr90	351
111		720			2						EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62211400-C121122	ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備設計	615			132333	62211100-C121120		S			AS 1apr90	351
111		720			3						EF 21mar92	
											LF 7mar93	

アクティビティ コード / 名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62211500-C121122 ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備製作	360			132333	62211300-C121122		N				ES 22mar92	351
111	360			4	62211400-C121122		N				EF 16mar93	
											LS 8mar93	
											LF 2mar94	
62211600-C121121 ＧＥＯＴＥＸ確証試験の実施	1080			133111	62211500-C121121		N				ES 17mar93	351
111	1080										EF 29feb96	
											LS 3mar94	
											LF 14feb97	
62211600-C121122 ＭＩＣＲＯ２Ｄ確証試験の実施	1080			133112	62211500-C121122		N				ES 17mar93	351
111	1080										EF 29feb96	
											LS 3mar94	
											LF 14feb97	
62211700-C121120 結果の取りまとめとモデル改良	360			133113	62211600-C121121		F				ES 7mar95	351
111	360				62211600-C121122		F				EF 29feb96	300
											LS 21feb96	
											LF 14feb97	
62232210-C121120 確証試験計画	255			133121	60000000-C000000		N				AS 1apr90	351
111	360										EF 27mar91	
											LF 12mar92	
62232220-C121120 事前解析	615			133122	62232210-C121120		S				AS 1apr90	351
111	720										EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62232230-C121120 ＭＡＣＲＯ試験設計	615			133131	62232220-C121120		S				AS 1apr90	351
111	720										EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62232240-C121120 ＭＡＣＲＯ設備設計	615			133132	62232220-C121120		S				AS 1apr90	351
111	720										EF 21mar92	
											LF 7mar93	
62232250-C121120 設備製作	360			133133	62232230-C121120		N				ES 22mar92	351
111	360				62232240-C121120		N				EF 16mar93	
											LS 8mar93	
											LF 2mar94	

アクティビティコード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティコード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62232260-C121120	確証試験の実施	1080			133141	62232250-C121120		N				ES 17mar93	351
111		1080										EF 29feb96	
												LS 3mar94	
												LF 14feb97	
62232270-C121120	結果の取りまとめとモデル改良	360			133142	62232260-C121120		F				ES 7mar95	351
111		360										EF 29feb96	300
												LS 21feb96	
												LF 14feb97	
62232200-C121200	地下水の化学変化解析モデルの原位置確証	1800			133143	62211600-C121200	270	S				ES 28sep93	2069
111		1800										EF 1sep98	1980
												LS 29may99	
												LF 1may04	
62232200-C121100	広域流動解析手法の原位置での確証	1800			133151	62211600-C121200	270	S				ES 28sep93	2069
111		1800										EF 1sep98	1980
												LS 29may99	
												LF 1may04	
62211000-C122140	移行途中の核種変化解析モデル室内試験確証	1080			133152	62141260-C121120	210	N				ES 3oct95	2054
111		1080				62142230-C121200		N				EF 16sep98	1965
												LS 18may01	
												LF 1may04	
62211000-C122113	亀裂中での吸着解析モデルの室内試験確証	1080			133153	62141260-C121120	210	N				ES 3oct95	2054
111		1080										EF 16sep98	1965
												LS 18may01	
												LF 1may04	
62211000-C122123	岩体ﾏﾄﾘｸへの吸着解析モデルの室内試験確証	1080			133161	62141260-C121120	210	N				ES 3oct95	2054
111		1080										EF 16sep98	1965
												LS 18may01	
												LF 1may04	
62211100-C122111	ＧＥＯＴＥＸに関する確証試験計画立案	360			133162	62142230-C121200		S				ES 24oct91	974
111		360										EF 17oct92	
												LS 24jun94	
												LF 18jun95	
62211200-C122111	ＧＥＯＴＥＸに関する事前解析	720			133163	62211100-C122111		S				ES 24oct91	974
111		720										EF 12oct93	
												LS 24jun94	
												LF 12jun96	

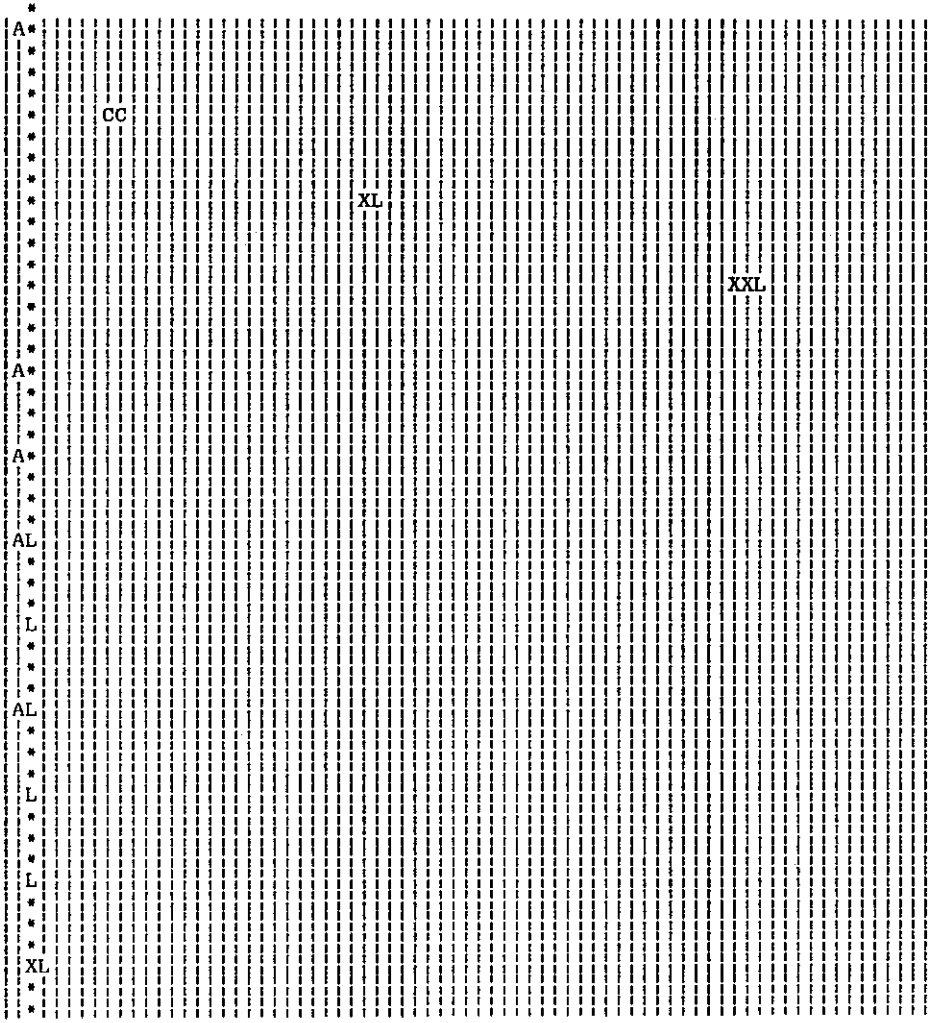
アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	*指定条件* カレンダー	種類	日付	時間解析日付		フロートトータル フリー
62211300-C122111 111	ＧＥＯＴＥＸに関する試験設備設計	720 720			13321	60000000-C333333	360	N				ES EF LS LF	1apr93 21mar95 13jun96 2jun98	1169 195
62211400-C122111 111	ＧＥＯＴＥＸに関する試験設計	720 720			133221	62211200-C122111		N				ES EF LS LF	13oct93 2oct95 13jun96 2jun98	974
62211500-C122111 111	ＧＥＯＴＥＸに関する試験設備改良	360 360			13323	62211300-C122111 62211400-C122111		N N				ES EF LS LF	3oct95 26sep96 3jun98 28may99	974
62211600-C122111 111	ＧＥＯＴＥＸに関する試験の実施	1080 1080			133241	62211500-C122111		N				ES EF LS LF	27sep96 11sep99 29may99 12may02	974
62211700-C122111 111	GEOTEX結果の取りまとめとモデル改良	1080 1080			133242	62211600-C122111	720	S				ES EF LS LF	17sep98 31aug01 18may01 1may04	974 885
62211100-C122112 111	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する確証試験計画立案	360 360			133251	62211200-C122111		S				ES EF LS LF	24oct91 17oct92 24jun94 18jun95	974
62211200-C122112 111	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する事前解析	720 720			133252	62211100-C122112		S				ES EF LS LF	24oct91 12oct93 24jun94 12jun96	974
62211300-C122112 111	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設備設計	720 720			133253	62211200-C122112		N				ES EF LS LF	13oct93 2oct95 13jun96 2jun98	974
62211400-C122112 111	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設計	720 720			13331	62211200-C122112		N				ES EF LS LF	13oct93 2oct95 13jun96 2jun98	974

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ**** コード	ラグ	方法	カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付	フロートトータルフリー
62211500-C122112	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設備改良	360			13332	62211300-C122112		N				ES 3oct95	974
111		360				62211400-C122112		N				EF 26sep96	
												LS 3jun98	
												LF 28may99	
62211600-C122112	ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験の実施	1080			13333	62211500-C122112		N				ES 27sep96	974
111		1080										EF 11sep99	
												LS 29may99	
												LF 12may02	
62211700-C122112	MICRO2D結果の取りまとめとモデル改良	1080			13334	62211600-C122112	720	S				ES 17sep98	974
111		1080										EF 31aug01	885
												LS 18may01	
												LF 1may04	
62232210-C122110	確証試験計画立案	360			133351	60000000-C333333	180	N				ES 3oct92	629
111		360				62352100-C121100		N				EF 27sep93	
						62352100-C122132		N				LS 24jun94	
												LF 18jun95	
62232220-C122110	事前解析	720			133352	62232210-C122110		S				ES 3oct92	629
111		720										EF 22sep94	
												LS 24jun94	
												LF 12jun96	
62232230-C122110	試験設備設計	720			133353	62232220-C122110		N				ES 23sep94	629
111		720										EF 11sep96	
												LS 13jun96	
												LF 2jun98	
62232240-C122110	ＭＡＣＲＯの試験設計	720			133354	62232220-C122110		N				ES 23sep94	629
111		720										EF 11sep96	
												LS 13jun96	
												LF 2jun98	
62232250-C122110	設備改良	360			133355	62232230-C122110		N				ES 12sep96	629
111		360				62232240-C122110		N				EF 6sep97	
												LS 3jun98	
												LF 28may99	
62232260-C122110	試験の実施	1080			133356	62232250-C122110		N				ES 7sep97	629
111		1080										EF 21aug00	
												LS 29may99	
												LF 12may02	

アクティビティ コード	名称1 名称2 備考	期間 残り 初期	カレンダー	T A C	コード 1/2/3	****先行アクティビティ コード	ラグ	方法	****カレンダー	*指定条件* 種類	日付	時間解析日付		フロートトータルフリー
62232270-C122110	結果の取りまとめとモデル改良	1080			133361	62232260-C122110	720	S				ES	28aug99	629
111		1080										EF	11aug02	540
												LS	18may01	
												LF	1may04	
62232100-C122110	微視不均質性の移行影響の統計的解析の確証	1800			133362	62232250-C122110		N				ES	7sep97	629
111		1800										EF	11aug02	540
												LS	29may99	
												LF	1may04	

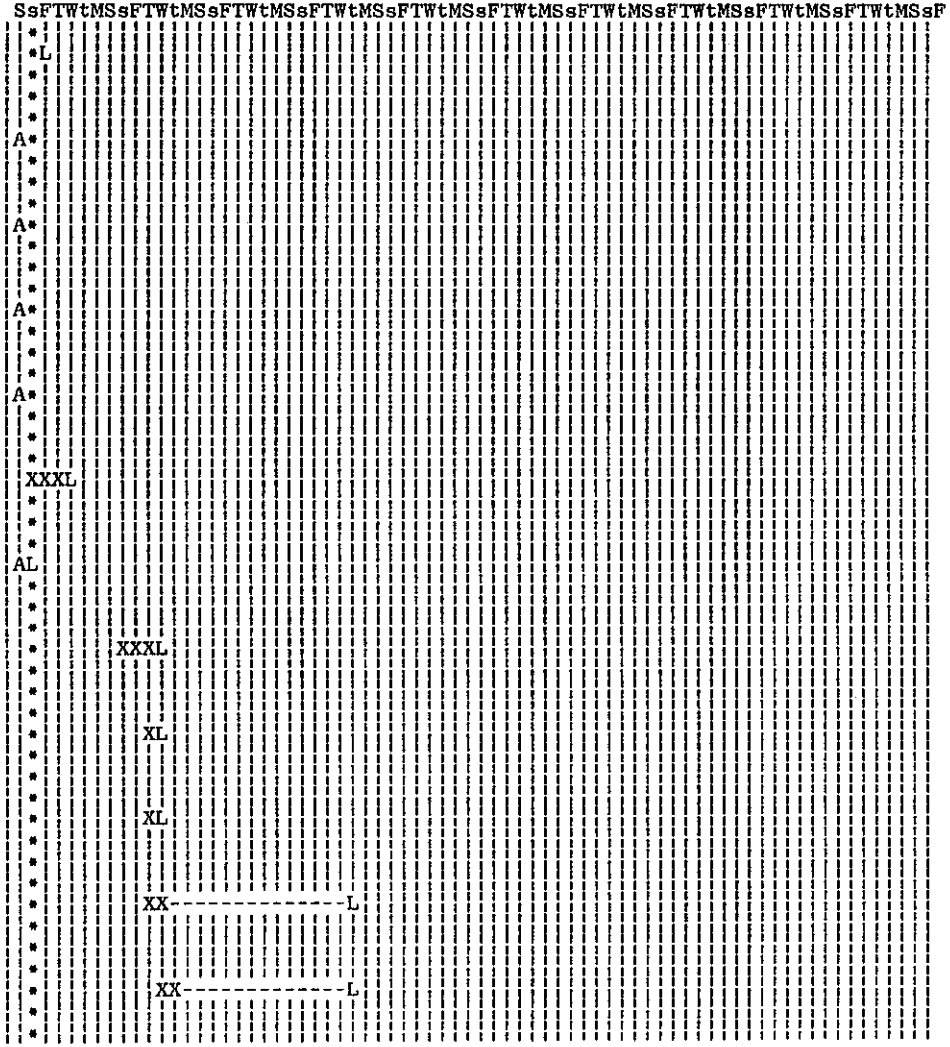
レポート：SR04J　　日付　：25/ 9/90

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータルフロート
60000000-C000000 性能評価研究の作業開始			1apr90C	15jul90C
60000000-C333333 性能評価研究の平成３年度中間報告作成	45		-5	21feb92 5apr92
60000000-C555555 性能評価研究の平成８年度中間報告作成	45		51	26dec96 8feb97
60000000-C999999 性能評価研究の作業終了（報告書作成）	90		89	3feb04 2may04
61111000-C300000 我が国の特徴的な事象・プロセス情報収集			1apr90C	15jul90C
61112000-C300000 第１次事象・プロセスリストの作成			1may90C	15jul90C
61113100-C300000 専門家による第１次リストのレビュー	15	10	1jun90A	30jul90
61113200-C300000 Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家のコメント集約	45	10	1jul90A	29aug90
61211000-C300000 事象・プロセス間の関連の文献調査(1)	15	10	1jun90A	30jul90
61215000-C300000 直接放出についてのインフルエンスダイアグラムの改訂	30	10	31jul90	29aug90
61213000-C300000 Ｄｅｌｐｈｉ法による専門家の判断の集約	15	10	30aug90	13sep90
61218000-C300000 第１次イベントツリー作成	30	10	14sep90	13oct90



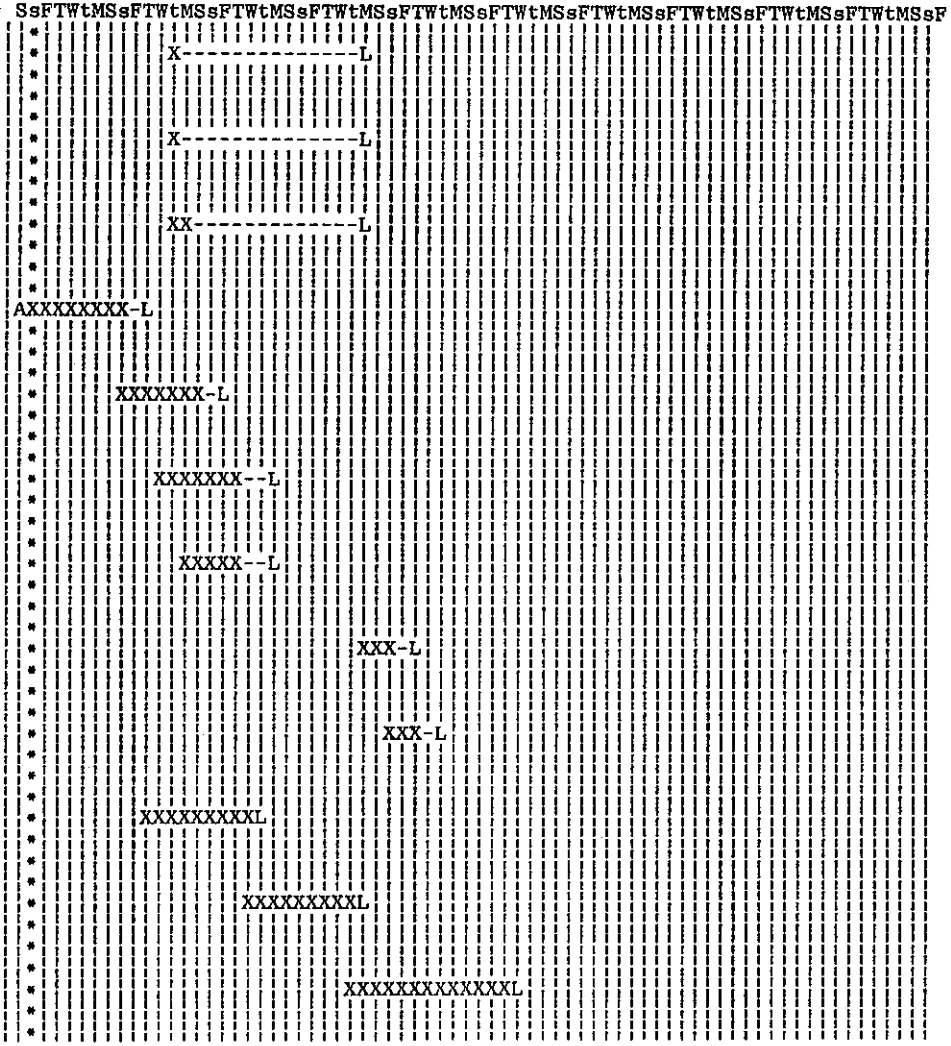
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
61232100-C300000 発端事象の明確化	15	10 29sep90 13oct90	
61221000-C100000 事象・プロセスと多重バリアシステム性能の関連調査		1apr90C 15jul90C	
61222000-C100000 Judgemental Mcthodによる専門家判断の集約		1may90C 15jul90C	
61215000-C100000 地下水移行第1次インフルエンスダイアグラムの作成		1jun90C 15jul90C	
61231111-C100000 第1次シナリオにおける解析ケースの設定		1jun90C 15jul90C	
61231112-C100000 その他のケースについての検討	255	25 1jul90A 27mar91	
61231200-C200000 地下水以外の移行媒体のDELPHAI法シナリオ設定	45	25 1jun90A 29aug90	
61121000-C300000 専門家グループによる第1次評価結果レビュ	180	89 6apr92 2oct92	
61122000-C300000 第1次事象・プロセスリスト改訂DELPHI法	30	89 3oct92 1nov92	
61123000-C300000 第2次事象・プロセスリストの作成	30	89 2nov92 1dec92	
61212000-C300000 新事象・プロセスての既往研究例の整理(2)	60	1326 2dec92 30jan93	
61214000-C300000 新事象・プロセスの専門家知見の集約(2)	60	1326 31jan93 31mar93	



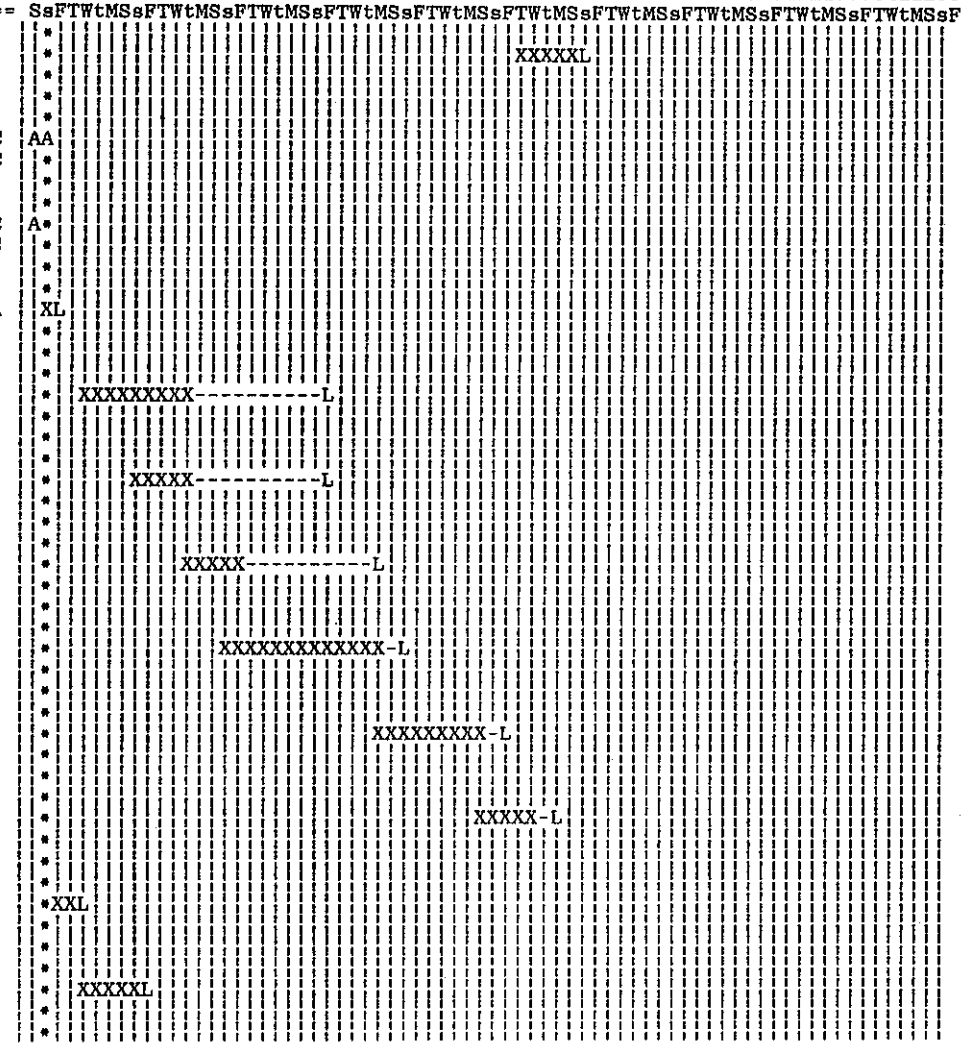
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
61216000-C300000 直接放出の第２次インフルエンスダイアグラム作成	30	1326	1apr93 30apr93
61219000-C300000 第２次イベントツリーの作成	30	1326	1may93 30may93
61232200-C300000 確率論的評価のための直接放出シナリオ明確化	30	1326	31may93 29jun93
612311211-C11000 第1次インフルエンスダイアグラムPASS試験計画装置設計	615	261	1apr90A 21mar92
612311212-C11000 ＰＡＳＳ試験装置製作	540	261	22mar92 12sep93
612311213-C11000 ＰＡＳＳ試験の実施	600	261	17dec92 8aug94
612311214-C11000 ＰＡＳＳ試験結果に基づく詳細シナリオ設定	360	261	14aug93 8aug94
61130000-C300000 事象・アクセスの見直し(2)	180	119	9feb97 7aug97
61217000-C300000 事象・アクセス間の第３次インフルエンスダイアグラム作成	180	119	8aug97 3feb98
612311221-C12000 ファーフィールドシナリオの詳細化検討	720	89	2dec92 21nov94
612311222-C12000 ファーフィールドシナリオの原位置試験計画、装置設計	690	89	22nov94 11oct96
612311223-C12000 原位置試験の実施	1080	89	12oct96 26sep99



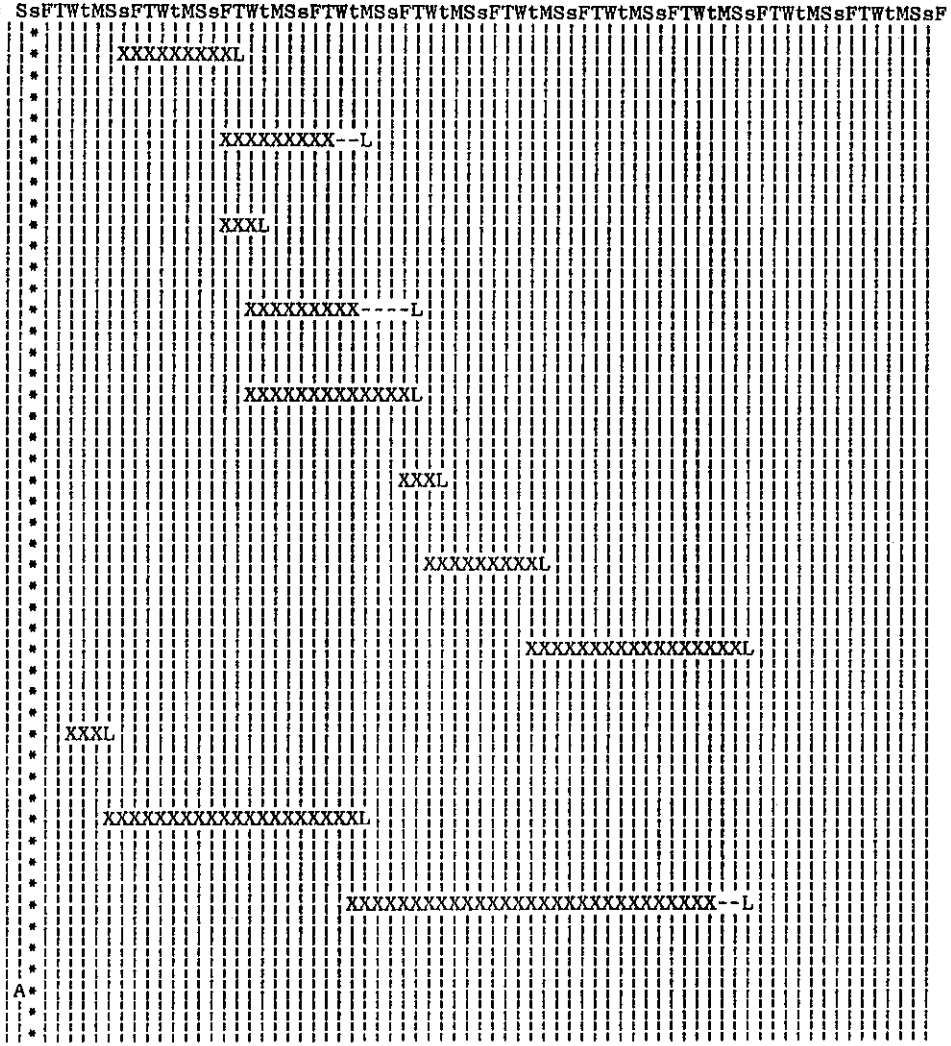
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
612311224-C12000 原位置試験結果による ファーフィールド詳細シナリオ設定	390	89	27sep99 20oct00
63110000-C311000 文献調査			1apr90C 15jul90C
63120000-C311000 Probability Encode法による主観確率定量化			1apr90C 15jul90C
63130000-C311000 調査結果の体系化とデータベース作成	15	85	1jul90A 30jul90
63110000-C312000 文献調査	720	1056	12apr91 31mar93
63120000-C312000 Probability Encode法による主観確率定量化	360	1056	6apr92 31mar93
63130000-C312000 結果のとりまとめとデータベース作成	360	1056	1apr93 26mar94
63110000-C313000 文献調査	1080	179	27dec93 10dec96
63120000-C313000 Probability Encode法による主観確率定量化	720	179	11dec96 30nov98
63130000-C313000 動態的解析手法に対応する総合的データベース	360	179	1dec98 25nov99
63210000-C320000 発端事象の発生確率の評価	180	10	14oct90 11apr91
63221100-C320000 既往の研究例の調査	360	89	12apr91 5apr92



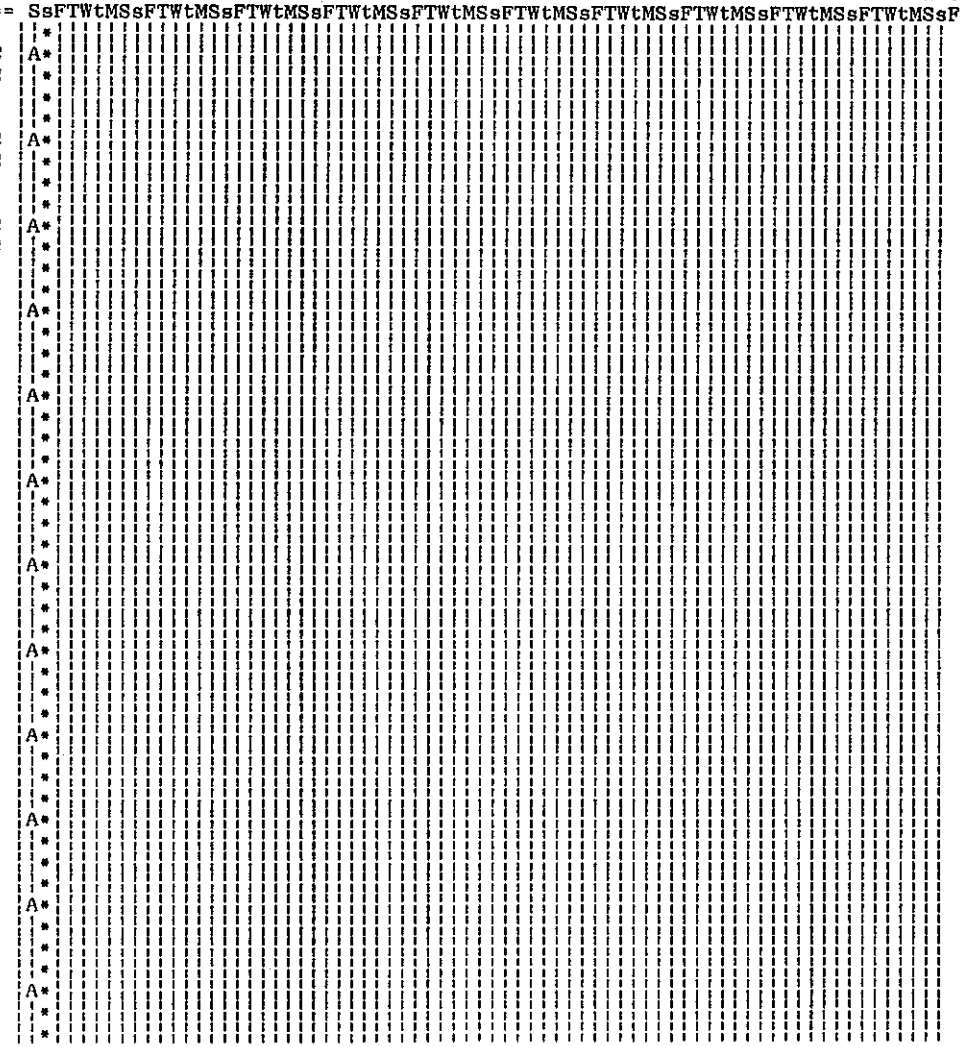
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
63221200-C320000 モデル開発	720	89	6apr92 26mar94
63222000-C320000 確率論的評価	720	336	27mar94 15mar96
63231100-C320000 ダイレクトシュミレーション手法の調査	180	89	27mar94 22sep94
63231200-C320000 モデル改良	720	449	23sep94 11sep96
63231300-C320000 その他のモデル開発	1080	89	23sep94 6sep97
63231400-C320000 ダイレクトシュミレーション手法の決定	180	89	7sep97 5mar98
63231500-C320000 ダイレクトシュミレーションの開発	720	89	6mar98 23feb00
63232000-C320000 ダイレクトシュミレーションの実績	1440	89	24feb00 2feb04
63310000-C300000 第１期	300	10	12apr91 5feb92
63320000-C300000 第２期	1750	86	6feb92 20nov96
63330000-C300000 第３期	2520	199	21nov96 15oct03
62130000-C111100 熱的条件に係わる概念モデル見直し			1apr90C 15jul90C



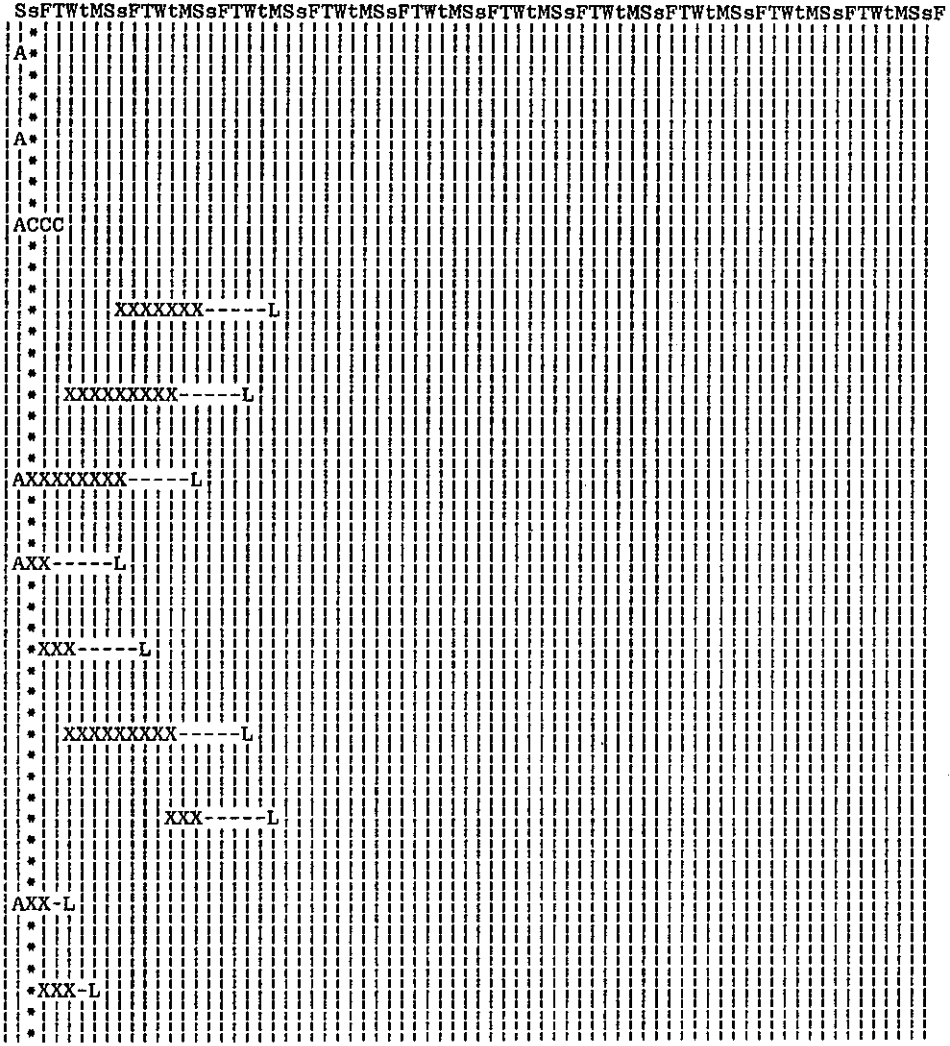
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータルフロート
62130000-C111200 応力条件に係わる概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62130000-C111300 放射線学的条件に係わる概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62130000-C111500 水理条件に係わる概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62130000-C112120 緩衝材の熱変質に係わる概念モデル		1apr90C 15jul90C	
62130000-C112130 緩衝材による地下水の化学変化概念モデル		1apr90C 15jul90C	
62131000-C112110 人工バリア再冠水時間の概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62131000-C112211 炭素鋼オーバーパックの腐食概念モデル作成		1apr90C 15jul90C	
62130000-C112310 ガラス溶解の概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62131000-C112320 核種の溶解の概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62131000-C112430 緩衝材中の核種拡散の概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62131000-C112450 緩衝材中の核種の吸着の概念モデル見直し		1apr90C 15jul90C	
62131000-C112500 周辺母岩中の核種移行概念モデル作成		1apr90C 15jul90C	



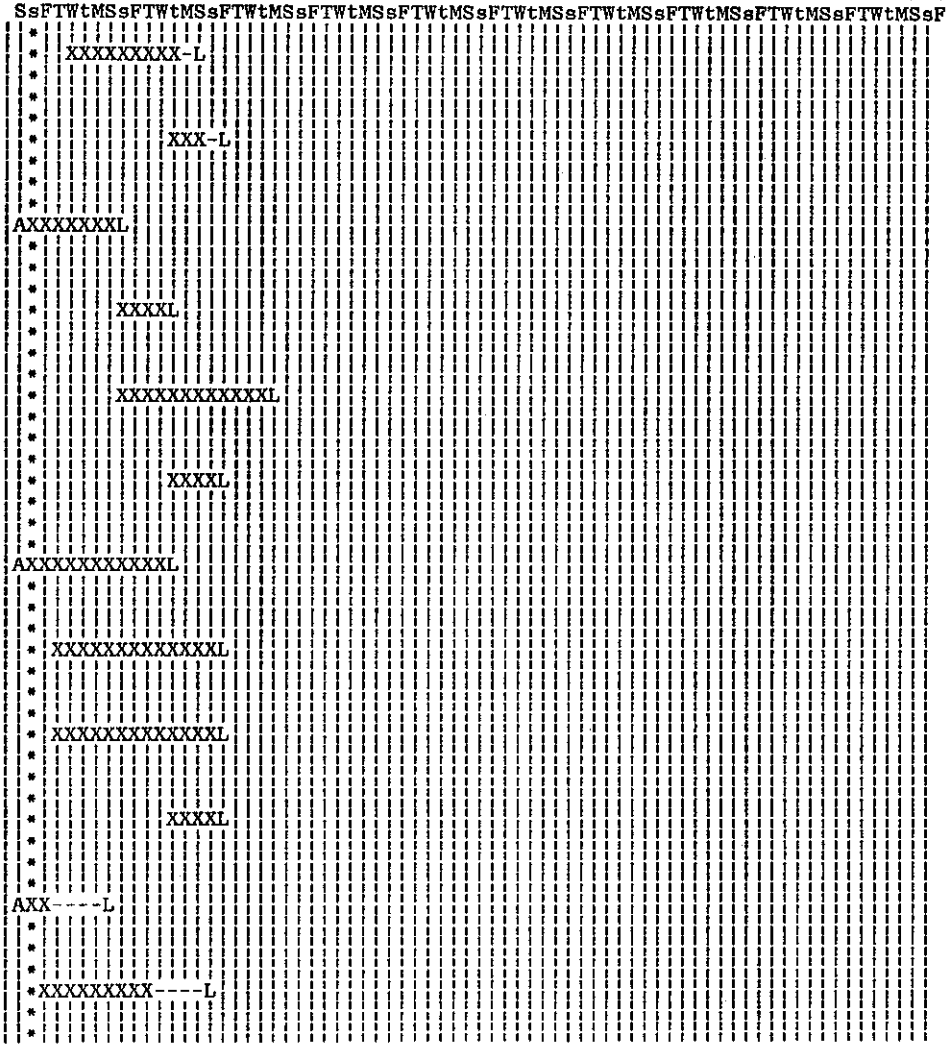
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータル フロート
62133000-C110000 変動シナリオ概念モデル作成			1apr90C 15jul90C	
62143110-C110000 AREST-PNC（デザインバージョン）の試算			1apr90C 15jul90C	
62143120-C110000 ＰＡＲバージョン作成	165	-140	1jun90A 27dec90	
62130000-C111600 熱－応力－水理条件に係る概念モデル見直し	540	591	22mar92 12sep93	
62130000-C111420 Redox-frontに関する概念モデル作成	720	591	28mar91 16mar93	
62111000-C111420 地下水の放射線分解に係わる予備的試験	615	591	1apr90A 21mar92	
62111100-C112130 試験設計	75	591	1apr90A 28sep90	
62111200-C112130 装置製作	180	591	29sep90 27mar91	
62111300-C112130 試験の実施	720	591	28mar91 16mar93	
62111400-C112130 試験結果と第１次解析モデルとの比較改良	180	591	17mar93 12sep93	
62111100-C111410 試験設計	75	231	1apr90A 28sep90	
62111200-C111410 装置製作	180	231	29sep90 27mar91	



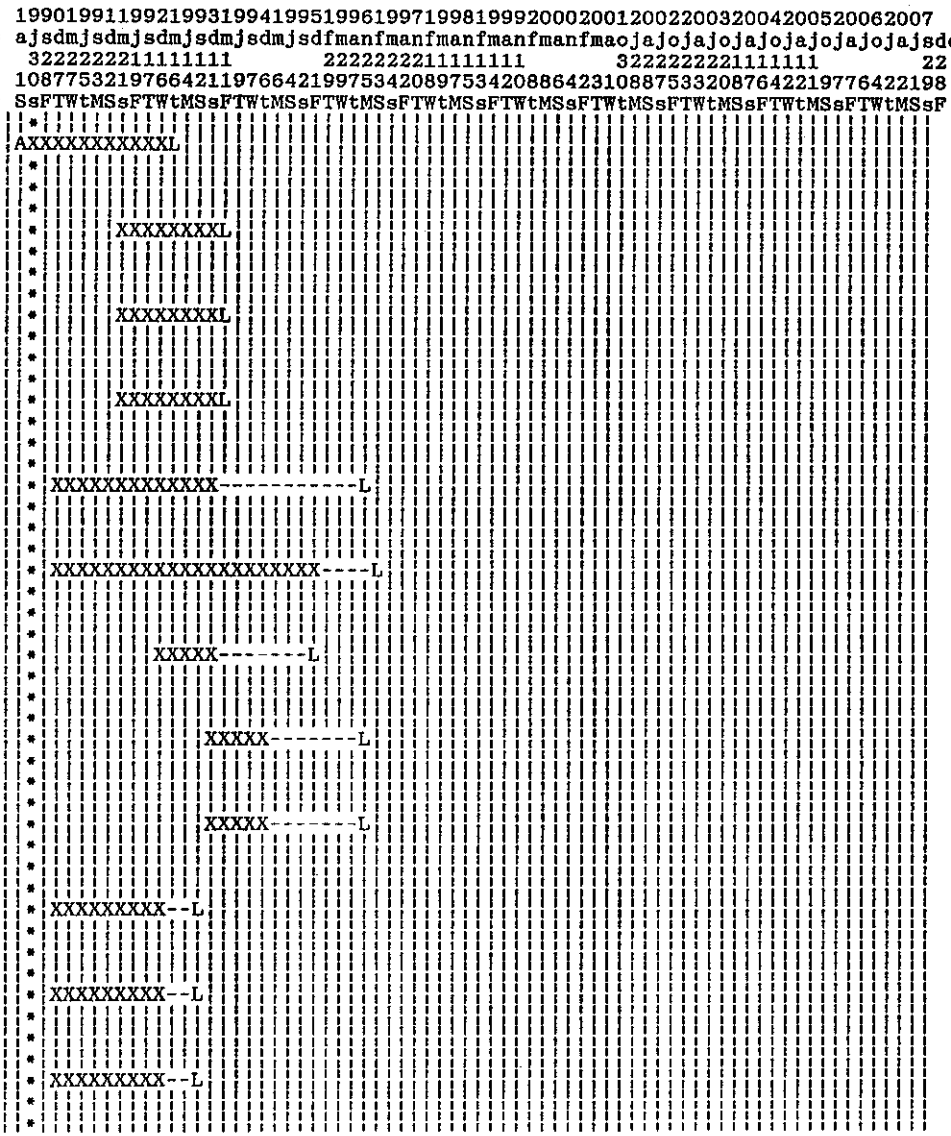
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62111300-C111410 試験の実施	720	231	28mar91 16mar93
62111400-C111410 試験結果と第１次解析モデルとの比較改良	180	231	17mar93 12sep93
621140-C11221121 バクテリア腐食の影響に関する文献調査検討	615	51	1apr90A 21mar92
621110-C11221122 ＳＣＣの影響に関する応力負荷腐食試験	360	51	22mar92 16mar93
621110-C11221123 マクロセル形成の影響に関する大型試験	1080	51	22mar92 6mar95
6213200-C1122112 炭素鋼の局部腐食詳細概念モデル作成	360	51	17mar93 11mar94
62111310-C112212 再不動態化法すきま腐食発生限界条件測定	975	51	1apr90A 16mar93
62111320-C112212 雰囲気制御下でのすきま腐食限界	1080	111	27jan91 10jan94
62111330-C112212 侵漬試験との一致性試験	1080	111	27jan91 10jan94
62130000-C112212 チタンの腐食についての概念モデル作成	360	51	17mar93 11mar94
62114000-C112213 海外の研究事例の調査	75	531	1apr90A 28sep90
62111000-C112213 影響因子パラメータ試験	720	531	29sep90 17sep92



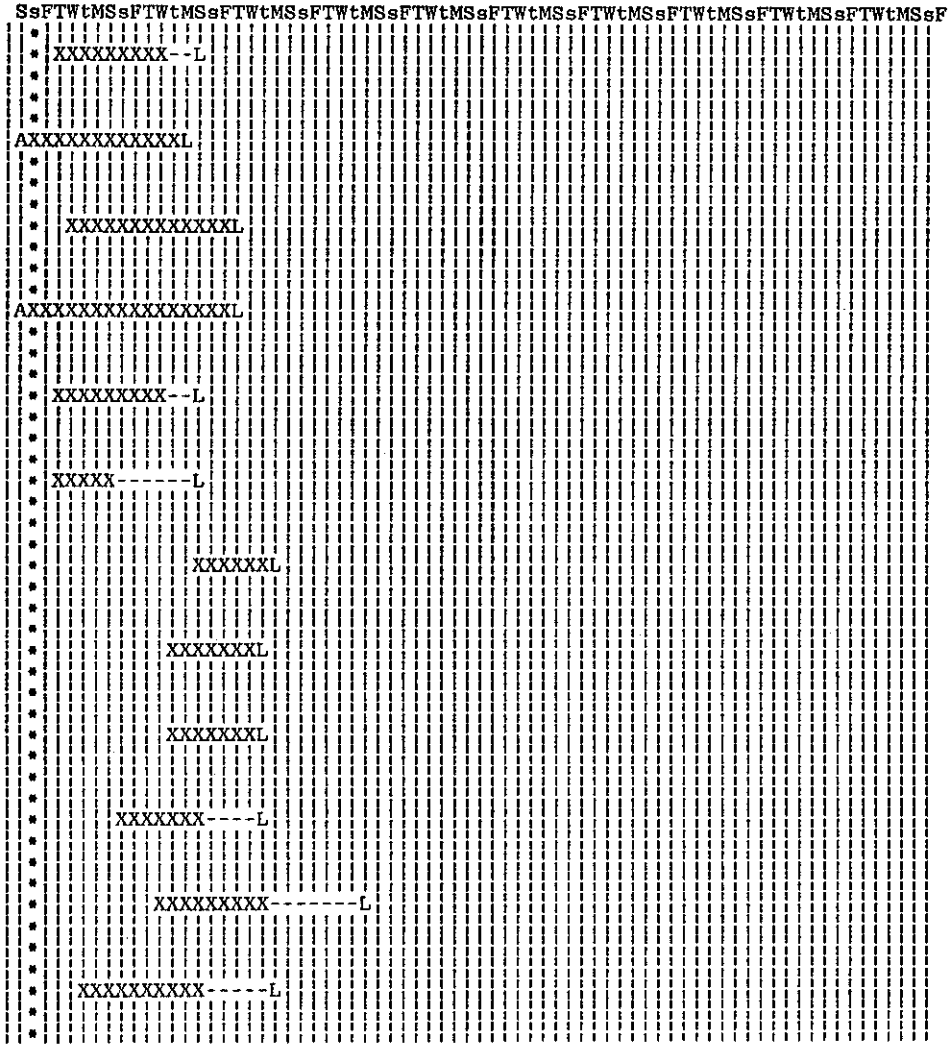
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62111000-C112110 熱－水理連成試験	975	51	1apr90A 16mar93
62131200-C112110 気液二相流の概念モデル作成	720	51	22mar92 11mar94
62131000-C112230 金属腐食への微生物の影響概念モデル作成	720	51	22mar92 11mar94
62131000-C112240 金属腐食への有機物の影響概念モデル作成	720	51	22mar92 11mar94
62132000-C112251 ガス発生の概念モデル作成	1080	1131	27jan91 10jan94
6211100-C1122521 水素放出メカニズムの把握	1800	471	27jan91 31dec95
6211100-C1122522 水素ガス存在下での炭素鋼の挙動把握	360	771	16jan93 10jan94
6211100-C1122523 水素ガス放出後の水理への影響の把握	360	771	11jan94 5jan95
62131000-C112252 水素ガス発生の影響概念モデル作成	360	771	11jan94 5jan95
62130000-C112220 金属腐食に伴う地下水変化概念モデル見直し	720	291	27jan91 15jan93
62132000-C112300 ガラス固化体からの核種放出モデルの改良	720	291	27jan91 15jan93
62132000-C112430 有効空隙．ベントナイト中定常拡散概念モデル	720	291	27jan91 15jan93



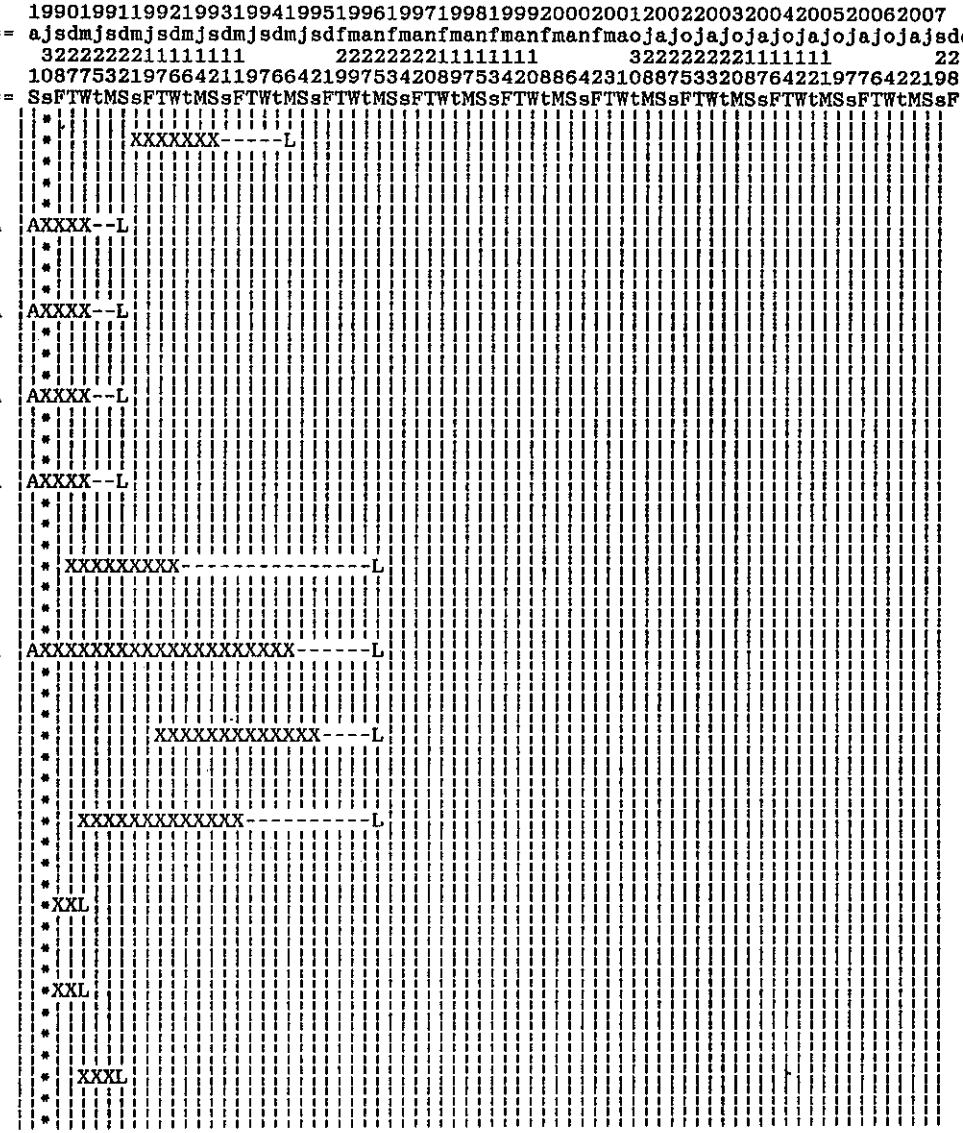
説明　：X =期間　，C =クリティカル期間，A =実績期間　，* =現時間　，- =余裕　，L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62132000-C112450 吸着平衡，ベントナイト中非定常拡散概念モデル	720	291	27jan91 15jan93
62111000-C112330 コロイド生成メカニズムとその基本物性の調査研究	975	104	1apr90A 16mar93
62130000-C112330 コロイド移動機構のモデル化	1080	104	28mar91 11mar94
62132000-C112500 周辺母岩中の核種移行概念モデル見直し	1335	104	1apr90A 11mar94
62142000-C111400 ＥＱ３／６と物質移行解析モデルとの連成	720	321	28dec90 16dec92
62143130-C110000 ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣシステムバージョン作成	360	681	28dec90 22dec91
62143140-C110000 第２次ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣのコード化	540	51	13sep93 6mar95
62141000-C112330 コロイド生成解析モデル開発	540	104	17mar93 7sep94
62141000-C112230 微生物の影響解析モデル開発	540	104	17mar93 7sep94
62141000-C112240 有機物の影響解析モデル開発	540	464	22mar92 12sep93
62141000-C112250 ガス発生の影響解析モデル開発	720	771	16jan93 5jan95
62141000-C111600 連成解析モデル改良とコード化	810	591	26jun91 12sep93



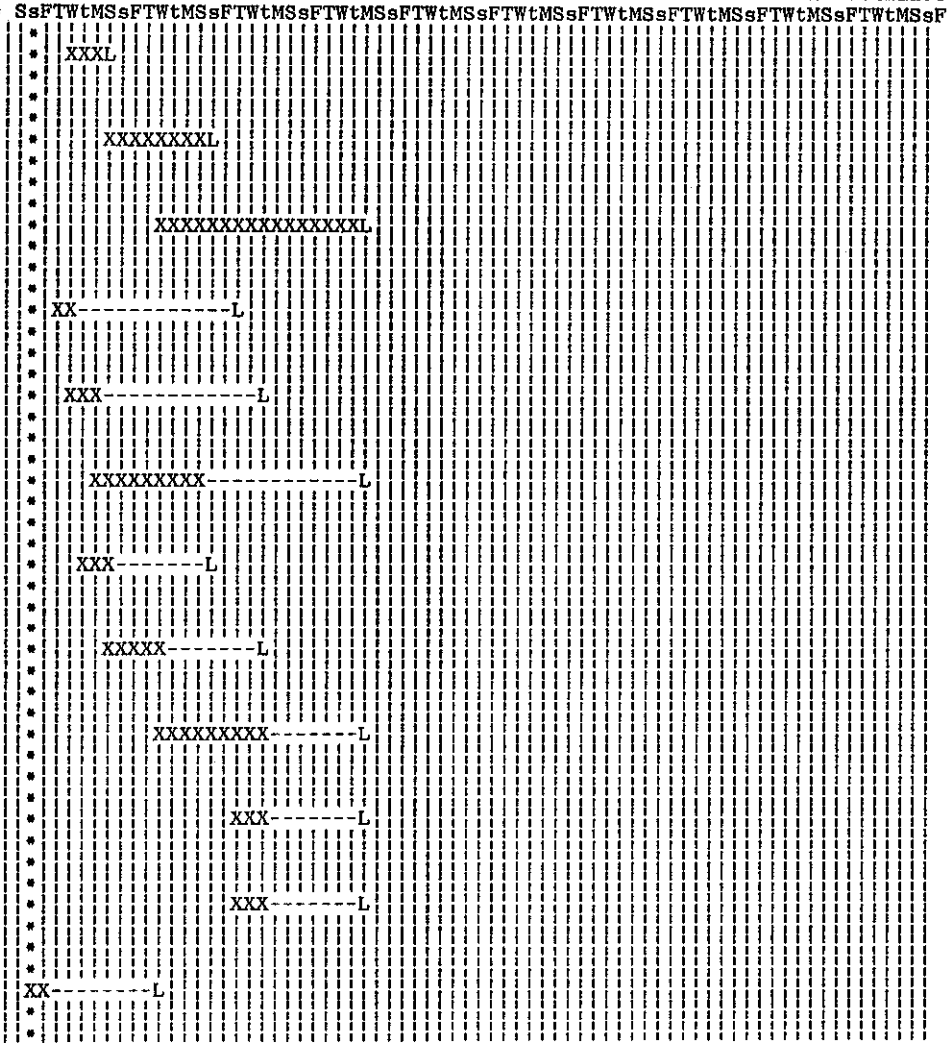
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62141000-C111420 概念モデルに基づく放射線分解モデルの改良	540	591	22mar92 12sep93
62211000-C112320 ＣＯ2が存在しない場合．Ａm溶解度試験	255	325	1apr90A 27mar91
62212100-C110000 理論の適合性についての科学的判断	255	325	1apr90A 27mar91
62221100-C110000 時間に依存せずに成立する評価手法の明示(1	255	325	1apr90A 27mar91
62231100-C110000 相互作用を無視できるﾌﾟﾛｾｽの組合せ明示(1)	255	325	1apr90A 27mar91
6221100-C1122111 腐食性物質供給律速の雰囲気制御腐食試験	720	1491	27jan91 15jan93
6223200-C1122111 圧縮ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄ共存下での腐食メカニズム試験	1695	711	1apr90A 6mar95
62232000-C112213 銅の腐食モデルについての確証	1080	531	18sep92 2sep95
62232000-C112320 溶解度限界放出仮定についての確証試験(2)	1080	1071	28mar91 11mar94
62220000-C112310 天然ガラスﾅﾁｭﾗﾙｱﾅﾛｸﾞ研究	180	51	29sep90 27mar91
62232210-C112310 確証試験計画	180	51	29sep90 27mar91
62232230-C112310 確証試験設備設計	300	51	28mar91 21jan92



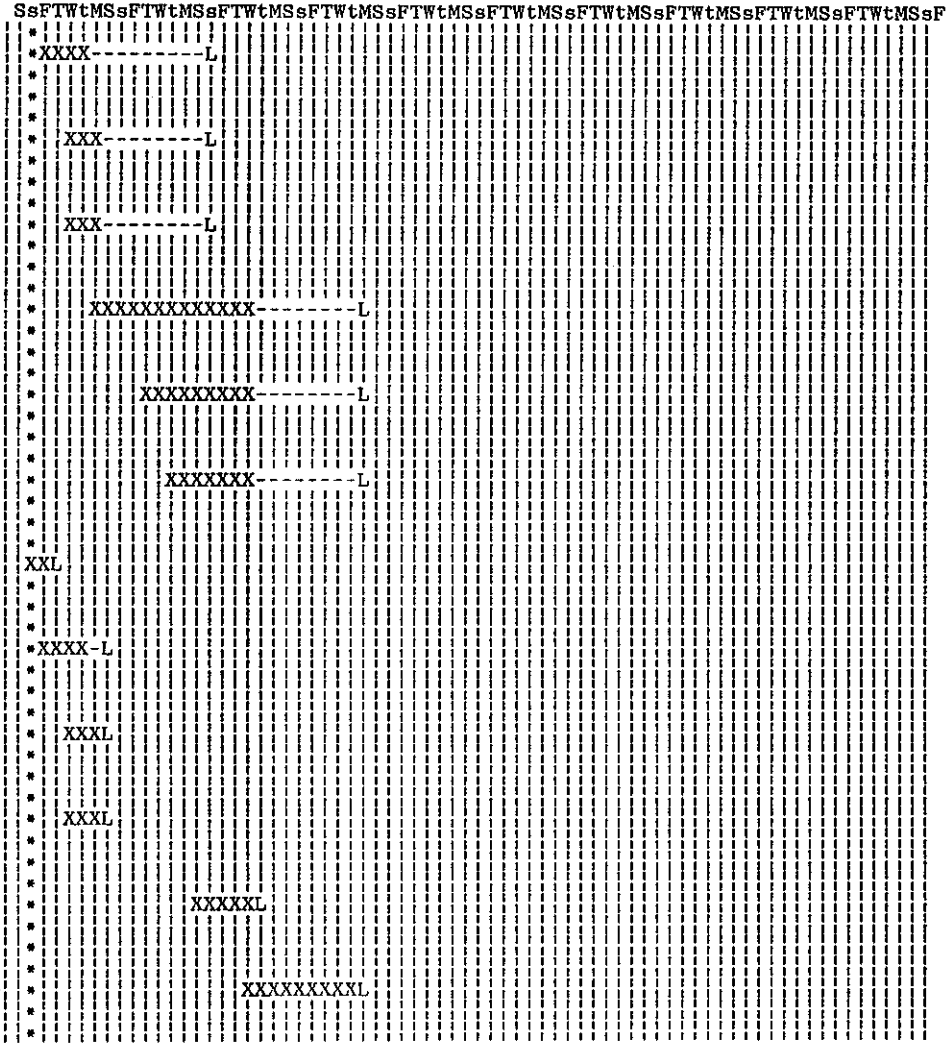
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータルフロート
62232250-C112310 確証試験設備製作	300		28mar91 21jan92	51
62211000-C112310 素反応の仮定に対する確証	720		22jan92 10jan94	51
62232260-C112310 複合系での確証試験	1440		16jan93 25dec96	51
62211100-C112450 線型の吸着モデルの妥当性の確証試験計画	120	1191	27jan91 26may91	
62211500-C112450 線型吸着モデルの妥当性確証試験設備の設計	180	1191	27may91 22nov91	
62211600-C112450 線型の吸着モデルの妥当性の確証試験実施	720	1191	23nov91 11nov93	
62211100-C112440 表面拡散モデルの妥当性確証試験計画作成	120	801	25aug91 22dec91	
62211500-C112440 表面拡散モデルの妥当性確証試験設備の設計	360	801	23dec91 16dec92	
62211600-C112440 表面拡散モデルの妥当性確証試験実施	720	801	17dec92 6dec94	
62211700-C112450 核種吸着についての結果のとりまとめ	180	801	10jun94 6dec94	
62211800-C112450 表面拡散についての結果のとりまとめ	180	801	10jun94 6dec94	
62211100-C111500 確証試験計画作成	90	876	16jul90 13oct90	



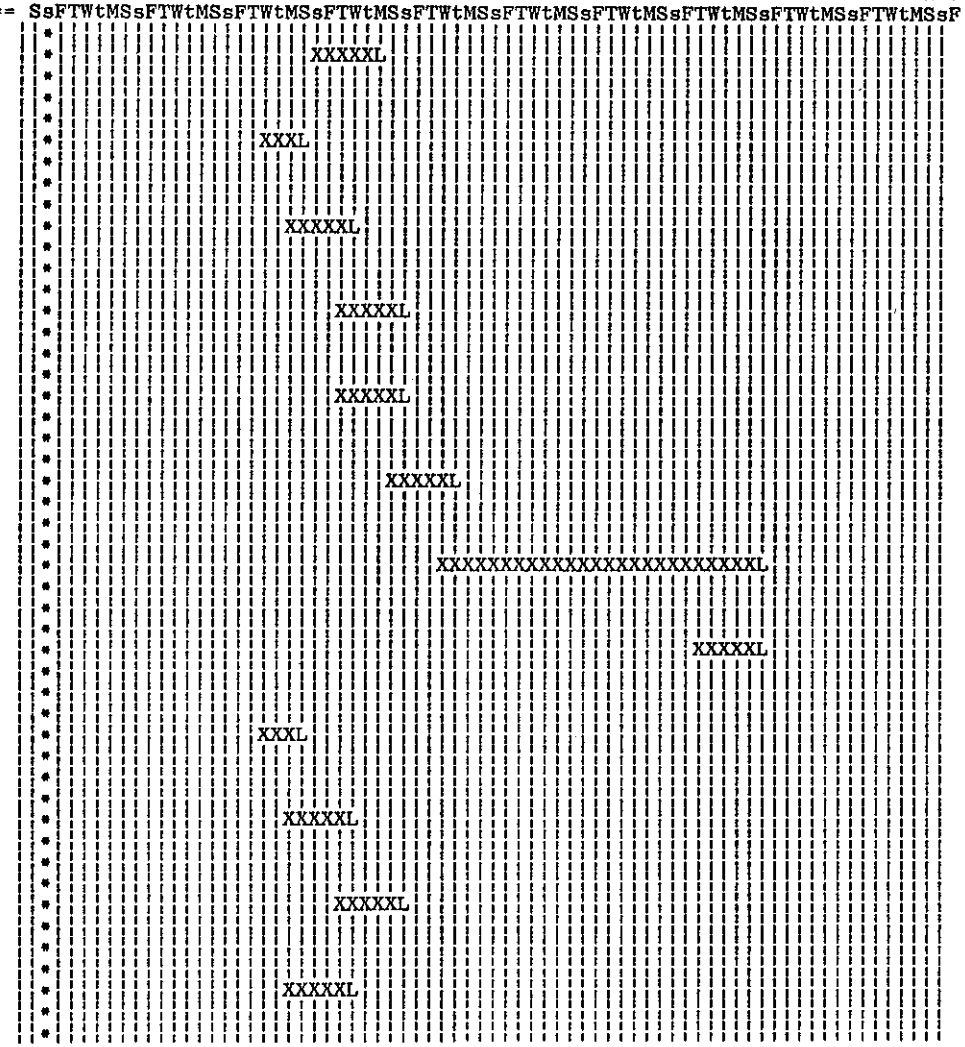
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62211200-C111500 事前解析	300	906	13nov90 8sep91
62211300-C111500 装置設計	180	876	12apr91 8oct91
62211400-C111500 試験設計	180	876	12apr91 8oct91
62211500-C111500 試験設備製作	1080	876	9oct91 22sep94
62211600-C111500 実施試験	720	876	3oct92 22sep94
62211700-C111500 結果のとりまとめ	540	876	1apr93 22sep94
62211100-C112500 確証試験計画作成	90	156	16jul90 13oct90
62211200-C112500 事前解析の実施	300	186	13nov90 8sep91
62211300-C112500 装置設計	180	156	12apr91 8oct91
62211400-C112500 試験設計	180	156	12apr91 8oct91
62211500-C112500 試験設備作成	360	156	28sep93 22sep94
62211600-C112500 検証試験	720	156	23sep94 11sep96



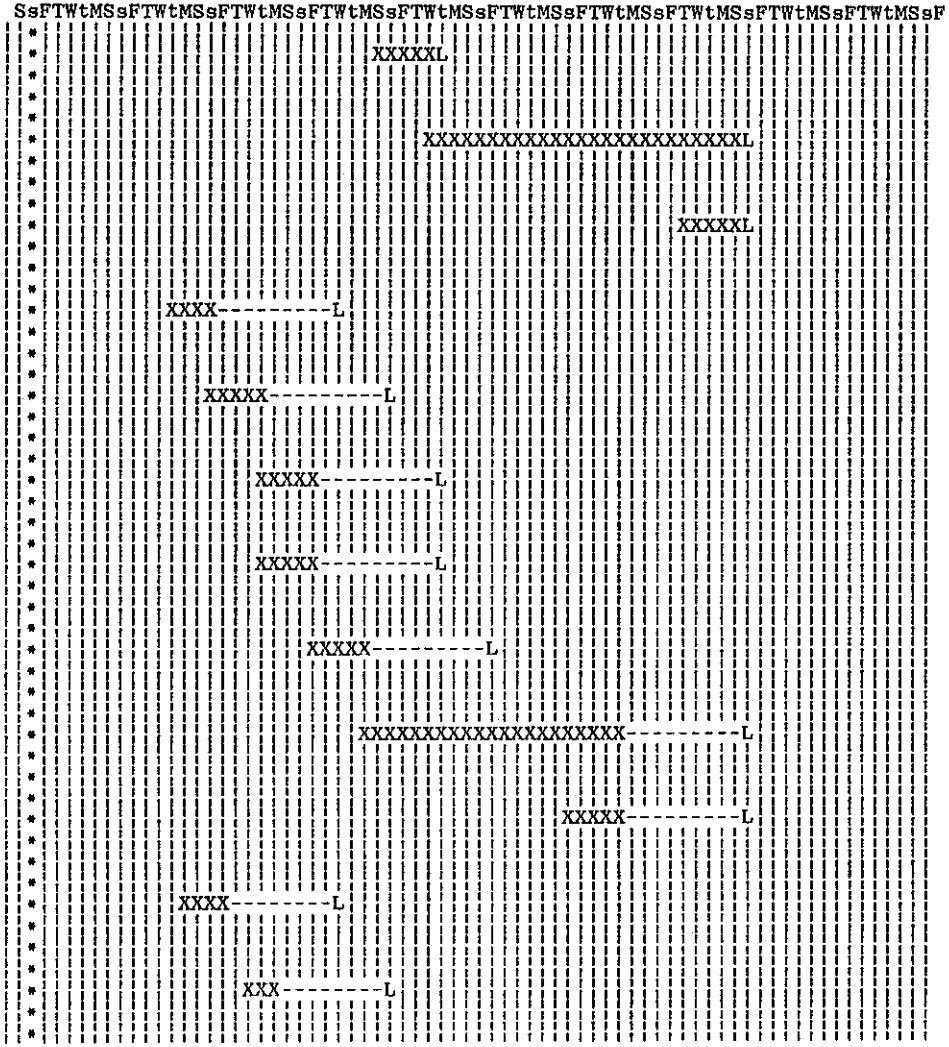
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62211700-C112500 結果のとりまとめ	360	156	18sep95 11sep96
62232210-C112330 確証試験計画の作成	180	104	8sep94 6mar95
62232220-C112330 事前解析	360	104	7mar95 29feb96
62232230-C112330 設備設計	360	104	1mar96 23feb97
62232240-C112330 試験設計	360	104	1mar96 23feb97
62232250-C112330 設備製作	360	104	24feb97 18feb98
62232260-C112330 試験実施	2160	104	19feb98 18jan04
62232270-C112330 結果のとりまとめ	360	104	24jan03 18jan04
62232210-C112600 確証試験計画の作成	180	104	8sep94 6mar95
62232220-C112600 事前解析	360	104	7mar95 29feb96
62232230-C112600 試験設備設計	360	104	1mar96 23feb97
62232240-C112600 試験設計	360	104	7mar95 29feb96



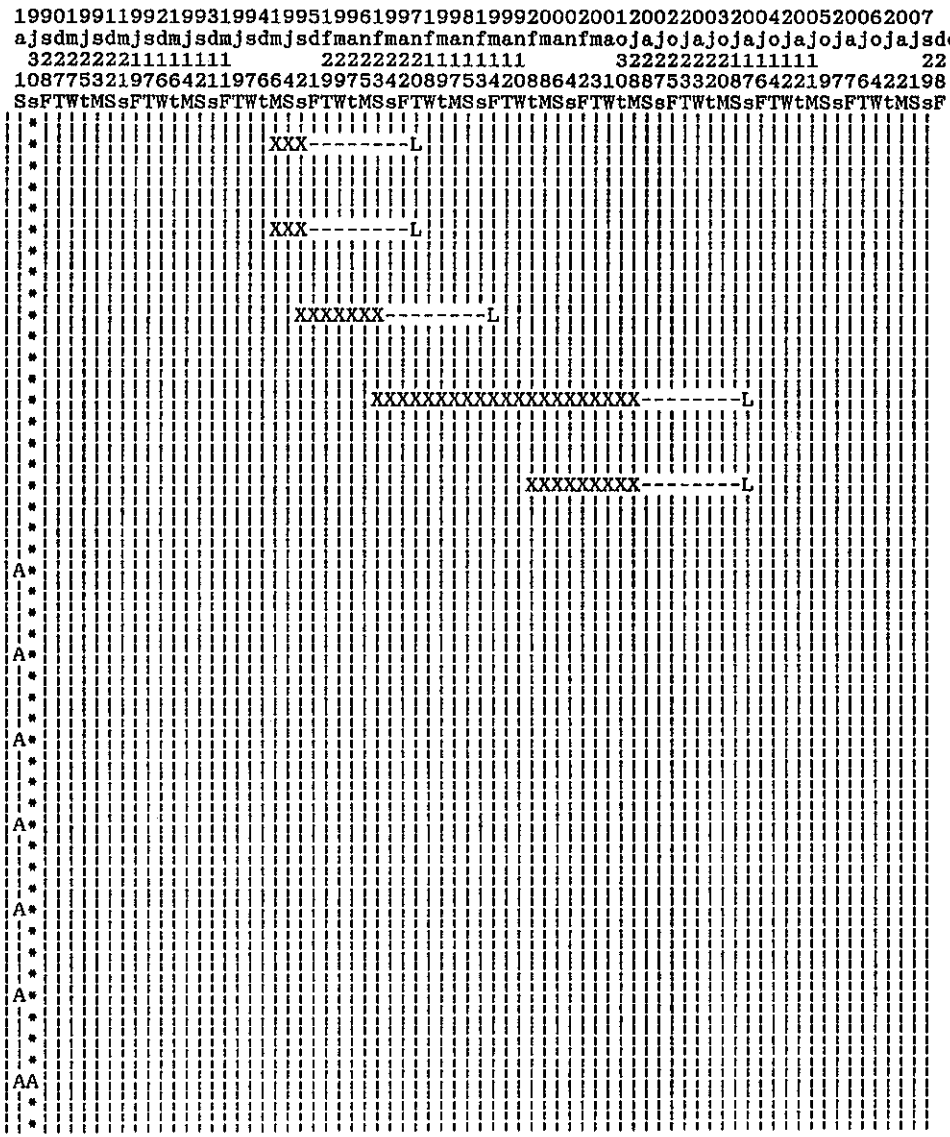
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62232250-C112600 設備製作	360	24feb97 18feb98	104
62232260-C112600 試験実施	2160	19feb98 18jan04	104
62232270-C112600 結果のとりまとめ	360	24jan03 18jan04	104
62232210-C112250 確証試験計画の作成	270	1apr93 26dec93	899
62232220-C112250 事前解析	360	27dec93 21dec94	899
62232230-C112250 試験設備設計	360	22dec94 16dec95	899
62232240-C112250 試験設計	360	22dec94 16dec95	899
62232250-C112250 試験設備製作	360	17dec95 10dec96	899
62232260-C112250 確証試験実施	1800	11dec96 14nov01	899
62232270-C112250 結果のとりまとめ	360	20nov00 14nov01	899
62233100-C110000 確証試験計画の作成	300	15jun93 10apr94	794
62233200-C110000 事前解析	180	8oct94 5apr95	794



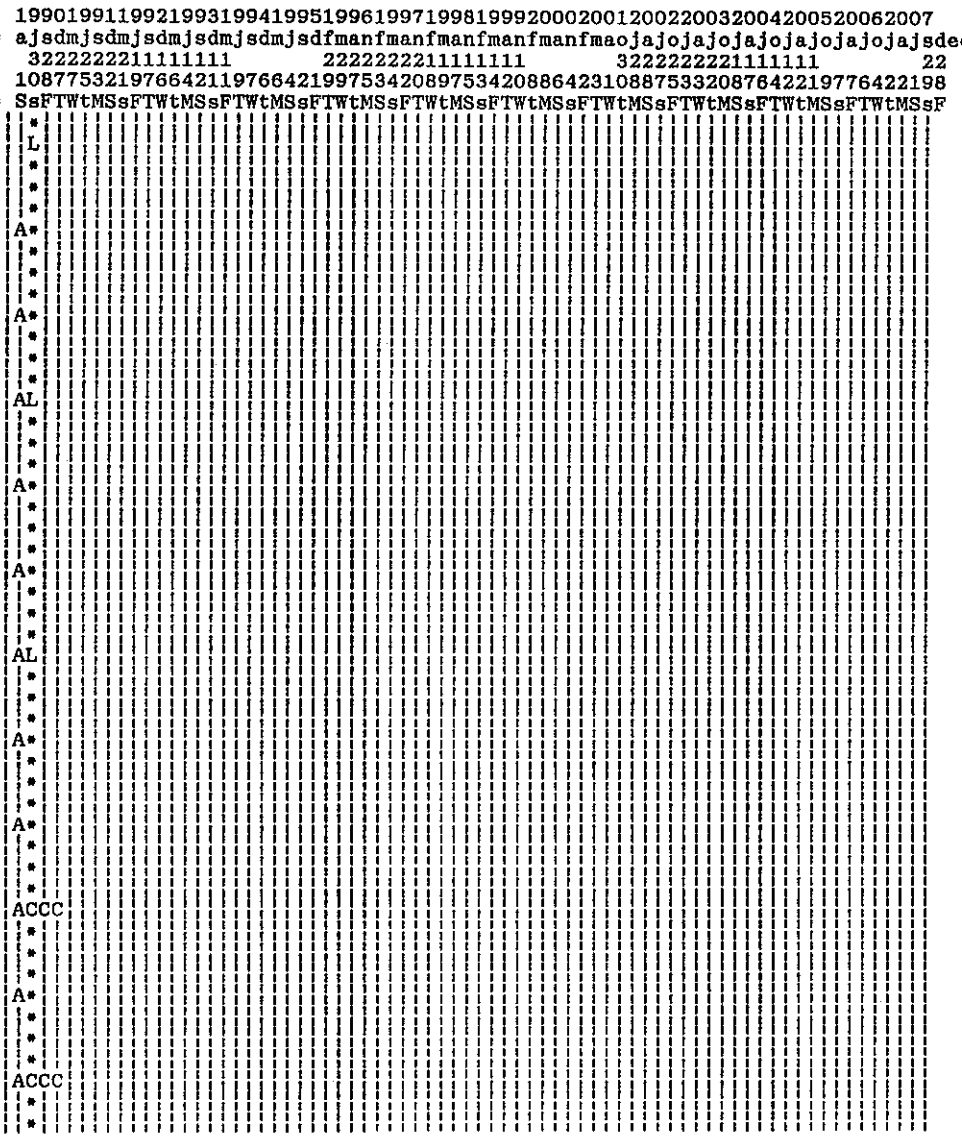
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータル フロート
62233300-C110000 試験設備設計	180	794	6apr95 2oct95	
62233400-C110000 試験設計	180	794	6apr95 2oct95	
62233500-C110000 試験設備製作	540	794	3oct95 25mar97	
62233600-C110000 確証試験実施	1800	794	26mar97 27feb02	
62233700-C110000 結果のとりまとめ	720	794	10mar00 27feb02	
62340000-C111100 熱的条件に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C	
62340000-C111200 応力条件に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C	
62340000-C111300 放射線学的条件に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C	
62340000-C111500 水理条件に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C	
62340000-C112130 緩衝材との反応による地下水化学変化データ			1apr90C 15jul90C	
62340000-C112120 緩衝材の熱変質予測に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C	
62411610-C111000 TEMPEST,orig及びEQ3/6用計算			1apr90C 15jul90C	



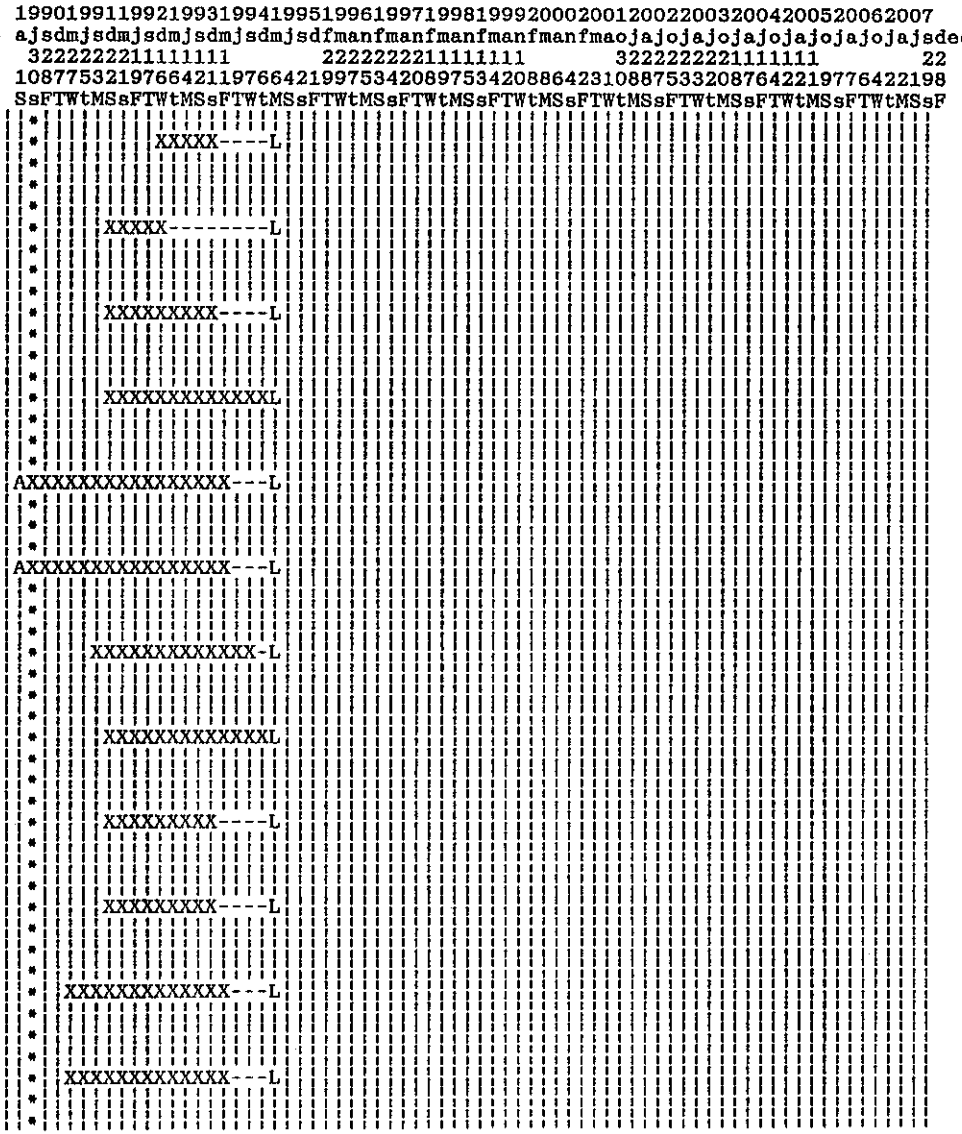
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62411620-C111000 AREST-PNC評価用ニアフィールド条件データベース計算	15	10	1jul90A 30jul90
62340000-C112110 人工バリア再冠水に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C
62340000-C112210 既存データの整理			1apr90C 15jul90C
62311000-C112210 概括的評価に係わるデータ取得		25	1apr90A 15jul90
62340000-C112220 オーバーパック腐食に伴う地下水変化のデータ整			1apr90C 15jul90C
62340000-C112310 ガラス溶解に係わる入力データの整理			1apr90C 15jul90C
62311000-C112320 核種の溶解に係る入力データの取得、整理	15	10	1apr90A 30jul90
62340000-C112430 緩衝材中の核種拡散に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C
62340000-C112450 緩衝材中の核種吸着に係わる入力データ整理			1apr90C 15jul90C
62311000-C112400 緩衝材中の核種移行に係る補足データ取得	195	-170	1jun90A 26jan91
62340000-C112500 周辺母岩中の核種移行に係る入力データ整理			1apr90C 15jul90C
62351100-C110000 概括的入力データセット整理	165	-140	1jun90A 27dec90



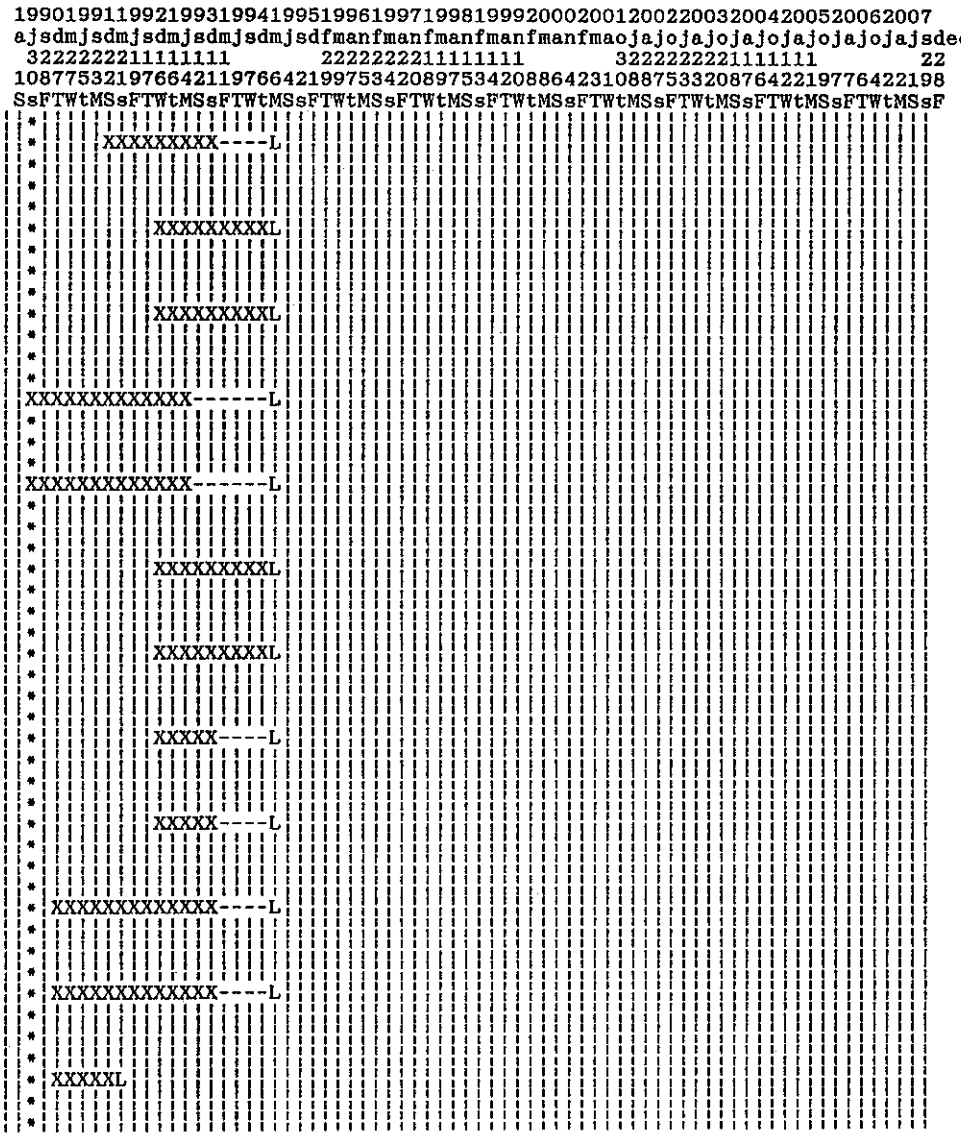
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62340000-C111600 熱－水理－応力条件に係わる入力データ整理	360	486	1jan93 26dec93
62340000-C111420 地下水に及ぼす放射線分解に係る既存データ	360	846	7jan92 31dec92
62310000-C111420 補足データ取得	720	486	7jan92 26dec93
62312000-C112130 緩衝材による地下水化学変化のデータ取得	1080	126	7jan92 21dec94
62312000-C112120 等温反応試験による変質速度評価	1335	411	1apr90A 11mar94
62320000-C112120 天然ベントナイト鉱床における変質評価	1335	411	1apr90A 11mar94
62312000-C111410 ニアフィールド.周辺母岩による地下水変質データ	1080	156	8dec91 21nov94
62312000-C112110 人工バリア再冠水に係わる入力データ取得	1080	126	7jan92 21dec94
623110-C11221111 酸素消費型全面腐食データ取得	720	486	7jan92 26dec93
623110-C11221112 水素発生型全面腐食データ取得	720	486	7jan92 26dec93
62311-C112211241 酸素消費型孔食データ取得	1080	396	12apr91 26mar94
62311-C112211242 水素発生型孔食データ取得	1080	396	12apr91 26mar94



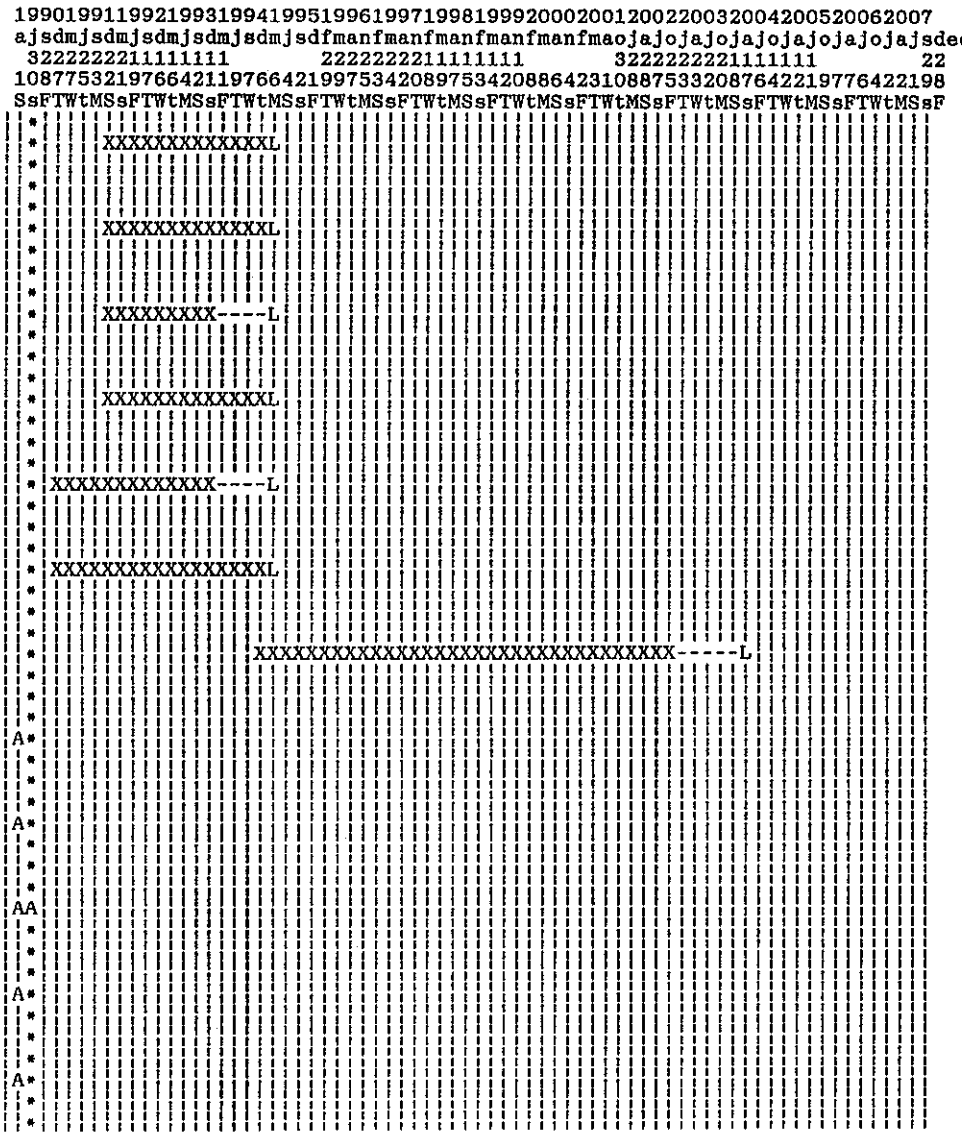
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
623110-C11221121 ＳＣＣ発生条件に係わるデータ取得	720	486	7jan92 26dec93
623110-C11221122 バクテリア腐食評価に係わるデータ取得	720	126	1jan93 21dec94
62310000-C112213 銅オーバーパックの腐食に係わる入力データ取得	720	126	1jan93 21dec94
62310000-C112212 チタンオーバパックの腐食に係わる入力データ取得	1080	666	16jul90 29jun93
62311000-C112220 金属腐食に伴う地下水化学変化データ取得	1080	666	16jul90 29jun93
62310000-C112230 金属腐食への微生物の影響解析データ取得	720	126	1jan93 21dec94
62310000-C112240 金属腐食への有機物の影響解析データ取得	720	126	1jan93 21dec94
62310000-C112251 水素ガスの発生速度評価	360	471	16jan93 10jan94
62310000-C112252 水素ガスの影響評価	360	471	16jan93 10jan94
62310000-C112313 ガラス固化体のオーバパック材反応の入力データ	1080	486	12jan91 26dec93
62310000-C112311 ガラス固化体の核種選択的放出データ取得	1080	486	12jan91 26dec93
62312000-C112321 代表アクチニド系関係の熱力学的データ取得	360	111	27jan91 21jan92



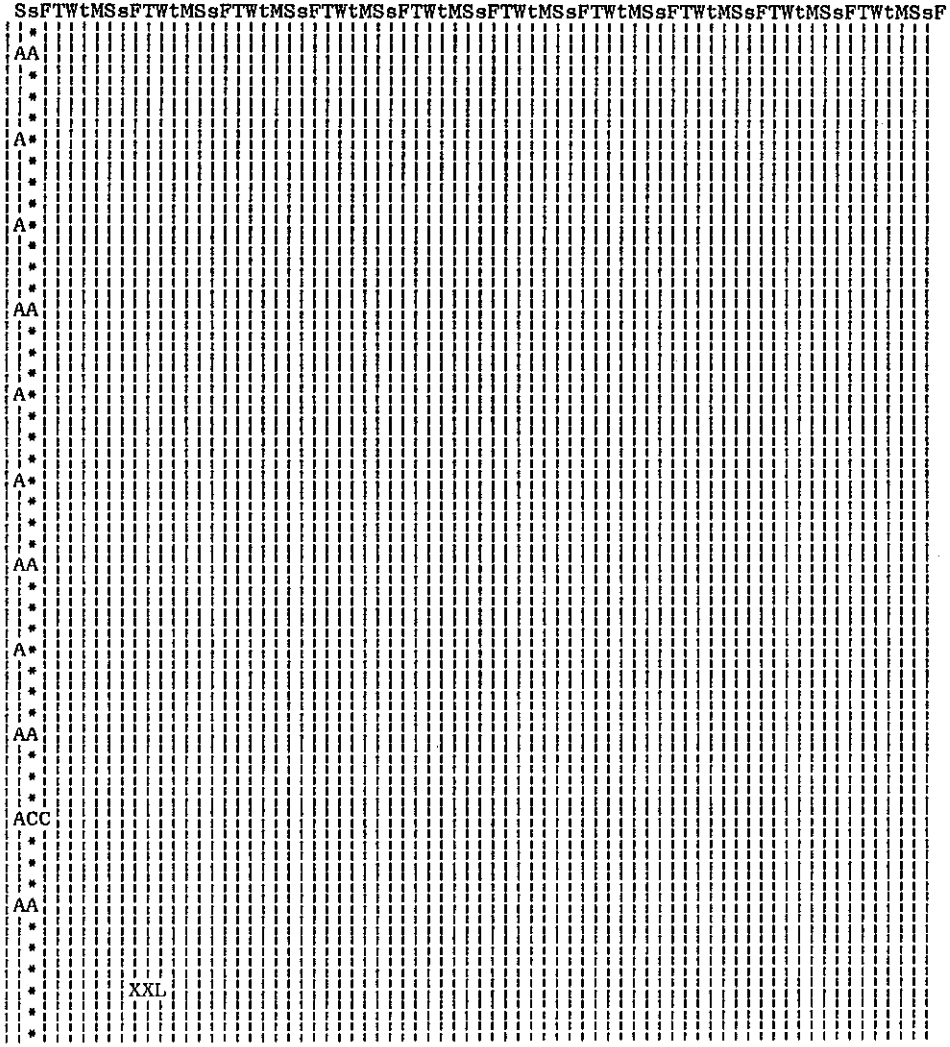
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62312000-C112322 その他のアクチニド系関係の熱的データ取得	1080	111	22jan92 5jan95
62312000-C112323 難溶解性核分裂生成物の溶解の熱力学データ	1080	111	22jan92 5jan95
62310000-C112330 コロイド生成についての入力データ取得	720	471	22jan92 10jan94
62310000-C112340 微生物・有機物の核種溶解影響の入力データ	1080	111	22jan92 5jan95
62312000-C112400 人工バリア.核種移行データ見直し.追加データ	1080	501	28dec90 11dec93
62312000-C112500 周辺母岩.核種移行データ見直し.追加データ	1440	141	28dec90 6dec94
62313000-C110000 人工バリア変更.ニアフィールド条件詳細化データ見直し	2880	554	7dec94 25oct02
62341100-C121200 文献調査による既存データの収集			1apr90C 15jul90C
62342000-C121200 文献調査による既存データの専門家知見集約			1may90C 15jul90C
62352100-C121200 保存的データセットの作成			1jun90C 15jul90C
62341100-C121100 既存データ測定方法.測定地点分布パラメタ値明確			1apr90C 15jul90C
62341200-C121100 パラメタと地質学条件の相関検討.組合せ明確化			1apr90C 15jul90C



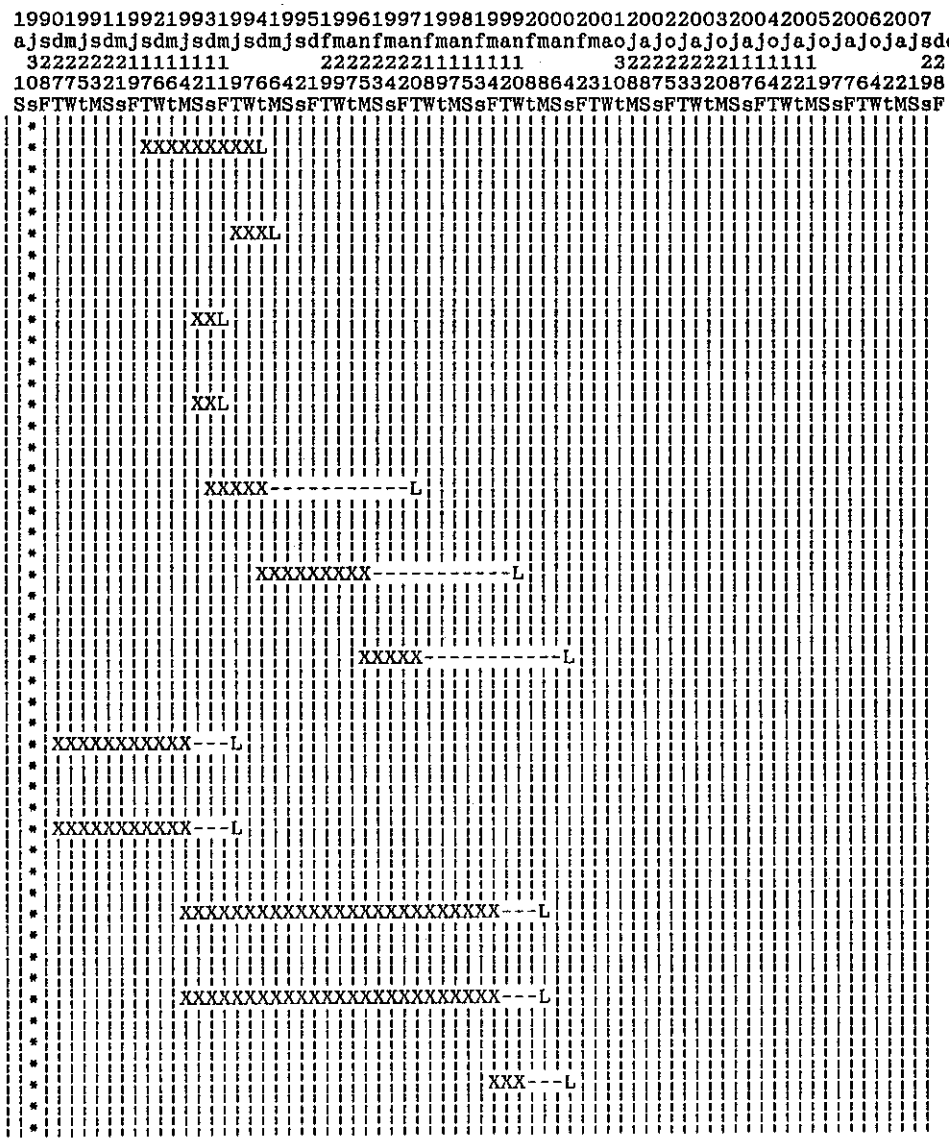
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62352100-C121100 保存的データセットの作成			1jun90C 15jul90C
62341100-C122132 既存データの長さ等に従う分類			1apr90C 15jul90C
62341300-C122132 回帰分析			1apr90C 15jul90C
62352100-C122132 保守的数値の設定			1jun90C 15jul90C
62341100-C122133 既存データ測定例での鉱物組成、地下水状態			1apr90C 15jul90C
62341300-C122133 回帰分析			1apr90C 15jul90C
62352100-C122133 保守的数値の設定			1jun90C 15jul90C
62341100-C122134 既存データの岩種・亀裂周辺の状態分類			1apr90C 15jul90C
62352100-C122134 保守的数値の設定			1jun90C 15jul90C
62341400-C122131 感度解析	75	-5	1apr90A 28sep90
62352100-C122131 保守的条件の設定			1jun90C 15jul90C
62312100-C121210 データ取得項目の明確化	60	141	20jul92 17sep92



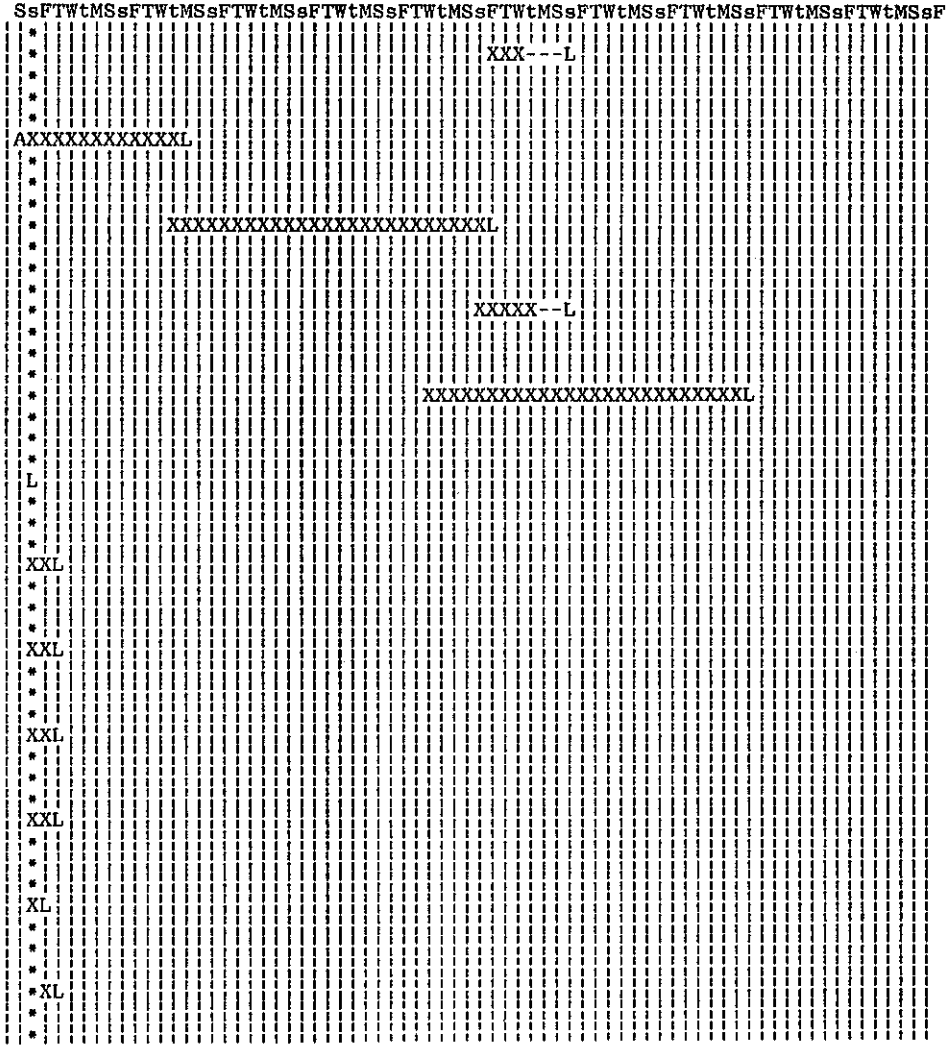
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62312200-C121210 データ取得	720	141	18sep92 7sep94
62352200-C121210 データベースの改訂	180	141	10jun94 6dec94
62352200-C121100 不連続.不均質性媒体等価透水係数推定データ	180	51	13sep93 11mar94
62352200-C122130 二重空隙構造中核種移行解析用データ整理	180	51	13sep93 11mar94
62312100-C122140 地下水条件との比較によるデータ項目明確化	360	1124	11jan94 5jan95
62312200-C122140 データ取得のための実験	720	1124	6jan95 25dec96
62352200-C122140 データセット作成	360	1124	26dec96 20dec97
62312100-C122113 亀裂中での吸着についての試験計画	900	404	27jan91 14jul93
62312100-C122123 岩体マトリクスへの試験計画	900	404	27jan91 14jul93
62312200-C122113 亀裂中での吸着についての吸着試験の実施	2160	404	15jul93 13jun99
62312200-C122123 岩体マトリクスへの吸着試験の実施	2160	404	15jul93 13jun99
62352200-C122113 亀裂中での吸着についてのデータセット作成	180	404	14jun99 10dec99



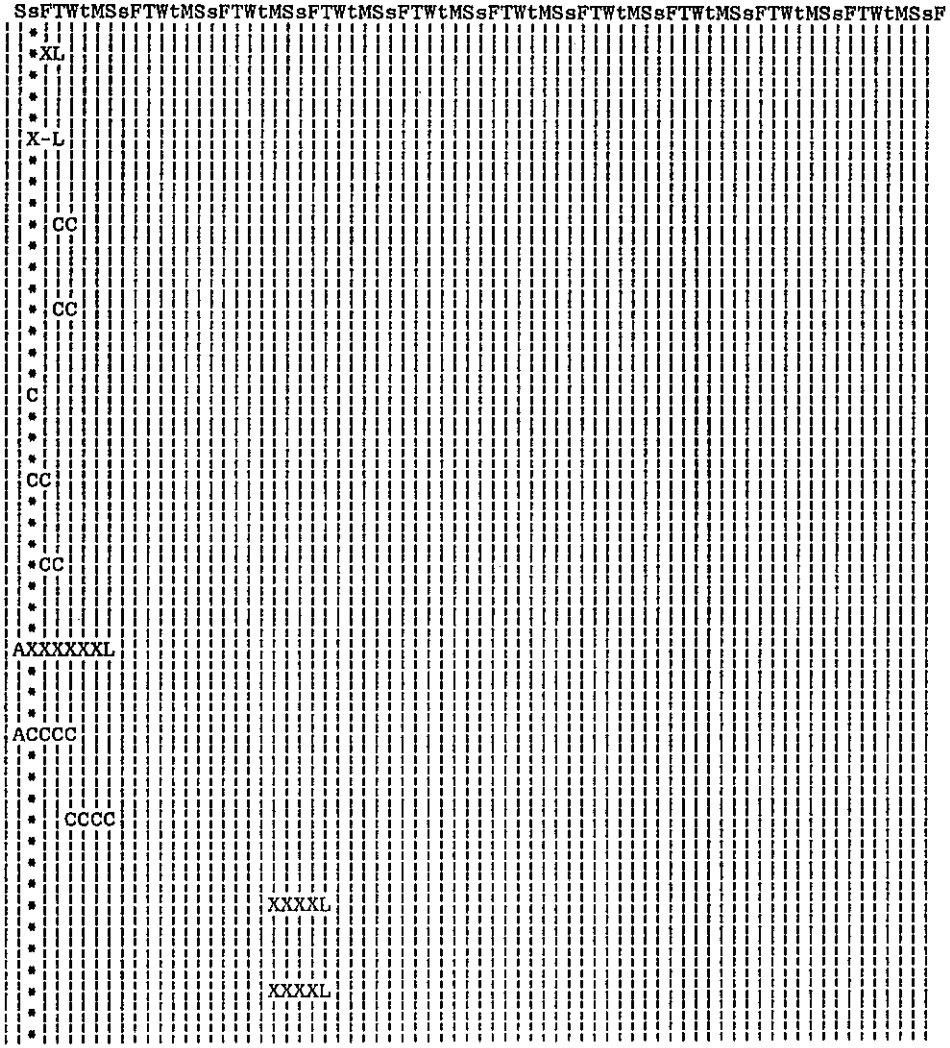
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータル フロート
62352200-C122123 岩体ﾏﾄﾘｸｽへのデータセット作成	180		404	14jun99 10dec99
62312100-C122110 トレーサ試験、微視的分散係数用解析手法	975		104	1apr90A 16mar93
62312200-C122110 トレーサ試験の実施	2160		104	17mar93 13feb99
62352200-C122110 データセット作成	360		344	14feb99 8feb00
62313000-C120000 補足的データ取得	2160		104	19feb98 18jan04
62411111-C130000 RELEASE によるﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の評価計算	45		25	1jul90A 29aug90
62411112-C130000 AREST-PNC(PAR)によるﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の評価	165		25	1jul90A 27dec90
62411113-C130000 改良したFEMWASTE-PNC,又はCFEST評価計算	120		25	30aug90 27dec90
62411211-C130000 FEMWATER/FEMWASTE-PNC による評価計算	105		85	1jul90A 28oct90
62411212-C130000 ROCKによる評価計算	105		85	1jul90A 28oct90
62411121-C130000 変動ｼﾅﾘｵに応じたRELEASE の計算	60		25	30aug90 28oct90
62411122-C130000 変動ｼﾅﾘｵに応じたAREST-PNCの計算	60		25	29oct90 27dec90



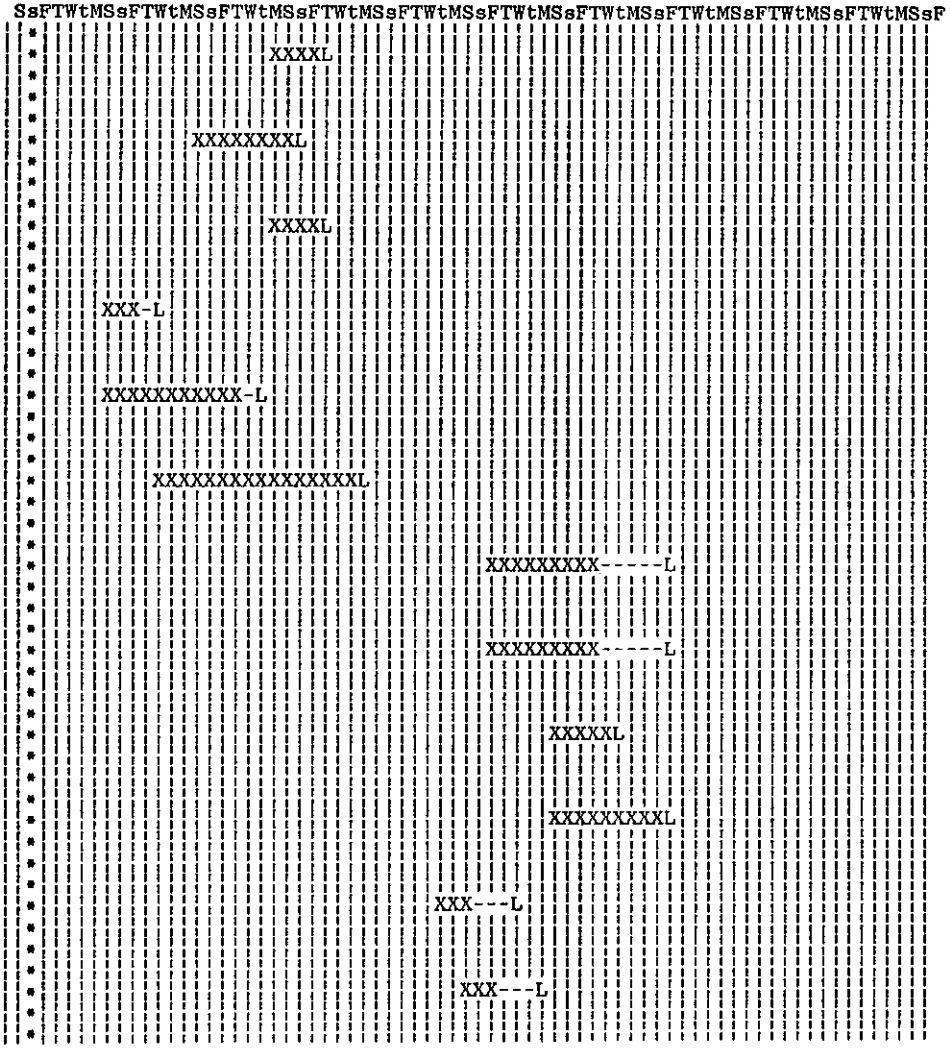
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62411123-C130000 変動ｼﾅﾘｵに応じたFEMWATER/FEMWAST-PNC計算	60	25 29oct90 27dec90	
62411310-C130000 諸外国の評価方法、評価結果のとりまとめ	45	145 1jul90A 29aug90	
62411320-C130000 第一次評価結果のとりまとめ	60	-5 27jan91 27mar91	
62411330-C130000 比較・分析	30	-5 26feb91 27mar91	
62411410-C130000 コード間のインターフェース開発	45	-5 1jul90A 29aug90	
62411420-C130000 感度解析手法、及び範囲の決定	60	-5 30aug90 28oct90	
62411430-C130000 感度解析の実施.ﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞのﾊﾟﾗﾒﾀ重要度分類	90	-5 29oct90 26jan91	
62411510-C130000 グラフィックｼｭﾐﾚｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ整備	435	145 1apr90A 23sep91	
62411520-C130000 ソフトウェアーの開発	255	-5 1apr90A 27mar91	
62411530-C130000 基本ｹｰｽ,主要な変動ｹｰｽのｸﾞﾗﾌｨｯｸｼｭﾐﾚｰｼｮﾝ	330	-5 28mar91 20feb92	
62412110-C130000 基本ｼﾅﾘｵでのﾆｱﾌｨｰﾙﾄﾞ性能の決定論的評価	360	51 7mar95 29feb96	
62412120-C130000 ＡＲＥＳＴ－ＰＮＣによる評価	360	51 7mar95 29feb96	



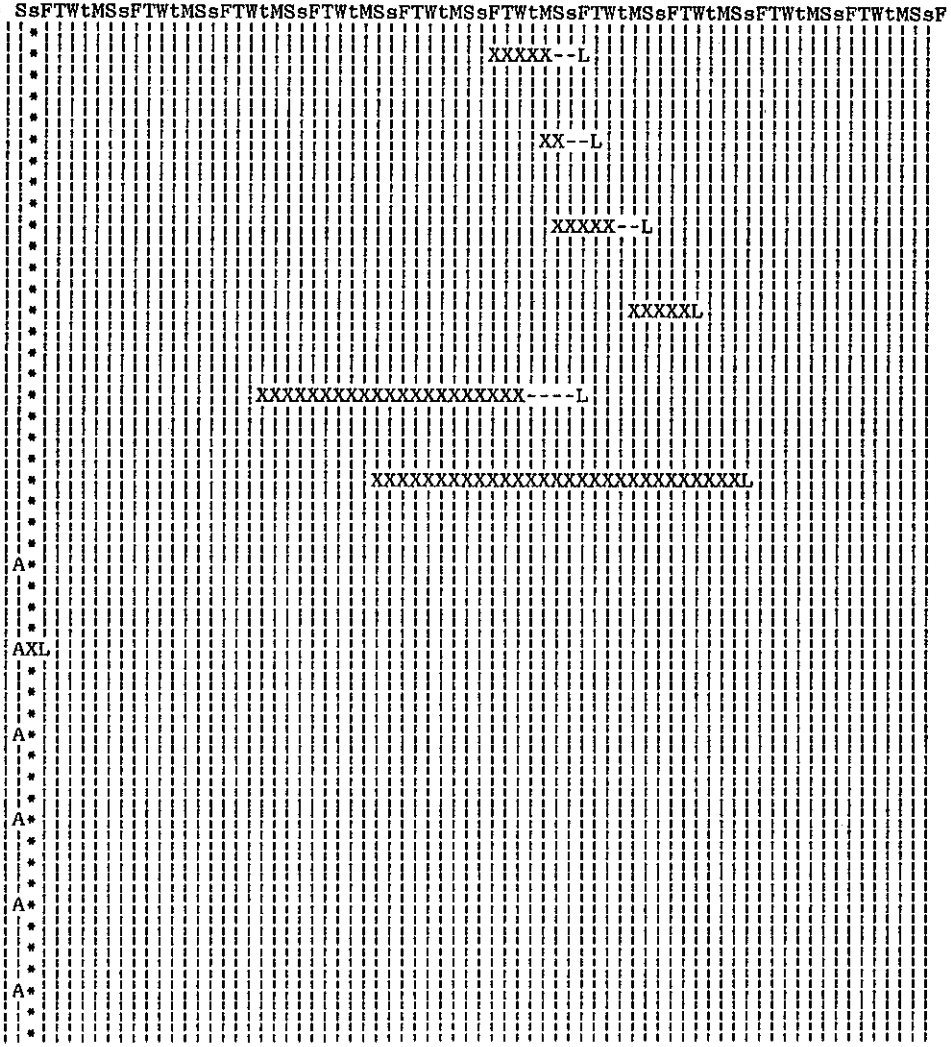
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62412200-C130000 ファーフィールド性能の概括的評価	360	51	7mar95 29feb96
62412310-C130000 解析モデル群の統合	720	51	13sep93 2sep95
62412320-C130000 全体システム感度解析によるファーフィールド性能明確化	360	51	7mar95 29feb96
62412410-C130000 高速アレイプロセッサの整備	180	171	21feb92 18aug92
62412420-C130000 対応するソフトウェアの改良	900	171	21feb92 8aug94
62412430-C130000 ニアフィールド性能についてのリアルタイムシュミレーション	1440	51	16jan93 25dec96
62413110-C130000 基本シナリオでのニアフィールド性能の決定論的評価	720	539	29jul99 17jul01
62413120-C130000 変動シナリオでのニアフィールド性能の確率論的評価	720	539	29jul99 17jul01
62413210-C130000 基本シナリオでのファーフィールド性能の決定論的評価	360	89	21oct00 15oct01
62413220-C130000 変動シナリオでのファーフィールド性能の確率論的評価	720	89	21oct00 10oct02
62413310-C130000 不確実性解析手法の調査検討	180	299	3aug98 29jan99
62413320-C130000 不確実性解析手法の選定	180	299	30jan99 28jul99



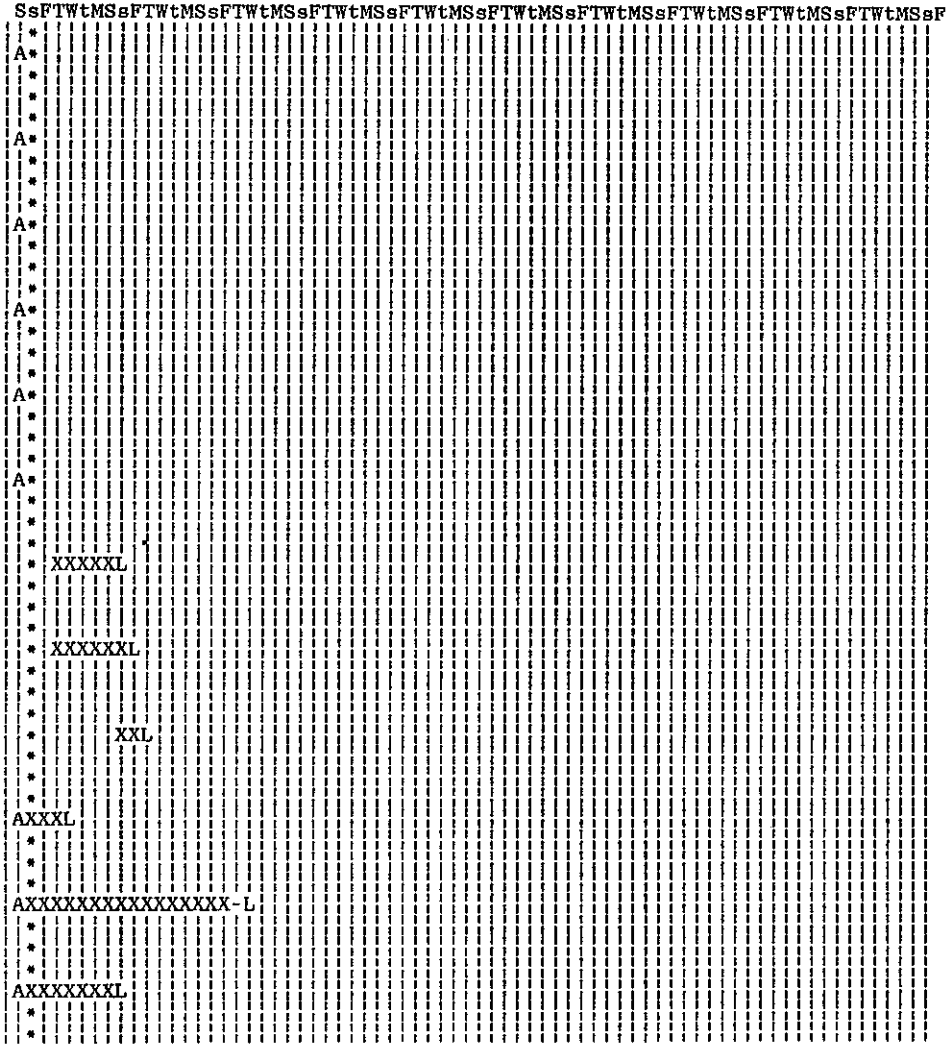
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62413330-C130000 不確実性解析用プリ・ポストプロセッサ開発	300	299	29jul99 23may00
62413340-C130000 対象とするパラメータの分布決定	120	299	24may00 20sep00
62413350-C130000 不確実性解析の実施	360	299	21sep00 15sep01
62413360-C130000 ファーフィールド性能の余裕度の定量的確認	300	89	14apr02 7feb03
62413410-C130000 ソフトウェアの開発	1800	404	5feb95 9jan00
62413420-C130000 総合的リアルタイムシュミレーションの実施	2520	89	11mar97 2feb04
62114000-C121200 EH決定的因子、代表的地下水組成の文献調査			1apr90C 15jul90C
62111000-C121200 ＥＨの決定的因子についての基礎試験の実施	135	25	1apr90A 27nov90
62131000-C121200 保守的概念モデルの作成			1may90C 15jul90C
62131100-C121100 多重バリアシステム性能への保守的条件の明確化			1apr90C 15jul90C
62114000-C121100 日本全国の地形.上下側方境界条件文献調査			16apr90C 15jul90C
62131200-C121100 保守的、わが国に存在する概念モデル構築			16may90C 15jul90C



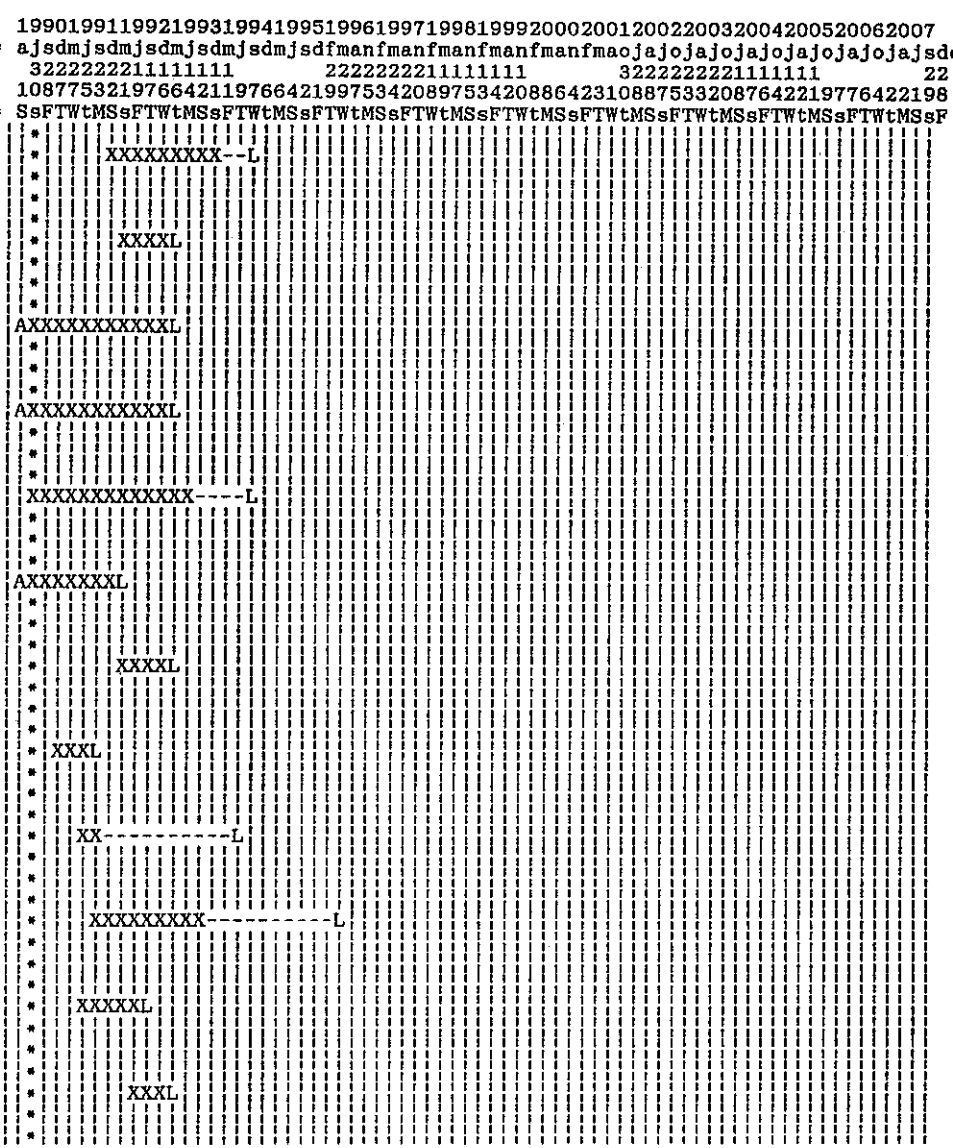
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータルフロート
62131100-C122000 多重バリアシステム性能への保守的条件の明確化			1apr90C 15jul90C	
62114000-C122000 異方性 不連続性 不均質性タイプの文献調査			16apr90C 15jul90C	
62131200-C122000 保守的、わが国に存在する概念モデル構築			1may90C 15jul90C	
62141000-C121210 岩石と平衡な深部地下水の酸化還元電位推定			1may90C 15jul90C	
62142100-C121100 多孔質媒体近似広域流動解析モデルの改良			1apr90C 15jul90C	
62142100-C122000 保守的な核種移行経路における解析モデル			1apr90C 15jul90C	
62114000-C121220 文献調査	360	111	27jan91 21jan92	
62112000-C121200 東濃.釜石等の深部地下水情報収集.相関解析	450	111	27jan91 20apr92	
62132000-C121200 現実的概念モデルの構築	90	111	21apr92 19jul92	
62114000-C121120 文献調査	255	51	1apr90A 27mar91	
62112100-C121120 東濃地域での広域地下水流動調査	1335	241	1apr90A 11mar94	
62112200-C121120 釜石地域での広域地下水流動調査	615	51	1apr90A 21mar92	



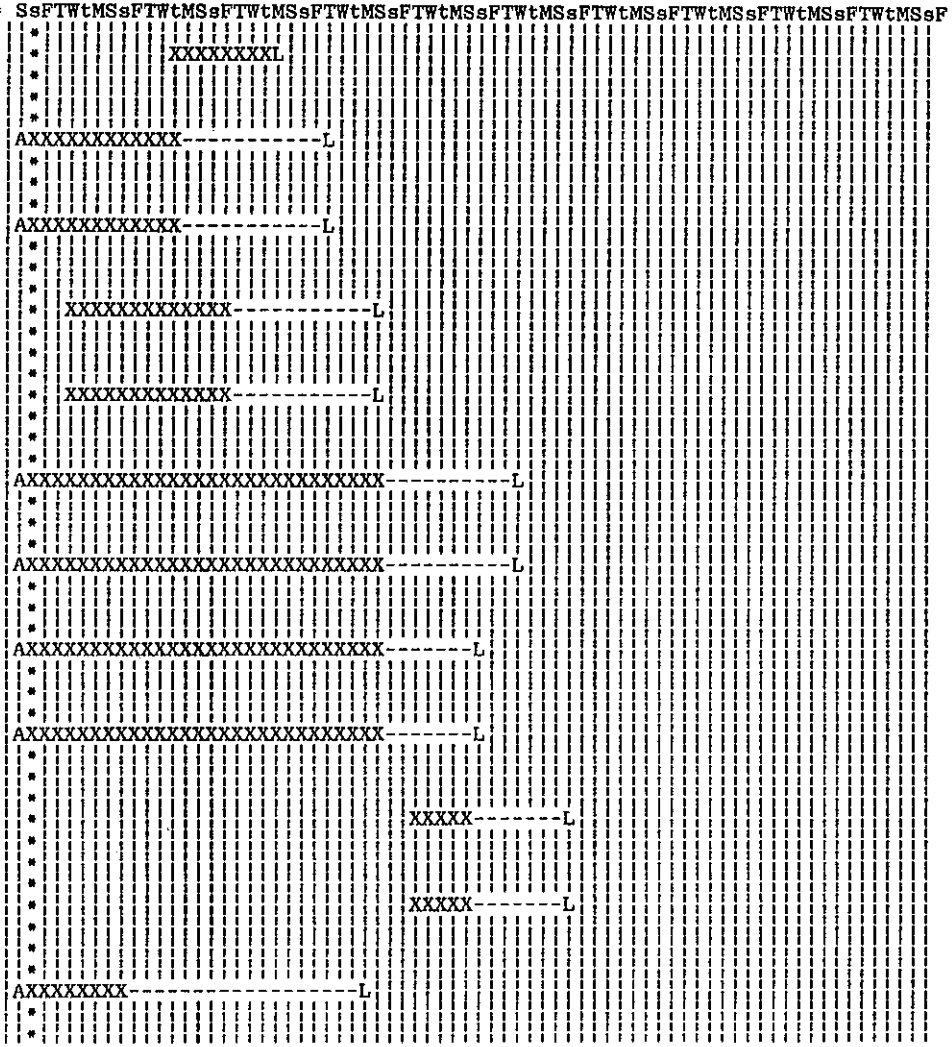
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62112300-C121120 地下研究施設での広域地下水流動調査	720	241	12mar92 1mar94
62132000-C121120 地形.水理地質.上下側方境界条件の相関検討	360	51	22mar92 16mar93
62112400-C122200 MOL.共同研究.原位置試験での巨視不均質性	975	51	1apr90A 16mar93
62112500-C122200 AECL共同研究.原位置試験での巨視不均質性	975	51	1apr90A 16mar93
62111000-C122130 室内試験.巨視的不均質タイプ抽出	1080	486	16jul90 29jun93
62111000-C122200 MOL共同研究での室内試験.巨視的不均質抽出	615	51	1apr90A 21mar92
62132000-C122000 現実的概念モデルの構築	360	51	22mar92 16mar93
62142210-C121200 ＧＨＣ解析手法の調査	180	111	27jan91 25jul91
62142220-C121200 ＧＨＣ解析手法の決定	90	974	26jul91 23oct91
62142230-C121200 ＧＨＣ解析モデルの開発	720	974	24oct91 12oct93
62141240-C121120 FRACTURE FLOW TASK FORCE開発のモデル導入	360	111	26jul91 19jul92
62141250-C121120 G解析モデルの適用性の検討、モデル改良	180	111	20jul92 15jan93



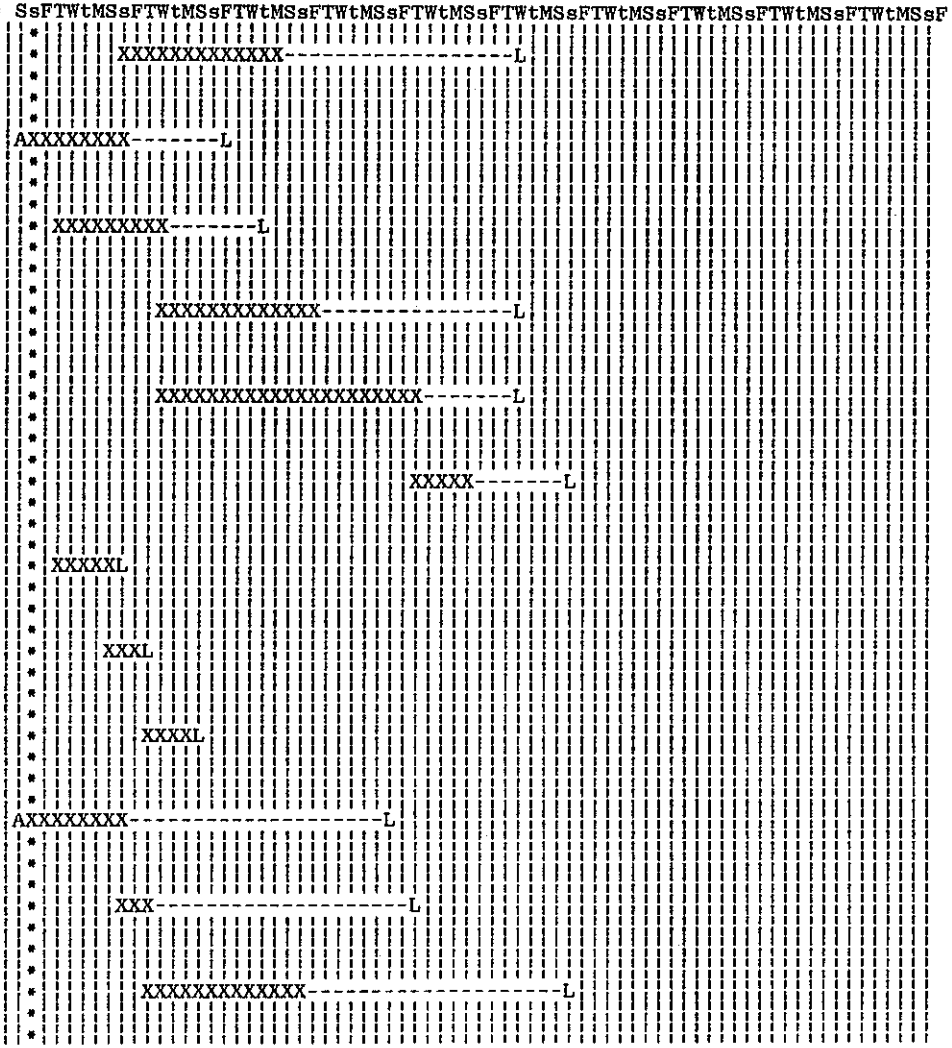
説明　.：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62141260-C121120 G解析モデルの改良	720	51	17mar93 6mar95
62111100-C122113 MOLとの共同研究.亀裂中の吸着鉱物の解明	975	1154	1apr90A 16mar93
62111100-C122123 MOLとの共同研究.岩体ﾏﾄﾘｸｽの吸着鉱物解明	975	1154	1apr90A 16mar93
62111300-C122113 わが国岩石室内試験.亀裂中の吸着遅延鉱物	1080	1154	28mar91 11mar94
62111300-C122123 わが国岩石室内試験.岩体ﾏﾄﾘｸｽ吸着遅延鉱物	1080	1154	28mar91 11mar94
6211300-C1221133 ﾅﾁｭﾗﾙｱﾅﾛｸﾞ研究.亀裂中での鉱物化ﾌﾟﾛｾｽ把握	2415	1064	1apr90A 23feb97
6211300-C122123D ﾅﾁｭﾗﾙｱﾅﾛｸﾞ研究.岩体ﾏﾄﾘｸｽ鉱物化ﾌﾟﾛｾｽ把握	2415	1064	1apr90A 23feb97
6211100-C1221134 室内試験.亀裂中の吸着ﾌﾟﾛｾｽの不可逆性把握	2415	794	1apr90A 23feb97
6211100-C122123E 室内.岩体ﾏﾄﾘｸｽへの吸着ﾌﾟﾛｾｽの不可逆性	2415	794	1apr90A 23feb97
62132200-C122113 亀裂中での吸着の概念モデル作成	360	794	21nov97 15nov98
62132200-C122123 岩体ﾏﾄﾘｸｽへの吸着の概念モデル作成	360	794	21nov97 15nov98
62112400-C122110 MOL.多孔質の微視不均質性.移行影響の解明	615	1784	1apr90A 21mar92



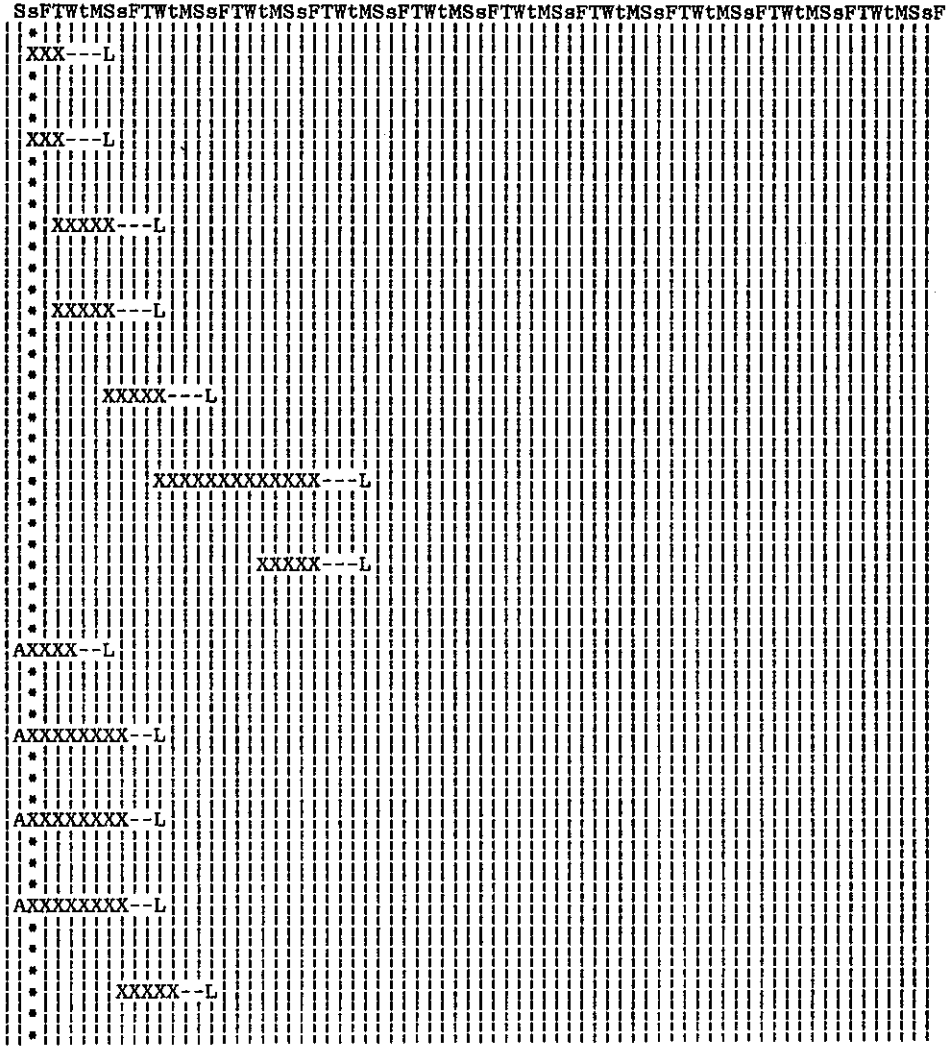
説明　：X =期間　，C =クリティカル期間，A =実績期間　，* =現時間　，- =余裕　，L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62112100-C122110 東濃.多孔質の微視不均質性.移行影響の解明	1080	1784	22mar92 6mar95
62112600-C122110 NAGRA.多孔質の微視不均質性が移行影響解明	615	764	1apr90A 21mar92
62112200-C122110 釜石.多孔質の微視不均質性.移行影響の解明	720	764	27jan91 15jan93
62112300-C122110 地下.多孔質の微視不均質性.移行影響解明	1080	1484	16jan93 31dec95
62111000-C122110 微視不均質性移行影響解明の岩体原位置試験	1800	764	16jan93 20dec97
62132000-C122110 現実的概念モデルの構築	360	764	21dec97 15dec98
62142210-C122100 ＧＨＣ解析手法とイオン交換モデル結合方法	360	111	27jan91 21jan92
62142220-C122100 モデル結合方法の決定	180	111	22jan92 19jul92
62142230-C122100 コード開発	360	51	18sep92 12sep93
62142210-C122110 統計的解析手法の調査	615	1964	1apr90A 21mar92
62142220-C122110 地質環境調査による対応の可否の検討	180	1964	22mar92 17sep92
62142230-C122110 解析コード開発	1080	1964	18sep92 2sep95



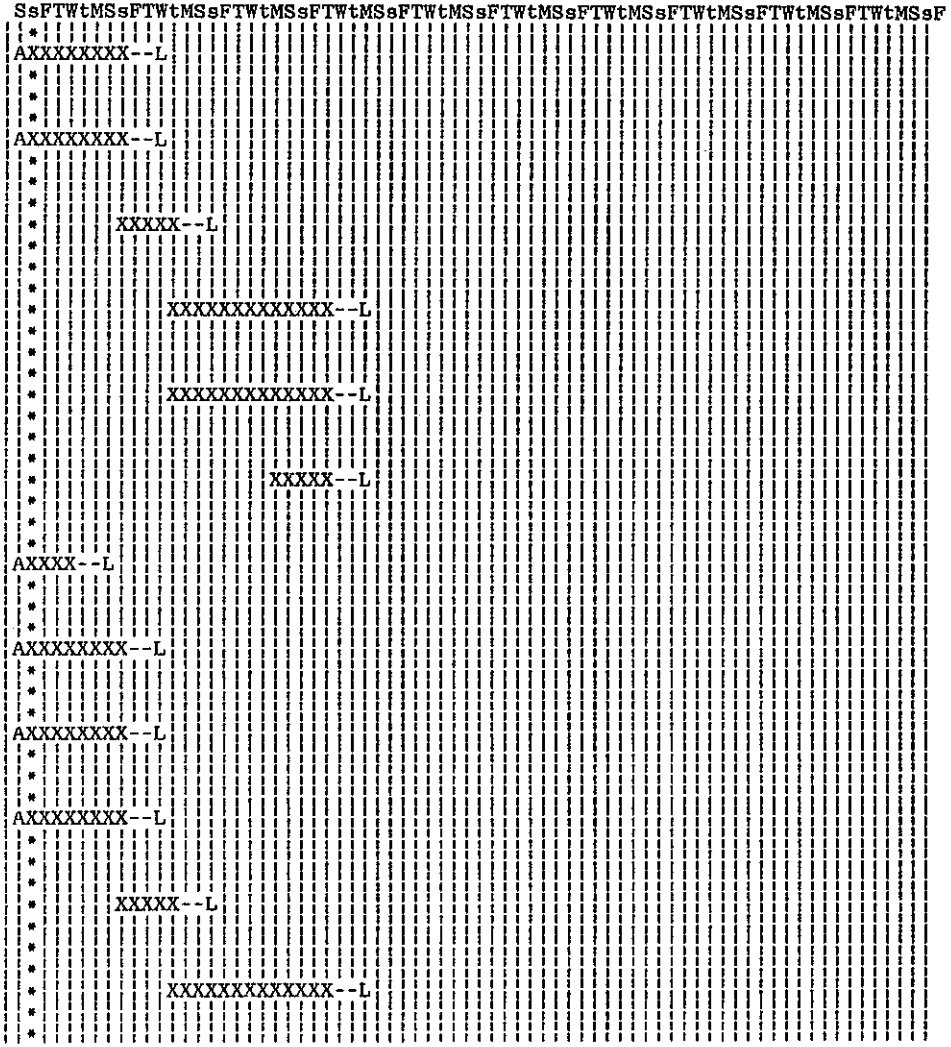
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り 期間	開始 終了	トータル フロート
62211100-C121200 確証試験計画	180	426	16jul90 11jan91
62211200-C121200 事前解析	180	426	16jul90 11jan91
62211300-C121200 試験設計	360	426	12jan91 6jan92
62211400-C121200 設備設計	360	426	12jan91 6jan92
62211500-C121200 設備製作	360	426	7jan92 31dec92
62211600-C121200 確証試験の実施	1080	426	1jan93 16dec95
62211700-C121200 結果の取りまとめとモデル改良	360	426	22dec94 16dec95
62211100-C121120 確証試験計画	255	351	1apr90A 27mar91
62211200-C121120 事前解析	615	351	1apr90A 21mar92
62211300-C121121 ＧＥＯＴＥＸ試験設計	615	351	1apr90A 21mar92
62211400-C121121 ＧＥＯＴＥＸ設備設計	615	351	1apr90A 21mar92
62211500-C121121 ＧＥＯＴＥＸ設備製作	360	351	22mar92 16mar93



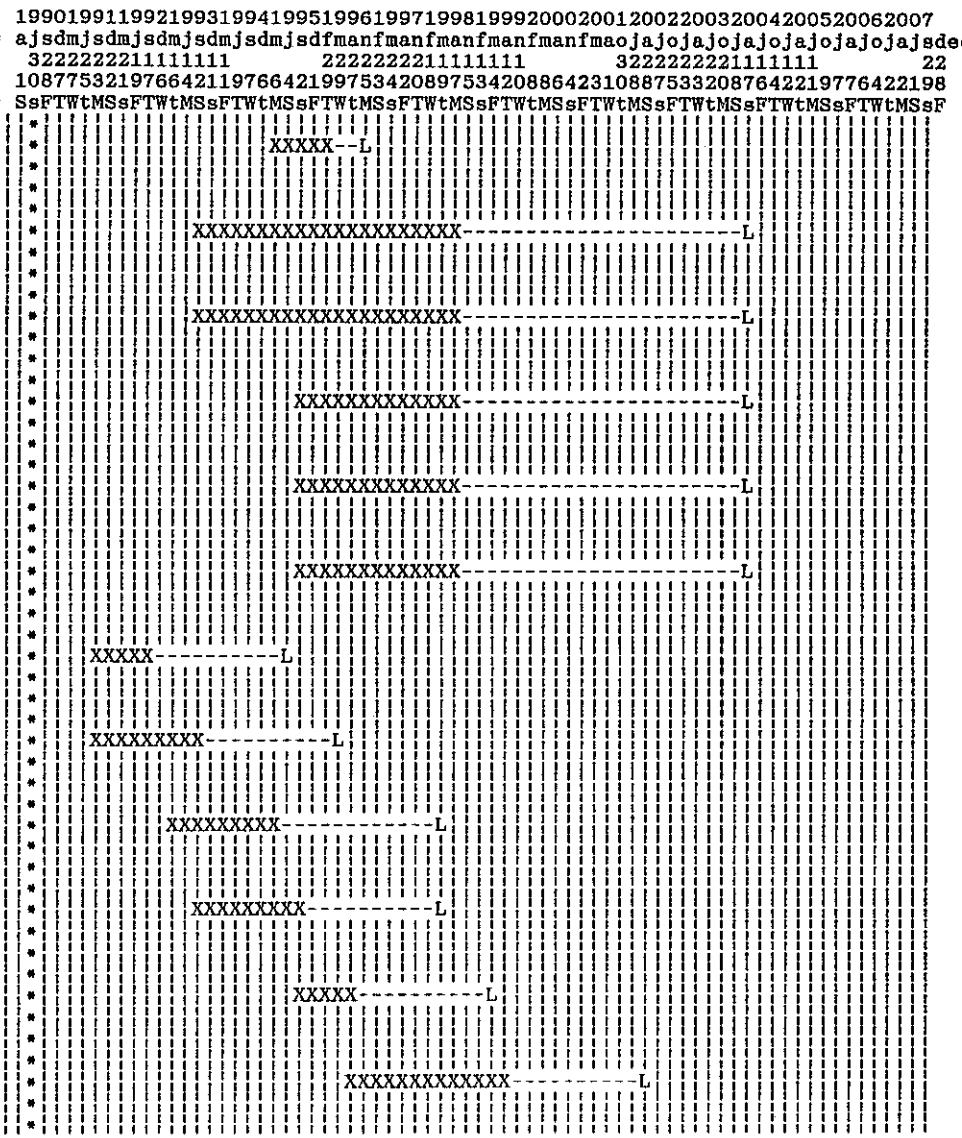
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62211300-C121122 ＭＩＣＲＯ２Ｄ試験設計	615	1apr90A 21mar92	351
62211400-C121122 ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備設計	615	1apr90A 21mar92	351
62211500-C121122 ＭＩＣＲＯ２Ｄ設備製作	360	22mar92 16mar93	351
62211600-C121121 ＧＥＯＴＥＸ確証試験の実施	1080	17mar93 29feb96	351
62211600-C121122 ＭＩＣＲＯ２Ｄ確証試験の実施	1080	17mar93 29feb96	351
62211700-C121120 結果の取りまとめとモデル改良	360	7mar95 29feb96	351
62232210-C121120 確証試験計画	255	1apr90A 27mar91	351
62232220-C121120 事前解析	615	1apr90A 21mar92	351
62232230-C121120 ＭＡＣＲＯ試験設計	615	1apr90A 21mar92	351
62232240-C121120 ＭＡＣＲＯ設備設計	615	1apr90A 21mar92	351
62232250-C121120 設備製作	360	22mar92 16mar93	351
62232260-C121120 確証試験の実施	1080	17mar93 29feb96	351



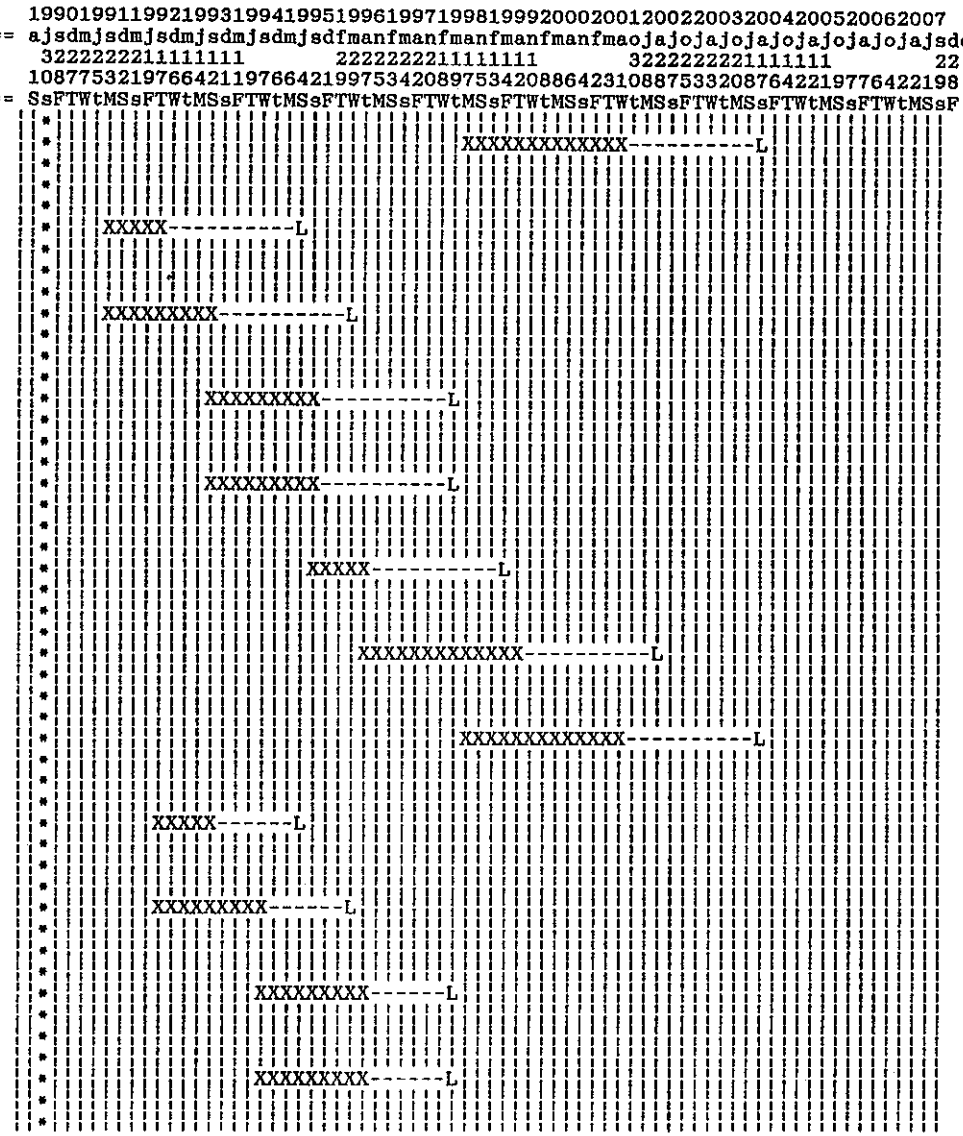
説明　：　X =期間　　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62232270-C121120 結果の取りまとめとモデル改良	360	351	7mar95 29feb96
62232200-C121200 地下水の化学変化解析モデルの原位置確証	1800	2069	28sep93 1sep98
62232200-C121100 広域流動解析手法の原位置での確証	1800	2069	28sep93 1sep98
62211000-C122140 移行途中の核種変化解析モデル室内試験確証	1080	2054	3oct95 16sep98
62211000-C122113 亀裂中での吸着解析モデルの室内試験確証	1080	2054	3oct95 16sep98
62211000-C122123 岩体ﾏﾄﾘｸｽへの吸着解析モデルの室内試験確証	1080	2054	3oct95 16sep98
62211100-C122111 ＧＥＯＴＥＸに関する確証試験計画立案	360	974	24oct91 17oct92
62211200-C122111 ＧＥＯＴＥＸに関する事前解析	720	974	24oct91 12oct93
62211300-C122111 ＧＥＯＴＥＸに関する試験設備設計	720	1169	1apr93 21mar95
62211400-C122111 ＧＥＯＴＥＸに関する試験設計	720	974	13oct93 2oct95
62211500-C122111 ＧＥＯＴＥＸに関する試験設備改良	360	974	3oct95 26sep96
62211600-C122111 ＧＥＯＴＥＸに関する試験の実施	1080	974	27sep96 11sep99



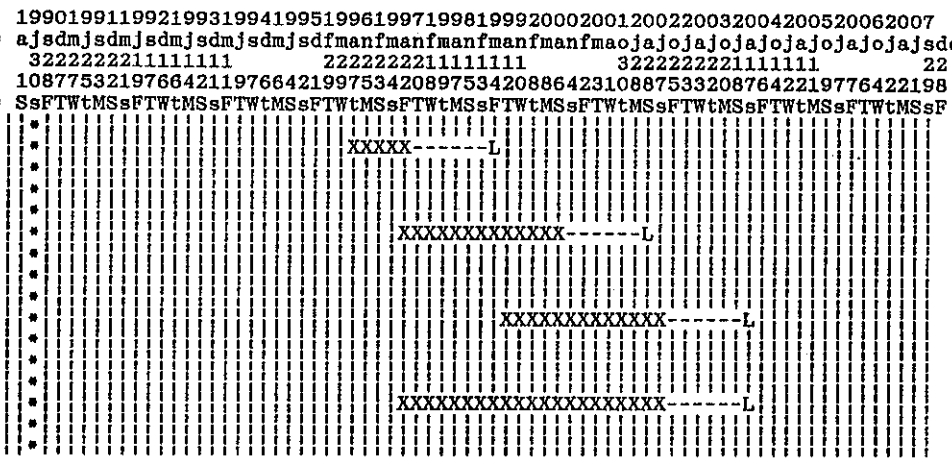
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始	終了	トータルフロート
62211700-C122111 GEOTEX結果の取りまとめとモデル改良	1080	974	17sep98 31aug01	
62211100-C122112 ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する確証試験計画立案	360	974	24oct91 17oct92	
62211200-C122112 ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する事前解析	720	974	24oct91 12oct93	
62211300-C122112 ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設備設計	720	974	13oct93 2oct95	
62211400-C122112 ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設計	720	974	13oct93 2oct95	
62211500-C122112 ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験設備改良	360	974	3oct95 26sep96	
62211600-C122112 ＭＩＣＲＯ２Ｄに関する試験の実施	1080	974	27sep96 11sep99	
62211700-C122112 MICRO2D結果の取りまとめとモデル改良	1080	974	17sep98 31aug01	
62232210-C122110 確証試験計画立案	360	629	3oct92 27sep93	
62232220-C122110 事前解析	720	629	3oct92 22sep94	
62232230-C122110 試験設備設計	720	629	23sep94 11sep96	
62232240-C122110 ＭＡＣＲＯの試験設計	720	629	23sep94 11sep96	



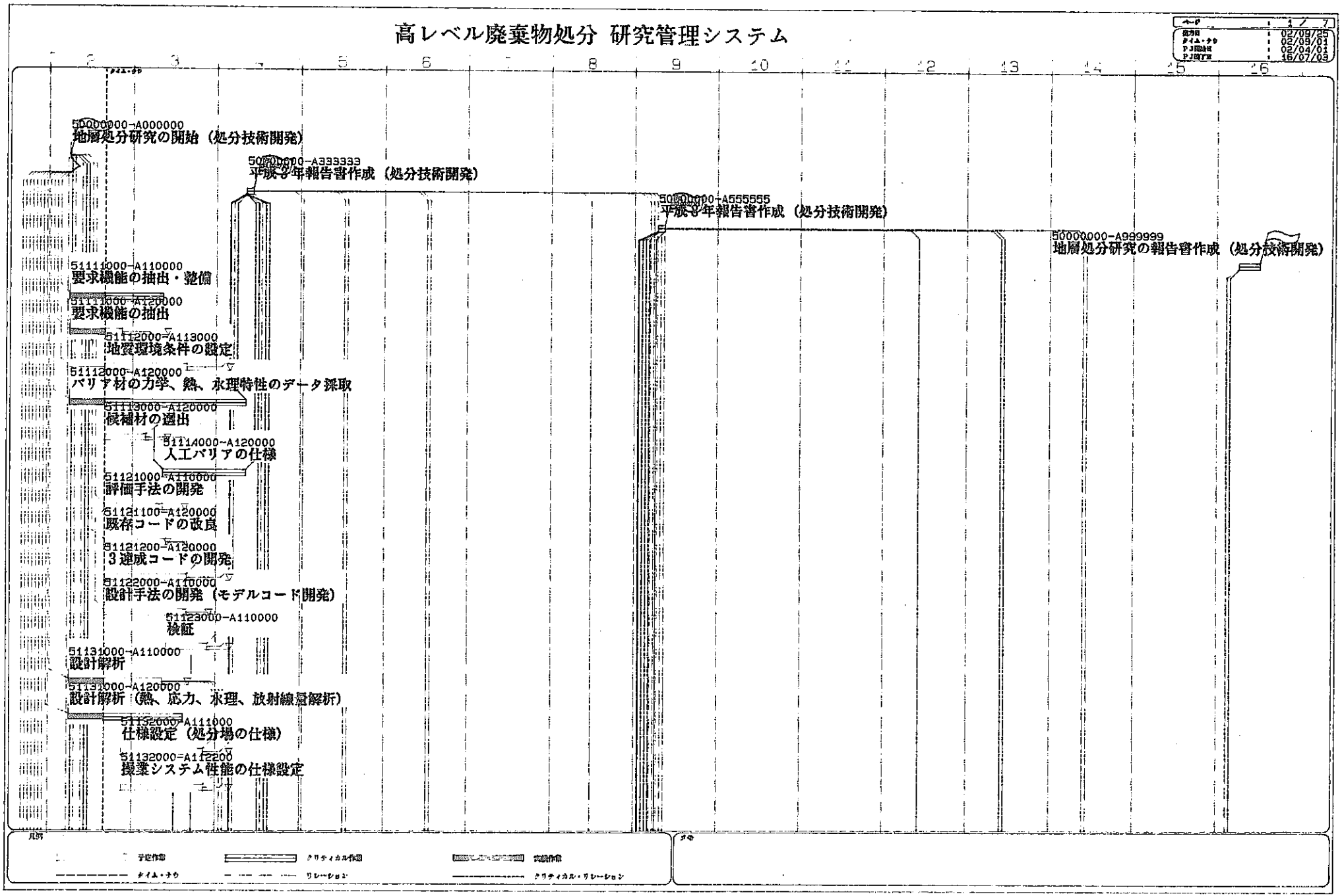
説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

アクティビティ コード 及び 名称	残り期間	開始 終了	トータル フロート
62232250-C122110 設備改良	360	629	12sep96 6sep97
62232260-C122110 試験の実施	1080	629	7sep97 21aug00
62232270-C122110 結果の取りまとめとモデル改良	1080	629	28aug99 11aug02
62232100-C122110 微視不均質性の移行影響の統計的解析の確証	1800	629	7sep97 11aug02

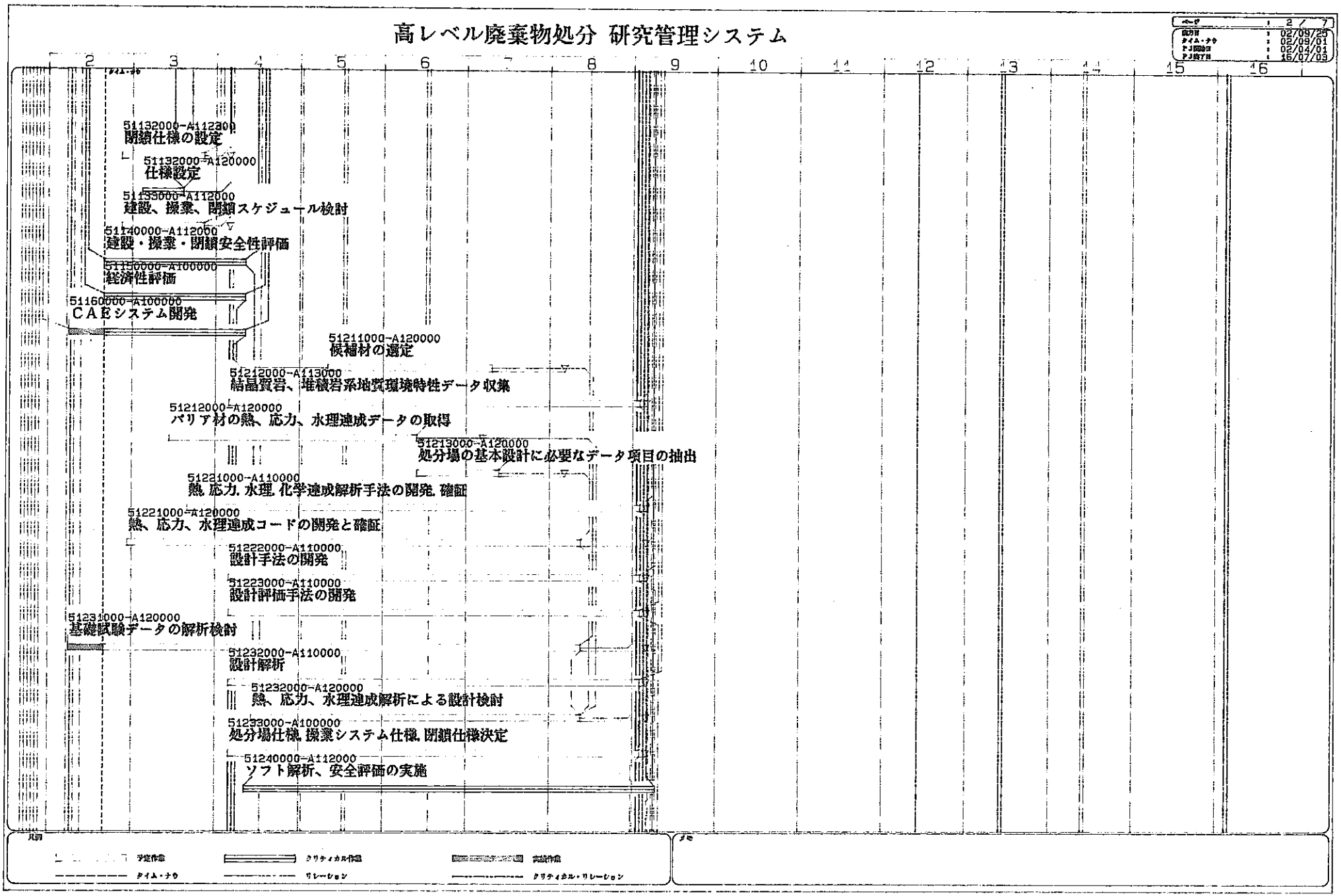


説明　：　X =期間　，　C =クリティカル期間　，　A =実績期間　，　* =現時間　，　- =余裕　，　L =最遅終了

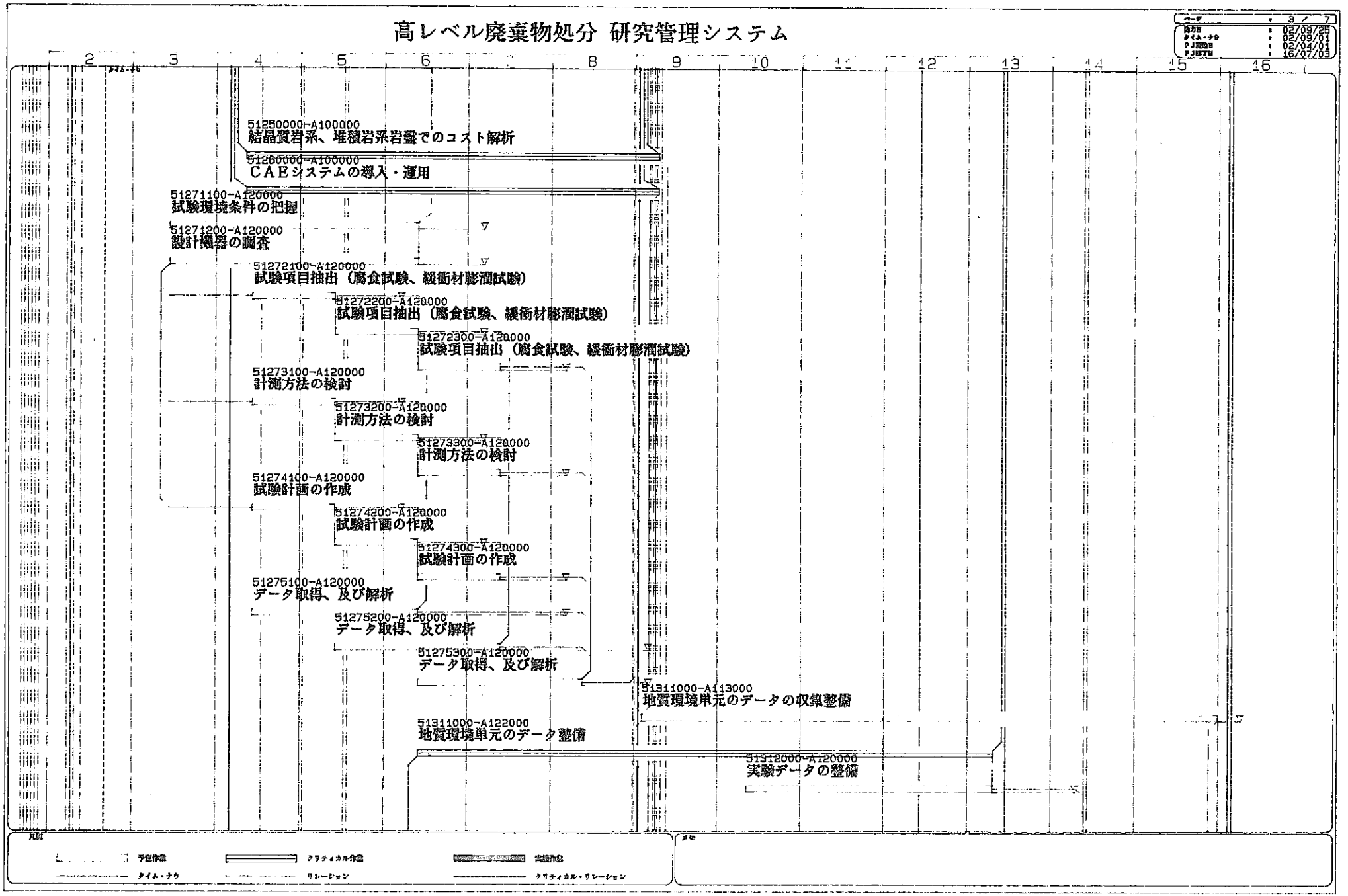
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



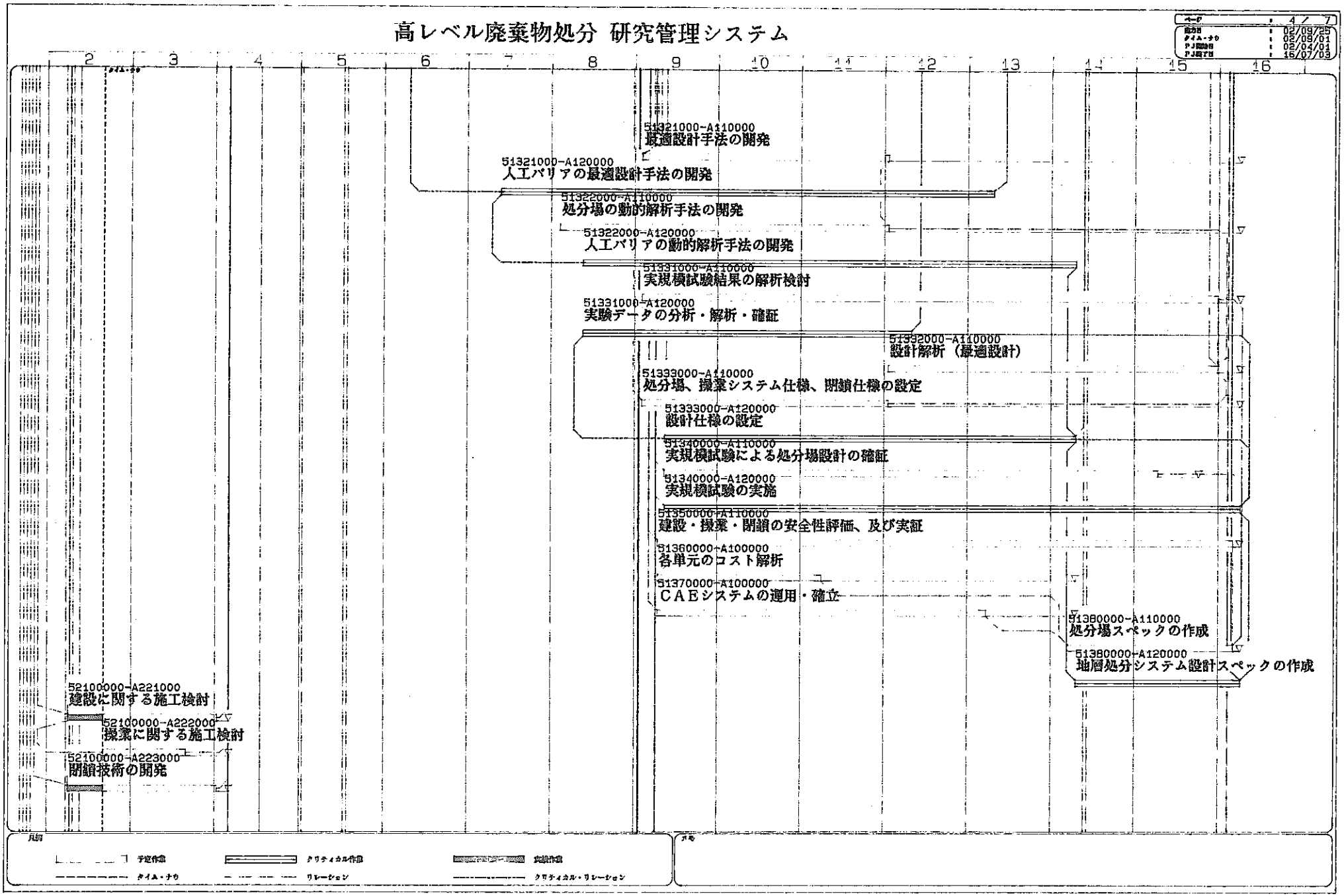
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



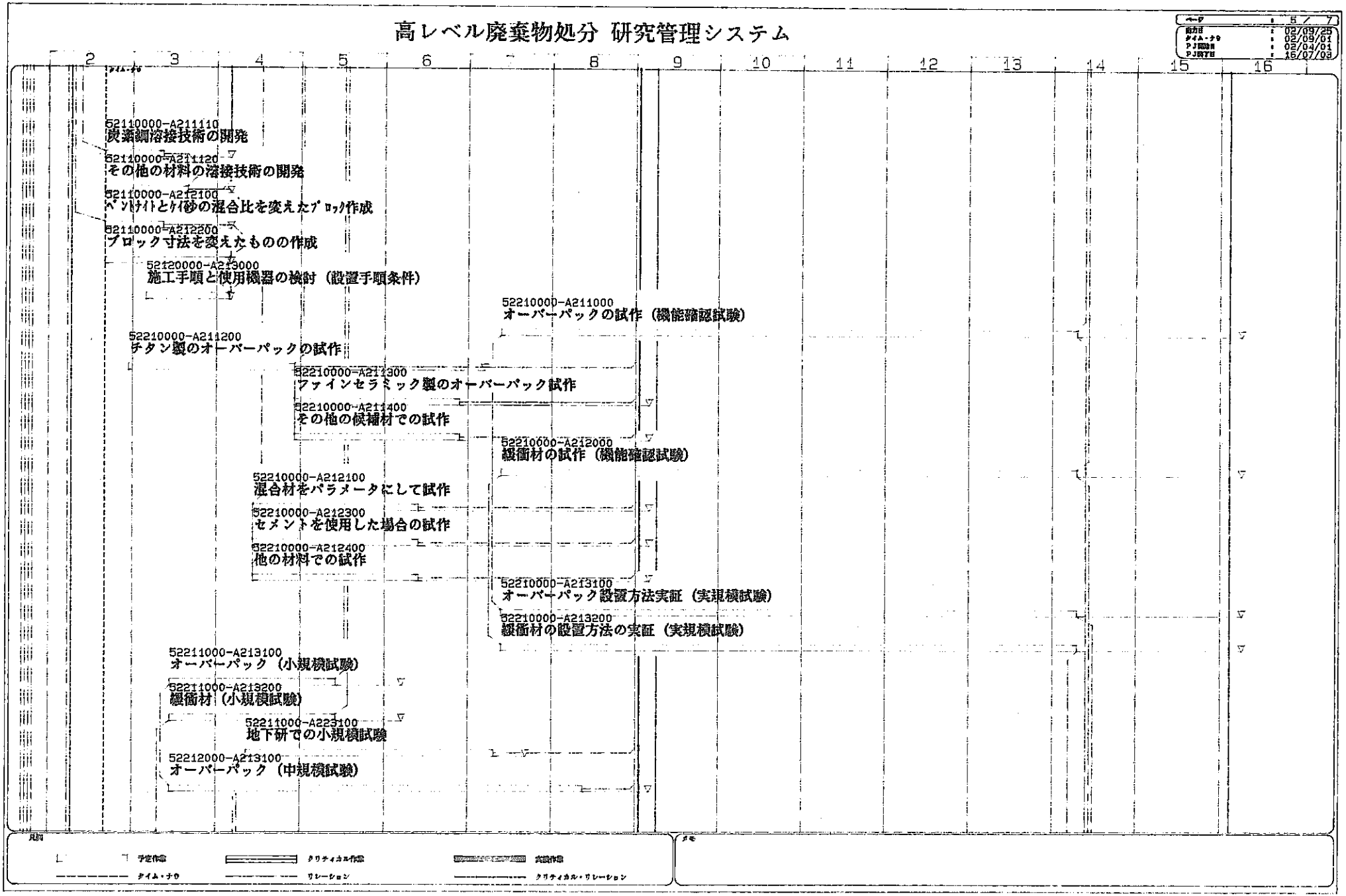
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



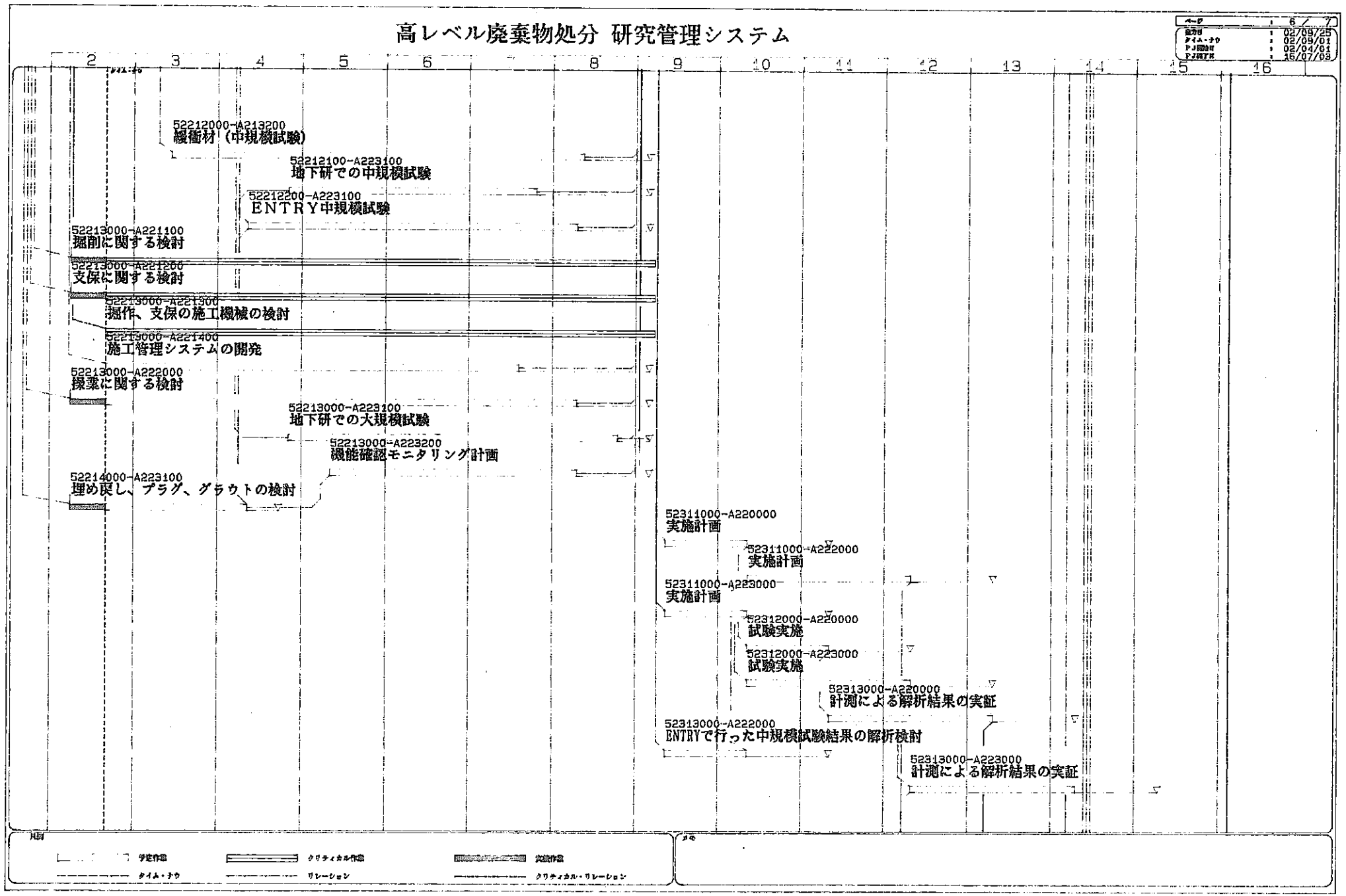
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



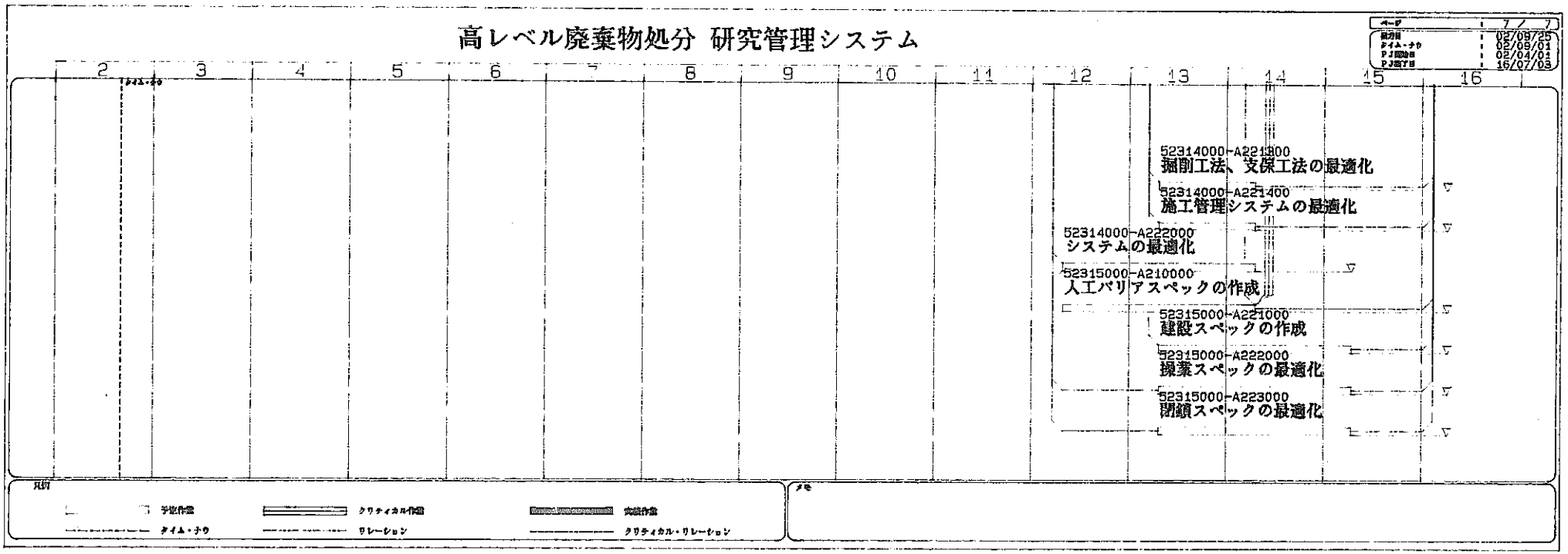
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



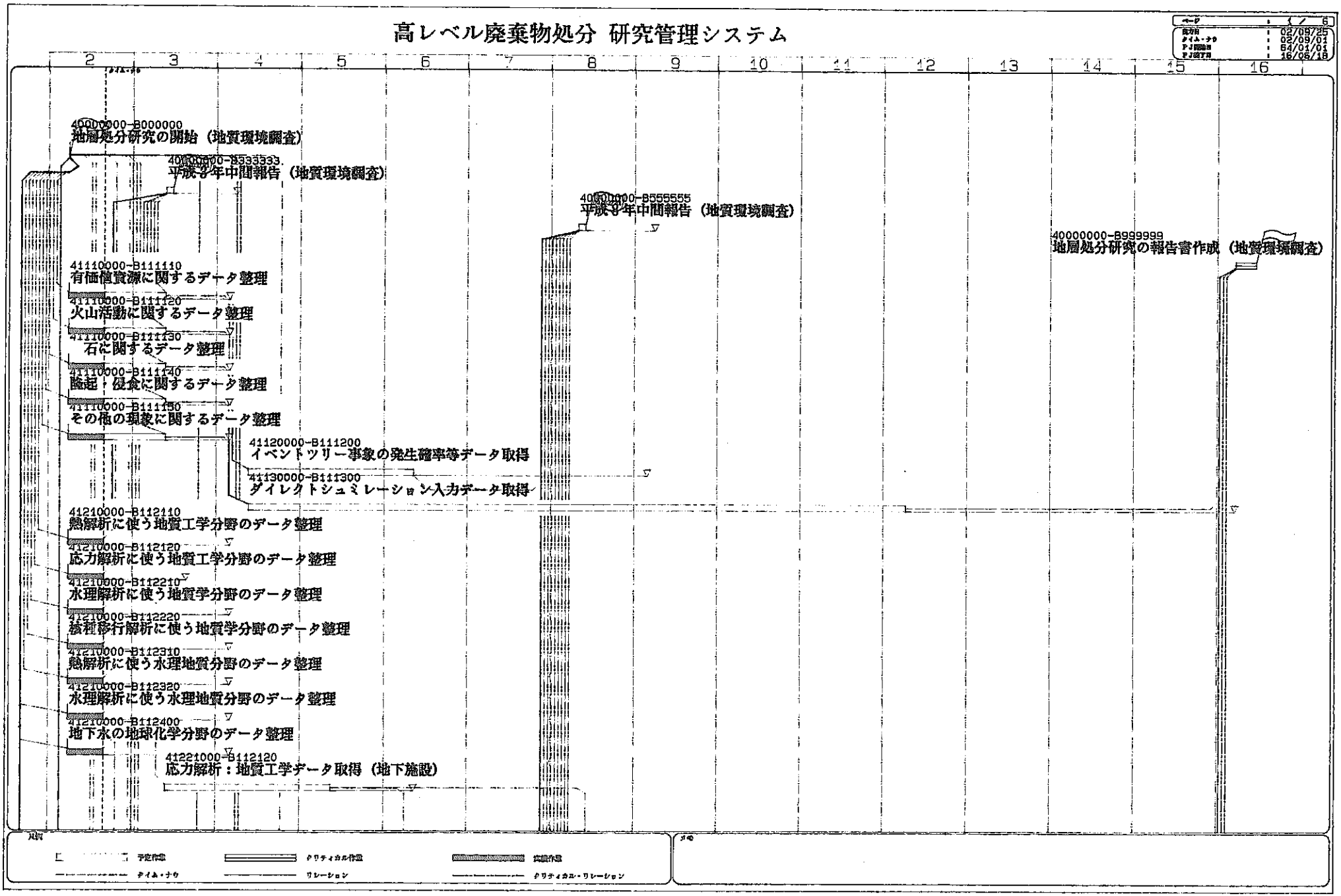
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



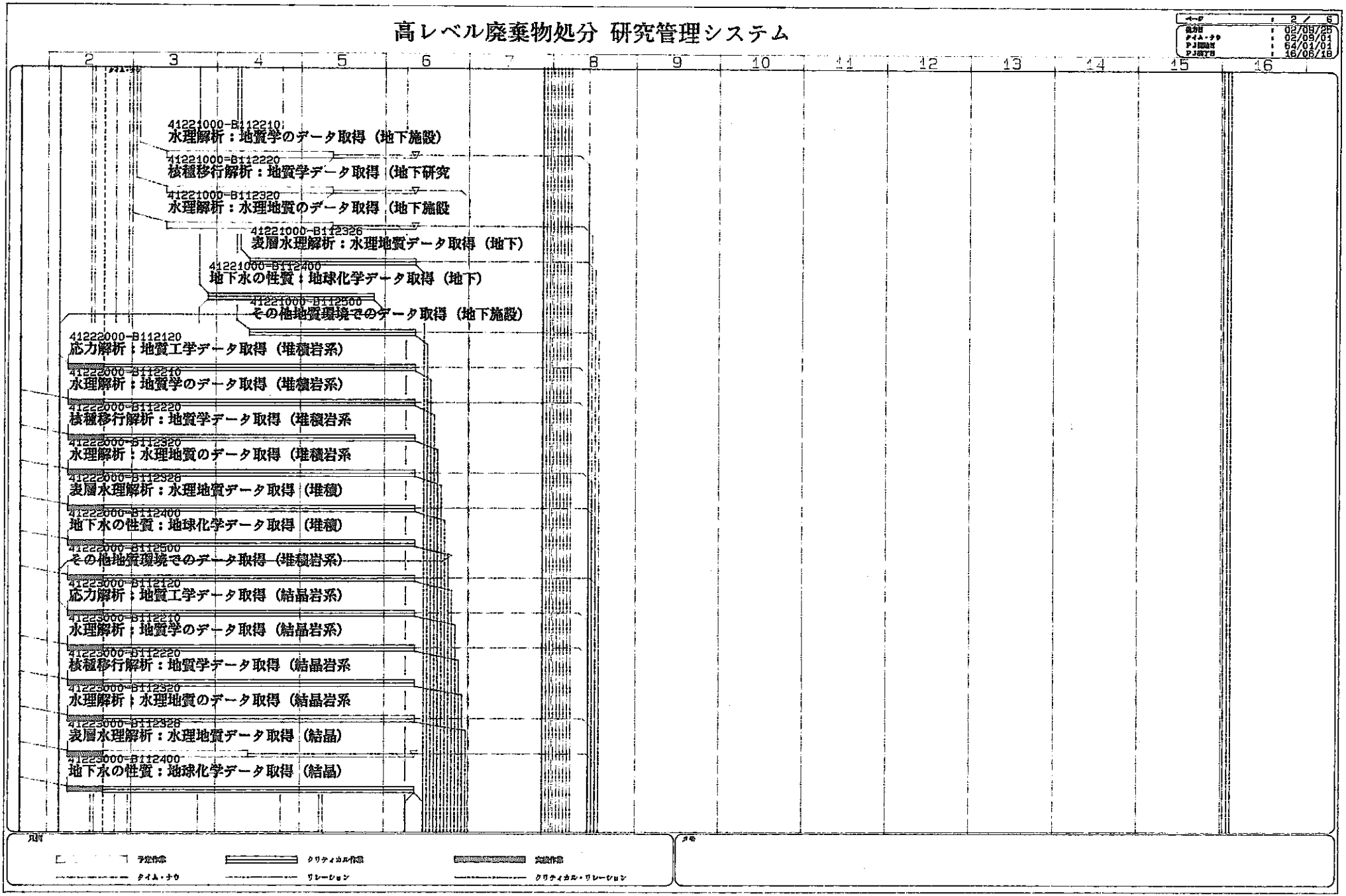
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



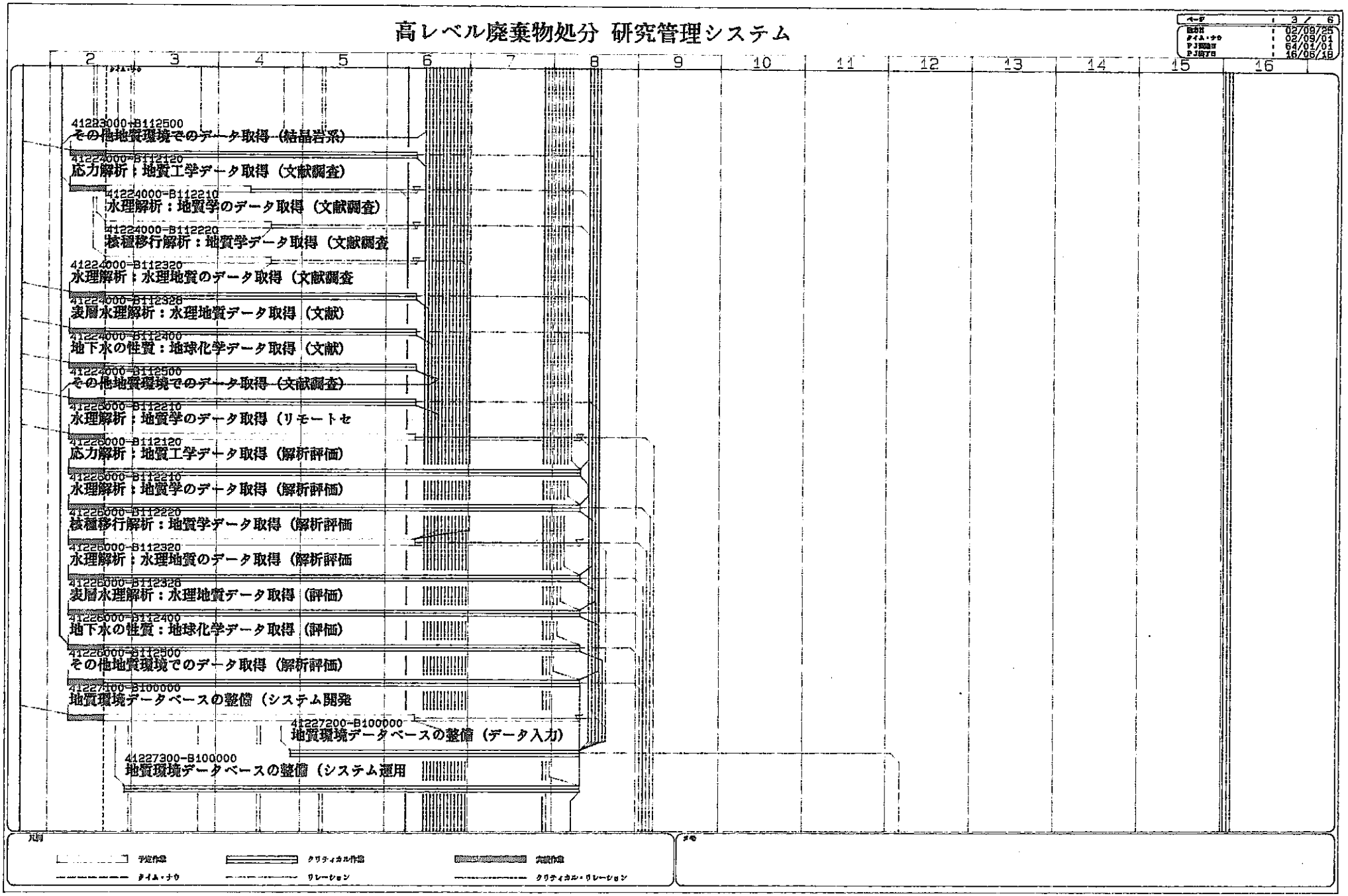
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



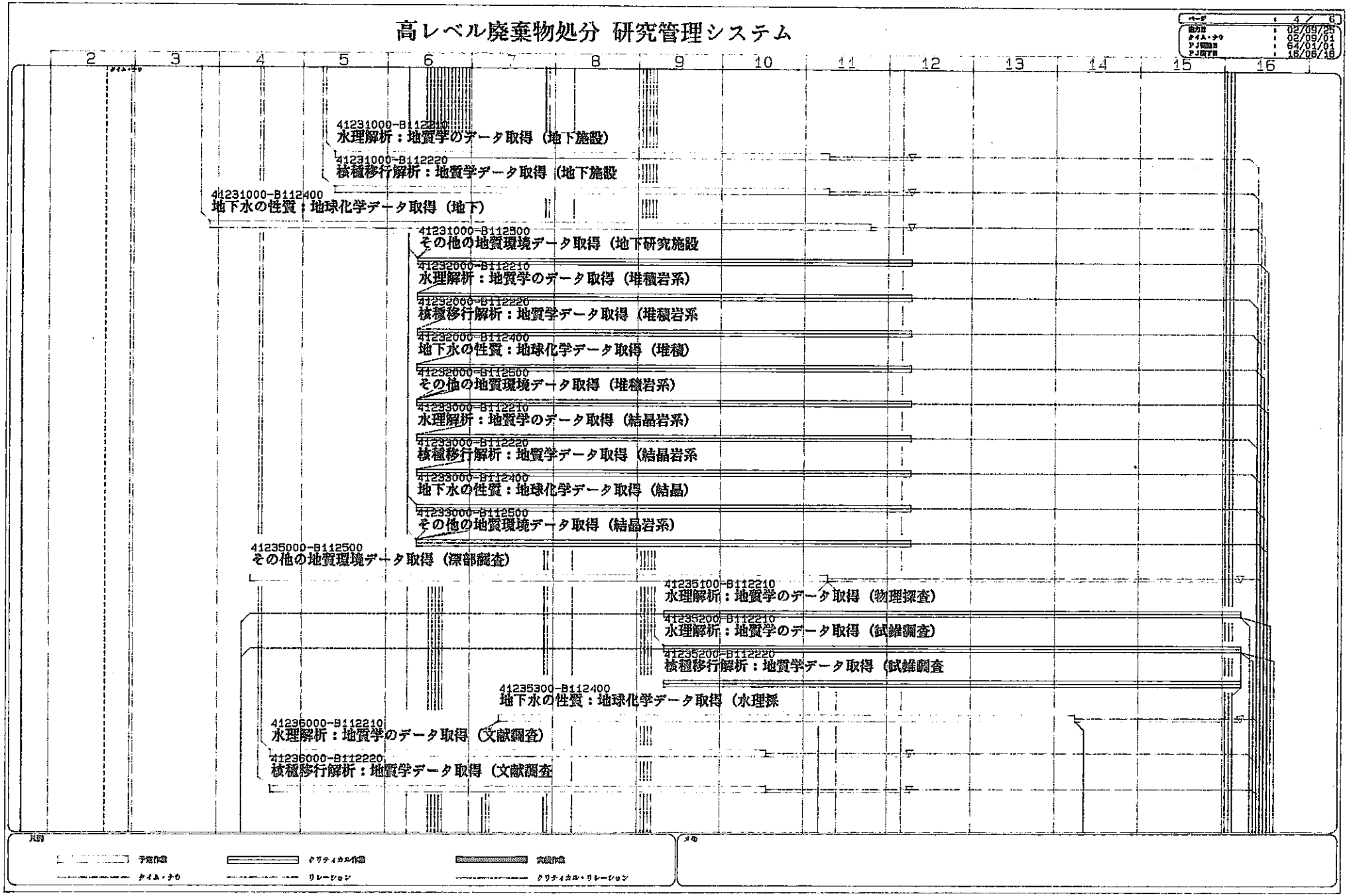
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



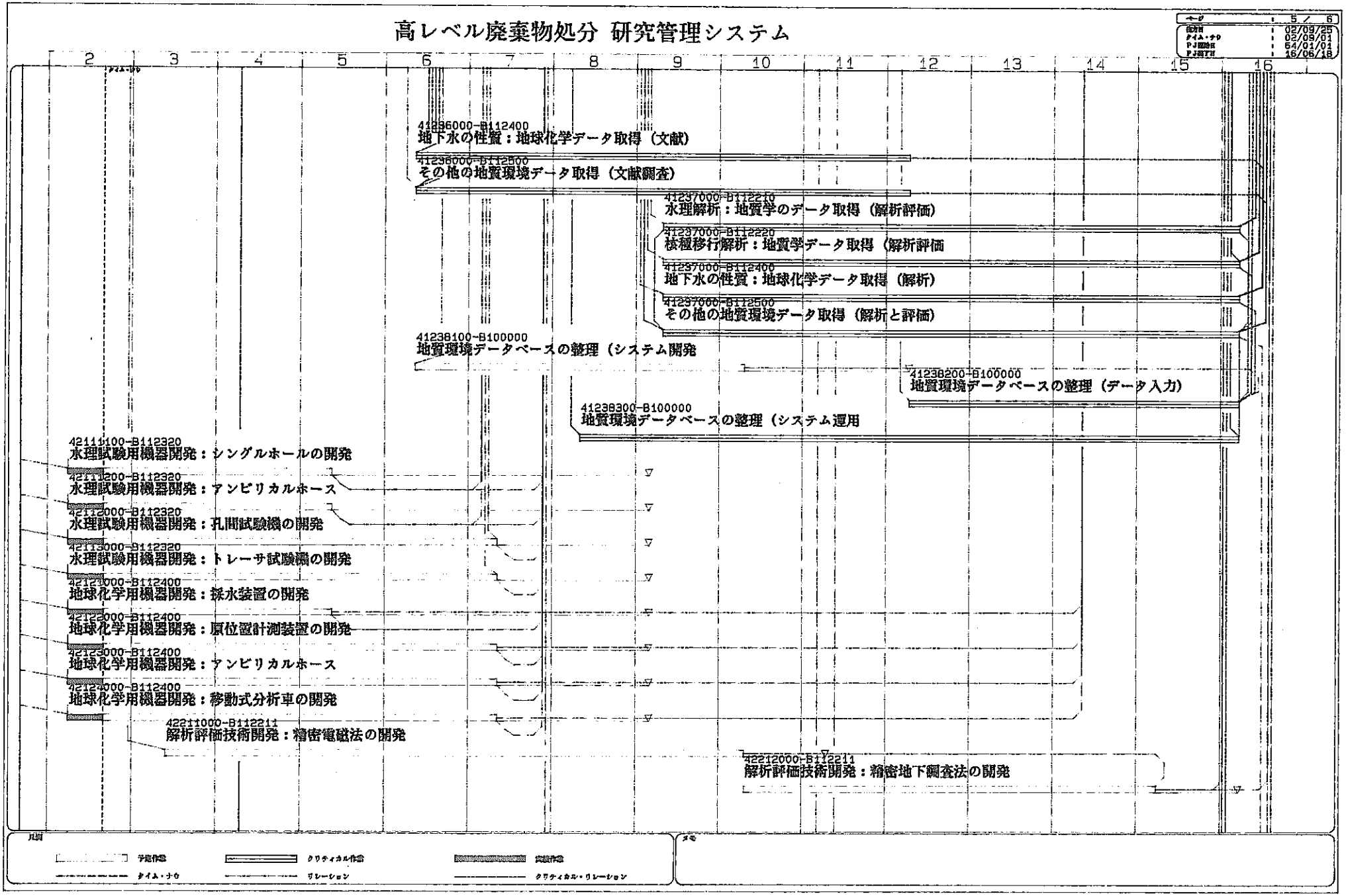
高レベル廃棄物処分 研究管理システム

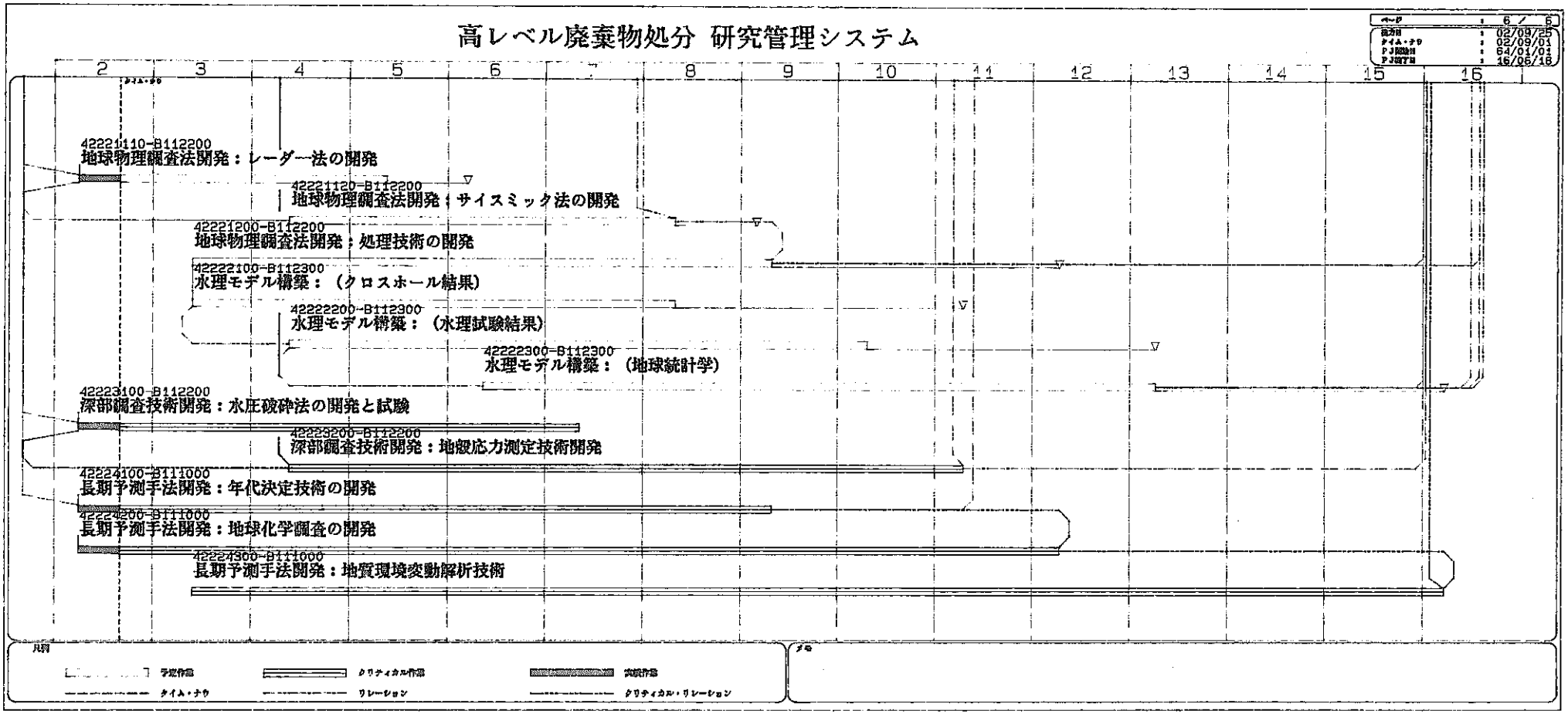


高レベル廃棄物処分 研究管理システム

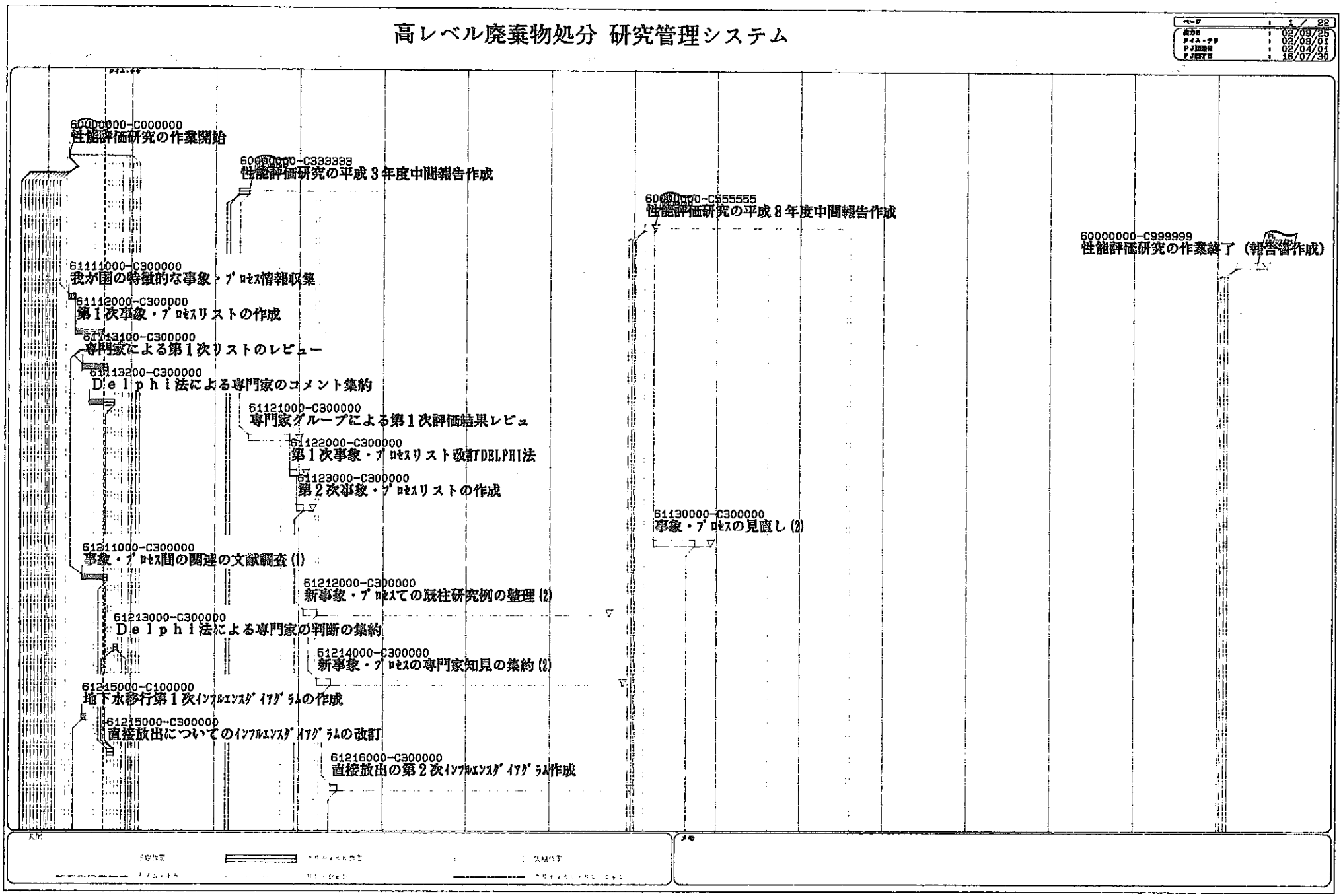


高レベル廃棄物処分 研究管理システム

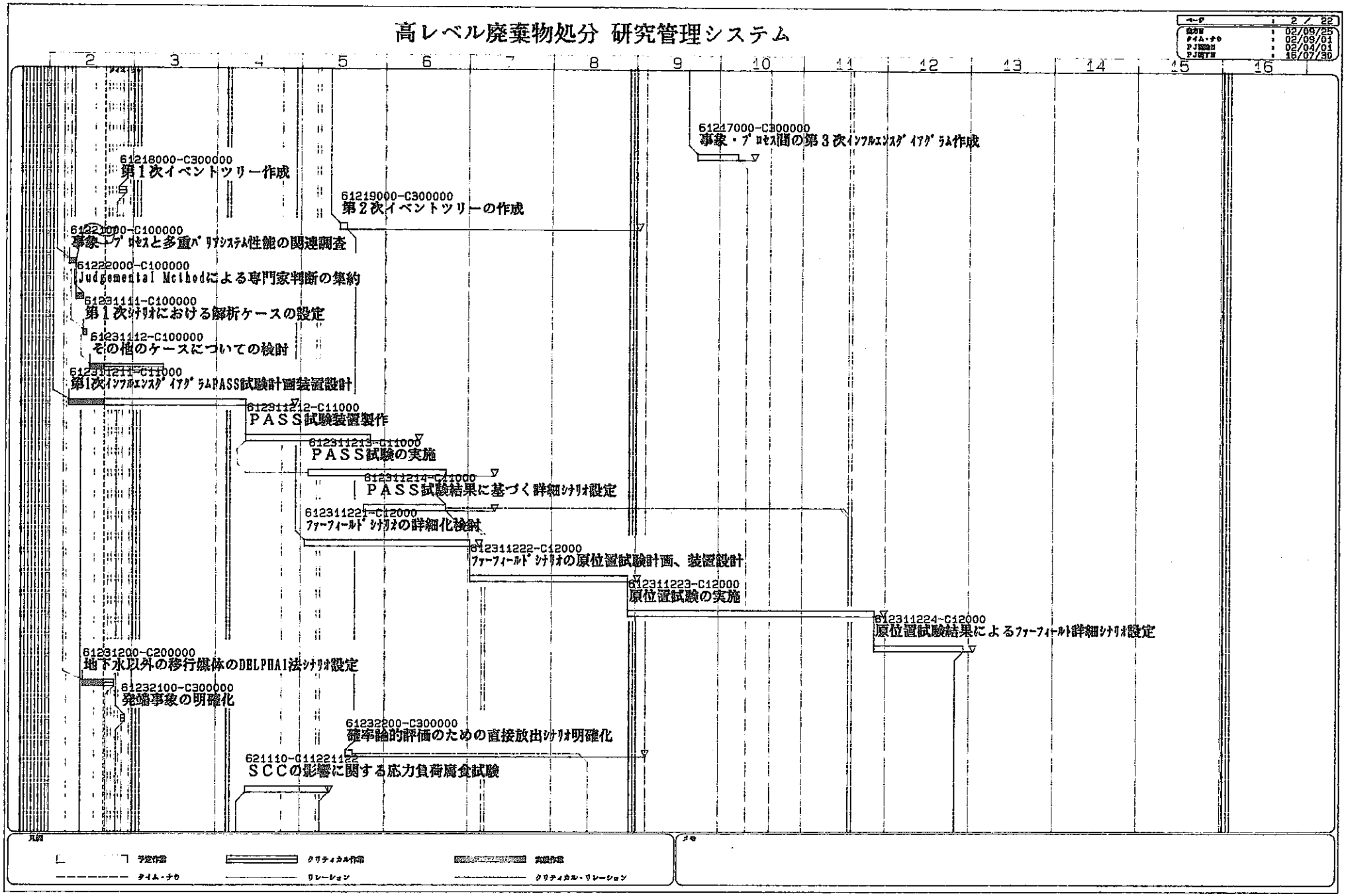



高レベル廃棄物処分 研究管理システム
ページ : 6 / 6
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
42221110-B112200
地球物理調査法開発：レーダー法の開発
42221120-B112200
地球物理調査法開発：サイスミック法の開発
42221200-B112200
地球物理調査法開発：処理技術の開発
42222100-B112300
水理モデル構築：（クロスホール結果）
42222200-B112300
水理モデル構築：（水理試験結果）
42222300-B112300
水理モデル構築：（地球統計学）
42223100-B112200
深部調査技術開発：水圧破砕法の開発と試験
42223200-B112200
深部調査技術開発：地殻応力測定技術開発
42224100-B111000
長期予測手法開発：年代決定技術の開発
42224200-B111000
長期予測手法開発：地球化学調査の開発
42224300-B111000
長期予測手法開発：地震環境変動解析技術
凡例
メモ

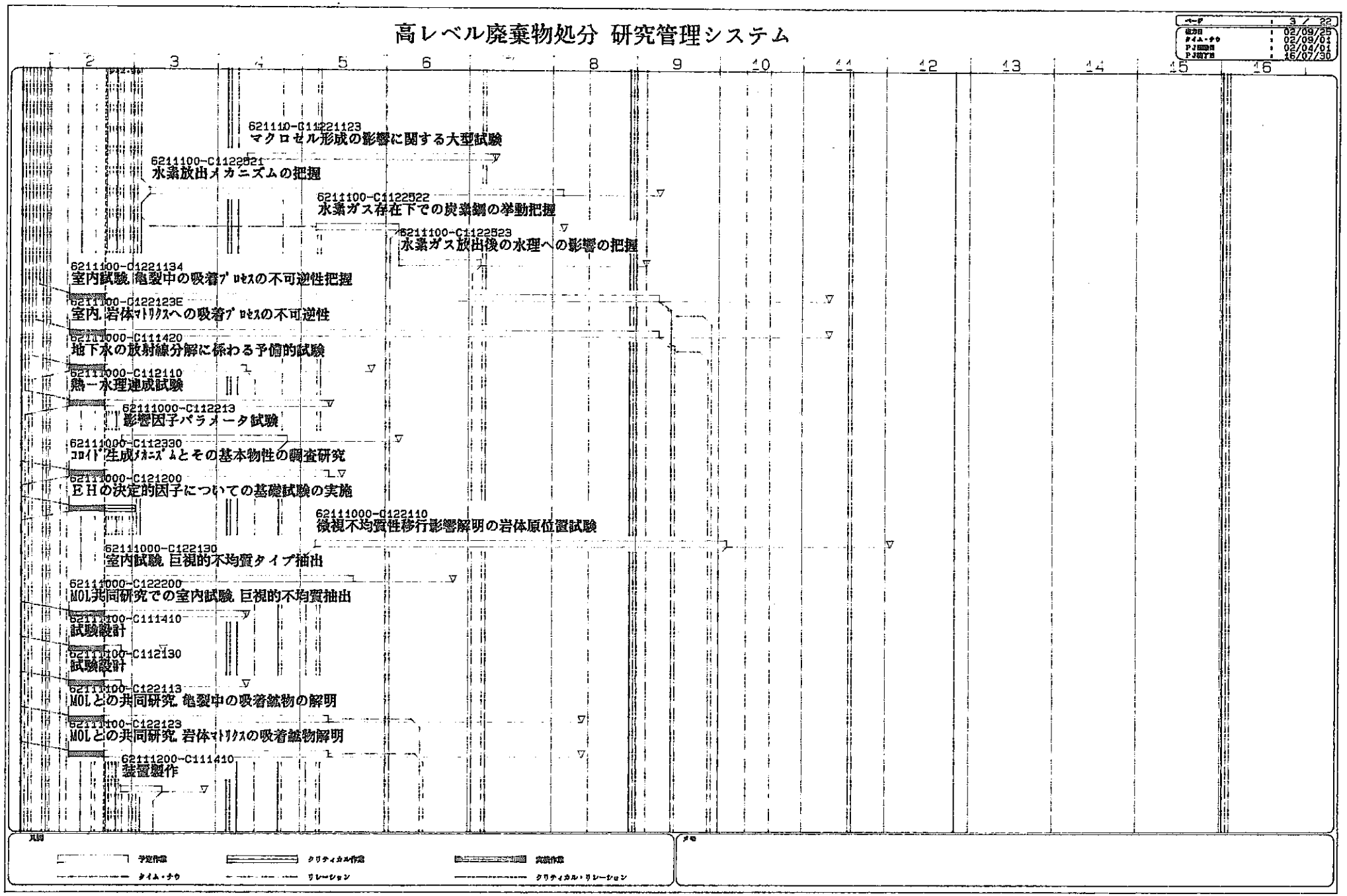
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



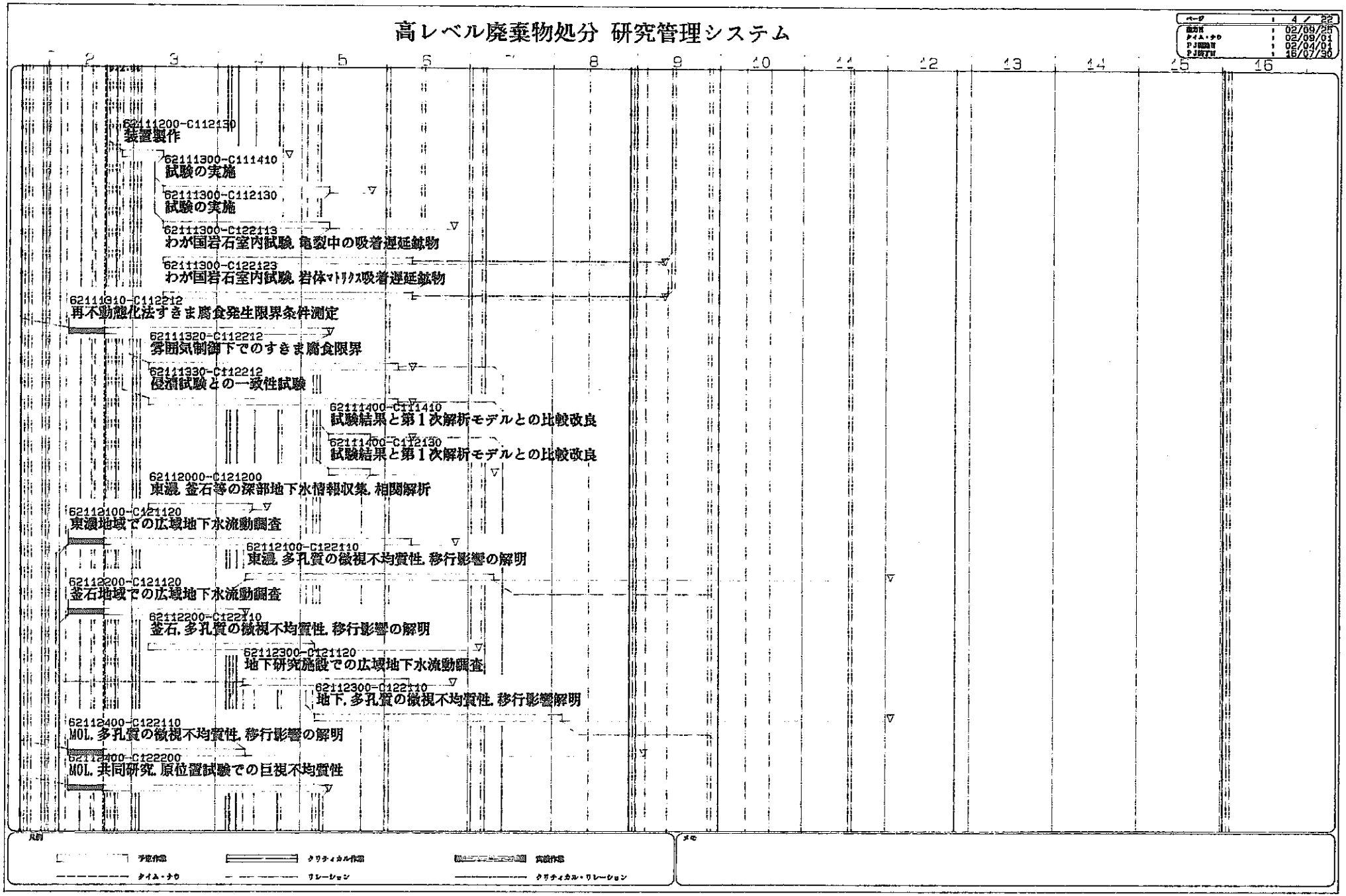
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



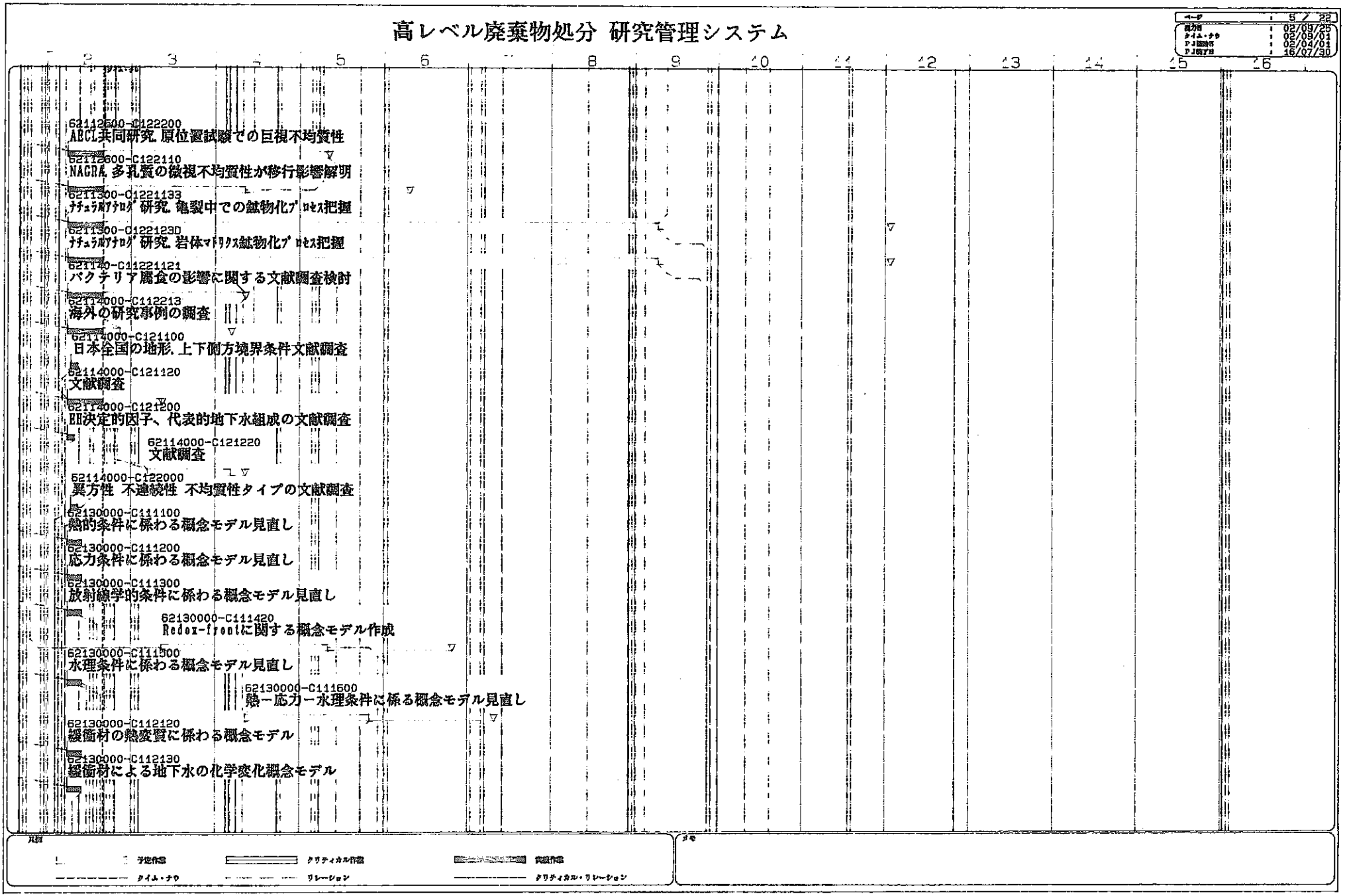
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



高レベル廃棄物処分 研究管理システム



高レベル廃棄物処分 研究管理システム



ページ	5 / 22
基準日	02/09/25
タイム・ナウ	02/05/01
プロジェクト開始日	02/04/01
プロジェクト終了日	16/07/30

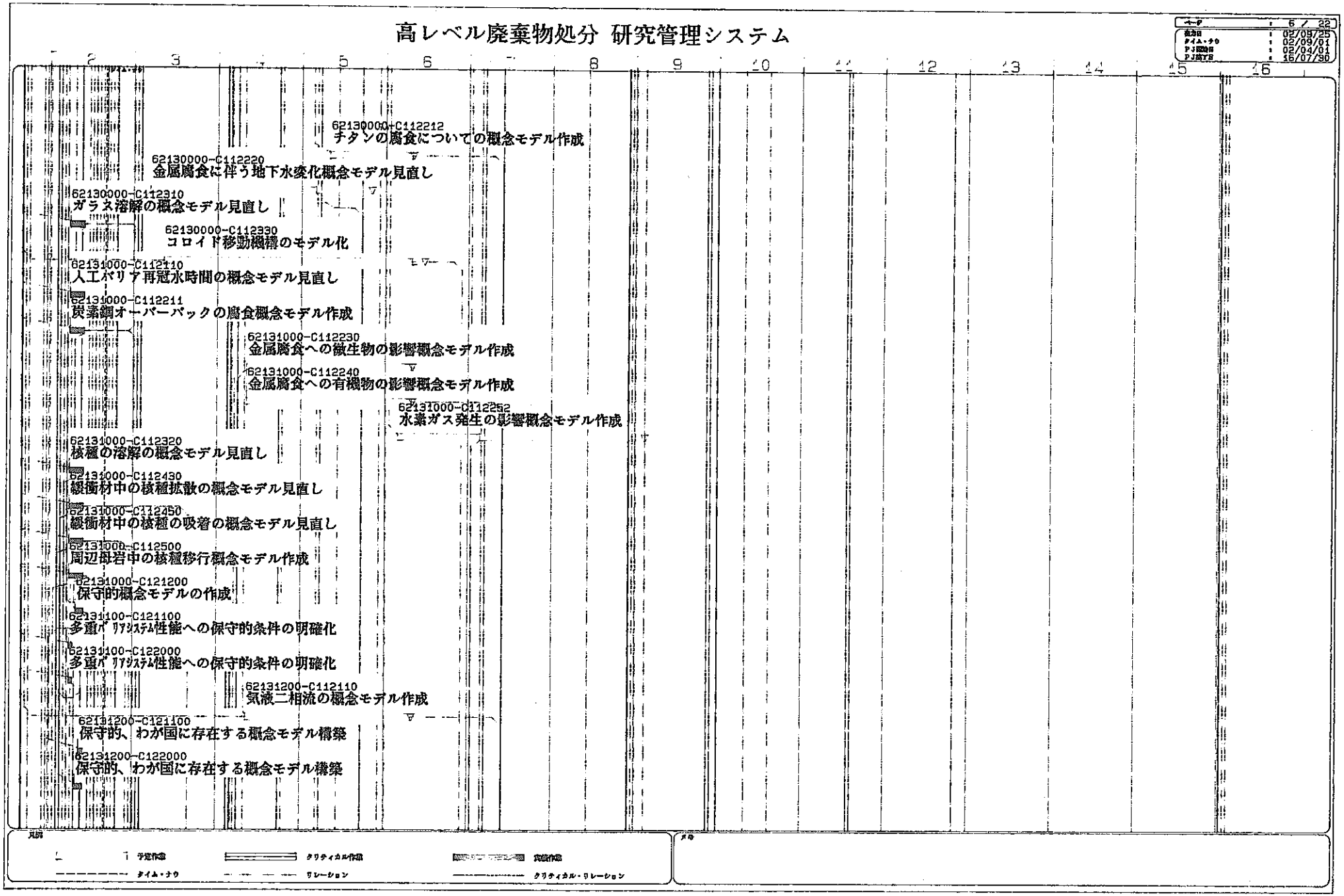
凡例

予定作業　クリティカル作業　実績作業

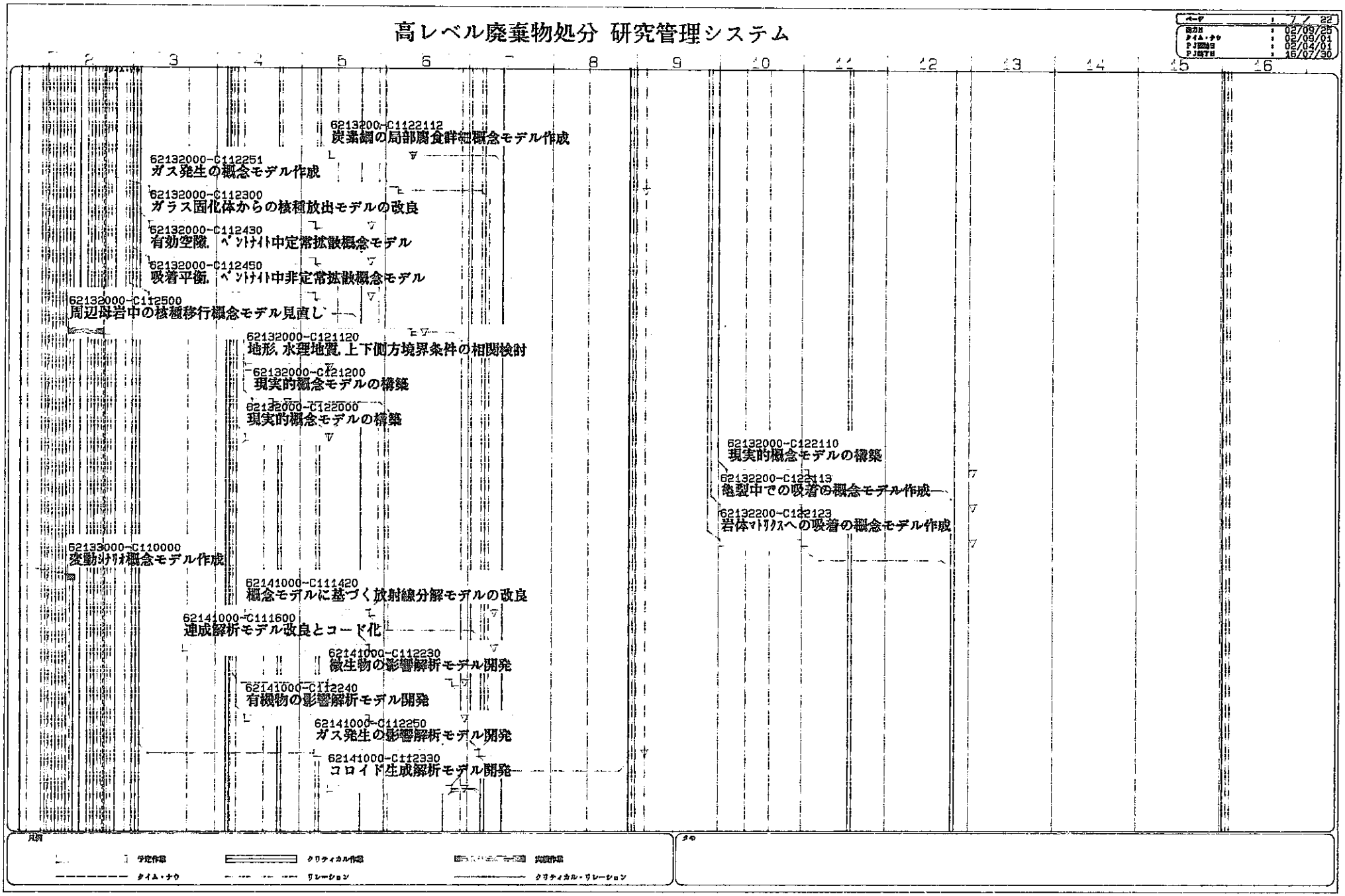
タイム・ナウ　リレーション　クリティカル・リレーション

メモ

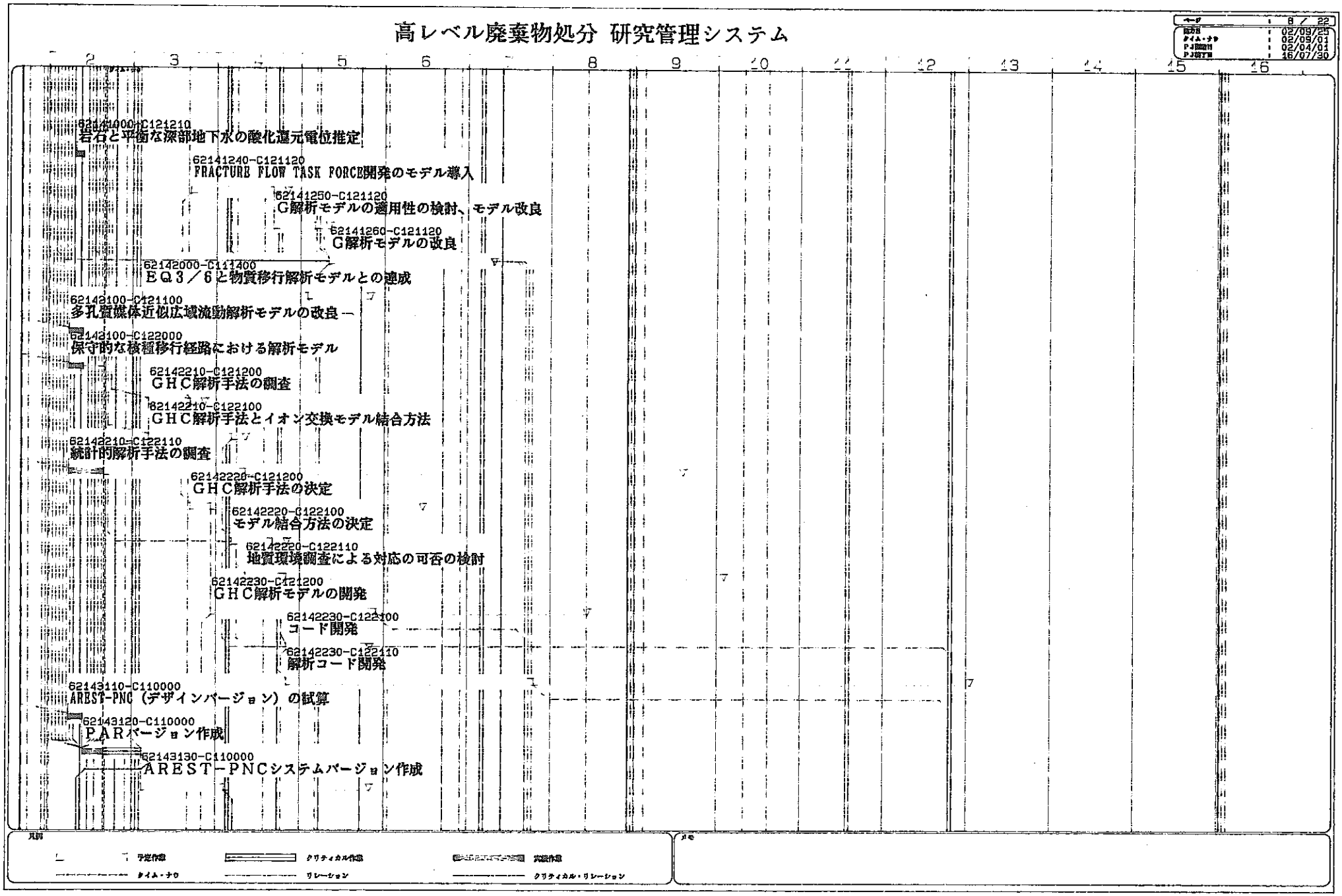
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



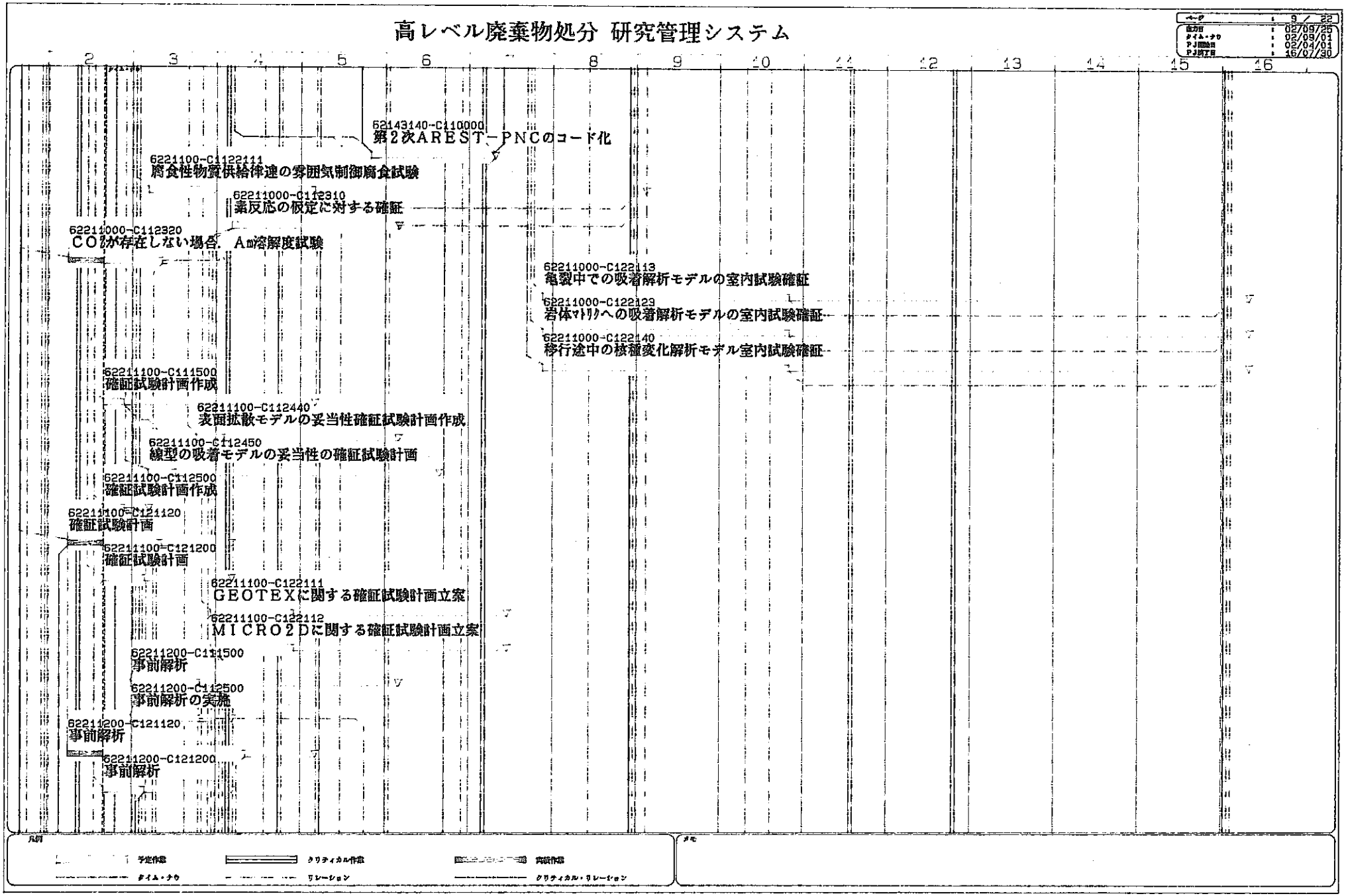
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



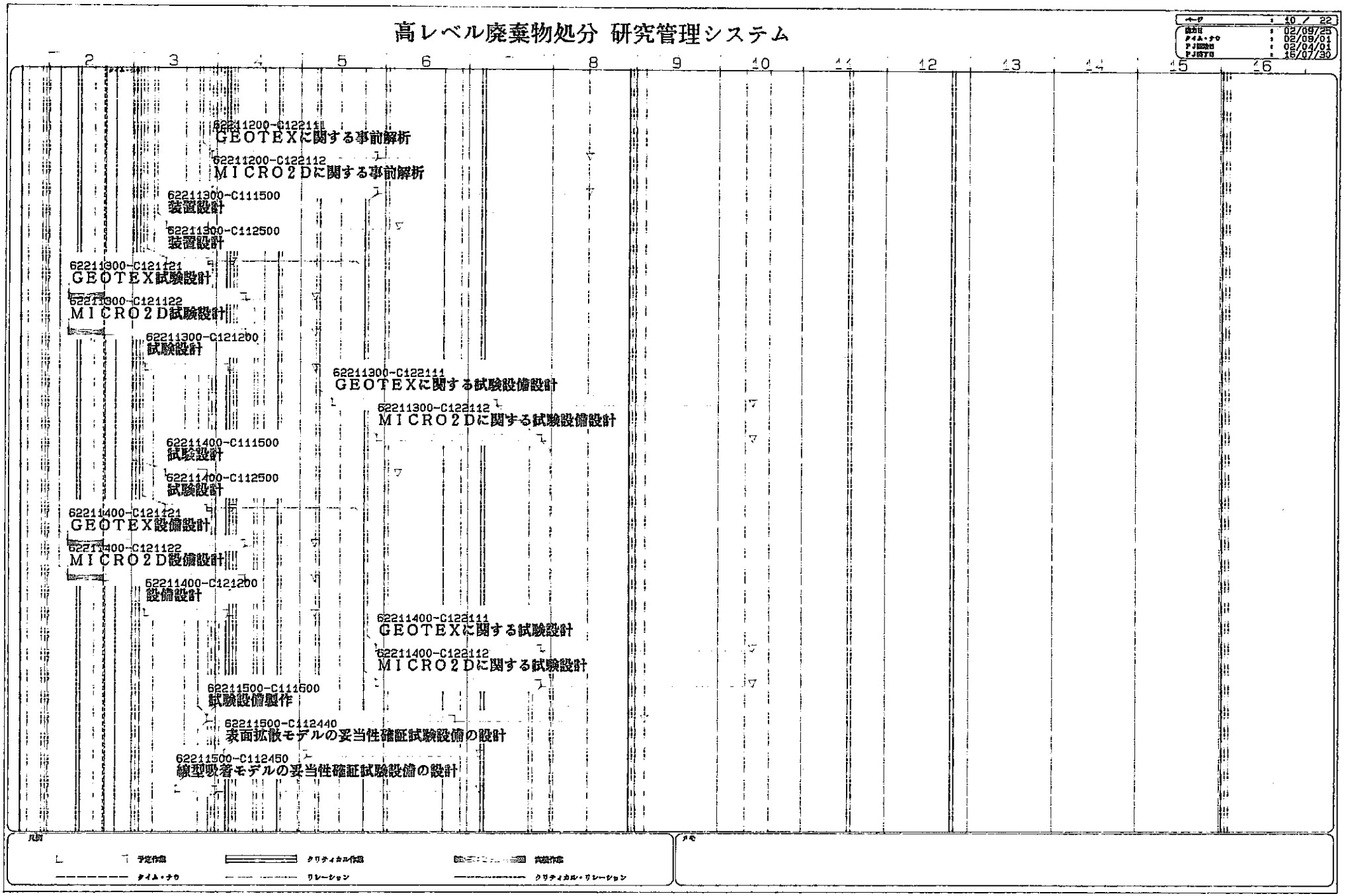
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



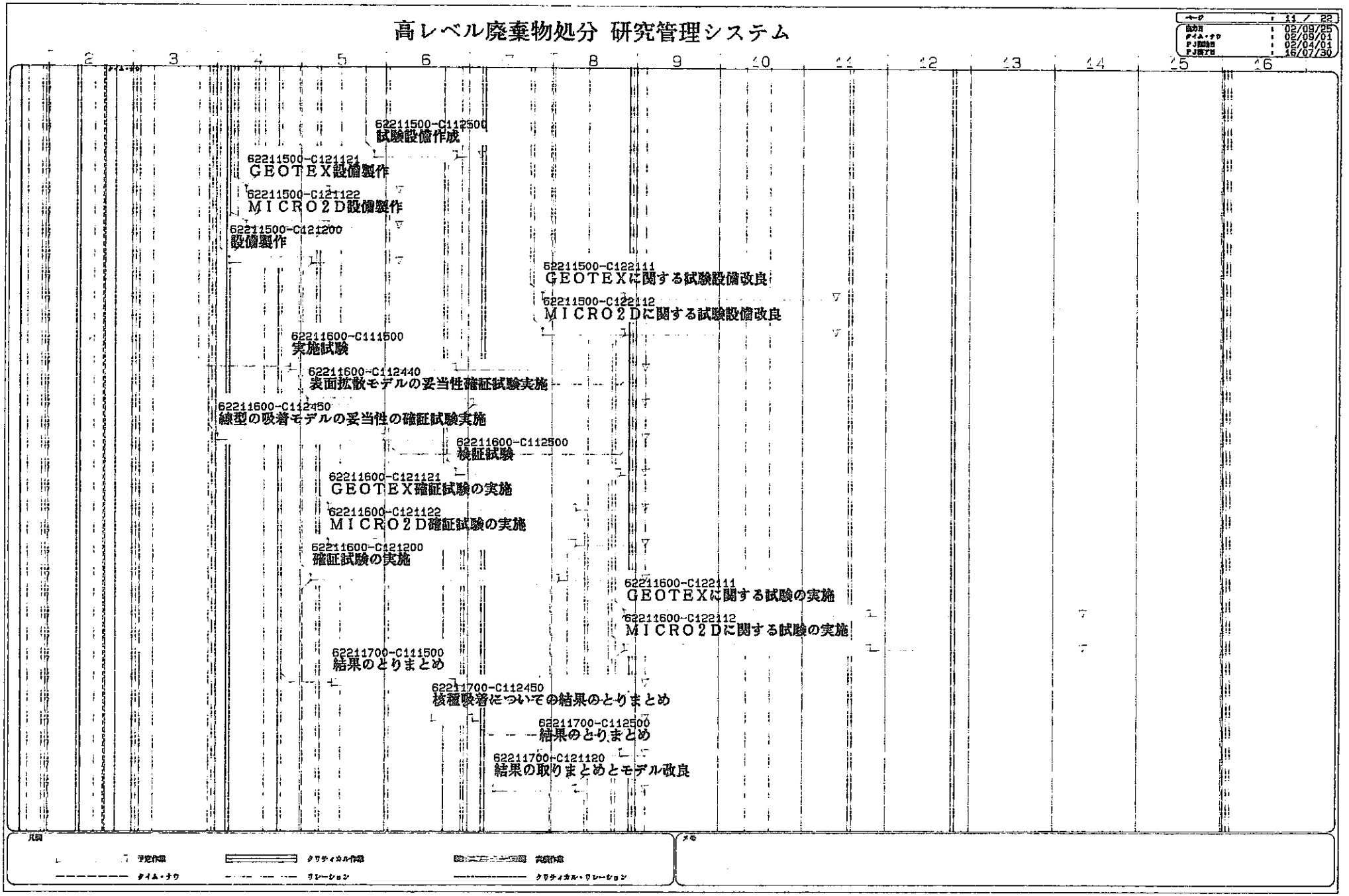
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



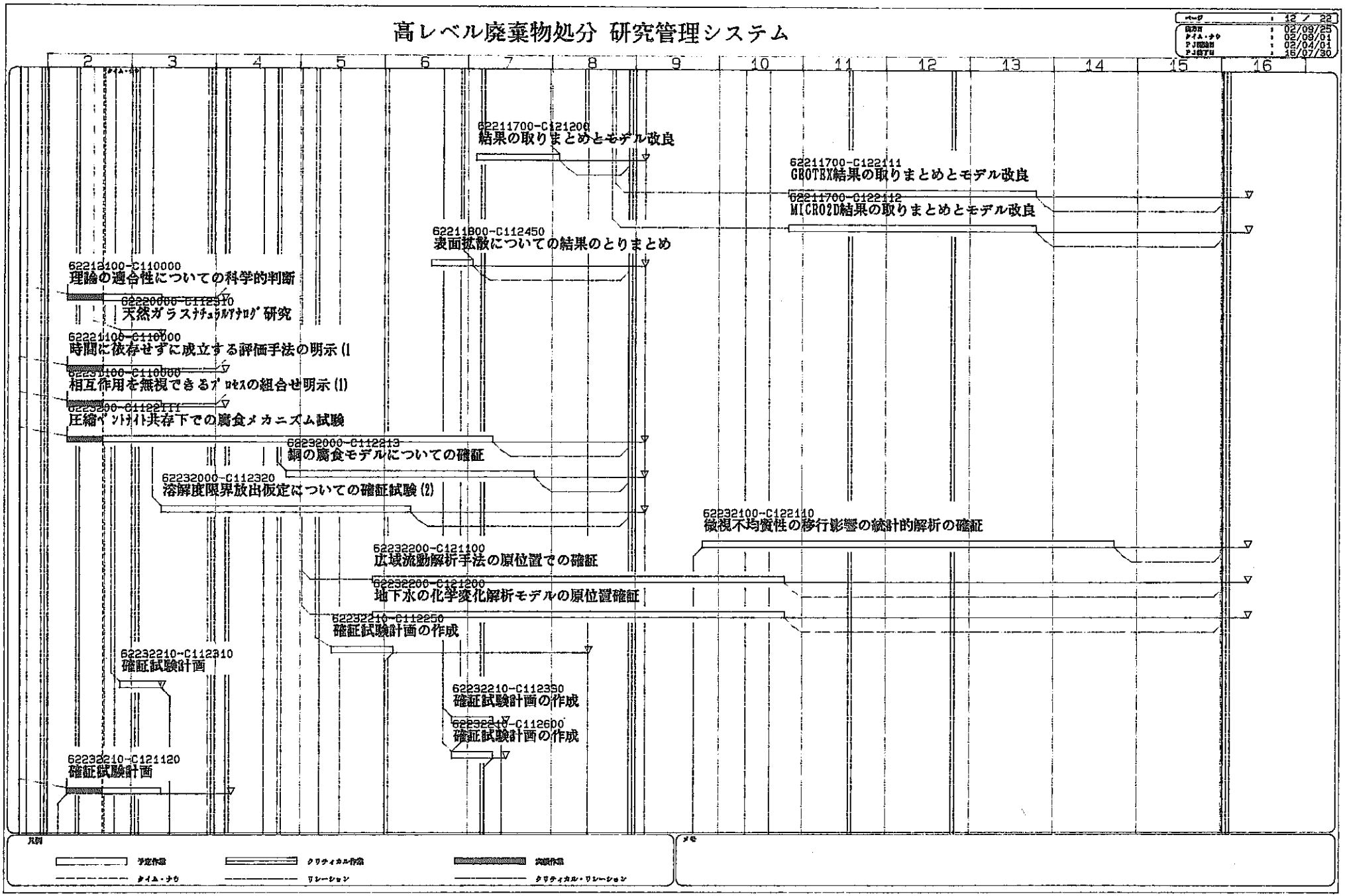
高レベル廃棄物処分 研究管理システム

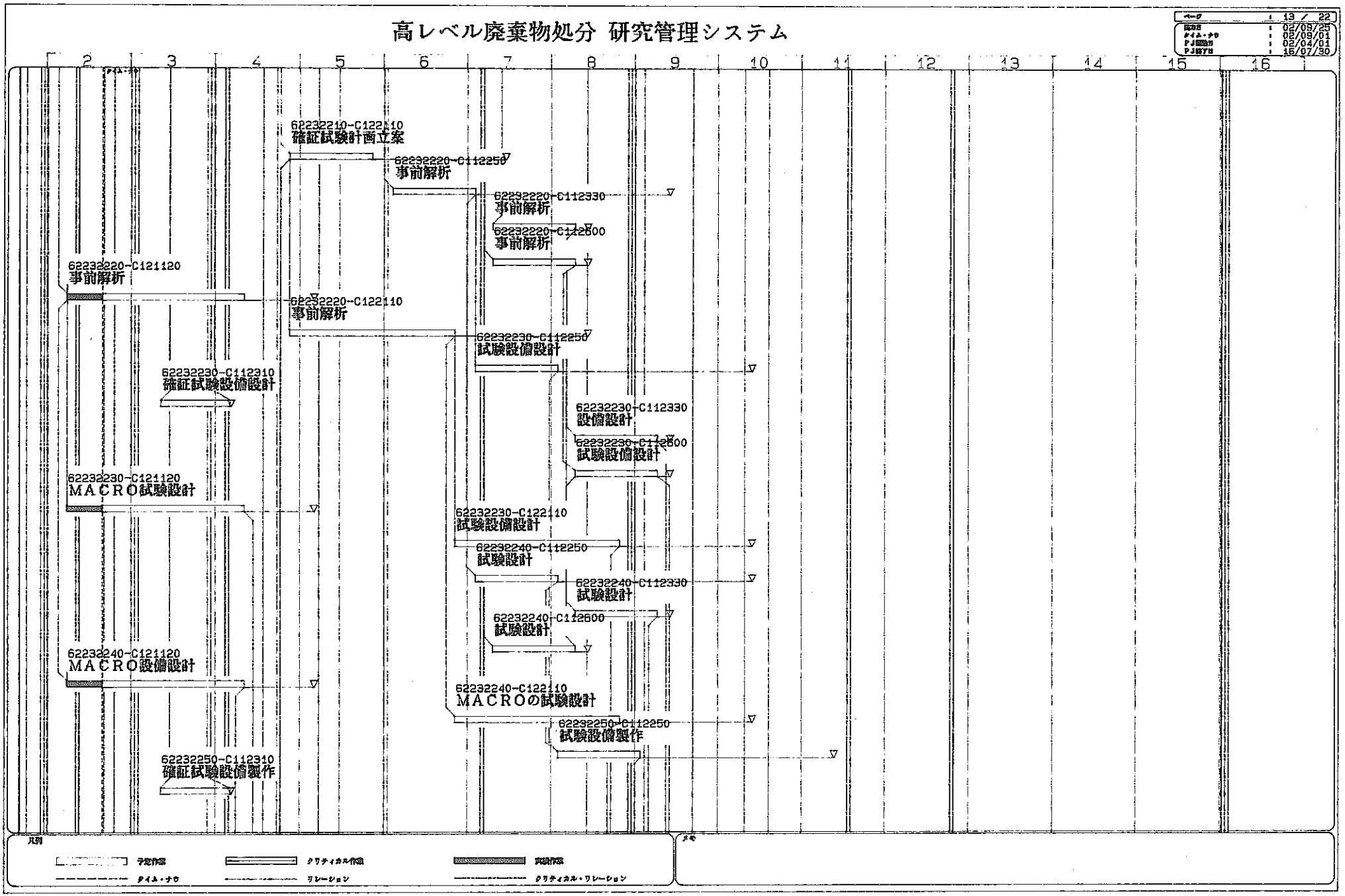


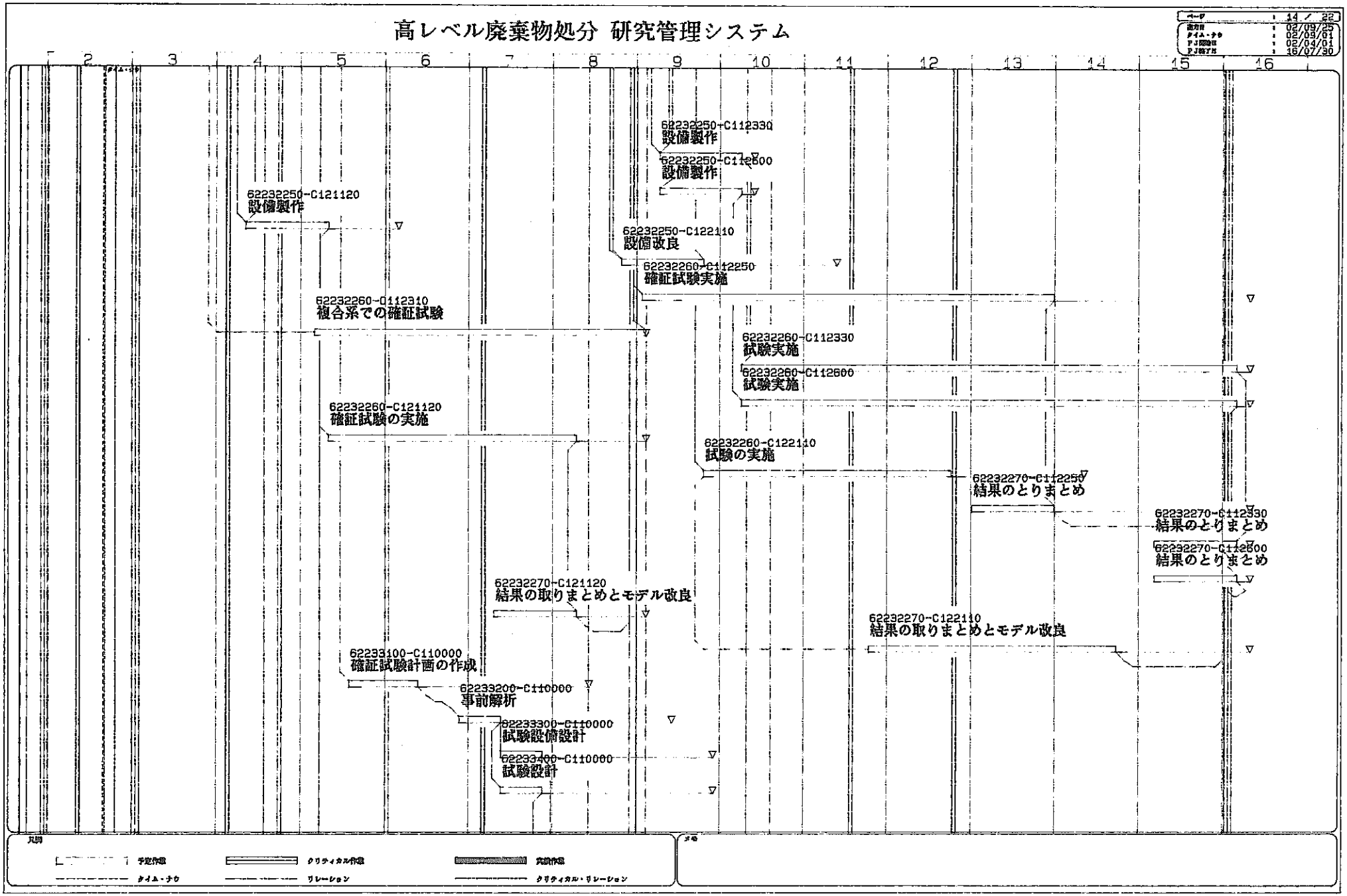
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



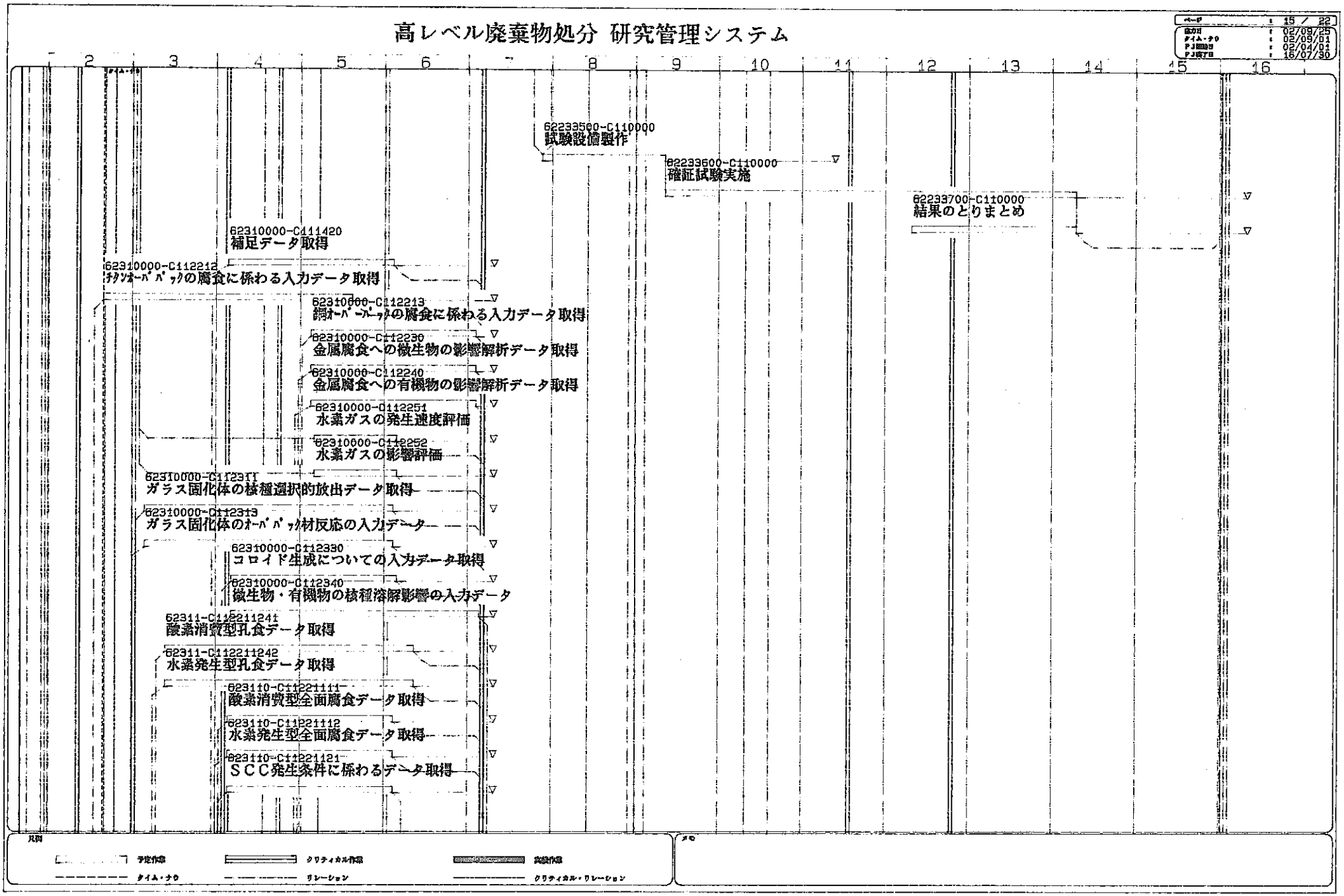
高レベル廃棄物処分 研究管理システム




高レベル廃棄物処分 研究管理システム
ページ 13 / 22
02/09/25
02/09/01
02/04/01
15/07/30
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
62232210-C122110
確証試験計画立案
62232220-C112250
事前解析
62232220-C112330
事前解析
62232220-C112600
事前解析
62232220-C121120
事前解析
62232220-C122110
事前解析
62232230-C112250
試験設備設計
62232230-C112310
確証試験設備設計
62232230-C112330
設備設計
62232230-C112600
試験設備設計
62232230-C121120
MACRO試験設計
62232230-C122110
試験設備設計
62232240-C112250
試験設計
62232240-C112330
試験設計
62232240-C112600
試験設計
62232240-C121120
MACRO設備設計
62232240-C122110
MACROの試験設計
62232250-C112250
試験設備製作
62232250-C112310
確証試験設備製作
凡例
予定作業
クリティカル作業
実績作業
タイム・ナウ
リレーション
クリティカル・リレーション
メモ


高レベル廃棄物処分 研究管理システム
ページ : 14 / 22
現在日 : 02/09/25
タイム・ナウ : 02/09/01
PJ開始日 : 02/04/01
PJ終了日 : 16/07/30
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
62232250-C112330
設備製作
62232250-C112600
設備製作
62232250-C121120
設備製作
62232250-C122110
設備改良
62232260-C112250
確証試験実施
62232260-C112310
複合系での確証試験
62232260-C112330
試験実施
62232260-C112600
試験実施
62232260-C121120
確証試験の実施
62232260-C122110
試験の実施
62232270-C112250
結果のとりまとめ
62232270-C112330
結果のとりまとめ
62232270-C112600
結果のとりまとめ
62232270-C121120
結果の取りまとめとモデル改良
62232270-C122110
結果の取りまとめとモデル改良
62233100-C110000
確証試験計画の作成
62233200-C110000
事前解析
62233300-C110000
試験設備設計
62233400-C110000
試験設計
凡例
予定作業
クリティカル作業
実績作業
タイム・ナウ
リレーション
クリティカル・リレーション
メモ

高レベル廃棄物処分 研究管理システム



高レベル廃棄物処分 研究管理システム

ページ	:	16 / 22
基準日	:	02/09/25
タイムナウ	:	02/09/01
PJ開始日	:	02/04/01
PJ終了日	:	15/07/30

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

623110-C11221122
バクテリア腐食評価に係わるデータ取得

62311000-C112210
概括的評価に係わるデータ取得

62311000-C112220
金属腐食に伴う地下水化学変化データ取得

62311000-C112320
核種の溶解に係る入力データの取得、整理

62311000-C112400
緩衝材中の核種移行に係る補足データ取得

62312000-C111410
ニアフィールド，周辺母岩による地下水変質データ

62312000-C112110
人工バリア再冠水に係わる入力データ取得

62312000-C112120
等温反応試験による変質速度評価

62312000-C112130
緩衝材による地下水化学変化のデータ取得

62312000-C112321
代表アクチニド系関係の熱力学的データ取得

62312000-C112322
その他のアクチニド系関係の熱的データ取得

62312000-C112323
難溶解性核分裂生成物の溶解の熱力学データ

62312000-C112400
人工バリア，核種移行データ見直し，追加データ

62312000-C112500
周辺母岩，核種移行データ見直し，追加データ

62312100-C121210
データ取得項目の明確化

62312100-C122110
トレーサ試験、微視的分散係数用解析手法

62312100-C122119
亀裂中での吸着についての試験計画

62312100-C122123
岩体マトリクスへの試験計画

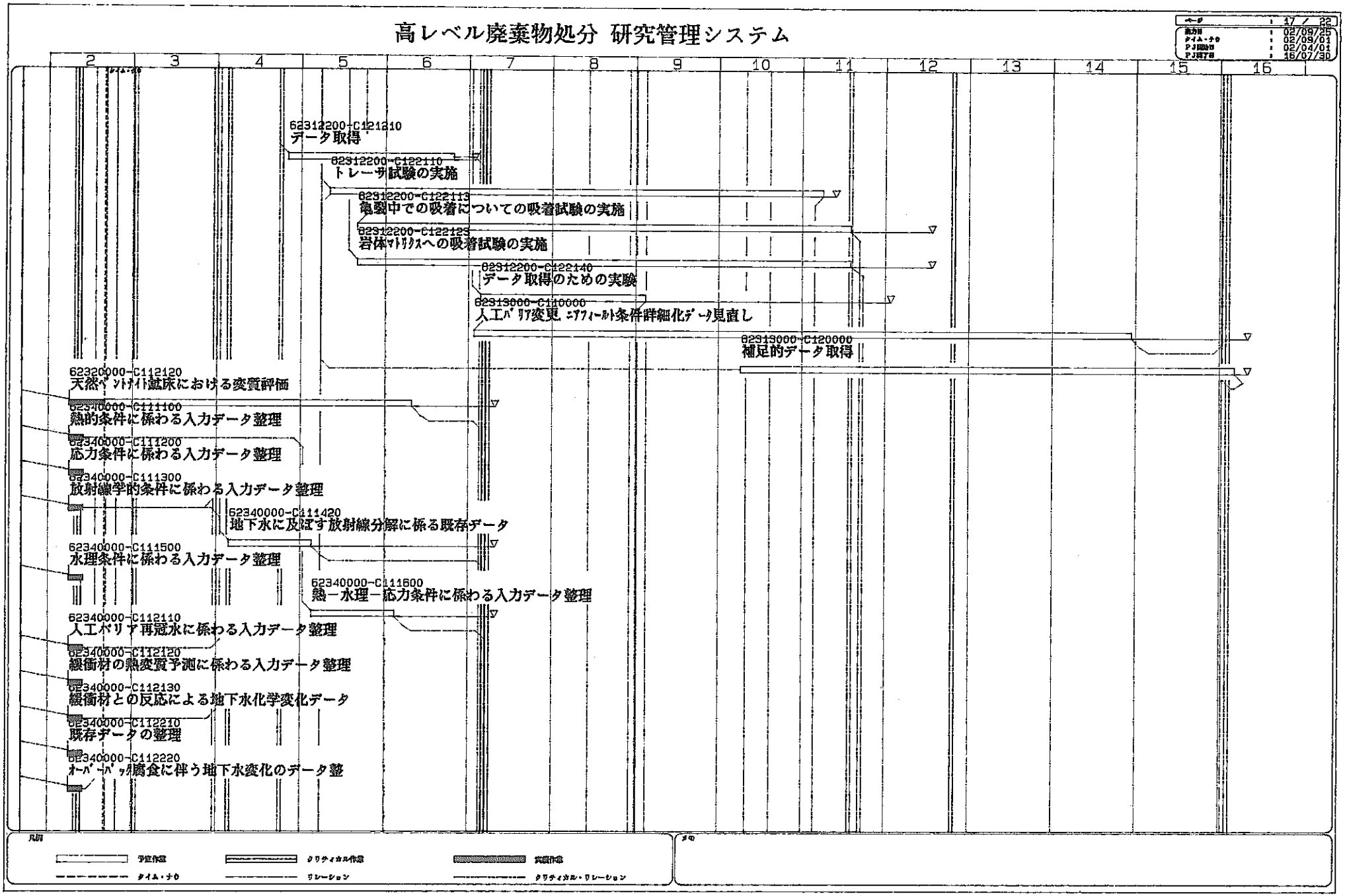
62312100-C122140
地下水条件との比較によるデータ項目明確化

凡例

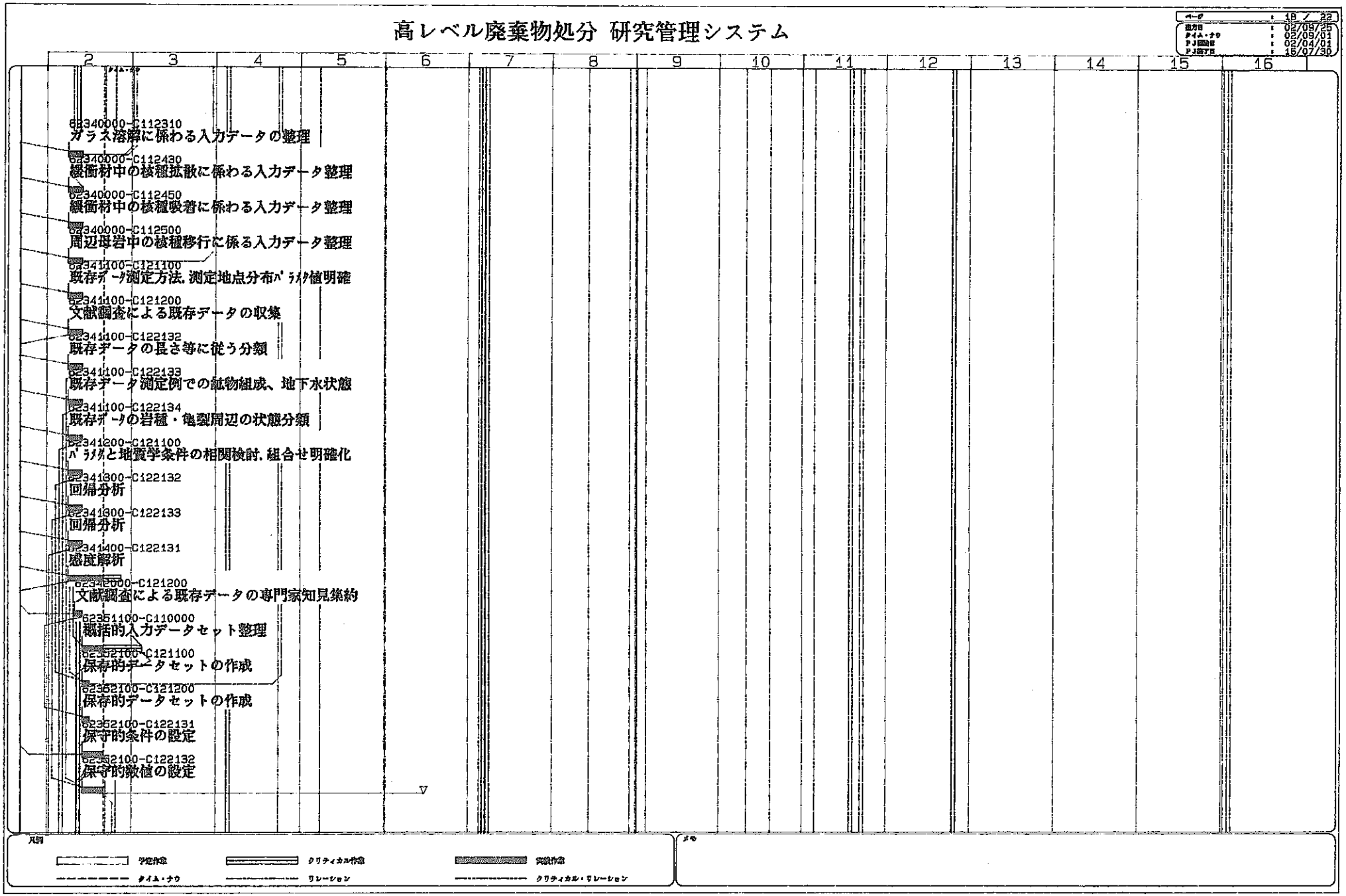
予定作業　クリティカル作業　実績作業
タイムナウ　リレーション　クリティカル・リレーション

メモ

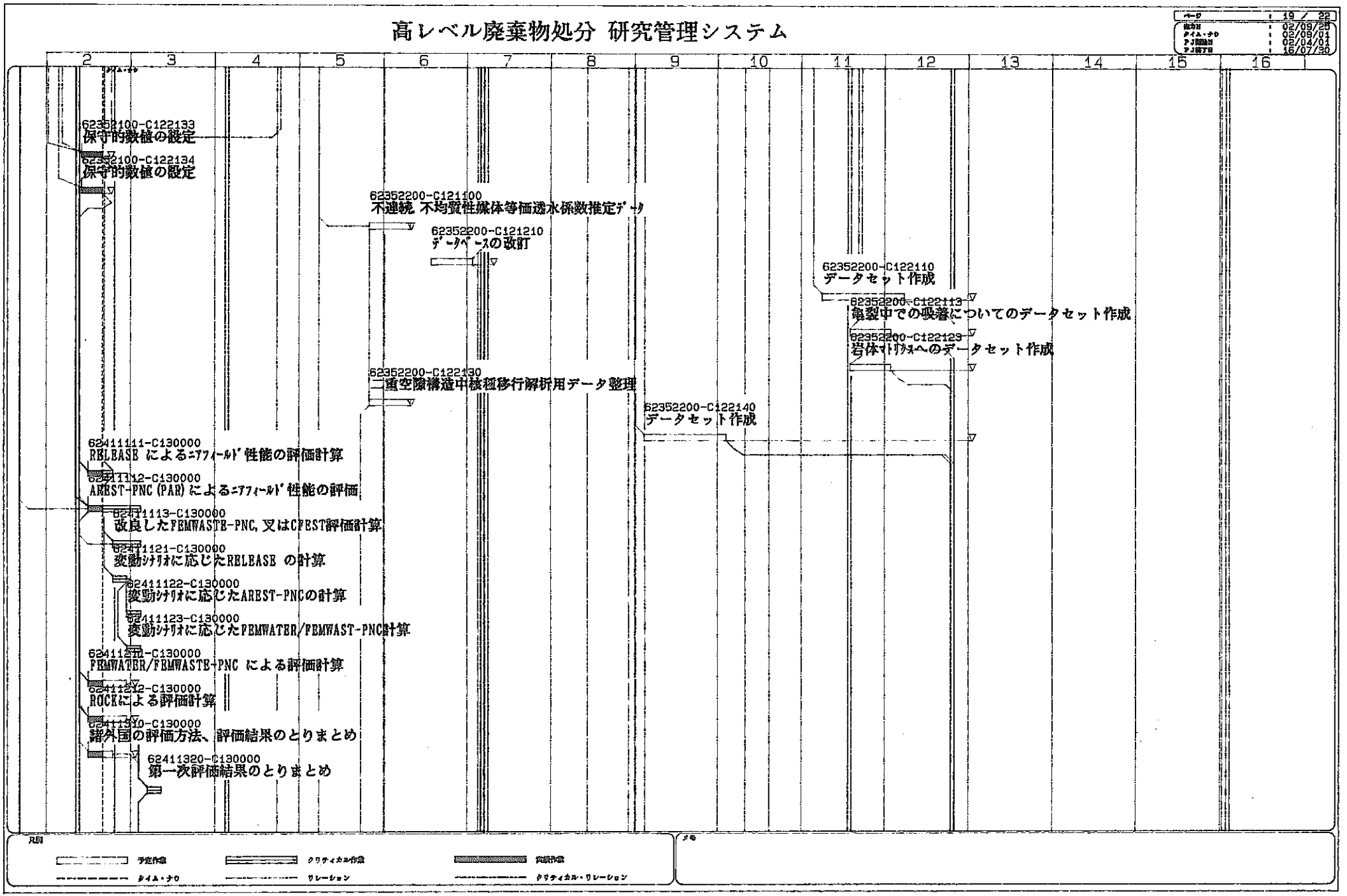
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



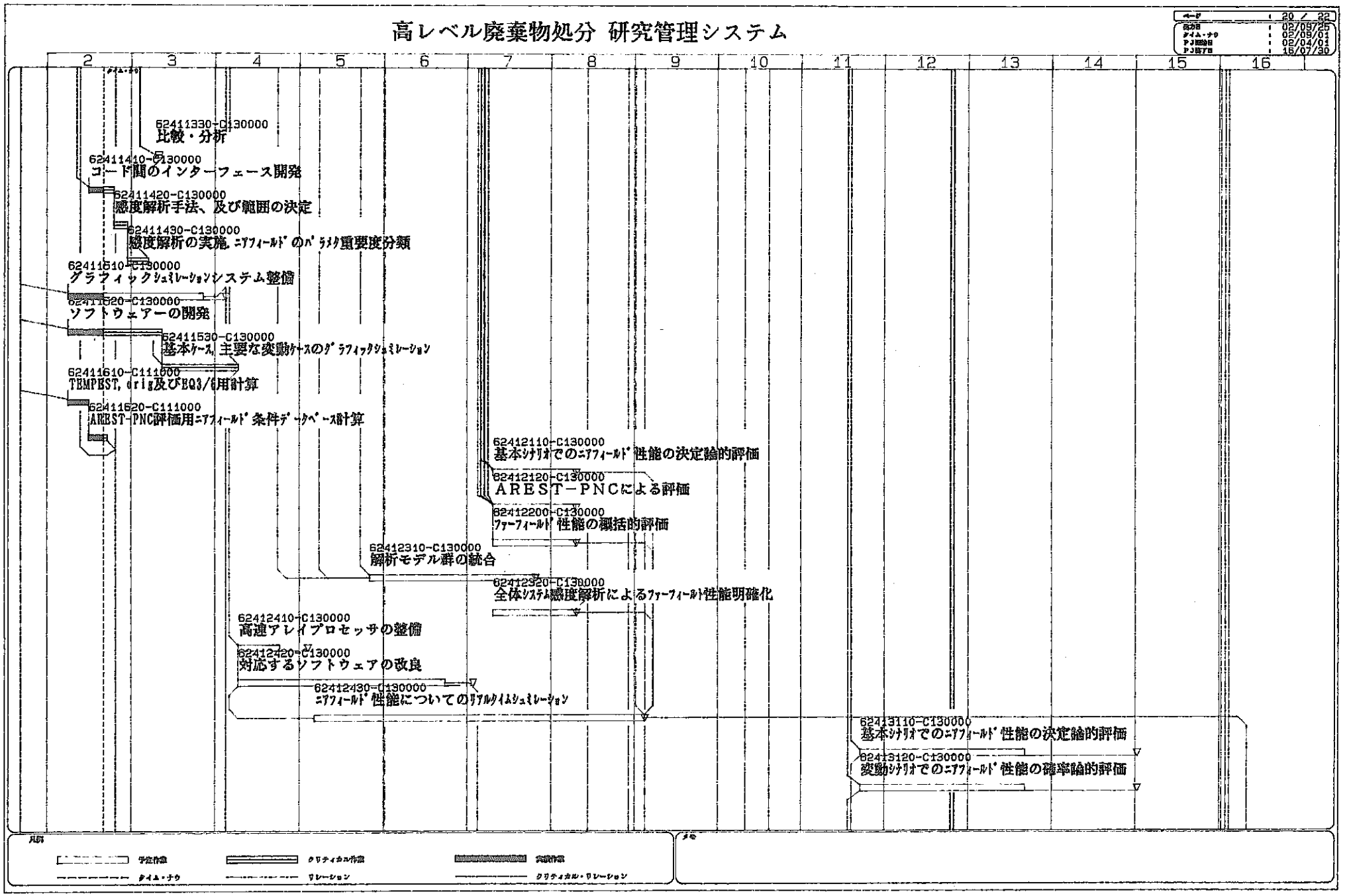
高レベル廃棄物処分 研究管理システム

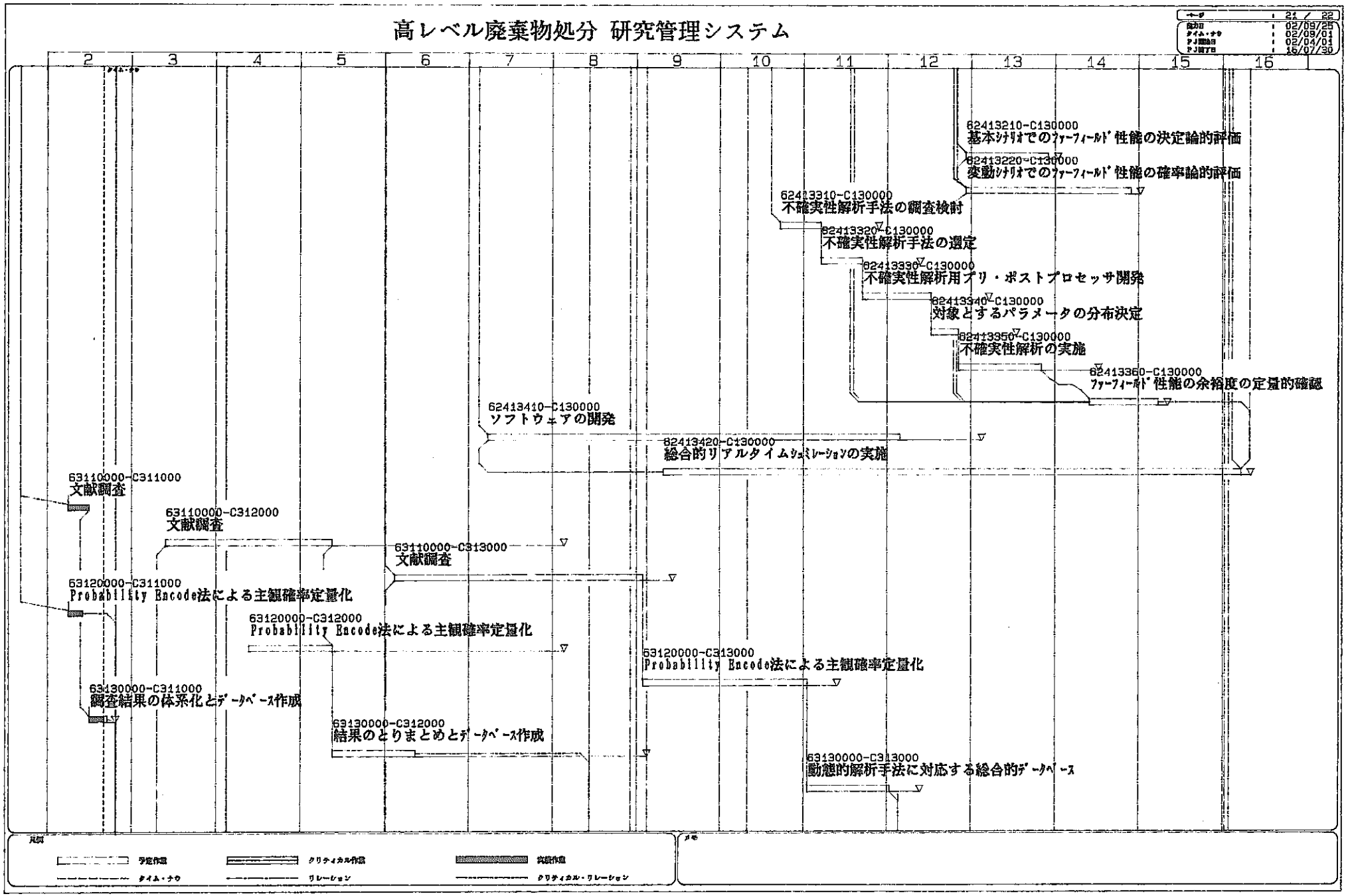


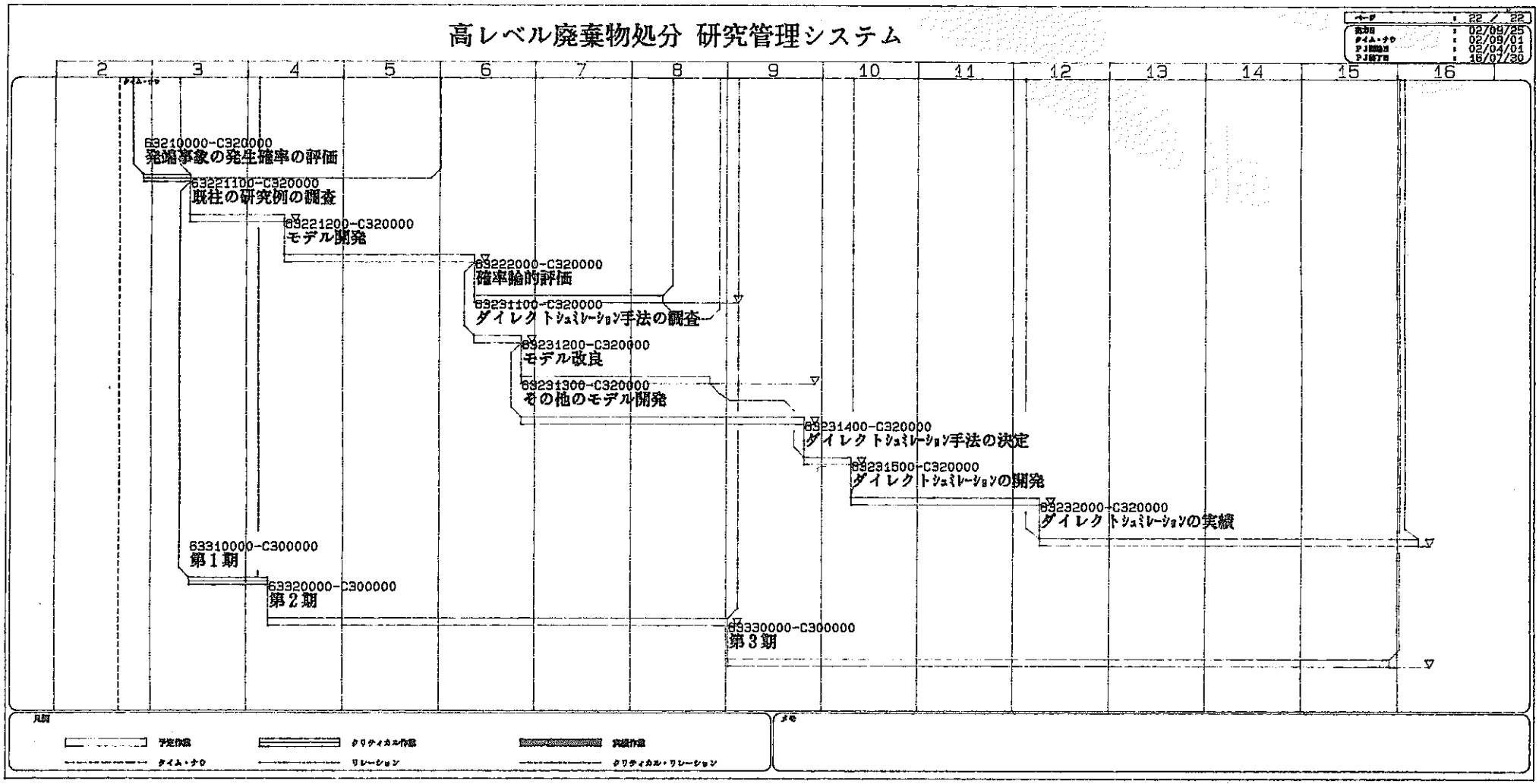
高レベル廃棄物処分 研究管理システム



高レベル廃棄物処分 研究管理システム




高レベル廃棄物処分 研究管理システム
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
62413210-C130000
基本シナリオでのファーフィールド性能の決定論的評価
62413220-C130000
変動シナリオでのファーフィールド性能の確率論的評価
62413310-C130000
不確実性解析手法の調査検討
62413320-C130000
不確実性解析手法の選定
62413330-C130000
不確実性解析用プリ・ポストプロセッサ開発
62413340-C130000
対象とするパラメータの分布決定
62413350-C130000
不確実性解析の実施
62413360-C130000
ファーフィールド性能の余裕度の定量的確認
62413410-C130000
ソフトウェアの開発
62413420-C130000
総合的リアルタイムシュミレーションの実施
63110000-C311000
文献調査
63110000-C312000
文献調査
63110000-C313000
文献調査
63120000-C311000
Probability Encode法による主観確率定量化
63120000-C312000
Probability Encode法による主観確率定量化
63120000-C313000
Probability Encode法による主観確率定量化
63130000-C311000
調査結果の体系化とデータベース作成
63130000-C312000
結果のとりまとめとデータベース作成
63130000-C313000
動態的解析手法に対応する総合的データベース


高レベル廃棄物処分 研究管理システム
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
63210000-C320000
発端事象の発生確率の評価
63221100-C320000
既往の研究例の調査
63221200-C320000
モデル開発
63222000-C320000
確率論的評価
63231100-C320000
ダイレクトシュミレーション手法の調査
63231200-C320000
モデル改良
63231300-C320000
その他のモデル開発
63231400-C320000
ダイレクトシュミレーション手法の決定
63231500-C320000
ダイレクトシュミレーションの開発
63232000-C320000
ダイレクトシュミレーションの実績
63310000-C300000
第１期
63320000-C300000
第２期
63330000-C300000
第３期